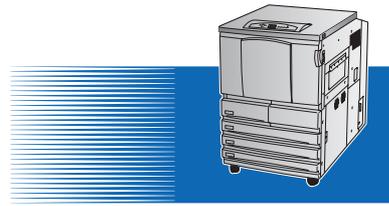


NEC

MultiWriter 6600

レーザープリンター



活用マニュアル（印刷用）

活用マニュアル（印刷用）について

このMultiWriter 6600には、[ユーザーズマニュアル](#)と活用マニュアル（閲覧用）の2種類のマニュアルがあります。本書は、活用マニュアル（閲覧用）と同じ内容を記載してある、印刷用としてのマニュアルです。本書の印刷したい章を以下から選び、イメージアイコンをクリックするとAcrobatReaderでご希望の章を開くことができます。本書の印刷の仕方については「はじめに」の「本書を印刷するには」（viiiページ）をご覧ください。

はじめに

本書をお読みいただくために、知っておいていただきたい内容、目次、また、MultiWriter 6600の特長について記載しています。



こちら↑

1章 オプション

別売品（オプション）の紹介、取り付け、取り外し、テスト印刷の方法などについて説明します。



こちら↑

2章 プリンターソフトウェアのインストール

プリンターソフトウェアをインストールして、プリンターを使用できるまでについて説明しています。



こちら↑

3章 ネットワークでの設定

ユーティリティを使ったIPアドレスの設定方法、IPP、LPR（TCP/IP）を使った印刷方法について説明します。



こちら↑

4章 より進んだ使い方

プリンターソフトウェアを使った、便利な印刷機能について詳しく説明しています。



こちら↑

5章 用紙のセット

使用できる用紙、用紙のセット方法について説明します。



こちら↑

6章 操作パネル

操作パネルのスイッチやランプについて説明しています。



こちら↑

7章 メニューモード

操作パネル上のスイッチを使って設定できるメニューモードの詳細について説明しています。



こちら↑

8章 日常の保守

消耗品の交換について説明します。



こちら↑

9章 故障かな？と思ったら

「故障かな？」と思ったときの症状を基に、原因と処置方法、また、テスト印刷の方法について説明します。



こちら↑

10章 ユーザーサービス

さまざまなユーザーサービスについて説明しています。



こちら↑

付録 技術情報

このプリンターの性能、印刷範囲や制御コードなどの詳しい技術情報について説明しています。



こちら↑

索引・用語解説

用語の解説や、索引があります。



こちら↑

プリンターに添付のユーザーズマニュアルには以下のことが書かれています。必要に応じて本書と併せてお読みください。

ユーザーズマニュアルの概要

プリンターを安全に使うために.....	安全にお使いいただくために
各部の名称を確認する.....	
コンピューターと接続する.....	1章 プリンターの設置
ネットワークに接続する.....	
プリンターソフトウェアをインストールする.....	2章 プリンターソフトウェアのインストール
プリンターソフトウェアについて.....	
用紙について.....	3章 用紙のセット
スイッチ・ランプについて.....	4章 操作パネル
データを印刷する.....	5章 印刷するには
消耗品を交換する.....	
プリンターの清掃について.....	6章 日常の保守
うまく印刷できないときには.....	
紙詰まりのときは.....	7章 故障かな?と思ったら
ユーザーサービスについて.....	8章 ユーザーサービス
オプションについて.....	9章 オプション
このプリンターの性能は?.....	付録 技術情報
わからない用語、知りたい内容がある.....	用語解説、索引

商標について

NEC、NECロゴは、日本電気株式会社の登録商標です。

Adobe、およびAcrobatはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の登録商標または商標です。

MULTIWRITER、MOPYINGは富士ゼロックス株式会社の登録商標です。

Printing Force Fuji Xeroxロゴが適用された商品には、富士ゼロックス株式会社および富士ゼロックスプリンティングシステムズ株式会社のプリンター技術が活用されています。Printing Force Fuji Xeroxロゴは、富士ゼロックス株式会社の登録商標です。その他記載の会社名および商品名は各社の商標、または登録商標です。

ご注意

1. 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
2. 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
3. NECの許可なく複製・改変などを行うことはできません。
4. 本書は内容について万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
5. プリンターの機能の一部は使用する環境あるいはソフトウェアによってはサポートされない場合があります。
6. 運用した結果の影響については4項および5項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
7. 本製品を第三者に売却・譲渡する際は必ず本書も添えてください。

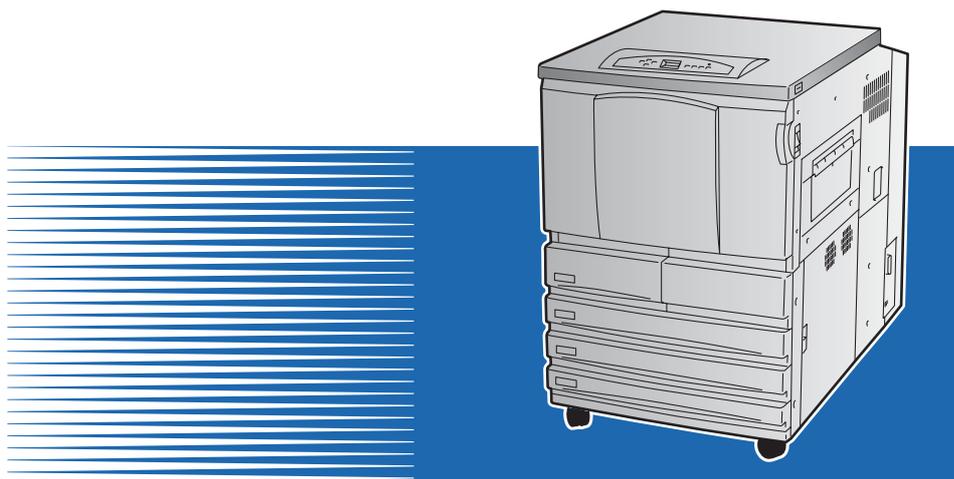
2003年9月 初版

© 2003 Fuji Xerox Co., Ltd.

NEC

MultiWriter 6600

レーザープリンター



活用マニュアル（印刷用）

このマニュアルは、必要なときすぐに参照できるよう、印刷してお手元に置くことをお勧めします。

安全にかかわる表示

プリンターを安全にお使いいただくために、このマニュアルの指示に従って操作してください。
このマニュアルには製品のどこが危険か、指示を守らないとどのような危険に遭うか、どうすれば危険を避けられるかなどについて説明されています。
また、製品内で危険が想定される箇所またはその付近には警告ラベルが貼り付けられています。

マニュアルならびに警告ラベルでは、危険の程度を表す言葉として「警告」と「注意」という用語を使用しています。それぞれの用語は次のような意味を持つものとして定義されています。

	指示を守らないと、 <u>人が死亡する、または重傷を負う</u> おそれがあることを示します。
	指示を守らないと、 <u>火傷やけがのおそれ、および物的損害</u> の発生のおそれがあることを示します。

危険に対する注意・表示の具体的な内容は「注意の喚起」、「行為の禁止」、「行為の強制」の3種類の記号を使って表しています。それぞれの記号は次のような意味を持つものとして定義されています。

注意の喚起 注意の喚起は、「」の記号を使って表示されています。この記号は指示を守らないと、危険が発生するおそれがあることを示します。記号の中の絵表示は危険の内容を図案化したものです。

	<u>毒性の物質による被害</u> のおそれがあることを示します。		<u>火傷</u> を負うおそれがあることを示します。
	<u>破裂</u> するおそれがあることを示します。		<u>けが</u> をするおそれがあることを示します。
	<u>レーザー光による失明</u> のおそれがあることを示します。		<u>指などがはさまれる</u> おそれがあることを示します。
	<u>発煙または発火</u> のおそれがあることを示します。		<u>特定しない一般的な注意・警告</u> を示します。
	<u>感電</u> のおそれがあることを示します。		

行為の禁止

行為の禁止は「」の記号を使って表示されています。この記号は行為の禁止を表します。記号の中の絵表示はしてはならない行為の内容を図案化したものです。

	プリンターを分解・修理・改造しないでください。 <u>感電や火災</u> のおそれがあります。		ぬれた手で触らないでください。 <u>感電</u> するおそれがあります。
	火気に近づけないでください。 <u>発火</u> するおそれがあります。		水や液体がかかる場所で使用しないでください。水にぬらすと <u>感電や発火</u> のおそれがあります。
	指定された場所には触らないでください。 <u>感電や火傷などの傷害</u> が起こるおそれがあります。		

行為の強制

行為の強制は「」の記号を使って表示されています。この記号は行為の強制を表します。記号の中の絵表示はしなければならない行為の内容を図案化したものです。危険を避けるためにはこの行為が必要です。

	プリンターの電源プラグをコンセントから抜いてください。 <u>感電や火災</u> のおそれがあります。		アース線を接続してください。 <u>感電や火災</u> のおそれがあります。
---	---	---	--

本文中で使用する記号の意味

このマニュアルでは、「安全にかかわる表示」のほかに、本文中で次の2種類の記号を使っています。それぞれの記号について説明します。

記号	内 容
	この注意事項および指示を守らないと、プリンターが故障するおそれがあります。また、システムの運用に影響を与えることがあります。
	この注意事項および指示を守らないと、プリンターが正しく動作しないことがあります。

商標について

NEC、NECロゴ、FontAvenueは日本電気株式会社の登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows Server、Windows NT、MS-DOSは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Netscapeは米国 Netscape Communications Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

HPは米国Hewlett-Packard Companyの商標です。

ESC/Pはセイコーエプソン株式会社の登録商標です。

NetWareは米国Novell, Inc.の登録商標です。

Macintosh、Mac OS、QuickDraw、QuickDraw GX、TrueTypeは米国Apple Computer, Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。

IBM、ATは米国International Business Machines Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

UNIXはThe Open Groupの米国ならびに他の国における登録商標です。

Ethernetは米国ゼロックス社の登録商標です。

Adobe、Acrobat、Acrobat ReaderおよびPhotoshopはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の登録商標、または商標です。

MULTIWRITER、PrintAgent、MOPYING、NMPS、DocuWorksは富士ゼロックス株式会社の登録商標、または商標です。

Printing Force Fuji Xeroxロゴが適用された商品には、富士ゼロックス株式会社および富士ゼロックスプリンティングシステムズ株式会社のプリンター技術が活用されています。Printing Force Fuji Xeroxロゴは、富士ゼロックス株式会社の登録商標です。

その他、記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

OSの表記について

このマニュアルではOSを以下のように略して表記しています。

Windows XPはMicrosoft Windows XP Home Edition operating systemおよびMicrosoft Windows XP Professional operating systemの略です。

Windows Server 2003はMicrosoft Windows Server 2003 operating system, Standard EditionおよびMicrosoft Windows Server 2003 operating system, Enterprise Editionの略です。

Windows 2000はMicrosoft Windows 2000 Professional operating systemおよびMicrosoft Windows 2000 Server operating systemの略です。

Windows 2000 Advanced ServerはMicrosoft Windows 2000 Advanced Server operating systemの略です。

Windows 2000 Datacenter ServerはMicrosoft Windows 2000 Datacenter Server operating systemの略です。

Windows NT 4.0はMicrosoft Windows NT Workstation operating system Version 4.0およびMicrosoft Windows NT Server network operating system Version 4.0の略です。

Windows NT Server 4.0, Terminal Server EditionはMicrosoft Windows NT Server network operating system Version 4.0, Terminal Server Editionの略です。

Windows NT Server, Enterprise Edition 4.0はMicrosoft Windows NT Server, Enterprise Edition network operating system Version 4.0の略です。

Windows MeはMicrosoft Windows Millennium Edition operating systemの略です。

Windows 98はMicrosoft Windows 98 operating systemの略です。

Windows 98 Second EditionはMicrosoft Windows 98 Second Edition operating systemの略です。

Windows 95はMicrosoft Windows 95 operating systemの略です。

ご注意

1. 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
2. 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
3. NECの許可なく複製・改変などを行うことはできません。
4. 本書は内容について万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、お問い合わせの販売店にご連絡ください。
5. プリンターの機能の一部は使用する環境あるいはソフトウェアによってはサポートされない場合があります。
6. 運用した結果の影響については4項および5項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
7. 本製品を第三者に売却・譲渡する際は必ず本書も添えてください。

はじめに

このたびは、NECのプリンターをお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

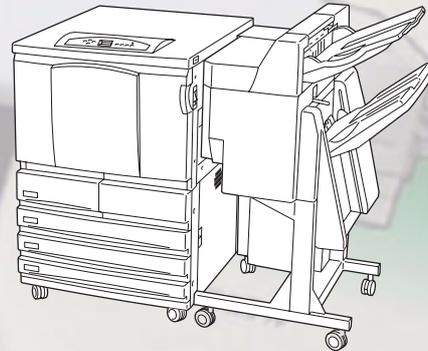
MultiWriter 6600は高性能なCPUを搭載し、スループットの高速化を実現した、レーザープリンターです。さらに、大容量給紙、大容量排紙、用途に合わせた豊富な給紙、排紙を実現しています。

MultiWriter 6600の特長を以下に示します。

- 最高 71 ページ / 分の印刷速度 (A4 サイズ横の場合)
- 500 万ページの長寿命エンジン搭載
- 両面印刷ユニットを標準装備
- 大容量ホッパー、排紙トレイ、フィニッシャーなどのオプション品を用意
- ネットワークインターフェース標準装備
- 4 段カセット標準
- 最大給紙容量 6740 枚 (オプション装着時)
- 最大排紙容量 2600 枚 (オプション装着時)

また、Windows環境でより簡単に、より快適に使用していただける印刷統合管理ソフトウェア「PrintAgent」に対応しています。PrintAgentにより、プリンターの状態や印刷の進行状況を確認することができます。

マニュアルをお読みになり、MultiWriter 6600を十分にご活用ください。



2003年9月 初版

マニュアルの種類と使い方

MultiWriter 6600本体や付属のプリンターソフトウェアの取り扱い方を説明したマニュアルには、「ユーザーズマニュアル」と電子マニュアルの「活用マニュアル」があります。活用マニュアルは添付のプリンターソフトウェアCD-ROMの[MANUAL]フォルダーに収録されており、閲覧用（HTML）と印刷用（PDF）のファイルがあります。活用マニュアル（閲覧用）の開き方についてはixページをご覧ください。また、各プリンターソフトウェアの詳細については画面上の「ヘルプ」をご覧ください。それぞれ、目的に応じてマニュアルをお読みいただき、MultiWriter 6600を十分にご活用ください。

MultiWriter 6600 ユーザーズマニュアル



プリンターのセットアップから、プリンターの基本的な操作方法、および困ったときの対処方法などを、この1冊で説明しています。本書はいつでもご覧になれるようにお手元に置いてください。

MultiWriter 6600 活用マニュアル（電子マニュアル）



閲覧用

プリンターに添付のプリンターソフトウェアCD-ROMに収録されています。

ネットワーク環境で印刷する場合の設定方法、プリンターソフトウェアやメニューモードの詳細、および技術情報などについて説明しています。

活用マニュアルには、HTML形式を採用した、汎用のブラウザで閲覧する「活用マニュアル（閲覧用）」と、PDF形式を採用したAdobe社のAcrobat Readerで参照および印刷ができる「活用マニュアル（印刷用）」があります。ご使用の目的に応じて活用してください。記載内容については「活用マニュアルについて」（viiページ）をご覧ください。



印刷用（本書）

また、活用マニュアル（閲覧用）の開き方についてはixページ、活用マニュアル（印刷用）の印刷方法についてはviiiページをご覧ください。

活用マニュアルについて

この活用マニュアルを使いやすくお読みいただくために、以下に簡単な目的別のガイドを記載します。



チェック

1 ページから始まる「安全にお使いいただくために」にはプリンターを安全にお使いいただくための注意事項が記載してあります。必ずお読みください。

活用マニュアルガイド

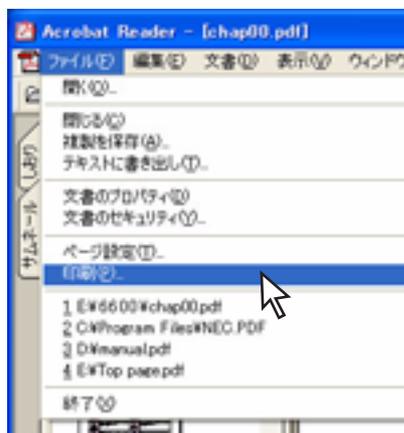
オプション品を使いたい.....	1章 オプション
プリンタソフトウェアをインストールして、プリンタを使用したい.....	2章 プリンタソフトウェアのインストール
ネットワークの設定をするには？.....	3章 ネットワークでの設定
IPP、LPR (TCP/IP) を使って印刷する.....	
便利な印刷機能を使いたい.....	4章 より進んだ使い方
用紙の種類・用紙のセット方法が知りたい.....	5章 用紙のセット
操作パネルのスイッチ、ランプについて知りたい.....	6章 操作パネルについて
プリンターで設定を変更するには？.....	7章 メニューモード
消耗品の交換、プリンターのお手入れをするには？.....	8章 日常の保守
うまく印刷できない、思うように動作しない.....	9章 故障かな？と思ったら
紙づまりを処理したい.....	
プリンターの保守やサービスを受けるには？.....	10章 ユーザーサービス
このプリンターの性能は？.....	
印刷範囲や制御コード、より詳しい技術情報を知りたい.....	付録 技術情報
わからない用語を知りたい.....	用語解説

本書を印刷するには

このマニュアルはA4サイズの大ききで作成されています。ここではWindows XPの環境で活用マニュアル（印刷用）を両面印刷する手順を説明します。他のOSをお使いの方は多少画面表示が異なりますが、手順は同じです。

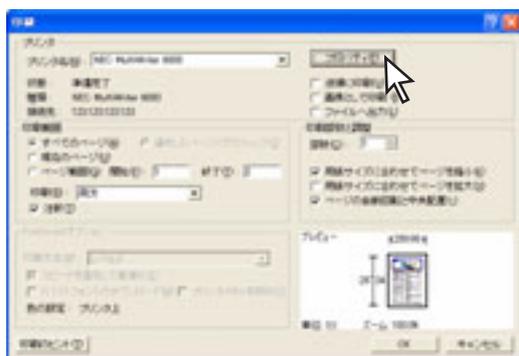
① [ファイル]メニューの[印刷]をクリックする。

[印刷]ダイアログボックスが表示されます。



② [プロパティ]をクリックする。

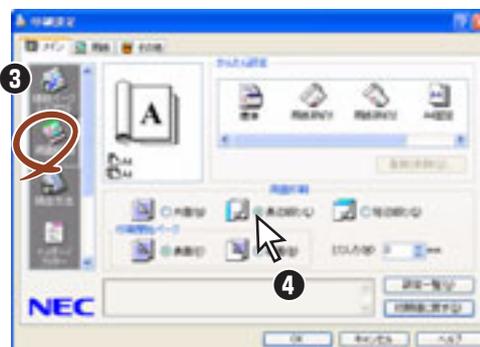
[プリンタのプロパティ]ダイアログボックスが表示されます。



③ [メイン]シートの左側にある[機能選択バー]から[両面印刷]をクリックする。

[レイアウト]シートが表示されます。

④ [長辺綴じ]をクリックする。

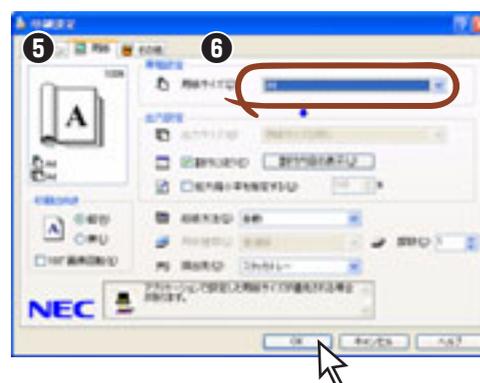


⑤ [用紙]タブをクリックする。

[用紙]シートが表示されます。

⑥ [用紙サイズ]から[A4]を選択し、[OK]をクリックする。

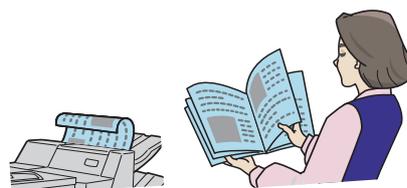
[印刷]ダイアログボックスに戻ります。



⑦ 印刷部数を指定して[OK]をクリックする。

両面印刷で出力されます。

ユーザズマニュアルのように両面で仕上がります。



活用マニュアル（閲覧用）の開き方

活用マニュアル（閲覧用）は添付のプリンターソフトウェアCD-ROMに収録されており、お手持ちのコンピュータの画面上でインターネットブラウザを使って閲覧できます。なお、閲覧するにはブラウザはMicrosoft Internet Explorer 5.0以上またはNetscape Navigator 4.5以上が必要です。あらかじめインストールして以下の手順を行ってください。

以下に開き方の手順を説明します。

- 1 お使いのOS（日本語版）を起動する。
- 2 プリンターソフトウェアCD-ROMをセットする。
「プリンタソフトウェアCD-ROMメニュー」が起動します。



お使いのコンピュータによっては、自動的にメニュープログラムが立ち上がらない場合があります。その場合は、CD-ROMのルートディレクトリーにある「MWSETUP.exe」を実行してください。

- 3 [オンラインマニュアル]をクリックする。
右側のボックスにオンラインマニュアルの名称が表示されます。



- 4 右側のボックスの[MultiWriter 6600活用マニュアル（閲覧用）]を選び、[オンラインマニュアルを読む]をクリックする。



お使いのインターネットブラウザが起動し、「活用マニュアル（閲覧用）」が開きます。



目次

安全にかかわる表示	ii
はじめに	v
マニュアルの種類と使い方	vi
活用マニュアルについて	vii
本書を印刷するには	viii
活用マニュアル（閲覧用）の開き方	ix
安全にお使いいただくために	1
MultiWriter 6600について	9

1章 オプション 13

オプション品の紹介	15
オプション	15
消耗品	18
大容量ホッパー	19
大容量ホッパーの取り付け	19
大容量ホッパーの取り外し	23
フィニッシャー	24
フィニッシャーの取り付け	24
フィニッシャーの取り外し	24
排紙トレイ	25
排紙トレイの取り付け	25
排紙トレイの取り外し	25
LANアダプター	26
LAN アダプターの取り付け	26
LAN アダプターの取り外し	27
増設メモリー	28
増設メモリーの取り付け	28
増設メモリーの取り外し	29
ハードディスク	30
ハードディスクの取り付け	30
ハードディスクの取り外し	30
使用できるプリンターケーブル	31

2章 プリンターソフトウェアのインストール 33

プリンターソフトウェア CD-ROM について	34
プリンターソフトウェアの動作環境	35
インストール方法の選択	36
「インストールプログラム」からのインストール	37

「プラグ・アンド・プレイ」によるインストール	42
Windows XP、Windows Server 2003 日本語版	42
Windows 2000 日本語版	44
Windows Me 日本語版	46
Windows 98 日本語版	47
Windows 95 日本語版	48
プリンタードライバーの削除	49
Windows XP、Windows Server 2003 日本語版	49
Windows 2000 日本語版	51
Windows NT 4.0 日本語版	52
Windows Me、Windows 98、 Windows 95 日本語版	52
PrintAgentの追加・削除	53
プリンター管理者用インストール	55
インストール手順	56
パスワードの設定	61
日本語MS-DOS環境	62
プリンターを選択する	62
プリンターを設定する	63
MS-DOS 環境での両面印刷設定	63

3章 ネットワークでの設定 65

MultiWriterを使ったネットワーク印刷	66
無線LANアダプターに関する安全上のご注意	67
ユーティリティによるネットワークの設定	68
EASY 設定ユーティリティ	69
PrintAgent プリンタ管理ユーティリティ	71
PrintAgent プリンタ管理ユーティリティの詳細	72
無線 LAN プリンタ導入ウィザード	94
WWW ブラウザー	96
WWW ブラウザーの起動	96
画面の構成	97
Telnet	110
Telnet 起動画面	110
各メニューの詳細	111
UNIX コマンド	117
接続先の設定とプリンタードライバーのインストール	119
Windows XP、Windows Server 2003 日本語版	119
NEC Network Port を使用して印刷するには	120
IPP (Internet Printing Protocol) を使用 して印刷するには	121
UNIX 用印刷サービス (LPR) を使用して 印刷するには	123
Standard TCP/IP Port (LPR) を使用して 印刷するには	127

Windows 2000 日本語版	131
NEC Network Port を使用して	
印刷するには	131
IPP (Internet Printing Protocol) を使用して	
印刷するには	132
UNIX 用印刷サービス (LPR) を使用して	
印刷するには	135
Standard TCP/IP Port (LPR) を使用して	
印刷するには	138
Windows NT 4.0 日本語版	141
NEC Network Port を使用して	
印刷するには	141
NEC Internet Printing System (IPP) を使用して	
印刷するには	142
Microsoft TCP/IP 印刷 (LPR) を使用して	
印刷するには	146
Windows Me 日本語版	149
NEC TCP/IP Printing System を使用して	
印刷するには	149
IPP (Internet Printing Protocol) を使用して	
印刷するには	150
Windows 98、Windows 95 日本語版	153
NEC TCP/IP Printing System を使用して	
印刷するには	153
NEC Internet Printing System (IPP) を使用して	
印刷するには	155
ターミナルサービス環境	159
ターミナルサービス用プリンタードライバのイン	
ストール	159
UNIX環境の設定	162
IPアドレスの設定	162
ホストコンピューター側のセットアップ	163
印刷方法	164
より便利なネットワーク機能	166
DHCP	166
DHCP の設定	166
DHCP サーバーの設定	169
DHCP の動作について	173
SNMP	174
Get Request Set Request による管理	174
Trap による管理	178
アクセス制限	179
概要	179
アクセス制限の設定	179
ネットワーク設定の初期化	183
コンフィグレーションページの印刷	184

4章 より進んだ使い方 187

機能の紹介	188
両面印刷	190
複数ページ印刷	192
設定方法	193
仕分け印刷	194
丁合い機能	194
合紙機能	194
オフセット排紙機能を使った仕分け印刷	195
電子ソート機能	195
設定方法	196
丁合い機能	196
合紙機能	198
オフセット排紙機能	200
電子ソート機能	201
大量・連続印刷する	203
グループホッパー	203
設定方法	204
Step1 グループホッパーを有効にする	204
Step2 給紙方法を設定する	204
拡大・縮小印刷	205
用紙の大きさを変えて拡大・縮小	205
用紙の大きさを変えないで拡大・縮小	205
設定方法	206
出力用紙サイズを指定する	206
拡大・縮小率を指定する	208
拡大・縮小印刷に対応した用紙サイズを	
指定する	209
「かんたん設定」の使い方	210
設定方法	210
ユーザー設定の登録	210
ユーザー設定の削除	211
定形外用紙サイズ (特殊) の用紙に印刷	212
設定方法	212
定形外用紙に印刷する	214
厚紙に印刷する	215
印刷位置の調整	216
ヘッダー・フッター	217
設定方法	218
Step1 ヘッダー・フッター機能を有効にする	218
Step2 位置と印刷項目を選択する	218
Step3 ヘッダー・フッターに任意の文字列を	
入力する	219
ユーザー名を表示する	220
設定方法	220

プリンタステータスウィンドウ	221
ツールバー	222
送信中のドキュメントの印刷を中止する	222
プリンターの構成情報を見る	222
通知形式を変更する	223
ウォームアップを行う	223
最新のステータスに更新する	223
リプリント機能を使う	224
PrintAgentによる印刷ログの出力	225
設定方法	226
1 印刷ログ出力機能を設定する	226
2 印刷ログファイルを出力する	228
保守情報のメール通知	229
設定方法	229
メール通知ログファイルの出力	232
プリンタードライバのバージョンアップ	233
プリンターソフトウェア CD-ROM からの更新	233
動作環境	233
設定方法	233
使用上の注意事項	234
PrintPort連携機能	235
設定方法	235

5章 用紙のセット237

用紙について	238
使用できる用紙	238
定形外用紙のご使用について	239
用紙についての注意事項	239
用紙のセット方向	240
ホッパーに用紙をセットする	241
トレーに用紙をセットする	243
大容量ホッパーに用紙をセットする	245
定形外用紙をホッパーにセットする	247
用紙をセットする時の注意	249
はがき、往復はがき	249
OHP フィルム、ラベル紙	249
定形外用紙	250
プレ印刷用紙	250

6章 操作パネル253

ディスプレイ	254
ランプ	255
スイッチ	256

通常のスイッチ機能	257
メニューモード時のスイッチ機能	260
シフト時のスイッチ機能	261
節電中のスイッチ機能	261

7章 メニューモード263

操作パネルでの設定方法	264
メニューモードの設定変更のしかた	264
メモリースイッチの設定変更のしかた	265
メニューモード設定項目一覧	266
メニューツリー	269
メニューの詳細	278
テストメニュー	278
印刷設定メニュー	278
用紙メニュー	278
印字位置設定メニュー	279
印刷機能メニュー	280
運用メニュー	282
フォントメニュー	283
動作メニュー	284
NPDL 設定メニュー	285
インターフェース設定メニュー	286
設定初期化メニュー	287
メモリースイッチの内容	290
メモリースイッチ設定項目一覧	290
メモリースイッチの詳細	292
動作エミュレーションの切り替え	297
ESC/P エミュレーションモード	298

8章 日常の保守299

トナーカートリッジの交換	299
トナーカートリッジ取り扱い上のご注意	300
トナーカートリッジの交換手順	300
クリーニングカートリッジの交換	303
クリーニングカートリッジ取り扱い上のご注意	303
クリーニングカートリッジの交換手順	303
ドラムカートリッジの交換	305
ドラムカートリッジ取り扱い上のご注意	305
ドラムカートリッジの交換手順	306
使用済み消耗品の回収について	307
清 掃	308

9章 故障かな?と思ったら309

修理に出す前に	309
印刷できないときは	310
アラーム表示が出ているときは	312
印刷に異常が見られるときは	314
思うように印刷できないときは	318
オフセット排紙機能が動作しないときは	321
フィニッシャー機能がうまく動作しないときは	322
PrintAgentシステムが起動しないときは	323
プリンタステータスウィンドウがおかしいときは	324
リプリント機能が動作しないときは	326
PrintAgentを正しく動作させるために	327
PrintAgentを動作させる前に	327
PrintAgentをインストール / アンインストールする 時の注意事項	327
共有プリンターの利用 / 提供について	328
クライアント・サーバーシステムでお使いの 場合	329
PrintAgentの機能を十分に発揮させるために	330
その他の注意事項	331
PrintAgentの動作中は	331
PrintAgentの制限事項	332
OSをアップグレードする場合	332
ネットワークで思うように印刷できないときは	333
紙づまりのときは	336
紙づまりの発生箇所	336
紙づまりの処理	338
[A] プリンター右側面下部での紙づまり	338
[B] フィニッシャー上部での紙づまり	339
[C] フィニッシャー排出部での紙づまり	340
[D] プリンター内部での紙づまり	341
[E] ホッパー1～4の紙づまり	343
ピックアップ、紙づまり処理後の確認	346
プリンターを運搬するときは	348
プリンター・消耗品を廃棄するときは	348

10章 ユーザーサービス349

お客様登録申込書について	350
保証について	350
保守サービスについて	351
プリンターの寿命について	351
補修用性能部品および消耗品について	351
ユーザーズマニュアルの再購入について	352

情報サービスについて	352
プリンターソフトウェアをフロッピーディスクで 必要な場合	352

付録 技術情報357

仕様	357
用紙の規格	359
文字の種類	360
内蔵文字の種類	360
1 バイト系文字	360
2 バイト系文字	360
文字間隔	360
文字構成	361
1 バイト系文字	361
2 バイト系文字、グラフィック	361
文字コード表	362
1 バイト系コード表	362
2 バイト系コード表	363
印刷範囲	369
定形用紙	369
MS-DOS環境	370
定形外用紙	373
プリンターの設定について	373
余白について	373
NPDLの初期状態	374
制御コード	376
テキストモード	376
図形モード	378
ESC/P エミュレーションサポートコマンド	379
機能拡張制御コード	380
文字スタイル制御コード	381
行桁制御印刷コード	384
文字ロード	385
バーコードの印刷	387
面制御コード	392
ページ制御コード	393
領域指定イメージ	397
座標指定単位設定	398
文字セット制御コード	399
カスタマーバーコードの印刷	400
カスタマーバーコードの仕様と注意点	404
漢字コード表切り替えのための制御コード	409
フィニッシャー制御コード	410
図形の描画コード	412
プリンター単位指定	415
塗りつぶしに関する設定	416

楕円弧描画	417
弓形描画	418
扇形描画	419
角丸矩形描画	420
ディスプレイ表示一覧	421
テスト印刷のプリント結果	424
テスト印刷	424
ステータス印刷	427
増設メモリー対応表	428
電子ソート機能有効時の印刷保証枚数表	429
インターフェース	430
インターフェース信号の機能	430
タイムチャート	431
コネクターピン配置	433
電気的特性	434
用語解説	435
索引	442

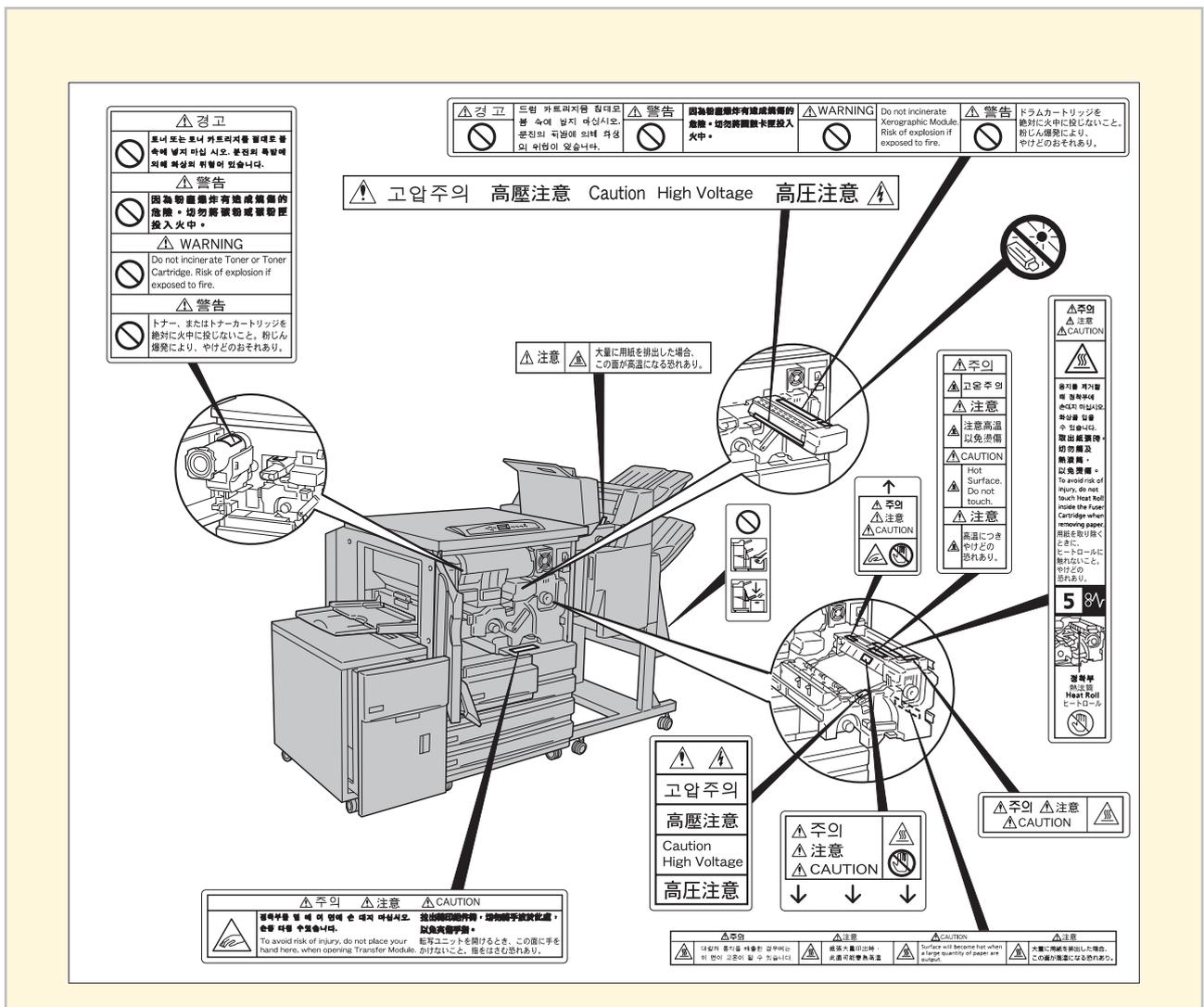


安全にお使いいただくために

警告ラベルについて

MultiWriter 6600プリンター内の危険性を秘める部品やその周辺には警告ラベルが貼り付けられています。これはプリンターを操作する際、考えられる危険性を常にお客様に意識していただくためのものです。

警告ラベルは下図に示す場所に貼られています。もしこのラベルが貼り付けられていない、はがれかかっている、汚れているなどして読めない場合は、販売店または、NECサービス窓口にご連絡ください。



安全上のご注意

ここで示す注意事項はプリンターを安全にお使いになる上で特に重要なものです。この注意事項の内容をよく読んで、ご理解いただき、プリンターをより安全にご活用ください。記号の説明についてはii～iiiページの「安全にかかわる表示」を参照してください。

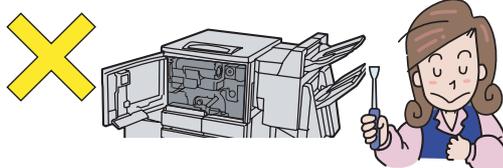


プリンターの内部を
のぞかない



このプリンターはレーザー（レーザーダイオード）を使用しています。電源がONになっているときに内部をのぞいたり、鏡などを差し込んだりしないでください。万一、レーザー光が目に入ると失明するおそれがあります（レーザー光は目に見えません）。

分解・修理・改造は
しない



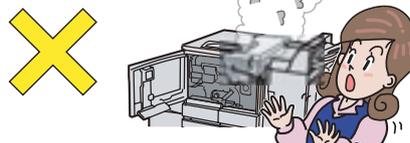
ユーザズマニュアルに記載されている場合を除き、分解したり、修理／改造を行ったりしないでください。プリンターが正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の原因となるおそれがあります。

針金や金属片を
差し込まない



通気孔などのすきまから金属片や針金などの異物を差し込まないでください。感電するおそれがあります。

煙や異臭、異音が
したら電源OFF



万一、煙、異臭、異音などが生じた場合は、ただちに電源をOFFにして電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災の原因となるおそれがあります。

ぬれた手で電源プラグ
を触らない



ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。

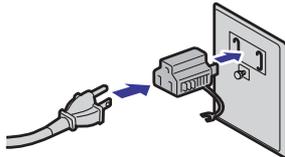
トナーカートリッジを
火の中に投げ入れない



トナーカートリッジを火の中に投げ入れないでください。トナーカートリッジ内に残っているトナーの粉じん爆発により、やけどをするおそれがあります。



電源コードのアース線を取り付ける

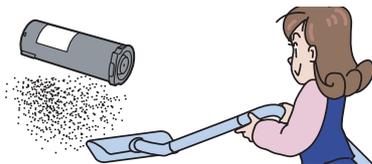


アースを付けて使用してください。

2極/3極変換プラグを使用するときは、以下のことについて注意してください。

- 2極/3極変換プラグを使用するときは、アース線を次のいずれかに取り付けてください。
 - 電源コンセントのアース端子
 - 銅片などを650mm以上地中に埋めたもの
 - 接地工事（D種）を行っている接地端子
- アース線の取り付けは、必ず電源プラグを電源コンセントに差し込む前に行ってください。また、アース線を外す場合は電源プラグを電源コンセントから抜いてから行ってください。
- 次のようなところにはアース線を接続しないでください。
 - ガス管（引火や爆発のおそれがあります。）
 - 電話専用アース線および避雷針（落雷時に大量の電流が流れるおそれがあります。）
 - 水道管や蛇口（配管の途中がプラスチックになっている場合はアース役目を果たしません。）

掃除機でトナーを吸い取らない



床などにこぼしたトナーは、ほうきで掃き取るか、固くしぼった布などでふき取ってください。掃除機でトナーを吸い取ると、吸い取ったトナーが掃除機の内部で粉じん発火・爆発するおそれがあります。

注意

壊れた液晶ディスプレイ
には触らない



壊れた液晶ディスプレイには触らないでください。操作パネルの液晶ディスプレイ内には人体に有害な液体があります。万一、壊れた液晶ディスプレイから流れ出た液体が、口に入った場合は、すぐにうがいをして、医師に相談してください。また皮膚に付着したり目に入った場合は、すぐに流水で15分以上洗浄して、医師に相談してください。

雷が鳴りだしたら
プリンターに触らない



火災・感電の原因となります。雷が発生しそうなときは電源プラグをコンセントから抜いてください。また雷が鳴りだしたらケーブル類も含めてプリンターには触らないでください。

電源コードに薬品類
をかけない



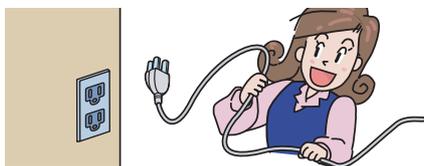
電源コードに殺虫剤などの薬品類をかけないでください。コードの被覆が劣化し、感電や火災の原因となることがあります。

プリンター内に
異物を入れない



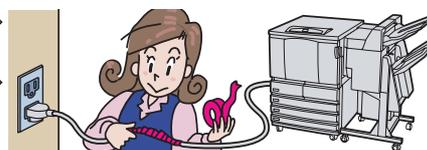
プリンター内に水などの液体、ピンやクリップなどの異物を入れないでください。火災や感電、故障の原因となります。もし入ってしまったときは、すぐ電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に連絡してください。

電源コードを抜くときは
コードを引っ張らない



電源プラグを抜くときはプラグ部分を持って行ってください。コード部分を引っ張るとコードが破損し火災や感電の原因となるおそれがあります。

損傷した電源コード
は使わない

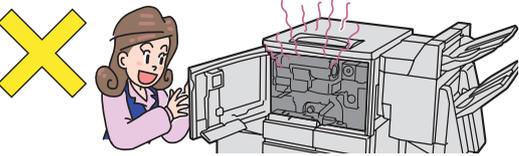


電源コードが破損した場合は、ビニールテープなどで補修して使用しないでください。補修した部分が過熱し、火災や感電の原因となるおそれがあります。損傷したときは、すぐに同じ電源コードに取り替えてください。

注意

高温注意



× 

プリンターのカバーを開けて作業する場合は、十分に冷めてから行ってください。プリンターの内部には使用中に高温になるフューザーユニットという部品があり、触ると火傷するおそれがあります。

巻き込み注意



× 

プリンターの動作中は用紙挿入口、排出口に手や髪の毛を近づけないでください。髪の毛を巻き込まれたり、指をはさまれたりしてけがをするおそれがあります。

目や口にトナーを入れない



× 

トナーカートリッジに入っているトナーを目や口に入れないでください。トナーが目や口に入ると健康を損なうおそれがあります。特にお子様の手の届かないところに保管し、お子様が触れないようにしてください。

不安定な場所に置かない

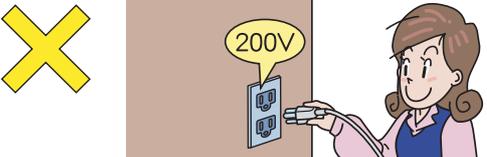


× 

プリンターを不安定な場所には置かないでください。プリンターが破損するおそれがあるばかりではなく、思わぬけがや周囲の破損の原因となることがあります。

100V以外のコンセントに差し込まない



× 

電源は指定された電圧、電流の壁付きコンセントをお使いください。指定外の電源を使うと火災や漏電になることがあります。

直射日光が当たる場所には置かない



× 

プリンターを窓ぎわなどの直射日光が当たる場所には置かないでください。そのままにすると内部の温度が上がり、プリンターが異常動作したり、火災を引き起こしたりするおそれがあります。

注意

作動中のフィニッシャーに触れない



フィニッシャーが作動しているとき、作動部分には触れないでください。指をはさみ、けがをするおそれがあります。

プリンターを移動する時は2人以上で



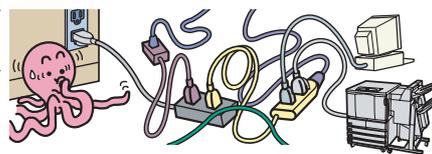
プリンターの質量は約185kgです（トナーカートリッジ含む）。プリンターを移動するときは、2人以上で作業してください。

専用電源コード以外は使わない



プリンターに添付されている電源コード以外のコードを使わないでください。電源コードに定格以上の電流が流れると火災になるおそれがあります。

電源コードをたこ足配線にしない



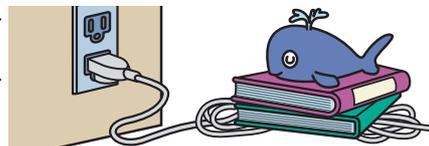
コンセントに定格以上の電流が流れると、コンセントが過熱して火災の原因となるおそれがあります。

電源プラグを中途半端に差し込まない



電源プラグはしっかりと差し込んでください。中途半端に差し込んだまま、ほこりがたまと接触不良の発熱による火災の原因となるおそれがあります。また、プラグ部分は時々抜いて、乾いた布でほこりやゴミをよくふき取ってください。ほこりがたまったままで、水滴などが付くと発熱し、火災となることがあります。

電源コードは曲げたりねじったりしない



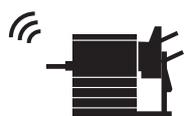
電源コードを無理に曲げたり、ねじったり、束ねたり、ものを載せたり、はさみ込んだりしないでください。またステーブルなどで固定することも避けてください。コードが破損し、火災や感電の原因となるおそれがあります。

無線LANアダプターに関する安全上のご注意

オプションの無線LANアダプターを取り付けた場合の注意事項について説明します。



心臓ペースメーカーに
近づけない



埋め込み型心臓ペースメーカーを装着されている方は、無線LANアダプターをペースメーカー装着部から22cm以上離して使用してください。心臓ペースメーカーの近くで使用するとペースメーカーが正しく動作しないおそれがあります。

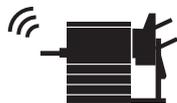
使用禁止区域では
使用しない



心臓ペースメーカーや補聴器などの医療機器を使用している方が近接する可能性がある場所では使用しないでください。特に医療機関側が無線LANボードの使用を禁止した区域では、無線LANアダプターを使用しないでください。また、医療機関側が無線LANアダプターの使用を認めた区域でも近くで医療用電気機器が使用されている場合にはプリンターの電源は切ってください。

無線LANアダプターの電波出力は、例えば携帯電話などに比べてはるかに低く抑えられており、医療電気機器に与える影響は極めて少ないものですが、医療機器が正しく動作しないおそれがあります。使用に際しては各医療機関の指示に従ってください。詳しい内容については、各医療機関にお問い合わせください。

飛行機内では
使用しない



飛行機内では無線LANアダプターを装着したプリンターの電源は切ってください。電子機器に影響を与え、事故の原因となるおそれがあります。現在、各航空会社では航空機の飛行状態などに応じて、機内での無線機器・電子機器などの使用を禁止しており、無線LANアダプターもその該当機器となります。詳しい内容については、各航空会社にお問い合わせください。

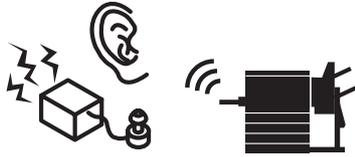
ぬれた手で触らない



無線LANアダプターがプリンターに取り付けられているときに、ぬれた手で無線LANアダプターやプリンターに触らないでください。ぬれた手で触ると感電するおそれがあります。

 **注意**

補聴器のそばで
使用しない



補聴器を装着されている方、またはその近くで無線LANアダプターを使用しないでください。補聴器を装着されている方の近くで無線LANアダプターを使用すると、補聴器にノイズを引き起こし事故の原因となるおそれがあります。

MultiWriter 6600について

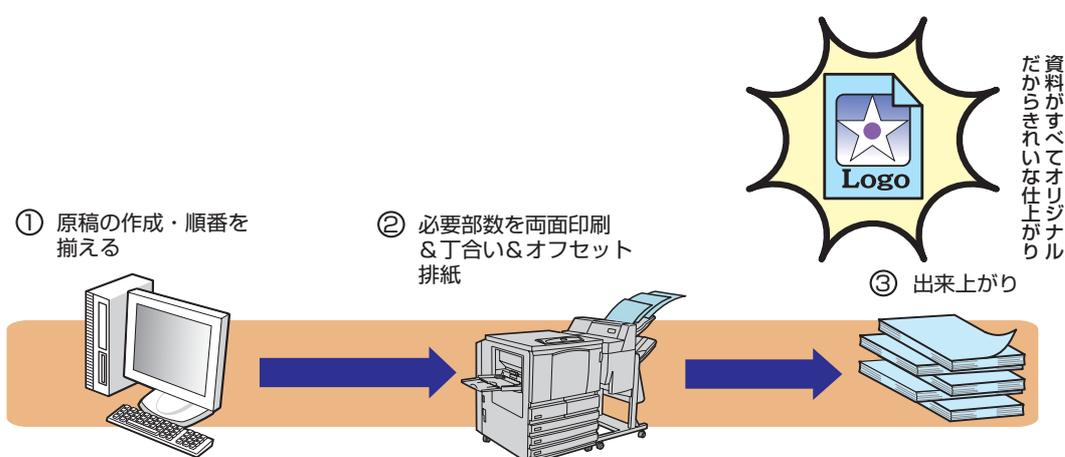
MultiWriter 6600に搭載されているPrintAgentの機能を使うと、MultiWriterをコピー機のような使い方ができるばかりでなく、手間のかかる原稿の準備作業がコンピューター上でできます。

コピー機を使ってドキュメントを複数コピーする作業と比較すると、導入コストやランニングコストを低く抑えることができます。しかも、オリジナル出力なので仕上がりがきれいです。



コピー機を使わずに必要部数をそのまま印刷

MultiWriter 6600は簡単仕分け印刷として合紙機能を標準、オフセット排紙をオプションでサポートしています。例えば、会議の資料は原稿をコピー機で複数コピーするのではなく、MultiWriterで必要な分だけ直接印刷すれば、オリジナルの品質で資料が作成できます。



¥ コピー機よりコストが安い

MultiWriter 6600を使った場合、コピー機のような契約によるコピーチャージや定期保守費用などを必要としません。MultiWriterはトナーカートリッジ化にすることで、トナー交換の作業を容易にし、メンテナンスを不要にしています。さらに、約33,000ページ*¹印刷可能なトナーカートリッジ（型番：PR-L6600-12）は、1枚あたり約1.6円*²と低コストです。MultiWriterの導入は同等機能のコピー機を導入する場合と比較した場合、ランニングコストが半分以下で済みます。

*¹ A4サイズ1枚あたりの画像面積比（1ページ中の黒い部分の面積比と積比と印刷範囲との比率）が約5%の片面連続印刷時

*² 平成15年9月現在



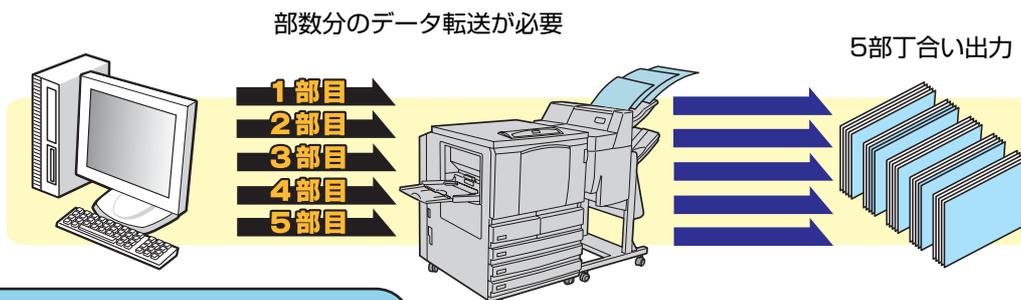
高速印刷・電子ソートですばやい仕上がり

MultiWriter 6600は、毎分71ページの高速印刷を実現。しかも電子ソート機能*1を使えばプリンターのメモリーに印刷データを蓄えて必要部数を印刷するので、コンピューターからプリンターへ部数分のデータ転送が不要です*2。これによって、トータル印刷処理時間が短縮されます。

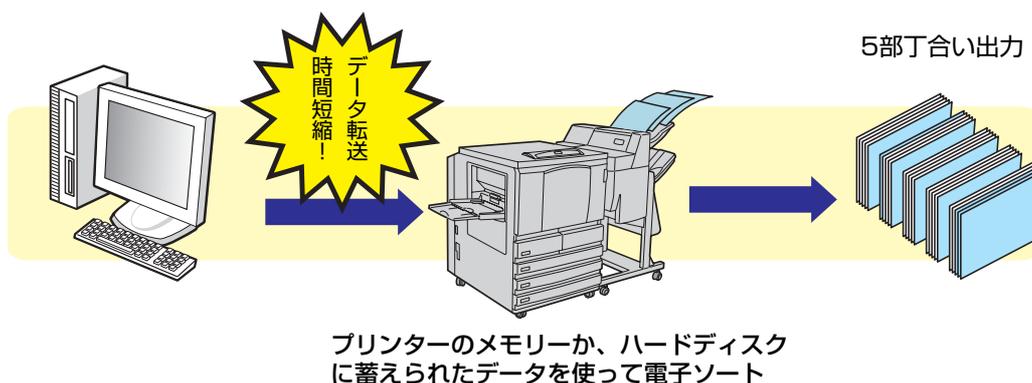
*1 ハードディスクを追加することにより、多量のページを蓄えることができます。

*2 増設メモリー容量、ページ数により必要枚数分データ転送を行う場合があります。

従来の丁合い機能を使った出力



電子ソート機能を使った出力

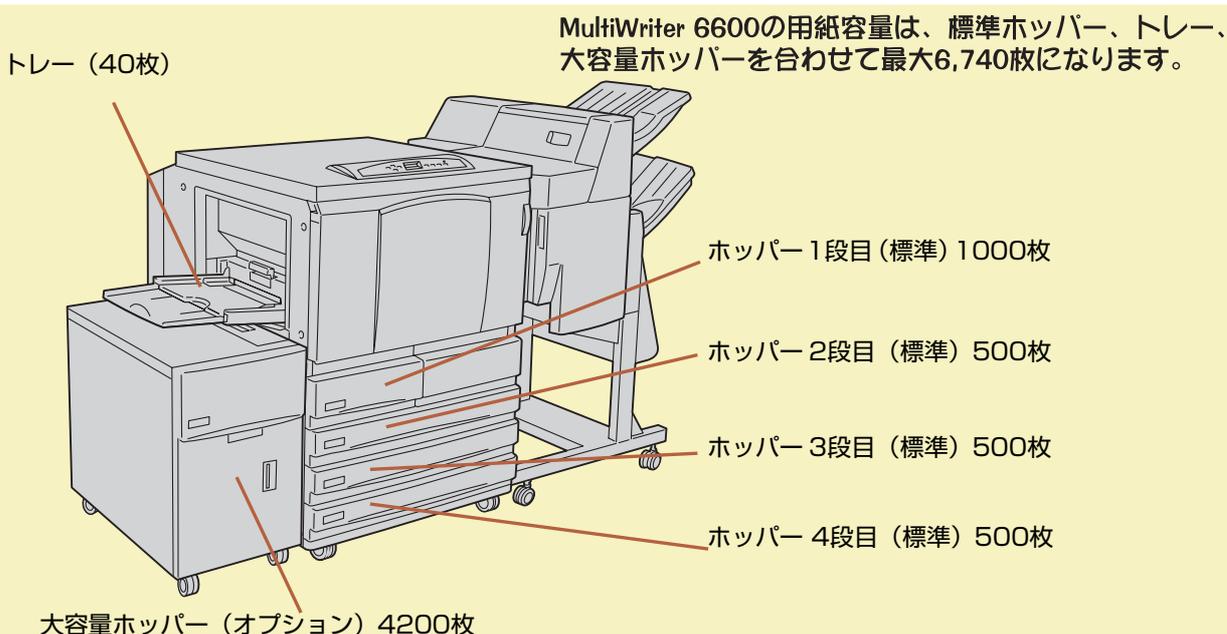




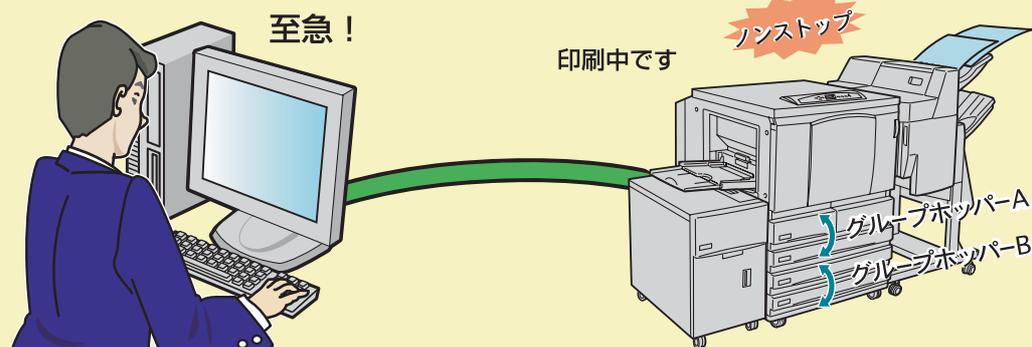
用紙がなくなると自動的に切り替え（グループホッパー）

給紙元として使っているいくつかのホッパーを組み合わせることで1つのグループにします*1。印刷中、そのグループ化したホッパーの中で用紙が足りなくなると*2、次のホッパーに自動的に切り替わる*3ので、連続印刷・多量印刷データができてとても便利です。オプションの大容量ホッパー（4,200枚積載可）があるとさらに便利です。

- *1 グループA、グループBの2つのグループを設定可能。プリンタードライバーからは、ホッパーの組み合わせを気にせず、直接グループホッパーを指定することができます。
- *2 操作パネルのディスプレイで、用紙がなくなったホッパーを確認することができます。
- *3 用紙が足りなくなったホッパーには、印刷中でも用紙をつぎ足すことができます。このことによりノンストップ印刷が可能となります。

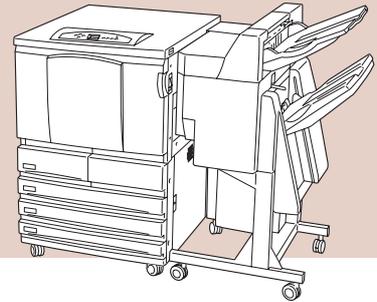


1台のプリンターのホッパーをフルに活用して、紙を補給する手間なく印刷ができます。



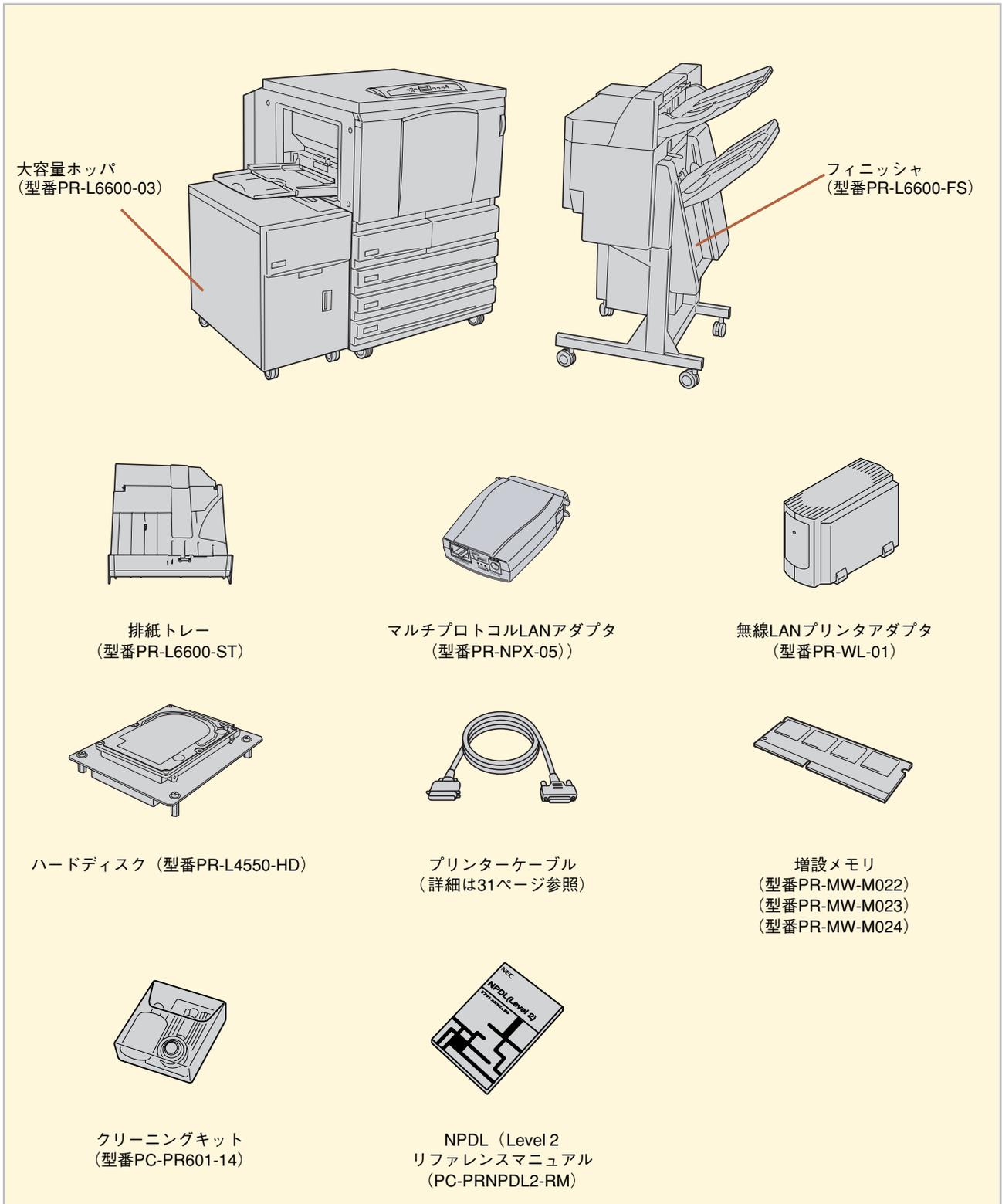
メ 毛

1章 オプション



この章では、MultiWriter 6600用として提供される別売品（オプション）を紹介し、その取り付け、取り外し、テスト印刷の方法などについて説明します。

- オプション品の紹介 15ページ
- 大容量ホッパー 19ページ
- フィニッシャー 24ページ
- 排紙トレイ 25ページ
- LANアダプター 26ページ
- 増設メモリー 28ページ
- ハードディスク 30ページ
- 使用できるプリンターケーブル 31ページ



オプション一覧

オプション品の紹介

オプション品のご購入については、お買い求めの販売店、または添付の「NECサービス網一覧表」に記載されているサービス窓口などにお問い合わせください。

オプション

大容量ホッパ(型番 PR-L6600-03)

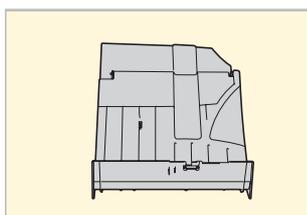


大容量ホッパーにセットできる用紙は、A4、B5、レターサイズの用紙（普通紙）で最大4,200枚（64g/m²）までセットすることができます。用紙サイズを自動的に認識することができます。

用紙サイズラベルが添付されています。

項目	型番 PR-L6600-03
サイズ	350(W)× 652(D)×580(H) mm
質量	45kg
用紙種類サイズ	普通紙、厚紙：A4、B5、レター、ラベル紙（A4）
用紙坪量	64～150g/m ²
給紙容量	最大4200枚（64g/m ² ）

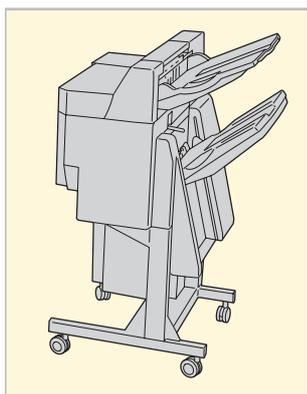
排紙トレイ (型番 PR-L6600-ST)



用紙をスタックするためのトレイです。最大500枚（64g/m²）スタックできます。

項目	型番 PR-L6600-ST
サイズ	330(W)× 360(D) ×230(H) mm
質量	約1.5kg

フィニッシャ (型番 PR-L6600-FS)



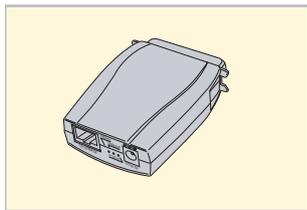
A4サイズ横置きでトップトレイは最大500枚（64g/m²）、スタックカートレイは最大2,100枚（64g/m²）、大容量排紙ができます。

オフセット排紙機能*があります。

項目	型番 PR-6600-FS
サイズ	700(W)× 650(D)×1110(H) mm
質量	約55kg
用紙種類サイズ	トップトレイ：A3、B4、A4、B5、A5、レター、官製はがき、往復はがき スタックカートレイ：A3、B4、A4、B5、レター
用紙坪量	トップトレイ：64～197g/m ² スタックカートレイ：64～150g/m ²
排紙容量	トップトレイ：最大500枚（64g/m ² ） スタックカートレイ：最大2,100枚（64g/m ² 、A4サイズ以下のとき）
後処理機能	オフセット排紙

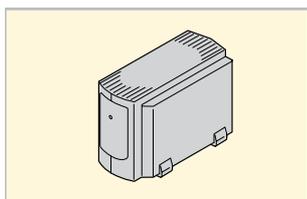
* 印刷ジョブごとに用紙を左右にずらしてトレイに排出する機能です。

マルチプロトコルLANアダプタ(型番 PR-NPX-05)



100BASE-TX、10BASE-Tインターフェースを装備し、プリンターのパラレルインターフェースに直接接続する外付けLANアダプターです。本プリンターアダプターはPrintAgent、NEC Internet Printing System (IPP)、NEC TCP/IP Port、SNMP (Printer-MIB) には対応していません。詳しくはPR-NPX-05のセットアップガイドをご覧ください。

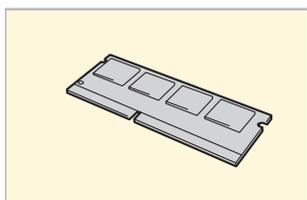
無線LANプリンタアダプタ(型番 PR-WL-01)



WindowsのTCP/IPプロトコルに対応している外置き型の無線LANアダプターです。

増設メモリ (128MB)、(256MB)、(512MB)

(型番 PR-MW-M022、PR-MW-M023、PR-MW-M024)



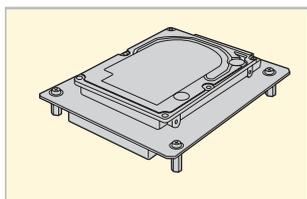
このボードは、DDR SDRAMを搭載したDIMMです。MultiWriter 6600には、128MB、256MB、512MBの最大2枚の組み合わせで、取り付けることができます（出荷時は128MBの1枚が実装されています）。取り付けにより次の効果があります。

- 複雑な印刷データの印刷性能向上
- フォーム登録数の増加
- 受信バッファの拡大

増設メモリーが対応しているメモリー容量は以下のとおりです。

品名	型番	メモリー容量
増設メモリ (128MB)	PR-MW-M022	128MB
増設メモリ (256MB)	PR-MW-M023	256MB
増設メモリ (512MB)	PR-MW-M024	512MB

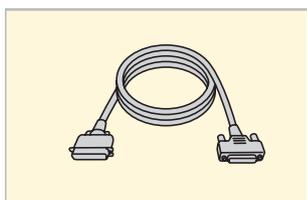
ハードディスク(型番 PR-L4550-HD)



プリンター本体に内蔵することにより、より強化された電子ソート機能が可能となります。電子ソートとは、印刷データの複数部コピー要求があった場合にプリンター内部で部数毎に印刷を繰り返し、1つのトレイに出力する機能です。

ハードディスクをご使用になることにより、電子ソートの上限は用紙サイズに関係なく200ページとなります。

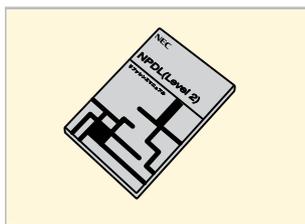
プリンターケーブル



プリンターケーブルはお使いのコンピューターによって違います。詳細については、「使用できるプリンターケーブル」(31ページ)をご覧ください。

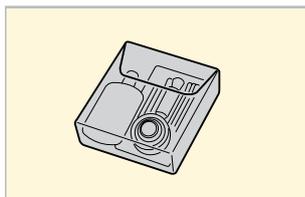
日本語ページプリンタ言語NPLD(Level2)リファレンスマニュアル

(型番 PC-PRNPDL2-RM)



ページプリンターの様々な動作を制御する命令およびプログラミングについての詳しい解説書です。

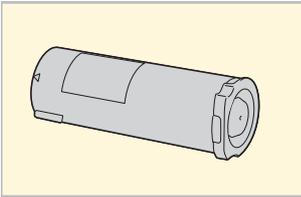
クリーニングキット(型番 PR-PR601-14)



プリンターの清掃に便利な用具一式が入っています。

消耗品

トナーカートリッジ (型番 PR-L6600-12)

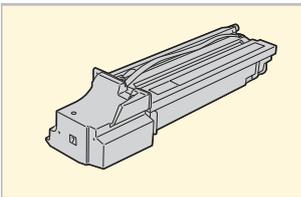


約33,000ページの印刷が可能なトナーカートリッジです。

✓ チェック

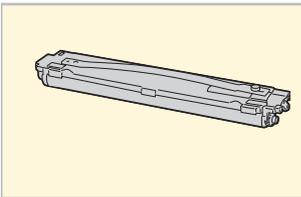
トナーカートリッジの1個当たりの印刷可能ページ数はA4用紙サイズに画像面積比5%の連続印刷を行ったときの値です。「8章 日常の保守」(299ページ)を参照してください。印刷用紙サイズ、画像面積比印刷に関する設定の要素によって、印刷可能ページ数は異なります。

ドラムカートリッジ (型番 PR-L6600-31)



約110,000ページの印刷が可能なドラムカートリッジです。

クリーニングカートリッジ (型番 PR-L6600-34)



フューザーユニットの汚れをふきとる役目をするカートリッジです。約50,000ページの印刷ごとに交換します。

大容量ホッパー

大量印刷をサポートするために、MultiWriter 6600には大容量ホッパーが用意されています。

大容量ホッパーの取り付け



チェック

このオプションは、お客様による取り付けができません。取り付け作業はサービス担当者が行いますので（有償）、ご購入の際は、お買い求めの販売店に取付けを依頼してください。

大容量ホッパーへの用紙のセット

大容量ホッパーへの用紙のセット方法については、5章の「大容量ホッパーに用紙をセットする」(245ページ)をご覧ください。

大容量ホッパーの切り替え

大容量ホッパーを取り付けたときに必要なホッパーの切り替えについて説明します。取り付けた大容量ホッパーから給紙するためには、操作パネル上でホッパー表示を「ホッパ5」にします。ホッパーの選択には、選択した状態をどこまで維持させるかによって、2つの方法があります。

- プリンターの電源がOFFされるまで維持する方法..... [ホッパ] スイッチによる切り替え
- プリンターが初期化されても大容量ホッパーが選択される方法..... メニューモードによる切り替え

次にそれぞれの選び方について説明します。

プリンターの電源がOFFされるまで維持する方法

操作パネルの [ホッパ] スイッチを使って大容量ホッパーを選択します。

① [印刷可] スイッチを押し、印刷可ランプを消灯させる。

② [ホッパ] スイッチを押し、ディスプレイの表示を“ホッパ5”にする。

ホッパ 5 A4ヨコ ホ ー ト
フツウシ N P D L

③ [印刷可] スイッチを押し、印刷可ランプを点灯させる。

④ コンピューターからデータを送る。

この状態は以下の方法で変更しない限り、設定は維持されます。

- 同じ方法でホッパーの選択を変更する
- トレー給紙に変更する
- 電源をOFFにする
- コンピューターから変更する
- プリンターを初期化する

プリンターが初期化されても大容量ホッパーが選択される方法

メニューモード内のプリンターの初期設定を変更します。

① メニューモードに入る。

[印刷可] スイッチを押してプリンターをディセレクト状態にし、[メニュー] スイッチを押して“テストメニュー →”メニューを表示させます。

テストメニュー →

② [▼] スイッチを2回押す。

“ヨウシメニュー →”を表示させます。

ヨウシメニュー →

③ [▶▶] スイッチを2回押す。

ホッパー初期設定の表示になります。

ホッパ° ショキセツテイ
← ホッパ° 1*

④ [設定変更] スイッチを押して、ディスプレイ下段を“← ホッパ5”に変更する。

ホッパ° ショキセツテイ
← ホッパ° 5*

⑤ [メニュー終了] スイッチを押し、印刷可ランプを点灯させる。

ディスプレイ上段に“ホッパ5 ×× ×××”と表示されていれば設定は完了です。表示されていないときはもう一度最初からやり直してください。

ホッパ° 5 A4ヨコ ホ° ート
フツウシ NPD L

この状態は、同じ方法でホッパーの選択をしない限り維持されます。

テスト印刷

大容量ホッパーが正しく取り付けられたことを確認するために、テスト印刷のステータス印刷を行います。

① [印刷可] スイッチを押し、印刷可ランプを消灯させる。

② [メニュー] スイッチを1回押す。

ディスプレイには“テストメニュー →”を表示されます。

テストメニュー →

③ [▶▶] スイッチを1回押す。

ディスプレイ下段には“ステータスインサツジッコウ →”を表示されます。

テストメニュー
← ステータスインサツジッコウ →

④ [▶▶] スイッチを1回押す。

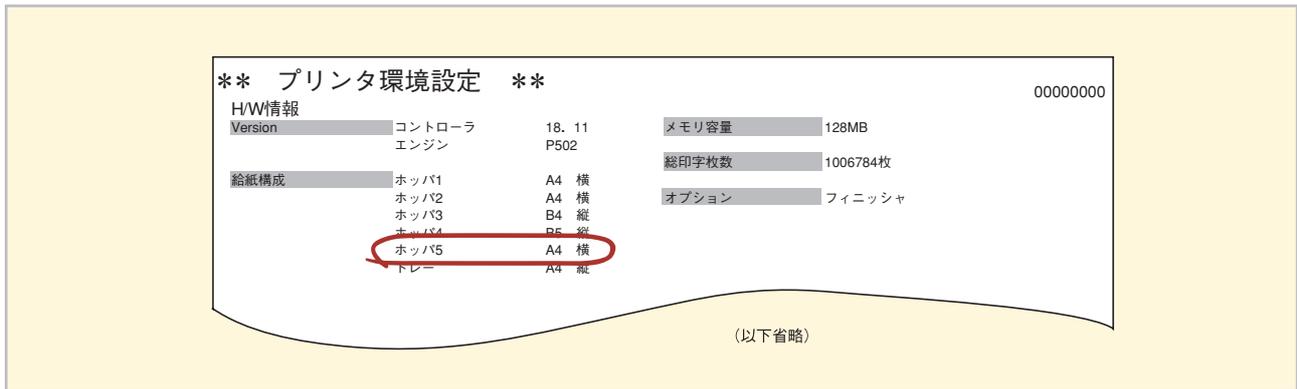
プリンターはステータス印刷を開始し、ディスプレイには“テストインサツチュウ”を表示されます。

テストインサツチュウ

✓ チェック

大容量ホッパーを取り付けた場合は、「給紙構成」に「ホッパ5」と印刷されます。

大容量ホッパーのステータス印刷の例



ステータス印刷が終了すると、自動的に印刷可ランプが点灯し、印刷できる状態になります。

リレー給紙の設定

印刷している給紙先の用紙がなくなったときに、自動的に別の給紙先から用紙を吸入し印刷を続ける機能です。

リレー給紙を有効にするために、メニューモードのリレー給紙設定をする必要があります。以下の手順で印刷してください。

Step 1 リレー給紙を有効にする

Step 2 給紙方法を設定する

Step 1 リレー給紙を有効にする

リレー給紙を有効にするために、プリンターの設定を行います。

- 1 **メニューモードに入る。**
[印刷可]スイッチを押してプリンターをディセレクト状態にし、[メニュー]スイッチを押して“テストメニュー →”を表示させます。

- 2 **「▼」スイッチを2回押す。**
“ヨウシメニュー →”と表示されます。

ヨウシメニュー →

- 3 **「▶」スイッチを1回、「▼」スイッチを3回、「▶」スイッチを1回押す。**
リレー給紙の設定になります。

リレーキューシ セッテイ
← ホッパ 1 リレー OFF *

- 4 **操作パネルの「▼」スイッチ、「▶」スイッチ、「設定変更」スイッチを押して、リレー給紙させるホッパーまたはトレイをONにする。**
詳しくは、7章の「メニューツリー」(269～277ページ)を参照してください。

✓**チェック**

リレー給紙させるホッパーまたはトレイすべての“リレーキューシ”をONにしてください。



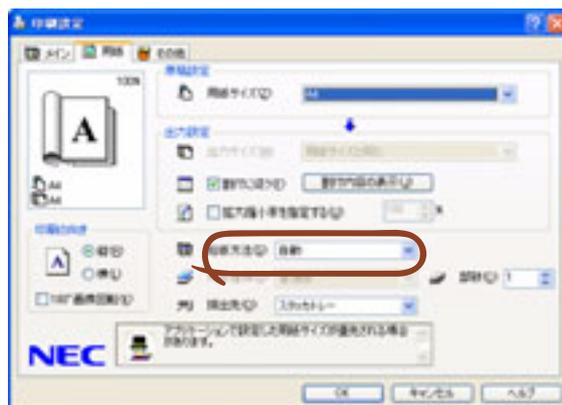
リレーキューシ セッテイ
←ホッパ1 リレー ON*

- 5 **[メニュー終了]スイッチを押す。**
- 6 **設定が終わったら、リレー給紙を有効にしたホッパーまたはトレイの用紙サイズ、用紙の種類、用紙のセット方向が同じになっているか確認する。**

Step 2 給紙方法を設定する

印刷を開始するときに、[給紙方法]で[自動]を選択します。

- 1 **プリンタードライバーのプロパティダイアログボックスの[用紙]シートを開く。**
- 2 **ホッパーの給紙方法が[自動]になっていることを確認する。**
プリンタードライバーの給紙方法を確認するには、ユーザーズマニュアル「5章 印刷するには」を参照してください。



- 3 **[印刷]ダイアログボックスで印刷範囲、印刷部数を指定し、[OK]をクリックして印刷する。**

大容量ホッパーの取り外し

大容量ホッパーの取り外し作業はサービス担当者が行いますので、プリンターに添付の「NECサービス網一覧表」に記載されているサービス窓口へお問い合わせください。

フィニッシャー

大量印刷をサポートするためにMultiWriter 6600にはフィニッシャーが用意されています。

フィニッシャーの取り付け



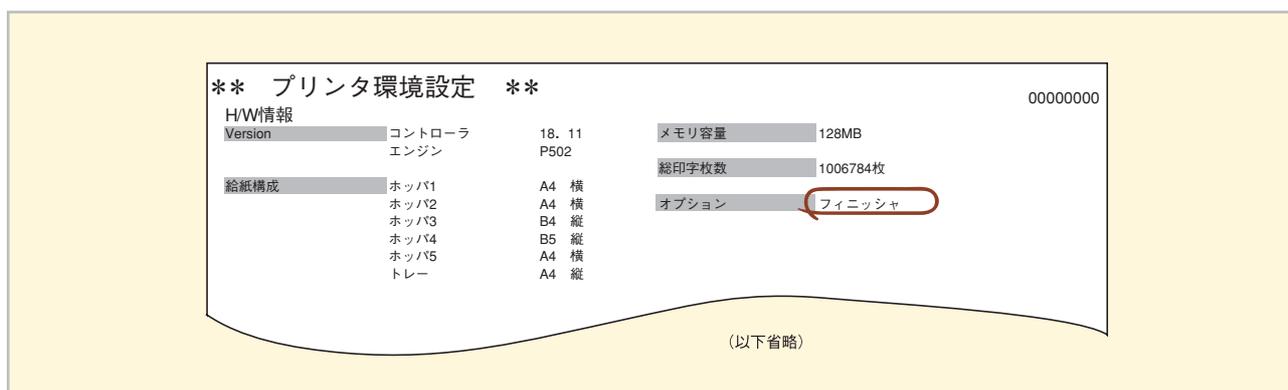
チェック

このオプションは、お客様による取り付けができません。取り付け作業はサービス担当者が行いますので（有償）、ご購入の際は、お買い求めの販売店に取り付けを依頼してください。

テスト印刷

フィニッシャーが正しく取り付けられたことを確認するために、テスト印刷のステータス印刷を行います。手順については本章の「テスト印刷」（20ページ）を参照してください。

フィニッシャーのステータス印刷の例



ステータス印刷が終了すると、自動的に印刷可ランプが点灯し、印刷できる状態になります。

フィニッシャーの取り外し

フィニッシャーの取り外し作業はサービス担当者が行いますので、プリンターに添付の「NECサービス網一覧表」に記載されているサービス窓口にお問い合わせください。

排紙トレイ

排紙トレイには最大500枚（64g/m²）スタックできます。

排紙トレイの取り付け



チェック

このオプションは、お客様による取り付けができません。取り付け作業はサービス担当者が行いますので（有償）、ご購入の際は、お買い求めの販売店に取付けを依頼してください。

排紙トレイの取り外し

排紙トレイの取り外し作業はサービス担当者が行いますので、プリンターに添付の「NECサービス網一覧表」に記載されているサービス窓口にお問い合わせください。

LANアダプター

MultiWriter 6600でご使用になれるLANアダプターのオプションは、PR-NPX-05、PR-WL-01の2種類です（16ページ参照）。

LANアダプターの取り付け・取り外し手順を説明します。使い方や操作方法については、LANアダプターに添付の取扱説明書をご覧ください。

✓チェック

LANアダプターのコネクタ部には手を触れないでください。手を触れるとコネクタ部の接点が汚れ、接触不良となることがあります。

LANアダプターの取り付け

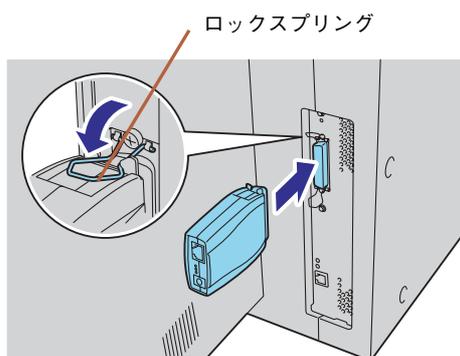
ここではマルチプロトコルLANアダプタ（型番PR-NPX-05）の取り付け手順を説明します。無線LANプリンタアダプタ（型番 PR-WL-01）の取り付け手順についてはLANアダプターに添付の取扱説明書をご覧ください。

- 1 プリンターの電源を OFF にし、電源コード、プリンターケーブルをプリンターから取り外す。

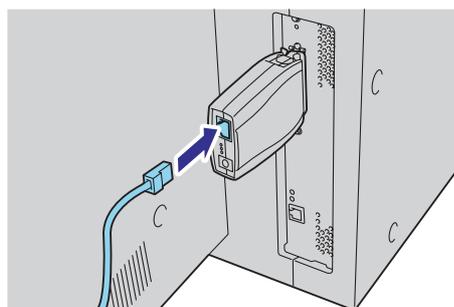
⚠重要

電源は確実にOFFにしてください。ONにしたまま取り付けると、故障の原因となることがあります。

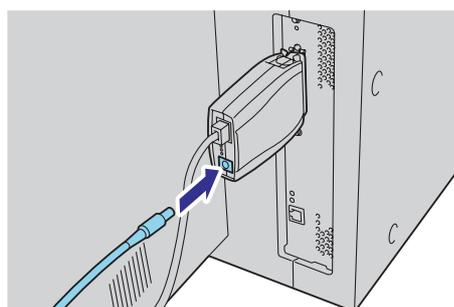
- 2 LANアダプターの平行インターフェース用ソケットとプリンターの平行インターフェースコネクタを直接接続する。
プリンターのコネクタ両端のロックスプリングで固定します。



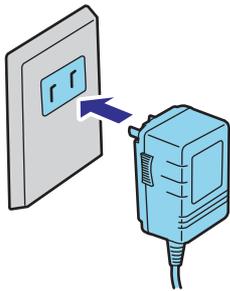
- 3 ネットワークケーブルのコネクタを LAN アダプターのイーサネット用コネクタに差し込む。



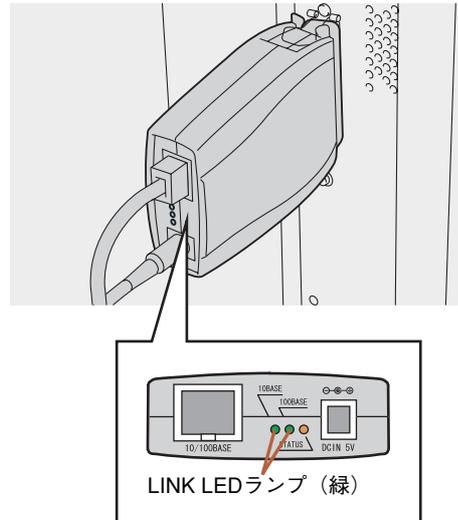
- 4 LANアダプター付属のACアダプターのDCプラグをLANアダプターのDCソケットへ差し込む。



LANアダプターのACアダプターをコンセントに差し込む。



LANアダプターの背面にあるLINK LEDランプが緑色に点灯することを確認する。



電源コードをプリンターに取り付ける。

プリンターの電源をONにする。

LANアダプターの取り外し

LANアダプターを取り外すときは、LANアダプターがデータを受信中でないことを確認してから、プリンターの電源をOFFにして取り付け手順 から逆に行ってください。

増設メモリー

増設メモリーを取り付けることで、次のような効果があります。

- フォーム登録数の増加
- 受信バッファの拡大
- 複雑な印刷データの印刷性能向上



重要

MultiWriter 用の増設メモリーをご使用ください。他の情報処理機器用の増設メモリーは使用しないでください。本増設メモリー以外のRAMボードを使用すると、本プリンターが破損する場合があります。

増設メモリーの取り付け



チェック

このオプションは、お客様による取り付けができません。取り付け作業はサービス担当者が行いますので（有償）、ご購入の際は、お買い求めの販売店に取り付けを依頼してください。

テスト印刷

増設メモリーが正しく取り付けられたかを確認するためにテスト印刷のステータス印刷を行います。手順については、「テスト印刷」（20ページ）を参照してください。

次のように印刷されていれば、増設メモリーは正しく取り付けられたことになります。

The screenshot shows the printer's environment settings. The 'メモリ容量' (Memory Capacity) is highlighted with a red circle and shows a value of 384MB. Other settings include Version 18.11, P502 engine, and various tray configurations.

** プリンタ環境設定 **		00000000
H/W情報		
Version	コントローラ	18. 11
	エンジン	P502
給紙構成		
	ホッパ1	A4 横
	ホッパ2	A4 横
	ホッパ3	B4 縦
	ホッパ4	B5 縦
	ホッパ5	A4 横
	トレー	A4 縦
	メモリ容量	384MB
	総印字枚数	1006784枚
	オプション	フィニッシャ
(以下省略)		

増設メモリーを増設したステータス印刷の例 (標準メモリー 128MBに256MBメモリーを増設した場合)

ステータス印刷が終了すると、自動的に印刷可ランプが点灯し、印刷できる状態になります。

増設メモリーの取り外し

増設メモリーの取り外し作業はサービス担当者が行いますので、プリンターに添付の「NECサービス網一覧表」に記載されているサービス窓口にお問い合わせください。

ハードディスク

ハードディスクを取り付けると、電子ソート機能のページ数を増加できます。



ハードディスクを取り付けた場合、電子ソートが可能なページ数は用紙サイズに関係なく一律200ページです。

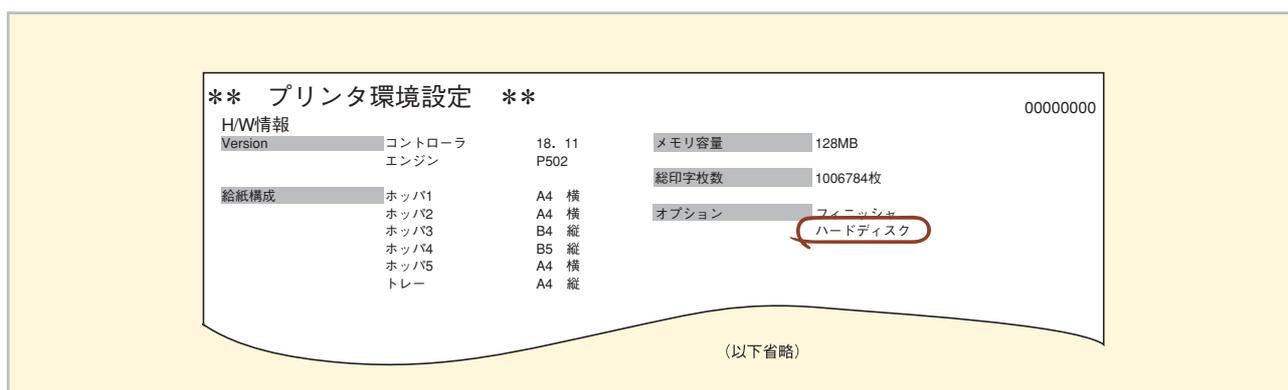
ハードディスクの取り付け



このオプションは、お客様による取り付けができません。取り付け作業はサービス担当者が行いますので（有償）、ご購入の際は、お買い求めの販売店に取り付けを依頼してください。

テスト印刷

ハードディスクが正しく取り付けられたかを確認するためにテスト印刷のステータス印刷を行います。手順については、「テスト印刷」（20ページ）を参照してください。



ハードディスクのステータス印刷の例

ハードディスクの取り外し

ハードディスクの取り外し作業はサービス担当者が行いますので、プリンターに添付の「NECサービス網一覧表」に記載されているサービス窓口にお問い合わせください。

使用できるプリンターケーブル

MultiWriter 6600で使用できるプリンターケーブルは次の表のとおりです。お使いになっているコンピューターによって使用できるプリンターケーブルが異なります。

コンピューター		プリンターケーブル* 1
PC98-NXシリーズを含む IBM PC/AT互換機 (DOS/ V対応機)	PC98-NXシリーズ	PC-PRCA-01 PC-CA205*2
	IBM、富士通、東芝、DELL、その他各社	PC-PRCA-01
PC-9800シリーズデスク トップタイプミニタワー タイプ	98MATEシリーズ (除くAp・As・Ae・Af) 98MATEサーバシリーズ 98FELLOWシリーズ (除くBA・BX) 98MULTiシリーズ (除くCe) 98MULTiCanBeシリーズ VALUE STARシリーズ CEREB 98FINE PC-H98シリーズ *4	PC-CA202*3 PC-CA204*2
	PC-98XA・XL・XL ² ・RL *4	PC-PR801-21 (パソコン本体に標準添付)
	上記以外の14ピンパラレルインターフェースを持つデスクトップ タイプ	PC-CA203*2
98サーバシリーズ	SV-H98シリーズ *4 SV-98シリーズ	PC-CA202*3 PC-CA204*2
98NOTEシリーズ	Lavieシリーズ Aileシリーズ 98NOTE Light PC-9821Nf・Np・Nx・Nd・Nm・Ne3・Ne2・Nd2 PC-9801NL/A・NS/A	PC-CA202*3 PC-CA204*2
	上記以外の20ピンパラレルインターフェースを持つ98NOTEシ リーズ	PC-9801N-19
PC-9800シリーズ ラップトップタイプ	PC-9821Ts	PC-CA202*3 PC-CA204*2
プリンタ増設インタフェースボード (PC-9801-94)		PC-CA202*3 PC-CA204*2
Express5800シリーズ		K210-10 (01) *3 K210-10 (04) *2

*1 他社のケーブルをお使いになる場合、運用した結果の影響については責任を負いかねます。

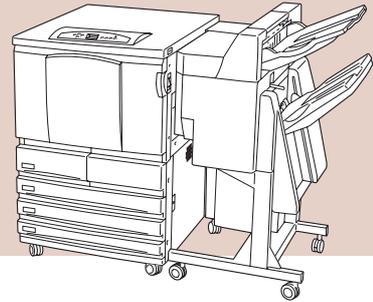
*2 PC-CA203、PC-CA204、PC-CA205、K210-10 (04) のケーブルの長さは4.0m。

*3 PC-CA202、K210-10 (01) のケーブルの長さは1.5m。

*4 ハイレゾリューションモードでは、プリンタステータスウィンドウ機能、音声メッセージ機能は利用不可。

メモ

2章 プリンターソフトウェアの インストール



この章では、Windows XP*¹、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0、Windows Me、Windows 98*²、Windows 95 日本語版環境にプリンターソフトウェア*³をインストールし、プリンターを指定するまでの手順について説明します。また、その他の環境で使用する際の設定も説明します。

*¹ 以下、本書でWindows XPと表記している場合は、Windows XP Home EditionとProfessionalを含みます。

*² 以下、本書でWindows 98と表記している場合は、Windows 98 Second Editionを含みます。

*³ プリンターソフトウェアは、次の2つのソフトウェアから構成されています。

- プリンタードライバー : Windows 環境でプリンターへの印刷制御を行うソフトウェアです。
- PrintAgent : 印刷統合管理ソフト「PrintAgent (プリントエージェント)」は、ネットワークプリンターで印刷するため豊富なサービスを提供するソフトウェアです。

重要

- MultiWriterのプリンターソフトウェアを正しくインストールするためには、インストールする前に「PrintAgentを正しく動作させるために」(327ページ)をお読みください。
- インストールプログラムを実行する前に、起動中のアプリケーションをすべて終了させてください。

Windows Server 2003をお使いのお客様へ

本書にWindows Server 2003の記述がない場合は、Windows XPの記述をWindows Server 2003に読み替えてください。

フロッピーディスクでインストールする場合

本書ではCD-ROMを使った手順を説明しています。プリンターソフトウェアCD-ROMから作成したプリンターソフトウェアディスクを使用してインストールする場合、インストールの途中でフロッピーディスクの交換を求める画面が表示されることがあります。その場合は画面の指示に従ってフロッピーディスクを入れ替えてください。

プリンターソフトウェアCD-ROMについて

MultiWriter 6600に添付のプリンターソフトウェアCD-ROMは、Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0、Windows Me、Windows 98、Windows 95のコンピューター環境に対応した、ソフトウェアを提供しています。

CD-ROMの構成は以下のとおりです。

□ メニュープログラム

- はじめに
プリンターソフトウェアCD-ROMについて注意事項などが書かれています。ご使用になる前にお読みください。
- インストール
Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0、Windows Me、Windows 98、Windows 95に対応した、プリンターソフトウェアをインストールできます。
- オンラインマニュアル
「MultiWriter 6600 活用マニュアル」の閲覧用（HTML形式）と、印刷用（PDF形式）の2つが収録されています。オンラインマニュアルを閲覧するためにはブラウザ、印刷するためには「Adobe Acrobat Reader」が必要です。詳細については「マニュアルの種類と使い方」（viページ）またはメニュープログラム内のユーティリティをご覧ください。
- ユーティリティ
 - － ドキュメント・ハンドリング・ソフトウェア「DocuWorks（体験版）」
 - － NEC Internet Printing System（Windows 98、Windows 95対応版およびWindows NT 4.0対応版）
 - － NEC TrueTypeバーコードフォントキット
NEC TrueTypeバーコードフォントとNEC TrueTypeバーコードフォントユーティリティです。
 - － NEC FontAvenue TrueTypeフォント3書体
 - － 帳票エディタ「帳楽」お試し版
 - － EASY設定ユーティリティ
 - － 無線LANプリンタ導入ウィザード
 - － Adobe Acrobat Reader
 - － PrintPortオフライン印刷ツール
- バージョンアップ
CD-ROMに収録されている最新のプリンタードライバーにアップデートできます。詳細や手順については「ご利用の前に」（Update.txt）または4章の「プリンタードライバーのバージョンアップ」（233ページ）をご覧ください。

その他に、MultiWriterシリーズのプリンターソフトウェアを収録しています。詳しくは、それぞれのソフトウェアに関連するフォルダー内にある、「はじめにお読みください」（Readme.txt）をご覧ください。

プリンターソフトウェアの動作環境

MultiWriter 6600に添付のプリンターソフトウェアの動作環境は以下のとおりです。

接続方法	動作コンピューター*1	対応OS	メモリー
ネットワークインターフェース パラレルインターフェース	PC98-NXシリーズを含むIBM PC/AT互換機 (DOS/V対応機)	Windows XP*2 (日本語版) Windows Server 2003*3 (日本語版) Windows 2000 (日本語版) Windows NT 4.0 (日本語版)	OSの動作条件に準じます。
	PC-9800シリーズ	Windows Me (日本語版) Windows 98 (日本語版) Windows 98 Second Edition (日本語版) Windows 95 (日本語版)	

*1 OSによって動作するコンピューター条件が異なります。詳しい動作条件は各OSのマニュアルを参照してください。

*2 Windows XP 64-Bit Editionには対応していません。

*3 64ビットバージョン Windows Server 2003には対応していません。

チェック

メモリーについては、PrintAgentをクライアント・サーバーシステムでご使用の場合、プリントサーバーには64Mバイト以上 (Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000の場合は256Mバイト以上) のメモリーを搭載し、運用されることを推奨します。

PrintAgentが利用できるネットワーク環境について

PrintAgentはネットワーク環境で、プリンターを次の形態でご使用の場合にご利用できます。

- 標準装備のLANインターフェースでプリンターがネットワークに接続されている。
- オプションのLANアダプターでプリンターが接続されている。(対応している型番については1章の「オプション」(13ページ)をご覧ください。)
- 無線LAN環境ではオプションの無線LANプリンタアダプタ (型番 PR-WL-01) で接続されている。
- 共有プリンターの場合 (クライアント・サーバー接続)、プリントサーバーコンピューターのOSがWindows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0、Windows Me、Windows 98、Windows 95で、プリントサーバーコンピューターに本プリンターソフトウェアがインストールされている。
- お使いのコンピューターに、ネットワークに接続するためのネットワークボード/カード/アダプターなどを接続し、ネットワークの設定にTCP/IPプロトコルがインストールされている。詳しくはOSのマニュアルをご覧ください。

重要

ネットワーク環境でネットワーク共有プリンターをお使いになるためには、あらかじめOSの共有設定を有効にしておく必要があります。詳しくはOSのマニュアルをご覧ください。

プリンターソフトウェアの容量

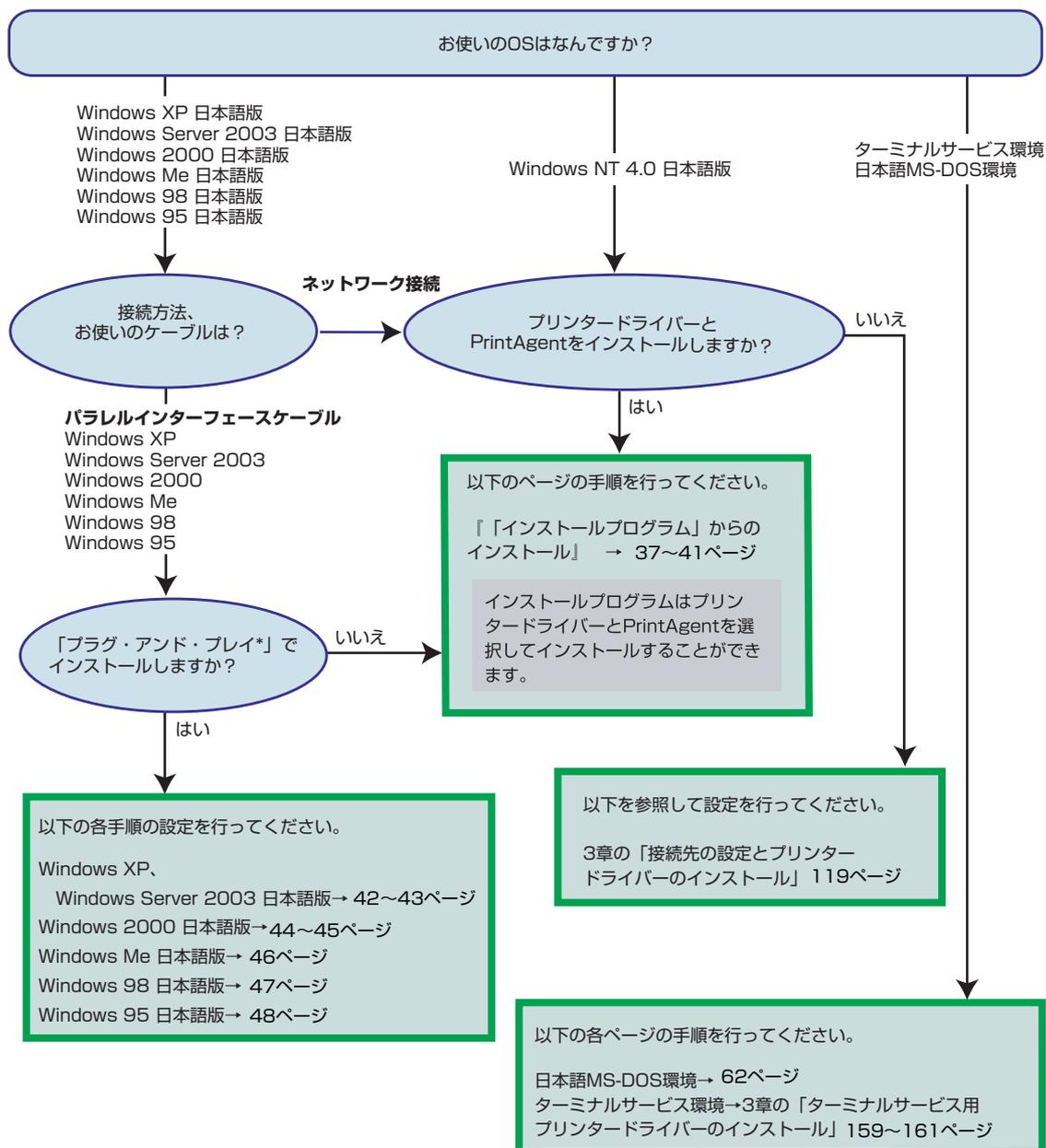
プリンターソフトウェアをインストールするために必要なハードディスク容量は次のとおりです。インストールする前に確認してください。

インストール方法	Windows XP、 Windows Server 2003、 Windows 2000 日本語版	Windows NT 4.0 日本語版	Windows Me、 Windows 98、 Windows 95 日本語版
PrintAgentを含む標準設定	約10.7MB	約10.7MB	約9.7MB
PrintAgentを含む一般ユーザー向け (最大)	最大 約12.8MB	最大 約12.8MB	最大 約11.8MB
PrintAgentを含む管理者向け	最大 約13.4MB	最大 約13.4MB	最大 約12.3MB
プリンタードライバーのみ	約4.5MB	約4.5MB	約3.5MB

インストール方法の選択

プリンターソフトウェアをコンピュータにインストールする前に、お使いになるコンピュータの条件に従ってインストール方法を選択します。以下のフローチャートの矢印に進み、それぞれのページへ進んでください。

なお、プリンターを管理したり、LANボードまたはLANアダプターの設定を行う場合は、「管理者インストール」をする必要があります。インストール手順については、「プリンター管理者用インストール」(55ページ)をご覧ください。



* 「プラグ・アンド・プレイ」機能とは、Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows Me、Windows 98、Windows 95がインストールされているコンピュータで新しい周辺機器などを接続すると、コンピュータの起動時や接続時にその周辺機器を検出し、自動的にインストールが実行される機能です。

「インストールプログラム」からのインストール

Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0、Windows Me、Windows 98、Windows 95で動作しているコンピューターでMultiWriterをご利用になる場合、プリンターソフトウェアCD-ROMのインストールプログラムを使ってプリンターソフトウェア（プリンタードライバおよびPrintAgent）をインストールします。

プリンターソフトウェアCD-ROMはドライブに挿入するだけで自動的にメニュープログラムが起動します。

- パラレルインターフェースで接続されたプリンターに印刷を行う場合は、以下の手順でインストールを行い、手順⑦で、[ローカルポート]を選択します。
- 標準のLANインターフェースまたは、LANアダプターで接続されたプリンターに印刷を行う場合は、以下の手順でインストールを行い、手順⑦で、[NEC TCP/IP Port]を選択します。

ここではWindows XP 日本語版を例にとり、プリンターソフトウェア（プリンタードライバおよびPrintAgent）のインストール手順を説明します。

✓チェック

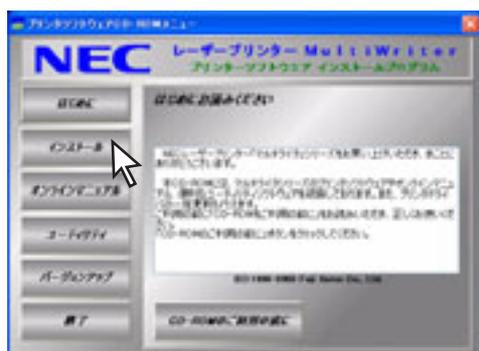
Windows XPにインストールするユーザーは、アカウントの種類が[コンピュータの管理者]である必要があります。また、Windows Server 2003、Windows 2000またはWindows NT 4.0にインストールするには、[Administrators] または [Domain Admins] グループのメンバーである必要があります。

① Windows XP 日本語版を起動する。

② プリンターソフトウェアCD-ROMをセットする。
[プリンターソフトウェアCD-ROMメニュー]が起動します。

お使いのコンピューターによっては、自動的にメニュープログラムが立ち上がらない場合があります。その場合はCD-ROMのルートディレクトリーにある「MWSETUP.exe」を実行してください。

③ [インストール]をクリックする。

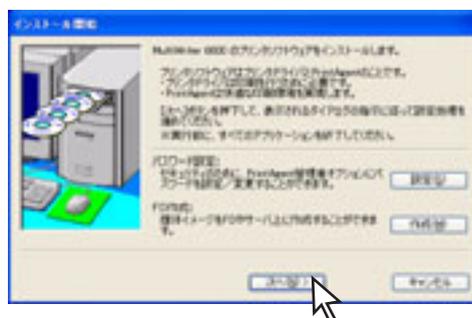


④ 右側のボックスから[MultiWriter 6600]を選んで[インストール開始]をクリックする。



お使いのOSにインストール可能なプリンター名が表示されます。

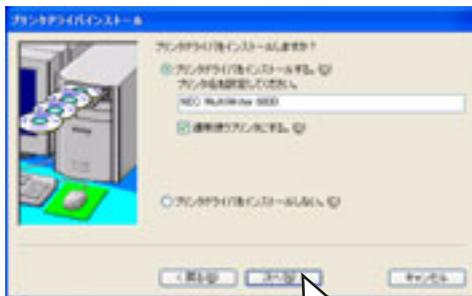
⑤ [次へ]をクリックする。



はじめに、プリンタードライバをインストールする設定を行います。

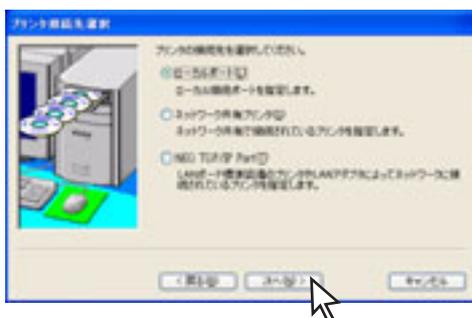
6 [プリンタドライバをインストールする]を選び、[次へ]をクリックする。

[プリンタドライバをインストールしない]を選んだ場合は、手順⑨へ進んでください。



7 プリンターの接続先を選び、[次へ]をクリックする。

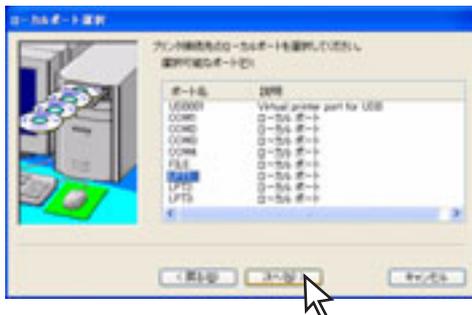
ネットワーク接続されていない場合はこのダイアログボックスは表示されません。次の「[ローカルポート]を選んだ場合」へ進んでください。



- [ローカルポート]は、コンピューターがプリンターとプリンターケーブルで接続されているときに選びます。
- [ネットワーク共有プリンタ]は、MultiWriterがプリントサーバー上に共有されているときに選びます。
- [NEC TCP/IP Port]は、プリンターがLANインターフェースまたはLANアダプターで接続されており、ネットワーク接続されているときに選びます。

<[ローカルポート]を選んだ場合>

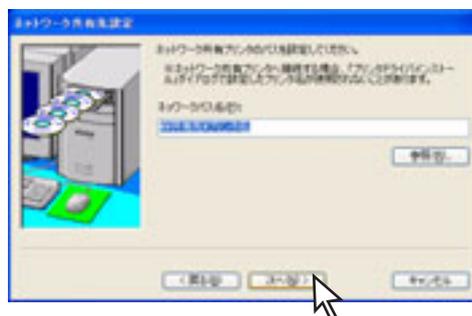
希望するポートを選び[次へ]をクリックする。手順⑨へ進んでください。



<[ネットワーク共有プリンタ]を選んだ場合>

プリンターの接続先を指定し、[次へ]をクリックする。

プリンターの接続先を[ネットワークパス名]に直接入力するか、[参照]をクリックして表示される一覧から指定します。手順⑨へ進んでください。



<[NEC TCP/IP Port]を選んだ場合>

LANインターフェース、またはLANアダプターのIPアドレス、またはホスト名を設定し、[次へ]をクリックする。



IPアドレスまたはホスト名を設定する時は、LANインターフェースまたはLANアダプターにIPアドレスまたはホスト名が設定されている必要があります。詳しくは、ネットワーク管理者におたずねください。

IPアドレスを設定する場合

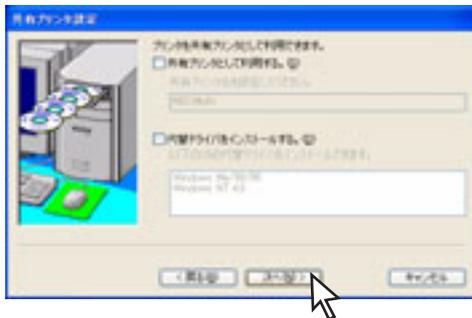
[検索]をクリックします。検索結果ダイアログボックスで使用するプリンターを選択し、[OK]をクリックすると簡単にIPアドレスが設定できます。



8 [次へ]をクリックする。

ネットワークに接続され、Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000またはWindows NT 4.0をご利用の場合は、次のダイアログボックスが表示されます。

このダイアログボックスが表示されない場合は、次の手順**9**へ進んでください。

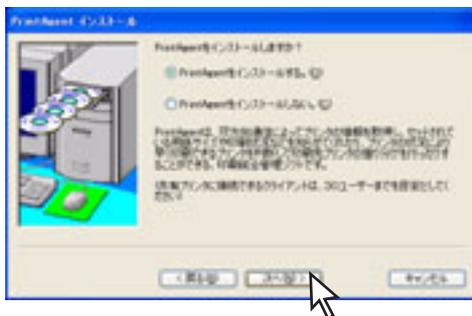
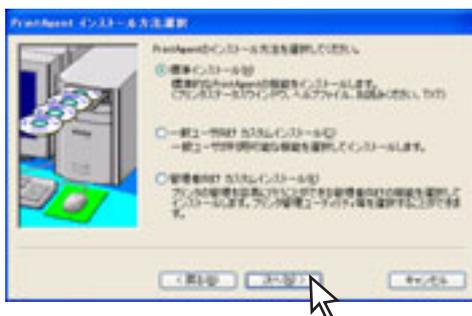
**チェック**

すでに代替ドライバーがインストールされている場合はリストに表示されません。

続いて、PrintAgentのインストールを行います。

9 [PrintAgentをインストールする]を選び、[次へ]をクリックする。

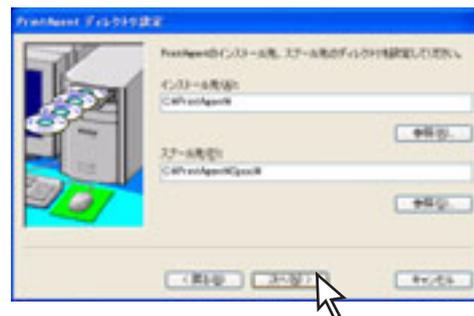
[PrintAgentをインストールしない]を選んだときは、手順**12**へ進んでください。

**10** 使用目的に応じて[標準インストール]または[一般ユーザ向けカスタムインストール]のインストール方法を選び、[次へ]をクリックする。

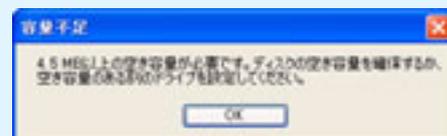
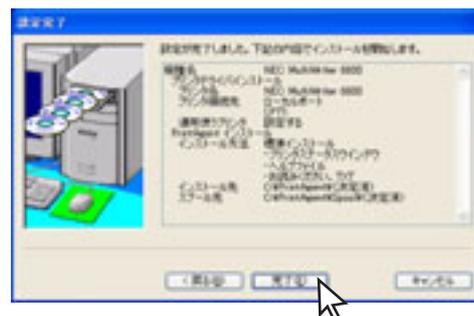
[一般ユーザ向けカスタムインストール]を選ぶと、標準的なソフトウェアの項目が表示されます。インストールする項目にチェックを付けて[次へ]をクリックしてください。[全追加]をクリックするとすべてチェックが付きます。[全削除]をクリックするとすべてチェックが外れます。

**11** PrintAgent のインストール先とスプールファイルの作成先を指定してからフォルダを確認して[次へ]をクリックする。

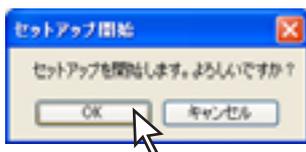
すでに他の機種種のPrintAgentがインストールされているときはこのダイアログボックスは表示されません。手順**12**へ進んでください。



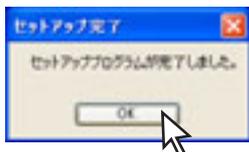
次のメッセージが表示されたときはインストール先のディスク空き容量が少なくなっています。フォルダを変更するか不要なファイルを削除してください。

**12** 設定した内容を確認し、[完了]をクリックする。

- 13 [OK]をクリックする。
ソフトウェアのインストールが開始されます。

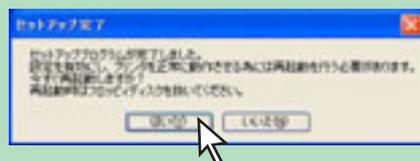


- 14 インストールが終了したら[OK]をクリックする。



✓チェック

再起動を促すダイアログボックスが表示された場合は、画面の指示に従ってコンピューターを再起動してください。



- 15 プリンターソフトウェアが正常にインストールされていることを確認する。

カスタムインストールでインストールした場合、選択されたオプションによっては登録されているアイコンが異なります。

- [プリンタとFAX] フォルダー内に [NEC MultiWriter 6600] アイコンが登録されている。



- タスクバーのトレイに、[PrintAgentシステム]アイコンが登録されている。



- スタートメニューの[すべてのプログラム]に [MultiWriter 6600]というフォルダーが追加され、その下にPrintAgent関連のアイコンが登録されている。



✓チェック

Windows XP、Windows Server 2003以外の場合は、スタートメニューの[プログラム]から確認することができます。

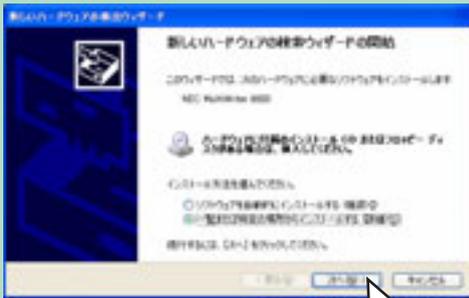
- スタートメニューの[すべてのプログラム]に [PrintAgent管理ツール]というフォルダーが追加され、[プリンター一覧]が登録されている。
(カスタムインストールでプリンター一覧を選択した場合)



✓チェック

Windows XP、Windows Server 2003をご使用の場合、プリンターソフトウェアをインストール後にプリンターケーブルでプリンターを接続すると「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されることがあります。以下の手順に従って、プリンタードライバーを再びインストールしてください。この場合、[プリンタフォルダ] に新しいプリンターアイコンは作成されません。

1. [新しいハードウェアの検出ウィザード]で、[次へ]をクリックする。



2. [ハードウェアのインストール]で、[インストールの停止]をクリックする。



3. [新しいハードウェアの検出ウィザード]で、[完了]をクリックする。



「プラグ・アンド・プレイ」によるインストール

ここでは、Windows 日本語版において、プリンターソフトウェアを「プラグ・アンド・プレイ」機能を使ってインストールする手順を説明します。

Windows XP、Windows Server 2003 日本語版

ここでは、Windows XP 日本語版にプリンターソフトウェアをインストールする手順を例にとって説明します。

① プリンターケーブルを接続する。

② MultiWriter 6600の電源をONにする。

③ コンピューターの電源をONにする。

Windows XP 日本語版を起動します。

新しいハードウェアの検出画面が表示されます。

④ [一覧または特定の場所からインストールする(詳細)]を選び、[次へ]をクリックする。

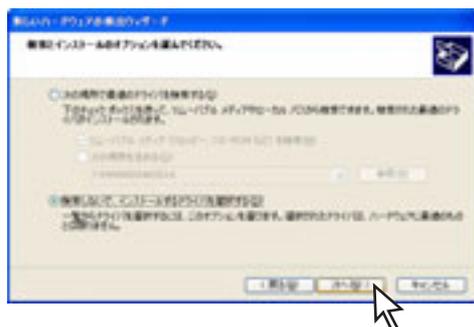
このダイアログボックスが表示されなかった場合、37ページの『「インストールプログラム」からのインストール』を行ってください。



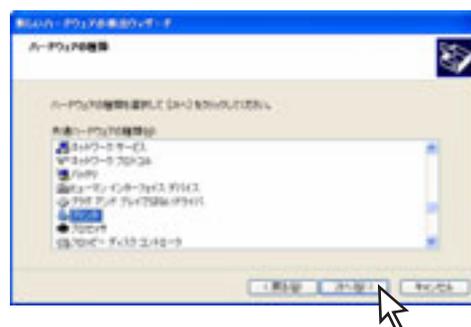
✓チェック

接続先のポート名はプリンターケーブルを接続したポート名となり、通常は「LPT1」になります。

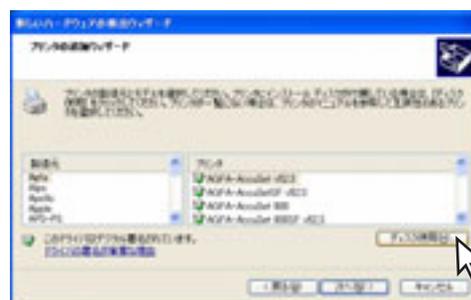
⑤ [検索しないでインストールするドライバを選択する]を選び、[次へ]をクリックする。



⑥ [プリンタ]を選び、[次へ]をクリックする。



⑦ [ディスク使用]をクリックする。



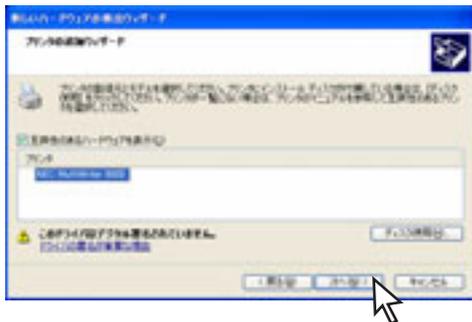
⑧ プリンターソフトウェアCD-ROMをセットする。

⑨ ファイルのコピー元を指定し、[OK]をクリックする。ファイルの指定は、CD-ROMドライブ名、コロン (:)、円記号 (¥) に続けて「MW6600¥DISK4」と入力します。



- ⑩ 使用するプリンター名を選び、[次へ]をクリックする。

インストールを開始します。

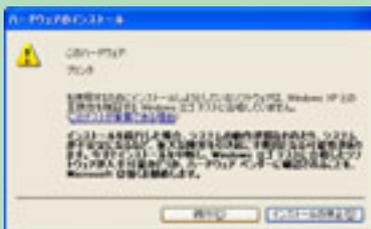


✓チェック

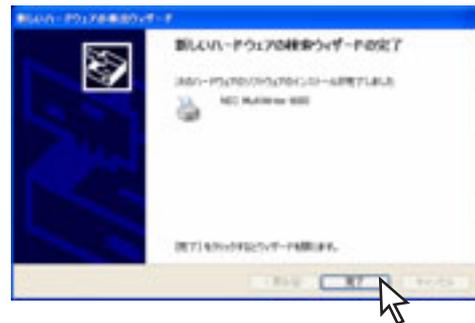
以下の[ハードウェアのインストール]ダイアログボックスが表示される場合があります。添付のプリンターソフトウェアCD-ROMに収録されているソフトウェアは、弊社により動作を確認されています。

[続行]をクリックし、インストールを続行してください。

なお、[インストールの停止]をクリックした場合はインストールが中止されます。



- ⑪ [完了]をクリックする。



これでプリンタードライバーのインストールは完了です。

次にPrintAgentをインストールするには、『「インストールプログラム」からのインストール』の手順⑥（38ページ）で[プリンタドライバをインストールしない。]を選んだ場合の手順に従ってインストールしてください。

Windows 2000 日本語版

ここでは、Windows 2000 日本語版にプリンターソフトウェアをインストールする手順を説明します。

1 プリンターケーブルを接続する。

2 MultiWriter 6600の電源をONにする。

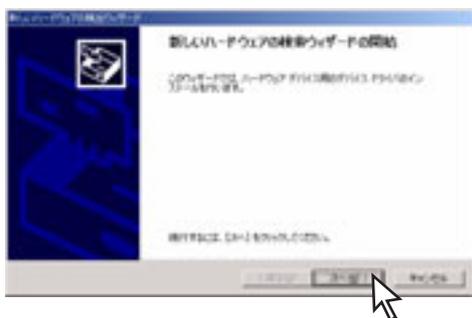
3 コンピューターの電源をONにする。

Windows 2000 日本語版を起動します。

新しいハードウェアの検索ウィザード画面が表示されます。

4 [次へ]をクリックする。

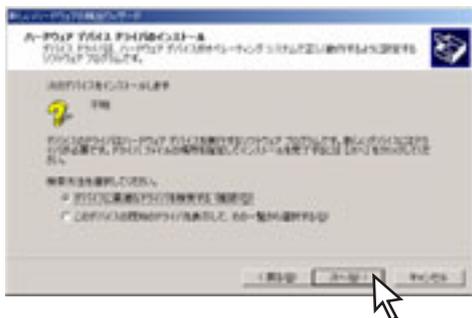
このダイアログボックスが表示されなかった場合、37ページの『「インストールプログラム」からのインストール』を行ってください。



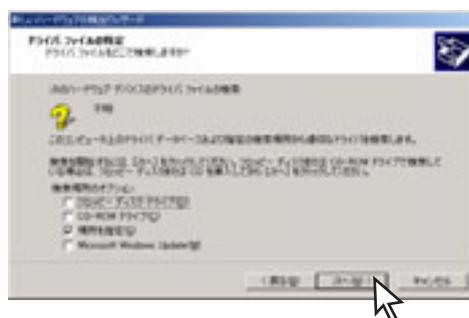
✓チェック

接続先のポート名はプリンターケーブルを接続したポート名となり、通常は「LPT1」になります。

5 [デバイスに最適なドライバを検索する]を選び、[次へ]をクリックする。



6 [場所を指定]を選び、[次へ]をクリックする。



7 プリンターソフトウェアCD-ROMをセットする。

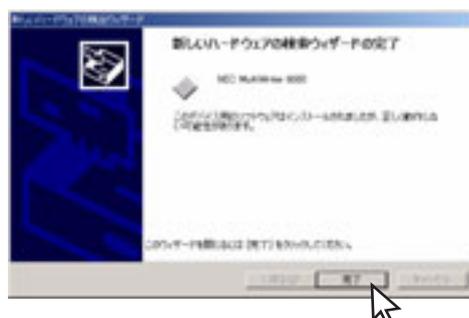
8 ファイルのコピー元を指定し、[OK]をクリックする。
ファイルの指定は、CD-ROMドライブ名、コロン (:)、円記号 (¥) に続けて「MW6600¥DISK4」と入力します。



9 内容を確認し、[次へ]をクリックする。
インストールを開始します。



10 [完了]をクリックする。

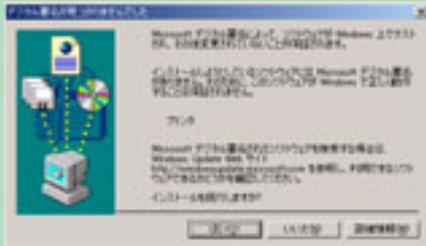


チェック

[デジタル署名が見つかりませんでした]とメッセージダイアログボックスが表示される場合があります。プリンターソフトウェアCD-ROMに収録されているプリンターソフトウェアは、弊社により動作を確認されています。

[はい]をクリックし、インストールを続行してください。

なお、[いいえ]をクリックした場合はインストールが中止されます。



これでプリンタードライバーのインストールは完了です。

次にPrintAgentをインストールするには、『「インストールプログラム」からのインストール』の手順⑥（38ページ）で[プリンタドライバをインストールしない。]を選んだ場合の手順に従ってインストールしてください。

Windows Me 日本語版

ここでは、Windows Me 日本語版にプリンターソフトウェアをインストールする手順を説明します。

1 プリンターケーブルを接続する。

2 MultiWriter 6600の電源をONにする。

3 コンピューターの電源をONにする。

Windows Me 日本語版を起動します。

[新しいハードウェア]ダイアログボックスが表示された後、[新しいハードウェアの追加ウィザード]が表示されます。

4 プリンターソフトウェアCD-ROMをセットする。

5 [適切なドライバを自動的に検索する]を選び、[次へ]をクリックする。

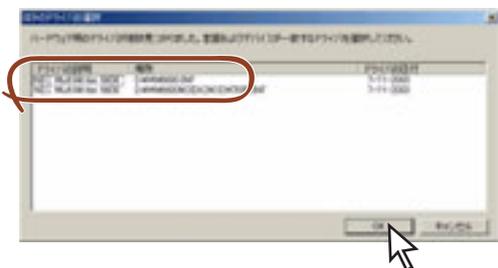
このダイアログボックスが表示されなかった場合、37ページの『「インストールプログラム」からのインストール』の手順を行ってください。



✓チェック

接続先のポート名はプリンターケーブルを接続したポート名となり、通常は「LPT1」になります。

6 選択項目の中の[場所]がCD-ROMのルートを示しているドライバーを選択して、[OK]をクリックする。



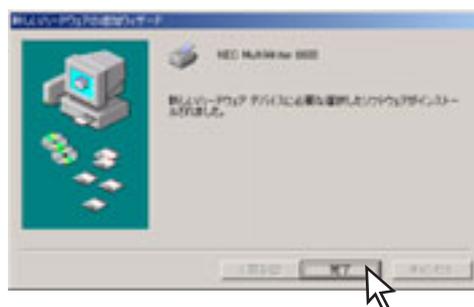
7 プリンターの名前を確認して、[完了]をクリックする。

プリンタードライバのインストールが開始されます。

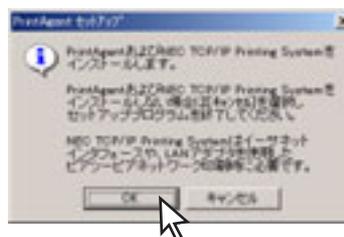


8 [完了]をクリックする。

先に[PrintAgent セットアップ]ダイアログボックスが表示されますが、ここでの手順を終了した後、次の手順へ進んでください。



9 PrintAgent をインストールする場合は [OK] をクリックする。



このあとは37ページの手順⑤からと同じです。

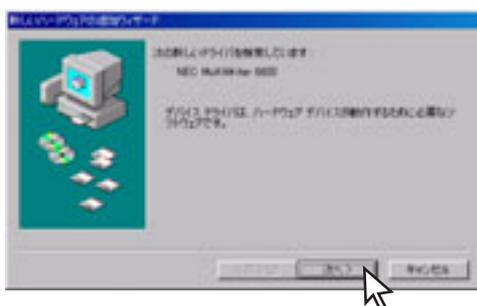
PrintAgentをインストールしない場合は、[キャンセル]をクリックし、インストールを終了します。

Windows 98 日本語版

ここでは、Windows 98 日本語版にプリンターソフトウェアをインストールする手順を説明します。

- 1 プリンターケーブルを接続する。
- 2 MultiWriter 6600の電源をONにする。
- 3 コンピューターの電源をONにする。
Windows 98 日本語版を起動します。

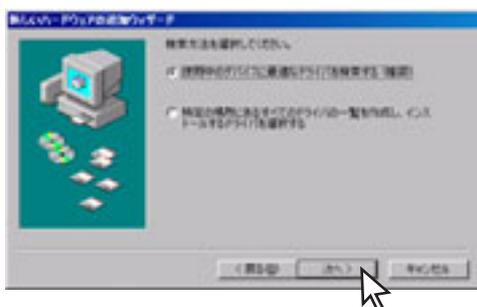
- 4 [次へ]をクリックする。
このダイアログボックスが表示されなかった場合、37ページの『「インストールプログラム」からのインストール』を行ってください。



✓ チェック

接続先のポート名はプリンターケーブルを接続したポート名となり、通常は「LPT1」になります。

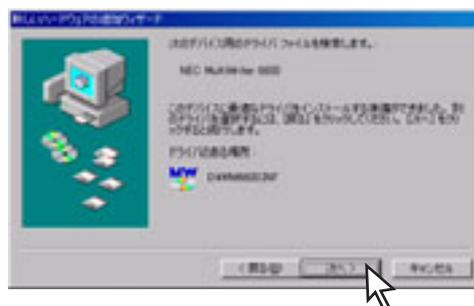
- 5 [使用中のデバイスに最適なドライバを検索する]を選び、[次へ]をクリックする。



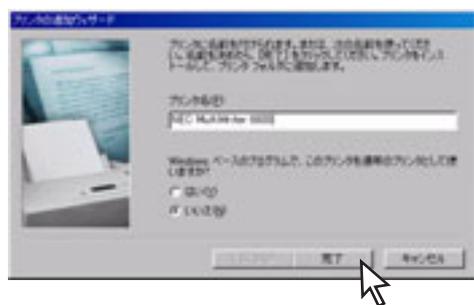
- 6 プリンターソフトウェアCD-ROMをセットする。
- 7 選択項目の中から[CD-ROMドライブ]をチェックして[次へ]をクリックする。



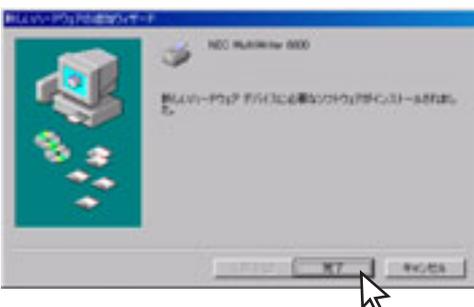
- 8 [次へ]をクリックする。



- 9 プリンターの名前を確認して、[完了]をクリックする。
プリンタードライバのインストールが開始されます。



- 10 [完了]をクリックする。
先に[PrintAgentセットアップ]ダイアログボックスが表示されますが、ここでの手順を終了した後、次の手順へ進んでください。



- 11 PrintAgent をインストールする場合は [OK] をクリックする。



このあとは37ページの手順⑤からと同じです。
PrintAgentをインストールしない場合は、[キャンセル]をクリックし、インストールを終了します。

Windows 95 日本語版

ここでは、Windows 95 日本語版にプリンターソフトウェアをインストールする手順を説明します。

1 プリンターケーブルを接続する。

2 MultiWriter 6600の電源をONにする。

3 コンピューターの電源をONにする。

Windows 95 日本語版を起動すると[デバイスドライバウィザード]が[新しいハードウェア]ダイアログボックスが表示されます。

これらのダイアログボックスが表示されなかった場合、37ページの「インストールプログラム」からのインストールを行ってください。

チェック

接続先のポート名はプリンターケーブルを接続したポート名となり、通常は「LPT1」になります。

<[デバイスドライバウィザード]ダイアログボックスが表示された場合>

プリンターソフトウェアCD-ROMをセットし、[次へ]をクリックする。

手順④に進んでください。



<[新しいハードウェア]ダイアログボックスが表示された場合>

[ハードウェアの製造元が提供するドライバ]を選び、[OK]をクリックする。

手順⑤に進んでください。



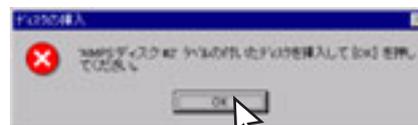
4 [完了]をクリックする。



5 プリンターの名前を確認して、[完了]をクリックする。



6 [OK]をクリックする。



7 [ファイルのコピー元]を指定して、[OK]をクリックする。

ファイルの指定は、CD-ROMドライブ名、コロン (:)、円記号 (¥) に続けて「MW6600¥DISK2」と入力します。プリンタードライバのインストールが開始されます。



8 PrintAgent をインストールする場合は [OK] をクリックする。

このあとは37ページの手順⑤からと同じです。

PrintAgentをインストールしない場合は、[キャンセル]をクリックし、インストール手順を終了します。



プリンタードライバーの削除

ここではプリンタードライバーの削除手順を説明します。必要なファイルを削除してしまったなどでプリンターが正常に動かなくなったときはプリンタードライバーを再インストールする必要があります。プリンタードライバーを再インストールするには、一度既存のプリンタードライバーを削除（アンインストール）してから行います。

重要

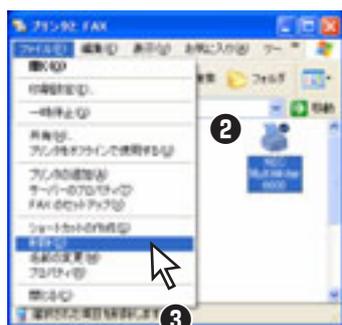
- プリンタードライバーの削除を実行する前に起動中のアプリケーションをすべて終了させてください。
- プリンターが印刷中の場合は、プリンタードライバーの削除はできません。印刷が終了してから削除してください。

Windows XP、Windows Server 2003 日本語版

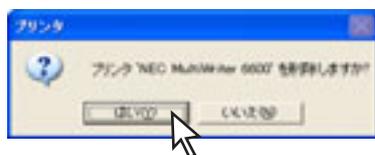
1 [プリンタとFAX]フォルダーを開く。
インストールされているプリンターアイコンが表示され
ます。

2 [NEC MultiWriter 6600]アイコンをクリックする。

3 [ファイル]メニューの[削除]をクリックする。

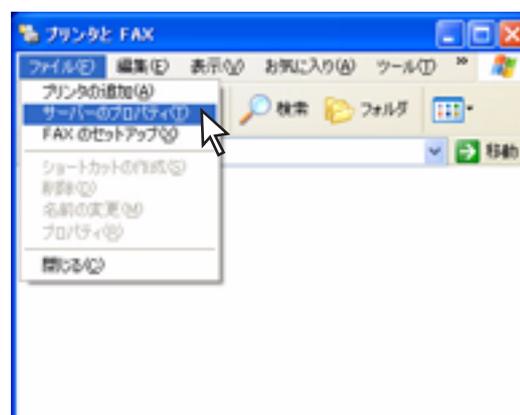


4 [はい]をクリックする。
MultiWriter 6600のプリンタードライバーが削除されます。



5 [ファイル]メニューの[サーバーのプロパティ]をク
リックする。

[プリントサーバーのプロパティ]が開きます。



6 [ドライバ]タブをクリックする。

7 [インストールされたプリンタドライバ] から [NEC
MultiWriter 6600]をクリックする。

8 [削除]をクリックする。

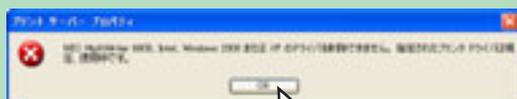


- 9 [はい]をクリックする。



✓ チェック

次のダイアログボックスが表示された場合は、OSの再起動後、手順⑨からやり直してプリンタードライバーを削除してください。

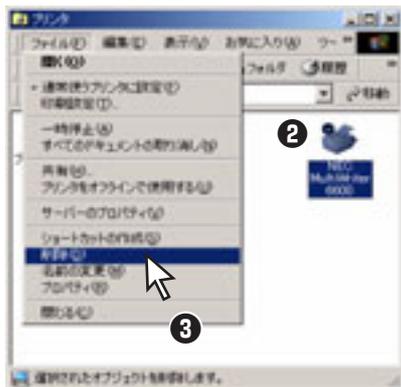


- 10 [インストールされたプリンタドライバ] から [NEC MultiWriter 6600] が削除されたことを確認し、[閉じる] をクリックする。

[プリントサーバーのプロパティ] と [プリンタとFAX] フォルダーを閉じます。

Windows 2000 日本語版

- ① [プリンタ]フォルダーを開く。
インストールされているプリンターアイコンが表示され
ます。
- ② [MultiWriter 6600]アイコンをクリックする。
- ③ [ファイル]メニューの[削除]をクリックする。



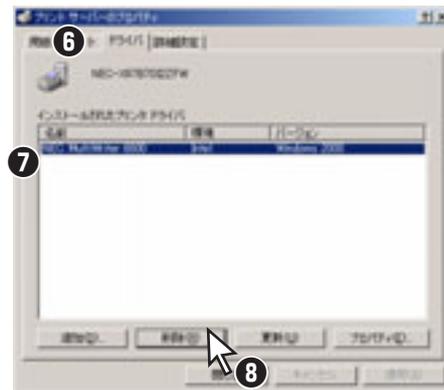
- ④ [はい]をクリックする。
MultiWriter 6600のプリンタードライバーが削除されます。



- ⑤ [ファイル]メニューの[サーバーのプロパティ]をク
リックする。
[プリントサーバーのプロパティ]が開きます。



- ⑥ [ドライバ]タブをクリックする。
- ⑦ [インストールされたプリンタドライバ] から [NEC
MultiWriter 6600]をクリックする。
- ⑧ [削除]をクリックする。



- ⑨ [はい]をクリックする。



✓チェック

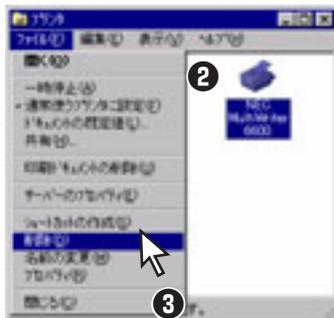
次のダイアログボックスが表示された場合は、Windows 2000の再起動後、手順⑤からやり直してプリンタードライバを削除してください。



- ⑩ [インストールされたプリンタドライバ] から [NEC
MultiWriter 6600]が削除されたことを確認し、[閉
じる]をクリックする。
[プリントサーバーのプロパティ]と[プリンタ]フォルダを
閉じます。

Windows NT 4.0 日本語版

- ① [プリンタ]フォルダーを開く。
- ② [NEC MultiWriter 6600]アイコンをクリックする。
- ③ [ファイル]メニューの[削除]をクリックする。



- ④ [はい]をクリックする。
MultiWriter 6600のプリンタードライバーが削除されます。



Windows Me、Windows 98、Windows 95 日本語版

- ① [プリンタ]フォルダーを開く。
インストールされているプリンターアイコンが表示され
ます。
- ② [NEC MultiWriter 6600]アイコンをクリックする。
- ③ [ファイル]メニューの[削除]をクリックする。

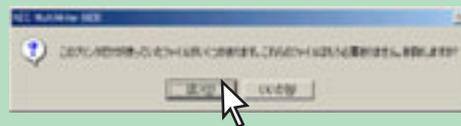


- ④ [はい]をクリックする。
MultiWriter 6600のプリンタードライバーが削除されます。



✓チェック

次のダイアログボックスが表示された場合は、[[はい]]をクリックしてください。



PrintAgentの追加・削除

MultiWriter 6600のプリンターソフトウェアのインストーラーでは、プリンターソフトウェアの機能ごとに、追加と削除をすることができます。

ここではPrintAgentの追加と削除方法を説明します。

重要

追加・削除の手順を始める前に「PrintAgentをインストール/アンインストールする時の注意事項」（327ページ）をお読みください。

- ① [コントロールパネル]フォルダーを開く。
- ② [プログラムの追加と削除] アイコンをダブルクリックする。

Windows XP、Windows Server 2003以外の場合は[アプリケーションの追加と削除]をクリックします。

- ③ [PrintAgent オプション選択] ダイアログボックスを開く。

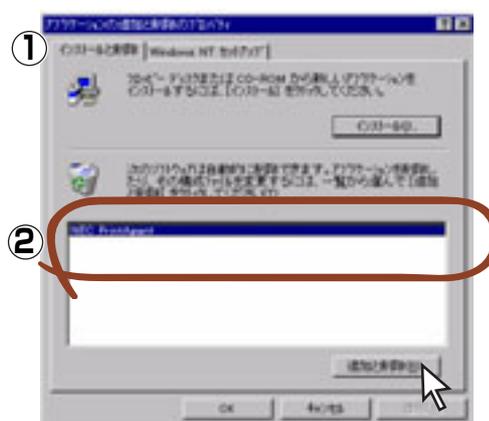
<Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000の場合>

- ① 左側の[機能選択]バーから[プログラムの変更と削除]をクリックする。
- ② [NEC PrintAgent]を選んで、[変更/削除]をクリックする。

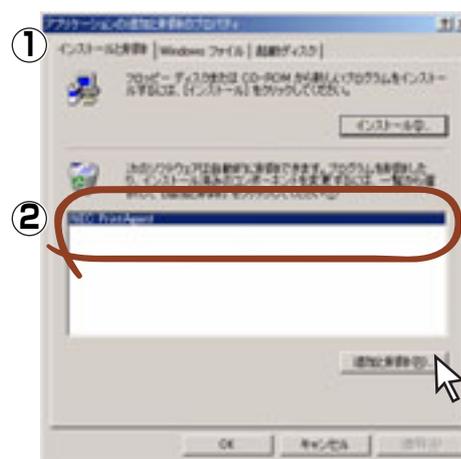


<Windows NT 4.0、Windows Me、Windows 98、Windows 95の場合>

- ① [インストールと削除]シートを開く。
- ② 自動的に削除できるソフトウェアの一覧から[NEC PrintAgent]を選んで、[追加と削除]をクリックする。



Windows NT 4.0

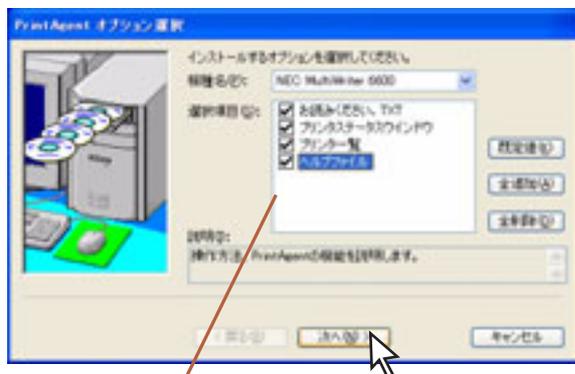


Windows Me、Windows 98、Windows 95

4 対象機種を選択してからチェックを変更し、[次へ]をクリックする。

チェックを付けると追加、チェックを外すと削除になります。

また、複数機種のチェックを付ける（外す）と複数機種のオプションを同時に追加（削除）することができます。



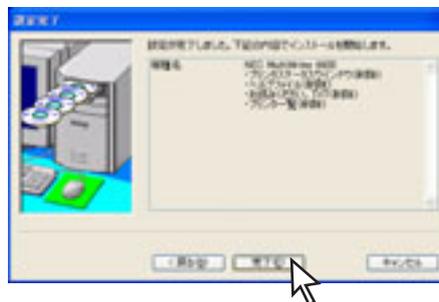
管理者向けカスタムインストールを行った場合は選択できるオプションが異なります。

✓ チェック

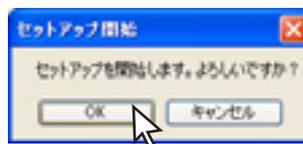
- 他の MultiWriter シリーズのプリンターソフトウェアがインストールされているとそれぞれのプリンターソフトウェアのオプションが表示される場合があります。
- オプションを追加する場合、セットアップに必要な媒体を要求する画面が表示されますが、プリンターソフトウェアCD-ROMがCD-ROMドライブにセットされている場合、セットアップに必要なファイルを自動的に参照し、インストールされます。

5 [完了]をクリックする。

パスワードが設定されている場合に管理者向けのオプションを削除するには、あらかじめ設定したパスワードの入力が必要です。



6 [OK]をクリックする。



7 追加・削除が終了したら[OK]をクリックする。

再起動を促すダイアログボックスが表示された場合は、画面の指示に従ってコンピューターを再起動してください。

8 すべてのオプションを削除した場合はソフトウェアの一覧から[NEC PrintAgent]が削除されたことを確認し、[OK]をクリックする。

他機種のPrintAgentがインストールされている場合は、ソフトウェアの一覧からPrintAgentは削除できません。

プリンター管理者用インストール

ここではプリンター管理者としてプリンターソフトウェアをインストールする手順を説明します。

以下は、ネットワーク環境でMultiWriter 6600を使用するとき便利な機能です。

- プリンターを一元に管理する
- 印刷ログを出力する
- e-mailメンテナンスを利用する

以上を設定するには、プリンターソフトウェアを管理者向けにインストールする必要があります。インストールの手順は次ページを参照してください。

プリンター管理者のみ選択可能なオプション

<p>プリンタ管理ユーティリティ 標準装備のLANボード/LANアダプターのリモート設定、プリンタ自動切替機能、保守情報のメール通知機能が利用できます。</p> <p>印刷ログ 印刷の履歴状況を出力することができます。</p>	<input type="checkbox"/> お読みください、TXT <input type="checkbox"/> プリンタステータスウィンドウ <input type="checkbox"/> プリンター一覧 <input type="checkbox"/> プリンタ管理ユーティリティ <input type="checkbox"/> メール通知*1 <input type="checkbox"/> ヘルプファイル <input type="checkbox"/> 印刷ログ*2
---	--

*1 ネットワーク設定にTCP/IPプロトコルがインストールされている必要があります。詳しくは各OSのヘルプをご覧ください。
 *2 Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0で選択できます。

また、プリンターを管理する方は以下の機能も利用することができます。

- パスワードの設定（61ページ）
プリンター管理者以外の人による「PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ」の使用や、プリンターソフトウェアの削除から保護するためのパスワードの設定が可能です。
- FD作成（インストール媒体の作成）（353ページ）
プリンターソフトウェアCD-ROMからインストール用のフロッピーディスクを作成します。またファイルサーバーのハードディスクなど任意の媒体にコピーすることができます。プリンター管理者がハードディスクなどにコピーし、複数台のコンピューターにプリンターソフトウェアを指定した内容で短時間にインストールしたい場合などに便利です。

インストール手順

プリンターソフトウェアの容量

プリンターソフトウェアをインストールするのに必要なハードディスク容量は次のとおりです。インストールする前に9章の「PrintAgentを動作させる前に」(327ページ)を参照してから確認してください。

インストール方法	Windows XP、 Windows Server 2003、 Windows 2000 日本語版	Windows NT 4.0 日本語版	Windows Me、 Windows 98、 Windows 95日本語版
PrintAgentを含む標準設定	約10.7MB	約10.7MB	約9.7MB
PrintAgentを含む一般ユーザー向け(最大)	最大 約12.8MB	最大 約12.8MB	最大 約11.8MB
PrintAgentを含む管理者向け	最大 約13.4MB	最大 約13.4MB	最大 約12.3MB
プリンタードライバのみ	約4.5MB	約4.5MB	約3.5MB

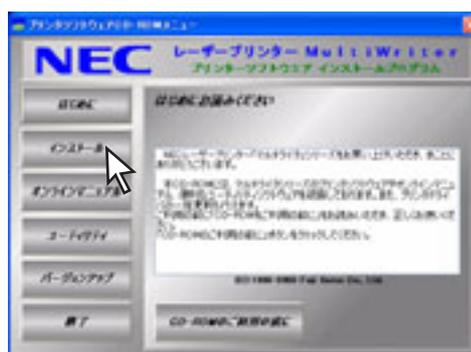
ここでは、Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0、Windows Me、Windows 98、Windows 95 日本語版に対応したプリンターソフトウェアをプリンター管理者としてインストールする手順をWindows XPを例に説明します。

- 1 Windows XP 日本語版を起動する。
- 2 プリンターソフトウェアCD-ROMをセットする。
[プリンターソフトウェアCD-ROMメニュー] が起動します。

お使いのコンピューターによっては、自動的にメニュープログラムが立ち上がらない場合があります。その場合はCD-ROMのルートディレクトリーにある「MWSETUP.exe」を実行してください。



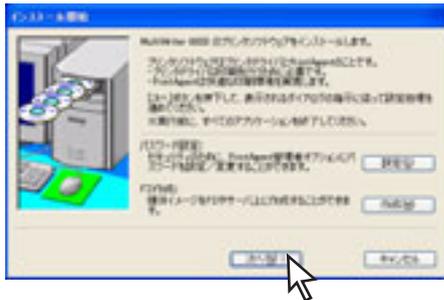
- 3 [インストール] をクリックする。



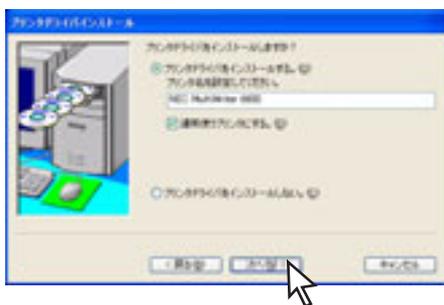
- 4 右側のボックスから [MultiWriter 6600] を選んで [インストール開始] をクリックする。

お使いのOSにインストール可能なプリンター名が表示されます。

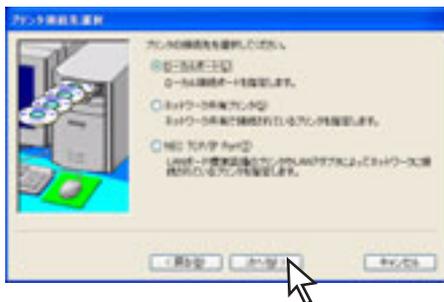


5 [次へ] をクリックする。**6** [プリンタドライバをインストールする] を選び、[次へ] をクリックする。

[プリンタドライバをインストールしない] を選んだ場合は、手順⑨へ進んでください。

**7** プリンターの接続先を選ぶ。

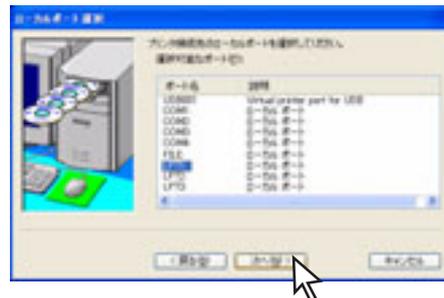
ネットワーク接続されていない場合はこのダイアログボックスは表示されません。次の「[ローカルポート] を選んだ場合」へ進んでください。



- [ローカルポート] は、コンピューターとプリンターがプリンターケーブルで接続されているときに選びます。
- [ネットワーク共有プリンタ] は、MultiWriterがプリントサーバー上に共有されているときに選びます。
- [NEC TCP/IP Port] は、プリンターがLANインターフェース、またはLANアダプターで接続されており、ネットワーク接続されているときに選びます。

< [ローカルポート] を選んだ場合 >

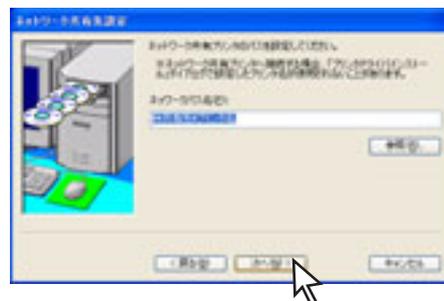
希望するポートを選び、[次へ] をクリックする。
手順⑧へ進んでください。



< [ネットワーク共有プリンタ] を選んだ場合 >

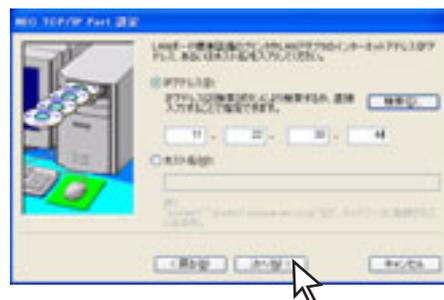
プリンターの接続先を指定し、[次へ] をクリックする。
プリンターの接続先を [ネットワークパス名] に直接入力するか、[参照] をクリックして表示される一覧から指定します。

手順⑨へ進んでください。



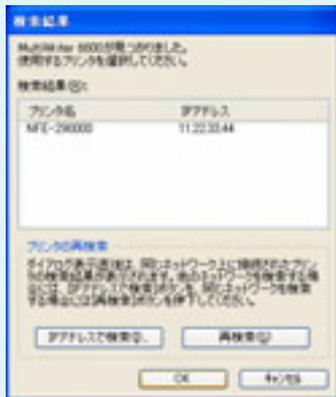
< [NEC TCP/IP Port] を選んだ場合 >

LANインターフェース、またはLANアダプターのIPアドレスあるいはホスト名を設定して [次へ] をクリックする。



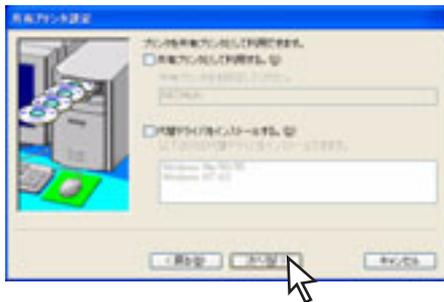
IPアドレスを設定する場合

[検索] をクリックします。検索結果ダイアログボックスで使用するプリンターを選択し、[OK] をクリックすると簡単にIPアドレスが設定できます。

**8 [次へ] をクリックする。**

ネットワークに接続され、Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000またはWindows NT 4.0をご利用の場合は、次のダイアログボックスが表示されます。

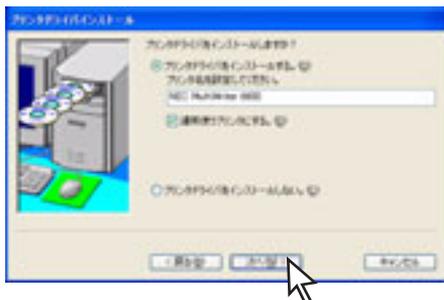
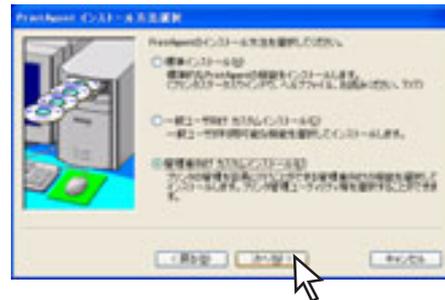
このダイアログボックスが表示されない場合は、次の手順**10**へ進んでください。

**✓ チェック**

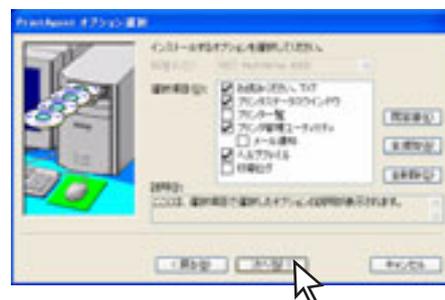
すでに代替ドライバーがインストールされている場合はリストに表示されません。

9 [PrintAgentをインストールする] を選び、[次へ] をクリックする。

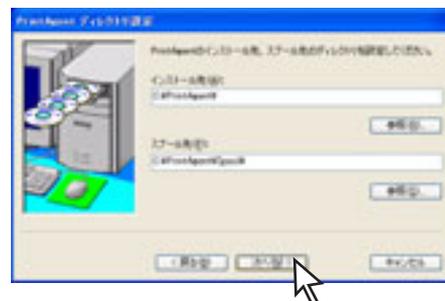
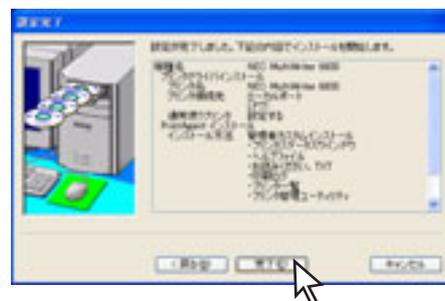
[PrintAgentをインストールしない] を選んだときは、手順**10**へ進んでください。

**10 [管理者向けカスタムインストール] を選び、[次へ] をクリックする。****11 任意の機能を選び、[次へ] をクリックする。**

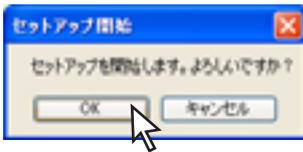
[全追加] をクリックすると、すべてチェックされます。[全削除] をクリックすると、すべてチェックが外れます。

**12 PrintAgent のインストール先とスプールファイルの作成先を指定し、[次へ] をクリックする。**

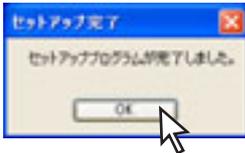
すでに他のMultiWriterのPrintAgentがインストールされている場合は、このダイアログボックスは表示されません。

**13 設定した内容を確認し、[完了] をクリックする。**

- 14 [OK] をクリックする。
ソフトウェアのインストールが開始されます。



- 15 インストールが終了したら、[OK] をクリックする。



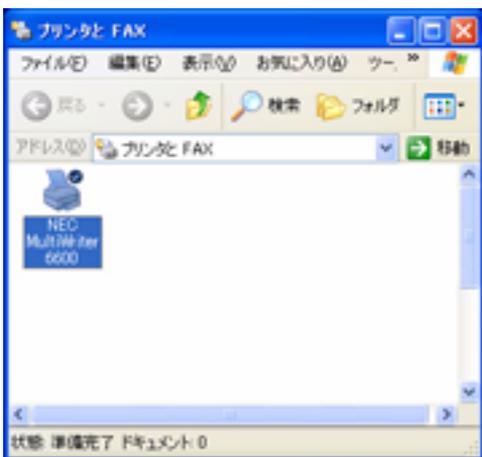
✓チェック

再起動を促すダイアログボックスが表示された場合は、画面の指示に従ってコンピューターを再起動してください。

- 16 プリンターソフトウェアが正常にインストールされたことを確認する。

管理者向けカスタムインストールで選択されたオプションによっては登録されているアイコンが異なります。

- [プリンタとFAX] フォルダー内に、[NEC MultiWriter 6600] アイコンが登録されている。



- タスクバーのトレイに、[PrintAgent システム] アイコンが登録されている。



- スタートメニューの [すべてのプログラム] に [MultiWriter 6600] というフォルダーが追加され、その下にPrintAgent関連のアイコンが登録されている。



✓チェック

Windows XP、Windows Server 2003以外の場合、スタートメニューの [プログラム] から確認することができます。

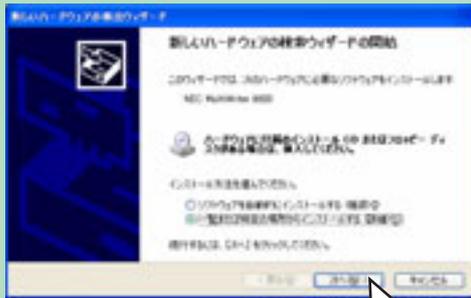
- スタートメニューの [すべてのプログラム] に [PrintAgent管理ツール] というフォルダーが追加され、その下に [プリンタ管理ユーティリティ] と [プリンター一覧] が登録されている。



 チェック

Windows XP、Windows Server 2003をご使用の場合、プリンターソフトウェアをインストール後にプリンターケーブルでプリンターを接続すると「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されることがあります。以下の手順に従って、プリンタードライバーを再びインストールしてください。この場合、[プリンタフォルダ] に新しいプリンターアイコンは作成されません。

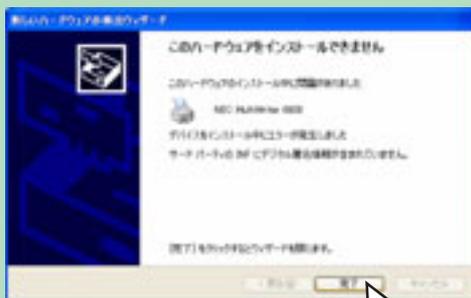
1. [新しいハードウェアの検出ウィザード]で、[次へ]をクリックする。



2. [ハードウェアのインストール]で、[インストールの停止]をクリックする。



3. [新しいハードウェアの検出ウィザード]で、[完了]をクリックする。



パスワードの設定

プリンター管理者としてプリンターソフトウェアをインストールした場合、パスワードを設定できます。以下の手順で設定します。Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0、Windows Me、Windows 98、Windows 95 日本語版に対応しています。

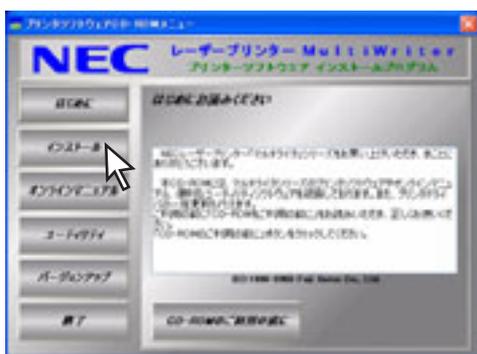
✓チェック

- パスワードで保護される機能はPrintAgentプリンタ管理ユーティリティの起動、プリンターソフトウェアの削除です。
- 設定したパスワードはPrintAgentに対応した機種で共通に使用されます。

- 1 プリンターソフトウェアCD-ROMをセットし、メニュープログラムを立ち上げる。

お使いのコンピュータによっては、自動的にメニュープログラムが立ち上がらない場合があります。その場合はCD-ROMのルートディレクトリーにある「MWSETUP.exe」を実行してください

- 2 [インストール] をクリックする。



- 3 右側のボックスから [MultiWriter 6600] を選んで [インストール開始] をクリックする。



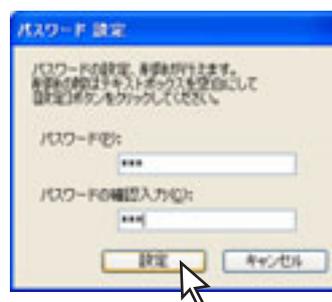
- 4 パスワード設定の [設定] をクリックする。



- 5 パスワードとパスワードの確認を入力し、[設定] をクリックする。

半角の英数文字で8文字まで入力できます。

パスワードを設定しない場合は空白のまま [設定] をクリックします。すでに入力しているパスワードを解除する場合はボックス内の文字を削除して、[設定] をクリックします。



日本語MS-DOS環境

ここでは、日本語MS-DOS環境から印刷するために必要なプリンターの設定内容を説明します。

プリンターを選択する

使用しているアプリケーション上で印刷するときプリンターの名称を指定します。指定できない場合は、次の表に示す優先順位で指定してください。（ただしアプリケーションによっては機能の一部が使用できないことがあります。）

優先順位	プリンター名称	動作モード*1
1	MultiWriter 4550	ページプリンター (またはレーザープリンター)
2	MultiWriter 3650N	
3	MultiWriter 2850N、2850	
4	MultiWriter 2350N、2350、2150	
5	MultiWriter 2800N、2800、2300N	
6	MultiWriter 2300、2100、210S	
7	MultiWriter 2650M、2250H	
8	MultiWriter 2650、2650E、2250	
9	MultiWriter 4050M、4050、6050	
10	MultiWriter 2050	
11	MultiWriter 2200X2、2200XE、2000X2	
12	MultiWriter 2200X	
13	MultiWriter 2000X	
14	MultiWriter 2000FW	
15	MultiWriter 2200NW2、PC-PR2000/6W	
16	MultiWriter 2200NW、MultiWriter 2000E	
17	PC-PR2000/4R、PC-PR2000/4W	
18	PC-PR4000E/4、PC-PR4000/4	
19	MultiWriter 1250、1400X、1000EW、PC-PR1000E/4W、PC-PR1000E/4、PC-PR1000/4R、PC-PR1000/4、PC-PR2000/2、PC-PR2000/4あるいはNPDL Level 2	
20	PC-PR1000、PC-PR1000/2	
21	PC-PR2000あるいはNPDL	
22	PC-PR602R*2、*3、PC-PR602*2、*3、PC-PR601*2、*3	201PLエミュレーション
23	PC-PR201/47、PC-PR201/45L、PC-PR201/60、PC-PR201/80A、PC-PR201/65A、PC-PR201/60A、PC-PR101/60あるいは201PL	
24	PC-PR201X、PC-PR201J、PC-PR201GS、PC-PR201/45、PC-PR101GS	
25	PC-PR201G、PC-PR201V、PC-PR201V2、PC-PR201H3、PC-PR101G、PC-PR101G2	
26	上記以外のPC-PR201系、PC-PR101系プリンター（PC-PR201、PC-PR201F2、PC-PR201H2、PC-PR101、PC-PR101F2、PC-PR101E、PC-PR101E2など）	

*1 ほとんどのアプリケーションでは、プリンターの動作モードを自動的に切り替えています。したがって、本プリンター動作モードは201PLエミュレーションモード（お買い上げ字の設定）のままご使用になれます。

*2 A4 ポートレート桁数が80桁のとき、用紙左側の余白量が異なるときは、アプリケーション上で余白量を変更してください。

*3 文字を縮小したときの印刷結果が異なるときは、プリンター設定を変更してください。

プリンターを設定する

MS-DOS環境でコンピューターをお使いの場合、メニューモードを使ってプリンターを設定します。メニューモードの操作方法、メニューツリーおよび各設定項目については「7章 メニューモード」の「印刷機能メニュー」(280ページ)を参照してください。

PC-PR201系、101系プリンターを選択した場合

プリンターの指定でPC-PR201系、あるいは101系プリンターを選択した場合は、アプリケーションと本プリンターを次のような設定が標準です。

ソフトウェア： シートフィーダー付き、単票（カット紙）、連続送り
 プリンター： 201PLエミュレーションモード、136桁モード有効、用紙位置中央

MS-DOS環境での両面印刷設定

MS-DOS環境で両面印刷する際に必要な情報について説明します。MS-DOS環境で印刷する場合はメニューモード、および操作パネルの[両面]スイッチで設定します。

両面印刷の設定

MS-DOSアプリケーションを使って両面印刷する場合は、次の設定を変更してください。

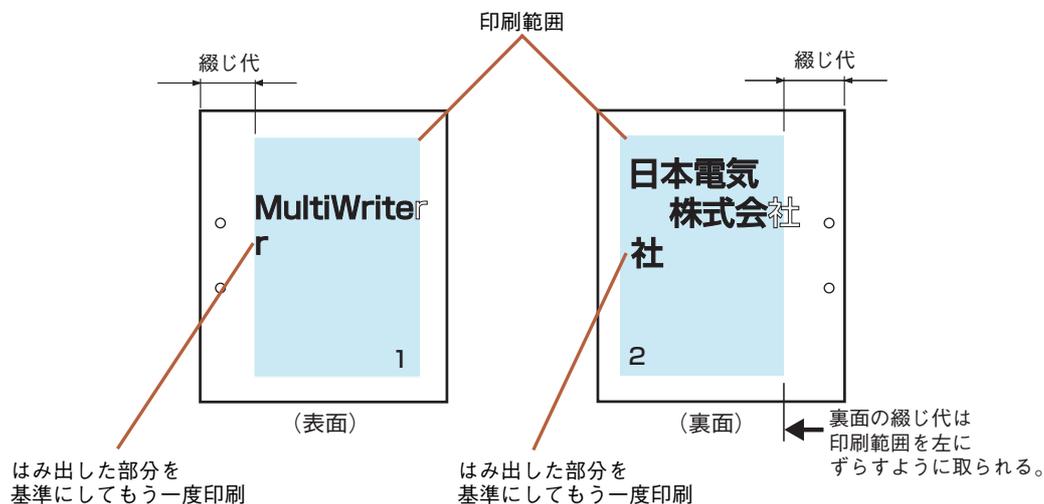
両面印刷のために必要な設定項目

メニューモード設定項目	備考
印字位置設定メニュー - 表面微調整 - 裏面微調整	表面、裏面ともに TM: +3.9 ~ -3.9ミリ LM: +3.9 ~ -3.9ミリ
両面印刷メニュー - 初期設定ON - 初期設定OFF	—
両面印刷メニュー - とじしろロング1 - とじしろショート1 - とじしろロング2 - とじしろショート2	7章の「印刷機能メニュー」(280ページ)を参照してください。
両面印刷メニュー：余白	0 ~ 20ミリ
両面印刷メニュー - クリップON - クリップOFF	余白を多く取り過ぎた場合、印刷からはみ出たデータを次ページに印刷する (ON) か、消去する (OFF) かを設定します。

クリッピング機能について

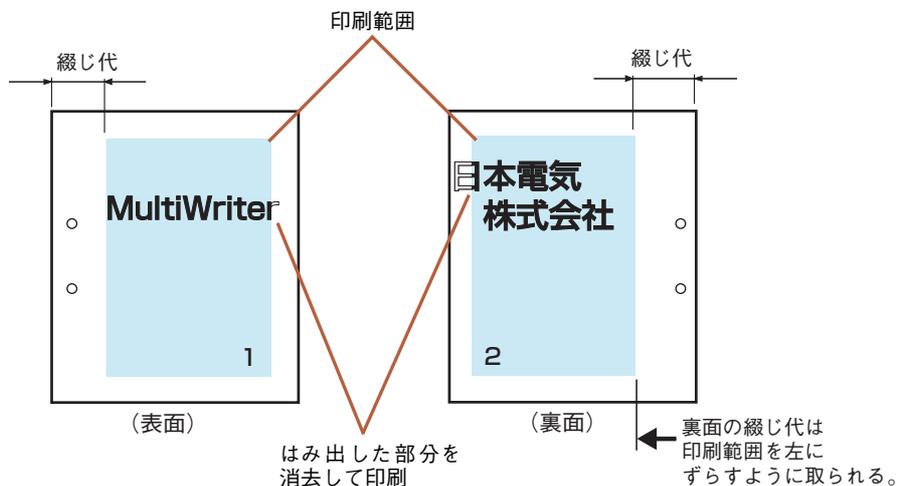
余白（とじしろ）を多く取り過ぎると、印刷データが用紙の印刷範囲を超えてしまう場合があります。クリッピング機能とは、このような場合に印刷範囲からはみ出したデータを次の行に印刷するか、はみ出した分を消去してそのまま印刷するかを選択します。ただし、両面印刷時にのみ有効で、「7章 メニューモード」(263ページ)の「印刷機能メニュー」(280ページ)で設定します。

- 「クリップ」をOFFにすると、はみ出した印刷データを次の行に引き続いて印刷します。それ以降の印刷データは1行ずつずれることとなります。(アプリケーションによっては、はみ出したデータを消去するものもあります)。



クリップOFF (チェックしていない) の場合

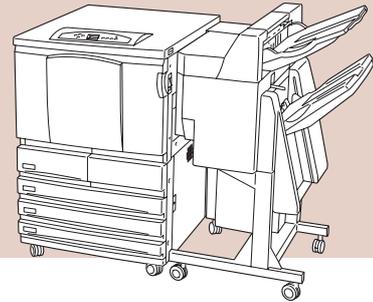
- 「クリップ」をONにすると、はみ出した印刷データを消去して印刷を続けます。



クリップON (チェックしている) の場合

3章

ネットワークでの設定



この章では、ネットワークに接続してお使いになる場合のネットワーク設定およびネットワークユーティリティーの詳細について説明しています。また、無線LANアダプター使用時の注意事項についても説明しています。無線LANアダプターをお使いの方は、設定を行う前にお読みください。

- 標準LANインターフェースをお使いの場合は、以下の順序でお読みください。

- 1 ユーティリティーによるネットワークの設定
- 2 コンフィグレーションページの印刷
- 3 接続先の設定とプリンタードライバーのインストール

- 無線LANアダプターをお使いの場合は、以下の順序でお読みください。

- 1 無線LANアダプターに関する安全上のご注意
- 2 ユーティリティーによるネットワークの設定
- 3 コンフィグレーションページの印刷
- 4 接続先の設定とプリンタードライバーのインストール

- LANアダプター*をお使いの場合は、以下の順序でお読みください。

- 1 ユーティリティーによるネットワークの設定
LANアダプターのIPアドレスやサブネットマスクなどの設定は、LANボードの設定と同様に行えます。詳しくは、各LANアダプターに添付の取扱説明書を参照してください。
- 2 接続先の設定とプリンタードライバーのインストール

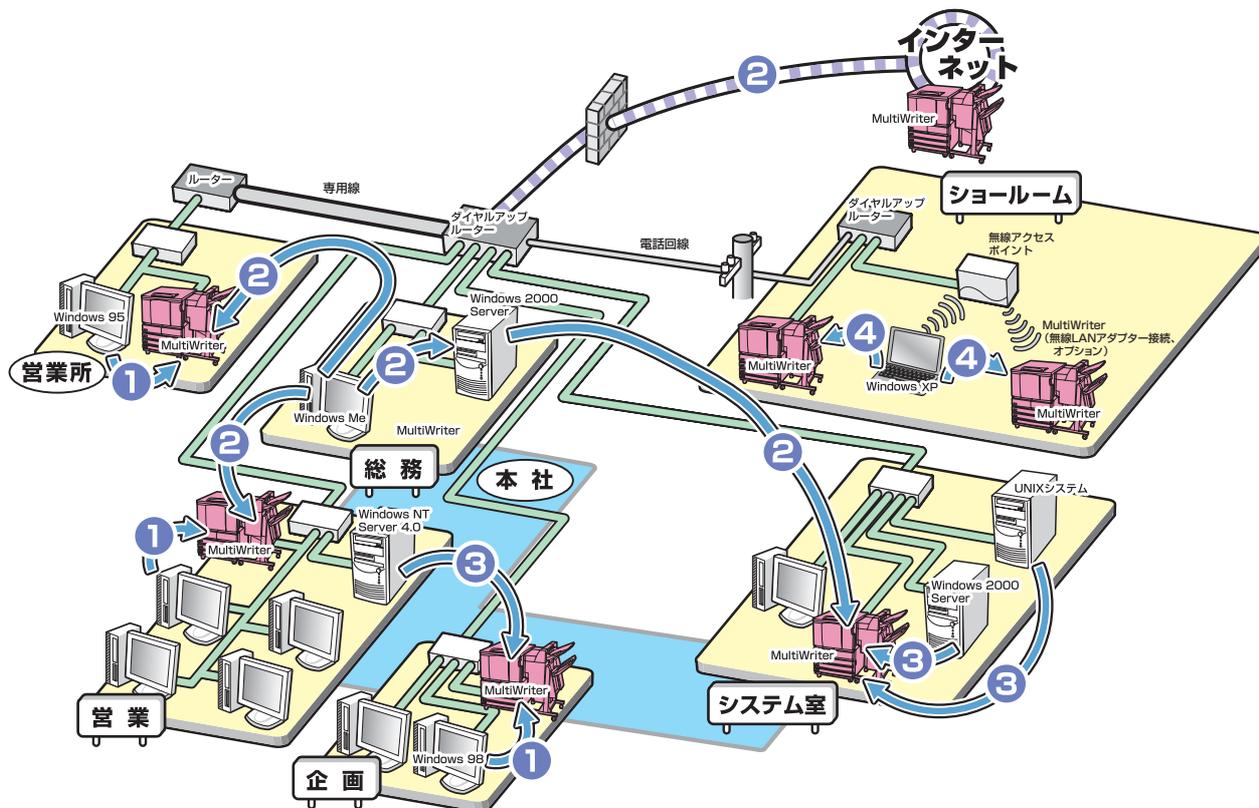
* LANアダプタ（型番：PR-NPX-05）をお使いの場合は、LANアダプターに添付のセットアップガイドを参照してください。なお、PR-NPX-05はPrintAgentIには対応していません。

Windows Server 2003をお使いのお客様へ

本書にWindows Server 2003の記述がない場合は、Windows XPの記述をWindows Server 2003に読み替えてください。

MultiWriterを使ったネットワーク印刷

以下にMultiWriterをネットワークプリンターとして使用する場合の例を示します。



① PrintAgent

PrintAgentは部門内、ワークグループでの使用に適した印刷管理ソフトウェアです。丁合い、リプリント、オフセット排紙などの機能によりMOPYINGを快適に利用できます。

② IPP (Internet Printing Protocol)

Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows Meで標準サポートされたインターネット印刷プロトコルです。印刷先をURLで指定することでインターネットに接続されている遠隔地のプリンターまたはWindows XP、Windows 2000のIPPサーバーを経由して印刷することができます。Windows 98、Windows 95、Windows NT 4.0用にはNEC Internet Printing Systemを使うことで利用できます。

③ LPR

UNIXシステムネットワークで標準の1つとして利用されている印刷プロトコルです。Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0に標準で搭載されています。

④ NEC TCP/IP Printing System (NEC Network Port)

NEC製のプリンターやネットワークオプションが使用できるプリンターで共通して使用できる印刷方式です。PrintAgentソフトウェアと共に使用することでプリンターとの双方向通信を実現します。

無線LANアダプターに関する安全上のご注意

ここでは、無線LANアダプターを安全にお使いいただくための注意事項について説明します。注意事項の内容をよく読んでご理解いただき、無線LANアダプターをより安全にご活用ください。



- 心臓ペースメーカーに近づけない
埋め込み型心臓ペースメーカーを装着されている方は、無線LANアダプターをペースメーカー装着部から22cm以上離して使用してください。心臓ペースメーカーの近くで使用するとペースメーカーが正しく動作しないおそれがあります。
- 使用禁止区域では使用しない
心臓ペースメーカーや補聴器などの医療機器を使用している方が近接する可能性がある場所では使用しないでください。特に医療機関側が無線LANアダプターの使用を禁止した区域では、無線LANアダプターを使用しないでください。
また、医療機関側が無線LANアダプターの使用を認めた区域でも、近くで医療用電気機器が使用されている場合には、プリンターの電源を切ってください。
無線LANアダプターの電波出力は、例えば携帯電話などに比べてはるかに低く抑えられており、医療電気機器に与える影響は極めて少ないものですが、医療機器が正しく動作しないおそれがあります。使用に際しては各医療機関の指示に従ってください。詳しい内容については、各医療機関にお問い合わせください。
- 飛行機内では使用しない
飛行機内では、無線LANアダプターを装着したプリンターの電源を切ってください。現在、各航空会社では航空機の飛行状態などに応じて、機内での無線機器・電子機器などの使用を禁止しており、無線LANアダプターもその該当機器となります。電子機器に影響を与え、事故の原因となるおそれがありますので、詳しい内容については、各航空会社にお問い合わせください。
- ぬれた手で触らない
無線LANアダプターがプリンターに取り付けられているときに、ぬれた手で無線LANアダプターやプリンターに触らないでください。ぬれた手で触ると感電するおそれがあります。

ユーティリティによるネットワークの設定

プリンターをネットワーク環境で利用する前に、ネットワークインターフェースのIPアドレスやサブネットマスクなどを設定する必要があります。ここでは、標準実装LANインターフェースを使用する際に必要な設定方法について説明しています。

以下のいずれかの方法で設定してください。また、DHCPを使用して設定する場合は、「より便利なネットワーク機能」の「DHCP」(166ページ)を参照してください。

- プリンターの操作パネル ユーザーズマニュアルを参照してください。
- EASY設定ユーティリティ 添付のプリンターソフトウェア CD-ROM に収録されています。簡単にIPアドレスなどの設定ができます。
- PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ 添付のプリンターソフトウェア CD-ROM に収録されています。プリンターソフトウェアを管理者向けとしてインストールすると使用できます。
ユーティリティの詳細についても説明しています。「PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ」(71ページ)を参照してください。
- 無線LANプリンタ導入ウィザード 添付のプリンターソフトウェア CD-ROM に収録されています。簡単に無線LANアダプターの設定ができます。設定に関する解説や操作手順がウィザードの画面上に表示されます。
- WWWブラウザ 汎用の WWW ブラウザーを使用してプリンターをネットワーク環境で使用するための設定をします。
- Telnet Telnetで接続し、プリンターをネットワーク環境で使用するための設定をします。
- UNIXコマンド UNIXコマンド「ping」と「arp」を使用して設定します。

ユーティリティでIPアドレスを設定する前にコンフィグレーションページを印刷して、LANインターフェースのMACアドレスを確認してください。コンフィグレーションページの印刷は操作パネルから行います。コンフィグレーションページ印刷については、「コンフィグレーションページの印刷」(184ページ)を参照してください。

また、ネットワークプリンターに印刷するためには、IPアドレスを設定した後にコンピューターのOSについて設定が必要です。各OSの設定方法については、「接続先の設定とプリンタードライバのインストール」(119ページ)を参照してください。

EASY設定ユーティリティ

添付のプリンターソフトウェアCD-ROMに収録されているユーティリティ「EASY設定ユーティリティ」を使用してIPアドレスやサブネットマスクなどを設定します。このユーティリティはWindows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0、Windows Me、Windows 98、またはWindows 95で使用できます。詳細については、添付のプリンターソフトウェアCD-ROMの[EASY]フォルダー内に収録されている「README.TXT」をご覧ください。

重要

- Windows XPでご使用になる場合は、アカウントの種類が[コンピュータの管理者]のユーザーでログオンしてください。
- Windows Server 2003、Windows 2000またはWindows NT 4.0でご使用になる場合は、Administratorsの権限を持ったユーザーでOSにログオンしてください。Administratorsの権限を持たないユーザーでログオンした場合には設定できません。
- プリンターにIPアドレスを設定する場合は、設定するために使うコンピューターとプリンターがIPルーターなどを介さない（同一ネットワーク内）で接続された環境で行ってください。

ここでは、Windows XP 日本語版を例にとって説明します。

1 Windows XPを起動する。

2 プリンターソフトウェアCD-ROMをセットする。

[プリンターソフトウェアCD-ROMメニュー] ダイアログボックスが表示されます。

お使いのコンピューターによっては、自動的にメニュープログラムが立ち上がらない場合があります。その場合は、CD-ROMのルートディレクトリーにある「MWSETUP.exe」を実行してください。

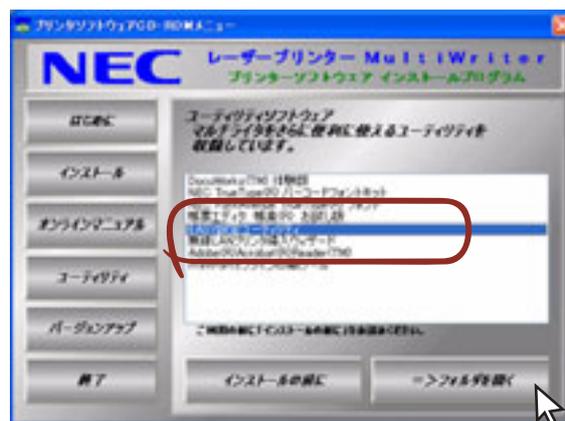


3 [ユーティリティ] をクリックする。



4 [EASY設定ユーティリティ] を選択し、[フォルダを開く] をクリックする。

プリンターソフトウェアCD-ROM内の[EASY]フォルダーが開きます。

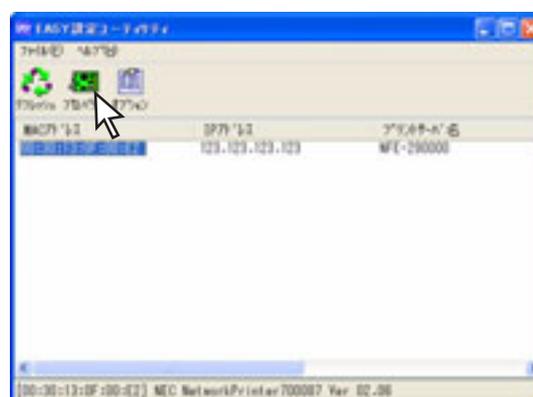


5 [NICSET] アイコンをダブルクリックする。

[EASY設定ユーティリティ] ウィンドウが表示されます。

6 一覧からプリンターのMACアドレスを選択し、[プロパティ] をクリックする。

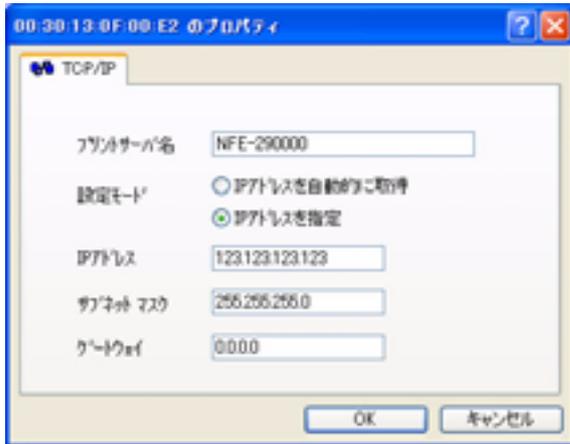
[TCP/IP] タブが表示されます。



一覧にプリンターが表示されない場合は、[リフレッシュ] をクリックし、再検索を行ってください。

7 プリントサーバー名を確認する。

ネットワーク上から見たプリンターの名前が「プリントサーバ名」ボックスに表示されます。プリントサーバー名の変更もできます。

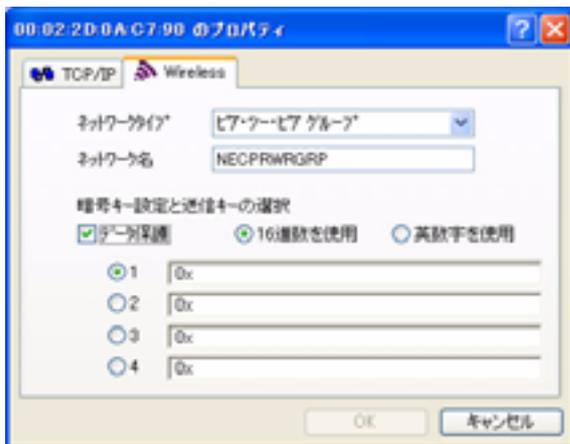
**8** 「設定モード」で「IPアドレスを指定」を選択する。**9** 「IPアドレス」と「サブネットマスク」を入力する。**10** 「ゲートウェイアドレス」を設定する。

ゲートウェイ（ルーター）を使用しないネットワーク環境では、設定の必要はありません。

標準LAN、LANアダプターを使用している場合は、手順**15**へ進んでください。

11 無線LANアダプターを使用している場合は、「Wireless」タブをクリックする。

「Wireless」シートが表示されます。

**12** 「ネットワークタイプ」で接続する無線LAN環境を選択する。

- ピア・ツー・ピアグループ
ネットワーク名（ESS-ID）を入力設定する無線LANカード（NEC無線LANカードなど）を使用したコンピューターとピア・ツー・ピアグループ接続します。

チェック

アドホックタイプでご使用の場合は、無線LANプリンターアダプタ（PR-WL-01）のセットアップガイドを参照してください。

アドホックは、無線通信に使用するチャンネルバンドを選択設定する（ネットワーク名（ESS-ID）を設定しない）無線LANカードを使用したコンピューターと接続します。アドホック設定時は、使用するチャンネルバンドが「チャンネル1」固定になります。

- レジデンシャル・ゲートウェイ
NEC無線LANアクセスポイント（PK-WL002H）経由でネットワークに無線接続します。
- アクセスポイント
IEEE802.11b 準拠のアクセスポイント経由でネットワークに接続します。
NEC無線LANアクセスポイントN（PK-WL003）、無線LANアクセスポイントE（PK-WL005）、無線LANアクセスポイントS（PK-WL007）、または無線LANアクセスポイントEX（PK-WL010）経由でネットワークに接続する場合は、この項目を選択します。

13 ネットワーク名（ESS-ID）を入力する。

接続したいアクセスポイントや無線LANカードを装着したコンピューターに付けられているネットワーク名と同じ名前を設定します。

14 データ保護を設定する。

チェックを付けることで、WEP(Wired Equivalent Privacy) データ暗号化方式により、無線LANで転送されるデータを暗号化します。暗号キーは、次のように使用します。

- 無線LANプリンターが受信する無線メッセージを復号します。4つ設定することができます。
- 無線LANプリンターが送信する無線メッセージを暗号化します。キー1から4の中から選択された1つの暗号キーは、無線LANアダプターが送信する無線メッセージを暗号化します。選択された暗号キーは、必ず設定する必要があります。

暗号キーは、アクセスポイントやコンピューターの無線端末が、無線LANプリンターにデータを送信する時に使用する暗号キーと同じものを設定します。

使用できる文字は、半角英数字と文字記号（「*」アスタリスクを除く）。

暗号キーの5文字（16進数で10桁）または13文字（16進数で26桁）のどちらかの文字数のみで設定することができます。

重要

暗号キーを変更する場合は無線LANプリンターボードを先に変更し、その後にアクセスポイントやコンピューターの設定を変更してください。

「ネットワークタイプ」や「ネットワーク名」、「暗号キー」を間違っただけで設定した場合は、ネットワーク設定の初期化を実行し、再度設定を行ってください。

15 「OK」をクリックして、EASY 設定ユーティリティを終了する。

以上で設定は完了です。

PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ

添付のプリンタソフトウェアCD-ROMに収録されているユーティリティ「PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ」を使用してIPアドレスやサブネットマスクなどを設定します。IPアドレスの設定以外にもネットワークに接続されたプリンタの状態を監視したり、ネットワーク接続や監視に必要な各種パラメータを設定したりすることができます。インストールについては2章の「プリンタ管理者用インストール」の「インストール手順」(56ページ)を参照してください。また、操作方法などの詳細についても説明していますので、参照してください。

重要

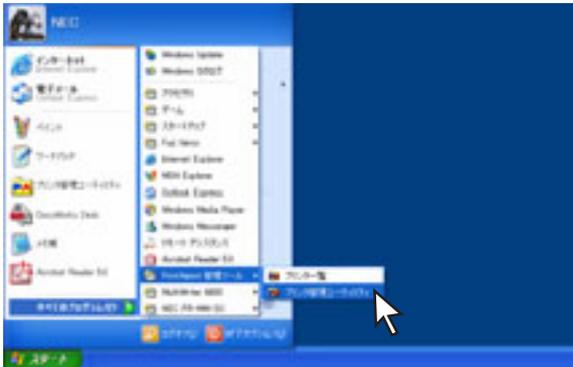
- Windows XPでご使用になる場合は、アカウントの種類が [コンピュータの管理者] のユーザーでログオンしてください。
- Windows Server 2003、Windows 2000、またはWindows NT 4.0環境でご使用になる場合は、Administratorsの権限を持ったユーザーでOSにログオンしてください。Administratorsの権限を持たないユーザーでログオンした場合には設定できません。
- プリンタにIPアドレスを設定する場合は、設定するために使うコンピューターとプリンタがIPルーターなどを介さない (同一ネットワーク内) で接続された環境で行ってください。
- LANインターフェースの設定項目は、プリンタやアダプターの種類によって異なります。

ここでは、Windows XP 日本語版を例にとって説明します。

1 プリンタ管理ユーティリティを起動する。

[スタート] をクリックし、[すべてのプログラム] - [PrintAgent管理ツール] をポイントします。次に [プリンタ管理ユーティリティ] をクリックします。

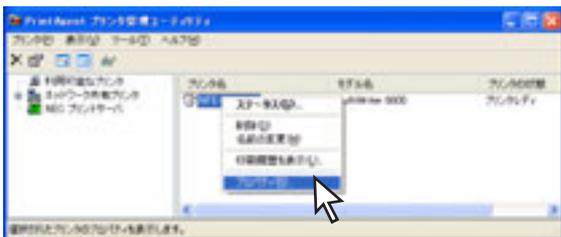
Windows XP以外の場合は、[プログラム] - [PrintAgent管理ツール] をポイントします。



2 ウィンドウの左側ボックスから [NEC プリントサーバ] を選択する。

プリンタがまだ登録されていないときは、[プリンタ] メニューから [プリンタの登録] をクリックしてプリンタを登録してください。

3 ウィンドウの右側ボックスから対象のプリンタを右クリックし、[プロパティ] をクリックする。



4 [TCP/IP] タブをクリックする。

5 [マニュアルで設定する] を選択する。

重要

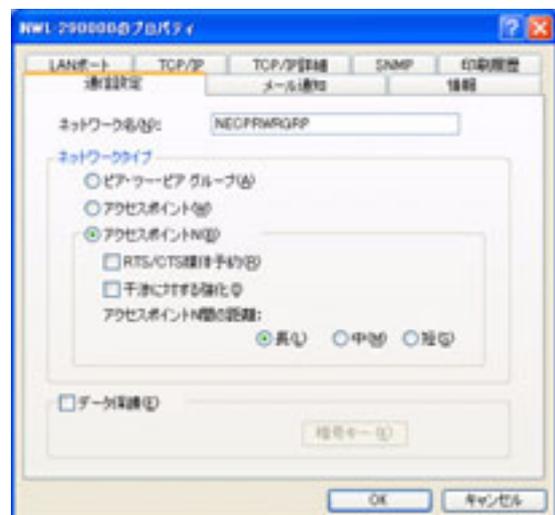
- [マニュアルで設定する] を選択するとUNIXコマンドによる設定ができなくなります。UNIXコマンドによるIPアドレスを再設定する場合は、[UNIXコマンドで設定する] を選んでください。
- 無線LANアダプターは、UNIXコマンドによる設定には対応していません。[UNIXコマンドで設定する] は選択しないでください。

6 IPアドレスとサブネットマスクを入力する。

LANアダプターを使用している場合は、手順①に進んでください。

7 無線LANアダプターを使用している場合は、[通信設定] タブをクリックする。

[通信設定] シートが表示されます。



8 [ネットワーク名] を入力する。

接続したいアクセスポイントや無線LANカードを装着したコンピューターに付けられているネットワーク名と同じ名前を設定します。

9 [ネットワークタイプ] で接続する無線LAN環境を選択する。

各項目についての説明は、88ページの「[通信設定] シート」をご覧ください。

10 データ保護を設定する。

チェックを付けることで、WEP(Wired Equivalent Privacy) データ暗号化方式により、無線LANで転送されるデータを暗号化します。

各項目についての説明は、88ページの「[通信設定] シート」をご覧ください。

重要

暗号キーを変更する場合は無線LANアダプターを先に変更し、その後にアクセスポイントやコンピューターの設定を変更してください。

「ネットワークタイプ」や「ネットワーク名」、「暗号キー」を間違えて設定した場合は、ネットワーク設定の初期化を実行し、再度設定を行ってください。

11 [OK] をクリックして終了する。

以上で設定は完了です。

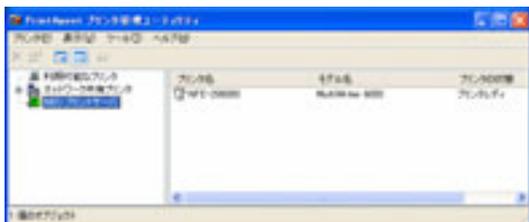
PrintAgentプリンタ管理ユーティリティの詳細

PrintAgentプリンタ管理ユーティリティは、LANインターフェースを標準実装したプリンターやオプションのLANアダプターを接続しているプリンターのネットワーク設定や状態の確認やPrintAgentのいろいろな機能を設定するユーティリティです。

このユーティリティは、プリンター管理者向けのツールとして以下のような設定やプリンター運用時の監視機能を提供しています。ただし、ご使用のLANアダプターにより、その内容は異なります。

ここでは、Windows XP 日本語版環境でPrintAgentプリンタ管理ユーティリティの画面左のツリービューで [NECプリントサーバ] を選択している場合について説明します。

- ネットワークプリンターの設定と管理
 - － ネットワークプリンターの一覧の確認



- － プリンターの状態の確認



- － IPアドレスの設定
- － プリンターの構成

- PrintAgentの機能
 - 印刷ジョブの制御
 - プリンタステータスウィンドウの起動
 - 保守情報のメール通知（NEC e-mailメンテナンス）の設定

ご利用までの手順

PrintAgentプリンタ管理ユーティリティがネットワークで使用できるようになるまでの手順について説明します。

重要

プリンタ管理ユーティリティをご使用になるときは、以下の点に注意してください。

- PrintAgent プリンタ管理ユーティリティをインストールする前にコンピューターのネットワーク設定（IP アドレスなど）がすでに行われていることを確認してください。
- PrintAgentプリンタ管理ユーティリティとLANアダプターに添付のWindows 3.1用ネットワークプリンタユーティリティを同時に実行しないでください。
- PrintAgentプリンタ管理ユーティリティを起動していることにより、メモリー不足で他のアプリケーションソフトウェアが実行できない場合は、PrintAgentプリンタ管理ユーティリティを終了してください。
- Windows XPでご使用になる場合は、アカウントの種類を [コンピュータの管理者] のユーザーでログオンしてください。
- Windows Server 2003、Windows 2000またはWindows NT 4.0でご使用になる場合、Administratorsの権限を持ったユーザーでログインしてください。Administratorsの権限を持たないユーザーでログインした場合には設定を行えません。
- LANインターフェースへの設定は、LANアダプターと同一ネットワークアドレスに接続されたコンピューターを使用してください。
- Windows 2000で、IPX/SPX互換トランスポートを使用する場合、ネットワーク上にNetWareサーバーが起動している必要があります。NovellのNetWareクライアントソフトウェアをインストールすることで一部の機能が有効になります（「[NetWare] シート」（92ページ）参照）。
- オプションのLANアダプターに添付のPrintAgentプリンタ管理ユーティリティをすでにご使用の場合は、これを削除（アンインストール）した後、プリンターに添付のプリンターソフトウェアCD-ROMに収録されているPrintAgentプリンタ管理ユーティリティをインストールしてください。アンインストール方法については、オプションのLANアダプターに添付の「PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ取扱説明書」をご覧ください。

Step1 使用環境を確認する

このPrintAgentプリンタ管理ユーティリティを使用できるプリンターは、MultiWriter 6600（型番 PR-WL-01装着時）です。

また、以下に示すネットワークオプションが使用できるプリンターも対象となります。

- PR-NP-04T LANボード（TCP/IP）
- PR-L2800-NP LANボード（TCP/IP）
- PR-NP-02T2 LANアダプタ（TCP/IP）
- PR-NP-03TR2 LANアダプタ（TCP/IP）
- PR-WL-11 無線LANプリンタボード
- PR-WL-12 無線LANボード
- PC-PR-L01 マルチプロトコルLANボード
- PC-PR-L02 マルチプロトコルLANボード
- イーサネットコネクタを標準で装備したプリンター

チェック

ただし、本ユーティリティーに対応していないプリンターもあります。その場合はプリンターに添付のユーティリティーを使用してください。

Step2 イーサネットコネクタを装備しているプリンターを接続する

ケーブルの接続方法などは、プリンターに添付のユーザーズマニュアルをご覧ください。

Step3 PrintAgentプリンタ管理ユーティリティをインストールする

PrintAgentプリンタ管理ユーティリティをコンピューターにインストールします。インストールは、PrintAgentのインストール時に「管理者向けカスタムインストール」を選択し、「プリンタ管理ユーティリティ」にチェックを付けることで行います。

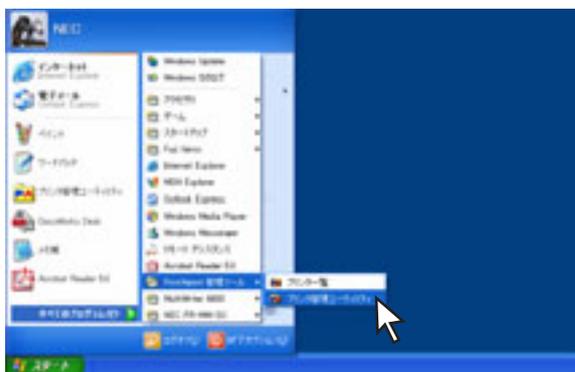
プリンターソフトウェアのインストールプログラムで後から追加インストールを行ったり、削除することができます。詳細については、2章の「プリンター管理者用インストール」(55ページ)を参照してください。

Step4 プリンターを登録する

PrintAgentプリンタ管理ユーティリティを使ってLANインターフェースの設定を行うためにプリンターの登録を行います。新規にLANインターフェースをネットワークに接続した場合は、このプリンターのコンフィグレーションページの印刷結果にあるMACアドレスなども参照してください。コンフィグレーションページの印刷方法については、「コンフィグレーションページの印刷」(184ページ)を参照してください。

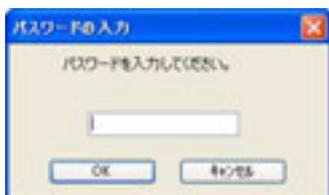
1 PrintAgentプリンタ管理ユーティリティを起動する。

[スタート] をクリックし、[プログラム]、[PrintAgent管理ツール] をポイントします。次に [プリンタ管理ユーティリティ] をクリックします。

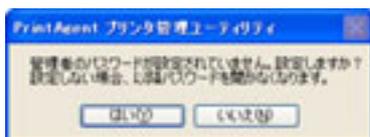


2 パスワードの入力、設定をする。

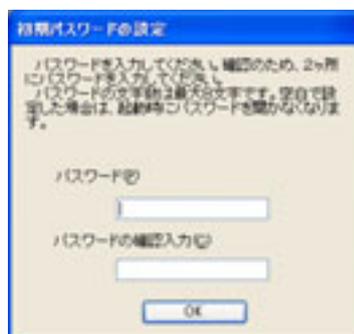
パスワードを既に設定している場合は、パスワードを入力するダイアログボックスが表示されますので、パスワードを入力してください。



パスワードの設定をたずねるダイアログボックスが表示された場合は、パスワード設定の有無を選択します。



[はい] をクリックするとパスワードの設定ウインドウが表示されます。パスワードは、半角の英数字で8文字まで入力できます。

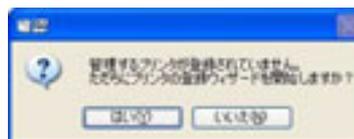


パスワードが不要の場合は、[いいえ] をクリックしてください。後から [ツール] メニューの [パスワードの変更] で設定できます。

3 プリンターを登録していない場合、プリンターを登録するかどうかの [確認] ダイアログボックスが表示されるので、どちらかをクリックする。

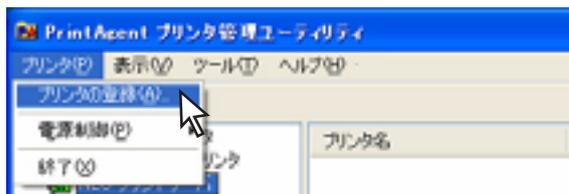
[はい] をクリックした時は手順⑤に、「いいえ」をクリックした時は手順④に進んでください。

このダイアログボックスが表示されなかった場合は、画面左のツリービューで [NECプリントサーバ] を選択してください。

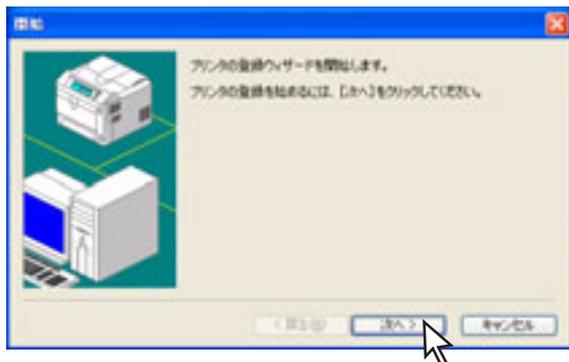


- 4 [プリンタ] メニューから [プリンタの登録] をクリックする。

[プリンタの登録] ウィザードが開始されます。



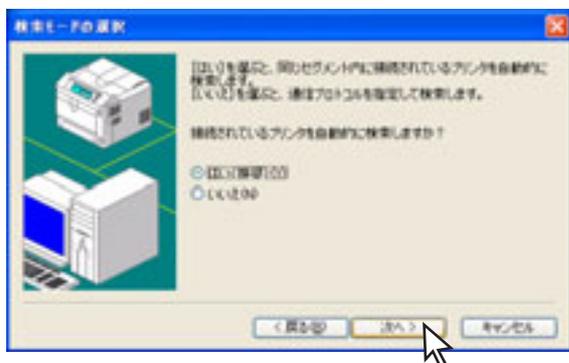
- 5 [次へ] をクリックする。



- 6 設定するプリンターを自動で検索するか、マニュアルで検索するかを選び、[次へ] をクリックする。

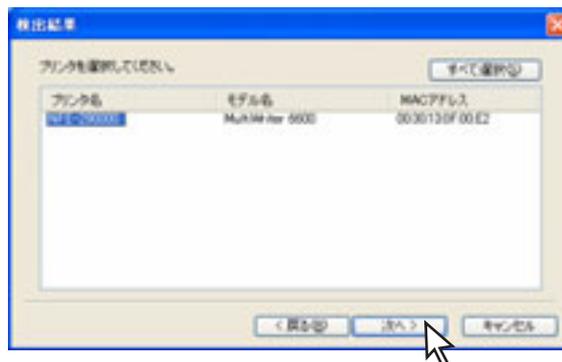
[はい] を選ぶと、ネットワーク内で登録されていないプリンターを自動的に検索します。手順7に進んでください。

[いいえ] を選ぶと、プロトコル、MACアドレスなどを入力して検索します。手順8に進んでください。



- 7 登録したいプリンターを選び、[次へ] をクリックする。

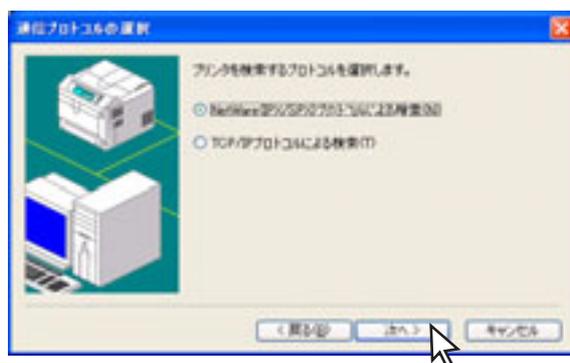
手順11に進んでください。



- 8 LAN インターフェースと通信するプロトコルを選び、[次へ] をクリックする。

「NetWare (IPX/SPX) プロトコルによる検索」を選んだ場合は、手順9に進んでください。

「TCP/IPプロトコルによる検索」を選んだ場合は、手順13に進んでください。



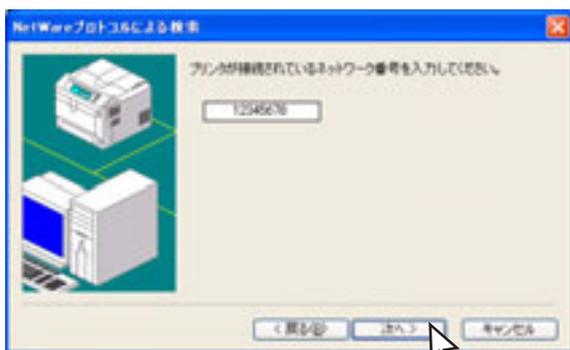
- 9 プリンターの検索方法を選び、[次へ] をクリックする。

「ネットワークに接続されているプリンタを検索」を選んだ場合は、手順10に進んでください。

「ネットワーク番号とMACアドレスを指定して登録」を選んだ場合は、手順12に進んでください。



- ⑩ ネットワーク番号を入力して、[次へ] をクリックする。

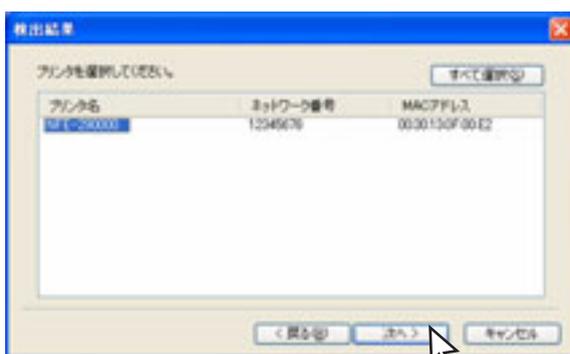


✓チェック

存在しないネットワーク番号を入力しないでください。入力すると動作が遅くなることがあります。

- ⑪ 登録したいプリンターを選び、[次へ] をクリックする。

手順⑩に進んでください。



- ⑫ ネットワーク番号と MAC アドレスを入力して、[次へ] をクリックする。

手順⑪に進んでください。



- ⑬ プリンターの検索方法を選び、[次へ] をクリックする。

「ネットワークに接続されているプリンタを検索」を選んだ場合は、手順⑩に進んでください。

「IPアドレスとMACアドレスを指定して登録」を選んだ場合は、手順⑫に進んでください。

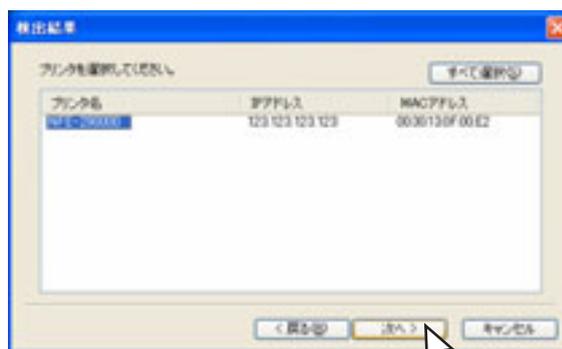


- ⑭ ブロードキャストアドレス、またはIPアドレスを入力して [次へ] をクリックする。



- ⑮ 登録したいプリンターを選び、[次へ] をクリックする。

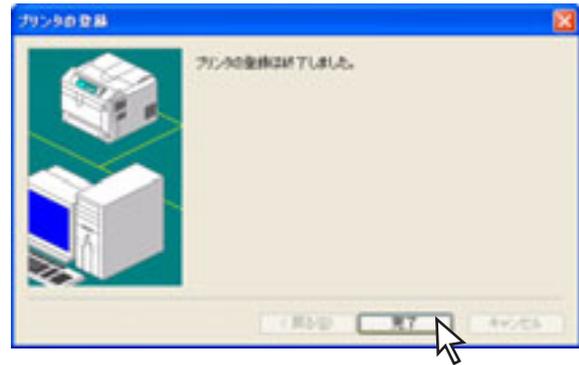
手順⑭に進んでください。



- ⑩ IPアドレスと MAC アドレスを入力し、[次へ] をクリックする。



- ⑪ [完了] をクリックする。



以上でプリンターの登録は完了です。

PrintAgentプリンタ管理ユーティリティのメニュー

PrintAgentプリンタ管理ユーティリティを起動すると以下のウィンドウが表示されます。

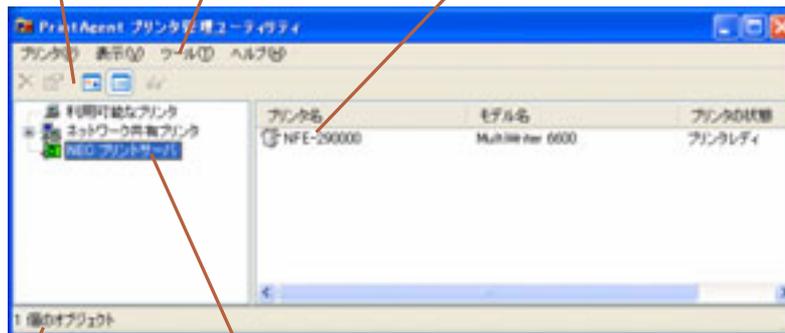
ツールバー

メニューの項目をアイコン化したものです。選んだプリンター、接続形態によって表示は異なります。

メニューバー

リストビュー

左側のボックスで選ばれた接続形態のプリンターの使用状況をリストで表示します。



ステータスバー

ツリービュー

ネットワーク内のプリンターがどのように接続されているかをツリー形式で表示します。

利用可能なプリンタ： 実際にコンピューターにプリンタードライバーがインストールされているプリンターです。

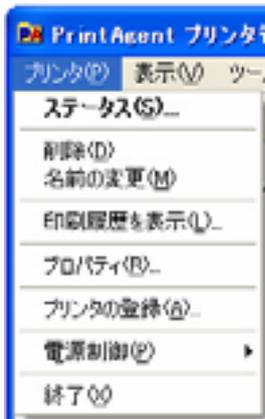
ネットワーク共有プリンタ： ネットワーク内で共有されているプリンターを検索できます。

NECプリントサーバ： イーサネットコネクタを標準装備したNEC製プリンター、またはNEC製のLANアダプターを使ってネットワーク接続されているプリンターです。

各メニューのコマンドをポイントするとステータスバーに簡単な説明が表示されます。詳細な説明が必要な場合はヘルプをご覧ください。

[プリンタ] メニュー

リストビューでプリンターを選んでいるときに実行できる機能は次のとおりです。



■ ステータス

以下のようなプリンターのステータス画面を表示します。プリンターのステータス画面ではプリンターの状態、モデル名、プリンターの構成が表示されます。この画面は、ツールバーの [ステータス] ボタンをクリックしても表示することができます。



■ 削除

選択したプリンターを削除します。ツールバーの [削除] ボタンをクリックしても同じ機能を実行することができます。

■ 名前の変更

選択したプリンターの [プリンタ名] ボックスがハイライトし、名前を変更することができます。デフォルトでは [LANポート] シートのプリンター名と同じ名前が表示されますが、任意の名前に変更できます。また、ここでの変更は [LANポート] シートのプリンター名には影響しません。

■ 印刷履歴を表示

ネットワーク経由で印刷した履歴を表示します。

■ プロパティ

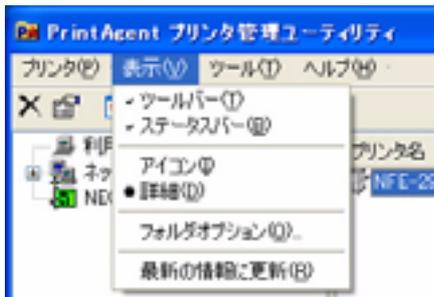
選択したプリンターの設定 (LANアダプター接続時は、これらの設定) を変更することができます。プロパティの内容については「[プロパティ] ダイアログボックス」をご覧ください。

■ プリンタの登録

プリンターを登録するための [プリンタの登録] ウィザードが起動します。

[表示] メニュー

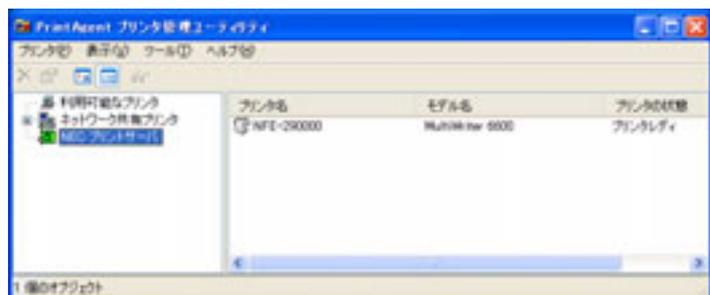
[表示] メニューでは、次のような機能が実行できます。



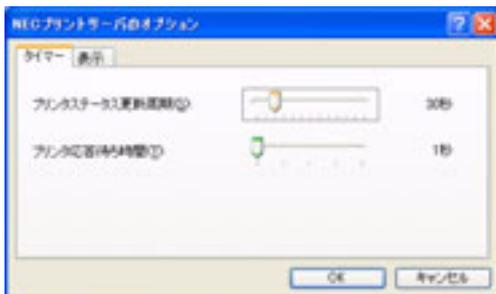
- ツールバー
ツールバーを表示するかしないかを切り替えます。メニュー上のチェックマークは表示している状態を示しています。
- ステータスバー
ステータスバーを表示するかしないかを切り替えます。メニュー上のチェックマークは表示している状態を示しています。
- アイコン
右のようなプリンターの一覧をアイコンで表示します。



- 詳細
右のようなプリンターの一覧をリストで表示します。



- フォルダオプション
NECプリントサーバの設定を行います。[NECプリントサーバのオプション] ダイアログボックスを表示します。
－ [タイマー] シート

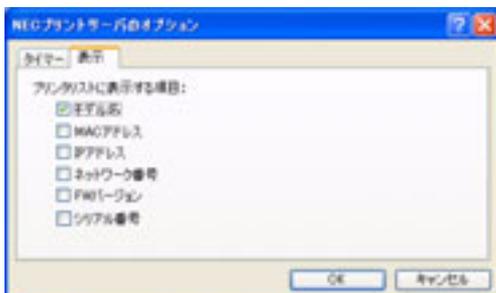


項目	説明
プリンタステータス更新周期	登録されたプリンターの状態を確認しリストを更新する周期を設定します。10秒から120秒まで10秒単位で設定できます。初期値は30秒です。
プリンタ応答待ち時間	プリンターとの通信時、本ユーティリティがプリンターからの応答を待つ時間を設定します。プリンターからの応答が遅い場合、待ち時間をより長く設定してください。初期値は1秒です。

- － [表示] シート

詳細リスト表示のとき列見出しの項目を選択します。[プリンタ名] と [プリンタの状態] は、はじめから表示されています。

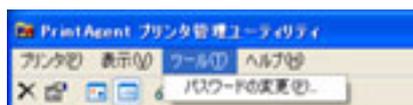
デフォルトでは、[LANポート] シートのプリンター名と同じ名前が表示されますが、プリンター名を2回クリックすると、任意の名前に変更することができます。ここでの変更は、[LANポート] シートのプリンター名には影響しません。



項目	説明
モデル名	LANインターフェースのモデル名を表示します。
MACアドレス	LANインターフェースの固有のネットワークアドレスを示します。
IPアドレス	LANインターフェースのIPアドレスを表示します。
ネットワーク番号	NetWareプロトコルで通信しているとき、NetWareネットワーク番号を表示します。
FWバージョン	LANインターフェース内のLAN関連ファームウェアのバージョンを表示します。
シリアル番号	プリンターのシリアル番号を表示します。

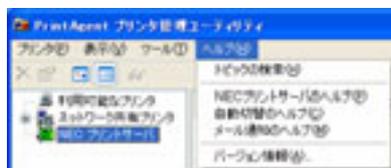
- 最新の情報に更新
登録されているプリンターと通信を行い情報を更新します。

[ツール] メニュー



[ツール] メニューでは、[パスワードの変更] が選択できます。
[パスワードの変更] は、本PrintAgentプリンタ管理ユーティリティを使用するためのパスワードの設定・変更を行います。

[ヘルプ] メニュー



[ヘルプ] メニューでは、PrintAgentプリンタ管理ユーティリティについてのヘルプを参照することができます。

ポップアップメニュー

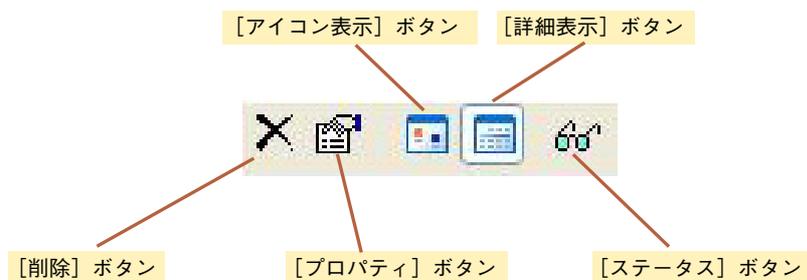
リストビュー内の任意の場所で右クリックすると表示されるメニューです。以下のような機能が実行できます。



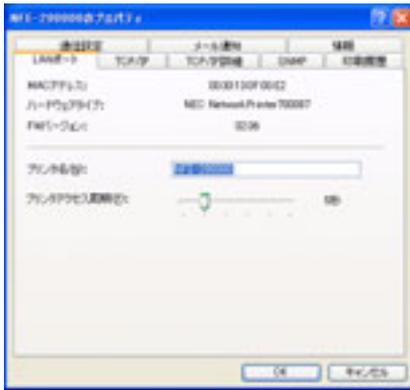
- 表示
リストビューをアイコン形式で表示するか、リスト形式で表示するかを切り替えます。[表示] メニューの [アイコン]、[詳細] と同じ機能です。
- 最新の情報に更新
登録されているプリンターと通信を行い情報を更新します。[表示] メニューの [最新の情報に更新] と同じ機能です。
- プリンタの登録
プリンターを登録します。[プリンタの登録] ウィザードが起動します。[プリンタ] メニューの [プリンタの登録] と同じ機能です。
- 電源制御
[プリンタ] メニューの電源制御と同じです。

ツールバー

以下のようにメニューの項目をボタンにしたものがツールバーに用意されています。



[プロパティ] ダイアログボックス



LANインターフェースの設定は、左のような [プロパティ] ダイアログボックスで行います。

✓チェック

表示される内容は、LANインターフェースによって異なります。また、設定できない項目は、グレーアウトされます。

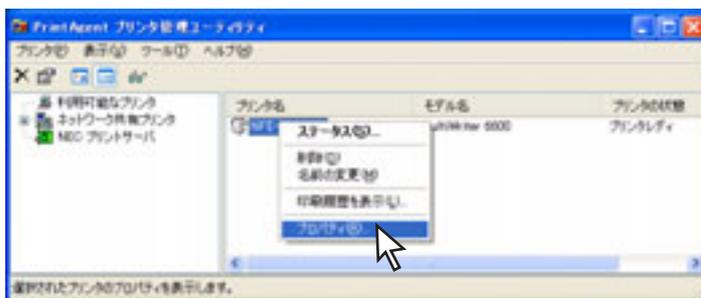
ダイアログボックスの開き方

[プロパティ] ダイアログボックスは、次の方法で開くことができます。

- [プリンタ] メニューを使う方法
[プリンタ] アイコンを選択してから、[プリンタ] メニューの [プロパティ] を選択します。



- [プリンタ] アイコンを右クリックする方法
[プリンタ] アイコンを右クリックして、[プロパティ] を選択します。

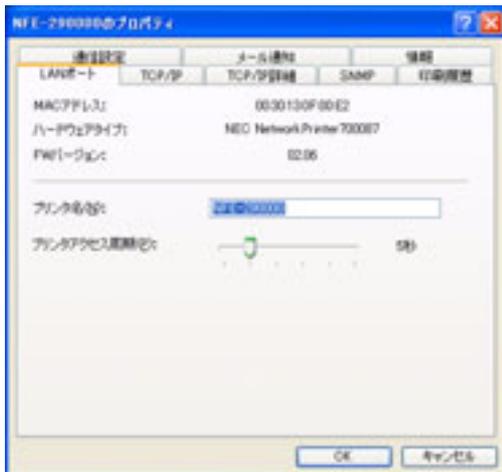


- [ツール] ボタンをクリックする方法
ツールバーのアイコンをクリックします。



[LANポート] シート

LANインターフェースの固有情報を表示設定します。



以下の固有情報を表示します。

- MACアドレス
プリンターに接続しているネットワークオプション固有のネットワークアドレスです。
- ハードウェアタイプ
プリンターに接続しているネットワークオプションの種別です。
- FWバージョン
LANインターフェースのファームウェアバージョンです。

以下の固有情報を設定できます。

- プリンタ名
ネットワーク上から見たプリンターの名前です。半角大文字の英数字、ハイフン「-」、アンダーバー「_」が使用可能です。
- プリンタアクセス周期
プリンターの状態を更新する周期です。初期値は5秒になっています。

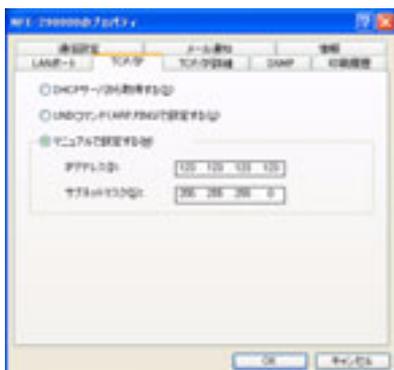


チェック

プリンターによっては変更ができない機能があります。

[TCP/IP] シート

TCP/IPプロトコルを使ったときのIPアドレスとサブネットマスクを設定できます。



- DHCPサーバから取得する
プリンターのIPアドレスとサブネットマスクをDHCPサーバから取得して設定します。
- UNIXコマンド（ARP, PING）で設定する
プリンターのIPアドレスをUNIXコマンドで設定できるようにします。
- マニュアルで設定する
プリンターのIPアドレスとサブネットマスクをマニュアルで設定します。

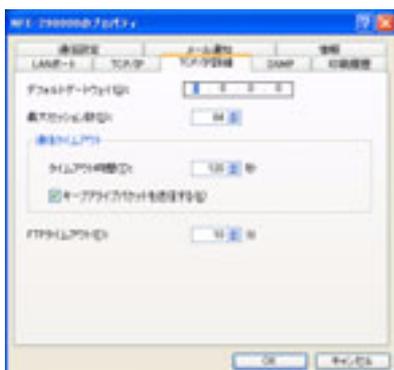


[DHCPサーバから取得する] を選択した場合は、DHCPサーバへLANインターフェースに設定するIPアドレスを事前に登録しておくことで、不用意なIPアドレスの変化を防止することができます。DHCPサーバによりIPアドレスが変更された後は登録されたプリンターとしての通信ができなくなります。プリンターを再度、選んで登録し直してください。

[マニュアルで設定する] を選択するとUNIXコマンドによる設定ができなくなります。UNIXコマンドでIPアドレスを再設定する場合は、[UNIXコマンドで設定する] を選んでください。

[TCP/IP詳細] シート

TCP/IP詳細パラメーターを設定します。以下の機能を持たないプリンターでは、このシートは表示されません。

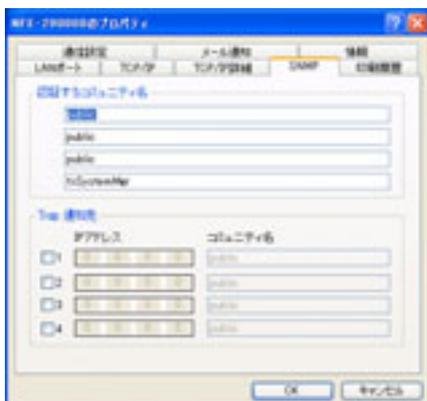


- デフォルトゲートウェイ
ゲートウェイアドレスを示します。
- 最大セッション数
TCP/IPの最大接続数を設定します。この設定はすべてのTCP/IPアプリケーション層プロトコルが対象となります。設定範囲は「1～64」、初期値は「64」になっています。

- 通信タイムアウト
TCP/IP接続時にホストコンピュータから応答がない場合のタイムアウト時間を設定します。
 - － タイムアウト時間
タイムアウトまでの時間を示します。設定範囲は「30～7200秒」、初期値は「120秒」になっています。
 - － キープアライブパケットを送信する
通信タイムアウトで設定した時間が経過した場合に、ホストコンピュータにKeep Aliveパケットを送信するか、しないかを設定します。Keep Aliveパケット送信時にホストコンピュータから応答がある場合には、TCP/IP接続が維持されます。
- FTPタイムアウト
FTP接続時のタイムアウト時間を設定します。設定範囲は「5～60分」、初期値は「10分」になっています。

[SNMP] シート

SNMPプロトコルに必要な設定を行います。SNMP機能を持たないプリンターでは、このシートは表示されません。



- 認証するコミュニティ名
ホストコンピュータからのSNMP通信の中で、LANインターフェースが受け付けるコミュニティ名を設定します。コミュニティ名には異なる名称を最大4つまで登録できます。
- Trap通知先
Trap通知先のSNMPマネージャの登録を最大4つまで行うことができます。以下でTrap通知先を設定します。
 - － IPアドレス
プリンターがホストコンピュータにTrapを通知する時のホストコンピュータのIPアドレスを設定します。
 - － コミュニティ名
プリンターがホストコンピュータにTrapを通知する時のホストコンピュータのコミュニティ名を設定します。

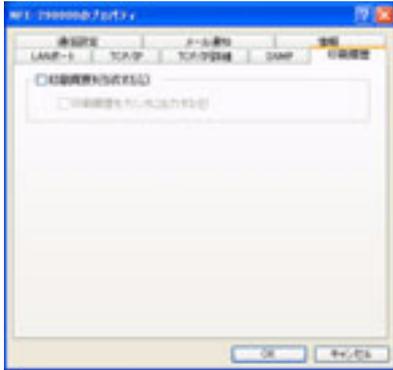
✓ チェック

Trap通知先ホストコンピュータのIPアドレスのネットワークアドレスがLANインターフェースのネットワークアドレスと異なる場合は、ゲートウェイアドレスの設定が必要です。

[TCP/IP詳細] シートの [デフォルトゲートウェイ] ボックスにゲートウェイアドレスを設定してください。

[印刷履歴] シート

印刷履歴に関する設定を行います。印刷履歴機能を持たないプリンターではこのシートは表示されません。



- 印刷履歴を作成する
チェックすると最大50までのジョブの情報を記録します。
- 印刷履歴をプリンタに出力する
チェックすると印刷履歴の記録ジョブ数が50になると印刷履歴を印刷します。チェックを外すと印刷を行わず古いジョブの記録から上書きされます。

✓ チェック

印刷履歴はプリンターの電源切断時、またはリセット時（LANアダプターご使用の場合はこれらの電源切断時）にすべてクリアされ、内部に保持されません。

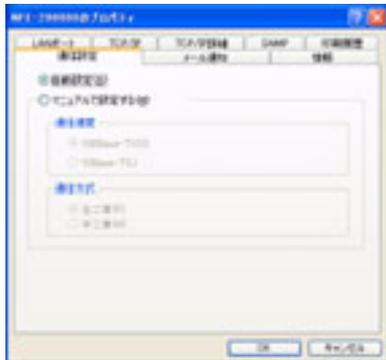
IPアドレスなどの設定を変更した場合もクリアされます。設定を「記録」から「記録しない」に変更した場合、プリンターが保持している印刷履歴を印刷してから設定が変更されます。

[通信設定] シート

通信に関する設定を行います。プリンターがイーサネット接続されている場合と無線で接続されている場合では表示内容が異なります。

■ イーサネット接続されている場合

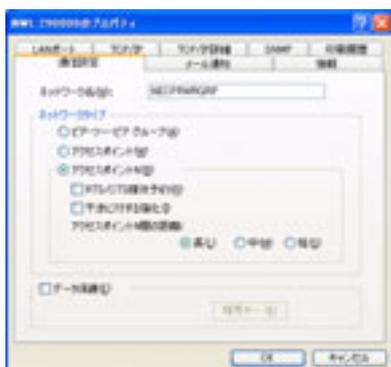
通信速度、通信方式の設定を行います。通信速度の指定ができないプリンターでは、このシートは表示されません。



- 自動設定
10BASE-T、または100BASE-TXを自動判別し、通信速度を決定します。また、通信方式も自動で選択されます。
- マニュアルで設定する
以下の項目をマニュアルで設定できます。
 - － 通信速度
100BASE-TX：100BASE-TX固定の接続設定になります。
10BASE-T： 10BASE-T固定の接続設定になります。
 - － 通信方式
全二重（Full Duplex）：パケットの送受信を同時に行うことができます。
半二重（Half Duplex）：パケットの送受信をそれぞれ別々に行うことができます。

■ 無線で接続されている場合

ネットワークに関する設定を行います。



- ネットワーク名
接続したいアクセスポイントやコンピューターに認証機能として設定しているネットワーク名 (ESS-ID) と同じ名前を設定します。
- ネットワークタイプ
以下のネットワークタイプから選択します。
 - ピア・ツー・ピアグループ (あるいはアドホック)
無線LANカードを取り付けたコンピューターと無線LANプリンターを直接、無線接続します。プリンターのLANインターフェースの設定によって、「ピア・ツー・ピアグループ」または「アドホック」の表示が異なります。



チェック

アドホックタイプで使用する場合は、PR-WL-01 無線LANプリンタアダプタの取扱説明書を参照してください。

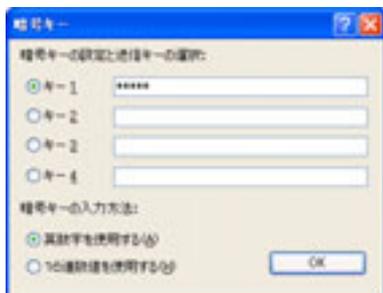
[アドホック] は、無線通信に使用するチャンネルバンドを選択設定する (ネットワーク名 (ESS-ID) を設定しない) 無線LANカードを使用したコンピューターと接続します。アドホック設定時は、使用するチャンネルバンドが「チャンネル1」固定になります。

- アクセスポイント
NEC無線LANアクセスポイント (PK-WL002H) 経由でネットワークに無線接続します。
- アクセスポイントN
無線LANアクセスポイント経由でネットワークに無線接続します。以下の項目は、NEC無線LANアクセスポイントN (PK-WL003)、無線LANアクセスポイントE (PK-WL005)、無線LANアクセスポイントS (PK-WL007) または、無線LANアクセスポイントEX (PK-WL010) と無線LANプリンターを接続する場合に、アクセスポイントの設定に合わせた設定を行います。その他のアクセスポイントと接続する場合は変更の必要はありませんので、初期値のままご使用ください。

項目	説明
RTS/CTS媒体予約	チェックを付けることでRTS/CTS媒体予約を使用します。 <ul style="list-style-type: none"> • 使用しない：CSMA/CA機構で無線メッセージの衝突検出と再送を行います。 • 使用する：送信メッセージが長い場合、アクセスポイントがRTSを受信するとCTSを無線端末に送信し、RTSを送信した無線LANボードが転送を完了するまで他の無線端末を待たせます。
干渉に関する強化	ネットワーク内で使用している電子レンジなどの干渉により、無線ネットワークの性能が落ちている場合にチェックします。
アクセスポイント間の距離	無線LANアダプターのローミング感度を設定します。「長」から「短」になるほどローミングしやすくなります。 無線ネットワーク環境では、通常、複数のアクセスポイントの設置が密集してくると「長」から「短」の設定になります。無線ネットワーク環境で一致しない値を使うと無線通信性能に著しく影響するおそれがあります。

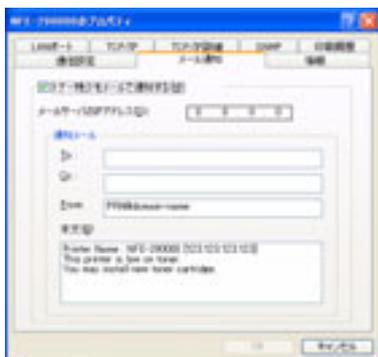
- データ保護
チェックすると、WEP (Wired Equivalent Privacy) データ暗号化方式により、無線LANで転送されるデータを暗号化します。暗号キーは次のように使用します。
 - キー 1から4の暗号キーは、無線LANボードが受信する無線メッセージを複合します。
 - キー 1から4の中から選択された1つの暗号キーは、無線LANアダプターが送信する無線メッセージを暗号化します。選択された暗号キーは、必ず設定する必要があります。

[暗号キー] は、アクセスポイントやコンピュータの無線端末が、無線LANアダプターにデータを送信するときに使用する暗号キーと同じものを設定します。
 使用できる文字は、[英数字を使用] を選択時は、半角英数字「a～z」、「A～Z」、「0～9」です。[16進数を使用] を選択時は、「0～9」、「A～F」です。
 暗号キーの文字数は、5文字（16進数で10桁）または13文字（16進数で26桁）のどちらかの文字数でのみ設定することができます。



[メール通知] シート

トナー残少をメールで通知する設定を行います。



- トナー残少をメールで通知する
この項目にチェックするとプリンターが「トナー残少」となった場合、設定されたアドレスへメールが送信されます。

✓ チェック

電子メール送信後、トナーの補給またはカートリッジの交換が行われる前に送信先メールアドレスなどのパラメーターが変更されると、再度、電子メールが送信されます。

- メールサーバのIPアドレス
メールサーバーのIPアドレスを設定します。
- To :
メールの送信先アドレスを設定します。

✓ チェック

メールのSubjectは以下で固定です。
Subject: [NECNIC Report] Printer low-toner

- Cc :
メールの配付先アドレスを設定します。
- From :
メールの送信元アドレスを設定します。仮のアドレスが使用できますが、必ず「@ (アットマーク)」付きの形式で入力してください。
- 本文
メールの本文を記述します。使用可能な文字は半角文字のうち、「; (セミコロン)」を除いたものです。

[情報] シート

プリンターの構成情報を以下の項目で文字とイラストを使って表示します。プリンターと双方向通信ができず、プリンターの情報取得できないときはこのシートは表示されません。



- モデル名
プリンターのモデル名です。
- プリンターの構成
プリンターに装着されているオプションなどの情報です。
- プリンター言語
プリンターで使用可能なプリンターの言語を一覧します。

[NetWare] シート

NetWareネットワーク環境で印刷する場合の設定をします。[カテゴリ]の設定によってシートの表示が切り替わります。

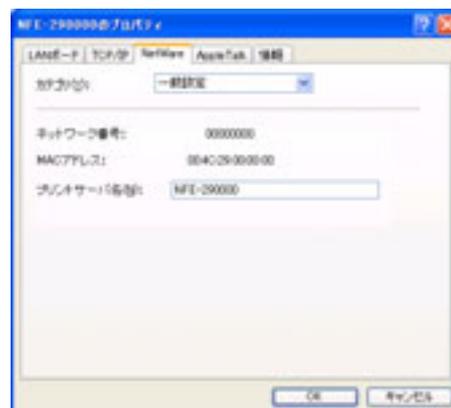


NetWareプロトコルを持たないLANインターフェースではこのシートは表示されません。

■ 一般設定

[一般設定] を選ぶと、以下のような表示や設定ができます。

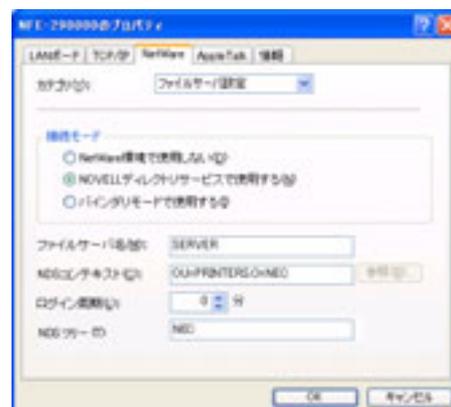
- ネットワーク番号
NetWareネットワーク番号を示します。
- MACアドレス
プリンターのMACアドレスを示します。
- プリントサーバ名
NetWareで使用するプリントサーバ名を設定します。



■ ファイルサーバ設定

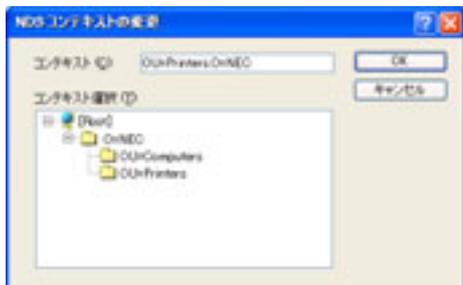
[ファイルサーバ設定] を選択すると、以下のような設定ができます。

- 接続モード
NetWareサーバへの接続モードを指定します。
 - NetWare環境で使用しない
NetWareプリントサービスを使用しないとき選択します。
 - NOVELLディレクトリサービスで使用する
NetWare 4.1以降のNDSモードで接続するとき使用します。
 - バインダリモードで使用する
NetWare 3.1以降で使用できるモードです。
- ファイルサーバ名
プリントサーバが定義されているファイルサーバ名を指定します。
- NDSコンテキスト
NDSモードで接続するときプリントサーバが定義されているコンテキストを入力します。



- [参照]

NDSコンテキスト情報を入力するときに利用します。クリックすると以下のダイアログボックスが表示されます。このボタンは、ご使用のコンピューターにNovellのNetWareクライアントソフトウェアがインストールされていることで有効になります。また、NetWareサーバーにログインしていることが必要です。

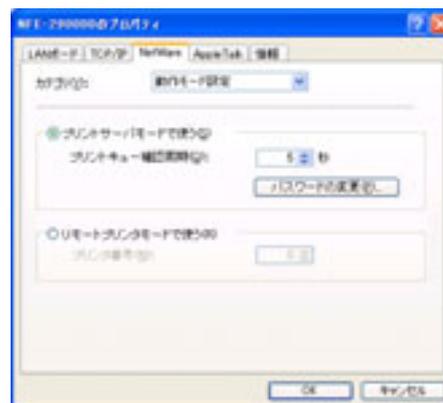


- コンテキスト
現在選択されているコンテキストを表示します。
- コンテキスト選択
ディレクトリツリーを表示しコンテキストを選択します。
- ログイン周期
ファイルサーバーとの接続が切れたときに再ログインする周期を設定します。
- NDSツリー
NDS ツリー名を設定します。NDSコンテキストを [参照] で設定した場合、参照したツリーの名前が [NDSツリー] に設定されます。

■ 動作モード設定

NetWareプリントサービスのモードを指定します。

- プリントサーバモードで使う
プリントキューの印刷ジョブを確認する周期を設定できます。また、[パスワードの変更] をクリックするとダイアログボックスが表示され、NetWareのファイルサーバーにログインするためのパスワードの設定ができます。
- リモートプリンタモードで使う
リモートプリンタの番号を選択できます。



無線LANプリンタ導入ウィザード

添付のプリンタソフトウェアCD-ROMに収録されているユーティリティ「無線LANプリンタ導入ウィザード」を使用すると無線LANプリンタアダプタを簡単に設定することができます。ここではWindows XP上での手順を例にとって、無線LANプリンタ導入ウィザードの起動方法までを説明します。

重要

- Windows XPでご使用になる場合は、アカウントの種類を [コンピュータの管理者] のユーザーでログオンしてください。
- Windows Server 2003、Windows 2000または、Windows NT 4.0でご使用になる場合は、Administratorsの権限を持ったユーザーでOSにログオンしてください。Administratorsの権限を持たないユーザーでログオンした場合には設定できません。
- プリンターに IP アドレスを設定する場合は、プリンターに IP アドレスを設定するために使うコンピューターとプリンターがIPルーターなどを介さない（同一ネットワーク内）で接続された環境で行ってください。
- 800×600ピクセル以上の解像度、High Color（16ビット色）以上を推奨します。

① Windows XPを起動する。

② プリンタソフトウェアCD-ROMをセットする。

[プリンタソフトウェアCD-ROMメニュー] ダイアログボックスが表示されます。

お使いのコンピューターによっては、自動的にメニュープログラムが立ち上がらない場合があります。その場合は、CD-ROMのルートディレクトリーにある「MWSETUP.exe」を実行してください。

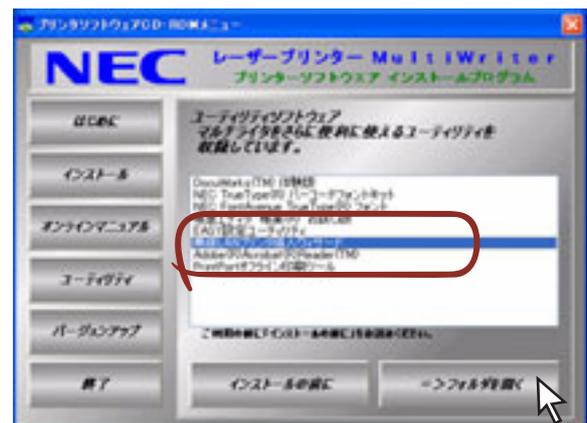


③ [ユーティリティ] をクリックする。



④ [無線LANプリンタ導入ウィザード] を選択し、[フォルダを開く] をクリックする。

プリンタソフトウェアCD-ROM内の [Wireless] フォルダが開きます。



⑤ [SetupWiz.EXE] アイコンをダブルクリックする。
[無線LANプリンタ導入ウィザード] が起動します。

⑥ [次へ] をクリックする。

[設定方法の選択] が表示されます。



設定方法の選択

- 初期設定 プリンターが出荷時の状態の場合または無線LANアダプターの設定を初期化してから再度設定したい場合には、こちらを選択してください。
- 設定変更 コンピューター・プリンター間の通信が可能な状態から無線LANアダプターの設定を変更したい場合には、こちらを選択してください。
- 通信確認 設定後の通信確認のために、現在のコンピューター設定で通信可能なプリンターを表示確認する場合には、こちらを選択してください。

以降の手順については、無線LANプリンタ導入ウィザードに従って設定を行ってください。

WWWブラウザ

プリンターをネットワーク環境で利用するための設定を汎用のWWWブラウザで実行する方法について説明します。

重要

LANインターフェースの設定項目は、プリンターやLANアダプターの種類によって異なります。

WWWブラウザの起動

LANインターフェースに設定されたIPアドレスをWWWブラウザのURL入力欄に入力することでLANインターフェースのページを開くことができます。

http://ddd.ddd.ddd.ddd/

「ddd.ddd.ddd.ddd」はLANインターフェースのIPアドレスです。

(実行例)

http://11.22.33.44/

重要

工場出荷状態または異なるネットワークアドレスのIPアドレスを設定する場合は以下のことにご注意ください。

- ホストコンピューターのルーティングテーブルにルートパスを一時的に設定する必要があります。
- 接続時はプロキシサーバーを使用しない設定にしてください。
- プリンターとホストコンピューターがルーターなどを介さないで接続された環境で行ってください。

ホストコンピューターの設定に関してはホストコンピューターのマニュアルを参照してください。

チェック

LANインターフェースの管理者設定画面ではフレーム表示対応のWWWブラウザを使用する必要があります。Internet Explorer 3.X以降または、Netscape Navigator 3.X以降などのフレーム対応ブラウザをご使用ください。

LANインターフェースとの接続に成功すると右のような画面が開きます。

WWWブラウザでは以下の情報を設定または参照することができます。

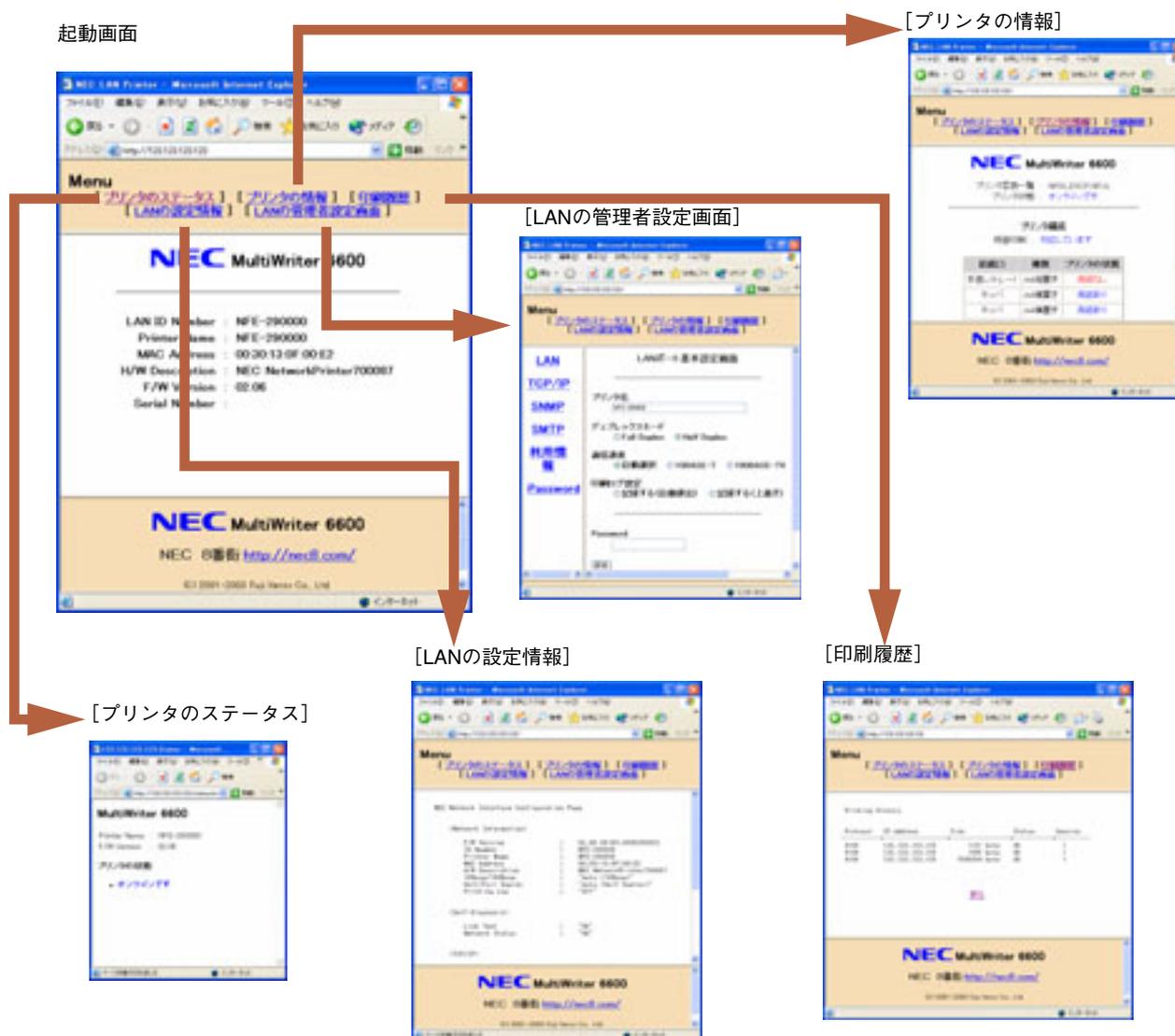
- プリンタのステータス
- プリンタの情報
- 印刷履歴
- LANの設定情報
- LANの管理者設定画面



LANの管理者設定画面ではフレーム表示対応のWWWブラウザを使用する必要があります。Internet Explorer 3.X以降またはNetscape Navigator 3.X以降などのフレーム対応ブラウザをご使用ください。



画面の構成



各メニューの詳細

起動画面から選択するメニューの詳細について説明します。

プリンタのステータス

プリンタのステータス画面では、プリンターの状態が表示されます。
この画面は起動画面とは別の新規ブラウザとして起動されます。



チェック

- 状態表示の周期は変更できません。
- プリンター名はLANの管理者設定画面で変更することができます。



- Printer Name
LANボードに登録されたプリンター名を示します。
- F/W Version
LANボードのファームウェアのバージョンを示します。
- プリンタの状態
30秒周期にプリンターの状態を監視し、状態が自動的に更新されます。

プリンタの情報

プリンタの情報画面では、プリンタの状態、構成情報が表示されます。



- プリンタ言語一覧
プリンタがサポートしている処理言語を一覧表示します。
- プリンタ状態
プリンタの情報画面を開いたときのプリンタの状態が表示されます。



ステータスはWWWブラウザの表示を更新するまで変わりません。

- プリンタ構成
プリンタの給紙ユニット情報、用紙サイズ、および用紙の有無が表示されます。

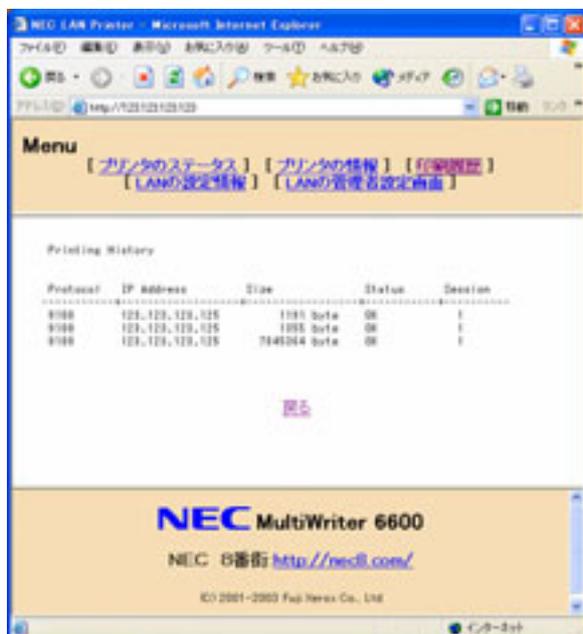
印刷履歴

印刷履歴画面では、LANインターフェース経由で印刷した印刷履歴が表示されます。



チェック

- プリンターの印刷履歴を表示する場合は、印刷履歴を記録するための設定変更が必要です。工場出荷時の設定では「記録しない」になっています。
- 印刷履歴を記録するための設定変更は、「LANの管理者設定画面」で行います。



- Protocol : 印刷アプリケーションプロトコルを示します。
- IP Address : ホストコンピューターのアドレスです。
- Size : プリンターが受信したデータサイズを示します。
- Status : 通信結果を示します。
- Session : プリンターが受けている印刷リクエストの数を示します。

LANの設定情報

LANの設定情報画面では、ネットワーク関係の設定一覧を表示します。

この画面は、コンフィグレーションページより得られる印刷出力情報を画面に表示したものです。



LANの管理者設定画面

LANの管理者設定画面では、ネットワーク関係の設定確認、設定変更を行うことができます。

✓チェック

- パスワードの変更に関してはPassword設定画面を参照してください。
- 出荷時のパスワードは、「NECPRADMIN」です。
- パスワードを忘れた場合は、設定を初期化し、工場出荷時の設定に戻してください。その場合は、他の設定も工場設定値に戻るため、再設定が必要です。初期化については、「ネットワーク設定の初期化」(183ページ)を参照してください。
- 設定の登録は大きく分かれた個々のブロック単位で行います。設定変更後に「設定」を押して登録を行ってください。



設定項目は大きく次の6つに分かれています。

- LAN
[LANポート基本設定画面] が表示され、LAN固有の基本設定を行います。
- TCP/IP
[TCP/IP設定画面] が表示され、IPアドレス設定など、ネットワーク接続に必要な設定を行います。
- SNMP
[SNMP設定画面] が表示され、SNMP管理プロトコルを使用する場合に、必要な設定を行います。
- SMTP
[SMTP設定画面] が表示され、レーザープリンターのトナー残量が少なくなった場合に電子メールを送信する設定を行います。
- 利用情報
[利用情報 設定画面] が表示され、利用情報の設定を行います。
- Password
[Password設定画面] が表示され、設定を変更するときに入力するパスワードの変更が行えます。

LANポート基本設定画面

LANポート基本設定画面では、プリンター名や通信速度などの基本的な設定を行います。



- プリンタ名
LANインターフェース固有の名前を登録することができます。
登録可能な文字列は半角大文字の英字、数字、ハイフン「-」、およびアンダーバー「_」です。
- デュプレックスモード
スイッチングハブ接続時のパケットの送受信設定を行います。
 - － Full Duplex (全二重通信)
パケットの送受信を同時に行うことができます。
 - － Half Duplex (半二重通信)
パケットの送受信をそれぞれ別々に実行します。

✓ チェック

「通信速度」で「自動選択」が選ばれているときはデュプレックスモードの設定は無効となり自動選択になります。

- 通信速度
LANインターフェースの通信速度の設定を行います。
 - － 自動選択
10BASE-Tまたは100BASE-TXを自動判別し、通信速度を決定します。本設定選択時は、デュプレックスモードも自動判別し、決定します。
 - － 10BASE-T
10BASE-T固定の接続設定になります。
 - － 100BASE-TX
100BASE-TX固定の接続設定になります。



10BASE-Tまたは100BASE-TX選択時は、デュプレックスモードの設定が有効になります。

- 印刷ログ設定
LANインターフェース経由の印刷履歴を記録するための設定を行います。
 - － 記録する（自動排出）
印刷履歴を記録するとともに、最大登録ジョブ数になると、自動的に印刷履歴を印刷出力します。
最大登録ジョブ数：50
 - － 記録する（上書き）
印刷履歴を記録するとともに最大登録ジョブ数を超えて印刷すると、一番古いジョブから削除（上書き）されます。
 - － 記録しない
印刷履歴は記録されません。



- 印刷履歴はプリンターの電源切断時またはリセット時にすべてクリアされ、内部に保持されません。
- IPアドレスなどの設定を変更した場合もクリアされます。
- 設定を「記録する」から「記録しない」に変更した場合、LANインターフェースが保持している印刷履歴を印刷してから設定が変更されます。

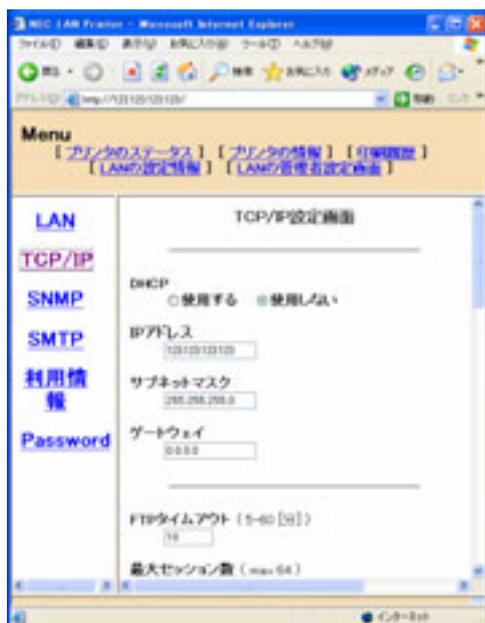
- Password
パスワードを入力します。

無線LANプリンタアダプタ（型番 PR-WL-01）を取り付けている場合の表示については、無線LANプリンタアダプタ（型番 PR-WL-01）に添付されている取扱説明書をご覧ください。

無線LANの設定については、「ユーティリティによるネットワークの設定」の「PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ」の「■ 無線で接続されている場合」（88ページ）を併せてご覧ください。

TCP/IP設定画面

TCP/IPに関する設定を行います。



- DHCP
LANインターフェースのIPアドレスをDHCPサーバーから自動的に取得する機能を使用するかしないかを設定します。[使用する] 選択時にDHCPが有効となります。DHCPの詳細については「DHCPの設定」(166ページ)を参照してください。
- IPアドレス
LANインターフェースのIPアドレスを設定します。

重要

工場出荷状態または異なるネットワークアドレスのIPアドレスを設定する場合は、次のことに注意してください。

- ホストコンピューターのルーティングテーブルにルートパスを一時的に設定する必要があります。
- 接続時はプロキシサーバーを使用しない設定にしてください。
- プリンターとホストコンピューターがルーターなどを介さないで接続された環境で行ってください。
- 異なるIPアドレスを設定すると応答が返らなくなります。一度、WWWブラウザを閉じて正しいIPアドレスをURLに指定してください。

- サブネットマスク
LANインターフェースのサブネットマスクを設定します。
- ゲートウェイ
ゲートウェイアドレスを設定します。

チェック

- ゲートウェイアドレスの設定はSNMPのTrap機能、電子メール配信機能およびルーターを経由した印刷を行う場合に必要です。
- 使用しないときは「0.0.0.0」を登録してください。

- FTPタイムアウト
FTPログイン時のタイムアウト時間を設定します。

設定範囲 : 5~60 (分)
初期値 : 10 (分)

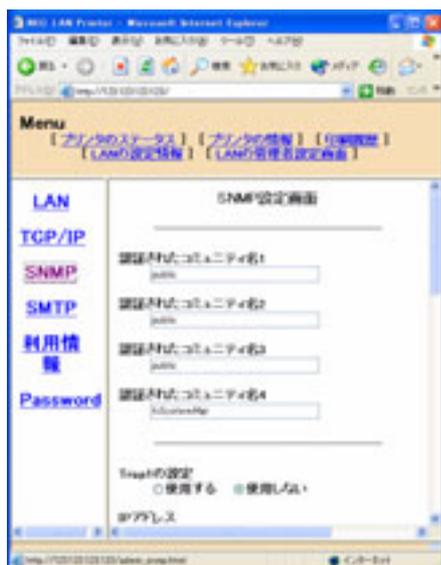
- 最大セッション数
TCP/IPの最大接続数を設定します。
この設定はすべてのTCP/IPアプリケーション層プロトコルが対象となります。
設定範囲 : 1~64
初期値 : 64
- 通信タイムアウト
TCP/IP接続時にホストコンピューターから応答がない場合のタイムアウト時間を設定します。
設定範囲 : 30~7200 (秒)
初期値 : 120 (秒)
- Autolp設定 (PING)
UNIXコマンドによるIPアドレス設定時にPINGによるIPアドレス設定を許可するかしないかを設定します。
[設定する] 選択時にPINGによる設定変更が可能です。



IPアドレス設定後は、Autolp設定を「設定しない」にしてください。

- KeepAlive
[通信タイムアウト] で設定した時間が経過した場合に、ホストコンピューターにキープアライブパケットを送信するかしないかを設定します。
キープアライブパケット送信時にホストコンピューターから対応がある場合は、TCP/IP接続が維持されます。
[使用する] 選択時にキープアライブパケットが送信されます。
- アクセス制限
IPアドレスによるアクセス制限機能を使用するか、しないかを設定します。詳しくは「アクセス制限」を参照してください。
- アクセス制限1
アクセス制限1の各項目を設定します。項目は以下の4項目で構成されています。
 - － 有効/無効設定
アクセス制限1のパラメーターの有効/無効を設定する。
 - － アクセス許可/拒否設定
アクセス制限1のIPアドレス/ネットマスクにマッチしたパケットの取り扱いを設定する。
 - － アクセス制限を行うIPアドレス
アクセス制限を行うIPアドレスを設定します。
設定範囲 : 各オクテットは0~255
初期値 : 0.0.0.0
 - － アクセス制限を行うIPアドレスのネットマスク
アクセス制限を行うIPアドレスのネットマスクを設定する。
設定範囲 : 各オクテットは0~255
初期値 : 0.0.0.0
- アクセス制限2~5
各パラメーター、入力条件はアクセス制限1と同じです。
- Password
パスワードを入力します。

SNMP設定画面



- 認証されたコミュニティ名
Get Request、Set Requestコマンド通信に必要なコミュニティ名を設定します。
コミュニティ名には異なる名称を最大4つまで登録できます。
- Trapの設定
Trap送信先のTrapマネージャの登録を最大4つまで行うことができます。
それぞれのTrapマネージャに対し、以下の設定が必要です。
[使用する] 選択時に有効となります。
 - － IPアドレス
Trap送信するホストコンピュータのIPアドレスを設定します。
 - － コミュニティ名
ホストコンピュータがTrapを受け付けるコミュニティ名を設定します。

チェック

Trap送信先ホストコンピュータのIPアドレスのネットワークアドレスがLANインターフェースのネットワークアドレスと異なる場合はゲートウェイアドレスの設定が必要です。
TCP/IP設定の [ゲートウェイアドレス] 欄でゲートウェイアドレスを設定してください。

SMTP設定画面

プリンターのトナー残量が少なくなると、電子メールを送信して通知します。



- トナーの残量が少なくなるときの、メールで通知
プリンターのトナーの残量が少ない場合に電子メールを送信するかしないかを設定します。[する]を選択している場合に、有効となります。

✓チェック

- トナーの残量が少なくなった初期の状態において、プリンター側のセンサーの状況により、数回電子メールが送信される可能性があります。
- 電子メール送信後、トナーの補給またはカートリッジの交換が行われる前に送信先メールアドレスなどのパラメーターが変更されると、再度、電子メールが送信されます。

- メールサーバーのIPアドレス
メールサーバーのIPアドレスを設定します。

✓チェック

メールサーバーのIPアドレスのネットワークアドレスがLANインターフェースのネットワークアドレスと異なる場合は、ゲートウェイアドレスの設定が必要です。
TCP/IP設定画面の [ゲートウェイアドレス] ボックスでゲートウェイアドレスを設定してください。

- To:のメールアドレス
電子メール送信先のメールアドレスを入力します。

✓チェック

メールのSubjectは以下で固定です。
Subject: [NECNIC Report] Printer low-toner

- Cc:のメールアドレス
電子メール送信先の写しが必要な場合にメールアドレスを入力します。
- From:のメールアドレス
電子メール送信元のメールアドレスを変更します。初期値として「PRN@domain-name」が設定されています。必要に応じて、送信元アドレスの変更を行ってください。

✓チェック

From : 送信元アドレスを入力する場合
「ユーザー名@ドメイン名」の形式で必ず入力してください。
「@」がない場合や「@」の前後に文字列がない場合は入力エラーとなり、設定変更されません。

- メール本文
電子メールの本文に記載するコメントを入力します。3行まで入力できます。各行ともに最大80文字 (80バイト)、計240文字の入力可能です。

✓チェック

本文として使用可能な文字列は、ASCIIコード : 0020h~0007Eh (16進) の範囲に限ります。ただし、以下の文字コードは使用することができません。

- “(0022h)
- & (0026h)
- ;(003Bh)
- < (003Ch)
- > (003Eh)

- Password
パスワードを入力します。

利用情報 設定画面



- 利用情報記録
利用情報機能を使用するか、しないかを設定します。
- 利用情報サーバーのIPアドレス
FTPサーバーのIPアドレスを入力します。
初期値 : 0.0.0.0
初期値の場合、利用情報はプリンターからコンピューターへ送信されず、印刷出力されず。
- ログインユーザー名
初期値 : anonymous
使用できる文字 : 半角英数、アンダーバー「_」、およびハイフン「-」。32文字まで有効
- ログインパスワード
初期値 : PRN@domain-name
使用できる文字 : 文字コード (0x20-0x7F)、32文字まで有効
- サーバーのポート番号
初期値 : 21
設定範囲 : 0~65535
- 利用情報ファイル名
初期値 : prXXXXXX.csv (LANインターフェースの場合)
wlXXXXXX.csv (無線LANアダプターの場合)
使用できる文字 : 半角英数、アンダーバー「_」、ハイフン「-」、ドット (0x2e)「.」、64文字まで有効。
ファイル名は、ディレクトリー指定「/」ができます。ファイル名は変更できません。ファイル名が存在しない場合は、エラーとなります。
- Password
パスワードを入力します。

Password設定画面

設定変更するときに入力するパスワードの変更方法を説明します。



画面の指示に従い、以下の3つのパスワードをすべて入力して新しいパスワードの登録を行ってください。

- 現在のパスワード入力
- 新しいパスワード入力
- 新しいパスワード再入力

出荷時のパスワードは、「NECPRADMIN」です。

✓チェック

- パスワードとして使用可能な文字列は半角英字、数字、ハイフン「-」、およびアンダーバー「_」です。
- 英字の大文字と小文字は区別されます。
- WWWブラウザからのパスワード変更によりTelnetのログインに必要なパスワードも同時に変更されます。Telnetによるパスワード設定に関しては「Telnet」を参照してください。
- 新しいパスワードは、次のログイン時から有効になります。
- パスワードを忘れた場合は、LANインターフェースの設定を初期化し、工場出荷時の設定に戻してください。その場合は、他の設定も工場設定値に戻るため、再設定が必要です。LANインターフェースの初期化に関しては「ネットワーク設定の初期化」(183ページ)を参照してください。

Telnet

ネットワーク環境で利用するための設定を Telnet で変更する方法について説明します。Telnet で接続（ログイン）すると以下の情報を設定または参照することができます。

重要

LAN インターフェースの設定項目は、プリンターや LAN ボードの種類によって異なります。

- IP アドレス
- サブネットマスク
- ゲートウェイアドレス
- アクセス制限
- SNMP
- パスワード
- LAN ボード管理情報

チェック

- Telnet でログインする際はパスワードの入力が必要です。
- パスワードの設定に関しては「パスワード」を参照してください。
- Telnet でログインできるユーザーは 1 人です。2 人以上で同時にログインすると最初にログインしたユーザーのみ受け付けます。

Telnet 起動画面

Telnet を使用して設定を変更することができます。

- 1 ログインを希望する LAN インターフェースの IP アドレスを指定して、「Enter」キーを押す。

Telnet ddd.ddd.ddd.ddd

「ddd.ddd.ddd.ddd」は LAN インターフェースの IP アドレスです。

(実行例)

Telnet 11.22.33.44

チェック

LAN インターフェースの IP アドレスがホストコンピュータと異なるネットワークアドレスの場合、ホストコンピュータのルーティングテーブルにルート・パスを一時的に設定する必要があります。

設定に関しては、ホストコンピュータのマニュアルを参照してください。

- 2 パスワードを入力する。

Connected to: 11.22.33.44

Password:

チェック

- パスワードに関しては「パスワード」を参照してください。
- パスワード入力を間違えると、Telnet からログアウトされます。
- 出荷時のパスワードは「NECPRADMIN」です。

セットアップのメインメニューが表示されます。

Main Menu

 1. IP Address
 2. Subnet Mask
 3. Gateway Address
 4. Access Limitation setting

5. SNMP setting

6. Password
 7. Management

S. Save (Disconnect and Save parameters)
 Q. Quit
 Type Any No.>

- ③** 各メニューにはサブメニューがあります。設定変更を行いたい項目の番号を [Type Any No.>] の後に入力する。

各メニューの設定については、それぞれのページを参照してください。

すべての内容の変更または内容の確認が終わったら、Telnet をログアウトします。

- ④** [Type Any No.>] の後に「S」か「Q」を入力し、「Enter」キーを押してログアウトする。

「S」入力：設定変更した内容をLAN インターフェースに登録してTelnetをログアウトします。

「Q」入力：設定変更した内容をLAN インターフェースに登録せずにTelnetをログアウトします。この場合、Telnetログイン前の設定が保持されます。



- 印刷データ受信中に「S」入力により設定変更を行うと、受信済みのすべての印刷処理終了後に設定変更が行われます。
- 設定変更時はLANインターフェースのリセットが実行されます。リセット処理中はTelnetによるログインはできません。

各メニューの詳細

起動画面から選択するメニューの詳細について説明します。

IPアドレス

LANインターフェースのIPアドレスを設定します。

- ①** メインメニューで「1」を入力し、「Enter」キーを押す。
以下のように表示されます。

Current IP Address: 11.22.33.44

DHCP: OFF
1. Change IP Address
2. DHCP On/Off
3. Exit

Type Any No.>

- ②** 直接IPアドレスを設定変更する場合は「1」を、DHCP設定を変更する場合は「2」を入力し、「Enter」キーを押す。

DHCPの詳細については「より便利なネットワーク機能」の「DHCP」(166ページ)を参照してください。

- ③** 設定内容を保存してログアウトする。

サブネットマスク

LANインターフェースのサブネットマスクを設定します。

- ①** メインメニューで「2」を入力し、「Enter」キーを押す。
以下のように表示されます。

Current Subnet Mask: 255.0.0.0

1. Change
2. Exit

Type Any No.>

- ②** 「1」を入力し、「Enter」キーを押す。

- ③** 変更するサブネットマスクを入力する。

- ④** 設定内容を保存してログアウトする。

ゲートウェイアドレス

ゲートウェイアドレスを設定します。

- ① メインメニューで「3」を入力し、「Enter」キーを押す。
以下のように表示されます。

```

Current Gateway Address: 0.0.0.0

1. Change
2. Exit

Type Any No.>

```

- ② 「1」を入力し、「Enter」キーを押す。
- ③ 変更するゲートウェイアドレスを入力する。
- ④ 設定内容を保存してログアウトする。

✓チェック

ゲートウェイアドレスの設定はSNMPのTrap機能、電子メール配信機能、およびルーターを経由した印刷を行う場合に必要です。
使用しないときは「0.0.0.0」を登録してください。

アクセス制限

アクセス制限を設定します。IPアドレスによるアクセス制限には、次の設定が必要です。以下の手順に従ってアクセス制限を設定してください。詳しくは、「アクセス制限」(179ページ)を参照してください。

✓チェック

アクセス制限機能が有効な場合は、アクセスを拒否されているコンピューターからWWWブラウザやTelnetなど、すべての通信を行うことができません。通信を行う場合は、設定を無効にしてください。

アクセス制限のOn/Off

- IPアドレスによるアクセス制限機能のOn/Off設定を行えます。

コミュニティ名の設定

- アクセス制限1～5の各項目の設定を行えます。項目は以下の4項目で構成されます。
 - － 有効/無効設定
 - － アクセス許可/拒否設定
 - － アクセス制限を行うIPアドレス
 - － アクセス制限を行うIPアドレスのネットマスク

- ① メインメニューで「4」を入力し、「Enter」キーを押す。
次のように表示されます。

```

Access Limitaion Setting
Current Access Limitaion: Off

```

1. Access Limitation On/Off
2. 1st Level Access Limitation
3. 2nd Level Access Limitation
4. 3rd Level Access Limitation
5. 4th Level Access Limitation
6. 5th Level Access Limitation
7. Exit

Type Any No.>

- ② アクセス制限On/Offの設定の場合は「1」を、アクセス制限1～5の設定の場合は「2」～「6」を入力し、「Enter」キーを押す。

設定についてはそれぞれのページを参照してください。

- ③ 設定内容を保存してログアウトする。

アクセス制限On/Off

[1. Access Limitation On/Off] を選択した場合は、以下のように表示されます。(上段に現在の設定が表示されます。)

```

Current Access Limitaion: Off

```

1. On
2. Off

Type Any No.>

アクセス制限を使用する(Onにする)場合、「1」を入力し、「Enter」キーを押す。アクセス制限を使用しない(Offにする)場合は、「2」を入力し、「Enter」キーを押す。

アクセス制限のメニュー画面に戻ります。

アクセス制限の設定

[2. 1st Level Access Limitation] を選択した場合は、以下のように表示されます。(上段に現在の設定が表示されます。)

```

1st Level Access Limitation

Access Limitation: Invalid
Access: Accept
Current      IP      Address:
XXX.XXX.XXX.XXX
Current      Net      Mask:
XXX.XXX.XXX.XXX
1. Access Limitation Valid/Invalid
2. Access Accept/Reject
3. Change IP Address
4. Change Net Mask
5. Exit

Type Any No.>

```

アクセス制限2~5の各パラメータ、入力条件はアクセス制限1と同じです。ここでは、アクセス制限1の設定を説明します。

- ① アクセス制限1を有効にする場合、[1. Access Limitation Valid/Invalid] の設定を [Valid] にする。
- ② アクセス制限1のIPアドレス/ネットマスクにマッチしたパケットを [Accept] (許可) または [Reject] (拒否) のいずれで扱うか設定する。
「2」、[Enter] キーを押して、Accept/Rejectを選択してください。
- ③ アクセス制限を行うIPアドレスを設定する。
「3」、[Enter] キーを押して、IPアドレスを入力してください。
- ④ アクセス制限を行うIPアドレスのネットマスクを設定する。
「4」、[Enter] キーを押して、ネットマスクを入力してください。
- ⑤ すべての設定が完了したら、「5」、[Enter] キーを押して、アクセス制限のメニュー画面に戻る。

SNMP

SNMPの通信には、次の設定が必要です。以下の手順に従ってSNMPを設定してください。

- SNMP Trapの設定
SNMP Trap マネージャーの登録を最大4つまで行えます。
- コミュニティ名の設定
GetRequest、SetRequest コマンド通信に必要なコミュニティ名を設定します。コミュニティ名には最大5つまで異なる名称を登録できます。

- ① メインメニューで「5」を入力し、「Enter」キーを押す。
以下のように表示されます。

```

SNMP Setting

1. 1st SNMP Trap Manager
2. 2nd SNMP Trap Manager
3. 3rd SNMP Trap Manager
4. 4th SNMP Trap Manager
5. Authentic Community
6. Exit

Type Any No.>

```

 チェック

アクセス制限機能が有効な場合は、アクセスを拒否されているコンピューターからWWWブラウザやTelnetなど、すべての通信を行うことができません。通信を行う場合は、設定を無効にしてください。

- ② SNMP Trapの設定の場合は、「1」～「4」を、コミュニティ名の設定の場合は「5」を入力し、「Enter」キーを押す。
設定についてはそれぞれのページを参照してください。
- ③ 設定内容を保存してログアウトする。

SNMP Trap

[1. 1st SNMP Trap Manager] ~ [4. 4th SNMP Trap Manager] を選択した場合は、以下のように表示されます。

```

1. 1st SNMP Trap Manager

Trap: Off
Current IP Address: 0.0.0.0
Current Community Name: public

1. Trap On/Off
2. Change IP Address
3. Change Community Name
4. Exit

Type Any No.>

```

上段に現在の設定が表示されます。

- ① SNMP Trapを使用する場合、[1. Trap On/Off] の設定を [On] にする。
- ② Trap送信先ホストのIPアドレスを設定する。
「2」、「Enter」キーを押して、IPアドレスを入力してください。
- ③ Trap送信のコミュニティ名を設定する。
「3」、「Enter」キーを押して、コミュニティ名を入力してください。



Trap送信先ホストのIPアドレスのネットワークアドレスがLANインターフェースのネットワークアドレスと異なる場合は、ゲートウェイアドレスの設定が必要です。「ゲートウェイアドレス」を参照してゲートウェイアドレスを設定してください。

コミュニティ名の設定

[5. Authentic Community] を選択した場合は、以下のように表示されます。

Authentic Community

1. Authentic Community1: public
2. Authentic Community2: public
3. Authentic Community3: public
4. Authentic Community4: fxSystemMgr
5. Exit

Type Any No.>

現在登録されているコミュニティ名が右側に表示されません。

変更したいコミュニティ名の番号を選択して新しいコミュニティ名を入力してください。

パスワード

Telnetでログインする際に入力するパスワードの変更方法について説明します。LANボード出荷時のパスワードは、「NECPRADMIN」です。



- パスワードとして使用可能な文字列は、半角英字、数字、ハイフン「-」、およびアンダーバー「_」です。
- 英語の大文字と小文字は区別されます。
- Telnet のパスワードを変更すると、WWW ブラウザーから設定する場合に必要なパスワードも同時に変更されます。WWW ブラウザーからの設定に関しては、「WWWブラウザ」(96ページ)を参照してください。

- ① メインメニューで [Type Any No.>] の後に「6」を入力し、「Enter」キーを押す。

- ② パスワードを入力する。

パスワードの変更時は入力ミスを防ぐために2回同じパスワードを入力します。画面の指示に従って新しいパスワードを入力してください。



- 新しいパスワードは、次回のログイン時から有効になります。
- パスワードを忘れた場合は、LANインターフェースの設定を初期化し、工場出荷時の設定に戻してください。その場合は、他の設定も工場設定値に戻るため、再設定が必要です。LANインターフェースの初期化に関しては「ネットワーク設定の初期化」(183ページ)を参照してください。

LANボード管理情報

Telnetにより、LANインターフェースが管理する次の情報を参照または変更することができます。

- LANボード設定情報一覧
テストページの「LANステータス」で得られる情報を画面上で参照することができます。
- 印刷履歴の確認
LANインターフェース経由で印刷した印刷履歴を画面上で参照することができます。

✓ チェック

- 印刷履歴の確認を行う場合は、印刷履歴を記録するための設定変更が必要です。工場出荷時は「記録しない」に設定されています。
 - 印刷履歴の設定変更はWWWブラウザ（「WWWブラウザ」（96ページ）参照）または付属のPrintAgentプリンタ管理ユーティリティ（「ユーティリティによるネットワークの設定」の「PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ」（71ページ）参照）から行います。
- 画面表示ライン数の変更
LANインターフェース設定情報一覧、印刷履歴を参照する場合の画面表示ライン数を変更することができます。

メインメニューで [Type Any No.>] の後に「7」を入力し、「Enter」キーを押すと以下のように表示されます。

```
Manager Menu
1. Display Cofiguration Data
2. Display Printing Log Data
3. Change Display Line Number
4. Web Management
5. APR
6. Exit
Type Any No.>
```

LANボード設定情報一覧

[1. Display Configuration Data] を選択すると、コンフィグレーションページの情報が画面に表示されます。表示内容は「コンフィグレーションページの印刷」（184ページ）を参照してください。

WWWブラウザへの応答設定

[4. Web Management] を選択し、設定を [Access Enable] にするとWWWブラウザからのLANボードの設定、閲覧を許可します。

設定を [Access Disable] にすると、WWWブラウザへの応答はなくなり、WWWブラウザからの設定、閲覧はできません。

APRテーブル更新設定

[1. Request] を選択し、設定を [Current Request Setting : off] にすると、APRテーブル更新方法が変わります。

通常は、[on] でご使用ください。

[2. Life Tlme] により、APRキャッシュ時間を変更することができます。[1~1200sec]

通常は、デフォルトの [120] でご使用ください。

印刷履歴の確認

[2. Display Printing Log Data] を選択すると、LANインターフェース経由で印刷した印刷履歴を画面に表示します。

印刷履歴がない、印刷履歴の記録設定がされていない場合は以下のように表示されます。

There is no log data.

印刷履歴が存在する場合は以下のように表示されます。

NEC Printing History					
Protocol	Source Host	Size [byte]	Result	Jobs	
9100	123.123.123.1	12	OK	1	
ftp	123.123.123.2	123	Timeout	1	
lpr	123.123.123.3	1234	OK	1	
fttp	123.123.123.4	12345	Error	1	

- Protocol: 印刷アプリケーションプロトコルを示します。
- Source Host: ホストコンピューターのアドレスです。
- Size [byte]: プリンターが受信したデータサイズを示します。
- Result: 通信結果を示します。
- Jobs: 印刷時に受信した印刷ジョブの待ち行列を示します。

✓ チェック

- 印刷履歴はLANプリンターの電源切断時またはリセット時にすべてクリアされ、内部に保持されません。
- IPアドレスなどの設定を変更した場合もクリアされます。

画面表示ライン数の変更

[3. Change Display Line Number] を選択すると、LANボード設定情報一覧、印刷履歴を参照する場合の画面表示ライン数を変更することができます。工場出荷時の表示ライン数は [20] です。画面に現在の表示ライン数が表示されますので、新しい表示ライン数を入力してください。

UNIXコマンド

UNIXコマンドを使ってIPアドレスを設定する方法を説明します。

重要

- ここで示す方法でIPアドレスを設定すると、LANインターフェースの設定を初期化するまで同じ方法では設定できません（「ネットワーク設定の初期化」（183ページ）参照）。
LANインターフェースの設定を初期化すると他のOSの設定もクリアされ、工場出荷時の設定に戻ります。初期化を行う前に、コンフィグレーションページを印刷して設定を控えておいてください（「コンフィグレーションページの印刷」（184ページ）参照）。
- プリンターにIPアドレスを設定する場合は、設定するために使うコンピューターとプリンターがIPルーターなどを介さない（同一ネットワーク内）で接続された環境で行ってください。

ここでは、設定例としてコンピューターのIPアドレスを「123.123.123.1」、プリンターに設定するIPアドレスを「123.123.123.123」とします。

1 プリンターの電源をOFFにし、再度電源をONにする。

2 コマンドプロンプトを開き、routeコマンドを実行する。

```
>route add 11.22.33.44 <コンピューターのIPアドレス>
```

(実行例)

```
>route add 11.22.33.44 123.123.123.1
```

3 pingコマンドを実行する。

```
>ping 11.22.33.44
```

次のような画面が表示されます。
(画面表示例)

```
Pinging 11.22.33.44 with 32bytes of data:  
Reply from 11.22.33.44: bytes=32 time =10ms TTL=32  
Reply from 11.22.33.44: bytes=32 time< 10ms TTL=32  
Reply from 11.22.33.44: bytes=32 time< 10ms TTL=32  
Reply from 11.22.33.44: bytes=32 time< 10ms TTL=32
```

4 arpコマンドを実行する。

```
>arp -a 11.22.33.44
```

次のような画面が表示されます。
(画面表示例)

```
Interface: 123.123.123.1
Internet Address    Physical Address    Type
11.22.33.44        00.-00-4C-29-00-00 dynamic
```

Physical Addressには、ネットワークに接続されているプリンターのMACアドレスが表示されます。複数のプリンターが接続されている場合には、その中の1つが表示されます。IPアドレスを設定するプリンターの電源のみをONにして設定することをお勧めします。

5 IPアドレスをコンピューターへ登録する。

以下のarpコマンドを実行します。

```
>arp -s <プリンターに設定するIPアドレス><設定するプリンターのMACアドレス>
```

(実行例)

```
>arp -s 123.123.123.123 00-00-4C-29-00-00
```

6 pingコマンドを実行する。

```
>ping <プリンターに設定するIPアドレス>
```

(実行例)

```
>ping 123.123.123.123
```

以上でIPアドレスの設定は終了です。

コンフィグレーションページを印刷して、IPアドレスが正しく設定されたことを確認してください(「コンフィグレーションページの印刷」(184ページ) 参照)。

続いて他のプリンターのIPアドレスを変更する場合は、以下のコマンドを実行後、手順**3**から設定を行ってください。

```
>arp -d 11.22.33.44
```

接続先の設定とプリンタードライバーのインストール

ここでは、各OSへの設定について説明しています。印刷方法にはIPP、LPR、PrintAgentがあります。設定方法はOSごとに異なります。使用しているOSのページを参照してください。

重要

- PrintAgentは、インターネット印刷プロトコル（IPP）やLPRプロトコルに対応していません。IPPやLPRを使用する場合は、プリンタードライバーの双方向通信機能を無効にする必要があります。詳しくは、9章を参照してください。
- インターネット印刷プロトコル（IPP）を使用した印刷の設定を行う場合には、プリンターの電源をONにする必要があります。

- Windows XP、Windows Server 2003 日本語版.....119ページ
- Windows Me 日本語版.....149ページ
- Windows 98、Windows 95 日本語版.....153ページ
- Windows 2000 日本語版.....131ページ
- Windows NT 4.0 日本語版.....141ページ
- ターミナルサービス環境.....159ページ
- UNIX環境の設定.....162ページ

OSの設定を行った後に、ネットワークを介しての印刷がうまくいかなかったときは9章の「ネットワークで思うように印刷できないときは」を参照してください。

Windows XP、Windows Server 2003 日本語版

Windows XPからプリントサーバーを使用せず、ネットワークプリンターへ直接印刷するための設定について説明します。Windows XP、Windows Server 2003から印刷するためには、以下の4つの方法があります。

- NEC Network Port (PrintAgent) 添付のプリンターソフトウェア CD-ROM からプリンターソフトウェアをインストールして印刷します。
- IPP (Internet Printing Protocol) Windows XPに標準で実装されているソフトウェアを使用して印刷します。
- UNIX用印刷サービス (LPR) Windows XPに標準で収録されているUNIX用印刷サービス (LPR) を使用して印刷します。
- Standard TCP/IP Port (LPR)..... Windows XPに標準で実装されているStandard TCP/IP Port (LPR) を使用して印刷します。

これらのソフトウェアで印刷する前に、あらかじめプリンターにIPアドレスを設定する必要があります。「ユーティリティによるネットワークの設定」(68ページ)、または各LANアダプターに添付の取扱説明書を参照してIPアドレスを設定してください。

プリンターにIPアドレスを設定した後、各ソフトウェアをインストールしてください。

NEC Network Portを使用して印刷するには

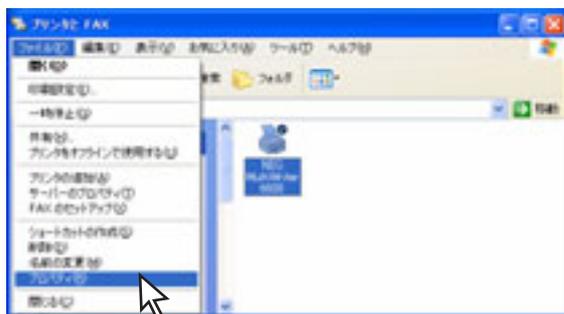
NEC Network Port (NEC TCP/IP Port) を使用して印刷するための印刷先の変更について説明します。NEC Network Portは、PrintAgentに含まれています。PrintAgentのインストールについては2章の『インストールプログラム』からのインストール』(37ページ) を参照してください。

印刷先の変更

印刷先を変更します。次の手順に従ってください。

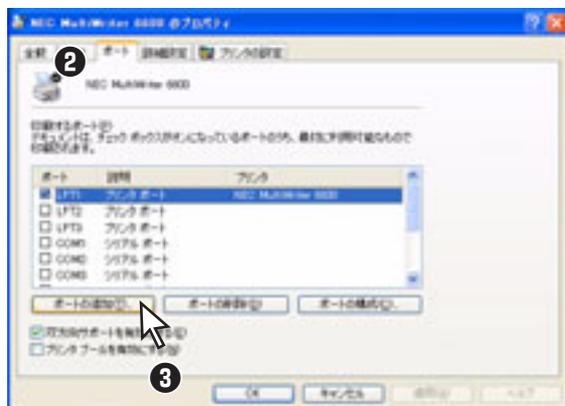
- 1** [プリンタのプロパティ] ダイアログボックスを表示させる。

[プリンタとFAX] フォルダの [NEC MultiWriter 6600] アイコンをクリックし、[ファイル] メニューの [プロパティ] をクリックします。



- 2** [ポート] タブをクリックする。

- 3** [ポートの追加] をクリックする。



- 4** [利用可能なポートの種類] で [NEC Network Port] を選び、[新しいポート] をクリックする。



- 5** [インターネットアドレス入力] ボックスにプリンターのIPアドレスまたはドメイン名を入力する。

- 6** [OK] をクリックする。



- 7** [閉じる] をクリックする。

[プリンタのプロパティ] ダイアログボックスを閉じます。

以上で設定は完了です。

ドメインネームについて

NEC Network PortではIPアドレスの代わりにドメインネームを使用することができます。

ドメインネームを使用する場合はネットワーク上にDNSサーバーが存在し、プリンターのドメインネームが登録されていなければなりません。また、NEC Network Portをインストールしたクライアントコンピューターの [TCP/IPのプロパティ] 設定画面でホスト名、ドメイン名、DNSサーバーのIPアドレスを設定する必要があります。

ドメインネームは階層構造により「. (ドット)」で区切られた名前を指します。たとえば、「sample.nec.co.jp」と呼ばれるドメインの「printer1」と呼ばれるプリンターを指定する場合のドメインネームは「printer1.sample.nec.co.jp」と入力します。

ただし、クライアントコンピューターが「printer1.sample.nec.co.jp」の同じドメインに存在する場合は、「printer1」のみで構いません。

✓チェック

ドメインネームとして入力可能な文字の長さは最大127文字 (127バイト) です。

DNSサーバーとクライアントコンピューターの詳しい設定に関してはホストコンピューターのマニュアルを参照してください。

IPP (Internet Printing Protocol) を使用して印刷するには

Windows XPの環境でIPPを使用して印刷する手順を説明します。

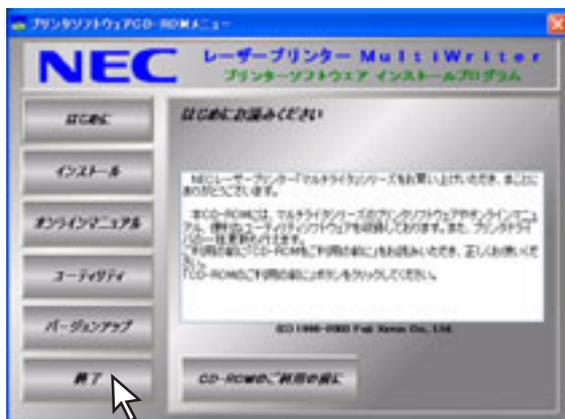
重要

IPP (Internet Printing Protocol) を使用する場合、[プリンタのプロパティ] ダイアログボックスの [ポート] シートで [双方向サポートを有効にする] のチェックを外して、無効にしてください。

- 1** プリンターに添付のプリンターソフトウェア CD-ROM をセットする。

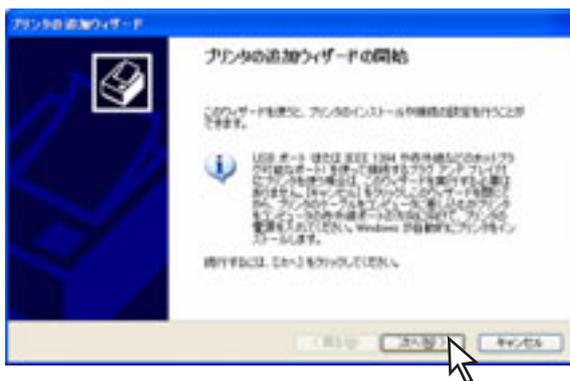
[プリンタソフトウェアCD-ROMメニュー] ダイアログボックスが表示されます。

- 2** [終了] をクリックする。

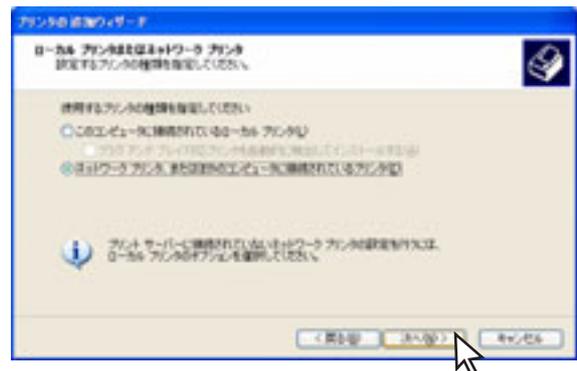


- 3** [プリンタとFAX] フォルダーの [プリンタのインストール] をクリックする。

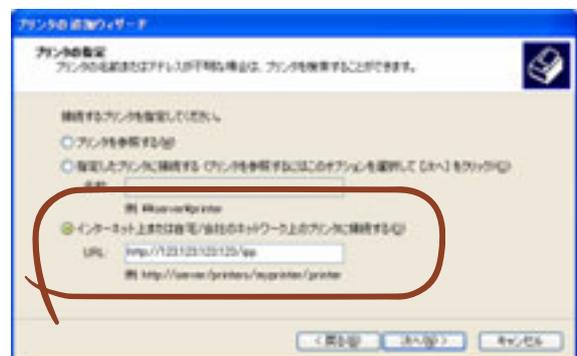
- 4** [次へ] をクリックする。



- 5** [ネットワークプリンタ、またはほかのコンピュータに接続されているプリンタ] を選択して、[次へ] をクリックする。



- 6** [インターネット上または自宅 / 会社のネットワーク上のプリンタに接続する] を選択して、[URL] ボックスに登録するプリンタのIPアドレスを含むアドレスを入力する。



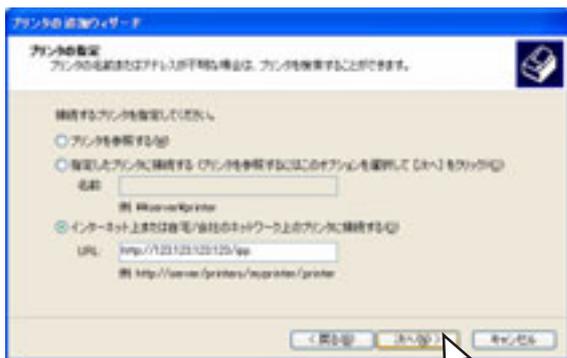
重要

入力可能な形式は「http://」に限られます。

(入力例)

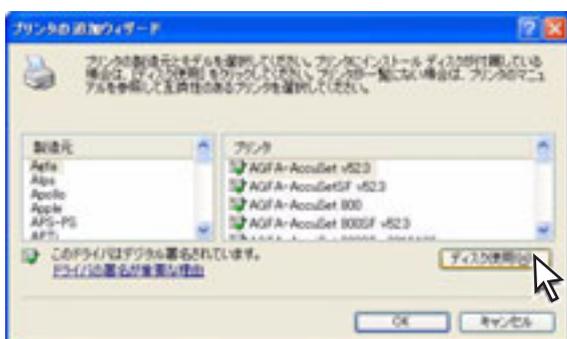
IPアドレスが「123.123.123.123」の場合
http://123.123.123.123/ipp

7 [次へ] をクリックする。



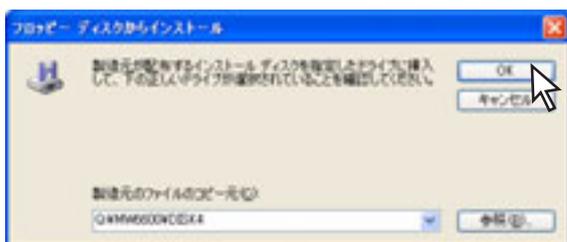
該当するプリンターの電源が入っていないまたはIPアドレスが正しくない場合は、以下のエラーメッセージが表示されます。表示された場合は、[OK] をクリックしてください。

8 [ディスク使用] をクリックする。

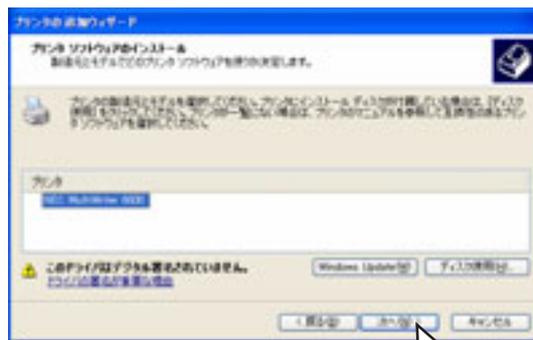


9 [製造元のファイルのコピー元] を入力し、[OK] をクリックする。

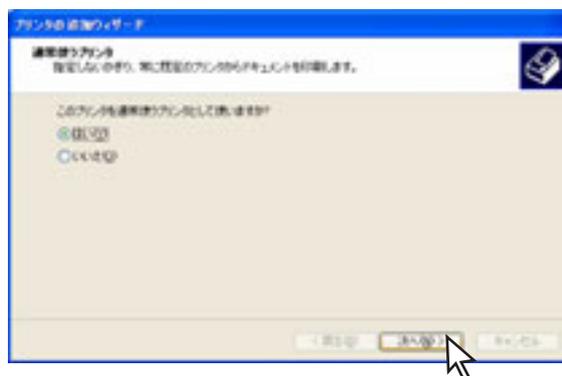
[製造元のファイルのコピー元] に、CD-ROMを挿入したドライブ名、コロン (:), 円記号 (¥) に続けて「MW6600¥DISK4」と入力します。



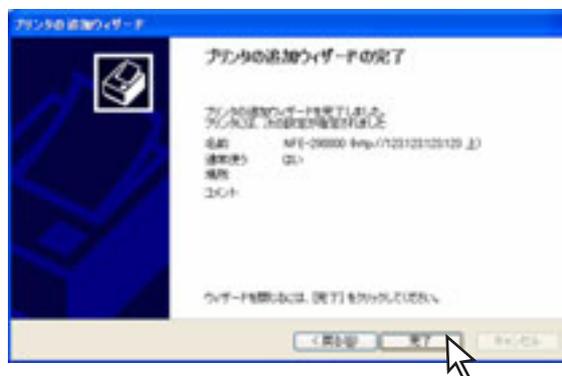
10 使用するプリンターを選び、[次へ] をクリックする。



11 [通常使うプリンタ] に設定するか、しないかを選び、[次へ] をクリックする。



12 [完了] をクリックする。

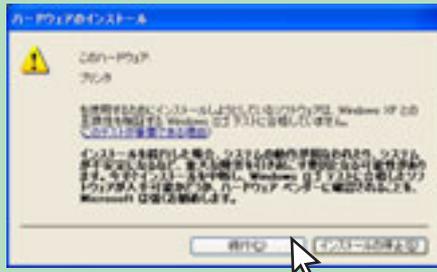


✓チェック

以下の[ハードウェアのインストール]ダイアログボックスが表示される場合があります。添付のプリンタソフトウェアCD-ROMに収録されているプリンタソフトウェアは、弊社により動作を確認されています。

[続行] をクリックし、インストールを続行してください。

なお、[インストールの停止] をクリックした場合は、インストールが中止されます。



次に、双方向通信を無効にします。以下の手順で設定してください。

- ① [プリンタと FAX] フォルダー内に作成されたプリンタの [プリンタのプロパティ] ダイアログボックスを表示させる。
- ② [ポート] タブをクリックする。
- ③ [双方向サポートを有効にする] のチェックを外して、[OK] をクリックする。



以上で設定は完了です。

UNIX用印刷サービス (LPR) を使用して印刷するには

LPRには、UNIX用印刷サービスによる印刷方法とStandard TCP/IP Portによる印刷方法の2種類あります。はじめに、UNIX用印刷サービス (LPR) を使用した印刷を行うための設定方法を説明します。

重要

UNIX用印刷サービス (LPR) を使用する場合、[プリンタのプロパティ] ダイアログボックスの [ポート] シートで [双方向サポートを有効にする] のチェックを外して、無効にしてください。

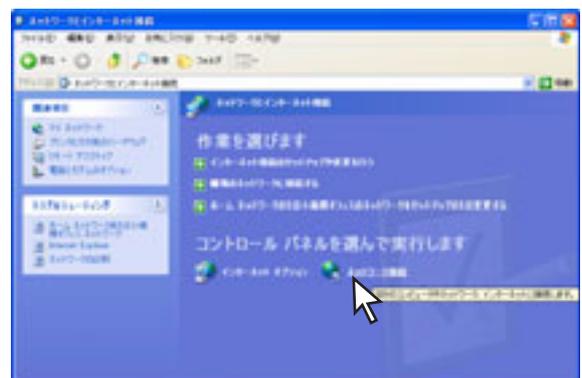
使用するコンピューターにUNIX用印刷サービスをインストールします。インストールされている場合は、「プリンタドライバのインストール」へ進んでください。

UNIX用印刷サービスのインストール

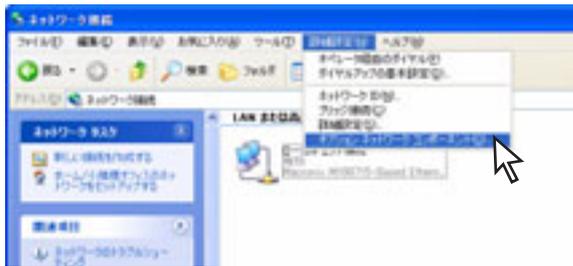
UNIX用印刷サービスを使用するには、TCP/IPプロトコルがインストールされていて、設定が完了している必要があります。TCP/IPプロトコルのインストールについては、Windows XPのヘルプ「TCP/IPプロトコルをインストールするには」を参照してください。UNIX用印刷サービスのインストール方法について説明します。

- ① Windows XPのCD-ROMをセットする。
- ② コントロールパネルの [ネットワークとインターネット接続] をクリックする。

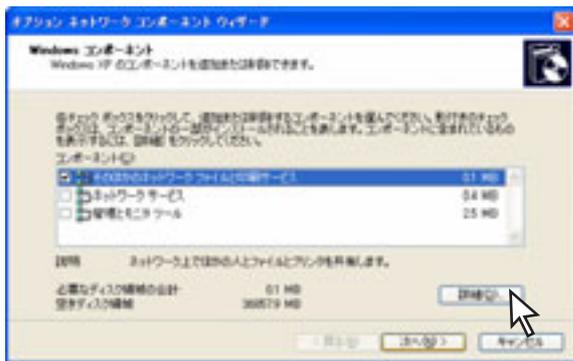
- ③ [ネットワーク接続] をクリックする。



- 4 [詳細設定] メニューの [オプション ネットワーク コンポーネント] をクリックする。

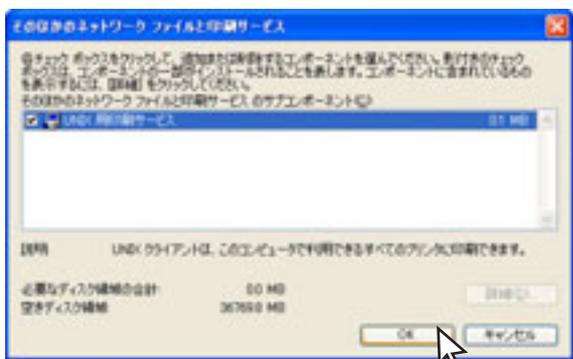


- 5 [その他のネットワーク ファイルと印刷サービス] を選択し、[詳細] をクリックする。



- 6 [UNIX用印刷サービス] をチェックして、[OK] をクリックする。

[オプション ネットワーク コンポーネントウィザード] ダイアログボックスに戻ります。

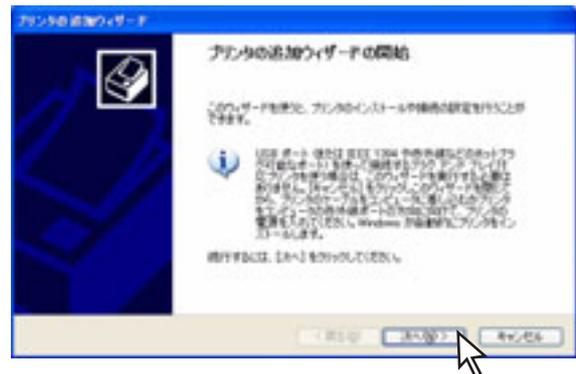


- 7 [次へ] をクリックする。

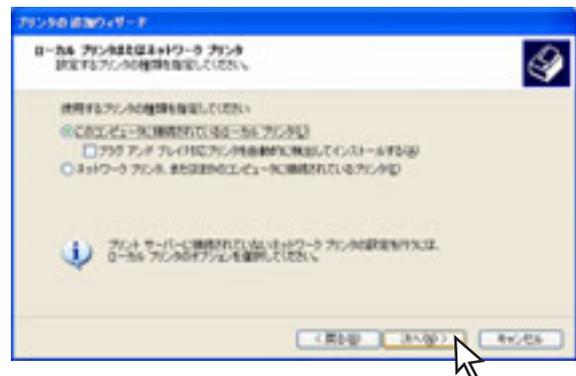
次に「プリンタードライバーのインストール」へ進んでください。

プリンタードライバーのインストール

- 1 プリンターソフトウェアCD-ROMをセットする。
[プリンターソフトウェアCD-ROMメニュー] が起動します。
- 2 [終了] をクリックする。
プリンターソフトウェアを終了します。
- 3 [プリンタとFAX] フォルダを開く。
- 4 [プリンタのインストール] をクリックする。
- 5 [次へ] をクリックする。

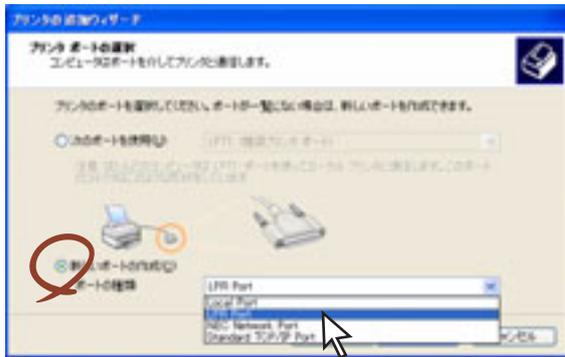


- 6 [このコンピュータに接続されているローカル プリンタ] を選択し、[プラグアンドプレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする] のチェックを外して [次へ] をクリックする。

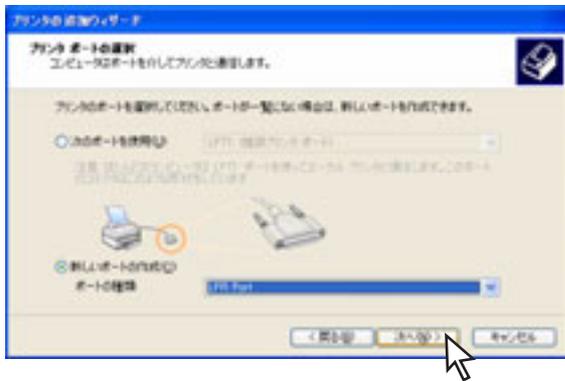


- 7 [新しいポートの作成] をクリックし、[LPR Port] を選択する。

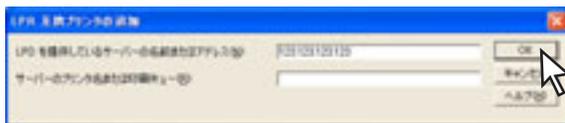
[LPR Port] が表示されない場合は、[UNIX用印刷サービス] をインストールしてください。



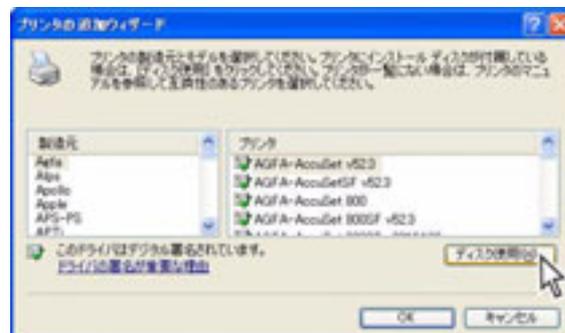
- 8 [次へ] をクリックする。



- 9 [LPDを提供しているサーバーの名前またはアドレス] ボックスに、追加するプリンターのIPアドレスまたはドメイン名を入力し、[OK] をクリックする。

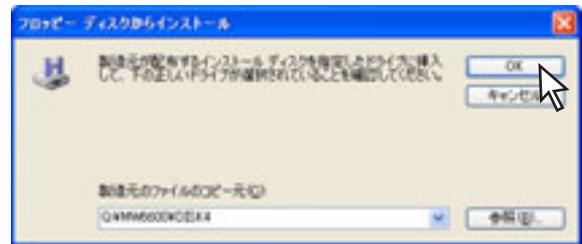


- 10 [ディスク使用] をクリックする。

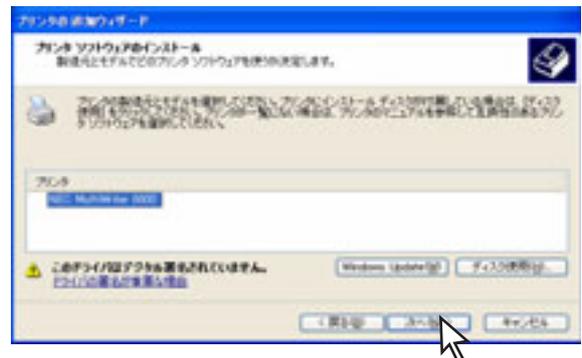


- 11 [製造元のファイルのコピー元] を入力し、[OK] をクリックする。

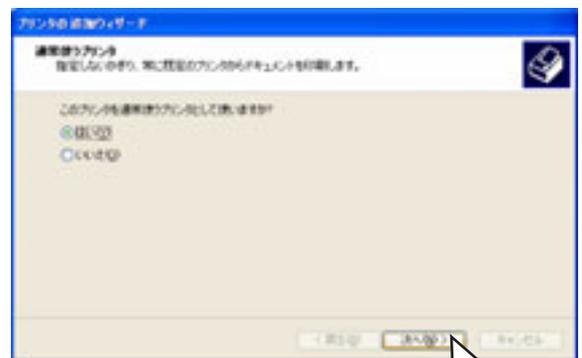
[製造元のファイルのコピー元] に、CD-ROMを挿入したドライブ名、コロン (:), 円記号 (¥) に続けて「MW6600¥DISK4」と入力します。



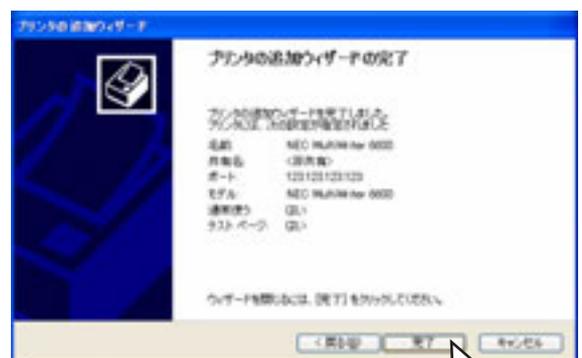
- 12 使用するプリンターを選び、[次へ] をクリックする。



- 13 [通常使うプリンタ] に設定するか、しないかを選び、[次へ] をクリックする。



- 14 [完了] をクリックする。

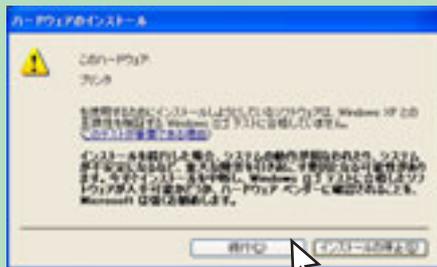


✓チェック

以下の[ハードウェアのインストール]ダイアログボックスが表示される場合があります。添付のプリンターソフトウェアCD-ROMに収録されているプリンターソフトウェアは、弊社により動作を確認されています。

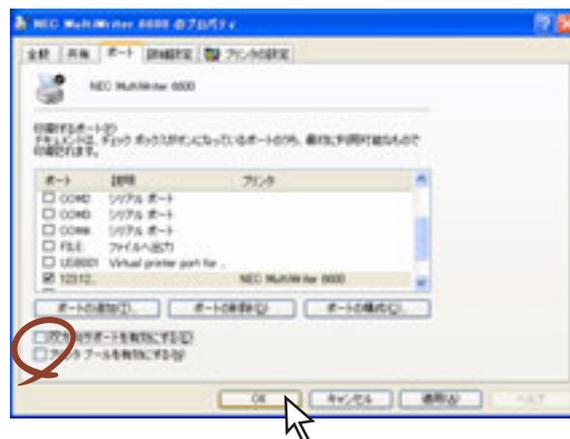
[続行] をクリックし、インストールを続行してください。

なお、[インストールの停止] をクリックした場合は、インストールが中止されます。



次に、双方向通信を無効にします。以下の手順で設定してください。

- ① [プリンタと FAX] フォルダー内に作成されたプリンターの [プリンタのプロパティ] ダイアログボックスを表示させる。
- ② [ポート] タブをクリックする。
- ③ [双方向サポートを有効にする] のチェックを外して、[OK] をクリックする。



以上で設定は完了です。

Standard TCP/IP Port (LPR) を使用して印刷するには

Windows XPの環境でLPRを使用してプリンタードライバーのインストール手順から印刷するまでの設定方法について説明します。

重要

- 従量課金回線でご使用の場合、「SNMPステータスを有効にする」チェックを外してください。チェックを外さないと異常に課金される場合があります。
- Standard TCP/IP Port (LPR) を使用する場合、「プリンタのプロパティ」ダイアログボックスの「ポート」シートで「双方向サポートを有効にする」のチェックを外して、無効にしてください。

① プリンターに添付のプリンターソフトウェアCD-ROM をセットする。

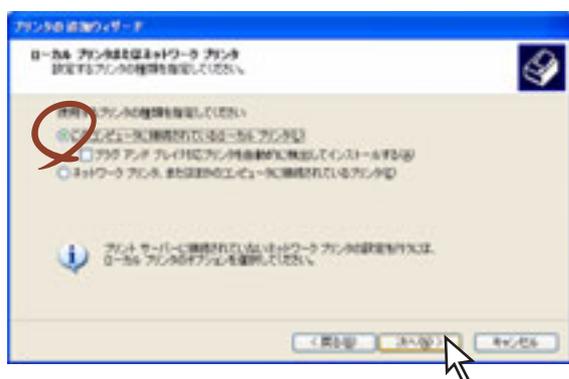
[プリンタソフトウェアCD-ROMメニュー] ダイアログボックスが表示されます。

② [終了] をクリックする。

③ [プリンタとFAX] フォルダを開く。

④ [プリンタのインストール] をクリックする。

⑤ [このコンピュータに接続されているローカルプリンタ] を選択し、[プラグ アンド プレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする] のチェックを外して、[次へ] をクリックする。



⑥ [新しいポートの作成]、[Standard TCP/IP Port] を選び、[次へ] をクリックする。

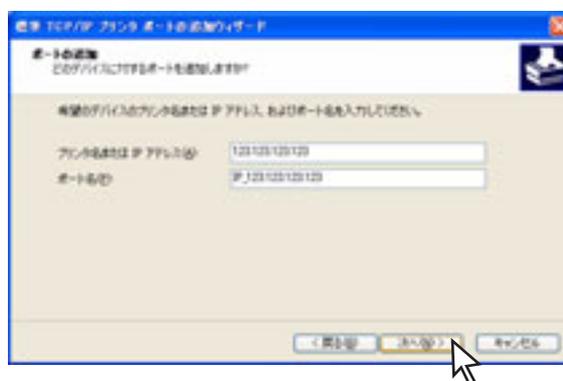
[標準TCP/IPプリンタポートの追加ウィザード] ダイアログボックスが表示されます。



⑦ [次へ] をクリックする。



⑧ [プリンタ名またはIPアドレス] ボックスに追加するプリンターのIPアドレスを入力し、[次へ] をクリックする。

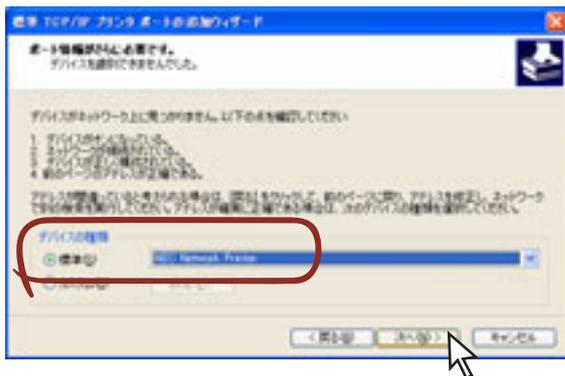


チェック

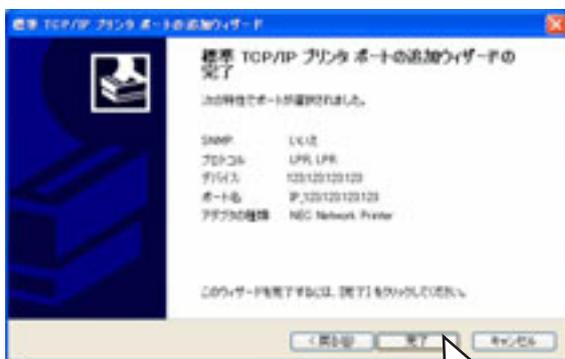
DNSサーバーが存在し、プリンターが登録されている場合には、DNS名を指定することもできます。

ネットワーク上にネットワークプリンターが存在する場合は、ネットワークプリンターが検出され、自動的に設定が完了します。手順⑩へ進んでください。ネットワーク上にネットワークプリンターが存在しない場合は、手順⑨へ進んでください。

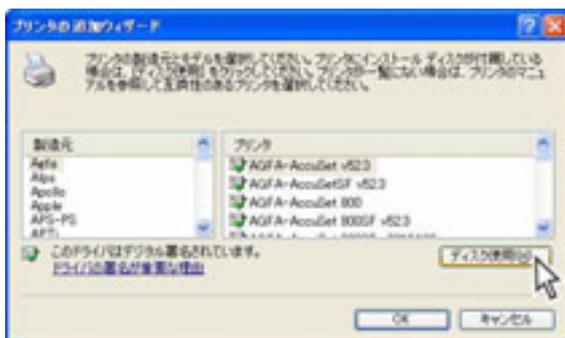
- ⑨ [デバイスの種類] の [標準] をクリックし、[NEC Network Printer] を選び、[次へ] をクリックする。



- ⑩ 内容を確認し、[完了] をクリックする。

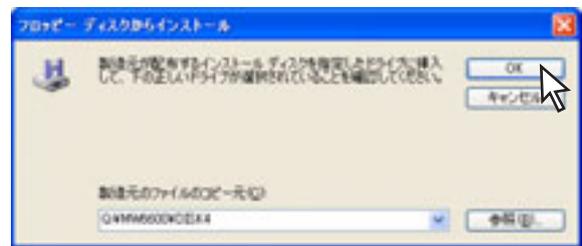


- ⑪ [ディスク使用] をクリックする。

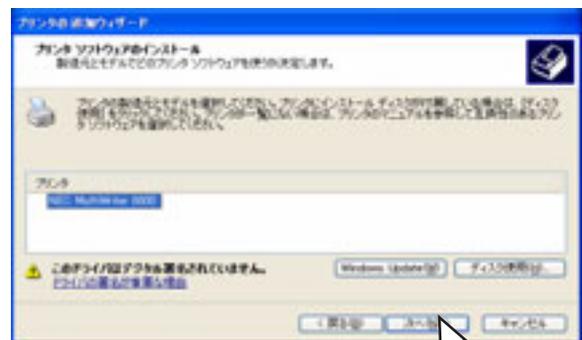


- ⑫ [製造元のファイルのコピー元] を入力し、[OK] をクリックする。

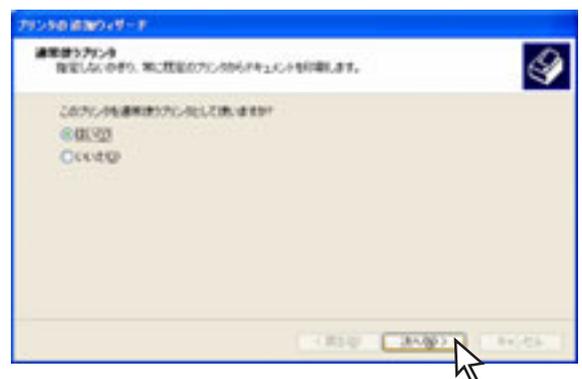
[製造元のファイルのコピー元] に、CD-ROMを挿入したドライブ名、コロン (:)、円記号 (¥) に続けて「MW6600¥DISK4」と入力します。



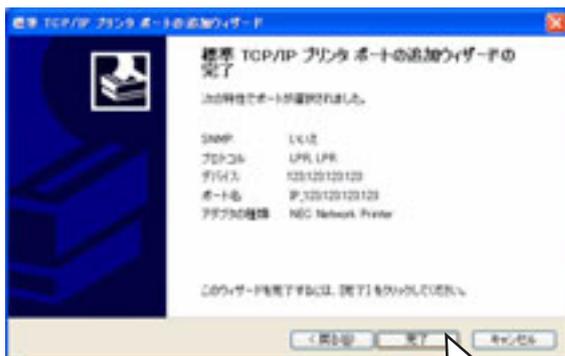
- ⑬ 使用するプリンターを選び、[次へ] をクリックする。



- ⑭ [通常使うプリンタ] に設定するか、しないかを選び、[次へ] をクリックする。



15 [完了] をクリックする。

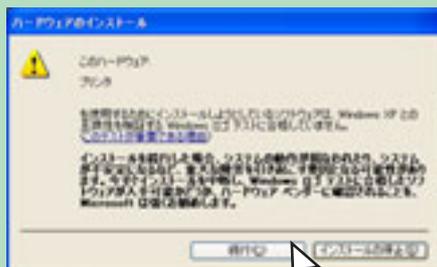


✓チェック

以下の[ハードウェアのインストール]ダイアログボックスが表示される場合があります。添付のプリンターソフトウェアCD-ROMに収録されているプリンターソフトウェアは、弊社により動作を確認されています。

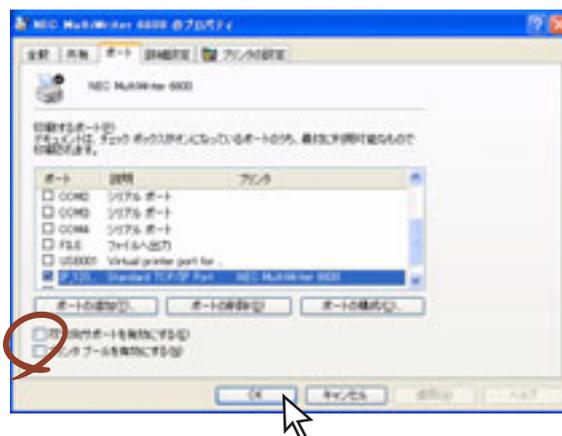
[続行] をクリックし、インストールを続行してください。

なお、[インストールの停止] をクリックした場合は、インストールが中止されます。



次に、双方向通信を無効にします。以下の手順で設定してください。

- 1 [プリンタと FAX] フォルダー内に作成されたプリンターの [プリンタのプロパティ] ダイアログボックスを表示させる。
- 2 [ポート] タブをクリックする。
- 3 [双方向サポートを有効にする] のチェックを外して、[OK] をクリックする。



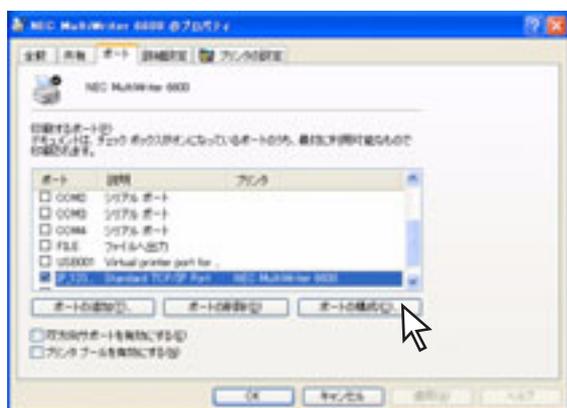
次に次ページの「LPRバイトカウント機能」へ進んでください。

LPRバイトカウント機能

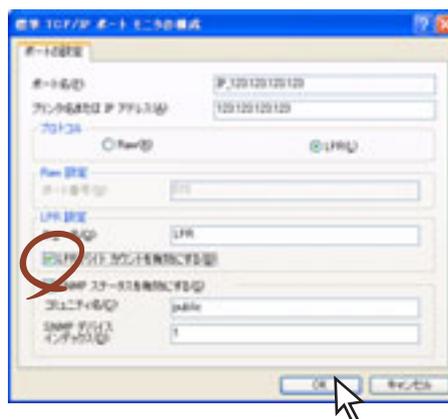
LPRプロトコルには、印刷データを送信する前に印刷データの容量を測定し、プリンターに送信する機能があります。これを「LPRバイトカウント機能」といいます。

この「LPRバイトカウント機能」を有効にすると、印刷が途中で中断されたときに、プリンターは処理されずに残っている印刷データを消去します。この機能を使用することで次の印刷データが送られてきたときにプリンター内に残っているデータと混在することを防ぐことができます。LPRバイトカウント機能を有効にするには、次の手順で設定してください。

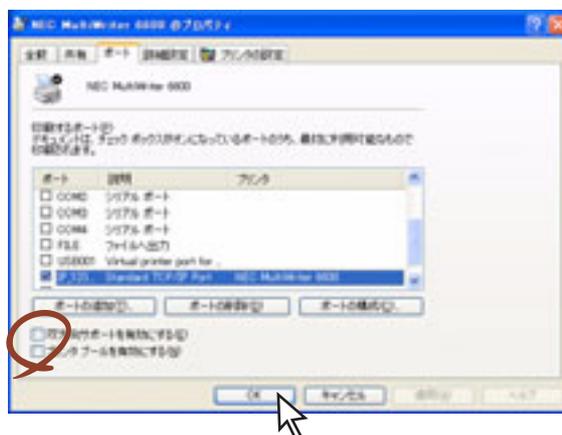
- ① [プリンタ] フォルダー内に作成されたプリンターの [プリンタのプロパティ] ダイアログボックスを表示させる。
- ② [ポート] タブをクリックする。
- ③ [ポートの構成] をクリックする。



- ④ [LPRバイトカウントを有効にする] をチェックして、[OK] をクリックする。



- ⑤ [双方向サポートを有効にする] のチェックを外して、[閉じる] をクリックする。



以上で設定は完了です。

Windows 2000 日本語版

Windows 2000からプリントサーバーを使用せず、ネットワークプリンターへ直接印刷するための設定について説明します。Windows 2000から印刷するためには、以下の4つの方法があります。

- NEC Network Port (PrintAgent)添付のプリンターソフトウェアCD-ROMからプリンターソフトウェアをインストールして印刷します。
- IPP (Internet Printing Protocol).....Windows 2000に標準で実装されているソフトウェアを使用して印刷します。
- UNIX用印刷サービス (LPR).....Windows 2000に標準で収録されているUNIX用印刷サービス (LPR)を使用して印刷します。
- Standard TCP/IP Port (LPR).....Windows 2000に標準で実装されているStandard TCP/IP Port (LPR)を使用して印刷します。

これらのソフトウェアで印刷する前に、あらかじめプリンターにIPアドレスを設定する必要があります。「ユーティリティによるネットワークの設定」(68ページ)または各LANアダプターに添付の取扱説明書を参照してIPアドレスを設定してください。

プリンターにIPアドレスを設定した後、各ソフトウェアをインストールしてください。

NEC Network Portを使用して印刷するには

NEC Network Port (NEC TCP/IP Port) を使用して印刷するための印刷先の変更について説明します。NEC Network Portは、PrintAgentに含まれています。PrintAgentのインストールについては2章の『「インストールプログラム」からのインストール』(37ページ)を参照してください。

印刷先の変更

印刷先を変更します。次の手順に従ってください。

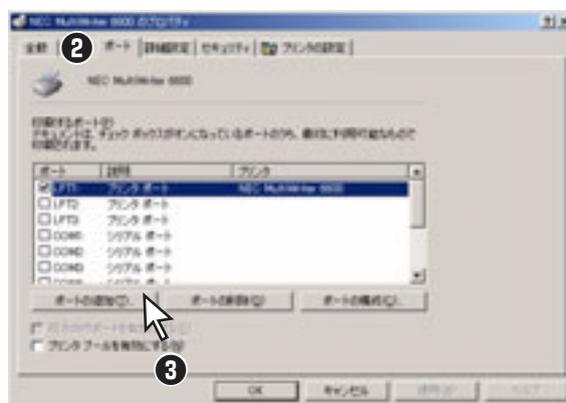
- 1 [プリンタのプロパティ] ダイアログボックスを表示させる。

[プリンタ] フォルダーの [NEC MultiWriter 6600] アイコンをクリックし、[ファイル] メニューの [プロパティ] をクリックします。



- 2 [ポート] タブをクリックする。

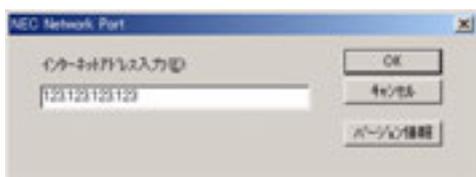
- 3 [ポートの追加] をクリックする。



- 4 [利用可能なポートの種類] で [NEC Network Port] を選び、[新しいポート] をクリックする。



- 5 [インターネットアドレス入力] ボックスにプリンターのIPアドレスまたはドメイン名を入力する。



- 6 [OK] をクリックする。
7 [閉じる] をクリックする。
[プリンタのプロパティ] ダイアログボックスを閉じます。

以上で設定は完了です。

ドメイン名について

NEC Network PortではIPアドレスの代わりにドメイン名を使用することができます。

ドメイン名を使用する場合はネットワーク上にDNSサーバーが存在し、プリンターのドメイン名が登録されていなければなりません。また、NEC Network Portをインストールしたクライアントコンピューターの[TCP/IPのプロパティ] 設定画面でホスト名、ドメイン名、DNSサーバーのIPアドレスを設定する必要があります。

ドメイン名は階層構造により「. (ドット)」で区切られた名前を指します。たとえば、「sample.nec.co.jp」と呼ばれるドメインの「printer1」と呼ばれるプリンターを指定する場合のドメイン名は「printer1.sample.nec.co.jp」と入力します。

ただし、クライアントコンピューターが「printer1.sample.nec.co.jp」の同じドメインに存在する場合は、「printer1」のみで構いません。



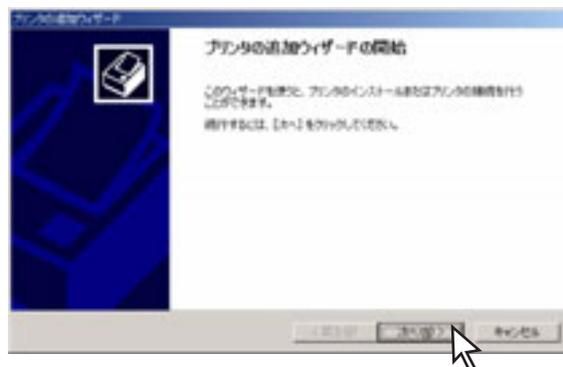
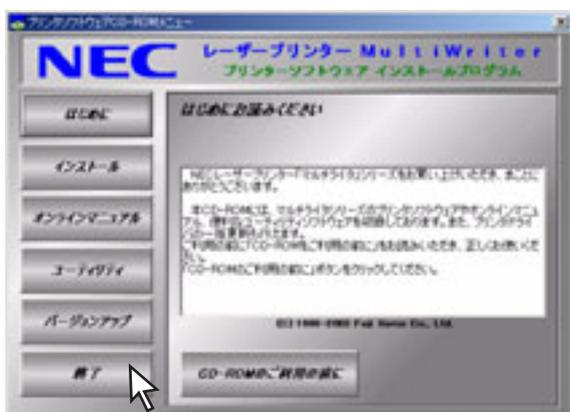
ドメイン名として入力可能な文字の長さは最大127文字(127バイト)です。

DNSサーバーとクライアントコンピューターの詳しい設定に関してはホストコンピューターのマニュアルを参照してください。

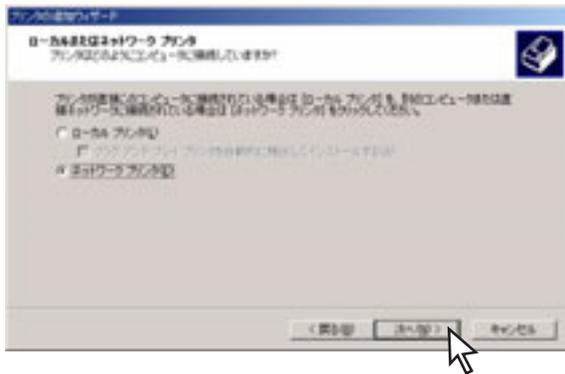
IPP (Internet Printing Protocol) を使用して印刷するには

Windows 2000の環境でIPPを使用して印刷する手順を説明します。

- 1 プリンターに添付のプリンターソフトウェアCD-ROM をセットする。
[プリンタソフトウェアCD-ROMメニュー] ダイアログボックスが表示されます。
- 2 [終了] をクリックする。
- 3 [プリンタ] フォルダーの [プリンタの追加] アイコンをダブルクリックする。
- 4 [次へ] をクリックする。



- 5 [ネットワークプリンタ] を選択して、[次へ] をクリックする。



- 6 [インターネットまたはイントラネット上のプリンタに接続します] を選択して、[URL] ボックスに登録するプリンターのIPアドレスを含むアドレスを入力する。



重要
入力可能な形式は「http://」に限られます。

(入力例)
IPアドレスが「123.123.123.123」の場合
http://123.123.123.123/ipp

- 7 [次へ] をクリックする。

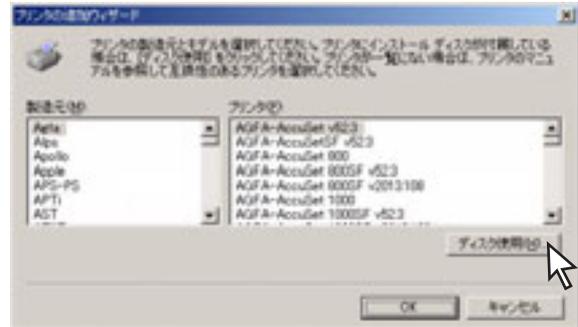
該当するプリンターの電源が入っていないまたはIPアドレスが正しくない場合は、以下のエラーメッセージが表示されます。表示された場合は、[OK] をクリックしてください。



- 8 [OK] をクリックする。

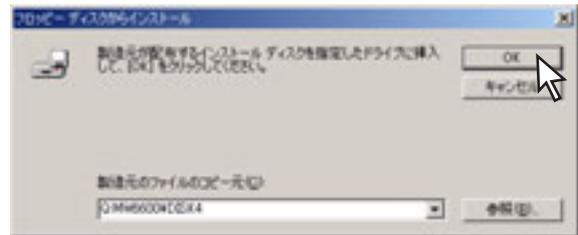


- 9 [ディスク使用] をクリックする。

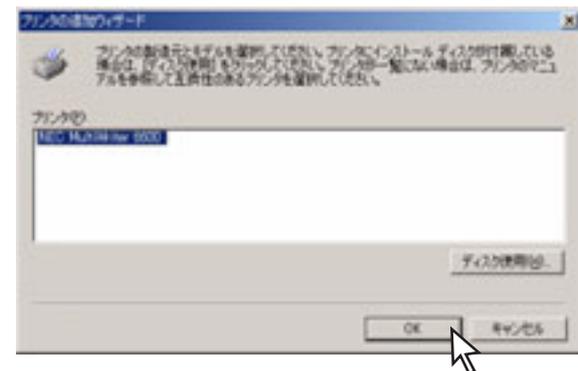


- 10 [製造元のファイルのコピー元] を入力し、[OK] をクリックする。

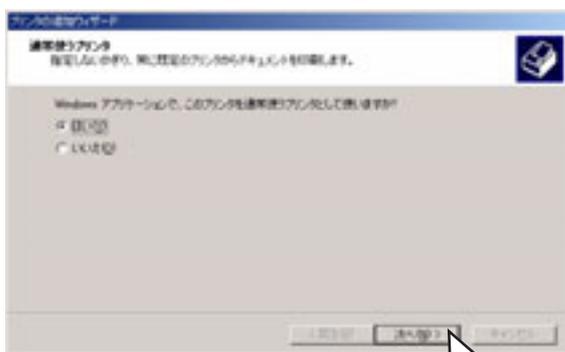
[製造元のファイルのコピー元] に、CD-ROMを挿入したドライブ名、コロン (:), 円記号 (¥) に続けて「MW6600¥DISK4」と入力します。



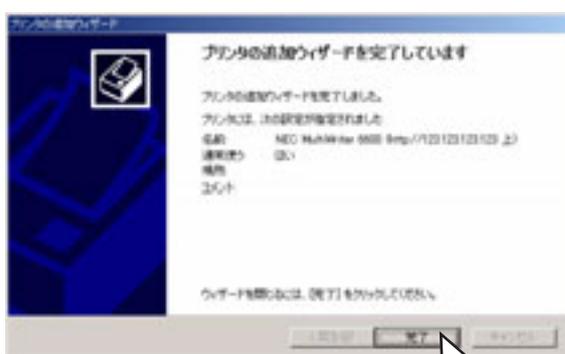
- 11 使用するプリンターを選び、[OK] をクリックする。



- 12 [通常使うプリンタ] に設定するか、しないかを選び、[次へ] をクリックする。



- 13 [完了] をクリックする。



✓ チェック

[デジタル署名が見つかりませんでした]とメッセージダイアログボックスが表示される場合があります。添付のプリンターソフトウェアCD-ROMに収録されているプリンターソフトウェアは、弊社により動作を確認されています。

[はい] をクリックし、インストールを続行します。

[いいえ] をクリックした場合は、インストールが中止されます。



以上で設定は完了です。

UNIX用印刷サービス (LPR) を使用して印刷するには

LPRには、UNIX用印刷サービスによる印刷方法とStandard TCP/IP Portによる印刷方法の2種類あります。UNIX用印刷サービス (LPR) を使用した印刷を行うための設定方法を説明します。

重要

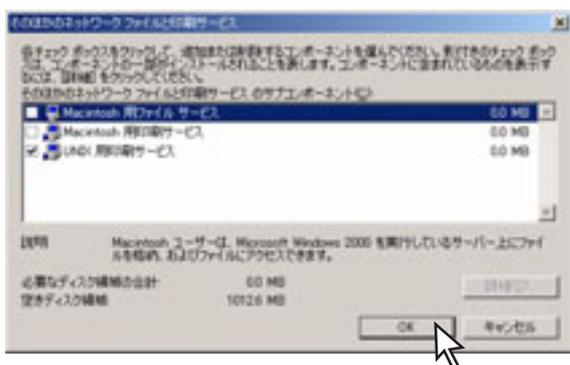
UNIX用印刷サービス (LPR) を使用する場合、[プリンタのプロパティ] ダイアログボックスの [ポート] シートで [双方向サポートを有効にする] のチェックを外して、無効にしてください。

まず、使用するコンピューターにUNIX用印刷サービスをインストールします。インストールされている場合は、「プリンタードライバのインストール」へ進んでください。

UNIX用印刷サービスのインストール

UNIX用印刷サービスを使用するには、TCP/IPプロトコルがインストールされていて、設定が完了している必要があります。TCP/IPプロトコルのインストールについては、Windows 2000のヘルプ「TCP/IPプロトコルをインストールするには」を参照してください。UNIX用印刷サービスのインストール方法について説明します。

- ① コントロールパネルの [ネットワークとダイアルアップ接続] ダイアログボックスを開く。
- ② [詳細設定] メニューの [オプション ネットワーク コンポーネント] をクリックする。
- ③ [その他のネットワーク ファイルと印刷サービス] を選択し、[詳細] をクリックする。
- ④ [UNIX用印刷サービス] をチェックして、[OK] をクリックする。



次に「プリンタードライバのインストール」へ進んでください。

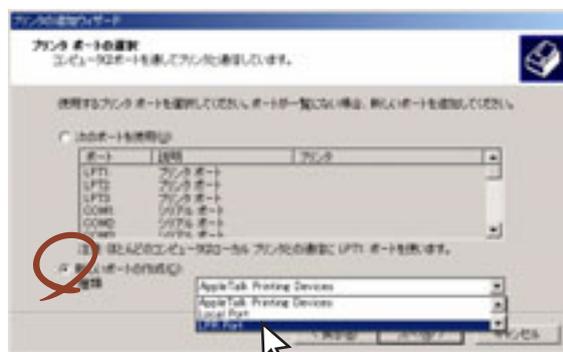
プリンタードライバのインストール

- ① [プリンタ] フォルダを開く。
- ② [プリンタの追加] アイコンをダブルクリックし、[次へ] をクリックする。
- ③ [ローカル プリンタ] を選択し、[プラグ アンド プレイ プリンタを自動的に検出してインストールする] のチェックを外して [次へ] をクリックする。



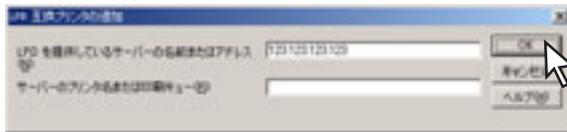
- ④ [新しいポートの作成] をクリックし、[LPR Port] を選択する。

[LPR Port] が表示されない場合は、[UNIX用印刷サービス] をインストールしてください。

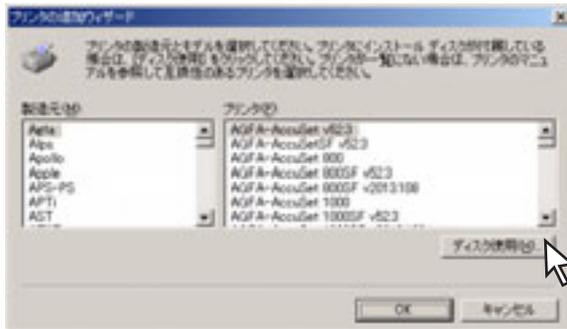


5 [次へ] をクリックする。

6 [LPDを提供しているサーバーの名前またはアドレス] ボックスに、追加するプリンターのIPアドレスまたはドメイン名を入力し、[OK] をクリックする。

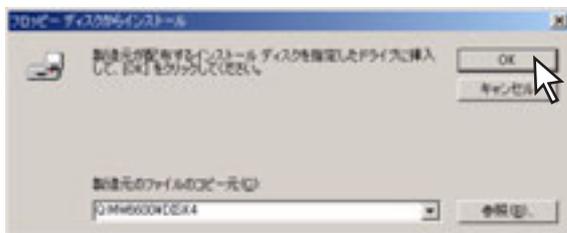


7 [ディスク使用] をクリックする。

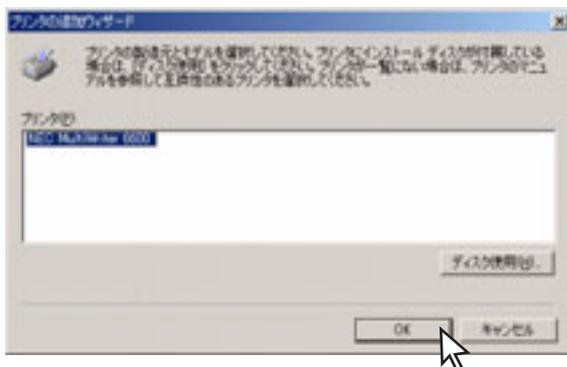


8 [製造元のファイルのコピー元] を入力し、[OK] をクリックする。

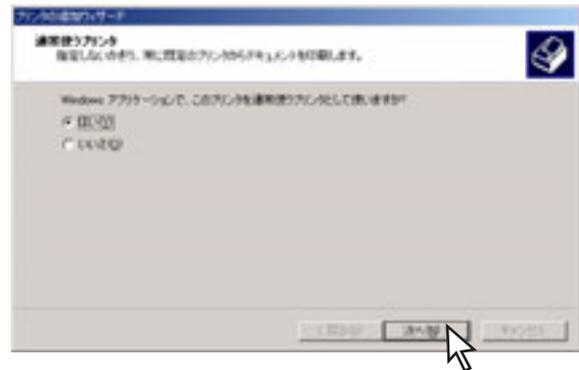
[製造元のファイルのコピー元] に、CD-ROMを挿入したドライブ名、コロン (:), 円記号 (¥) に続けて「MW6600¥DISK4」と入力します。



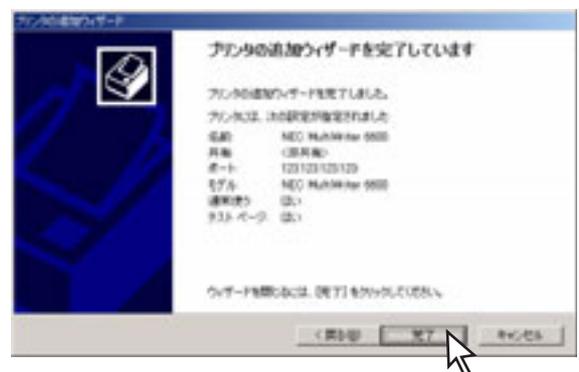
9 使用するプリンターを選び、[次へ] をクリックする。



10 [通常使うプリンタ] に設定するか、しないかを選び、[次へ] をクリックする。



11 [完了] をクリックする。



✓ チェック

[デジタル署名が見つかりませんでした]とメッセージダイアログボックスが表示される場合があります。添付のプリンターソフトウェアCD-ROMに収録されているプリンターソフトウェアは、弊社により動作を確認されています。

[はい] をクリックし、インストールを続行します。

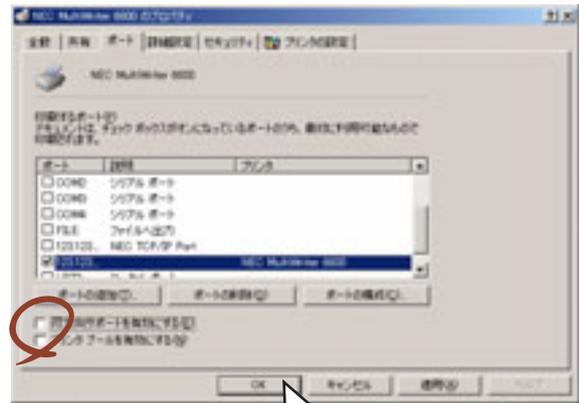
[いいえ] をクリックした場合は、インストールが中止されます。



次に、双方向通信を無効にします。以下の手順で設定してください。

- ① [プリンタ] フォルダー内に作成されたプリンターの [プリンタのプロパティ] ダイアログボックスを表示させる。
- ② [ポート] タブをクリックする。

- ③ [双方向サポートを有効にする] のチェックを外して、[OK] をクリックする。



以上で設定は完了です。

Standard TCP/IP Port (LPR) を使用して印刷するには

Windows 2000の環境でLPRを使用して印刷するまでの設定方法について説明します。

重要

- 従量課金回線でご使用の場合、[SNMPステータスを有効にする] チェックを外してください。チェックを外さないと異常に課金される場合があります。
- Standard TCP/IP Port (LPR) を使用する場合、[プリンタのプロパティ] ダイアログボックスの [ポート] シートで [双方向サポートを有効にする] のチェックを外して、無効にしてください。

① [プリンタ] フォルダーを開く。

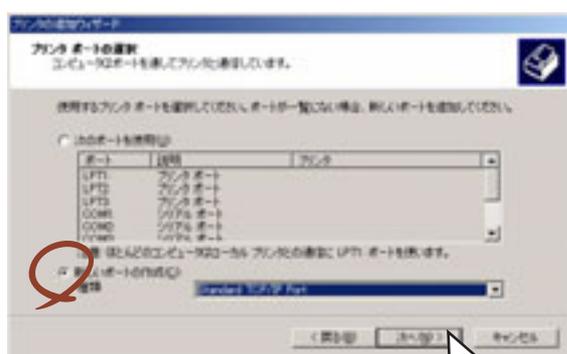
② [プリンタの追加] アイコンをダブルクリックする。

③ [ローカルプリンタ] を選択し、[プラグアンドプレイプリンタを自動的に検出してインストールする] のチェックを外して、[次へ] をクリックする。



④ [新しいポートの作成]、[Standard TCP/IP Port] を選び、[次へ] をクリックする。

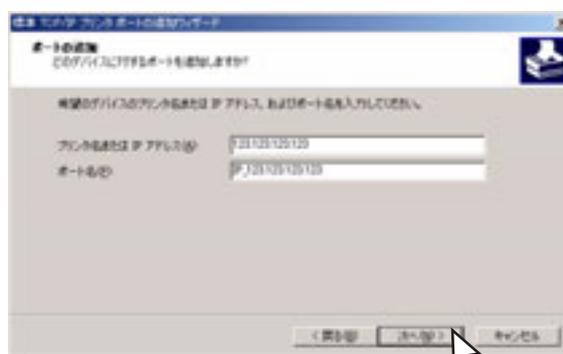
[標準TCP/IPプリンタポートの追加ウィザード] ダイアログボックスが表示されます。



⑤ [次へ] をクリックする。



⑥ [プリンタ名またはIPアドレス] ボックスに追加するプリンターのIPアドレスを入力し、[次へ] をクリックする。



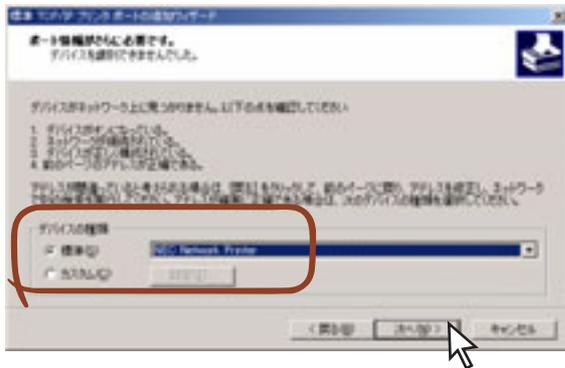
チェック

DNSサーバーが存在し、プリンターが登録されている場合には、DNS名を指定することもできます。

ネットワーク上にネットワークプリンターが存在する場合は、ネットワークプリンターが検出され、自動的に設定が完了します。手順⑧へ進んでください。

ネットワーク上にネットワークプリンターが存在しない場合は、手順⑦へ進んでください。

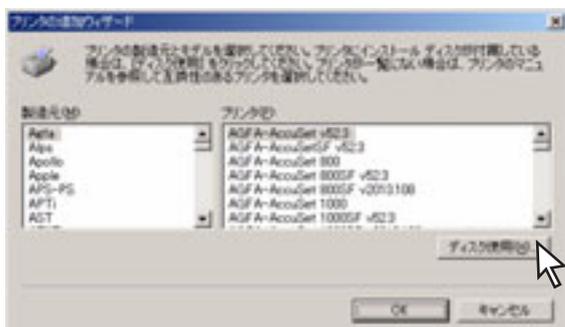
- 7** [デバイスの種類] の [標準] をクリックし、[NEC Network Printer] を選び、[次へ] をクリックする。
この画面が表示されなかった場合は、次の手順に進んでください。



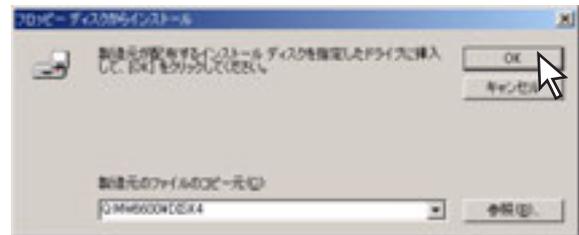
- 8** 内容を確認し、[完了] をクリックする。
画面に表示される指示に従って、プリンターのインストールを完了してください。次に「LPRバイトカウント機能」へ進んでください。



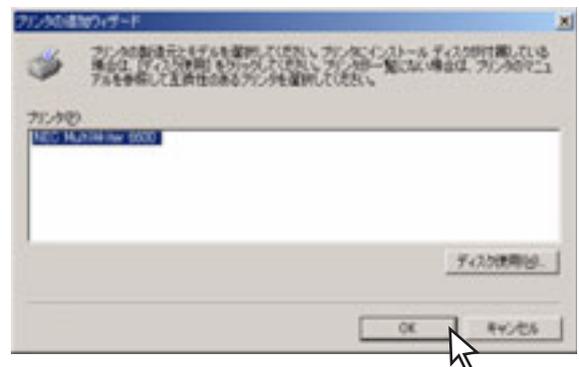
- 9** [ディスク使用] をクリックする。



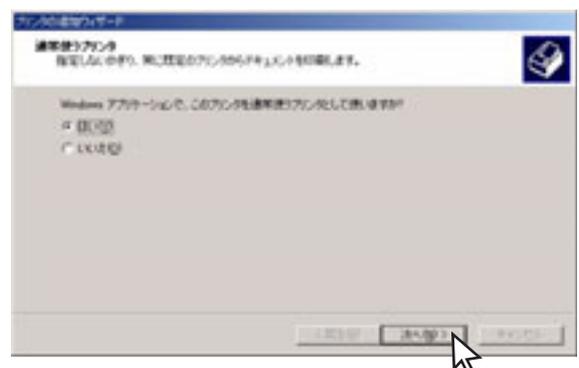
- 10** [製造元のファイルのコピー元] を入力し、[OK] をクリックする。
[製造元のファイルのコピー元] に、CD-ROMを挿入したドライブ名、コロン (:), 円記号 (¥) に続けて「MW6600¥DISK4」と入力します。



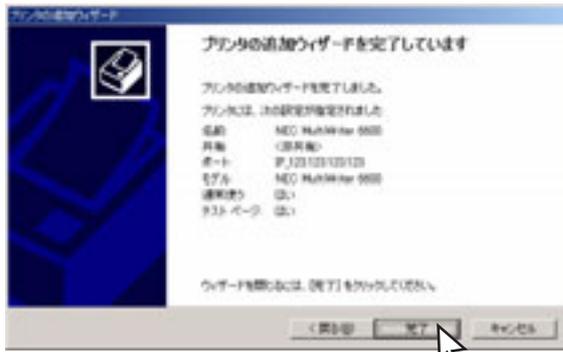
- 11** 使用するプリンターを選び、[次へ] をクリックする。



- 12** [通常使うプリンタ] に設定するか、しないかを選び、[次へ] をクリックする。



- 13 [完了] をクリックする。



✓チェック

「デジタル署名が見つかりませんでした」とメッセージダイアログボックスが表示される場合があります。添付のプリンターソフトウェアCD-ROMに収録されているプリンターソフトウェアは、弊社により動作を確認しております。

「はい」をクリックし、インストールを続行します。

「いいえ」をクリックした場合は、インストールが中止されます。



次に「LPRバイトカウント機能」へ進んでください。

LPRバイトカウント機能

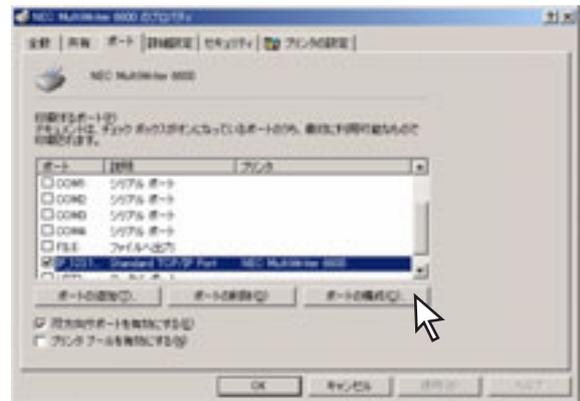
LPRプロトコルには、印刷データを送信する前に印刷データの容量を測定し、プリンターに送信する機能があります。これを「LPRバイトカウント機能」といいます。

この「LPRバイトカウント機能」を有効にすると、印刷が途中で中断されたときに、プリンターは処理されずに残っている印刷データを消去します。この機能を使用することで次の印刷データが送られてきたときにプリンター内に残っているデータと混在することを防ぐことができます。LPRバイトカウント機能を有効にするには、次の手順で設定してください。

- 1 [プリンタ] フォルダー内に作成されたプリンターの [プリンタのプロパティ] ダイアログボックスを表示させる。

- 2 [ポート] タブをクリックする。

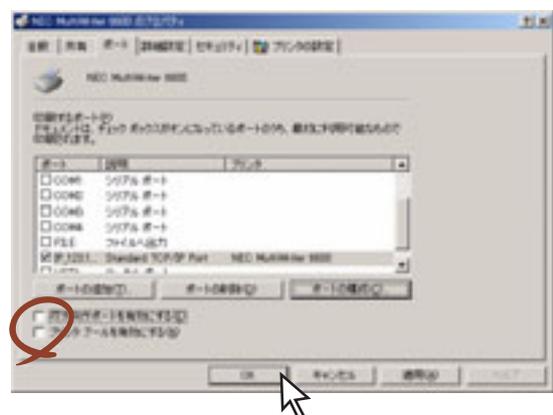
- 3 [ポートの構成] をクリックする。



- 4 [LPRバイトカウントを有効にする] をチェックして、[OK] をクリックする。



- 5 [双方向サポートを有効にする] のチェックを外して、[閉じる] をクリックする。



以上で設定は完了です。

Windows NT 4.0 日本語版

Windows NT 4.0からプリントサーバーを使用せず、ネットワークプリンターへ直接印刷するための設定について説明します。Windows NT 4.0から印刷するためには、以下の3つの方法があります。

- NEC Network Port (PrintAgent) 添付のプリンターソフトウェア CD-ROM からプリンターソフトウェアをインストールして印刷します。
- NEC Internet Printing System (IPP) プリンターに添付のプリンターソフトウェア CD-ROM に収録されているNEC Internet Printing Systemを使用して印刷します。
- Microsoft TCP/IP印刷 (LPR) Windows NT 4.0に標準で実装されているTCP/IP印刷サービスのLPRプロトコルを使用して印刷します。

これらのソフトウェアで印刷する前に、あらかじめプリンターにIPアドレスを設定する必要があります。「ユーティリティによるネットワークの設定」(68ページ) またはLANアダプターの取扱説明書を参照してIPアドレスを設定してください。

プリンターにIPアドレスを設定した後、各ソフトウェアをインストールしてください。

NEC Network Portを使用して印刷するには

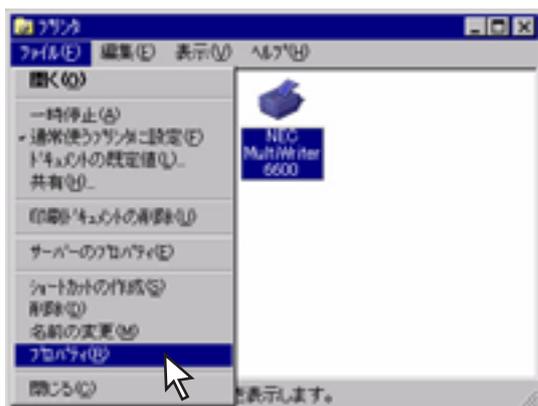
NEC Network Port (NEC TCP/IP Port) を使用して印刷するための印刷先の変更について説明します。NEC Network Portは、PrintAgentに含まれています。PrintAgentのインストールについては2章の「インストールプログラム」からのインストール」(37ページ) を参照してください。

印刷先の変更

印刷先を変更します。次の手順に従ってください。

- 1 [プリンタのプロパティ] ダイアログボックスを表示させる。

[プリンタ] フォルダの [NEC MultiWriter 6600] アイコンをクリックし、[ファイル] メニューの [プロパティ] をクリックします。

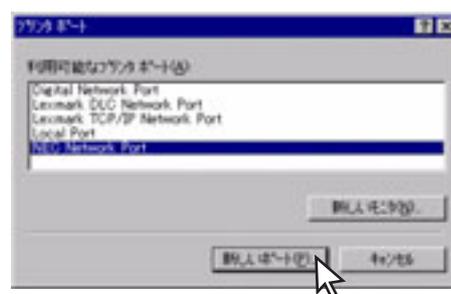


- 2 [ポート] タブをクリックする。

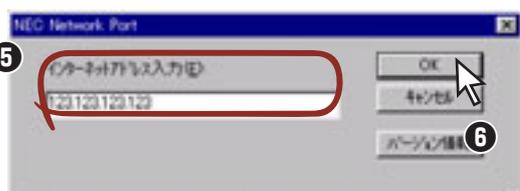
- 3 [ポートの追加] をクリックする。



- 4 [利用可能なプリンタポート] で [NEC Network Port] を選び、[新しいポート] をクリックする。



- ⑤ [インターネットアドレス入力] ボックスにプリンターのIPアドレスまたはドメイン名を入力する。



- ⑥ [OK] をクリックする。
- ⑦ [閉じる] をクリックする。
[プリンタのプロパティ] ダイアログボックスを閉じます。

以上で設定は完了です。

ドメインネームについて

NEC Network PortではIPアドレスの代わりにドメインネームを使用することができます。

ドメインネームを使用する場合はネットワーク上にDNSサーバーが存在し、プリンターのドメインネームが登録されていなければなりません。また、NEC Network Portをインストールしたクライアントコンピューターの[TCP/IPのプロパティ] 設定画面でホスト名、ドメイン名、DNSサーバーのIPアドレスを設定する必要があります。

ドメインネームは階層構造により「. (ドット)」で区切られた名前を指します。たとえば、「sample.nec.co.jp」と呼ばれるドメインの「printer1」と呼ばれるプリンターを指定する場合のドメインネームは「printer1.sample.nec.co.jp」と入力します。

ただし、クライアントコンピューターが「printer1.sample.nec.co.jp」の同じドメインに存在する場合は、「printer1」のみで構いません。

✓チェック

ドメインネームとして入力可能な文字の長さは最大127文字(127バイト)です。

DNSサーバーとクライアントコンピューターの詳しい設定に関してはホストコンピューターのマニュアルを参照してください。

NEC Internet Printing System (IPP) を使用して印刷するには

Windows NT 4.0 日本語版の環境でIPPを使用して印刷する手順を説明します。NEC Internet Printing Systemを使用します。

🔑重要

- NEC Internet Printing Systemは、プロキシサーバーには対応していません。IPP対応プリンターへのアクセスにプロキシサーバーの設定が必要な場合は印刷できません。
- NEC Internet Printing Systemは [プリンタ] フォルダを開くと、プリンターの状態を確認します。

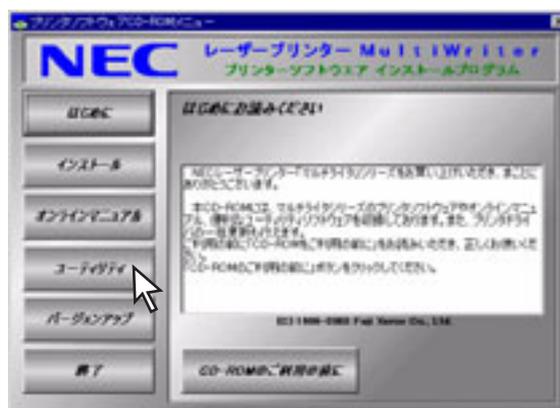
① NEC Internet Printing Systemのインストール

NEC Internet Printing Systemのインストール方法について説明します。次の手順に従ってください。

- ① プリンターソフトウェアCD-ROMをセットする。
[プリンタソフトウェアCD-ROMメニュー] ダイアログボックスが表示されます。

お使いのコンピューターによっては、自動的にメニュープログラムが立ち上がらない場合があります。その場合は、CD-ROMのルートディレクトリーにある「MWSETUP.exe」を実行してください。

- ② [ユーティリティ] をクリックする。



- 3 [NEC Internet Printing for Windows NT4.0] を選択し、[フォルダを開く] をクリックする。



[¥NECIPS¥WINT40] フォルダにある [Readme.txt] を必ずお読みください。



- 4 [Setup.exe] アイコンをダブルクリックする。

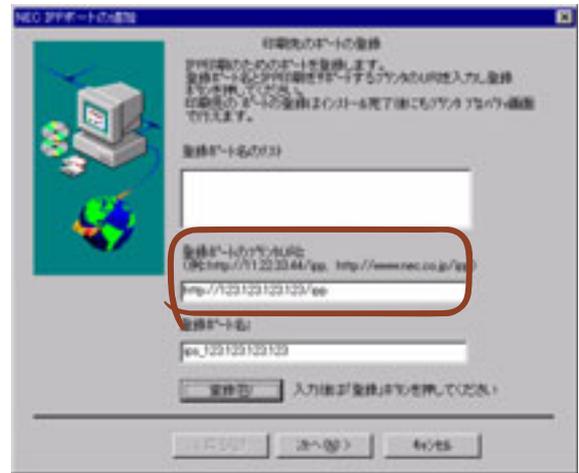


- 5 [次へ] をクリックする。



- 6 [登録ポートのプリンタURI] ボックスに登録するプリンターのアドレスを入力する。

ここで [登録] を行わなくても、インストール終了後に「印刷先の変更」で印刷先のポートを追加できます。



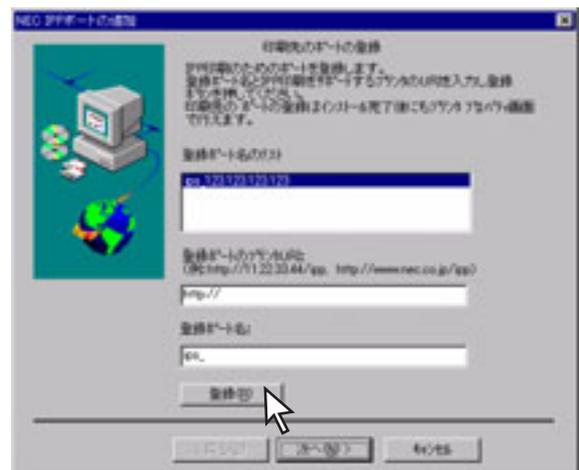
(入力例)

IPアドレスが「123.123.123.123 (printer1.sample.nec.co.jp)」の場合
 http://123.123.123.123/ipp
 ipp://123.123.123.123/ipp
 printer1.sample.nec.co.jp/ipp



IPアドレスの代わりにドメイン名を使用することができます。ドメイン名として入力可能な文字の長さは、最大127文字 (127バイト) です。

- 7 [登録] をクリックする。



- 8 [次へ] をクリックする。
- 9 [開始] をクリックする。



- 10 [OK] をクリックする。

2 プリンタードライバーのインストール

プリンタードライバーをインストールします。次の手順に従ってください。

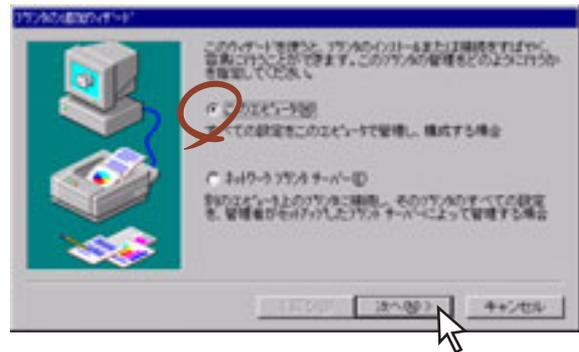
- 1 プリンターソフトウェアCD-ROMをセットする。
- 2 [終了] をクリックする。



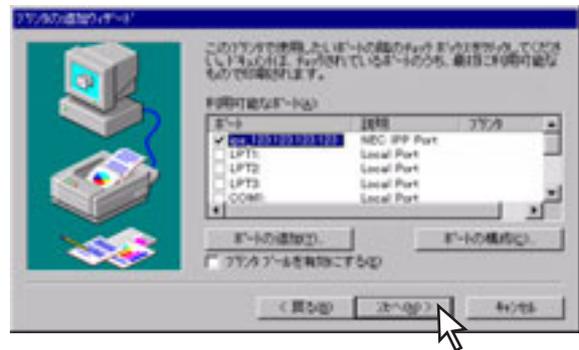
- 3 [プリンタ] フォルダーを開く。
- 4 [プリンタの追加] アイコンをダブルクリックする。



- 5 [このコンピュータ] を選択して、[次へ] をクリックする。



- 6 使用するポートを選び、[次へ] をクリックする。

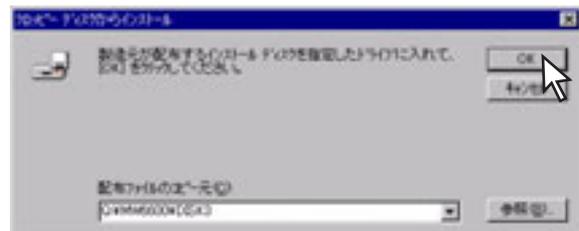


- 7 [ディスク使用] をクリックする。



- 8 [配布ファイルのコピー元] を入力して、[OK] をクリックする。

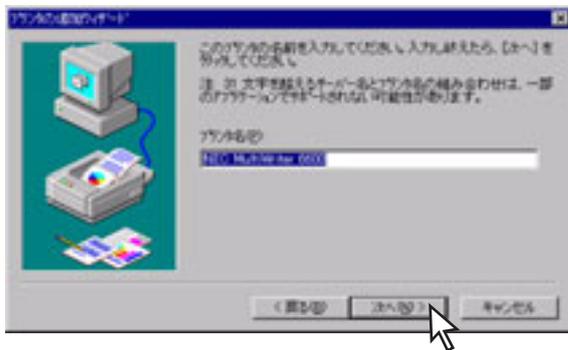
[配布ファイルのコピー元] に、CD-ROMを挿入したドライブ名、コロン (:), 円記号 (¥) に続けて「MW6600¥DISK3」と入力します。



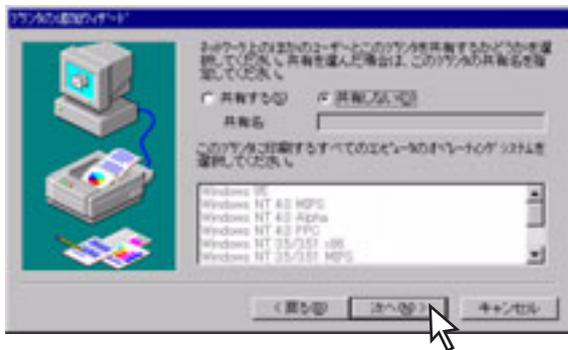
- 9 使用するプリンターを選択して、[次へ] をクリックする。



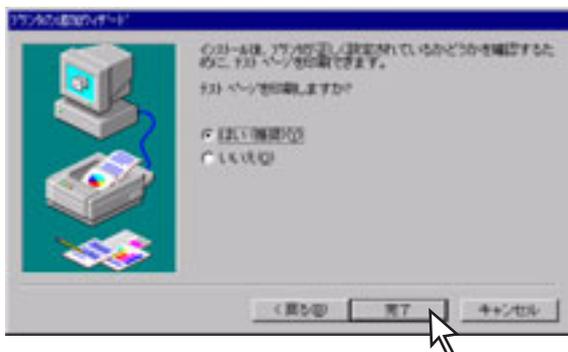
- 10 [次へ] をクリックする。



- 11 必要に応じて共有設定をして、[次へ] をクリックする。



- 12 [完了] をクリックして、終了する。



以上で設定は完了です。

3 印刷先の変更

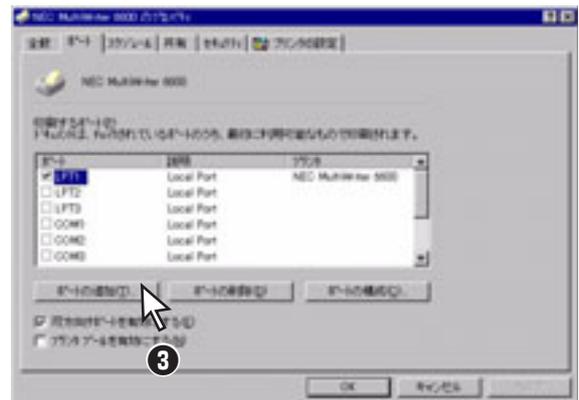
NEC Internet Printing Systemをインストールした後に印刷ポートを追加する場合の手順について説明します。

- 1 [プリンタのプロパティ] ダイアログボックスを表示させる。

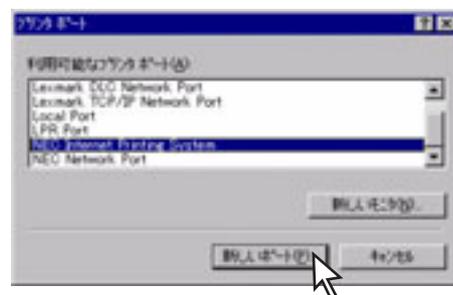
[プリンタ] フォルダーの [NEC MultiWriter 6600] アイコンをクリックし、[ファイル] メニューの [プロパティ] をクリックします。

- 2 [ポート] タブをクリックする。

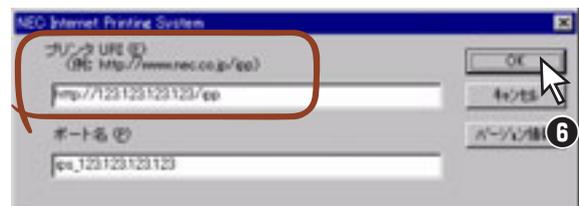
- 3 [ポートの追加] をクリックする。



- 4 [利用可能なプリンタポート] で [NEC Internet Printing System] を選択し、[新しいポート] をクリックする。



- 5 [プリンタ URI] ボックスにプリンターのIPアドレスを含むURIを入力する。



(入力例)

IPアドレスが「123.123.123.123
(printer1.sample.nec.co.jp)」の場合
http://123.123.123.123/ipp
ipp://123.123.123.123/ipp
printer1.sample.nec.co.jp/ipp



チェック

IPアドレスの代わりにドメイン名を使用することができます。ドメイン名として入力可能な文字の長さは、最大127文字（127バイト）です。

6 [OK] をクリックする。

[プリンタのプロパティ] ダイアログボックスを閉じます。

以上で設定は完了です。

Microsoft TCP/IP印刷（LPR）を使用して印刷するには

Microsoft TCP/IP印刷（LPR）を使用した印刷を行うための方法を説明します。



重要

- Microsoft TCP/IP印刷（LPR）を使用した印刷を行うためには、プリンターに印刷データを送るWindows NT 4.0にLPR（OS添付のMicrosoft TCP/IP印刷サービス）をインストールする必要があります。
- LPRで印刷する場合、[プリンタのプロパティ] ダイアログボックスの [ポート] シートで [双方向サポートを有効にする] のチェックを外して、無効にしてください。

使用するコンピューターにMicrosoft TCP/IP印刷をインストールします。インストールされている場合は「プリンタードライバのインストール」へ進んでください。

Microsoft TCP/IP印刷サービスのインストール

Microsoft TCP/IP印刷を使用するには、TCP/IPプロトコルがインストールされていて、設定が完了している必要があります。TCP/IPプロトコルのインストールについては、Windows NT 4.0のヘルプ「ネットワークプロトコルをインストールするには」を参照してください。Microsoft TCP/IP印刷サービスのインストール方法について説明します。

- 1 コントロールパネルの [ネットワーク] ダイアログボックスを開く。
- 2 [サービス] を選択し、[追加] をクリックする。

3 [ネットワークサービス] の一覧から [Microsoft TCP/IP印刷] を選択し、[OK] をクリックする。



4 画面に表示される指示に従ってインストールを完了する。

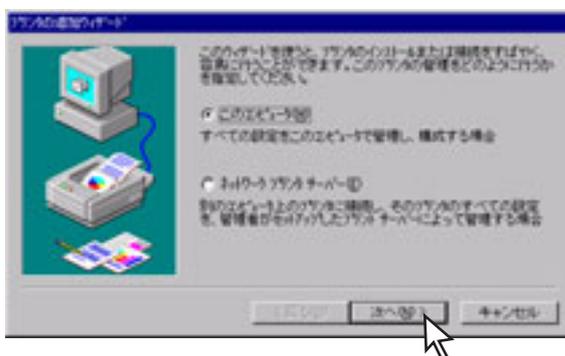
次に「プリンタードライバのインストール」へ進んでください。

プリンタードライバーのインストール

- ① [プリンタ] フォルダを開く。
- ② [プリンタの追加] アイコンをダブルクリックする。



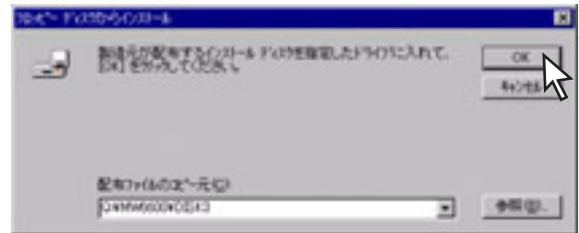
- ③ [このコンピュータ] を選択し、[次へ] をクリックする。



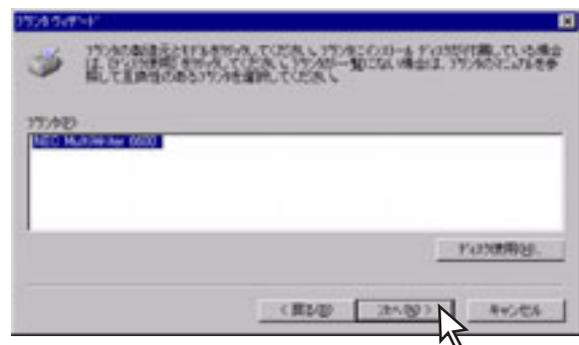
- ④ [ポートの追加] をクリックする。
- ⑤ [LPR Port] を選択し、[新しいポート] をクリックする。
[LPR Port] が表示されない場合は、[Microsoft TCP/IP 印刷] サービスをインストールしてください。
- ⑥ [lpdを提供しているサーバの名前またはアドレス] ボックスに、追加するプリンターのIPアドレスまたはドメイン名を入力する。
- ⑦ [ディスク使用] をクリックする。



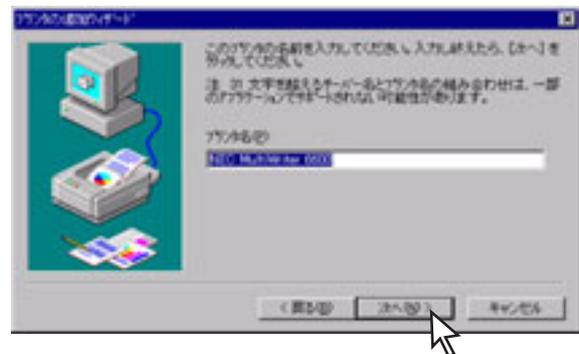
- ⑧ [配布ファイルのコピー元] を入力して、[OK] をクリックする。
[配布ファイルのコピー元] に、CD-ROMを挿入したドライブ名、コロン(:)、円記号(¥)に続けて「MW6600¥DISK3」と入力します。



- ⑨ 使用するプリンターを選択して、[次へ] をクリックする。



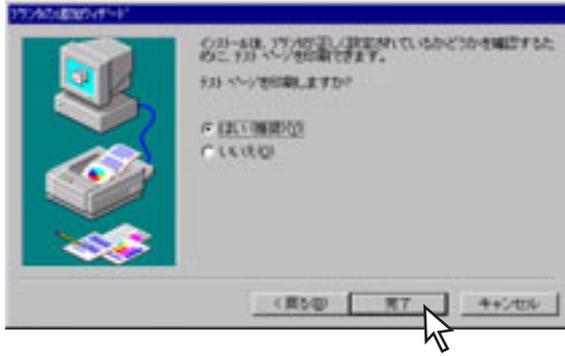
- ⑩ [次へ] をクリックする。



- ⑪ 必要に応じて共有設定をして、[次へ] をクリックする。



⑫ [完了] をクリックして、終了する。

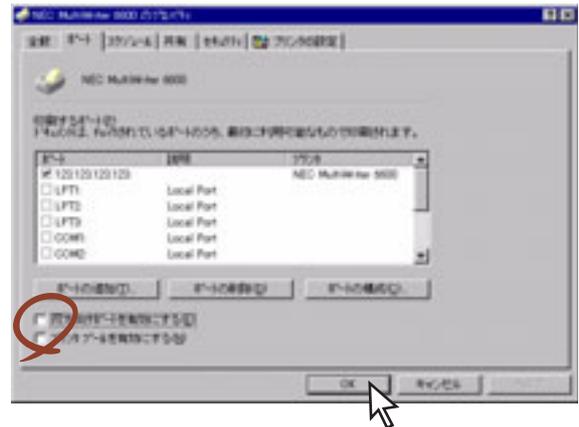


次に、双方向通信を無効にします。以下の手順で設定してください。

① [プリンタ] フォルダ内に作成されたプリンターの [プリンタのプロパティ] ダイアログボックスを表示させる。

② [ポート] タブをクリックする。

③ [双方向サポートを有効にする] のチェックを外して、[OK] をクリックする。



以上で設定は完了です。

Windows Me 日本語版

Windows Meからプリントサーバーを使用せず、ネットワークプリンターへ直接印刷するための設定方法について説明します。Windows Meから印刷するためには、以下の2つの方法があります。

- NEC TCP/IP Printing System (PrintAgent) ... 添付のプリンターソフトウェア CD-ROM からプリンターソフトウェアをインストールして印刷します。
- IPP (Internet Printing Protocol).....Windows MeのCD-ROMに収録されているIPPクライアントソフトウェアを使用して印刷します。

これらのソフトウェアで印刷する前に、あらかじめプリンターにIPアドレスを設定する必要があります。「ユーティリティによるネットワークの設定」(68ページ)、および各LANアダプターに添付の取扱説明書を参照してIPアドレスを設定してください。

プリンターにIPアドレスを設定した後、各ソフトウェアをインストールしてください。

NEC TCP/IP Printing Systemを使用して印刷するには

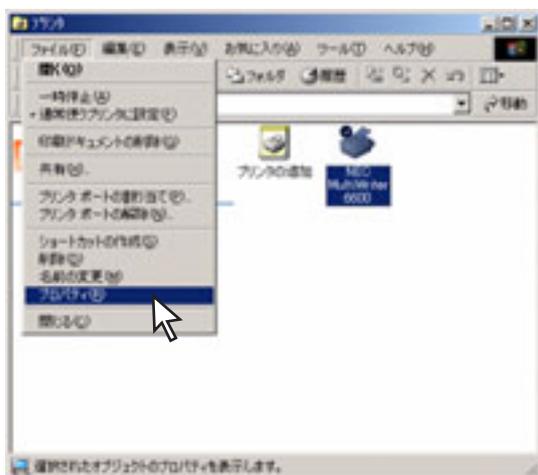
NEC TCP/IP Printing System (NEC TCP/IP Port) を使用して印刷するための印刷先の変更について説明します。NEC TCP/IP Printing Systemは、PrintAgentに含まれています。PrintAgentのインストールについては2章の『「インストールプログラム」からのインストール』(37ページ)を参照してください。

印刷先の変更

印刷先を変更します。次の手順に従ってください。

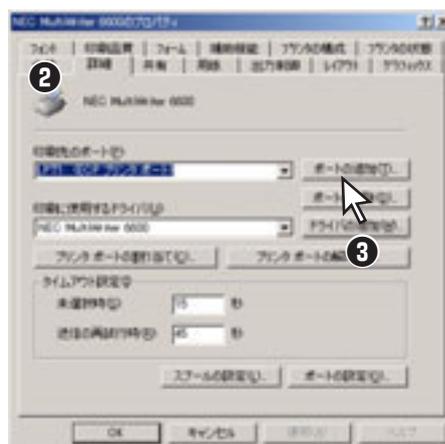
- 1 [MultiWriter 6600のプロパティ] ダイアログボックスを表示させる。

[プリンタ] フォルダーの [NEC MultiWriter 6600] アイコンをクリックし、[ファイル] メニューの [プロパティ] をクリックします。

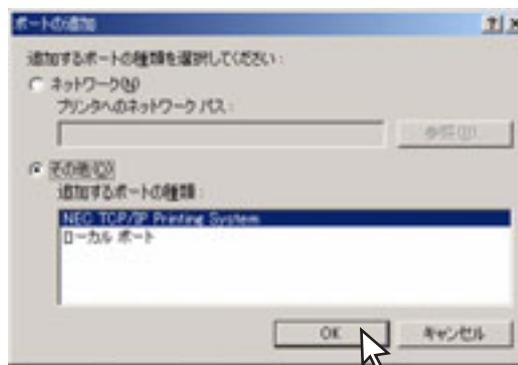


- 2 [詳細] タブをクリックする。

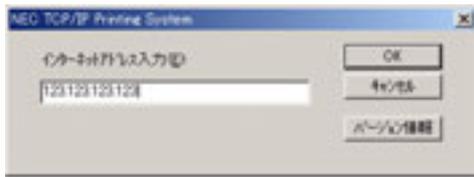
- 3 [ポートの追加] をクリックする。



- 4 [その他]、[追加するポートの種類] で [NEC TCP/IP Printing System] を選び、[OK] をクリックする。



- ⑤ [インターネットアドレス入力] ボックスにプリンターのIPアドレスまたはドメイン名を入力する。



- ⑥ [OK] をクリックする。
[MultiWriter 6600のプロパティ] ダイアログボックスを閉じます。

以上で設定は完了です。

ドメイン名について

NEC TCP/IP Printing SystemではIPアドレスの代わりにドメイン名を使用することができます。

ドメイン名を使用する場合はネットワーク上にDNSサーバーが存在し、プリンターのドメイン名が登録されていなければなりません。また、NEC TCP/IP Printing Systemをインストールしたクライアントコンピューターの[TCP/IPのプロパティ] 設定画面でホスト名、ドメイン名、DNSサーバーのIPアドレスを設定する必要があります。

ドメイン名は階層構造により「. (ドット)」で区切られた名前を指します。たとえば、「sample.nec.co.jp」と呼ばれるドメインの「printer1」と呼ばれるプリンターを指定する場合のドメイン名は「printer1.sample.nec.co.jp」と入力します。

ただし、クライアントコンピューターが「printer1.sample.nec.co.jp」の同じドメインに存在する場合は、「printer1」のみで構いません。

重要

ドメイン名として入力可能な文字の最大は、127文字(127バイト)です。

DNSサーバーとクライアントコンピューターの詳しい設定に関してはホストコンピューターのマニュアルを参照してください。

IPP (Internet Printing Protocol) を使用して印刷するには

Windows Me環境でIPPを使用して印刷する手順を説明します。

① IPPクライアントソフトウェアのインストール

IPPクライアントソフトウェアのインストール方法について説明します。次の手順に従ってください。

- ① 「Windows Me」 CD-ROMをセットする。
- ② [スタート] - [ファイル名を指定して実行] をクリックする。
- ③ 「Q:¥add-ons¥ipp¥wpppins.exe」と入力し、[OK] をクリックする。
[Q] は、CD-ROMを挿入したドライブ名です。

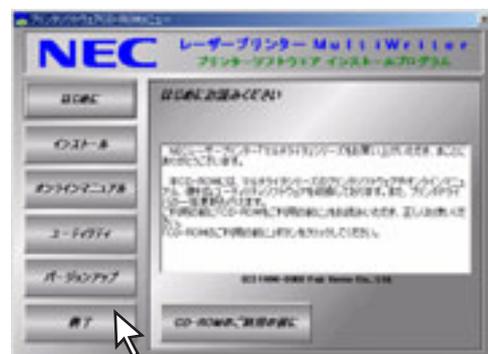
重要

[¥add-ons¥ipp] フォルダにある [ipp.txt] を必ずお読みください。

② プリンタードライバーのインストール

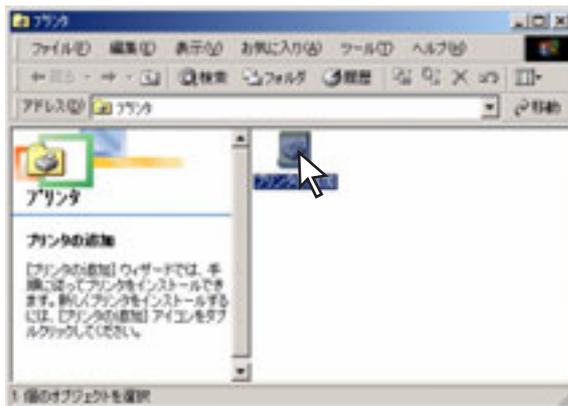
プリンターをインストールします。次の手順に従ってください。

- ① プリンターソフトウェアCD-ROMをセットする。
- ② [終了] をクリックする。

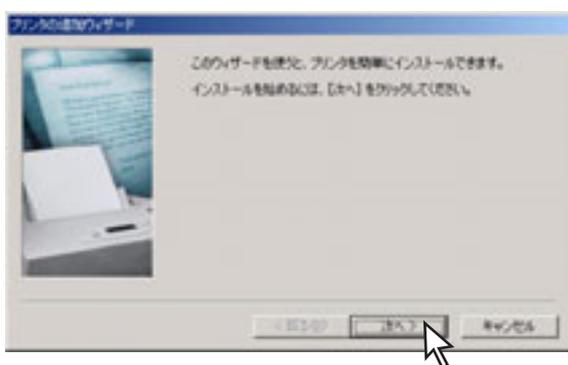


- ③ [プリンタ] フォルダを開く。

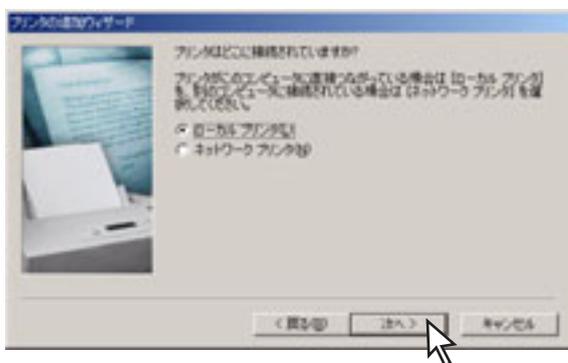
- 4 [プリンタの追加] アイコンをダブルクリックする。



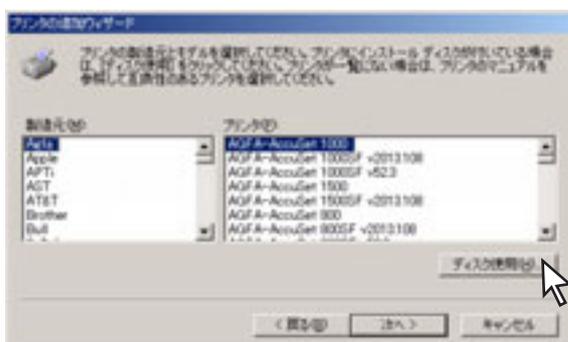
- 5 [次へ] をクリックする。



- 6 [ローカルプリンタ] を選び、[次へ] をクリックする。

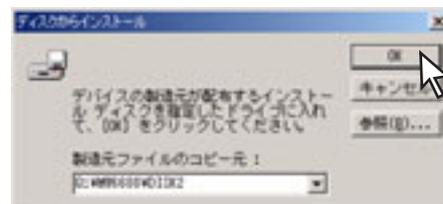


- 7 [ディスク使用] をクリックする。

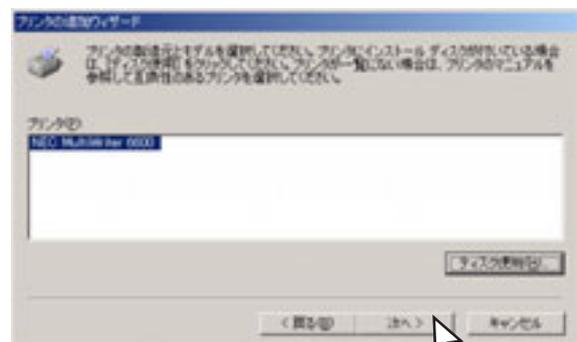


- 8 [製造元ファイルのコピー元] を入力して、[OK] をクリックする。

[製造元ファイルのコピー元] に、CD-ROMを挿入したドライブ名、コロン (:)、円記号 (¥) に続けて「MW6600¥DISK2」と入力します。

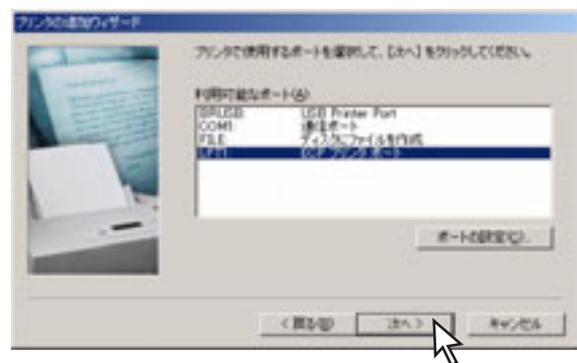


- 9 使用するプリンターを選択して、[次へ] をクリックする。



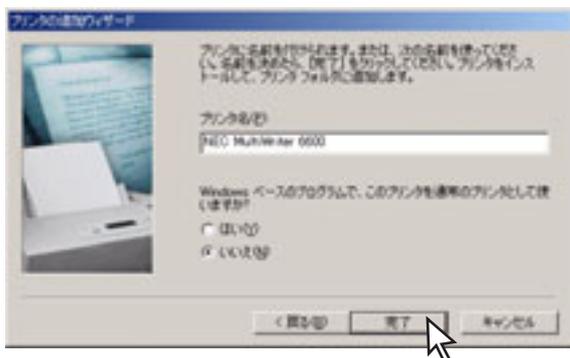
- 10 [LPT1:] を選び、[次へ] をクリックする。

次の「3 印刷先の変更」でIPPポートを作成するので、ここでは「LPT1:」を選びます。

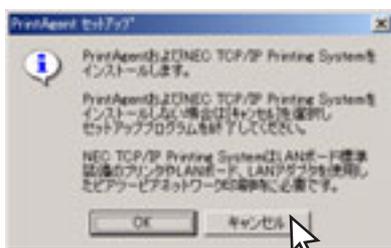


- ⑪ プリンターの名前を確認して、[完了] をクリックする。

プリンタードライバーのインストールが開始されます。



- ⑫ [キャンセル] をクリックする。



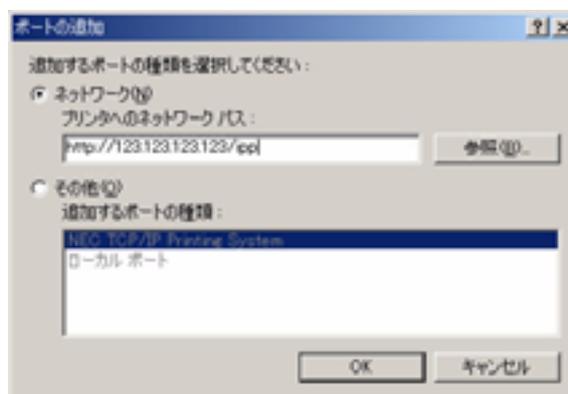
③ 印刷先の変更

印刷先を変更します。次の手順に従ってください。

- ① [MultiWriter 6600のプロパティ] ダイアログボックスを表示させる。
[プリンタ] フォルダの [NEC MultiWriter 6600] アイコンをクリックし、[ファイル] メニューの [プロパティ] をクリックします。
- ② [詳細] タブをクリックする。
- ③ [ポートの追加] をクリックする。
- ④ [プリンタへのネットワークパス] ボックスにプリンターのアドレスを入力する。

重要

入力可能な形式は「http://」に限られます。



(入力例)

IPアドレスが「123.123.123.123」の場合
http://123.123.123.123/ipp

- ⑤ [OK] をクリックする。
この後、テストページを印刷する場合は、[MultiWriter 6600のプロパティ] ダイアログボックスの [全般] シートで [印字テスト] をクリックしてください。テストページが印刷されます。

以上で設定は完了です。

Windows 98、Windows 95 日本語版

Windows 98、Windows 95からプリントサーバーを使用せず、ネットワークプリンターへ直接印刷するための設定について説明します。Windows 98、Windows 95から印刷するためには以下の2つの方法があります。

- NEC TCP/IP Printing System (PrintAgent) ... 添付のプリンターソフトウェア CD-ROM からプリンターソフトウェアをインストールして印刷します。
- NEC Internet Printing System (IPP).....プリンターに添付のCD-ROMに収録されているNEC Internet Printing Systemを使用して印刷します。

これらのソフトウェアで印刷する前に、あらかじめプリンターにIPアドレスを設定する必要があります。「ユーティリティーによるネットワークの設定」(68ページ)、または各LANアダプターに添付の取扱説明書を参照してIPアドレスを設定してください。

プリンターにIPアドレスを設定した後、各ソフトウェアをインストールしてください。

NEC TCP/IP Printing Systemを使用して印刷するには

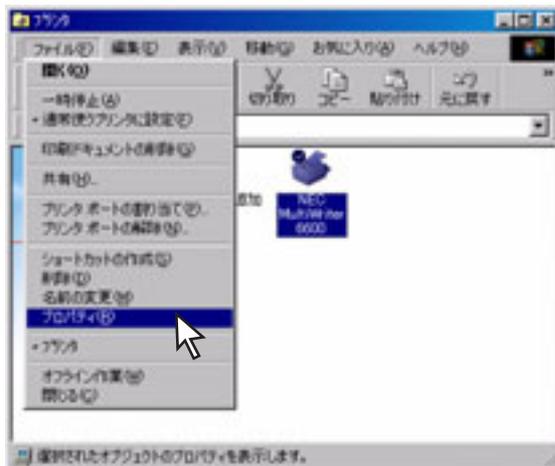
NEC TCP/IP Printing System (NEC TCP/IP Port) を使用して印刷するための印刷先の変更について説明します。NEC TCP/IP Printing Systemは、PrintAgentに含まれています。PrintAgentのインストールについては2章の『「インストールプログラム」からのインストール』(37ページ)を参照してください。以下の手順はWindows 98 日本語版で説明しています。Windows 95 日本語版の場合も同じ手順です。

印刷先の変更

印刷先を変更します。次の手順に従ってください。

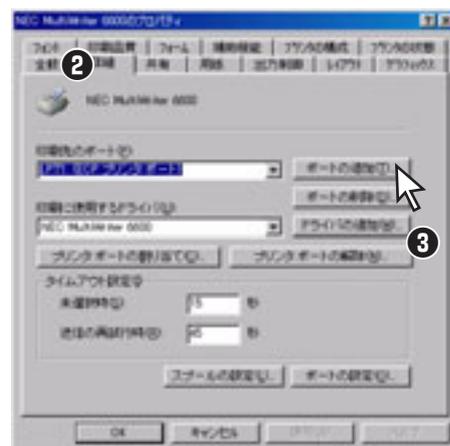
- 1 [MultiWriter 6600のプロパティ] ダイアログボックスを表示させる。

[プリンタ] フォルダーの [NEC MultiWriter 6600] アイコンをクリックし、[ファイル] メニューの [プロパティ] をクリックします。

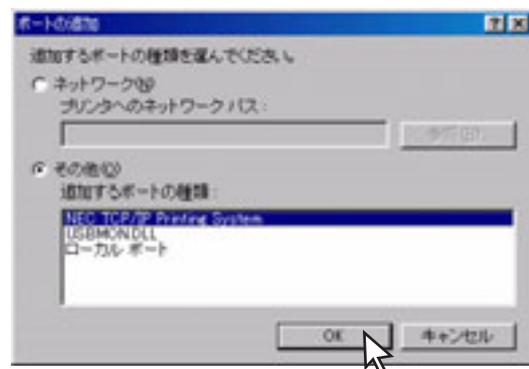


- 2 [詳細] タブをクリックする。

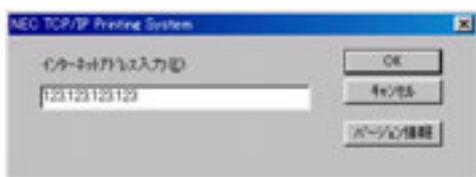
- 3 [ポートの追加] をクリックする。



- 4 [その他]、[追加するポートの種類] で [NEC TCP/IP Printing System] を選び、[OK] をクリックする。



- 5 [インターネットアドレス入力] ボックスにプリンターのIPアドレスまたはドメイン名を入力する。



- 6 [OK] をクリックする。
[MultiWriter 6600のプロパティ] ダイアログボックスを閉じます。

以上で設定は完了です。

ドメイン名について

NEC TCP/IP Printing SystemではIPアドレスの代わりにドメイン名を使用することができます。

ドメイン名を使用する場合はネットワーク上にDNSサーバーが存在し、プリンターのドメイン名が登録されていなければなりません。また、NEC TCP/IP Printing Systemをインストールしたクライアントコンピューターの[TCP/IPのプロパティ]設定画面でホスト名、ドメイン名、DNSサーバーのIPアドレスを設定する必要があります。

ドメイン名は階層構造により「. (ドット)」で区切られた名前を指します。たとえば、「sample.nec.co.jp」と呼ばれるドメインの「printer1」と呼ばれるプリンターを指定する場合のドメイン名は「printer1.sample.nec.co.jp」と入力します。

ただし、クライアントコンピューターが「printer1.sample.nec.co.jp」の同じドメインに存在する場合は、「printer1」のみで構いません。

✓ チェック

ドメイン名として入力可能な文字の最大は、127文字 (127バイト) です。

DNSサーバーとクライアントコンピューターの詳しい設定に関してはホストコンピューターのマニュアルを参照してください。

NEC Internet Printing System (IPP) を使用して印刷するには

Windows 98、Windows 95の環境でIPPを使用して印刷する手順を説明します。IPPの機能は、プリンターソフトウェアCD-ROMに収録されているNEC Internet Printing Systemを使用します。

重要

- NEC Internet Printing Systemは、プロキシサーバーには対応していません。IPP対応プリンターへのアクセスにプロキシサーバーの設定が必要な場合は印刷できません。
- NEC Internet Printing Systemは [プリンタ] フォルダーを開くと、プリンターの状態を確認します。

1 NEC Internet Printing Systemのインストール

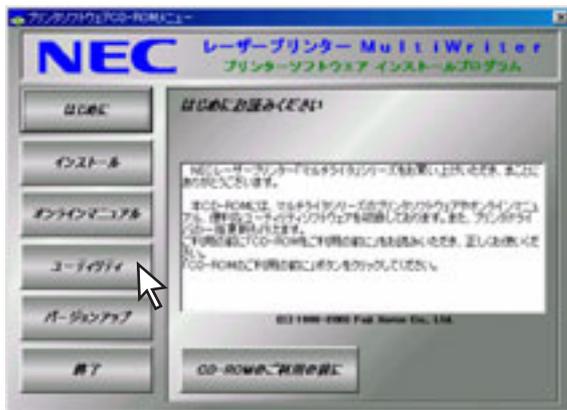
NEC Internet Printing Systemのインストール方法について説明します。次の手順に従ってください。

1 プリンターソフトウェアCD-ROMをセットする。

[プリンタソフトウェアCD-ROMメニュー] ダイアログボックスが表示されます。

お使いのコンピュータによっては、自動的にメニュープログラムが立ち上がらない場合があります。その場合は、CD-ROMのルートディレクトリにある「MWSETUP.exe」を実行してください。

2 [ユーティリティ] をクリックする。



3 「NEC Internet Printing System for Windows 98/95」を選択し、[フォルダを開く] をクリックする。

重要

[¥NECIPS¥WIN98] フォルダにある [Readme.txt] を必ずお読みください。



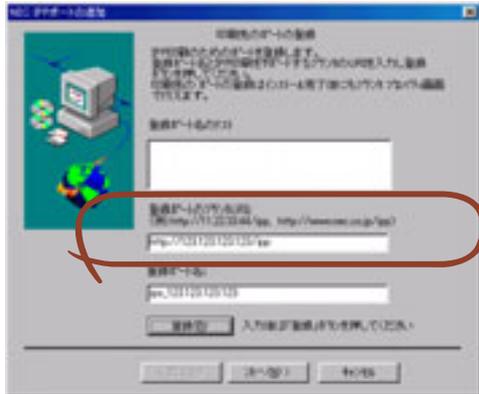
4 [Setup.exe] アイコンをダブルクリックする。



5 [次へ] をクリックする。



- 6** [登録] ボックスに登録するプリンターのIPアドレスを含むアドレスを入力する。
ここで [登録] を行わなくても、インストール終了後に「印刷先の変更」で印刷先のポートを追加できます。



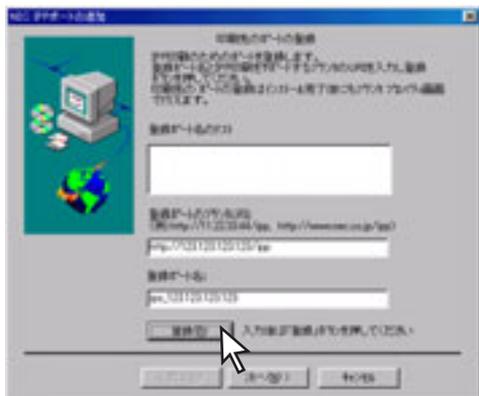
(入力例)

IPアドレスが「123.123.123.123
(printer1.sample.nec.co.jp)」の場合
http://123.123.123.123/ipp
ipp://123.123.123.123/ipp
printer1.sample.nec.co.jp/ipp

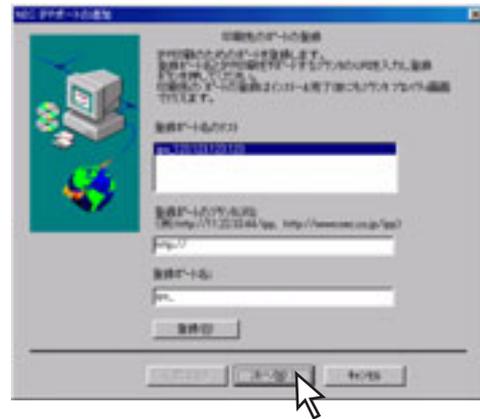
✓チェック

IPアドレスの代わりにドメイン名を使用することができます。ドメイン名として入力可能な文字の長さは、最大127文字（127バイト）です。

- 7** [登録] をクリックする。
[登録ポート名のリスト] ボックスにポートが登録されます。



- 8** [次へ] をクリックする。



- 9** [開始] をクリックする。

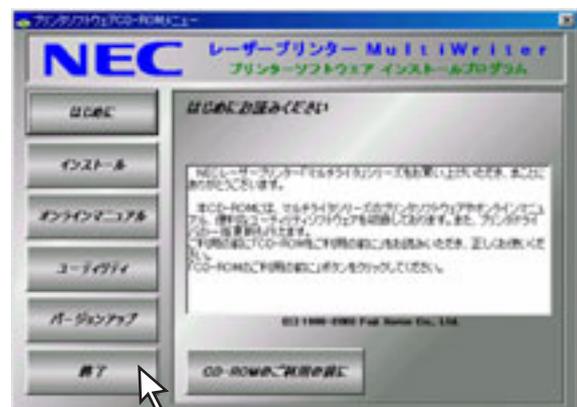


- 10** [OK] をクリックする。

2 プリンタードライバーのインストール

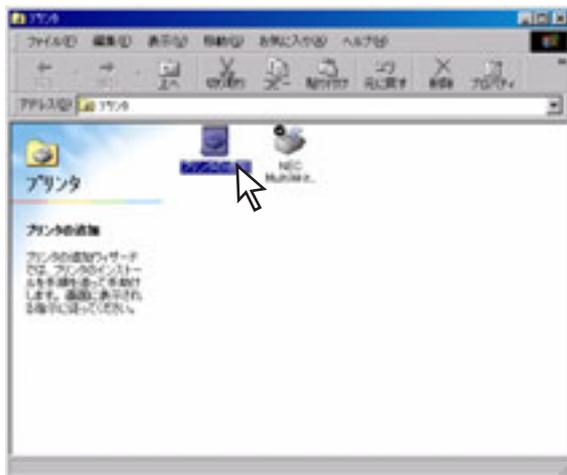
プリンタードライバーをインストールします。次の手順に従ってください。

- 1** プリンターソフトウェアCD-ROMをセットする。
2 [終了] をクリックする。

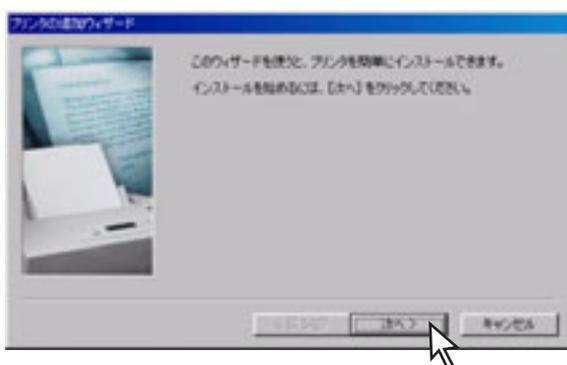


- 3** [プリンタ] フォルダを開く。

4 [プリンタの追加] アイコンをダブルクリックする。



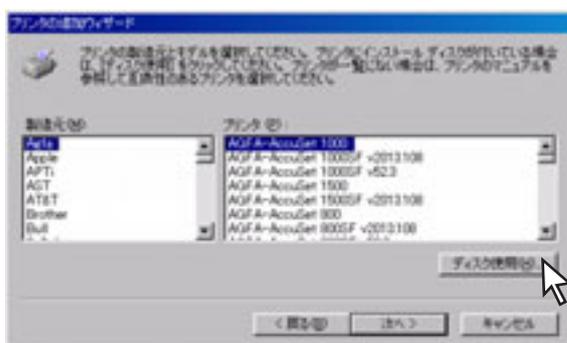
5 [次へ] をクリックする。



6 [ローカルプリンタ] を選び、[次へ] をクリックする。

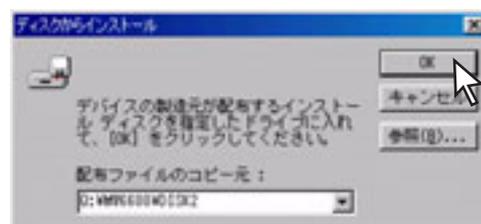


7 [ディスク使用] をクリックする。

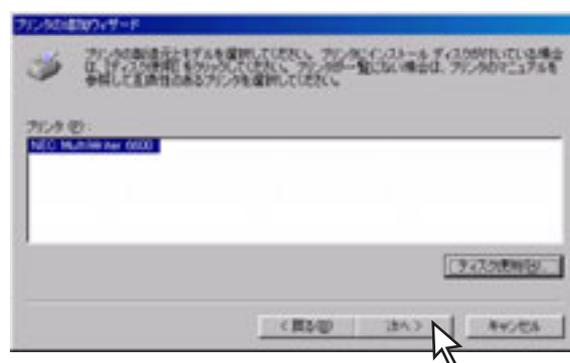


8 [配布ファイルのコピー元] を入力して、[OK] をクリックする。

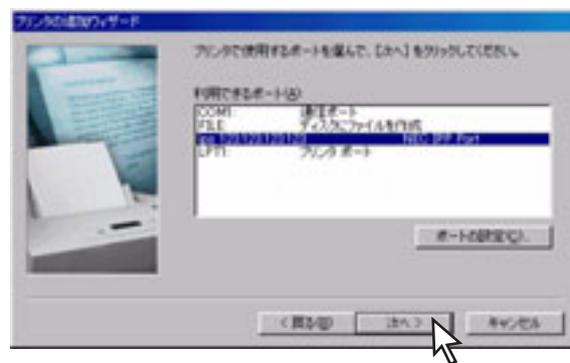
[配布ファイルのコピー元] に、CD-ROMを挿入したドライブ名、コロン (:)、円記号 (¥) に続けて「MW6600¥DISK2」と入力します。



9 使用するプリンターを選択して、[次へ] をクリックする。

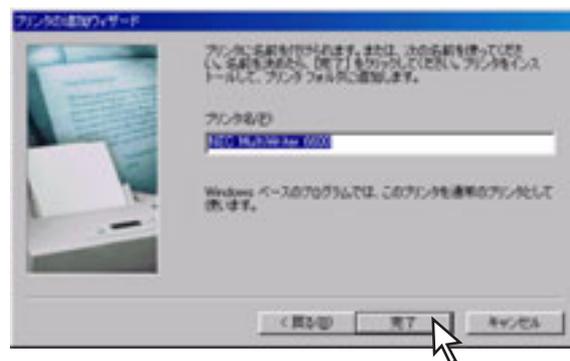


10 使用するポートを選び、[次へ] をクリックする。

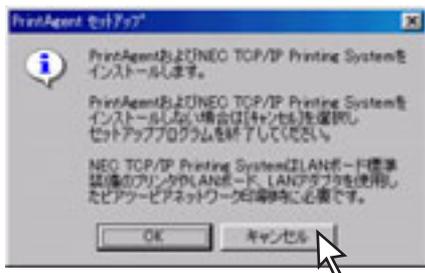


11 プリンターの名前を確認して、[完了] をクリックする。

プリンタードライバーのインストールが開始されます。



12 [キャンセル] をクリックする。



この後、テストページを印刷する場合は、[MultiWriter 6600のプロパティ] ダイアログボックスの[全般] シートで[印字テスト] をクリックしてください。テストページが印刷されます。

以上で設定は完了です。

3 印刷先の変更

NEC Internet Printing Systemをインストールした後に印刷ポートを追加する場合の手順について説明します。

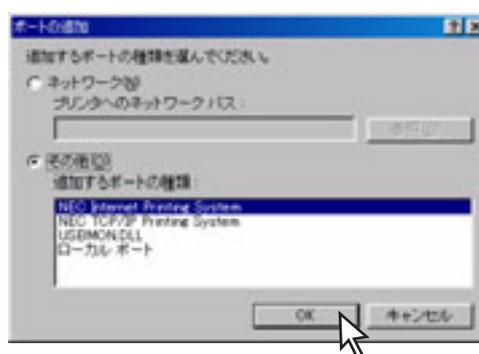
1 [MultiWriter 6600のプロパティ] ダイアログボックスを表示させる。

[プリンタ] フォルダーの [NEC MultiWriter 6600] アイコンをクリックし、[ファイル] メニューの [プロパティ] をクリックします。

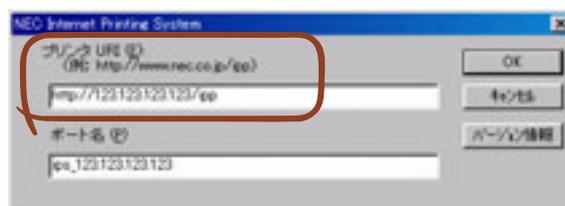
2 [詳細] タブをクリックする。

3 [ポートの追加] をクリックする。

4 [その他]、[追加するポートの種類] で [NEC Internet Printing System] を選択し、[OK] をクリックする。



5 [プリンタURI] ボックスにプリンターのURIを入力する。



(入力例)

IPアドレスが「123.123.123.123
(printer1.sample.nec.co.jp)」の場合
http://123.123.123.123/ipp
ipp://123.123.123.123/ipp
printer1.sample.nec.co.jp/ipp

✓ チェック

IPアドレスの代わりにドメイン名を使用することができます。ドメイン名として入力可能な文字の長さは、最大127文字 (127バイト) です。

6 [OK] をクリックする。

[MultiWriter 6600のプロパティ] ダイアログボックスを閉じます。

以上で設定は完了です。

ターミナルサービス環境

Windows Server 2003、Windows 2000またはWindows NT 4.0で動作しているターミナルサービス環境でMultiWriterを利用する場合は、ターミナルサービス用プリンタードライバをインストールします。

対応するOSは、以下のとおりです。

- Microsoft Windows Server 2003 ターミナルサービス（日本語版）
- Microsoft Windows 2000 Server ターミナルサービス（日本語版）
- Microsoft Windows NT Server 4.0 Terminal Server Edition（日本語版）

チェック

- PrintAgentは、ターミナルサービス環境には対応していません。
- ターミナルサービス用プリンタードライバは、PrintAgentに対応していません。

ターミナルサービス用プリンタードライバのインストール

プリンターソフトウェアCD-ROMのインストールプログラムを使ってターミナルサービス用のプリンタードライバをインストールします。

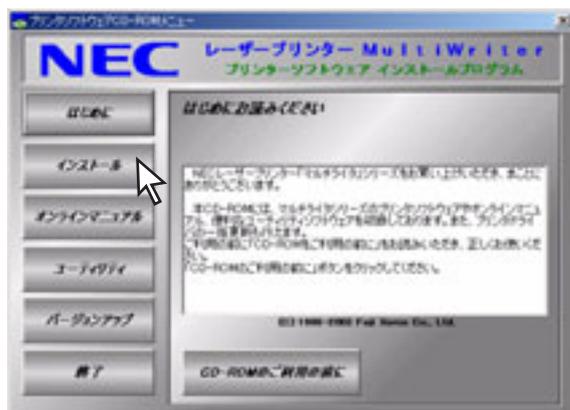
プリンターソフトウェアCD-ROMはドライブに挿入するだけで自動的にメニュープログラムが起動します。

ここではWindows 2000 Server ターミナルサービス 日本語版を例にとり、プリンターソフトウェアのインストール手順を説明します。

- 1 プリンターソフトウェアCD-ROMをセットする。
[プリンターソフトウェアCD-ROMメニュー] が起動します。

お使いのコンピューターによっては、自動的にメニュープログラムが立ち上がらない場合があります。その場合はCD-ROMのルートディレクトリーにある「MWSETUP.exe」を実行してください。

- 2 [インストール] をクリックする。

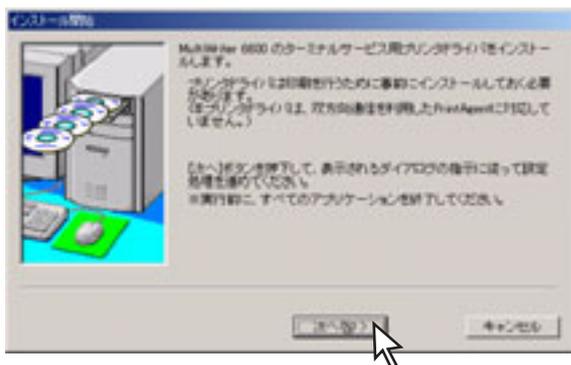


- 3 右側のボックスから [MultiWriter 6600 (ターミナルサービス用プリンタードライバ)] を選んで [インストール開始] をクリックする。

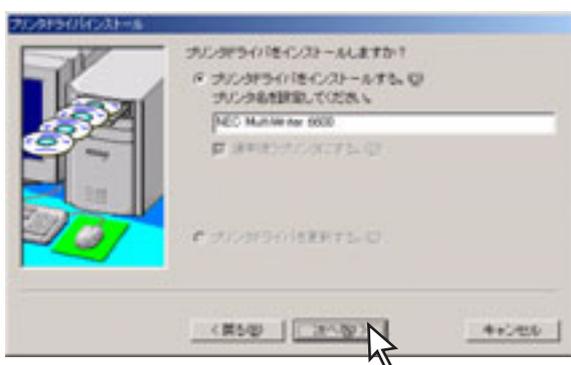
Windows NT 4.0は [MultiWriter 6600 (Terminal Server Edition用プリンタードライバ)] を選択します。



4 [次へ] をクリックする。

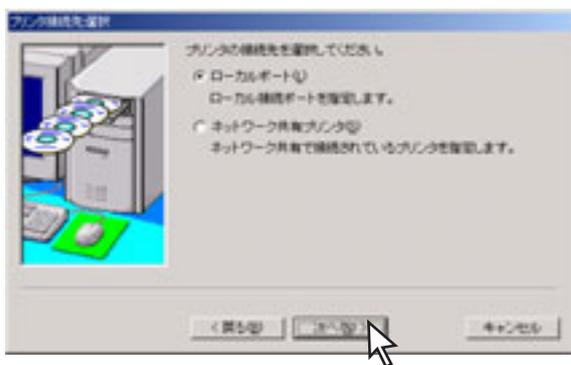


5 [プリンタドライバをインストールする] を選び、[次へ] をクリックする。



6 プリンターの接続先を選び、[次へ] をクリックする。

ネットワーク接続されていない場合はこのダイアログボックスは表示されません。次の「[ローカルポート] を選んだ場合」へ進んでください。



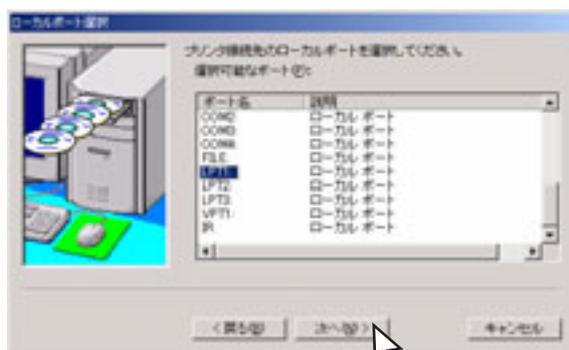
- [ローカルポート] は、コンピューターがプリンターとプリンターケーブルで接続されているときに選びます。
- [ネットワーク共有プリンタ] は、MultiWriterがプリントサーバー上に共有されているときに選びます。

✓ チェック

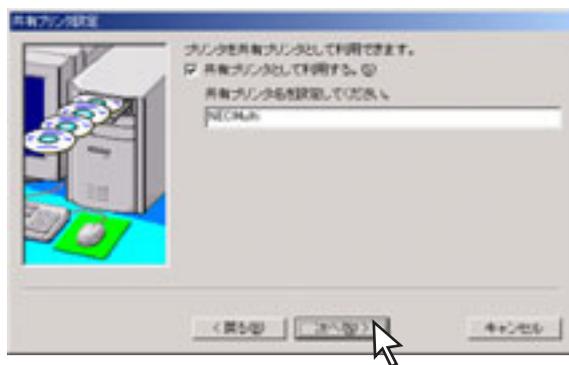
ネットワークポート接続する場合は、一度ローカルポートに接続してインストールを行い、「接続先の設定とプリンタードライバのインストール」(119ページ)を参照して変更してください。

< [ローカルポート] を選んだ場合 >

① 希望するポートを選び [次へ] をクリックする。

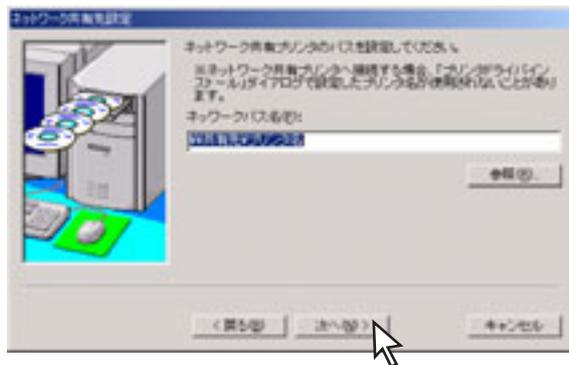


② 共有プリンターとして設定する場合は [共有プリンタとして利用する] をチェックして [次へ] をクリックする。

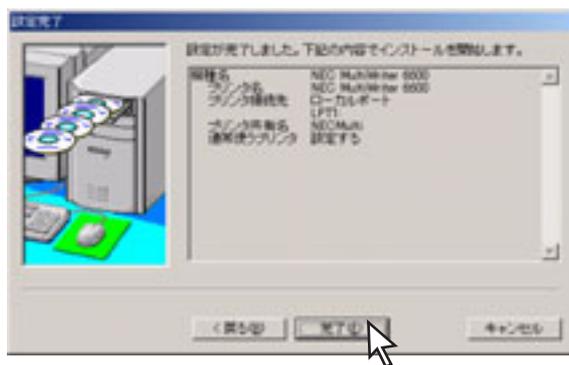


< [ネットワーク共有プリンタ] を選んだ場合 >

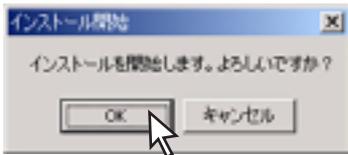
プリンターの接続先を指定し、[次へ] をクリックする。
プリンターの接続先を [ネットワークバス名] に直接入力するか、[参照] をクリックして表示される一覧から指定します。



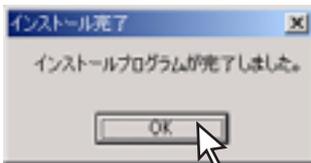
7 設定した内容を確認し、[完了] をクリックする。



8 [OK] をクリックする。



9 インストールが終了したら [OK] をクリックする。

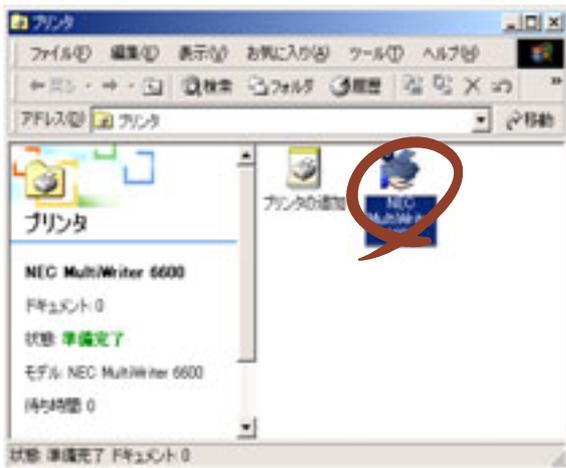


チェック

再起動を促すダイアログボックスが表示された場合、画面のメッセージに従ってコンピューターを再起動してください。

10 プリンタードライバが正常にインストールされていることを確認する。

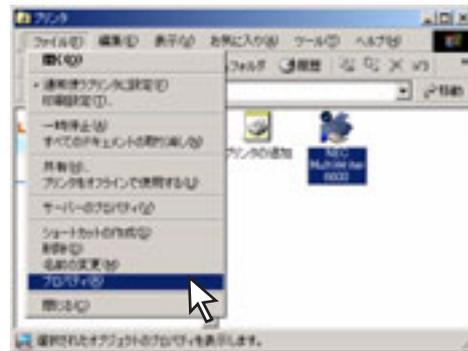
[プリンタ] フォルダー内に、[NEC MultiWriter 6600] アイコンが登録されている。



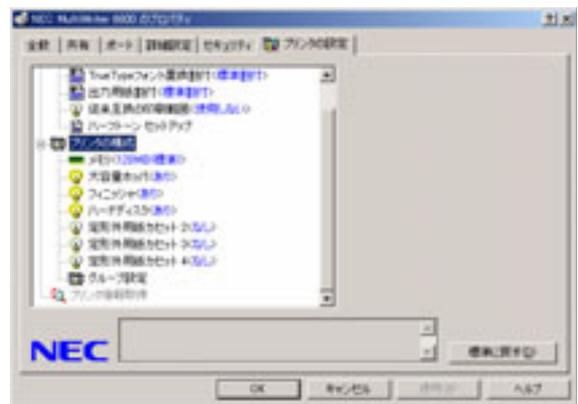
11 オプション機器の設定を行う。

<Windows 2000の場合>

[プリンタ] フォルダー内の [NEC MultiWriter 6600] アイコンをクリックし、ファイルメニューから [NEC MultiWriter 6600] プロパティを開く。

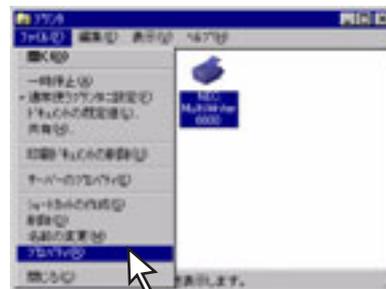


[プリンタの設定] シートで、プリンターの構成を設定する。

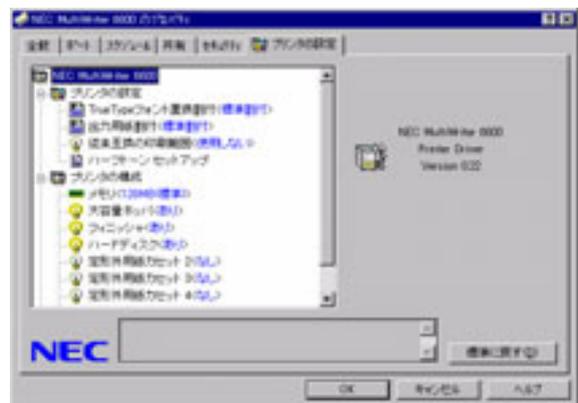


<Windows NT 4.0の場合>

プリンタフォルダー内の [NEC MultiWriter 6600] アイコンをクリックし、ファイルメニューから [NEC MultiWriter 6600] プロパティを開く。



[プリンタの設定] シートで、プリンターの構成を設定する。



UNIX環境の設定

UNIX環境で設定および印刷する方法について説明します。

IPアドレスの設定

UNIXマシンからIPアドレスを設定する方法には、主に「arp」コマンドと「ping」コマンドを使って設定する方法とTelnetの2つがあります。

Telnetを使ったIPアドレスの設定方法については「ユーティリティーによるネットワークの設定」の「Telnet」の「IPアドレス」(111ページ)を参照してください。

ここでは、「ping」コマンドを使った設定方法について説明します。あらかじめ、ホストマシン側のARPアドレス変換テーブルにプリンターのARPエントリを作っておくことにより、IPアドレスを変更できます。

以下の手順に従ってください。

✓ チェック

- ここで示す方法でIPアドレスを設定すると、LANインターフェースを初期化しないと同一方法では設定できません（「ネットワーク設定の初期化」(183ページ)参照）。
- LANインターフェースの設定を初期化すると他のOSの設定もクリアされ、工場出荷時の設定に戻ります。クリアする前に、コンフィグレーションページを印刷して設定を控えておいてください（「コンフィグレーションページの印刷」(184ページ)参照）。
- プリンターにIPアドレスを設定する場合は、設定するために使うコンピューターとプリンターがIPルーターなどを介さない（同一ネットワーク内）で接続された環境で行ってください。

- 1 エディターを使用して、ホストコンピューターの「/etc/hosts」ファイルにプリンターのIPアドレスとホスト名を追加する。

```
ddd.ddd.ddd.ddd <ホスト名>
```

「ddd.ddd.ddd.ddd」はプリンターの変更したいIPアドレスです。<ホスト名>はプリンター名を入力してください。

🔔 重要

設定されるプリンターのIPアドレスは設定するために使うホストと同一のネットワークアドレスでなくてはなりません。プリンターのIPアドレスがホストと異なるネットワークアドレスの場合は、ホストのサブネットマスクを一時的に変更して、同一ネットワークにあるかのように設定し直す必要があります。

次にUNIXの/etc/hostsファイルの表示例を示します。

```
:           :           :  
192.9.200.20      pr6600 #MultiWriter 6600  
:           :           :  
:           :           :
```

「192.9.200.20」はプリンターのIPアドレスです。

「pr6600」はプリンターのホスト名です。

「#MultiWriter 6600」はコメント文です。

2 ホストコンピューターのアドレス変換テーブルにプリンターのエントリーを追加する。

```
arp -s <ホスト名> <Ethernetアドレス>
```

<ホスト名>は手順①で指定したプリンターのホスト名です。<Ethernetアドレス>には、コンフィグレーションページのMAC Addressの値を入力してください。

<実行例>

```
arp -s pr6600 00:00:4C:29:00:00
```

arpコマンドの詳細については、各システムのコマンドマニュアルを参照してください。

3 pingコマンドを実行する。

新しいIPアドレスに変更されます。

<実行例>

```
ping pr6600
```

4 コンフィグレーションページを印刷してIPアドレスが変更されたことを確認する。

手順については、「コンフィグレーションページの印刷」（184ページ）を参照してください。

以上で設定は完了です。

ホストコンピューター側のセットアップ

「lprコマンド」か「ftpコマンド」のどちらを使用する場合も、プリンターのIPアドレスとホスト名のhostsファイルに登録する必要があります。

hostsファイルにIPアドレスを登録すると、ftpコマンドを使用できるようになります。lprコマンドを使用する場合は、IPアドレスの登録の他に次に示す設定を行う必要があります。

lprコマンドを使用する場合

lprコマンドを使用する場合、通常ホストコンピューター側のprintcapファイルでリモートプリンターとなるプリンターを定義する必要があります。また、プリンターが持つフィルターを使う場合は、その定義も同時に行います。フィルターは以下のフィルター名の中からprintcapファイル内でコマンドオプションのrpで定義してください。

フィルター名	機能
lpb	フィルターなし： バイナリーファイルの転送に使用します。
lpa	LF→CR+LF： 改行コードLF（0A）をCR+LF（0D0A）に変換します。
lpbf	lpb+FF： ファイルの最後にFFコード（0C）を付加します。
lpaf	lpa+FF： LFをCR+LF（0B0A）に変換しファイルの最後にFFコード（0C）を付加します。
euc	EUC→JIS： EUCコードをプリンター JISコードに変換します。
EUC	EUC→JIS： EUCコードのプリンター JISコード変換に加えてLFコード（0A）変換と LF→CR+LF +FF FFコード（0C）付加を行います。
sjis	Shift-JIS→JIS： Shift-JISコードをプリンター JISコードに変換します。
SJIS	SJISShift-JIS→JIS： Shift-JISコードのプリンター JISコード変換に加えてLFコード（0A）変換と LF→CR+LF +FF FFコード（0C）付加を行います。

その他未登録のフィルター名はlpbとみなされます。

(BSD系UNIXのprintcapファイルの設定例)

```
pt0;no convert:¥
:lp=:rm=<ホスト名>:¥
:sd=/usr/spool/lpd0:
pt1;ascii file:¥
:lp=:rm=<ホスト名>:rp=lpa:¥
:sd=/usr/spool/lpd1:
pt2;binary with FF:¥
:lp=:rm=<ホスト名>:rp=lpdf:¥
:sd=/usr/spool/lpd2:
pt3;ascii with FF:¥
:lp=:rm=<ホスト名>:rp=lpdf:¥
:sd=/usr/spool/lpd3:
```

printcapの詳細についてはホストコンピューターの取扱説明書を参照してください。

印刷方法

ホストコンピューターからプリンターへのファイルの転送には、以下の2つの方法があります。

- ftpコマンドによる転送
- lprコマンドによる転送

ftpコマンドによる転送

ftp (file transfer protocol) コマンドとは、通常UNIX上でコンピューター間のデータ転送に使用されるプロトコルで、TCP/IPの上位層に位置します。

プリンターは、このftpコマンドプロトコルで、クライアント側から転送されたファイルを受け取ることができるサーバー機能をサポートしています。

印刷ファイルは、ftpコマンドを使いプリンターに転送することで印刷されます。サポートしているコマンドは次の3つです。

コマンド名	機能
binary	転送されたファイルはそのままプリンターへ送られます。
ascii	プリンターでLF (0A) をCR+LF (0D0A) に変換します。デフォルトはこのモードです。
put (send)	ファイルの転送に使用します。宛先ファイルとして「FEED」あるいは「feed」と入力すると、ファイルの最後にフォームフィードを付加します。

ファイルの転送は、次の例のようにクライアント側でftpコマンドプロトコルのコマンドを実行することにより行われます。

(ftpコマンドによるファイル転送例)

```
olive%ftp pr6600 ([Enter] キーを押してftpコマンドを起動します。)  
Connected to pr6600  
220 NEC Network Interface Version 02.02 FTP Service Ready  
Name(pr6600:) ([Enter] キーを押します。)  
230 NEC Printer Log-In Complete.  
ftp>binary ([Enter] キーを押してファイルの形式を指定します。)  
200 Type set to BINARY.  
ftp>put data.plt ([Enter] キーを押してdata.pltファイルを転送します。)  
200 PORT command successful  
250 Requested file Action okay,completed  
13083 bytes sent in 0 seconds(12.78 kbytes/s)  
ftp>quit (ftpコマンドを終了します。)  
221 Services closing control connection  
olive%
```

✓ チェック

転送方法は、ワークステーションまたはパーソナルコンピュータ用ソフトウェアによって多少異なります。詳しくは、それぞれのコマンド説明書を参照してください。

lprコマンドによる転送

BSD系UNIXで標準的なリモートプリント機能 (lprコマンド) を使ってプリンターにデータを出力することができます。

また、あらかじめprintcapファイルでプリンターにフィルターを登録しておく、そのプリンターを指定するだけでプリンターに登録されたフィルターを使用してデータの出力を行うことができます。

フィルターを指定しない場合は、ホストコンピューターから受信したデータを無変換のままプリンターに出力するので、あらかじめホスト側で出力するデータの形式をプリンターに合わせておく必要があります。

プリンター名は、ホストコンピューターの/etc/printcapファイルにプリンターを登録するときに指定します。printcapの設定については、「lprコマンドを使用する場合」(163ページ)を参照してください。また、printcapの詳細については、ホストコンピューターのコマンド説明書を参照してください。

ホストコンピューターからは、次のようなコマンドを入力し、「Enter」キーを押してファイルを転送します。

<表示例>

```
lpr -Ppt0 <ファイル名>
```

✓ チェック

ファイルの転送方法は、ソフトウェアまたはコンピューターによって多少異なります。詳しくは、それぞれのコマンド説明書を参照してください。

より便利なネットワーク機能

MultiWriter 6600には、ネットワーク上にあるプリンターの情報を取得することやネットワークからの利用者を制限することができる便利なネットワーク機能があります。

ここでは、それぞれの機能の設定方法や利用方法について説明しています。

- DHCP166ページ
- SNMP174ページ
- アクセス制限.....179ページ

DHCP

DHCPを使用してIPアドレスを設定する場合は、ネットワーク環境にDHCPサーバーが必要です。DHCPを使用すると、DHCPサーバー（Windows Server 2003、Windows 2000 Server、Windows NT Server、またはUNIX Server）からIPアドレス、サブネットマスク、およびゲートウェイアドレスを自動的に取得することができます。これによりDHCPサーバーにIPアドレスの登録を行うだけで個々のLANボードに対するIPアドレスの設定が不要となります。

重要

- 工場出荷時の設定では、[DHCPは使用しない] に設定されています。次に説明する方法で設定を変更してから使用してください。
- LANインターフェースおよび無線LANアダプターに割り当てるIPアドレスは固定です。毎回、IPアドレスが変わると印刷データの送信先が不明となり、プリンターに印刷データが送信されなくなります。これを避けるために必ずDHCPサーバーでIPアドレスの予約をしてください（「DHCPサーバーの設定」（169ページ）参照）。すでにIPアドレスが設定されている環境では、WWWブラウザまたはTelnetを使用してDHCPをオンにすることができます。

DHCPの設定

DHCP設定には、主に以下の3つの方法があります。それぞれについては次ページで説明します。

- EASY設定ユーティリティ
- PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ
- プリンターの操作パネル

EASY設定ユーティリティ

添付のプリンターソフトウェアCD-ROMに収録されているユーティリティ「EASY設定ユーティリティ」を使用して設定します。

プリンターのMACアドレスを選択し、[プロパティ] をクリックすると表示される [TCP/IP] シート上で [IPアドレスを自動的に取得] を選択してください。

<LANインターフェースの場合の表示例>



PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ

添付のプリンターソフトウェアCD-ROMに収録されているユーティリティ「PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ」を使用して設定します。

プリンターアイコンを選択して [プロパティ] ダイアログボックスを開き、[TCP/IP] シート上で、[DHCPサーバから取得する] を選択してください。詳しくは、「ユーティリティによるネットワークの設定」の「PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ」(71ページ) をご覧ください。

<LANインターフェースの場合の表示例>



プリンターの操作パネル

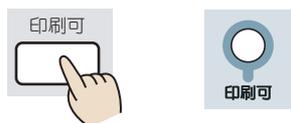
プリンターの操作パネルからDHCPの設定を切り替えることができます。MultiWriter 6600に標準実装されているLANインターフェースのDHCP設定を変更する方法について説明します。

1 プリンターの電源スイッチをONにする。

電源ON後、プリンターが印刷可能な状態（印刷可ランプ点灯）になったことを確認します。

2 [印刷可] スイッチを押す。

印刷可ランプが消灯します。



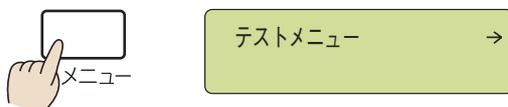
3 データランプが点灯していないことを確認する。

点灯している場合は [シフト] スイッチを押しながら [排出] スイッチを押して、プリンター内部に残っている印刷データを印刷してください。

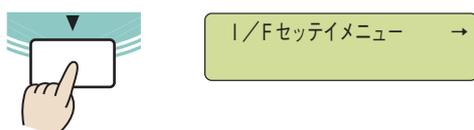
○ データ

4 [メニュー] スイッチを押す。

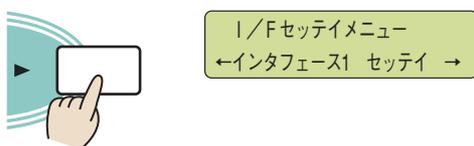
プリンターはメニューモードに入り、ディスプレイに“テストメニュー →”を表示します。



5 ディスプレイに“I/Fセッテイメニュー”と表示されるまで [▼] スイッチを数回押す。

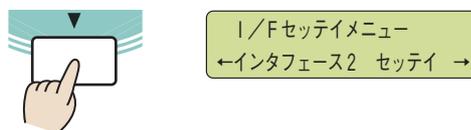


6 [▶] スイッチを1回押す。

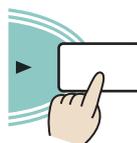


7 [▼] スイッチを押す。

ディスプレイ下段に“←インタフェース2 セッテイ →”と表示されます。



8 [▶] スイッチを1回押す。



ディスプレイ上段に“DHCP”と表示されます。



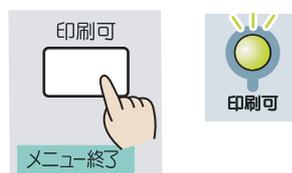
9 [設定変更] スイッチを押す。

“ON” に設定されます。



10 [メニュー終了] スイッチを押して、メニューモードを終了させる。

これで設定完了です。プリンターはセレクト状態になります。印刷可ランプが点灯し、ディスプレイは通常表示になります。



DHCPサーバーの設定

DHCP機能を使用するためには、DHCPサーバーとしてWindows Server 2003、Windows 2000 Server、Windows NT Server 4.0、またはUNIX Serverが必要です。Windows Server 2003、Windows 2000 ServerとWindows NT Server 4.0によるDHCPサーバーの設定について説明します。

✓チェック

- Windows 2000 Professional、Windows NT WorkstationはDHCPサーバー機能をサポートしていません。
- UNIXサーバーについては、OSのマニュアルを参照してください。

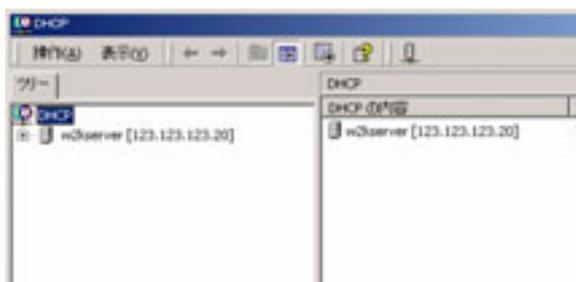
Windows Server 2003、Windows 2000の場合

ここでは、Windows 2000の場合を例にとって説明します。Windows Server 2003においても同じ手順で設定できます。

DHCPサーバーの設定を行うためには、Windows 2000 Serverに「DHCPサーバー」がインストールされている必要があります。「DHCPサーバー」のインストールについては、Windows 2000 Serverのヘルプを参照してください。

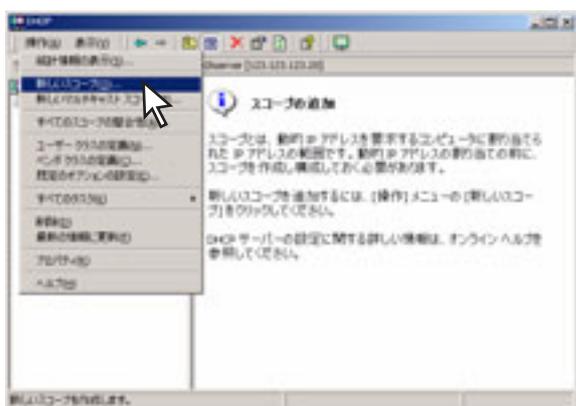
① DHCPを起動する。

[スタート] メニューから [プログラム] - [管理ツール] の順でポイントし、[DHCP] をクリックします。



② DHCPサーバー（ここでは「w2kserver」）を選択し、[操作] メニューから [新しいスコープ] をクリックする。

新しいスコープウィザードが起動します。

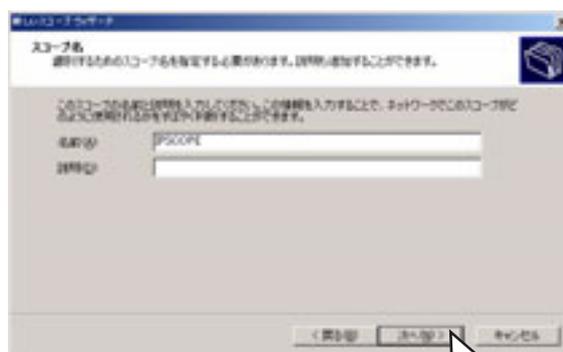


③ [次へ] をクリックする。

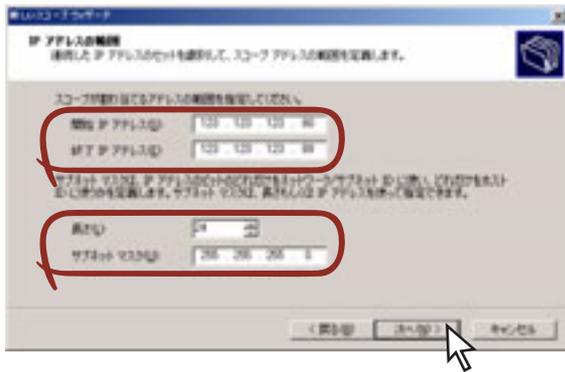


④ 任意のスコープ名を [名前] ボックスに入力し、[次へ] をクリックする。

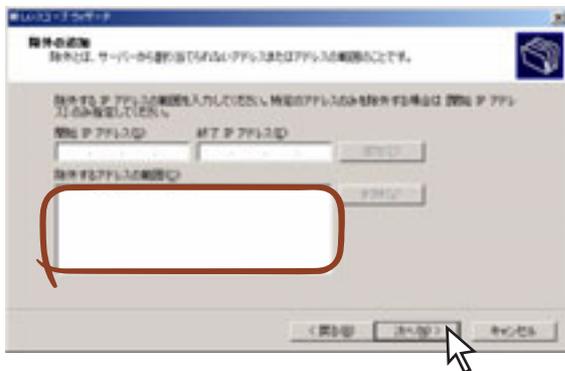
ここでは、例として「IPSCOPE」と入力します。



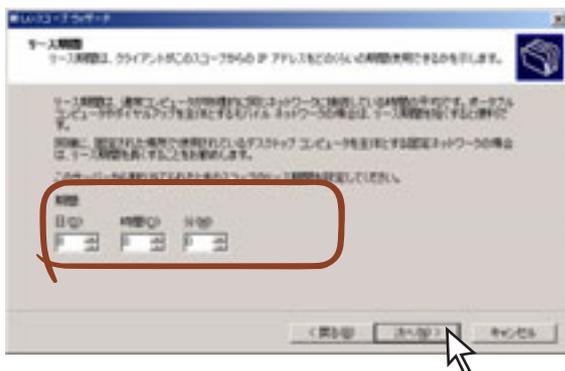
- 5 DHCP サーバーが割り当てる IP アドレスの範囲とサブネットマスクを入力し、[次へ] をクリックする。



- 6 手順5で入力したIPアドレスの範囲で、割り当てに使用したくないIPアドレスがあれば [除外するアドレスの範囲] ボックスに入力し、[次へ] をクリックする。

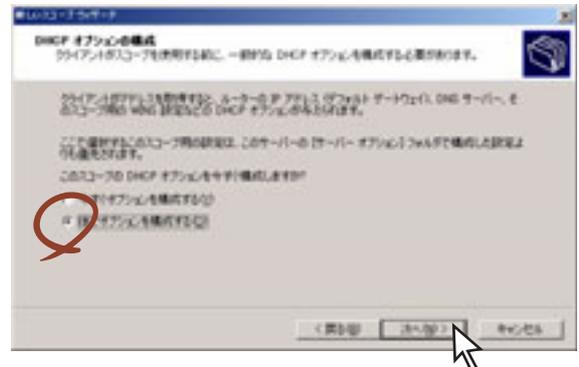


- 7 LAN インターフェースに割り当てられた IP アドレスが使用できる期間を設定し、[次へ] をクリックする。



- 8 [後でオプションを構成する] を選択し、[次へ] をクリックする。

ここで、オプションの設定を行う場合は、[今すぐオプションを構成する] を選択し、ウィザードの指示に従ってください。

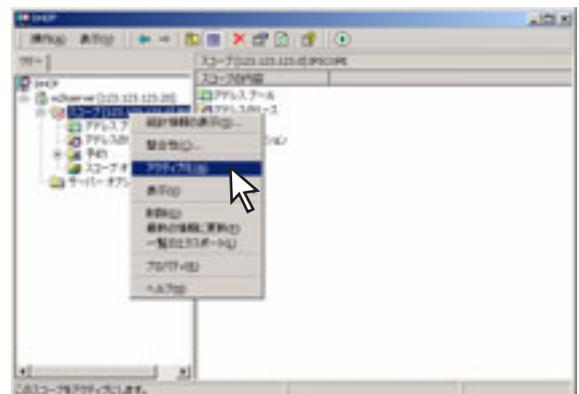


- 9 [完了] をクリックして、ウィザードを終了する。



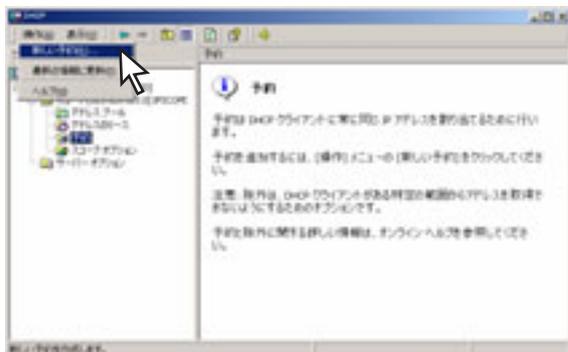
- 10 [スコープ] (ここでは「スコープ [123.123.123.0] IPSCOPE」) 上で右クリックし、[アクティブ化] をクリックする。

手順9までの手順で作成したスコープ「IPSCOPE」をアクティブにするために必要な手順です。



- ⑪ 手順⑨までの手順で作成した [スコープ] (ここでは「スコープ [123.123.123.0] IPSCOPE」) 上の [予約] を選択し、[操作] メニューから [新しい予約] をクリックする。

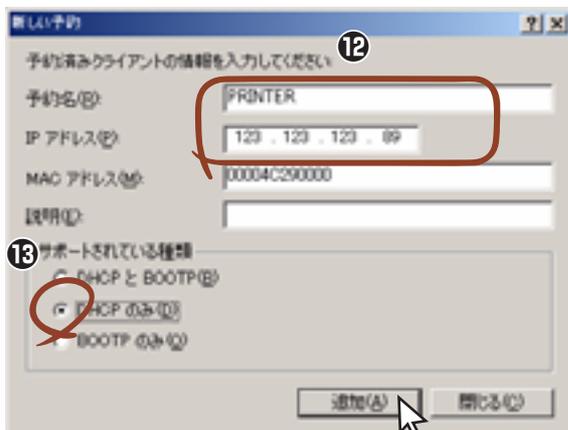
LAN インターフェースに常時、同じ IP アドレスが割り当てられるようにするために必要な手順です。



✓ チェック

DHCP による IP アドレス自動取得で、LAN インターフェースには毎回同じ IP アドレスが割り当てられなければなりません。この [予約の追加] では、LAN インターフェースの固有情報である MAC アドレスを IP アドレスと関連付けることで、毎回同じ IP アドレスを LAN インターフェースに割り当てることができるようになります。

- ⑫ LAN インターフェースに割り当てたい IP アドレスを入力し、[予約名] ボックスに任意の名前を入力する。ここでは、例として「PRINTER」と入力します。

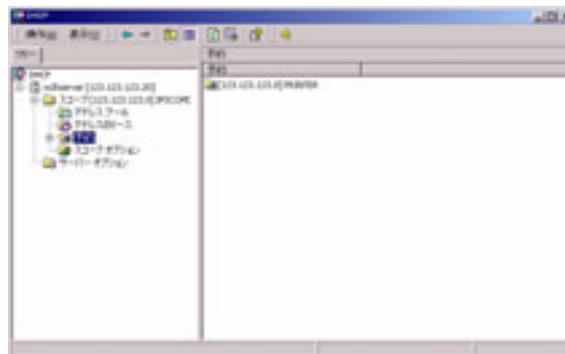


- ⑬ [サポートされている種類] で [DHCP のみ] を選択する。

- ⑭ [追加] をクリックする。

- ⑮ [閉じる] をクリックする。

以上で設定は完了です。設定後は、以下のような画面が表示されます。

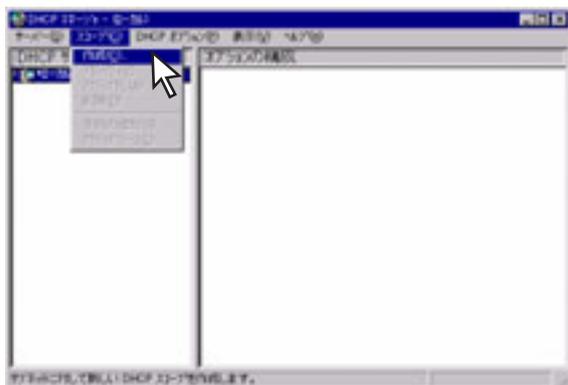


Windows NT Server 4.0の場合

DHCPサーバーの設定を行うためには、Windows NT Server 4.0に「DHCPサーバー」がインストールされている必要があります。DHCPサーバーのインストールについては、Windows NT Server 4.0のヘルプを参照してください。

1 [ネットワーク管理] グループの DHCP マネージャを起動する。

2 メニューバーの [スコープ] メニューから [作成] をクリックし、スコープを作成する。



3 [スコープの作成] ダイアログボックスで以下の設定を入力する。

- IPアドレスプールの開始アドレス (必須)
- IPアドレスプールの終了アドレス (必須)
- サブネットマスク (必須)
- 除外範囲の開始アドレス (必要時)
- 除外範囲の終了アドレス (必要時)
- ソース期間の設定 (必要時)



4 [OK] をクリックし、[スコープの作成] ダイアログボックスを閉じる。

5 [DHCP マネージャ] ダイアログボックスのメニューバーの [スコープ] メニューから [予約の追加] を選択する。

[予約クライアントの追加] ダイアログボックスが開きます。

✓チェック

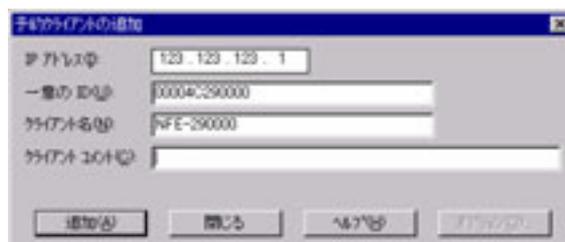
DHCPによるIPアドレス自動取得で、LANインターフェースには毎回同じIPアドレスが割り当てられなければなりません。この [予約の追加] では、LANインターフェースの固有情報であるMACアドレスをIPアドレスと関連付けることで、毎回同じIPアドレスをLANインターフェースに割り当てることができるようになります。

6 以下の情報を入力する。

- IPアドレス： LANインターフェースのIPアドレス (必須)
- 一意のID： LANインターフェースのMACアドレス (必須)
- クライアント名： 任意の名前 (必須)
- クライアントコメント： 任意のコメント (必要時)

✓チェック

IPアドレスはスコープ作成時に設定したIPアドレスプールの範囲内で設定してください。



7 [追加] をクリックし、[予約クライアントの追加] ダイアログボックスを閉じる。

以上で設定は完了です。

DHCPの動作について

LANインターフェースおよび無線LANアダプターのDHCP設定を有効にした場合の動作について説明します。DHCP機能を使用するためには、ネットワーク上にDHCPサーバーが必要です。LANインターフェースおよび無線LANアダプターに電源が供給されると、DHCPサーバーを自動的に検索します。ネットワーク上に複数のDHCPサーバーが存在する場合は、最初に応答を受け取ったDHCPサーバーと通信し、IPアドレスのリース（貸し出し）を受け取ります。LANインターフェースおよび無線LANアダプター用にIPアドレスの予約を行ったDHCPサーバーのみのネットワーク環境で使用してください。

✓ チェック

- IPアドレスの予約を行っていないDHCPサーバーからIPアドレスがリースされるとLANインターフェースおよび無線LANアダプターは誤って登録されたIPアドレスで動作します。一度受信したIPアドレスを解放するには以下のどちらかを行ってください。
 - DHCP設定を1度無効にする。
 - LANインターフェースおよび無線LANアダプターの設定を初期化する（「ネットワーク設定の初期化」（183ページ）参照）。
- DHCPはルーターを越えたネットワーク上のDHCPサーバーと通信することができます。ルーターを使用している場合は、ルーターのリレーエージェントの設定を確認してください。

DHCP機能を有効にし、起動時にDHCPサーバーが検索されなかった場合*、LANインターフェースは1分周期でDHCPサーバーの検索を継続します。

✓ チェック

- 一度DHCP機能を有効にしたLANインターフェースおよび無線LANアダプターの設定を無効にする場合は、以下のどちらかを行ってください。
- LANインターフェースおよび無線LANアダプターの設定を初期化する（「ネットワーク設定の初期化」（183ページ）参照）。
 - 操作パネルでDHCPを無効（166ページ参照）にして、IPアドレスを再設定する。

* DHCPサーバーからIPアドレスを設定された後、DHCPサーバーのないネットワーク環境に接続を切り替えた場合を含む。

SNMP

SNMP (Simple Network Management Protocol) を使用することで汎用のSNMPマネージャソフトウェアからプリンターの情報を取得することができます。

Get Request Set Requestによる管理

通信に必要なコミュニティ名を4つまで登録できます。コミュニティ名の変更方法は、以下の3つです。



工場出荷時のコミュニティ名には「public」もしくは「fxSystemMgr」が登録されています。必要に応じて設定変更を行ってください。

- PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ
設定の詳細については、本章の「PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ」の「[SNMP] シート」(86ページ)を参照してください。
- WWWブラウザ
設定の詳細については、「WWWブラウザ」の「SNMP設定画面」(106ページ)を参照してください。
- Telnet
設定の詳細については、「Telnet」の「SNMP」(113ページ)を参照してください。

サポートしているMIBは、MIB-II (RFC1213)、ホストリソースMIB (RFC1514)、およびプリンターMIB (RFC1759)です。

SNMP MIB-II (RFC1213) オブジェクト一覧

[system] グループ	[ip] グループ	[icmp] グループ
sysDescr	ipForwarding	icmplnMsgs
sysObjectID	ipDefaultTTL	icmplnErrors
sysUpTime	ipInReceives	icmplnDestUnreachs
sysContact	ipInHdrErrors	icmplnTimeExcds
sysName	ipForwDatagrams	icmplnParmProbs
sysLocation	ipInDiscards	icmplnSrcQuenchs
sysServices	ipInDelivers	icmplnRedirects
	ipOutRequests	icmplnEchos
	ipOutDiscards	icmplnEchoReps
	ipReasmTimeout	icmplnTimestamps
	ipReasmReqds	icmplnTimestampReps

(次ページへ続く)

[interface] グループ	ipReasmOKs	icmpInAddrMasks
ifNumber	ipFragOKs	icmpInAddrMaskReps
ifIndex	ipFragFails	icmpOutMsgs
ifDescr	ipFragCreates	icmpOutDestUnreachs
ifType	ipAdEntAddr	icmpOutTimeExcds
ifMtu	ipAdEntIfIndex	icmpOutParmProbs
ifSpeed	ipAdEntNetMask	icmpOutSrcQuenchs
ifPhysAddress	ipAdEntBcastAddr	icmpOutRedirects
ifAdminStatus	ipRouteDest	icmpOutEchos
ifOperStatus	ipRouteIfIndex	icmpOutEchoReps
ifLastChange	ipRouteMetric1	icmpOutTimestamps
ifInOctets	ipRouteMetric2	icmpOutTimestampReps
ifInUcastPkts	ipRouteMetric3	icmpOutAddrMasks
ifInNUcastPkts	ipRouteMetric4	icmpOutAddrMaskReps
ifInDiscards	ipRouteNextHop	
ifInErrors	ipRouteMask	
ifInUnknownProtos	ipRouteMetric5	
ifOutOctets		
ifOutUcastPkts		
ifOutNUcastPkts		
ifOutDiscards		
ifOutErrors		
ifOutQLen		
ifSpecific		

[tcp] グループ	[snmp] グループ
tcpRtoAlgorithm	snmpInPkts
tcpRtoMin	snmpOutPkts
tcpRtoMax	snmpInBadVersions
tcpMaxConn	snmpInBadCommunityNames
tcpCurrEstab	snmpInBadCommunityUses
tcpInSegs	snmpInASNParseErrs
tcpOutSegs	snmpInTotalReqVars
tcpRetransSegs	snmpInTotalSetVars
tcpConnState	snmpInGetRequests
tcpConnLocalAddress	snmpInGetNexts
tcpConnLocalPort	snmpInSetRequests
tcpConnRemAddress	snmpInGetResponses
tcpConnRemPort	snmpInTraps
udpOutDatagrams	snmpOutTooBig
tcpInErrs	snmpOutNoSuchNames
[udp] グループ	snmpOutBadValues
udpInDatagrams	snmpOutGenErrs
udpNoPorts	snmpOutGetRequests
udpInErrors	snmpOutGetNexts
udpOutDatagrams	snmpOutSetRequests
udpLocalAddress	snmpOutGetResponses
udpLocalPort	snmpOutTraps
	snmpEnableAuthenTraps

SNMPホストリソースMIB (RFC1514) オブジェクト一覧

[Device] グループ

hrDeviceIndex
 hrDeviceType
 hrDeviceDescr
 hrDeviceStatus
 hrPrinterStatus
 hrPrinterDetectedErrorState

プリンター MIB (RFC1759) オブジェクト一覧

[General Printer] グループ

prtGeneralConfigChanges
 prtGeneralCurrentLocalization
 prtGeneralReset
 prtInputDefaultIndex
 prtOutputDefaultIndex
 prtMarkerDefaultIndex
 prtMediaPathDefaultIndex
 prtConsoleLocalization
 prtConsoleNumberOfDisplayLines
 prtConsoleNumberOfDisplayChars
 prtConsoleDisable
 prtDeviceRefIndex
 prtCoverDescription
 prtCoverStatus
 prtLocalizationLanguage
 prtLocalizationCountry
 prtLocalizationCharacterSet

[Input]グループ

prtInputType
 prtInputDimUnit
 prtInputMediaDimFeedDirDeclared
 prtInputMediaDimXFeedDirDeclared
 prtInputMediaDimFeedDirChosen
 prtInputMediaDimXFeedDirChosen
 prtInputCapacityUnit
 prtInputMaxCapacity
 prtInputCurrentLevel
 prtInputStatus
 prtInputMediaName

[Extended Input]グループ

prtInputName
 prtInputVendorName
 prtInputModel
 prtInputVersion
 prtInputSerialNumber
 prtInputDescription
 prtInputSecurity

[Output] グループ

prtOutputType
 prtOutputCapacityUnit
 prtOutputMaxCapacity
 prtOutputRemainingCapacity
 prtOutputStatus

[Extended Output]グループ

prtOutputName
 prtOutputVendorName
 prtOutputModel
 prtOutputVersion
 prtOutputSerialNumber
 prtOutputDescription
 prtOutputSecurity

[Output Dimensions]グループ

prtOutputDimUnit
 prtOutputMaxDimFeedDir
 prtOutputMaxDimXFeedDir
 prtOutputMinDimFeedDir
 prtOutputMinDimXFeedDir

[Output Features]グループ

prtOutputStackingOrder
 prtOutputPageDeliveryOrientation
 prtOutputBursting
 prtOutputDecollating
 prtOutputPageCollated
 prtOutputOffsetStacking

[Marker]グループ

prtMarkerMarkTech
 prtMarkerCounterUnit
 prtMarkerLifeCount
 prtMarkerPowerOnCount
 prtMarkerProcessColorants
 prtMarkerSpotColorants
 prtMarkerAddressabilityUnit
 prtMarkerAddressabilityFeedDir
 prtMarkerAddressabilityXFeedDir
 prtMarkerNorthMargin

(次ページへ続く)

prtMarkerSouthMargin
prtMarkerWestMargin
prtMarkerEastMargin
prtMarkerStatus
[Marker Supplies]グループ
prtMarkerSuppliesMarkerIndex
prtMarkerSuppliesColorantIndex
prtMarkerSuppliesClass
prtMarkerSuppliesType
prtMarkerSuppliesDescription
prtMarkerSuppliesSupplyUnit
prtMarkerSuppliesMaxCapacity
prtMarkerSuppliesLevel
[Marker Colorant]グループ
prtMarkerColorantMarkerIndex
prtMarkerColorantRole
prtMarkerColorantValue
prtMarkerColorantTonality
[Media Path]グループ
prtMediaPathMaxSpeedPrintUnit
prtMediaPathMediaSizeUnit
prtMediaPathMaxSpeed
prtMediaPathMaxMediaFeedDir
prtMediaPathMaxMediaXFeedDir
prtMediaPathMinMediaFeedDir
prtMediaPathMinMediaXFeedDir
prtMediaPathType
prtMediaPathDescription
prtMediaPathDescription
prtMediaPathDescription.3
prtMediaPathStatus
prtMediaPathStatus
prtMediaPathStatus.3
[Channel]グループ
prtChannelType
prtChannelProtocolVersion
prtChannelCurrentJobCntLangIndex
prtChannelDefaultPageDescLangIndex
prtChannelState
prtChannelIfIndex
prtChannelStatus
[Interpreter]グループ
prtInterpreterLangFamily
prtInterpreterLangLevel
prtInterpreterLangVersion
prtInterpreterDescription
prtInterpreterVersion
prtInterpreterDefaultOrientation
prtInterpreterFeedAddressability
prtInterpreterXFeedAddressability
prtInterpreterDefaultCharSetIn
prtInterpreterDefaultCharSetOut
prtInterpreterTwoWay
[Console]グループ
prtConsoleDisplayBufferText
prtConsoleOnTime
prtConsoleOffTime
prtConsoleColor
prtConsoleDescription
[Alerts]グループ
prtAlertSeverityLevel
prtAlertTrainingLevel
prtAlertGroup
prtAlertGroupIndex
prtAlertLocation
prtAlertCode
prtAlertDescription

Trapによる管理

プリンターのエラーまたは状態変化が発生した場合に指定されたホストコンピューターにTrapを発信することができます。最大4台のホストコンピューターにTrapを送信することができます。

Trapの設定

Trapによる管理を行うためには以下の設定が必要です。

- Trap使用の要否設定
- 送信先ホストコンピューターのIPアドレス
- Trap通信のコミュニティ名
- ゲートウェイアドレスの設定



チェック

- ゲートウェイアドレスの設定について
 - 4つのホストコンピューターのIPアドレス設定の中で、LANインターフェースのネットワークアドレスと異なるものが含まれている場合は、ゲートウェイアドレスの設定が必要です。
 - 同じネットワークアドレスのホストコンピューターにTrap送信する場合は、ゲートウェイアドレスの設定は不要です。「0.0.0.0」（工場出荷設定）のままご使用ください。
- SNMP MIB IIの [SNMP] グループで「snmpEnableAuthenTraps」の設定が [Disabled (2)] になっている場合は、すべてのTrap設定が無効となります。Trapをご使用の場合は、[Enabled (1)] に設定してください。なお、工場出荷時は [Enabled (1)] に設定されています。
- 「SnmpEnableAuthenTraps」の設定に関わらず、LANインターフェースに登録されたIPアドレス等の情報は保持されます。

Trapの設定方法は、以下の3つです。

- PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ
設定の詳細については、「PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ」の「[SNMP] シート」（86ページ）を参照してください。
- WWWブラウザ
設定の詳細については、「WWWブラウザ」の「SNMP設定画面」（106ページ）を参照してください。
- Telnet
設定の詳細については、「Telnet」の「SNMP」（113ページ）を参照してください。

Trapの送信

プリンターのエラーまたは状態変化が発生すると登録されたすべてのホストコンピューターにTrapが送信されます。Trapはプリンターのエラーが取り除かれるまで10分おきに送信されます。Trap-PDUで通知される情報は次のとおりです。

- プリンター Cold Start発生情報
- プリンター Warm Start発生情報
- プリンターエラー発生情報

Variable-bindings

hrPrinter Detected Error State
prtAlert Index
prtAlert Severity Level
prtAlert Group
prtAlert Group Index
prtAlert Location
prtAlert Code

アクセス制限

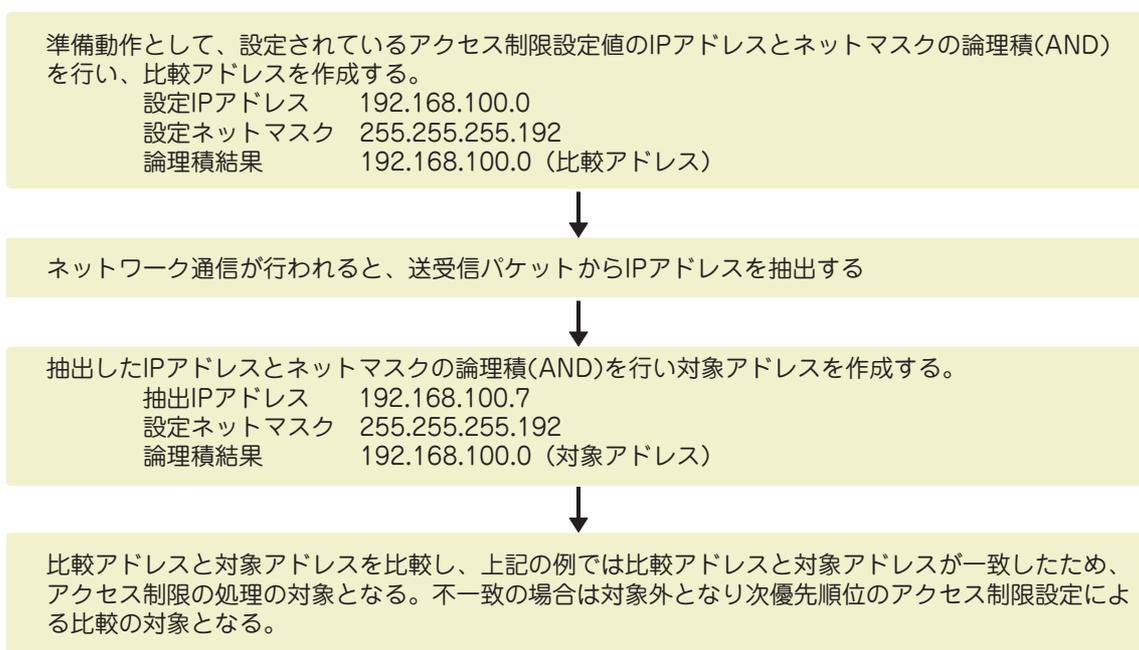
アクセス制限とは、例えばサーバ(課金サーバなど)を特定した印刷実行ニーズに対応するために、ある特定のコンピュータまたはネットワークからの印刷を許可または拒否する機能です。あらかじめ設定されたアクセス許可/拒否設定、IPアドレス、ネットマスクにより指定される送受信パケットはフィルタリングが実行され、印刷が行えるコンピュータを制限できます。

チェック

アクセス制限機能が有効な場合は、アクセスを拒否されているコンピュータからWWWブラウザやTelnetなど、すべての通信を行うことができません。通信を行う場合は、設定を無効にしてください。

概要

アクセス制限による送受信パケットのフィルタリングはプリンター内で以下のように実行されます。



アクセス制限の設定

アクセス制限設定には、以下の3つの方法があります。

- WWWブラウザ
汎用のWWWブラウザを使用して設定します。
WWWブラウザからLANボードのページを起動し、[LANボードの管理者設定画面]—[TCP/IP]から「TCP/IP設定画面」を開き、アクセス制限に関する各項目を設定してください。詳しくは、「ユーティリティーによるネットワークの設定」の「WWWブラウザ」(96ページ)をご覧ください。
- Telnet
Telnetでプリンターに接続(ログイン)して設定します。
メインメニューで「4」を入力し、「Enter」キーを押して「Access Limitation Setting」を表示して、アクセス制限に関する各項目を設定してください。詳しくは、「ユーティリティーによるネットワークの設定」の「Telnet」(110ページ)をご覧ください。

- プリンターの操作パネル
プリンターの操作パネルからアクセス制限のON/OFFを切り替えることができます。
アクセス制限を「ON」→「OFF」とすることでアクセス制限は無効となります。再度、「OFF」→「ON」とした時に、前回「ON」時に設定された条件でアクセス制限が有効となります。
プリンターの操作パネルからの設定は、一時的なアクセス制限の解除やユーザーの設定ミスによって生じたネットワーク不通状態からの復旧のために使用し、詳細な設定は「WWWブラウザ」、「Telnet」から行ってください。

アクセス制限の解除

1 プリンターの電源スイッチをONにする。

電源ON後、プリンターが印刷可能な状態(印刷可ランプ点灯)になったことを確認します。

2 [印刷可] スイッチを押す。

[印刷可] ランプが消灯します。



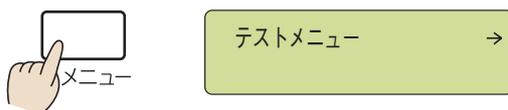
3 データランプが点灯していないことを確認する。

点灯している場合は [シフト] スイッチを押しながら [排出] スイッチを押して、プリンター内部に残っている印刷データを印刷してください。

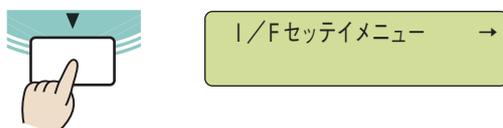
○ データ

4 [メニュー] スイッチを押す。

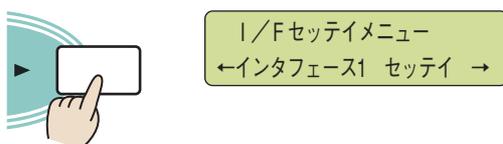
プリンターはメニューモードに入り、ディスプレイに“テストメニュー”を表示します。



5 ディスプレイに「I/Fセッテイメニュー」と表示されるまで [▼] スイッチを数回押す。

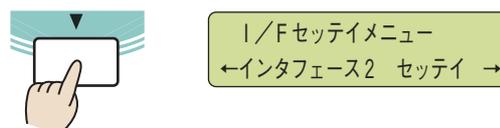


6 [▶] スイッチを1回押す。

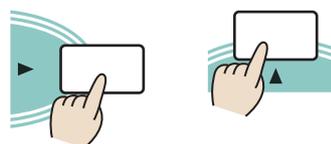


7 [▼] スイッチを1回押す。

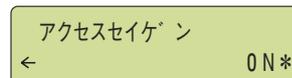
ディスプレイ下段に“←インタフェース2 セッテイ →”と表示されます。



8 [▶] スイッチを1回、[▲] スイッチを1回押す。

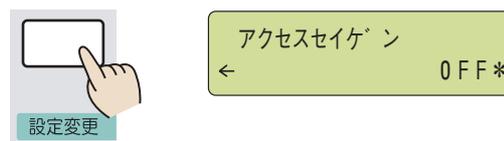


ディスプレイ上段に“アクセスセイケン”と表示されます。



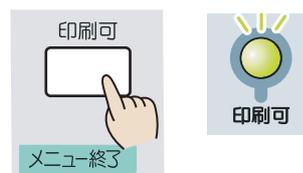
9 [設定変更] スイッチを押す。

“OFF” に設定されます。



10 [メニュー終了] スイッチを押して、メニューモードを終了させる。

これでアクセス制限の解除終了です。プリンターはセレクト状態になります。印刷可ランプが点灯し、ディスプレイは通常表示になります。



アクセス制限使用例

使用例① 特定クライアントをアクセス制限の対象とする場合

192.168.1.10 からの印刷のみ許可したい

設定名称	有効 / 無効	許可 / 拒否	IP アドレス	ネットマスク	コメント
アクセス制限1	有効	アクセス許可	192.168.1.10	255.255.255.255	192.168.1.10 許可
アクセス制限2	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない
アクセス制限3	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない
アクセス制限4	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない
アクセス制限5	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない

192.168.1.50 からの印刷のみ拒否したい

設定名称	有効 / 無効	許可 / 拒否	IP アドレス	ネットマスク	コメント
アクセス制限1	有効	アクセス拒否	192.168.1.50	255.255.255.255	192.168.1.50 拒否
アクセス制限2	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない
アクセス制限3	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない
アクセス制限4	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない
アクセス制限5	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない

使用例② 特定ネットをアクセス制限の対象とする場合

192.168.1 ネットからの印刷のみ許可したい

設定名称	有効 / 無効	許可 / 拒否	IP アドレス	ネットマスク	コメント
アクセス制限1	有効	アクセス許可	192.168.1.0	255.255.255.0	192.168.1 ネット許可
アクセス制限2	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない
アクセス制限3	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない
アクセス制限4	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない
アクセス制限5	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない

192.168.2 ネットからの印刷のみ拒否したい

設定名称	有効 / 無効	許可 / 拒否	IP アドレス	ネットマスク	コメント
アクセス制限1	有効	アクセス拒否	192.168.2.0	255.255.255.0	192.168.2 ネット許可
アクセス制限2	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない
アクセス制限3	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない
アクセス制限4	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない
アクセス制限5	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない

使用例③ 応用例

192.168 ネットのみ許可したい
 ただし192.168.2 ネットは拒否したい
 しかし192.168.2.10 は許可したい

設定名称	有効 / 無効	許可 / 拒否	IP アドレス	ネットマスク	コメント
アクセス制限1	有効	アクセス許可	192.168.2.10	255.255.255.255	192.168.2.10 ネット許可
アクセス制限2	有効	アクセス拒否	192.168.2.0	255.255.255.0	192.168.2 ネット拒否
アクセス制限3	有効	アクセス許可	192.168.0.0	255.255.0.0	192.168 ネット許可
アクセス制限4	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない
アクセス制限5	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない

使用例④ 応用例

192.168.1.64 ~192.168.1.127 まで許可したい

設定名称	有効 / 無効	許可 / 拒否	IP アドレス	ネットマスク	コメント
アクセス制限1	有効	アクセス拒否	192.168.1.0	255.255.255.192	192.168.1.0~63 拒否
アクセス制限2	有効	アクセス許可	192.168.1.0	255.255.255.128	192.168.1.0~127 許可
アクセス制限3	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない
アクセス制限4	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない
アクセス制限5	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない

ネットワーク設定の初期化

MultiWriter 6600に標準実装されているLANインターフェースのIPアドレスなどのネットワーク設定情報を初期化する方法について説明します。

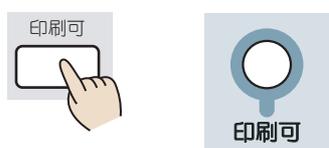
✓ チェック

MultiWriter 6600に標準実装されているLANインターフェースの初期化は、プリンターの操作パネルから行います。以下に示すLANアダプターや無線LANアダプターの初期化の手順については、それぞれのマニュアルを参照してください。

- マルチプロトコルLANアダプタ (型番 PR-NPX-05)
- 無線LANプリンタアダプタ (型番 PR-WL-01)

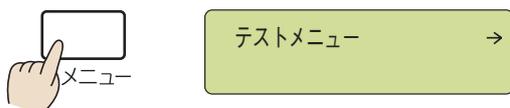
1 [印刷可] スイッチを押す。

印刷可ランプが消灯します。

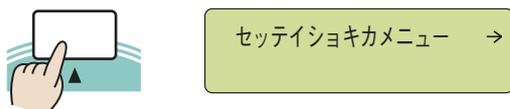


2 [メニュー] スイッチを押す。

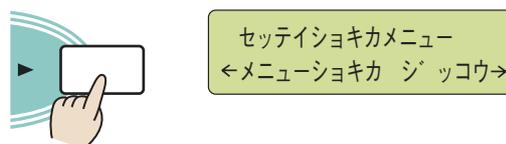
プリンターはメニューモードに入り、ディスプレイに“テストメニュー →”を表示します。



3 ディスプレイに“セッテイショキカメニュー”と表示されるまで [▲] スイッチを数回押す。



4 [▶] スイッチを1回押す。



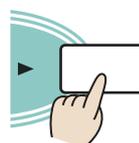
5 [▼] スイッチを1回押す。

ディスプレイ下段には“←LANショキカ ジッコウ→”と表示されます。



6 [▶] スイッチを1回押す。

ネットワークの設定が初期値に戻ります。



コンフィグレーションページの印刷

コンフィグレーションページとは、LANインターフェースのIPアドレスやサブネットマスク、MACアドレスなどのネットワークの設定情報が一覧できるLANステータス印刷です。ネットワークケーブルを接続したとき、ネットワークに関する変更を行った前後などにコンフィグレーションページ印刷を行い、設定内容の確認をしてください。以下にコンフィグレーションページの印刷方法について説明します。

✓ チェック

MultiWriter 6600に標準実装されているLANインターフェースのコンフィグレーションページの印刷は、プリンターの操作パネルから行います。以下に示すLANアダプターや無線LANアダプターのコンフィグレーションページ印刷の手順については、それぞれのマニュアルを参照してください。

- マルチプロトコルLANアダプタ（型番 PR-NPX-05）
- 無線LANプリンタアダプタ（型番 PR-WL-01）

1 プリンターの電源スイッチをONにする。

電源ON後、プリンターが印刷可能な状態（印刷可ランプ点灯）になったことを確認します。

✓ チェック

コンフィグレーションページを印刷する前に、用紙がプリンターにセットされていることを確認してください。用紙がセットされていない場合は、5章の「ホッパーに用紙をセットする」（241ページ）を参照してセットしてください。

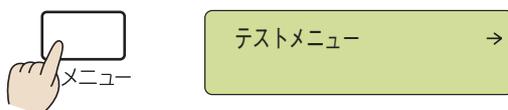
2 [印刷可] スイッチを押す。

印刷可ランプが消灯します。



3 [メニュー] スイッチを押す。

ディスプレイには「テストメニュー →」と表示されます。



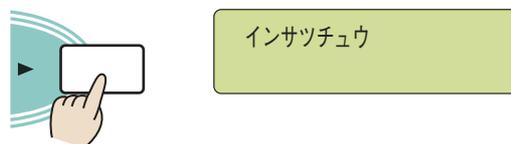
4 [▶] スイッチを1回、[▲] スイッチを2回押す。

ディスプレイ下段には「←LANステータス ジッコウ→」と表示されます。



5 [▶] スイッチを押す。

データランプが点灯し、プリンターは「インタフェース2」に装備されたLANインターフェースの設定情報を印刷します。



6 コンフィグレーションページを参照して標準 LAN インターフェースの設定内容を確認する。

次ページ以降の印刷例を参考にしてください。印刷例は工場出荷時における印刷例です。

MultiWriter 6600のLANインターフェース コンフィグレーションページの印刷例

```
NEC Network Interface Configuration Page

<Network Information>

F/W Version      : 02.06 000.1.0008312253
ID Number       : NFE-290000
Printer Name    : NFE-290000
MAC Address     : 00:00:4C:29:00:00
H/W Description : NEC NetworkPrinter700087
10Base/100Base : "Auto (10Base)"
Half/Full Duplex : "Auto (Half Duplex)"
Printing Log    : "Off"

<Self-Diagnosis>

Link Test       : "OK"
Network Status  : "OK"

<TCP/IP>

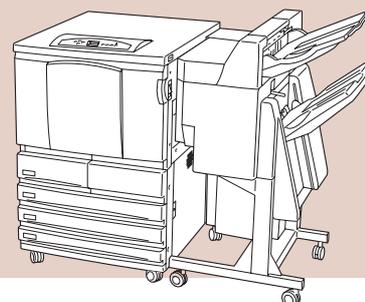
IP Address      : 11. 22. 33. 44
Subnet Mask     : 255. 0. 0. 0
Gateway Address : 0. 0. 0. 0
Auto IP Address : "On"
Max. Number of Session : 64
Session Timeout [sec] : 120
Keep Alive     : "On"
FTP Timeout [min] : 10
DHCP           : "Off"
e-Mail Service : "Off"
Current Active Session : 0
1st Access Limitation : 0. 0. 0. 0
"Accept"       : 0. 0. 0. 0
2nd Access Limitation : 0. 0. 0. 0
"Accept"       : 0. 0. 0. 0
3rd Access Limitation : 0. 0. 0. 0
"Accept"       : 0. 0. 0. 0
4th Access Limitation : 0. 0. 0. 0
"Accept"       : 0. 0. 0. 0
5th Access Limitation : 0. 0. 0. 0
"Accept"       : 0. 0. 0. 0
```

- *1 ID NumberおよびMAC AddressはLANインターフェース個々の情報を示します。
- *2 IPアドレス、サブネットマスクの工場出荷時の値です。
- *3 アクセス制限機能有効時に印刷されます。

ネットワークへ接続した後やプリンターの設定を変更した後は、必ずコンフィグレーションページを印刷して大切に保管しておいてください。

項目	説明
F/W Version	LANインターフェースのファームウェアバージョンです。
ID Number	LANインターフェース固有のIDです。
Printer Name	ネットワーク上から見たプリンターの名前です。半角大文字の英数字、ハイフン「-」、アンダーバー「_」が使用可能です。
MAC Address	プリンターに接続しているネットワークオプション固有のネットワークアドレスです。
H/W Description	プリンターに接続しているネットワークオプションの種別です。
10Base/100Base	「Auto」では10BASE-T、または100BASE-TXを自動判別し、通信速度を決定します。
Half/Full Duplex	「Auto」では通信方式を自動判別し、全二重（Full Duplex）、半二重（Half Duplex）のどちらかに決定します。
Printing Log	印刷ログの設定状況です。
Link Test	Link状態を表します。
NetWork Status	ハードウェアテストの結果を表します。
IP Address	IPアドレスを表します。
SubnetMask	サブネットマスクを表します。
Gateway Address	ゲートウェイアドレスを表します。
Auto IP Address	UNIXコマンド（Arp、Ping）を用いた設定の許可を表します。
Max. Number of Session	TCP/IPの最大接続数を表します。この設定は、すべてのTCP/IPアプリケーション層プロトコルが対象になります。設定範囲は「1~64」、初期値は「64」になっています。
Session Timeout [sec]	TCP/IP接続時にホストコンピューターから応答が無い場合の通信タイムアウトの設定を表します。
Keep Alive	通信タイムアウトで設定した時間が経過した場合に、ホストコンピューターにKeepAliveパケットを送信するか、しないかの設定を表します。
FTP Timeout [min]	FTP接続時のタイムアウト時間を表します。
DHCP	DHCPを用いてアドレスを取得するかどうかの設定を表します。
e-Mail Service	トナー残少時のメール通知設定を表します。
Current Active Session	現在のTCP接続数を表します。
1st~5th Access Limitation	アクセス制限機能が有効の場合、アクセス制限1~5のそれぞれの設定値を表します。有効（Valid）と設定した各アクセス制限の、IPアドレス（上段）、ネットマスク（下段）、アクセス許可（Accept）／拒否（Reject）が表示されます。

4章 より進んだ使い方



この章では、MultiWriter 6600の便利な機能の紹介とその使い方について説明します。MultiWriter 6600がもつ様々な機能を組み合わせて使うことにより、本プリンターをより快適に使用することができ、印刷コストの削減も図れます。この章をよくお読みになり、MultiWriter 6600を使いこなしてください。

Windows Server 2003をお使いのお客様へ

本書にWindows Server 2003の記述がない場合は、Windows XPの記述をWindows Server 2003に読み替えてください。

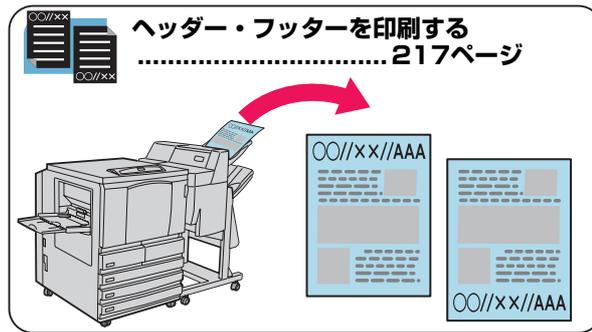
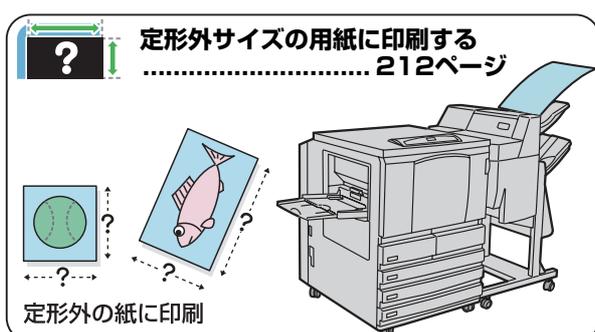
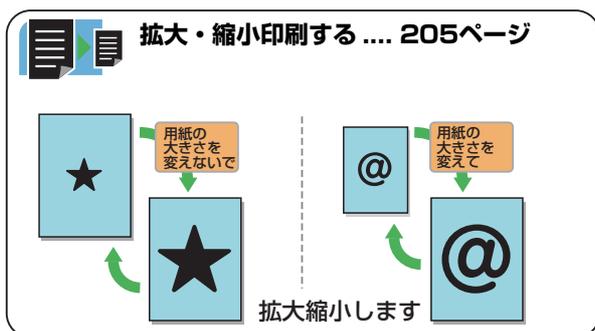
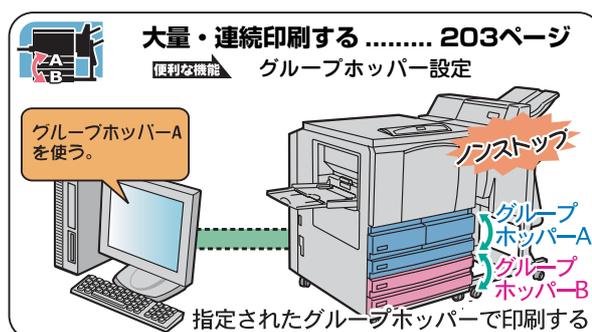
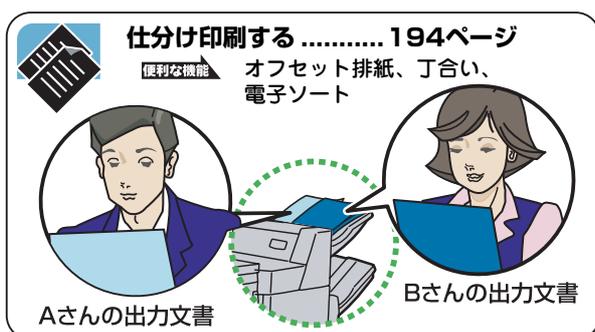
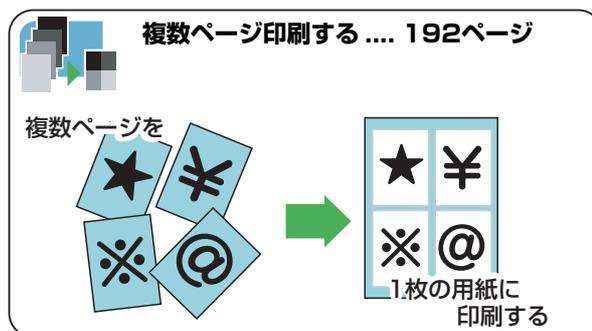
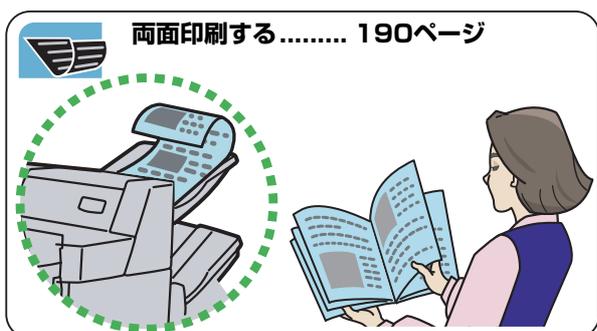
機能の紹介

ここでは、本プリンターのもつ便利な機能の概要と設定方法について説明しています。様々な機能を組み合わせて使うことで、より便利にプリンターを活用することができます。

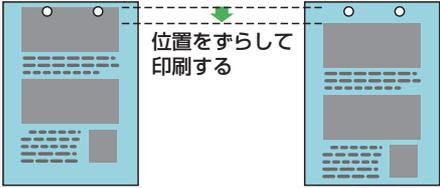
太枠線で囲んで記載している機能は、ネットワーク環境で使用するとき便利な機能です。本プリンターを一元管理*することができます。

各機能の詳細、および設定方法については、本書、またはヘルプをご覧ください。

* プリンター管理者としてプリンターソフトウェアがインストールされている必要があります。詳しくは2章の「プリンター管理者用インストール」(55ページ)を参照してください。

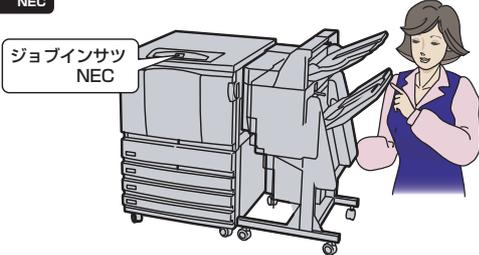


A **印刷位置をずらす ... 216ページ**



位置をずらして印刷する

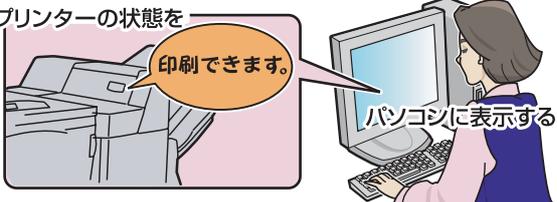
インサッチェック NEC **操作パネルにユーザー名を表示させる220ページ**



ジョインサツ NEC

プリンターの状態や印刷状況を見る221ページ
便利な機能 プリンタステータスウィンドウ

プリンターの状態を

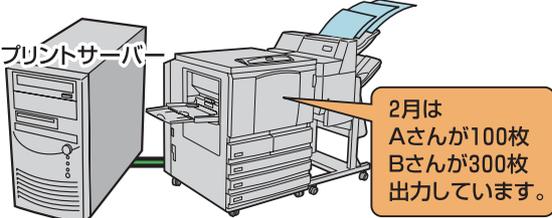


印刷できます。

パソコンに表示する

以下に記載した項目は、ネットワーク環境でMultiWriterを使用する時に便利な機能です。MultiWriterを一元管理することができます。

印刷履歴状況を出力する ...225ページ
便利な機能 PrintAgentによる印刷ログ出力



プリントサーバー

2月はAさんが100枚 Bさんが300枚出力しています。

保守情報をメール通知する229ページ
便利な機能 NEC e-mailメンテナンス

保守情報を

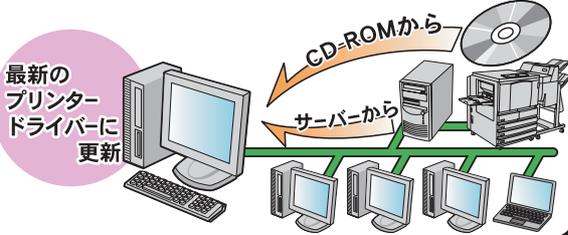


トナー切れです

メールで通知

VERSION UP **プリンタードライバーをバージョンアップする 233ページ**
便利な機能 プリンタードライバー

最新のプリンタードライバーに更新

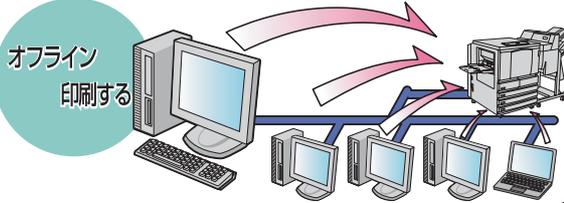


CD-ROMから

サーバーから

PrintPort連携機能を使って印刷する 235ページ

オフライン印刷する





両面印刷

両面印刷はA3、B4、A4、B5、A5、レターサイズ、定形外サイズ用紙の普通紙、厚紙1を選択しているときに可能です。(用紙に関しては、付録の「用紙の規格」(359ページ)の両面印刷時をご覧ください。)

両面印刷の設定はWindows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0、Windows Me、Windows 98、Windows 95で動作しているコンピューターで利用できます。ただし、用紙の条件によっては印刷できない場合があります。

重要

- 指定以外の用紙を使わないでください。また、両面印刷をする際は両面とも印刷されていない用紙をお使いください。指定以外の用紙や、すでに印刷されている用紙をセットして両面印刷をすると紙づまりやプリンターの故障の原因となります。
- 給紙方法がトレーの場合や、排出方法がフェースアップの場合は、両面印刷はできません。

① 両面印刷を有効に設定する。

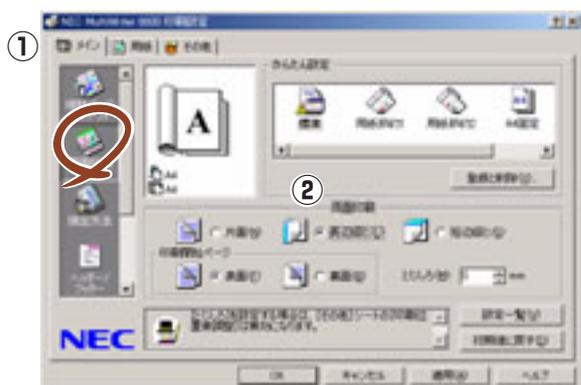
<Windows XPの場合>

- Windows XPは[印刷設定]ダイアログボックスの[メイン]シートを開き、左側の[機能選択]バーから[両面印刷]ボタンを選択します。
- [両面印刷]で[長辺綴じ]または[短辺綴じ]のいずれかを選びます。



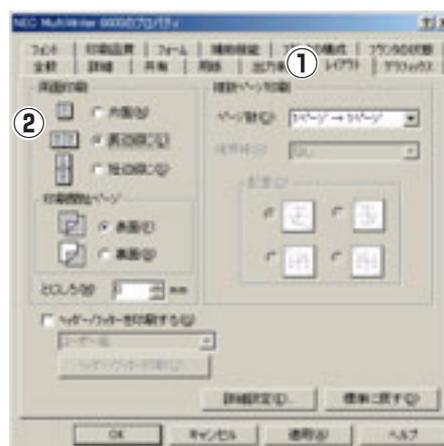
<Windows 2000、Windows NT 4.0の場合>

- Windows 2000は[印刷設定]ダイアログボックス、Windows NT 4.0は[ドキュメントの既定値]ダイアログボックスの[メイン]シートを開き、左側の[機能選択]バーから[両面印刷]ボタンを選択します。
- [両面印刷]で[長辺綴じ]または[短辺綴じ]のいずれかを選びます。



<Windows Me/98/95の場合>

- Windows Me、Windows 98、Windows 95は[プロパティ]ダイアログボックスの[レイアウト]シートを開き、[両面印刷]で[長辺綴じ]または[短辺綴じ]のいずれかを選びます。



- [印刷開始ページ]を設定する。

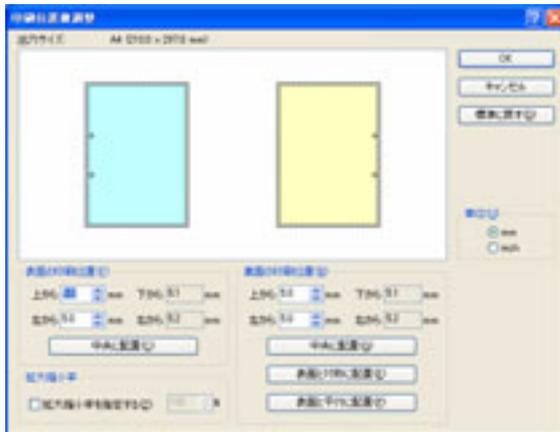
- 必要に応じて、綴じしろの位置、印刷位置を設定する。

チェック

Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT4.0では[メイン]シート、Windows Me、Windows 98、Windows 95では[レイアウト]シートで[とじしろ]の設定をした場合は、[印刷位置微調整]ダイアログボックスで綴じしろの設定をすることはできません。

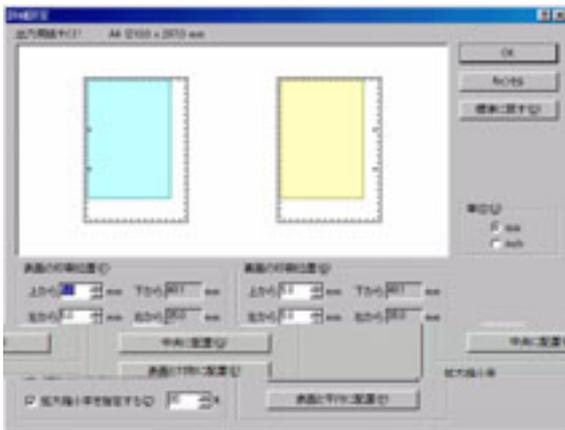
<Windows XP、Windows2000、Windows NT
4.0の場合>

[その他] シートの [拡張機能] ツリーメニューの [印刷位置微調整] ダイアログボックスを開きます。



<Windows Me、Windows 98、Windows 95の場合>

[レイアウト] シートの [詳細設定] ダイアログボックスを開きます。



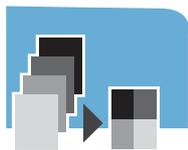
④ [OK] をクリックする。

ダイアログボックスを閉じます。

⑤ [印刷] ダイアログボックスで印刷範囲を指定して [OK] をクリックする。

プリンターの両面ランプが点灯して両面印刷を始めます。

丁合いや印刷部数はプリンタードライバーのプロパティダイアログボックスで設定してください。

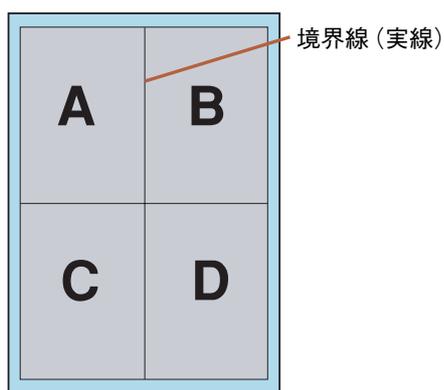


複数ページ印刷

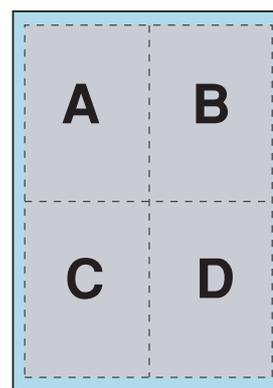
複数ページ印刷では、連続した複数ページの印刷データを1枚の用紙に縮小配置して印刷することができます。さらに境界線を次のとおり設定することができます。

他の印刷機能とも組み合わせることができるのでドラフト印刷、カタログ印刷などに有効な機能です。

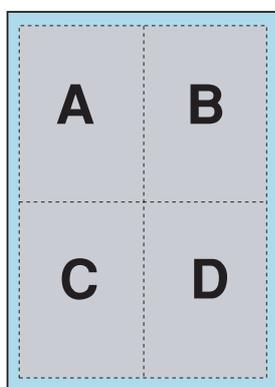
Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0、Windows Me、Windows 98、Windows 95でご利用できます。



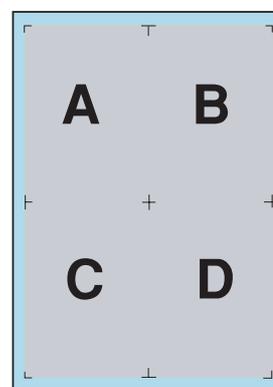
境界線 (実線) の場合



境界線 (破線) の場合



境界線 (点線) の場合



境界線 (カットマーク) の場合

境界線のイメージ (ページ数 “4ページ→1ページ”、配置Zに設定した場合)

設定方法

以下に設定方法を説明します。

- 1 [プロパティ] ダイアログボックスの [レイアウト] シートを開き、[複数ページ印刷] を選択する。

<Windows XP/2000/NT 4.0の場合>

Windows XP、Windows 2000は [印刷設定] ダイアログボックス、Windows NT 4.0は [ドキュメントの既定値] ダイアログボックスの [メイン] シートを開き、左側の [機能選択] パーから [複数ページレイアウト] ボタンを選択します。

<Windows Me/98/95の場合>

Windows Me、Windows 98、Windows 95は [プロパティ] ダイアログボックスの [レイアウト] シートを開く。

- 2 [ページ数] から縮小配置するページ数を選択する。
- 3 [配置] から配置方法を選択する。
- 4 必要に応じて、[境界線] を選択する。
- 5 [OK] をクリックする。

<Windows XP、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合>



<Windows Me、Windows 98、Windows 95の場合>





仕分け印刷

MultiWriter 6600では印刷時の仕分け機能として、丁合い機能、合紙機能、オフセット排紙、丁合い印刷を高速にする電子ソート機能があります。複数部数を印刷する場合に、これらの機能を組み合わせて使うことによって簡単に仕分け印刷することができます。ここではそれぞれの機能を組み合わせた場合の便利な使い方について説明します。

重要

これらの機能を使用するにはOSスプールの設定が双方向通信機能をサポートする設定になっていることが必要です。双方向通信を有効に設定していない場合、または双方向通信ができない場合は、部単位ごとの仕分け印刷ができない場合があります。詳しくは、9章の「PrintAgentの機能を十分に発揮させるために」(330ページ)をご覧ください。

丁合い機能

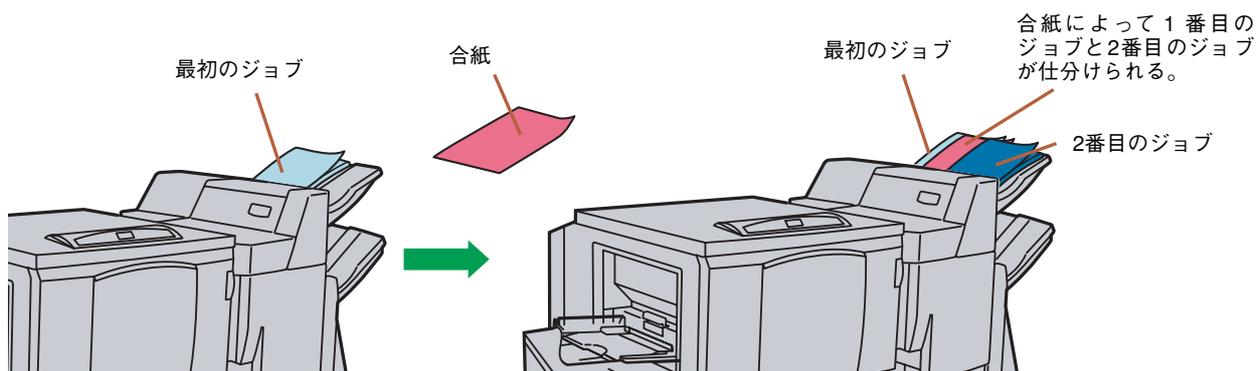
丁合い機能とは、部単位(1ページ・2ページ・3ページ、1ページ・2ページ・3ページ……)に印刷する機能のことです。

丁合い機能はWindows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0、Windows Me、Windows 98、Windows 95で双方向通信が有効な場合に利用できます。双方向通信については、9章の「PrintAgentの機能を十分に発揮させるために」(330ページ)をご覧ください。

また、双方向通信が無効な環境の場合には、電子ソート機能を有効にすることにより利用できます。(電子ソート機能については195ページをご覧ください。)

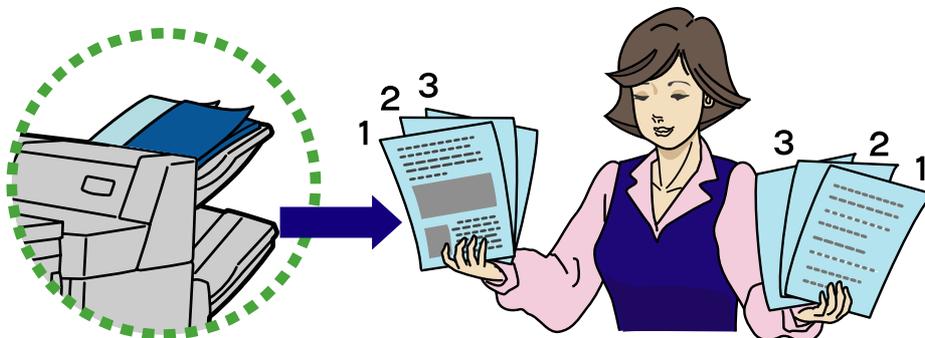
合紙機能

合紙機能とは、印刷ジョブ(ひとつの文書)ごとに仕分けるために、ホッパーにセットしてある色のついた紙を間に挟んで、排出される用紙をトpptレー上で仕分ける機能です。ホッパー、トレー、あるいは大容量ホッパーにジョブの用紙サイズと同じで、色のついた用紙がセットされている必要があります。ネットワークで共有プリンターとしてご利用の場合などは、他の人のドキュメントと区別されるので自分のドキュメントを簡単に見つけることができ、便利です。



オフセット排紙機能を使った仕分け印刷

オフセット排紙機能を使った仕分け印刷とは、印刷ジョブを部単位ごとに印刷するとともに、用紙を左右にずらしてフィニッシャーのトプトレーまたはスタックートレー上に仕分けて排出します。ネットワークで共有プリンターとしてご利用の場合などは、他の人のドキュメントと区別されるので自分のドキュメントを簡単に見つけることができ、便利です。

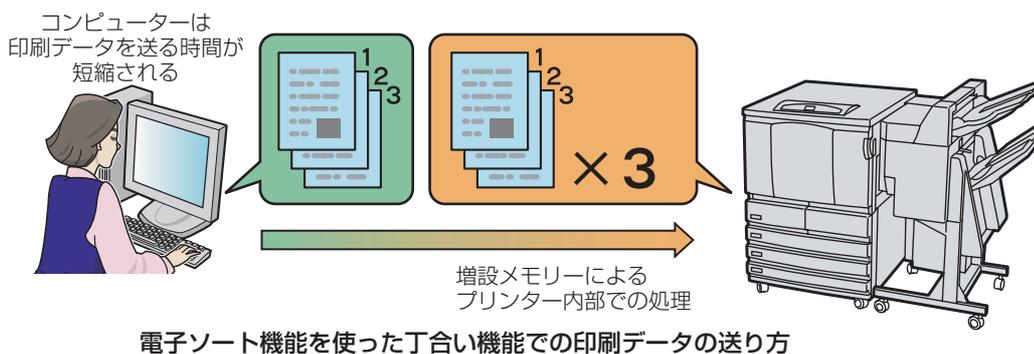
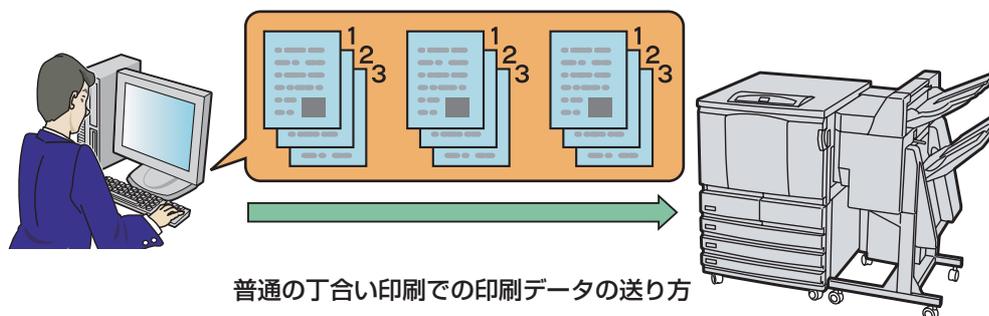


電子ソート機能

電子ソート機能とは、複数部数を印刷する場合にコンピューターから1部目だけ印刷データを送り、2部目以降はプリンターで印刷データ処理を行う機能*1のことです。また、オプションの増設メモリーおよび、増設ハードディスクをプリンターに取り付けることにより印刷保証枚数を増やすことができます。(印刷保証枚数については511ページを参照してください。)

これにより、コンピューターはプリンターに印刷データを送る時間を短縮することができ、コンピューターの印刷処理を早期に解放できます。2部目以降はプリンター内で印刷データを高速に処理させて印刷するので、複数部数印刷時の高速化が可能です。また、丁合い機能、オフセット排紙機能と組み合わせてお使いになると複数の文書を高速に印刷することができるので、さらに便利です。

*1 メモリー容量、文書のページ数、解像度、用紙サイズ、両面印刷の設定の条件によっては2部目以降でもデータを送る場合があります。(双方向通信有効時)



設定方法

以下の4つの機能の設定方法について説明します。

- 丁合い機能196ページ
- 合紙機能198ページ
- オフセット排紙機能200ページ
- 電子ソート機能201ページ

それぞれの機能を組み合わせて仕分け印刷を行う場合、各機能の設定をよくお読みになり、組み合わせたい機能をそれぞれ設定した後に印刷を行ってください。

丁合い機能

丁合い機能とは、部単位（1ページ・2ページ・3ページ、1ページ・2ページ・3ページ……）に印刷する機能のことです。

丁合い機能はWindows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0、Windows Me、Windows 98、Windows 95で双方向通信が有効な場合に利用できます。双方向通信については、9章の「PrintAgentの機能を十分に発揮させるために」（330ページ）をご覧ください。

✓チェック

丁合い機能の設定はプロパティダイアログボックスで行ってください。アプリケーションによっては、印刷機能で丁合い*、部数の指定ができるものがありますが、これらの機能を使って丁合いを指定しても正しく機能しない場合があります。この機能を利用する場合はアプリケーションで丁合い、部数の指定をしないでください。

またアプリケーションによってはアプリケーションで設定した部数が優先される場合があります。その場合はアプリケーションで設定を行ってください。

* アプリケーションによっては、「部単位で印刷」という表示になっている場合があります。

① プリンタードライバーのプロパティダイアログボックスを開き、丁合い機能を有効にする。

<Windows XP/2000/NT 4.0の場合>

- ① Windows XP、Windows 2000は [印刷設定] ダイアログボックス、Windows NT 4.0は [ドキュメントの既定値] ダイアログボックスの [メイン] シートを開き、左側の [機能選択] パーから [丁合い] ボタンを選択します。
- ② [丁合い] の [丁合い機能を使用する] をチェックします。



<Windows Me/98/95の場合>

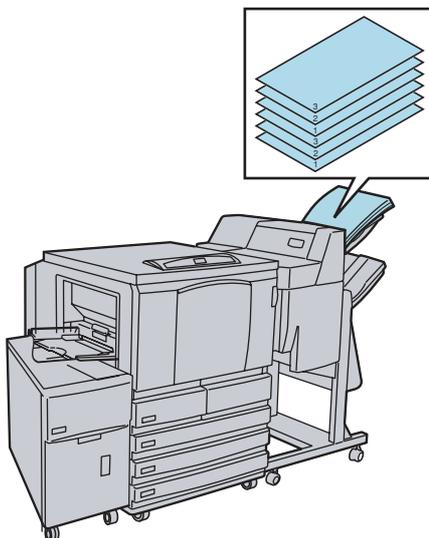
Windows Me、Windows 98、Windows 95は [プロパティ] ダイアログボックスの [出力制御] シートを開き、[丁合い機能を使用する] ボタンをクリックします。



2 [印刷] ダイアログボックスで印刷範囲を指定して [OK] をクリックする。

部単位 (1ページ・2ページ・3ページ、1ページ・2ページ・3ページ……) に仕分けされながらトップトレイまたはフィニッシャー上に排出されます。

丁合いや印刷部数はプリンタードライバーのプロパティダイアログボックスで設定してください。



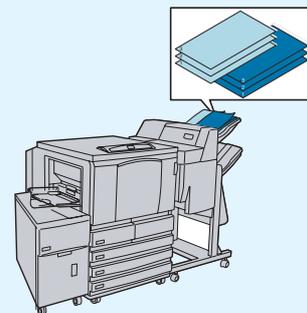
オフセット排紙機能と丁合い機能を組み合わせた使い方

オフセット排紙機能と丁合い機能を組み合わせて使うと、部単位ごとに用紙が左右交互に仕分けされながらトップトレイ上に排出されます。

オフセット排紙機能と丁合い機能は標準で有効になっています。

オフセット排紙機能と丁合い機能を組み合わせて使う場合、丁合い機能の設定と200ページの「オフセット排紙機能」手順①～④の設定をしてから印刷を行ってください。

アプリケーションのダイアログボックスで「丁合い」もしくは「部単位で印刷」の指定ができる場合がありますが、アプリケーションの印刷ダイアログボックスの丁合い機能は使用せずにプリンターのプロパティで丁合い機能を有効にしてください。



合紙機能

合紙（あいし）とは、文書（印刷ジョブ）をそれぞれ仕分けるためにあらかじめホッパーにセットしてある色のついた用紙を文書ごとに挟む機能です。合紙機能を使って印刷するには次の手順で行います。

✓チェック

- 合紙機能を使用する場合は、用紙サイズや用紙の給紙方向（横置き、縦置き）をそろえてホッパーやトレーにセットしてください。
- 丁合機能の選択は【プリンタのプロパティ】ダイアログボックスで行ってください。アプリケーションによっては、印刷機能で丁合いの指定ができるものがありますが、これらの機能を使って丁合いを指定しても正しく機能しない場合があります。この機能を利用する場合はアプリケーションの丁合いは指定しないでください。合紙に設定したホッパーまたはトレーは、通常の印刷ページ用としては使用できません。
- プリンターの操作パネルのメニューモードで、あらかじめ合紙ホッパーを設定する必要があります。【メニュー】スイッチからメニューモードに入り、“ヨウシメニュー”の“アイシモードセット”で合紙ホッパーを選択します。

- 1 トレーまたは任意のホッパー（大容量ホッパーを含む）に色のついた用紙をセットする。

✓チェック

合紙と、印刷する文書に使用する用紙の種類とサイズ、給紙方向が適切であることを確認してください。

- 2 操作パネルから合紙のホッパーまたはトレー（色のついた用紙をセットしたホッパー）を設定する。

メニューモードについては「7章 メニューモード」（263ページ）を参照してください。

- 3 合紙機能を有効にする。

<Windows XP/2000/NT 4.0の場合>

Windows XP、Windows 2000は【印刷設定】ダイアログボックス、Windows NT 4.0は【ドキュメントの既定値】ダイアログボックスの【メイン】シートを開き、左側の【機能選択】バーから【排出方法】ボタンを選択します。

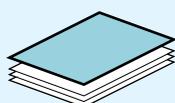
<Windows Me/98/95の場合>

Windows Me、Windows 98、Windows 95は【プロパティ】ダイアログボックスの【出力制御】シートを開きます。

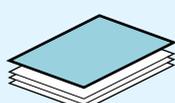
- 4 【仕分け】で【合紙（表のみ）】または【合紙（表と裏）】を選択し、【OK】をクリックする。

【合紙（表のみ）】を選んだ場合は文書（印刷ジョブ）の表のみに、【合紙（表と裏）】を選んだ場合は文書（印刷ジョブ）の表と裏に合紙を挿入します。

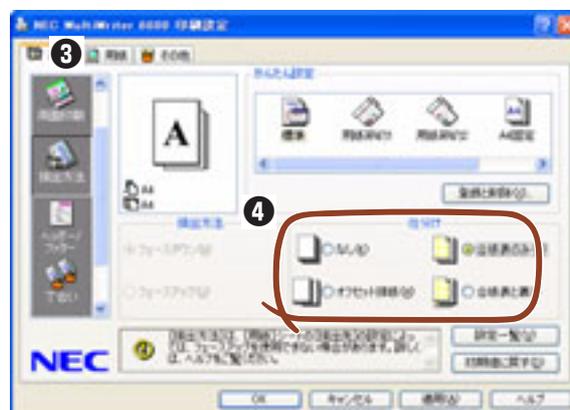
合紙（表のみ）



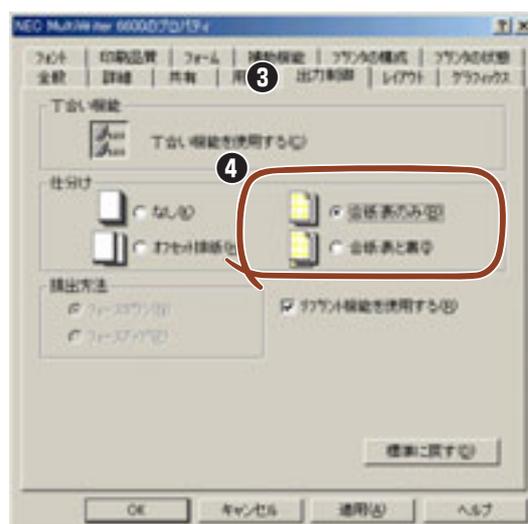
合紙（表と裏）



<Windows XP/2000/NT 4.0の場合>



<Windows Me/98/95の場合>



5 [操作パネル表示] を選択する。

<Windows XP/2000/NT 4.0の場合>

Windows XP、Windows 2000は [印刷設定] ダイアログボックス、Windows NT 4.0は [ドキュメントの既定値] ダイアログボックスの [その他] シートを開きます。

<Windows Me/98/95の場合>

Windows Me、Windows 98、Windows 95は [プロパティ] ダイアログボックスの [補助機能] シートを開きます。

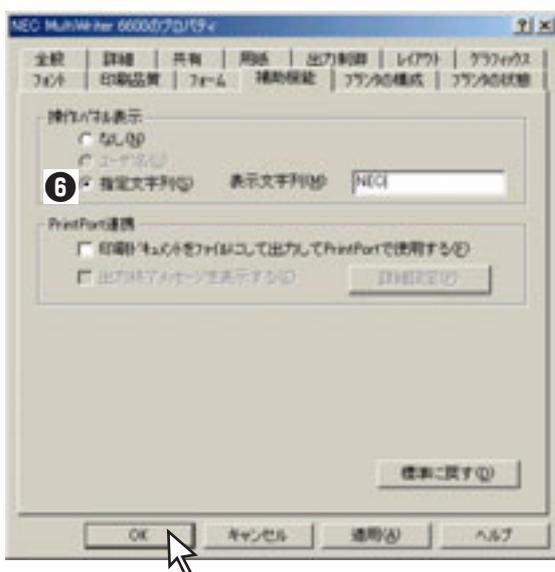
6 合紙の表に印刷する文字列を指定し、[OK] をクリックする。

日付、時間、および操作パネルに表示する文字列と同じ文字列を合紙に印刷します。[なし] を選んだ場合は合紙には何も印刷されません。

<Windows XP/2000/NT 4.0の場合>



<Windows Me/98/95の場合>

**7** [印刷] ダイアログボックスで印刷範囲と印刷部数を指定し、[部単位で印刷] をチェックしてある場合はチェックを外す。**8** [OK] をクリックする。

印刷が始まり、合紙がセットされている給紙部から給紙され、トップトレイ上に文書を仕分けして排出されます。

オフセット排紙機能

オフセット排紙は、印刷ジョブごとに用紙を左右にずらしてフィニッシャーに排出する機能です。

- ① プリンタードライバーのプロパティダイアログボックスを開き、オフセット機能を有効にする。

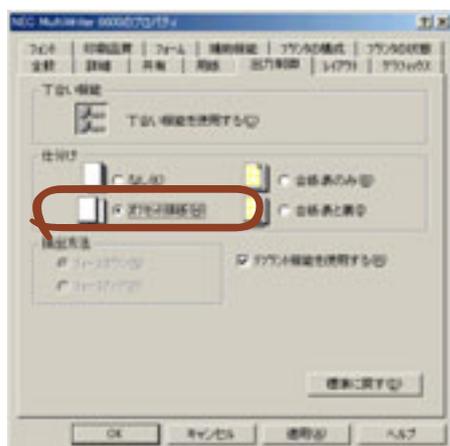
<Windows XP/2000/NT 4.0の場合>

- ① Windows XP、Windows 2000は [印刷設定] ダイアログボックス、Windows NT 4.0は [ドキュメントの既定値] ダイアログボックスの [メイン] シートを開き、左側の [機能選択] バーから [排出方法] ボタンを選択します。
- ② [仕分け] の [オフセット排紙] をチェックします。



<Windows Me/98/95の場合>

Windows Me、Windows 98、Windows 95は [プロパティ] ダイアログボックスの [出力制御] シートを開き、[仕分け] で [オフセット排紙] を選択する。



✓チェック

次の場合、オフセット排紙は使用できません。

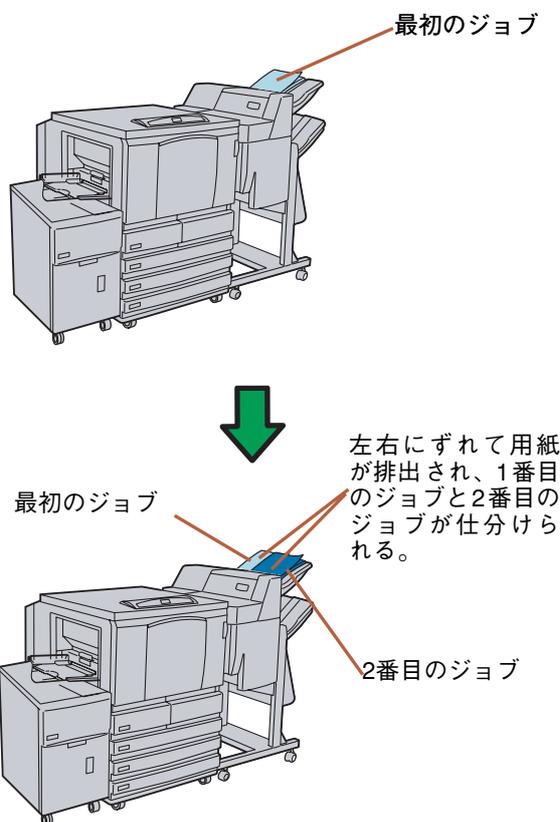
- スタッカートレーに排紙する場合、普通紙・厚紙1以外の用紙。
- オプションのフィニッシャーを装着していない場合。
- スタッカートレーでユーザー定義サイズの場合、長さ148mm以下、幅182mm以下はスタッカートレーに排出できません。

- A5サイズ、はがき、往復はがきは、オフセット排紙できません。
- 排出先がトpptトレで、かつ幅170mm以下の用紙はオフセット排紙できません。

- ② [印刷] ダイアログボックスで印刷範囲と印刷部数を指定し、[部単位で印刷] をチェックしてある場合はチェックを外す。

- ③ [OK] をクリックする。

印刷が始まり、給紙設定されている（プリンターのディスプレイに表示されている）ホッパー（またはトレイ）から用紙が給紙され、トpptトレ上に排出されます。



✓チェック

丁合い・部数の設定は、[プリンタのプロパティ] ダイアログボックスで設定してください。

電子ソート機能

電子ソート機能とは、複数部数の印刷を行う場合、コンピューターから1部目だけ印刷データを送り、2部目以降はプリンター内部で印刷処理を行う機能*のことです。

* 増設メモリー容量、文書のページ数、解像度、用紙サイズ、両面印刷の設定の条件によっては2部目以降でもデータを送る場合があります。

重要

MultiWriter 6600を双方向通信が無効な環境でお使いの場合には、プリンター本体に装備したメモリー容量または、増設ハードディスクを追加したことをプリンタードライバーで設定する必要があります。次の手順に従って、メモリー容量を設定してください。ただし、双方向通信が有効な環境ではPrintAgentの機能により自動的に設定されます。

電子ソート機能はWindows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0、Windows Me、Windows 98、Windows 95で動作しているコンピューターで利用できます。

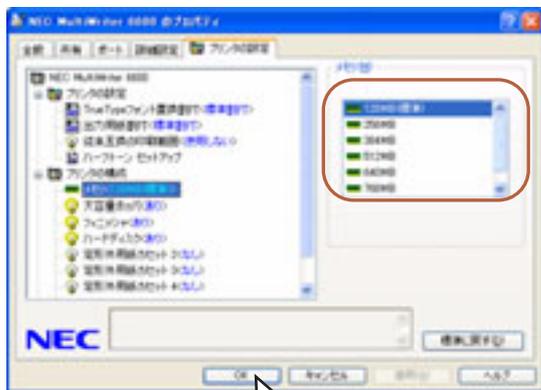
また、増設メモリーによる印刷保証枚数については、「電子ソート機能有効時の印刷保証枚数表」（429ページ）を参照してください。

プリンタードライバーでの増設メモリーの設定方法

双方向通信が無効な環境の場合、以下のダイアログボックスの「プリンタの構成」シートを開き、「メモリー」を増設したメモリーの構成に合わせます。

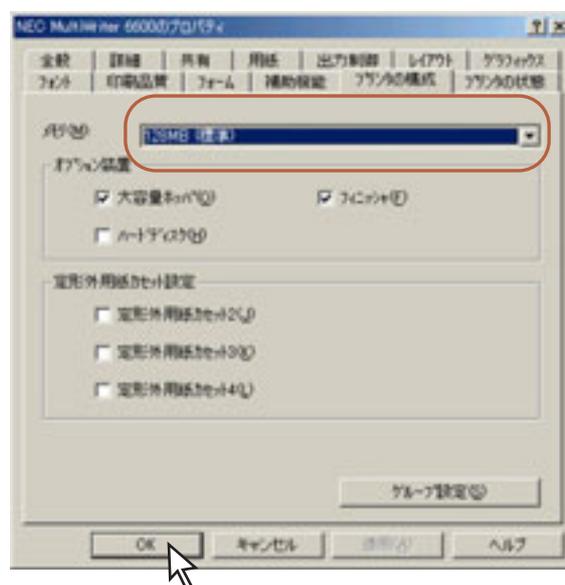
<Windows XP/2000/NT 4.0の場合>

- Windows XP、Windows 2000はプリンタの「プロパティ」ダイアログボックスの「プリンタの設定」シート
- Windows NT 4.0は「プロパティ」ダイアログボックスの「プリンタの設定」シート



<Windows Me/98/95の場合>

Windows Me、Windows 98、Windows 95は「プロパティ」ダイアログボックスの「プリンタの構成」シート

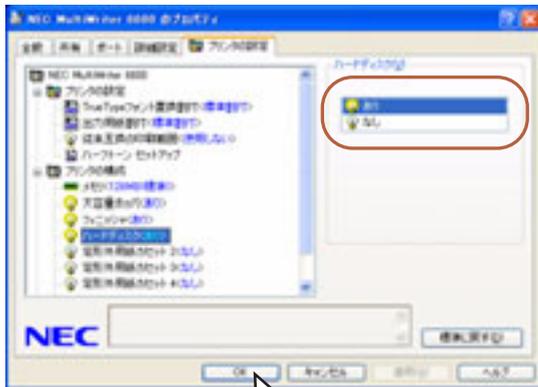


プリンタードライバーでの増設ハードディスクの設定方法

双方向通信が無効な環境の場合、以下のダイアログボックスの「プリンタの構成」シートを開き、ハードディスクを装着した状態に設定します。

<Windows XP/2000/NT 4.0の場合>

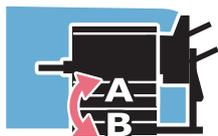
- Windows XP、Windows 2000はプリンタの「プロパティ」ダイアログボックスの「プリンタの設定」シート
- Windows NT 4.0は「プロパティ」ダイアログボックスの「プリンタの設定」シート



<Windows Me/98/95の場合>

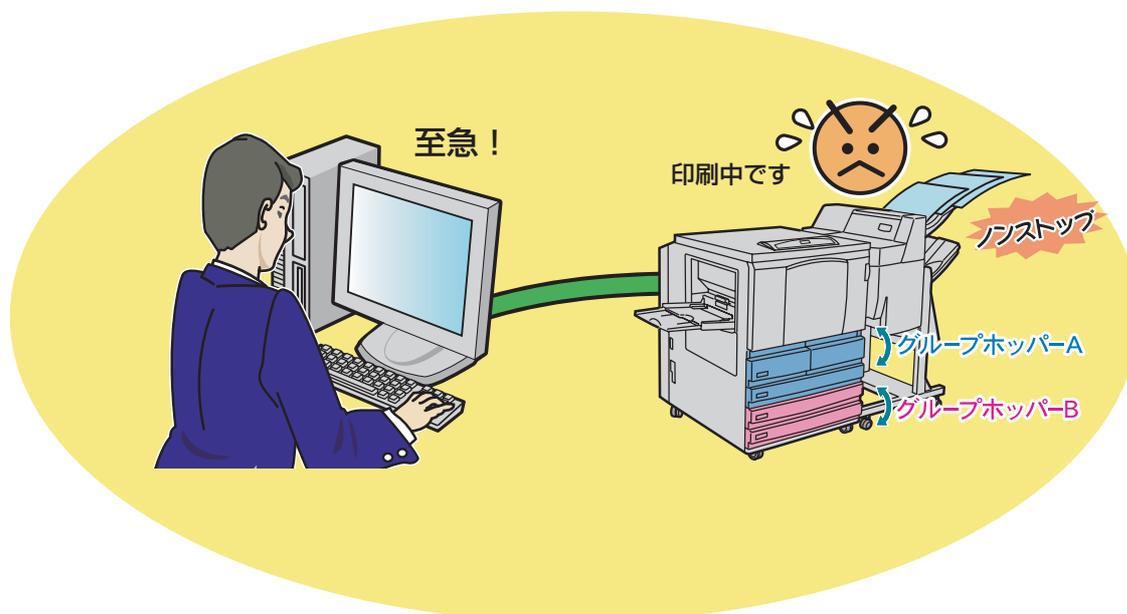
Windows Me、Windows 98、Windows 95は「プロパティ」ダイアログボックスの「プリンタの構成」シート





大量・連続印刷する

複数のホッパーをグループにして給紙を行わせ、印刷データを休止することなくノンストップで出力できる機能です。



グループホッパー

オプションの大容量ホッパーを装着するとより効果がある機能です。標準ホッパー1、2、3、4と大容量ホッパー（オプション：ホッパー5）、トレイ（標準）の6つの給紙先を組み合わせでグループに設定し、一つのホッパーとして扱います。グループとして設定できるのは2グループまでです。同じグループ内の一つのホッパーに紙が無くなってもグループ設定している他のホッパーから給紙します。用紙が足りなくなったホッパーには、印刷中でも用紙をつぎ足すことができます。用紙を足すことでノンストップ印刷が可能になります。

次ページで、詳細な設定方法を説明します。

設定方法

複数のホッパーおよびトレイを1つのホッパーとして取り扱うことで、用紙を補給する手間が省けます。グループ化は、2個までできます。

✓ チェック

双方向通信時は、プリンター本体の設定状態が自動的に反映されます。双方向通信をしていない場合は、グループ設定でグループ選択をする必要があります。

例) グループA.....ホッパー 1、2
 グループB.....ホッパー 3、5、トレイ

グループホッパー機能を使うには次のステップで設定する必要があります。

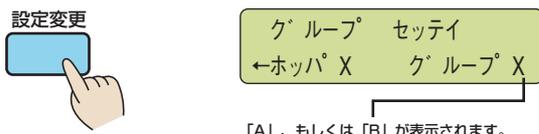
Step 1 グループホッパーを有効にする

Step 2 給紙方法を設定する

Step1 グループホッパーを有効にする

グループホッパーを有効にするために、プリンターの設定を行います

- ① **メニューモードに入る。**
 [印刷可] スイッチを押してプリンターをディセレクト状態にし、[メニュー] スイッチを押して“テストメニュー →”を表示させます。
- ② **操作パネルの [▼] スイッチ、[▶] スイッチ、[設定変更] スイッチを押して、“ヨウシメニュー”の“グループセッテイ”を選択する。**
 詳しくは、「メニューツリー」(333~342ページ)をご覧ください。

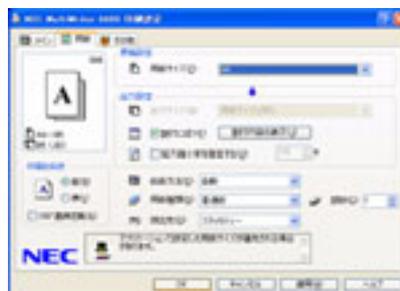


- ③ **[印刷終了] スイッチを押す。**
- ④ **設定が終わったら、グループホッパーを有効にしたホッパーおよびトレイの用紙サイズ、用紙の種類、用紙のセット方向が同じになっているか確認する。**

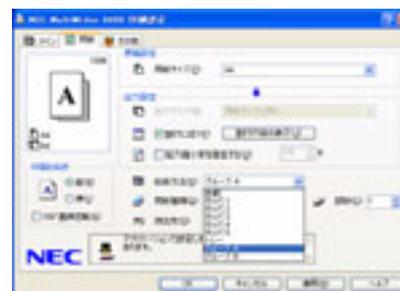
Step2 給紙方法を設定する

印刷を開始するときに[給紙方法]で[グループA]または[グループB]を選択します。

- ① **プリンタードライバーのプロパティダイアログボックスの[用紙]シートを開く。**



- ② **ホッパーの給紙方法が[グループA]または[グループB]になっていることを確認する。**
 プリンタードライバーの給紙方法を確認するには、ユーザーズマニュアル5章の「印刷の詳細設定」(122ページ)を参照してください。

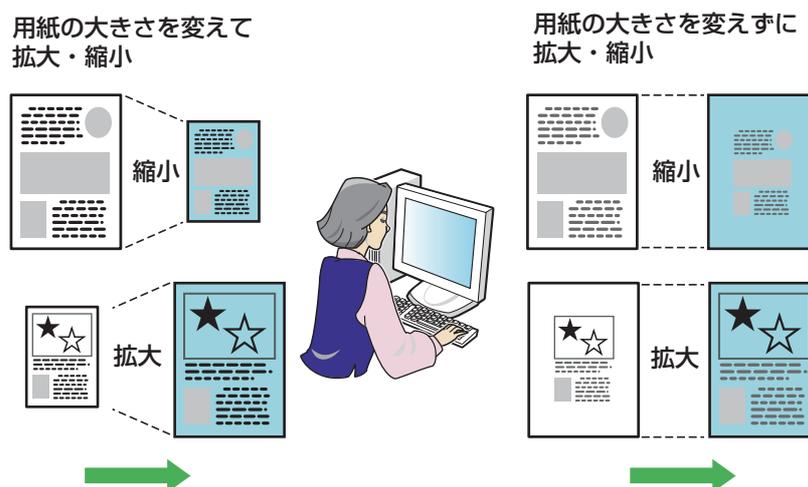


- ③ **用紙の種類、用紙のサイズがプリンターのメニューモードと同じになっていることを確認する。**
- ④ **[印刷] ダイアログボックスで印刷範囲、印刷部数を指定し、[OK] をクリックして印刷する。**



拡大・縮小印刷

用紙の大きさを変えて拡大・縮小する方法と、用紙の大きさを変えないで拡大・縮小するという方法があります。



用紙の大きさを変えて拡大・縮小

- 出力用紙サイズを指定する231ページ
Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0、Windows Me、Windows 98、Windows 95でご利用できます。

アプリケーションであらかじめ設定されている論理上の用紙サイズに対して、原稿を実際に印刷する出力用紙サイズを設定することにより、印刷データの拡大・縮小を行います。印刷データは出力用紙サイズに合わせて自動的に拡大・縮小されます。

- 拡大・縮小印刷に対応した用紙サイズを指定する234ページ
Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0、Windows Me、Windows 98、Windows 95でご利用できます。

アプリケーションの用紙サイズを拡大・縮小印刷対応用紙サイズ（「A4×2→A4」など）に指定します。この設定はプリンターの機能を利用して印刷を行います。

用紙の大きさを変えないで拡大・縮小

- 拡大・縮小率を指定する233ページ
Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0、Windows Me、Windows 98、Windows 95でご利用できます。

任意の倍率を指定することで、印刷データの拡大・縮小を行います。拡大・縮小率は10%～400%の範囲で設定可能です。

後述の「出力用紙サイズを指定する」と組み合わせると希望の出力用紙に任意の倍率で拡大・縮小して印刷データを出力することができます。

設定方法

出力用紙サイズを指定する

- ①** [プロパティ] ダイアログボックスの [用紙] シートを開く。

Windows XP、Windows 2000は [印刷設定] ダイアログボックス、NT 4.0は [ドキュメントの既定値] ダイアログボックスの [用紙] シートを開きます。

Windows Me、Windows 98、Windows 95は [プロパティ] ダイアログボックスの [用紙] シートを開きます。

- ②** [用紙サイズ] ボックスからアプリケーションで設定した用紙サイズを選択する。

ユーザ定義を選択した場合の設定は「定形外用紙サイズ用の紙に印刷」(237ページ)を参照してください。

- ③** [出力用紙サイズ] に任意の出力用紙サイズを設定する。

出力用紙サイズの設定方法には次の2通りがあります。

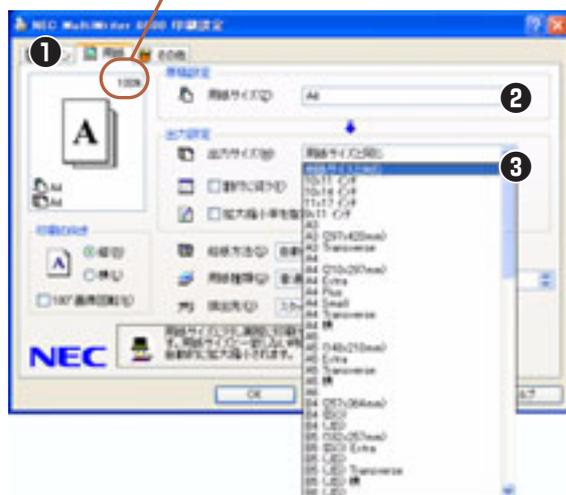
- サポートするすべての用紙サイズに対して、共通の出力用紙サイズを割り付ける場合→③-(a)
- すでに設定してある用紙割り付けに従って出力用紙サイズを設定する場合→③-(b)

③-(a)

<Windows XP/2000/NT 4.0の場合>

[出力設定] の [割付に従う] のチェックを外し、[出力サイズ] ボックスから任意の出力用紙サイズを選択する。手順③に進んでください。

[用紙サイズ] と [出力サイズ] に設定された用紙サイズに応じて、拡大・縮小率が表示されます。



<Windows Me/98/95の場合>

[出力用紙サイズ] で [指定する] を選び、[出力用紙サイズ] ボックスから任意の出力用紙サイズを選択します。手順③に進んでください。



- ③-(b)** [割付に従う] をチェックする。

現在 [用紙サイズ] で選択されている用紙サイズに割り付けてあるサイズが、出力用紙サイズとして自動的に設定されます。

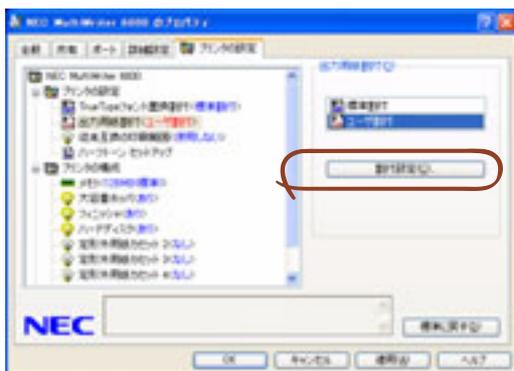
割り付けの設定を変更したい場合は手順④に進んでください。変更しない場合は手順⑥に進んでください。

- ④ 出力用紙の割付設定をするダイアログボックスを開く。

<Windows XP/2000/NT 4.0の場合>

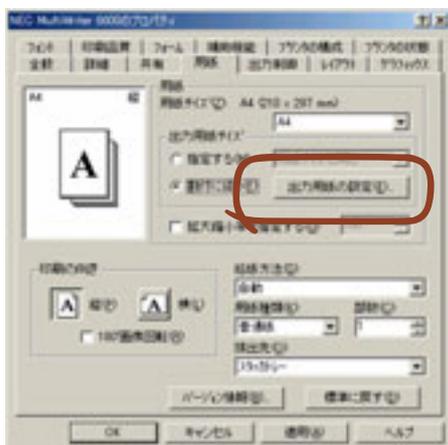
[プロパティ] ダイアログボックスを開きます。[プリンタの設定] シートの [出力用紙割付] で [ユーザ割付] を選び、[割付設定] をクリックします。

[用紙] シートの [割付内容の表示] をクリックすると、組み合わせの表示のみ行います。

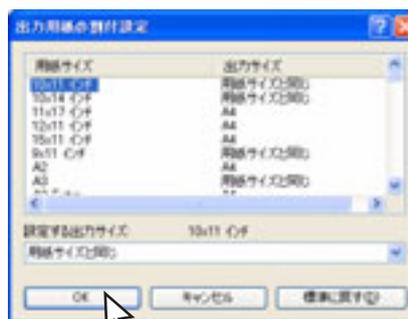


<Windows Me/98/95の場合>

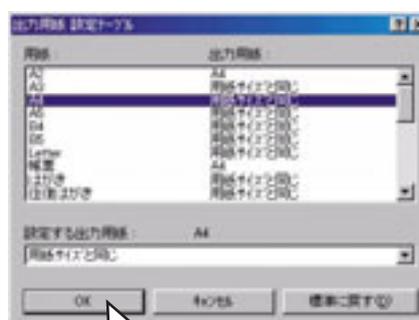
[プロパティ] ダイアログボックスを開きます。[用紙] シートの [出力用紙の設定] をクリックします。



- ⑤ 設定したい出力用紙サイズを選択し、[OK] または [閉じる] をクリックする。



Windows XP/2000/NT 4.0



Windows Me/98/95

- ⑥ [用紙] シートの [OK] をクリックする。

Windows XP、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合は [プリンタの設定] シートの [OK] をクリックし、[用紙] シートの [OK] をクリックします。

✓チェック

以下の用紙サイズを指定した場合は [出力用紙サイズ] が固定となり、[出力用紙サイズ] で指定する拡大・縮小印刷機能は使用できません。

A3→A4、A3→B4、A4→A3、A4→B4、A4→B5、A4×2→A4、B4→A3、B4→A4、B4→B5、B5→A4、B5→B4、B5×2→B5、LP→A4、LP→B4

拡大・縮小率を指定する

この機能は次の場合以外はいつでも有効で、他の印刷機能と組み合わせることができます。

- [レイアウト] *1シートで複数ページ印刷を設定している
- [フォーム] *2シートでフォーム印刷を設定している
- [用紙] シートで以下の用紙サイズを設定している
A3→A4、A4→B5、A4×2→A4、B4→A4、B4→B5、B5→A4、B5×2→B5、LP→A4、A3→B4、A4→A3、
A4→B4、B4→A3、B5→B4、LP→B4

*1 Windows XP、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合は [メイン] シートの [複数ページレイアウト] シートになります。

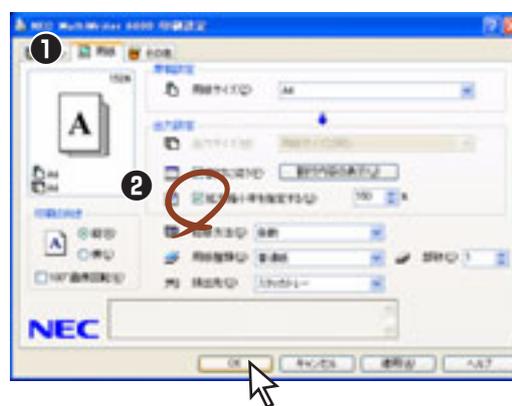
*2 Windows XP、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合は [その他] シートになります。

① [プロパティ] ダイアログボックスの [用紙] シートを開く。

Windows XP、Windows 2000は [印刷設定] ダイアログボックス、Windows NT 4.0は [ドキュメントの既定値] ダイアログボックスの [用紙] シートを開きます。

② [拡大縮小率を指定する] をチェックし、右のボックスで拡大・縮小率を設定する。

③ [OK] をクリックする。



Windows XP/2000/NT 4.0



Windows Me/98/95

拡大・縮小印刷に対応した用紙サイズを指定する

プリンターの拡大・縮小モードを設定します。設定は印刷時のみ有効になります。

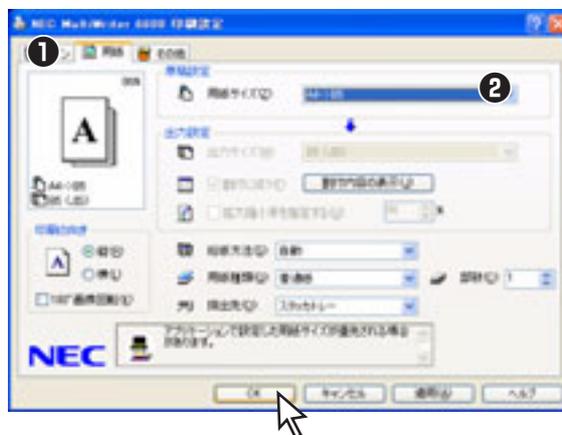
① [プロパティ] ダイアログボックスの [用紙] シートを開く。

- Windows XP、Windows 2000は [印刷設定] ダイアログボックスの [用紙] シートを開きます。
- Windows NT 4.0 [ドキュメントの既定値] ダイアログボックスの [用紙] シートを開きます。

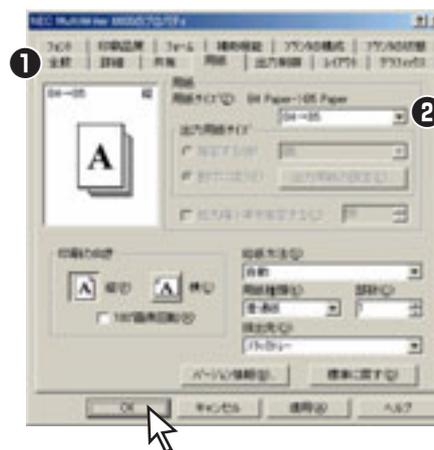
② [用紙サイズ] ボックスから用紙サイズ（下記の拡大・縮小率）を選ぶ。

A3→A4、A4→B5、A4×2→A4、B4→A4、B4→B5、B5→A4、B5×2→B5、LP→A4、A3→B4、A4→A3、A4→B4、B4→A3、B5→B4、LP→B4

③ [OK] をクリックする。



Windows XP/2000/NT 4.0



Windows Me/98/95



「かんたん設定」の使い方

「かんたん設定」はWindows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0のプリンタードライバーでご利用になれます。[印刷設定] ダイアログボックスおよび[ドキュメントプロパティ] ダイアログボックス内の設定内容をまとめて登録できる機能で、アイコンをクリックすれば登録した設定内容で簡単に印刷することができます。

ここでは、「かんたん設定」の登録と削除方法について説明します。

なお、「かんたん設定」には、あらかじめ5つの印刷方法が設定された[プリンターで登録済みの設定] アイコンがあります。それぞれのアイコンに設定されている内容は以下の表のとおりです。

- 各アイコンをクリックすると、以下の表のとおり各機能が設定されます。
- 各機能のいずれかの設定が変更された場合には、アイコンにマーク ▲ が表示されます。

[プリンターで登録済みの設定アイコン]	設定内容					
	出力サイズ	割付に従う	両面印刷	複数ページレイアウト	丁合い機能	仕分け
標準	用紙サイズと同じ	ON	片面	1in1	使用する	オフセット排紙以外
用紙節約1	任意	任意	長辺綴じ	2in1	任意	任意
用紙節約2	任意	任意	短辺綴じ	2in1	任意	任意
A4固定	A4	OFF	任意	任意	任意	任意
仕分け	任意	任意	任意	任意	使用する	オフセット排紙

設定方法

ユーザー設定の登録

- 任意のプロパティシートで登録したい設定内容に変更する。

設定内容を確認したい場合は[設定一覧]をクリックして、[設定一覧] ダイアログボックスを表示させます。[かんたん設定]のアイコンを右クリックすると[設定一覧]が開きます。

- [メイン] シートを開く。
- [登録と削除] をクリックする。

[かんたん設定の登録と削除] ダイアログボックスが表示されます。



- [新規登録] の [名前] に名前を入力し、[アイコン] から任意のアイコンを選択する。

名前は必ず入力してください。名前の入力文字は全角/半角に関係なく、15文字までです。

登録する設定の簡単な説明を全角/半角に関係なく、127文字まで [コメント] ボックスに入力することができます。

- 5 [追加] をクリックする。



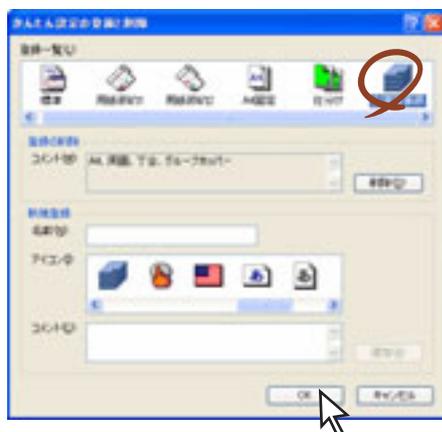
- 6 設定内容が表示されるので、確認して [OK] をクリックする。

[印刷設定] ダイアログボックスを開いた後に変更された内容は、赤で表示されています。



- 7 [登録一覧] リストビューに登録したアイコンが追加されたことを確認し、[OK] をクリックする。

アイコンの表示順は、アイコンを直接ドラッグすることで変更できます。



各シートの右クリックメニューからも [かんたん設定の登録と削除] ダイアログボックス [設定一覧] ダイアログボックスを開くことができます。

ユーザー設定の削除

- 1 [メイン] シートを開く。

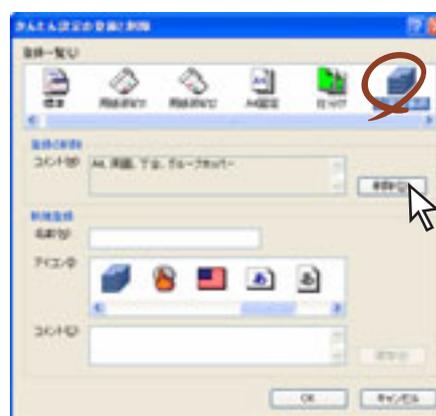
- 2 [登録と削除] をクリックする。

[かんたん設定の登録と削除] ダイアログボックスが表示されます。

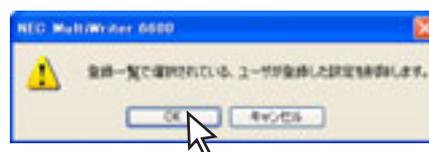
- 3 削除したいアイコンを選択し、[削除] をクリックする。



[プリンターで登録済みの設定] アイコンは削除できません。

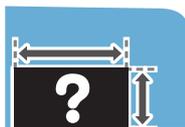


- 4 [OK] をクリックする。



- 5 [登録一覧] リストビューから登録していたアイコンが削除されたことを確認し、[OK] をクリックする。

各シートの右クリックメニューからも [かんたん設定の登録と削除] ダイアログボックス [設定一覧] ダイアログボックスを開くことができます。



定形外用紙サイズ（特殊）の用紙に印刷

- 定形外用紙に印刷する212ページ
- 厚紙用紙に印刷する215ページ

設定方法

定形外用紙に印刷する

定形外用紙（ユーザー定義）の用紙に出力するには、以下の手順を行ってください。
Step 2およびStep 3は、OSごとに説明します。

- Step 1** 定形外用紙をセットする
- Step 2** 定形外用紙（ユーザー定義）サイズを設定する
- Step 3** 定形外用紙（ユーザー定義）サイズで印刷する

重要

- 定形外の用紙は、トレイおよびホッパー 2～4のみにセットすることができます。
- トレー、ホッパー 2～4に定形外の用紙をセットする場合はあらかじめ使用できる用紙の種類、用紙サイズを確認しておいてください。（用紙については付録の「用紙の規格」（412ページ）をご覧ください。）
- プリンターにセットできる用紙サイズは、トレイ：幅100.0～297.0mm、長さ：148.0～432.0mm、ホッパー：幅148.0～297.0mm、長さ：182.0～432.0mmです。

Step1 定形外用紙をセットする

① 用紙をセットする。

<ホッパーに用紙をセットする場合>

手順は、5章の「定形外用紙をホッパーにセットする」（242ページ）を参照してください。

<トレイに用紙をセットする場合>

手順は、5章の「トレイに用紙をセットする」（245ページ）を参照してください。

② 操作パネル上の [トレイ] スイッチで給紙先を「トレイ」にする。

このとき、操作パネルの [トレイ] スイッチで用紙サイズを設定する必要はありません。設定は無効になります。

Step2 定形外用紙（ユーザー定義）サイズを設定する

定形外用紙の用紙サイズをユーザー定義サイズとして、次の手順で設定します。各OSごとに説明します。

チェック

新しい用紙サイズを作成する場合の幅、高さはプリンターにセットできる用紙サイズ内の大きさ（トレイ：幅100.0～297.0mm、長さ：148.0～432.0mm、ホッパー：幅148.0～297.0mm、長さ：182.0～432.0mm）を設定してください。プリンターにセットできる用紙以外の大きさを設定した場合は、その用紙は使用できません。

- Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合、複数の用紙サイズ（ユーザー定義サイズ）を追加することができます。設定できる用紙サイズは、幅：100～597mm、長さ：105～840mmです。詳しくはOSのヘルプを参照してください
- Windows Me、Windows 98、Windows 95の場合、設定できる用紙サイズ（ユーザー定義サイズ）は一種類のみです。設定できる用紙サイズは、幅：100～297mm、長さ：105～431.8mmです。

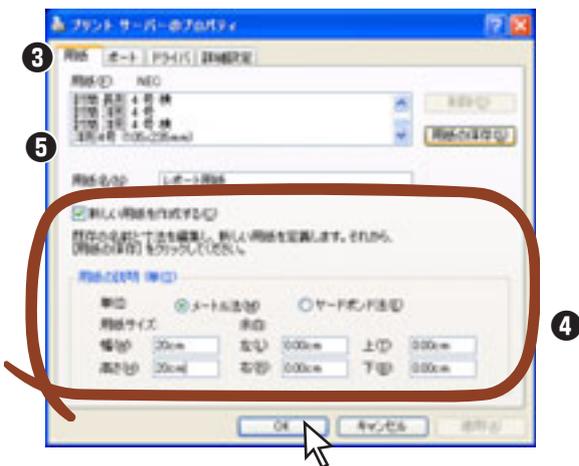
<Windows XP/2000/NT 4.0の場合>

- ① [プリンタとFAX] フォルダー (Windows XP以外の場合は、[プリンタ] フォルダー) を開く。
- ② [ファイル] メニューから [サーバーのプロパティ] をクリックする。
- ③ [用紙] シートを開く。
- ④ [新しい用紙を作成する] をチェックして、[用紙の説明] に任意の用紙名、[寸法] にサイズを入力し、[用紙の保存] をクリックする。

✓チェック

プリンターにセットできる用紙サイズ (幅 100～297mm、高さ 148～432mm) を設定してください。

- ⑤ ボックスに新規作成した用紙名が追加されたことを確認して [閉じる] をクリックする。



Windows XP/2000

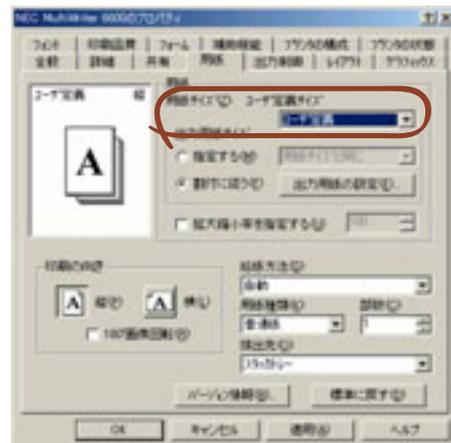


Windows NT 4.0

これで新しい用紙サイズが追加されました。

<Windows Me/98/95の場合>

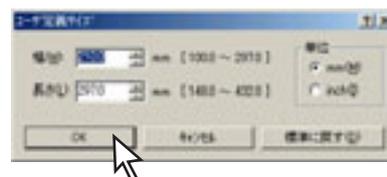
- ① [プリンタ] フォルダーを開く。
- ② 使用するプリンターのアイコンをクリックする。
- ③ [ファイル] メニューの [プロパティ] をクリックする。
[プロパティ] ダイアログボックスが表示されます。
- ④ [用紙] シートを開き、[用紙サイズ] ボックスから [ユーザ定義] を選ぶ。



- ⑤ 用紙の [幅] と [長さ] を入力し、[OK] をクリックする。

✓チェック

プリンターにセットできる用紙サイズ (幅 100～297mm、高さ 148～432mm) を設定してください。



- ⑥ [OK] をクリックし、[プロパティ] ダイアログボックスを閉じる。

これでユーザー定義の用紙サイズが設定できました。

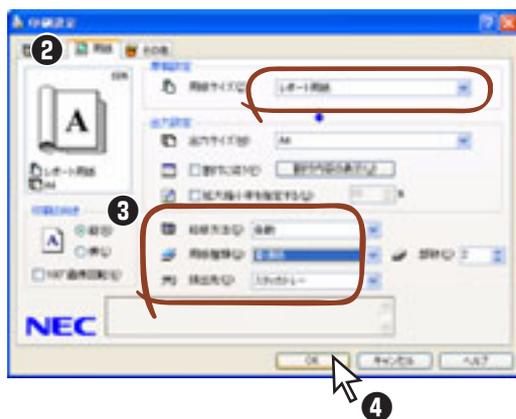
Step3 定形外用紙サイズ（ユーザー定義）で印刷する

Step2で設定した用紙サイズで印刷する手順を説明します。なお、アプリケーションによっては手順が異なる場合があります。

各OSとも、プロパティダイアログボックスはアプリケーションのメニューから開く方法と[プリンタとFAX]フォルダー(Windows XP以外は [プリンタ] フォルダー) から開く方法があります。アプリケーションメニューから開いた場合は、一般的にそのアプリケーションでのみ有効な設定になります。また、[プリンタとFAX] フォルダー (Windows XP以外は、[プリンタ] フォルダー) から開いた場合は、すべてのアプリケーションの基本設定になります。

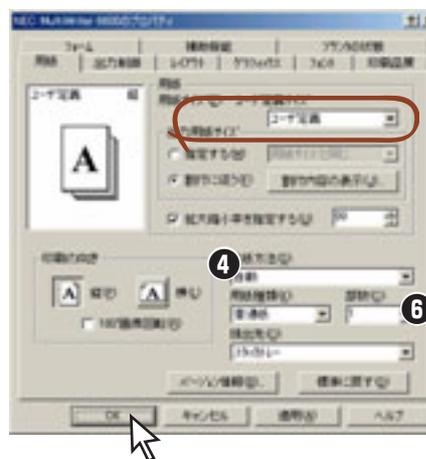
<Windows XP/2000/NT 4.0の場合>

- ① アプリケーションの [ファイル] メニューで [印刷] をクリックし、[印刷] ダイアログボックスを開く。
アプリケーションによっては、この手順後に [印刷] ダイアログボックスの [プロパティ] をクリックします。
- ② [用紙] シートを開き、[用紙サイズ] ボックスから、Step2で追加した用紙サイズを選択する。
- ③ [給紙方法] と [用紙種類] を指定する。
- ④ 印刷部数を指定して、[OK] (または [印刷]) をクリックする。



<Windows Me/98/95の場合>

- ① アプリケーションの [ファイル] メニューで [印刷] をクリックし、[印刷] ダイアログボックスを開く。
- ② [プロパティ] をクリックする。
- ③ [用紙] シートを開き、[用紙サイズ] ボックスから、[ユーザー定義] を選択する。
- ④ [給紙方法] と [用紙種類] を指定し、[OK] をクリックする。
- ⑤ [ユーザー定義サイズ] ダイアログボックスで [幅] と [長さ] を確認し、[OK] をクリックする。
- ⑥ 印刷部数を指定して、[OK] をクリックする。



厚紙に印刷する

用紙カセットまたはトレーに厚紙をセットする場合はあらかじめ設定できる用紙の厚さを確認しておいてください。(用紙については付録の「用紙の規格」(359ページ)をご覧ください。)

ホッパー 1~5では厚紙1(坪量129~150g/m²)まで、トレーでは厚紙2(坪量151~197g/m²)まで、選択できます。使用できる用紙坪量と厚紙の関係は、下表のとおりです。

用紙種類	用紙坪量
普通紙	64~128g/m ²
厚紙1	129~150g/m ²
厚紙2	151~197g/m ²

Step1 厚紙をセットする

手順は、「5章 用紙のセット」(237ページ)を参照してください。

Step2 厚紙設定を有効にする

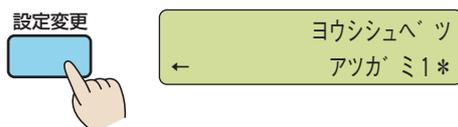
厚紙を使用するために、プリンターの設定を行います。

① メニューモードに入る。

[印刷可]スイッチを押してプリンターをディセレクト状態にし、[メニュー]スイッチを押して“テストメニュー →”を表示させます。

② 操作パネルの [▼] スイッチ、[▶] スイッチ、[設定変更] スイッチを押して、“ヨウシメニュー”の“ヨウシシュベツセツテイ”を選択する。

詳しくは、「メニューツリー」(269~277ページ)をご覧ください。



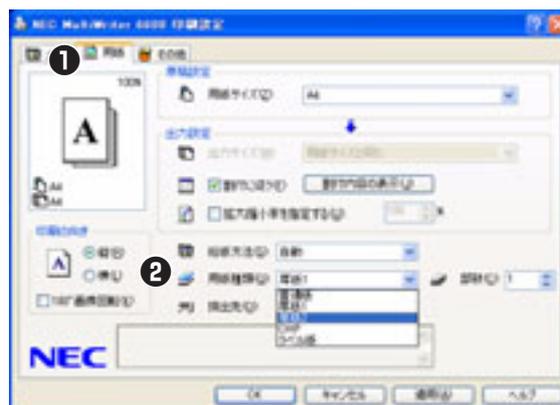
③ [メニュー終了] スイッチを押す。



Step3 厚紙に印刷する

印刷を開始するときに[用紙種類]で[厚紙]を選択します。

- ① プリンタードライバーのプロパティダイアログボックスの[用紙]シートを開く。
- ② 用紙の種類が[厚紙1]または[厚紙2]になっていることを確認する。



- ③ [印刷] ダイアログボックスで印刷範囲、印刷部数を指定し、[OK] をクリックして印刷する。

✓ チェック

双方向通信有効時は、ホッパーおよびトレーにセットされている用紙サイズが設定に反映されます。



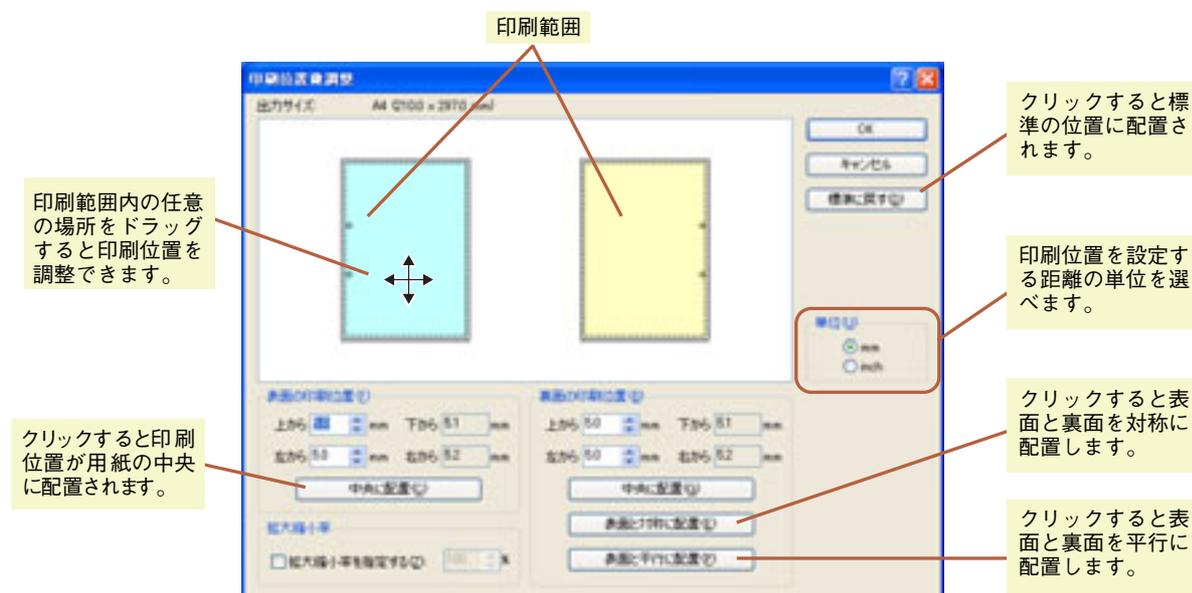
印刷位置の調整

OSごとに以下のダイアログボックスで印刷位置を細かく調整します。

- Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0 : [その他] シートの [拡張機能] ツリービューの [印刷位置微調整] ダイアログボックス
- Windows Me、Windows 98、Windows 95 : [レイアウト] シートの [詳細設定] ダイアログボックス

以下は両面印刷するときのダイアログボックスの例です。片面印刷する場合には片面のみ設定するダイアログボックスが表示されます。

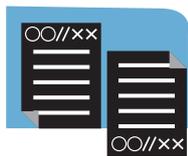
印刷位置は用紙上端と左端からの距離で設定します。下端、右端からの距離はそれに合わせて自動的に変化します（ボックスに入力はできません）。また、このダイアログボックスには入力された数値に応じて変化する印刷範囲のイメージが表示されます。さらにこの印刷範囲のイメージを直接マウスで変化させて「感覚的」に位置調整することも可能です。



[印刷位置微調整] ダイアログボックス (Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0)
[詳細設定] ダイアログボックス (Windows Me、Windows 98、Windows 95)



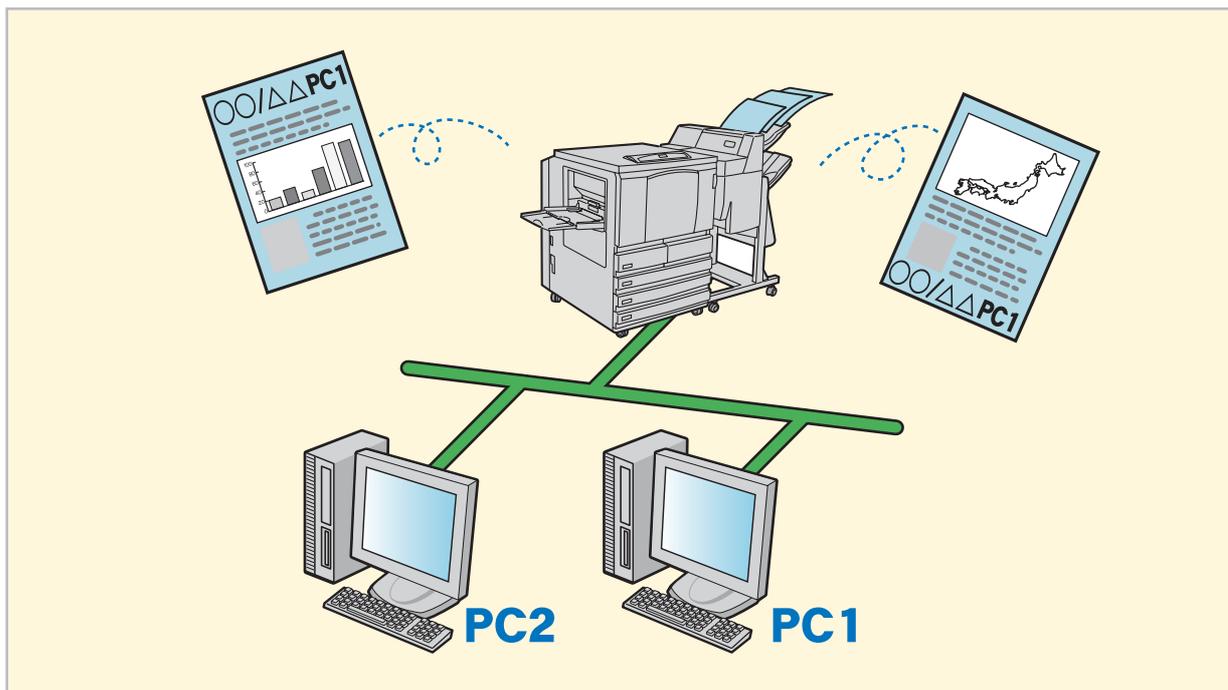
印刷位置微調整の値は、合紙機能には反映されません。



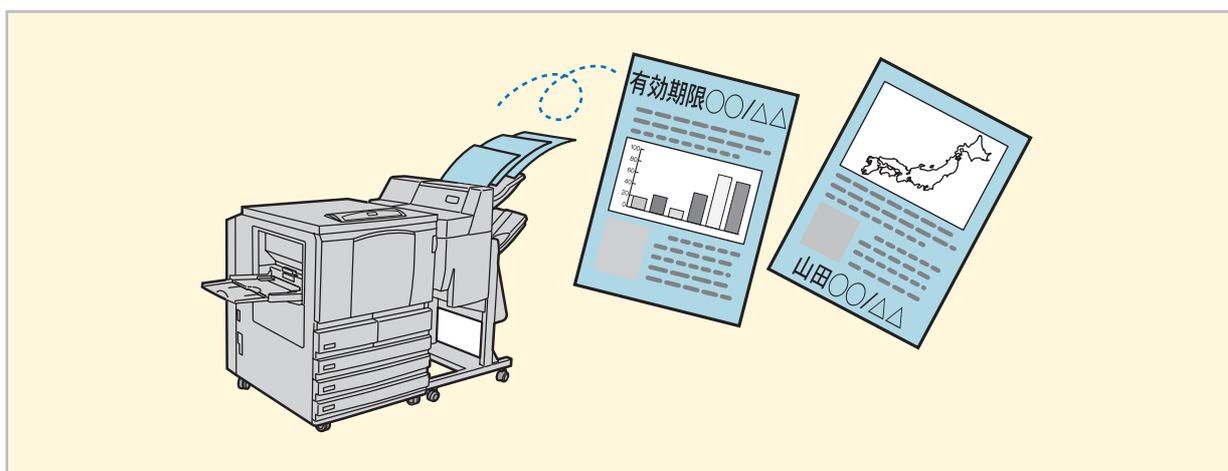
ヘッダー・フッター

ヘッダー/フッター機能は、あらかじめ日付や作成者などを設定して、文章と同時に印刷する機能で、文章の区別、仕分けなど簡単に識別できる便利な機能です。ヘッダー/フッター機能を利用すると、次のような文書管理をすることができます。

- ヘッダー/フッター機能がないアプリケーションから印刷を行う場合にも、「ユーザー名」や「コンピューター名」をヘッダー/フッター位置に印刷することができ、共有のネットワークプリンタなどにおいて「だれが」、「どこから」印刷したものを容易に判別できて、印刷元を明確化させることができます。



- 「文字列（例：有効期限XXXXX など）」、「日付」を設定して印刷することで印刷ドキュメントの管理・有効性を高めることができます。



設定方法

- 設定は次の手順で行
 - Step 1** ヘッダー・フッター機能を有効にする
 - Step 2** 位置と印刷項目を選択する
 - Step 3** ヘッダー・フッターに任意の文字列を入力する

Step 1 ヘッダー・フッター機能を有効にする

<Windows XP/2000/NT 4.0の場合>

- 1** Windows XP、Windows 2000は[印刷設定]ダイアログボックス、Windows NT 4.0は[ドキュメントの既定値]ダイアログボックスの[メイン]シートを開く。
- 2** 左側の[機能選択]バーから[ヘッダー/フッター]ボタンを選択する。
- 3** [ヘッダー/フッター]の[ヘッダー/フッターを印刷する]をチェックする。



<Windows Me/98/95の場合>

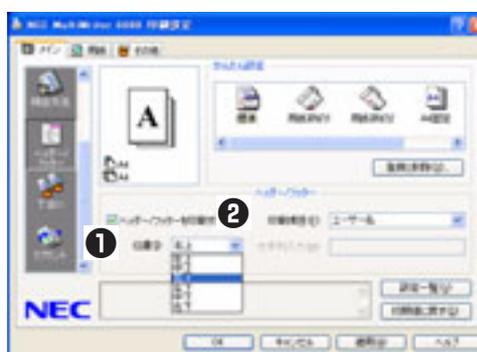
- 1** [プロパティ]ダイアログボックスの[レイアウト]シートを開く。
- 2** [ヘッダー/フッターを印刷する]をチェックする。



Step 2 位置と印刷項目を選択する

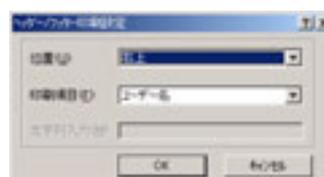
<Windows XP/2000/NT 4.0の場合>

- 1** [位置]からヘッダー/フッターを印刷する位置を選択する。
- 2** [印刷項目]からヘッダー/フッターに印刷する項目を選択する。



<Windows Me/98/95の場合>

- 1** [レイアウト]シートの[ヘッダー/フッター印刷]ボタンをクリックする。
[ヘッダー/フッター印刷設定]ダイアログボックスが表示されます。
- 2** [位置]からヘッダー/フッターを印刷する位置を選択する。
- 3** [印刷項目]からヘッダー/フッターに印刷する項目を選択する。



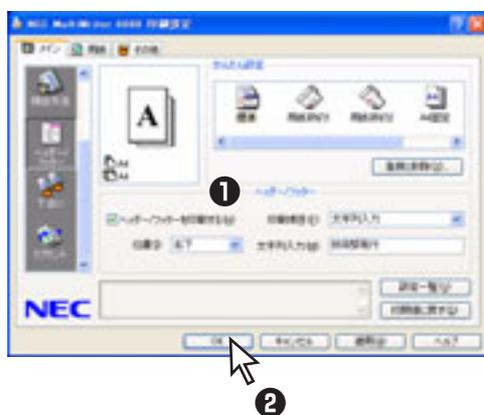
ヘッダー/フッターとして印刷できる項目は、「ユーザー名」、「コンピュータ名」、「日付」、「時刻」、「日付/時刻」、「ドキュメント名」、「ページ番号」もしくは任意の文字列です。任意の文字列を印刷する場合は、次ページのStep 3の手順に進んでください。

Step 3 ヘッダー・フッターに任意の文字列を入力する

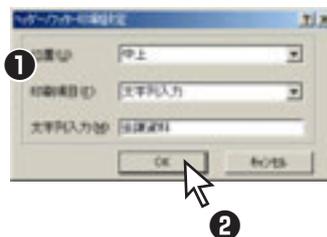
- ① [印刷項目]ボックスから[文字列入力]選択し、[文字列入力]ボックスに印刷する文字列を入力する。

- 入力できる文字列は、Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000では全角文字、半角文字共に64文字までです。Windows Me、Windows 98、Windows 95では全角文字で最大32文字、半角文字で最大64文字までです。
- アプリケーションの印刷プロパティから [ヘッダー / フッター] を設定した場合、アプリケーションが開いている間は設定が保持されます。
- 文字サイズは、ゴシック10.5pt固定になります。

<Windows XP/2000/NT 4.0の場合>



<Windows Me/98/95の場合>



- ② [OK]をクリックする。

Windows Me、Windows 98、Windows 95の場合は、[ヘッダー / フッター印刷設定]ダイアログの[OK]をクリックし、[レイアウト]シートの[OK]をクリックします。

✓ チェック

両面印刷、複数ページレイアウト時でもヘッダー / フッターは設定できます。ただし、その場合は論理ページ毎にヘッダー / フッターが印刷されます。



ユーザー名を表示する

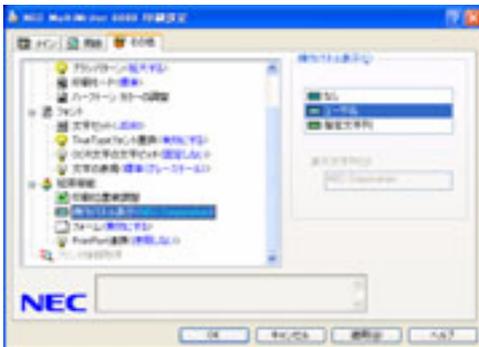
プリンターがデータを受信中、処理中、印刷中に操作パネルのディスプレイ（下段）にユーザー名または任意の文字を表示する機能です。Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0、Windows Me、Windows 98、Windows 95でご利用になれます。

インサッチュウ
ヤマダ

設定方法

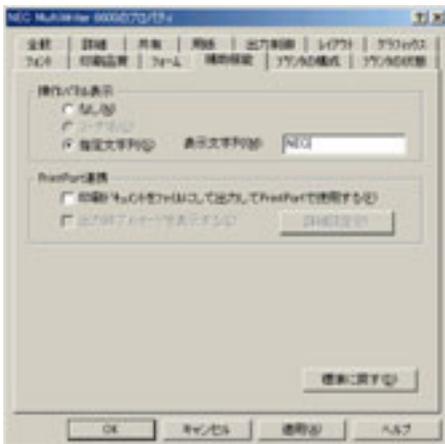
<Windows XP/2000/NT 4.0の場合>

- 1 Windows XP/2000は[印刷設定]ダイアログボックス、Windows NT 4.0は[ドキュメントの既定値]ダイアログボックスの[その他]シートを開く。
- 2 [その他]シートで [操作パネル表示] を選択する。



<Windows Me/98/95の場合>

- 1 [プロパティ]ダイアログボックスの[補助機能]シートを開く。
- 2 [操作パネル表示]を選択する。



- 3 [OK]をクリックする。

[操作パネル表示] について

- [なし]
ディスプレイには何も表示されません。
- [ユーザ名]
ネットワーク上にログインしたときのユーザー名がディスプレイに表示されます。[ユーザ名] を選ぶと [表示文字列] テキストボックスでユーザー名が確認できます。
- [指定文字列]
[表示文字列] テキストボックスに入力された文字列（半角で16文字まで）が表示されます。入力できる文字は次の英数カナ文字です。

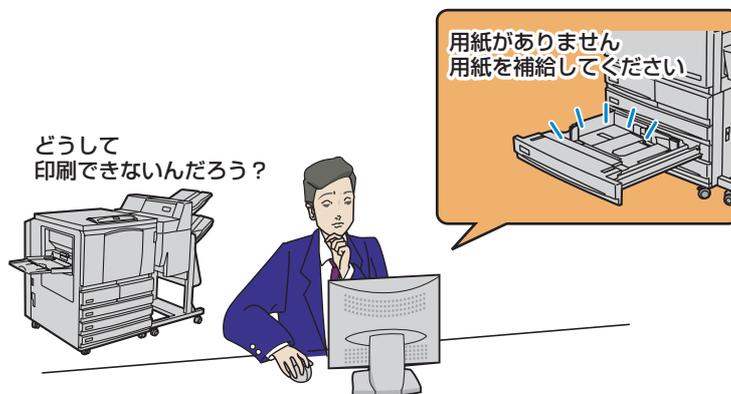
ス	ア	エ	ス	!	#	\$	%	&	'	()	=
				"	^			@	{	[+	;
*	:	}]	<	,	>	.	?	/			
-												
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9			
A	B	C	D	E	F	G	H	I	J			
K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T			
U	V	W	X	Y	Z							
a	b	c	d	e	f	g	h	i	j			
k	l	m	n	o	p	q	r	s	t			
u	v	w	x	y	z							
ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ			
サ	シ	ス	セ	ソ	タ	チ	ツ	テ	ト			
ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ			
マ	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ユ	ヨ	ラ	リ			
ル	レ	ロ	ワ	ヲ	ン	ア	イ	ウ	エ			
オ	カ	キ	ク	ケ	コ							
、	。	・										

チェック

Windows Me、Windows 98、Windows 95でユーザーを作成しないで使用している場合、ユーザー名を選択することはできません。



プリンタステータスウィンドウ



プリンタステータスウィンドウは印刷の進行状況やプリンターの状態を画面によるメッセージで通知します。

通常プリンターが印刷を開始したり、印刷中にエラーが発生したりするとプリンタステータスウィンドウが自動的に起動します。設定により画面上にアイコンや下のようなウィンドウを表示することができます。手動で起動する方法は次の3種類です。

- スタートメニューから起動する
- タスクバーのアイコンから起動する

また、印刷の中止などの指示もこのウィンドウから行うことができます。

メニュー&ツールバー

送信中ドキュメントを中止したり、リプリント機能、ウォームアップ開始機能が利用できます。ツールバーのボタンはメニューの項目をアイコン化したものです。

プリンター名

プリンターに付けられた名前が表示されます。ここに表示されるのは[プリンタ]フォルダーで設定した名前です。



ステータス情報エリア

アイコンとメッセージでプリンターの状態などを表示します。

ステータスバー

プリンターの機種名とそのプリンターが接続されているポート名またはネットワークパス名を表示します。メニューを選択しているときはメニューの情報が表示されます。

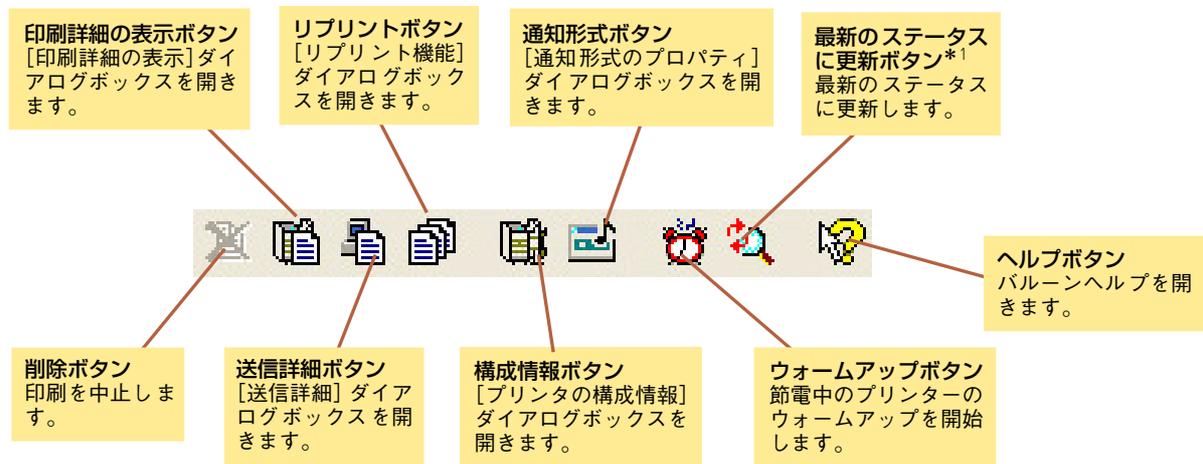
チェック

プリンタステータスウィンドウを使用するには、あらかじめPrintAgentがインストールされている必要があります。PrintAgentはWindows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0、Windows Me、Windows 98、Windows 95で利用できます。プリンタードライバーのみをインストールしている場合は利用できません。

ツールバー

プリンタステータスウィンドウには、次のような機能があります。それぞれの機能はツールバーのボタンをクリックして設定、または実行できます。

また常に情報取得をするか、ウィンドウ表示するかどうかなどを選択できます。



*1 初期設定では印刷中以外はプリンタの状態を監視しないことになっています。プリンタの最新の状態を知るためには「最新のステータスに更新」ボタンをクリックしてください。常にプリンタの状態を取得できるようにするには、次ページの「通知形式を変更する」をご覧ください。

送信中のドキュメントの印刷を中止する

「送信中ドキュメント情報」に表示されているドキュメントの印刷を中止する機能です。
[削除] ボタンをクリックします。

プリンタの構成情報を見る



プリンタの構成情報（給紙構成、オプション、メモリー）を確認するダイアログボックスです。

このダイアログボックスを表示させるには「構成情報」ボタンをクリックするか、「[オプション] メニューの [プリンタの構成情報]」を選択します。ただし、常に最新の情報を取得する設定になっていないと、このダイアログボックスの構成情報と実際の構成情報が一致しない場合があります。

最新の情報に更新するにはツールバーの「最新のステータスに更新」ボタンをクリックするか、「[オプション] メニューの [最新のステータスに更新]」を選択してください。

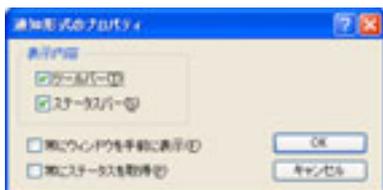
常に最新の情報を取得したい場合は「通知形式のプロパティ」ダイアログボックスで「常にステータスを取得」をチェックしてください。「通知形式のプロパティ」ダイアログボックスの開き方については次ページの「通知形式を変更する」を参照してください。

✓チェック

プリンターとコンピューターで双方向通信機能を無効に設定しているときは、各OSごとに以下のダイアログボックスの「プリンタの構成」の内容が表示されます。

- Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000 : [プリンタのプロパティ] ダイアログボックス
- Windows NT 4.0 : [プロパティ] ダイアログボックス
- Windows Me、Windows 98、Windows 95 : [プロパティ] ダイアログボックス

通知形式を変更する



プリンタステータスウィンドウの表示内容を選択します。必要とする項目だけを表示させることで、ウィンドウをコンパクトにすることができます。また、常にステータスを取得するかどうかなどの設定ができます。

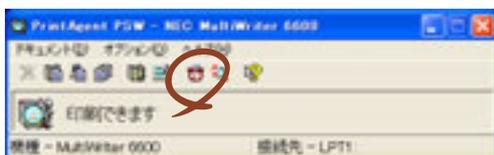
このダイアログボックスを表示させるためには、[通知形式] ボタンをクリックするか [オプション] メニューの [通知形式] を選択します。

✓チェック

[常にステータスを取得] について

- [常にステータスを取得] をチェックすると印刷中以外でもプリンターの状態を常に監視します。
- ネットワーク共有プリンターの場合は、サーバーで設定してください。
Windows XPの場合、アカウントの種類が [コンピュータの管理者] であるユーザーのみが設定を変更できます。
Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合、Administrators権限のユーザーのみが設定を変更できます。

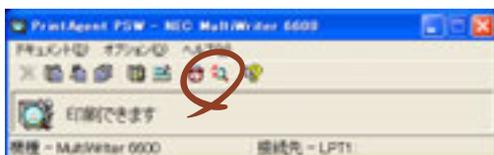
ウォームアップを行う



[ウォームアップ開始] ボタンをクリックするか [オプション] メニューの [ウォームアップ開始] を選択すると節電状態のプリンタのウォームアップを開始します。通常はデータ受信とともにウォームアップを開始しますが印刷前にあらかじめウォームアップを開始させておくと印刷までの時間が早くなります。

なお、節電機能のON/OFFと節電状態に入るまでの時間はプリンターの操作パネルによるメニューモードで設定できます。

最新のステータスに更新する



初期設定では、印刷していない時はプリンターの状態を定期的に監視していません。最新のステータスを取得するには [最新のステータスに更新] ボタンをクリックするか、[オプション] メニューの [最新のステータスに更新] を選択してください。

リプリント機能を使う



このダイアログボックスは [リプリント] ボタンをクリックするか、[ドキュメント] メニューの [リプリント機能] を選択すると表示されます。

リプリント機能を利用すると一度印刷したデータであればアプリケーションから再び印刷を実行することなく、プリンタステータスウィンドウのダイアログボックスから直接再印刷（リプリント）できるようになります。

PrintAgentのプロパティで [リプリント機能を提供する] にチェックが付いていることを確認してください。



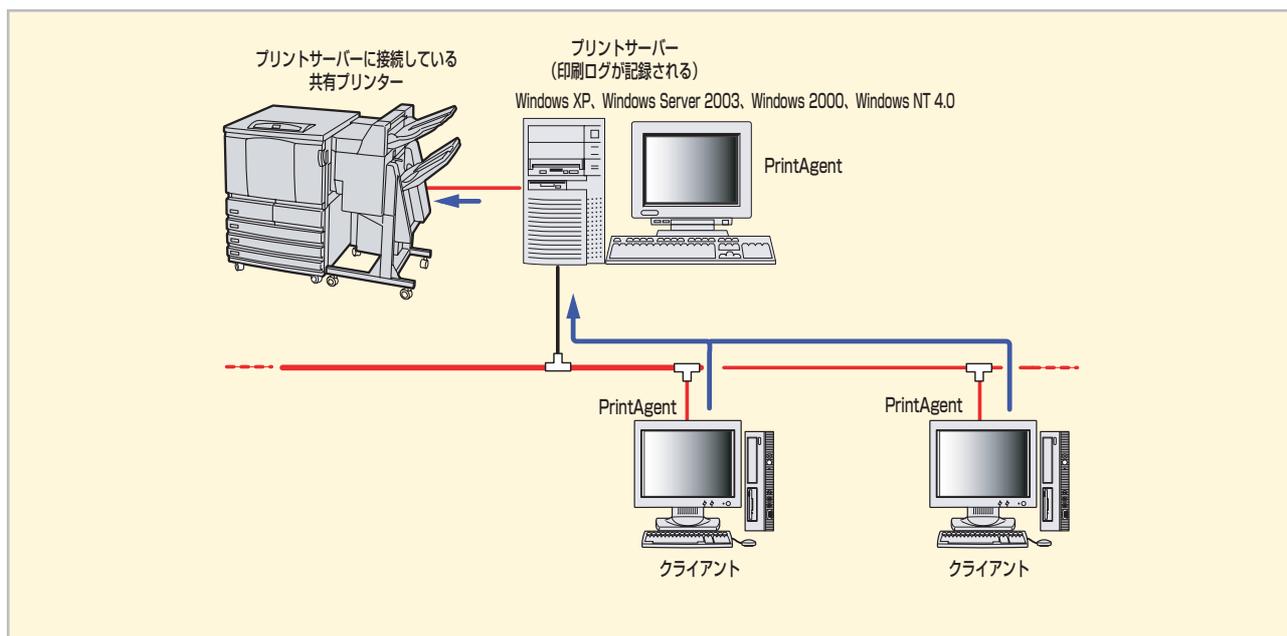
PrintAgentによる印刷ログの出力

PrintAgentがインストールされたプリントサーバーで管理されているプリンターが、どのくらい印刷したかを確認できるように、印刷履歴を残すことができる機能です。本機能はPrintAgentの機能で、Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000とWindows NT 4.0に対応しています。

この機能を利用するにはPrintAgentがインストールされたプリントサーバーとMultiWriter 6600が以下のいずれかの形態で接続されている必要があります。

ローカル接続

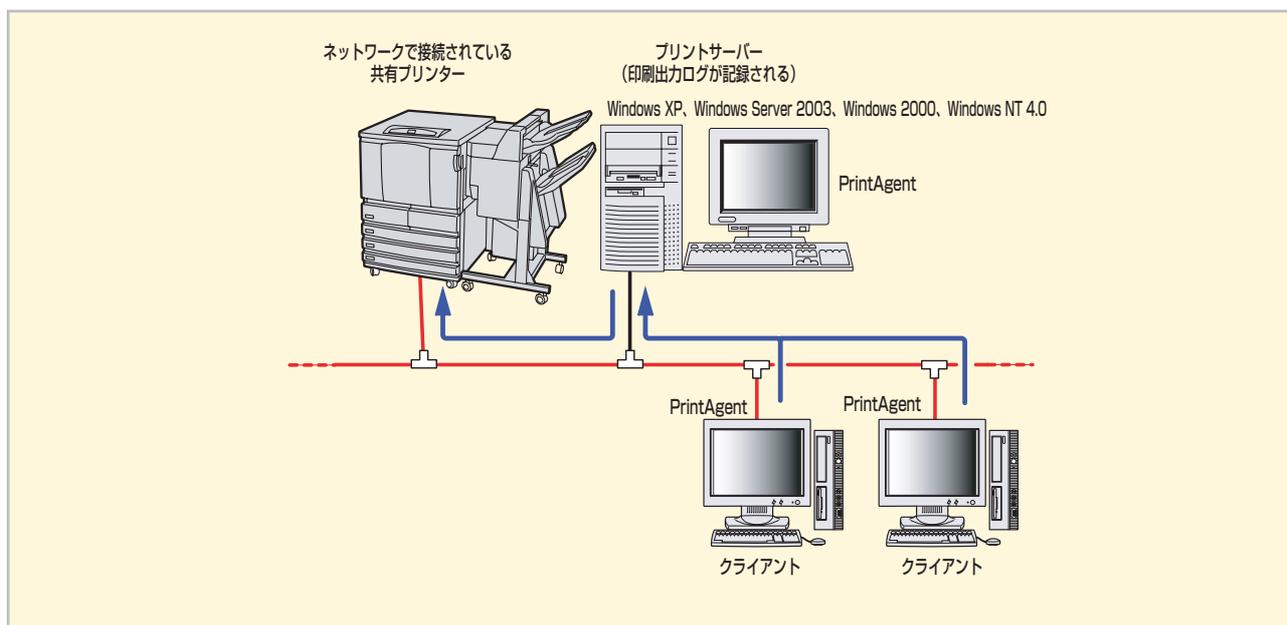
プリントサーバーが、直接接続されているMultiWriter 6600を共有プリンターに設定している例です。



ローカル接続されたプリンターの共有

ネットワーク接続

プリントサーバーが、ネットワークに接続されているMultiWriter 6600を共有プリンターに設定している例です。



ネットワークに直接接続されたプリンターの共有

設定方法

✓チェック

この設定が行えるのは以下の場合のみです。

- プリントサーバーがWindows XPの場合、アカウントの種類が「コンピュータの管理者」である。
- プリントサーバーがWindows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合、Administratorsの権限がある。

- 1 印刷ログ出力機能を設定する
- 2 印刷ログファイルを出力する

1 印刷ログ出力機能を設定する

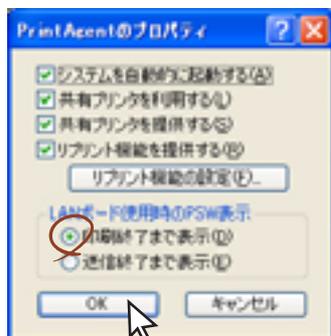
- 1 PrintAgentのプロパティを開く。

「PrintAgent」ツールバーの設定ボタンメニュー、または「スタート」メニューから「プログラム」を選び、「MultiWriter 6600」の「PrintAgentシステムメニュー」から開きます。

- 2 「LANボード使用時のPSW表示」を「印刷終了まで表示」を選び、「OK」をクリックする。

LANボード接続されているプリンターを共有している場合のみ、「PrintAgentのプロパティ」ダイアログボックスで設定してください。

この後の手順③以降はOSごとに説明します。

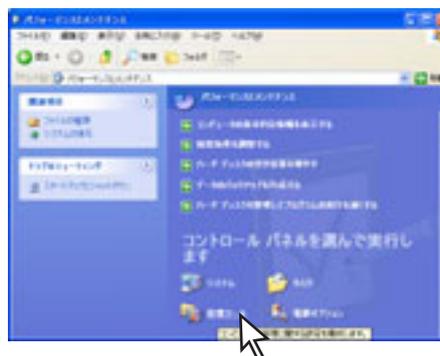


<Windows XPの場合>

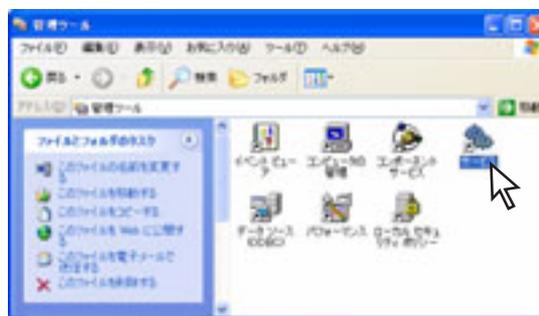
- 3 「コントロールパネル」の「パフォーマンスとメンテナンス」アイコンをダブルクリックする。



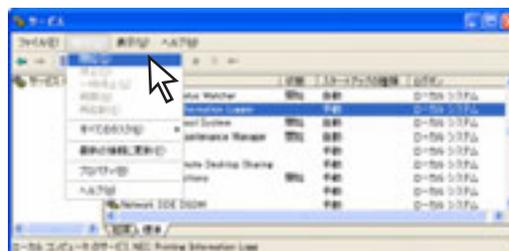
- 4 「管理ツール」アイコンをダブルクリックする。



- 5 「サービス」アイコンをダブルクリックする。

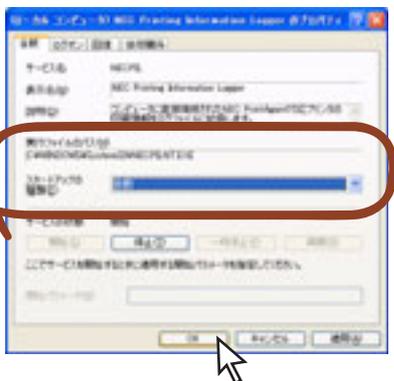


- 6 リストビューから「NEC Printing Information Logger」を選び、「操作」メニューの「開始」をクリックする。



- 7** OS を再起動したときにも自動的にサービスを起動する場合は、下記の手順でサービスの設定をする。

- ①[操作] メニューから [プロパティ] を開く。
- ②[全般] シートの [スタートアップの種類] で [自動] を選び、[OK] をクリックする。

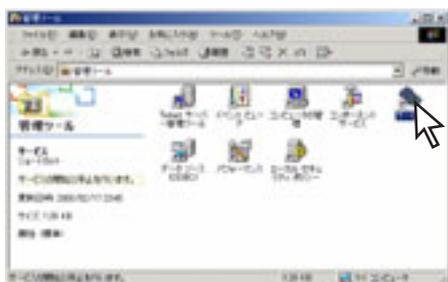


<Windows 2000の場合>

- 3** [コントロールパネル] の [管理ツール] アイコンをダブルクリックする。



- 4** [サービス] アイコンをダブルクリックする。

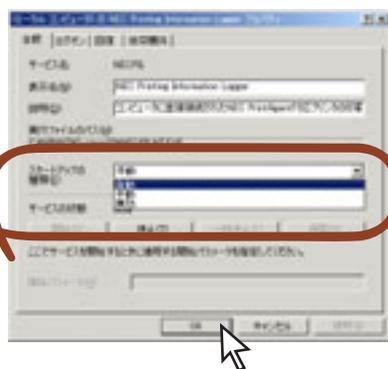


- 5** リストビューから [NEC Printing Information Logger] を選び、[操作] メニューの [開始] をクリックする。



- 6** OS を再起動したときにも自動的にサービスを起動する場合は、下記の手順でサービスの設定をする。

- ①[操作] メニューから [プロパティ] を開く。
- ②[全般] シートの [スタートアップの種類] で [自動] を選び、[OK] をクリックする。



<Windows NT 4.0の場合>

- 3** [コントロールパネル] の [サービス] アイコンをダブルクリックする。

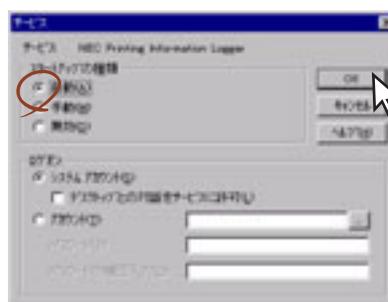


- 4** リストボックスから [NEC Printing Information Logger] を選んで、[開始] をクリックする。



- 5** OS を再起動したときにも自動的にサービスを起動する場合は、下記の手順でサービスの設定をする。

- ①[スタートアップ] をクリックする。
- ②[サービス] ダイアログボックスの [スタートアップの種類] で [自動] を選び、[OK] をクリックする。



2 印刷ログファイルを出力する

印刷ログ出力機能を有効にする設定をして、サービスが起動すると、PrintAgentをインストールしたフォルダーに「LOG」というフォルダーが作成されます。

また、印刷が行われると、そのフォルダー内に「NEC MultiWriter 6600.log」というログファイルが作成され、印刷履歴情報が記録されます。

PrintAgentをインストールした時、インストール先フォルダーをデフォルトのWindowsインストールドライブにインストールし印刷を行ったとき、ログファイルは以下のフォルダーに作成されます。なお、ログファイルのファイルネームはプリンタフォルダーに登録した名前になります。

ログファイル : C:\¥PrintAgent¥LOG¥NEC MultiWriter 6600.log

印刷するたびにログファイルには次のような情報が記録されます。

“プリンタ名”, “ドキュメント名”, “ドキュメント所有者名”, 印刷開始日, 印刷開始時刻, 印刷終了日, 印刷終了時刻, 印刷枚数,

(例) ログファイルの内容

"NEC MultiWriter 6600", "アドレス一覧 - メモ帳", "鴨志田", 2003/09/23, 13:28:46, 2003/09/23, 13:28:58, 2,
"NEC MultiWriter 6600", "「PSW」とは?", "田中", 2003/9/24, 13:29:11, 2003/9/24, 13:29:15, 1,
"NEC MultiWriter 6600", "W2Kprlog", "菅原", 2003/09/25, 13:30:09, 2003/09/25, 13:30:18, 1,
"NEC MultiWriter 6600", "会議資料", "白井", 2003/09/27, 13:30:38, 2003/09/27, 13:30:54, 4,
"NEC MultiWriter 6600", "印刷ログファイル", "井口", 2003/09/28 15:40:38, 2003/09/28, 15:30:44, 4,

✓ チェック

ログファイルについて

- ログファイルはCSV形式で記録されます。このファイル形式は表計算ソフトやデータベースソフトなどで読み込むことができます。
- ログファイルのサイズが1MBを超えると自動的にバックアップされます。バックアップファイルの拡張子は“.log”から“.000”, “.001”...のようになります。
- OSによっては、日付、時間の記録形式が上記の例とは異なる場合があります。



保守情報のメール通知

保守情報のメール通知機能は、設定されたプリンターのトナーが少なくなったときや、定期保守が必要になった時に自動的に電子メールを送信して管理者にプリンターの状態を通知する機能です。

メール通知の設定は、ご利用のコンピューターで [利用可能なプリンタ] としてインストールされたプリンターのみに対し設定できます。ネットワーク共有プリンターには設定できません。

```

To : xxxx@yyy.zzzz
From : 日電太郎<yyyy@zzz.xxxx>
Reply-To : 日電太郎<yyyy@zzz.xxxx>
Cc : zzzz@xxxx.yyyy
Subject : [PA Report]保守情報の自動通知

NEC MultiWriter PrintAgent メール通知
通知概要 : トナーカートリッジの交換
プリンタ名 : NEC MultiWriter 6600
通知アラーム : 76 トナーカートリッジナシ
通知アラーム検出 : 2003/09/20 00:00

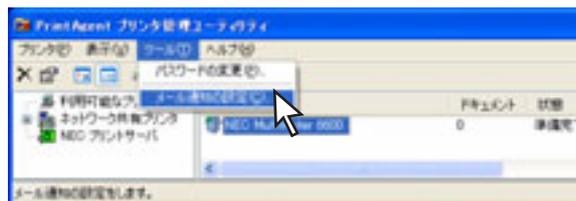
入り口近くの柱の脇にあるプリンターです。
トナーカートリッジを交換してください。
*****
NEC ☆※部
日電太郎
東京都〇×区△1丁目2番3号
□■ビル 1F
03-XXXX-XXXX
*****

```

保守情報の通知例

設定方法

- 1 [PrintAent プリンタ管理ユーティリティ] を起動する。
- 2 パスワードを入力する。
- 3 ツリービューから [利用可能なプリンタ] を選ぶ。
- 4 [ツール] メニューの [メール通知の設定] をクリックする。
[メール通知の設定] ダイアログボックスが表示されます。



5 メール送信情報と、ユーザー情報を入力する。

✓チェック

メール送信情報の項目は必須です。管理者名、メールアドレス、メールサーバー名のすべてが入力されていないと設定が終了できません。

このダイアログボックスの設定は、メール通知設定の共通設定です。このダイアログボックスで各種設定を行っておくと、複数のプリンターのメール通知設定のときに複写でき、便利です。

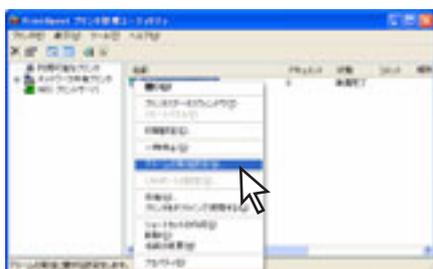


【メール送信情報】シート



【ユーザ情報】シート

6 リストビューから希望のプリンターを右クリックし、メニューの「アラームの発信設定」をクリックする。 [アラームの発信設定] ダイアログボックスが表示されます。



7 [メール通知する] にチェックする。

8 必要に応じて消耗部品の交換と定期保守の設定の通知先情報を入力する。

[通知設定の確認] をクリックして送信されるメールのイメージを確認してください。

✓チェック

- 保守員コール、通報システム設定シートの設定は、お客様はご利用頂けません。設定は行わないでください。
- 通知先のメールアドレスが入力されていないと設定が終了できません。
- 「定期保守通知」は印刷枚数が30万ページに達したら、その都度一回だけ発信されます。



このシートの通知先の他に発信者（プリンター管理者）には、自動的に写しを送信される設定になっていますので、改めてこの[写し]に発信者のメールアドレスを入力する必要はありません。

[デフォルト] をクリックすると [メール通知の設定] ダイアログボックスで入力された通知先、写しのメールアドレスがそれぞれ入力されます。

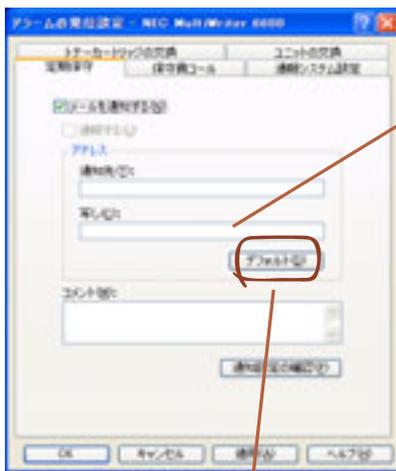
【トナーカートリッジの交換】シート



このシートの通知先の他に発信者（プリンター管理者）には、自動的に写しを送信される設定になっていますので、改めてこの[写し]に発信者のメールアドレスを入力する必要はありません。

[デフォルト] をクリックすると [メール通知の設定] ダイアログボックスで入力された通知先、写しのメールアドレスがそれぞれ入力されます。

【ユニットの交換】シート



このシートの通知先の他に発信者（プリンター管理者）には、自動的に写しが送信される設定になっていますので、改めてこちらの [写し] に発信者のメールアドレスを入力する必要はありません。

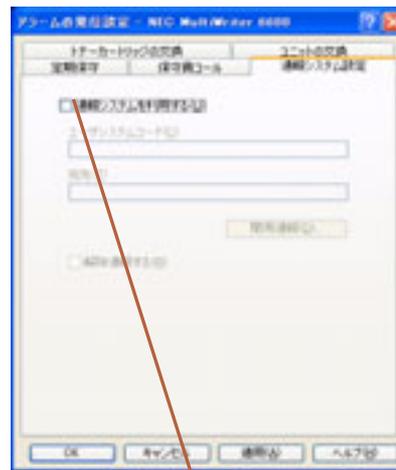
[デフォルト] をクリックすると [メール通知の設定] ダイアログボックスで入力された通知先、写しのメールアドレスがそれぞれ入力されます。

[定期保守] シート



このチェックはしないでください。
[保守員コール] シートは将来の保守サービス用です。お客様の設定は必要ありません。

[保守員コール] シート



このチェックはしないでください。
[通報システム設定] シートは将来の保守サービス用です。お客様の設定は必要ありません

[通報システム設定] シート

メール通知ログファイルの出力

PrintAgentでは、保守情報のメール通知（NEC e-mailメンテナンス）で通知したメールの履歴をログ情報としてプリントサーバーの [PrintAgent] フォルダに出力し、記録させることができます。

メール通知が行われると、PrintAgentをインストールしたフォルダに「LOG」というサブフォルダが作成され、そのサブフォルダ内に「PAMail.log」というログファイルが作成されます。
また、PrintAgentをインストールした時のインストール先ディレクトリを変更せずに（Cドライブ）にインストールした場合、ログファイルは以下のフォルダに作成されます。

ログファイル：C:\¥PrintAgent¥LOG¥PAMail.log

メールを通知するたびにログファイルには次のような情報が記録されます。

通知アラーム検出日時：通知先：写し：プリンター名：通知概要

エラーが検出されメール通知が行われなかった場合には次のような情報が記録されます。

通知アラーム検出日時：通知先：写し：プリンター名：通知概要：エラー情報



プリンタードライバーのバージョンアップ

MultiWriterには、プリンターソフトウェアCD-ROMからとネットワーク上のサーバ-クライアント環境で自動的にクライアントへプリンタードライバーの自動配信を行う機能があります。これにより、プリンタードライバーを更新する手間を大幅に軽減します。

プリンターソフトウェアCD-ROMからの更新

お使いのコンピューターにインストールされているプリンタードライバー（OSに収録されているプリンタードライバーも含む）について、添付のプリンターソフトウェアCD-ROMに収録されているプリンタードライバーのバージョンが新しい場合に、自動的にバージョンアップ（更新）することができます。

動作環境

以下のOSで使用できます。

- Microsoft Windows XP 日本語版
- Microsoft Windows Server 2003 日本語版
- Microsoft Windows 2000 日本語版
- Microsoft Windows NT 4.0 日本語版
- Microsoft Windows Me 日本語版
- Microsoft Windows 98 Second Edition 日本語版
- Microsoft Windows 98 日本語版
- Microsoft Windows 95 日本語版

設定方法



ご使用の前に、起動しているすべてのアプリケーションを終了してください。

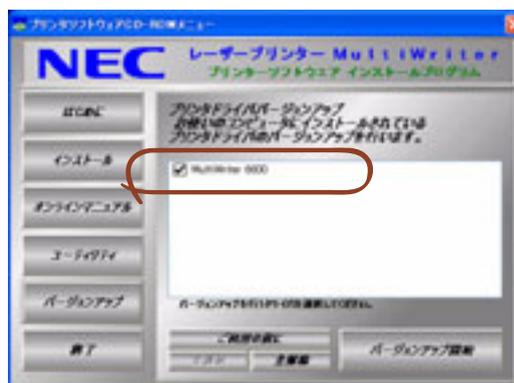
- 1 プリンターソフトウェアCD-ROMをセットし、メニュープログラムを立ち上げる。

お使いのコンピューターによっては、自動的にメニュープログラムが立ち上がらない場合があります。その場合はCD-ROMのルートディレクトリーにある「MWSETUP.exe」を実行してください。

- 2 画面左側の「バージョンアップ」をクリックする。
お使いのコンピューターにインストールされているプリンタードライバーの内、バージョンアップの対象となる製品名が表示されます。

- 3 製品名のチェックボックスをクリックし、バージョンアップを行う製品を選択する。

または「全選択」や「全解除」をクリックすることで、対象製品をすべて選択したり、解除することができます。



4 [バージョンアップ開始] をクリックし、プリンタードライバーをバージョンアップする。

確認メッセージが表示されます。[OK] をクリックするとバージョンアップが開始されます。



バージョンアップが終了すると、終了メッセージが表示されます。

✓ チェック

OSの再起動が必要な場合は、再起動を促すメッセージが表示されます。表示された場合は、再起動を行ってください。再起動しない場合は、正しくプリンタードライバーの更新が行えない場合があります。

使用上の注意事項

- バージョンアップを行えるのはプリンタードライバーのみです。PrintAgentのバージョンアップは行えません。
- OS に添付されているプリンタードライバーをインストールされている場合も自動バージョンアップの対象となります。この場合は、CD-ROMに格納されているプリンタードライバーに置き換わります。
- Windows XP、Windows Server 2003にインストールしようとしている時に、他のユーザーがそのコンピューターにログオンしている場合は、インストールできません。すべてのユーザーをログオフしてからインストールしてください。
- Windows XPでご使用になる場合には、アカウントの種類が [コンピュータの管理者] の権限を持ったユーザーでログオンしてください。
- Windows Server 2003、Windows 2000、またはWindows NT 4.0 でご使用になる場合には、Administratorsの権限を持ったユーザー名でログオンしてください。Administrators権限を持たないユーザー名でログオンした場合にはバージョンアップを行えません。

PrintPort連携機能

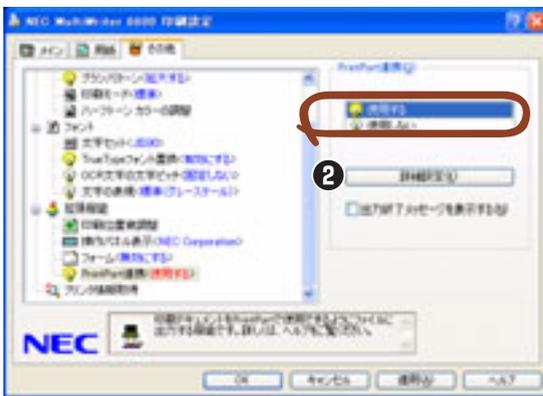
印刷文書をファイルに出力する機能です。出力したファイルはPrintPortのオフライン印刷ツールで各メディアに保存し、PrintPortで使用することができます。Windows XP、Windows Server 2003（ターミナルサービス用は除く）、Windows 2000（ターミナル用は除く）、Windows Me、Windows 98、Windows 95でご利用になれます。

設定方法

① PrintPort連携機能を有効にする。

<Windows XP/2000の場合>

- ① [印刷設定] ダイアログボックスの [メイン] シートを開く。
- ② [その他] シートで [PrintPort 連携] の [使用する] をチェックします。



<Windows Me/98/95の場合>

- ① Windows Me/98/95は [プロパティ] ダイアログボックスの [補助機能] シートを開く。
- ② [PrintPort連携] の [印刷ドキュメントをファイルに出力してPrintPortで使用する] をチェックします。



✓チェック

PrintPort連携について
[出力終了メッセージを表示する]
ファイル出力終了時に、メッセージを表示します。出力したファイル名、格納フォルダー名も表示されます。

② 必要に応じて、[PrintPort連携] の [詳細設定] ダイアログボックスで、出力するファイルのフォルダー名、ファイル名を設定する。

<Windows XP/2000の場合>

[その他] シートの [PrintPort連携] で [詳細設定] をクリックします。



<Windows Me/98/95の場合>

[補助機能] シートの [PrintPort連携] で [詳細設定] をクリックします。



✓チェック

- 出力フォルダー名を入力する際は、ファイルを出力するフォルダーをフルパスで入力してください。出力ファイル名を指定した場合、出力されるファイル名には5桁のシーケンシャルな番号と拡張子（.pm）が自動的に付加されます。
- 出力フォルダー名を指定しない場合、ブートドライブのルートに「MW66_JOB」フォルダーが作成されます。ただし、PrintPortをインストール済みの環境では、PrintPortをインストールした「MW66_JOB」が作成されます。出力ファイル名を指定しない場合は、「YYMMDDxxxxx.pm」（YY：西暦、MM：月、DD：日、xxxxx：5桁のシーケンシャルな番号）が作成されます。

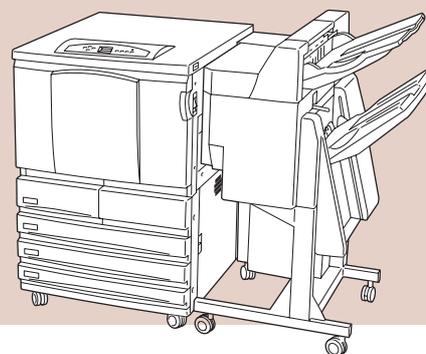
③ [OK] をクリックする。

[PrintPort連携] の [詳細設定] ダイアログボックスを閉じます。

④ [OK] をクリックする。

メモ

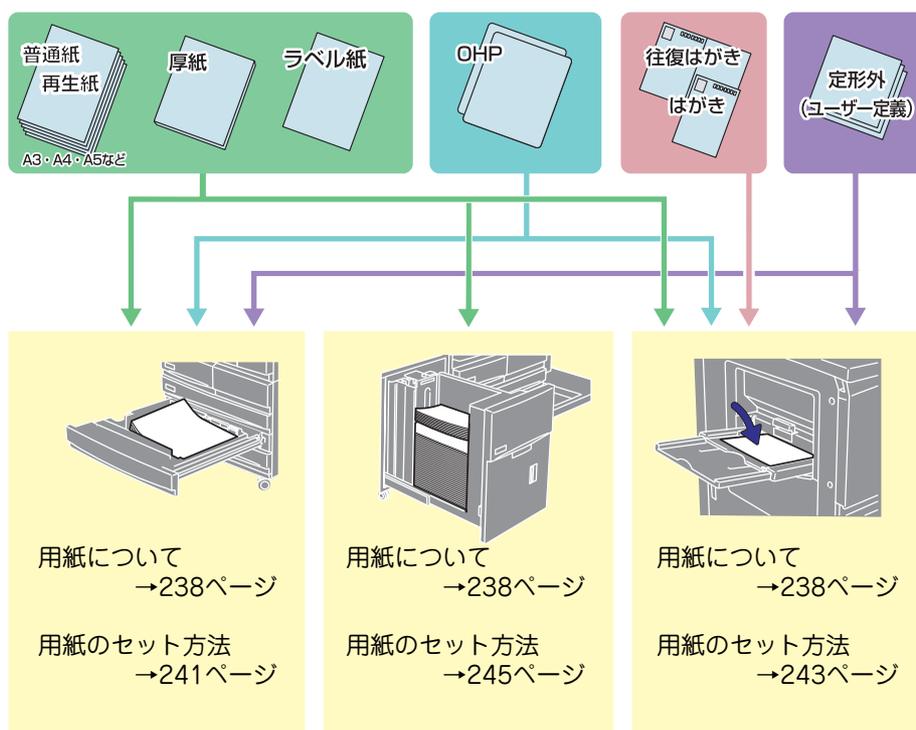
5章 用紙のセット



この章では、MultiWriter 6600で使用できる用紙、用紙のセット方法について説明します。

MultiWriter 6600は豊富な給紙機構（ホッパーおよびトレイ）をもつプリンターです。用途に合わせて使い分けてください。

本プリンターでは大量給紙するのに便利なリレー給紙機能をご利用できます。ホッパー（1～4）、トレイ、ホッパー5（大容量ホッパー）に用紙をセットし印刷中に用紙がなくなると、自動的に同じ用紙サイズがセットされている給紙先に切り替える機能です。設定手順については1章の「リレー給紙の設定」（22ページ）をご覧ください。

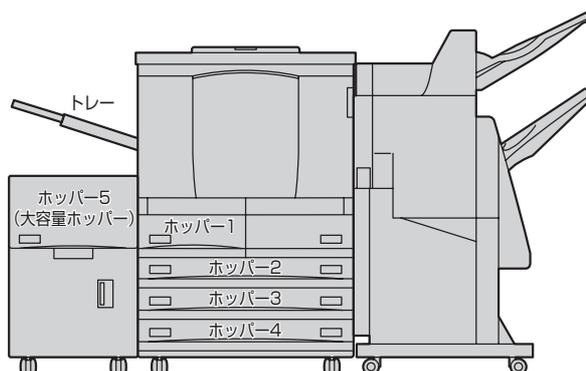


用紙について

ここでは本プリンターで使用できる用紙、用紙のセット方向について説明します。用紙をセットする前に必ずお読みになり、使用できる用紙を確認してから印刷してください。

使用できる用紙

使用できる用紙の種類、サイズ、および枚数は以下の表のとおりです。用紙の規格、印刷範囲については「付録 技術情報」(357ページ)を参照してください。



給紙口	セットできる用紙			両面印刷
	種類	サイズ	枚数*1	
ホッパー1	普通紙*2 (乾式PPC用紙)	A4、B5、レター	1000	○
	厚紙 (~150g/m ²)	A4、B5、レター	—	○
ホッパー2 ・ ホッパー3 ・ ホッパー4	普通紙*2 (乾式PPC用紙)	A3、B4、A4、B5、A5、レター	500	○
	厚紙 (~150g/m ²)	定形外用紙 (148~297mm×182~432mm)	—	○
ホッパー4	OHPフィルム	A4	—	×
	ラベル紙	A4、B4	—	×
ホッパー5 (大容量ホッパー)	普通紙*2 (乾式PPC用紙)	A4、B5、レター	4200	○
	厚紙 (~150g/m ²)	A4、B5、レター	—	○
	ラベル紙	A4	—	×
トレー	普通紙*2 (乾式PPC用紙)	A3、B4、A4、B5、A5、レター	40	×
	厚紙 (~197g/m ²)	定形外用紙 (100~297mm×148~432mm)	—	×
	OHPフィルム	A4	—	×
	ラベル紙	A4、B4	—	×
	はがき	官製はがき、官製往復はがき	—	×

*1 坪量 64.0g/m² (連量 55kg) の用紙を使用した場合です。普通紙以外は用紙厚によりセット枚数が異なります。

*2 坪量 64.0g/m² ~ 128g/m² (連量 55 ~ 110kg) の用紙です。用紙種類の選択については、下表を参照してください。

使用できる用紙坪量とプリンタードライバーの用紙種類の選択の関係は、以下の表のとおりです。

本マニュアルでの用紙分類	用紙坪量目安	プリンタードライバーでの用紙種類	両面印刷
普通紙	64~128g/m ²	普通紙	○
厚紙	129~150g/m ²	厚紙1	○
	150~197g/m ²	厚紙2	×
ラベル紙	—	ラベル紙	×
OHP	—	OHP	×



厚紙1、2と用紙の坪量の関係は、目安です。用紙の種類などにより定着性は変化します。テスト印刷を実施し、定着性を確認してください。

定形外用紙のご使用について

MultilWriter 6600では、定形外サイズの内紙に印刷ができます。

- トレー（標準）
幅：100～297mm × 長さ：148～432mm
- ホッパー 2、ホッパー 3およびホッパー 4
幅：148～297mm × 長さ：182～432mm



- 定形外用紙をご使用になる際は、必ず事前確認を行ってからご使用ください。
- 用紙の縦横比が極端なサイズの内紙では、紙づまりや斜行の原因となる場合があります。
(例) 幅：148mm × 長さ：432mm、幅：297mm × 長さ：148mmなど
目安として、縦横比1：2程度までの内紙をご使用ください。

用紙についての注意事項

用紙をセットする前に以下の注意事項をお読みください。また、はがき、往復はがき、OHPフィルム、ラベル紙、プレ印刷用紙、定形外用紙をセットする際の注意事項については249ページに記載しています。併せてお読みください。

- 次のような用紙への印刷は避けてください。ご使用になると印刷不良、紙づまり、プリンターの故障の原因となるおそれがあります。
 - － 無塵紙
 - － 裏写り防止用の白粉（マイクロパウダー）が塗布された用紙
 - － 熱で変質するインクを使った用紙、変質しやすい用紙
 - － カーボン紙、ノンカーボン紙、感圧紙、感熱紙、酸性紙
 - － ざら紙や繊維質の内紙など、表面が滑らかでない用紙
 - － ミシン目のある用紙
 - － 紙の表面に特殊コーティングした用紙、表面加工したカラー用紙
 - － シワがある、折れている、破れている、湿っている、ぬれている、長期間放置した、カールしている、静電気で密着している、貼り合わせてある、のりが付いているなどの用紙
 - － ステープル針、クリップ、リボン、テープなどが付いている用紙
 - － 熱転写プリンター、インクジェットプリンターで印刷した後の用紙
 - － すでに一度印刷した用紙
- 再生紙、ラベル紙の使用については制限があります。付録の「用紙の規格」（359ページ）を参照してください。
- はがき、往復はがき、OHPフィルム、およびラベル紙の印刷品質は、規格を満たす普通紙の印刷品質より劣る場合があります。
- 吸湿した用紙への印刷は避けてください。ご使用になるとしわの原因となるおそれがあります。しわが発生した場合は、新しい用紙と交換してください。
- 高温・高湿や低温・低湿などの環境条件でプリンターを使用する場合は、常温に比べて用紙が環境の影響を受けやすいため、用紙の保管方法に注意する必要があります。ご使用にならない用紙は、プリンター内に放置せずに梱包時の包装紙やダンボール箱に入れて保管してください。
- 用紙の保管について
用紙の保管について次の点に注意してください。印刷不良、紙づまり、故障の原因となります。
 - － 湿気を避ける。

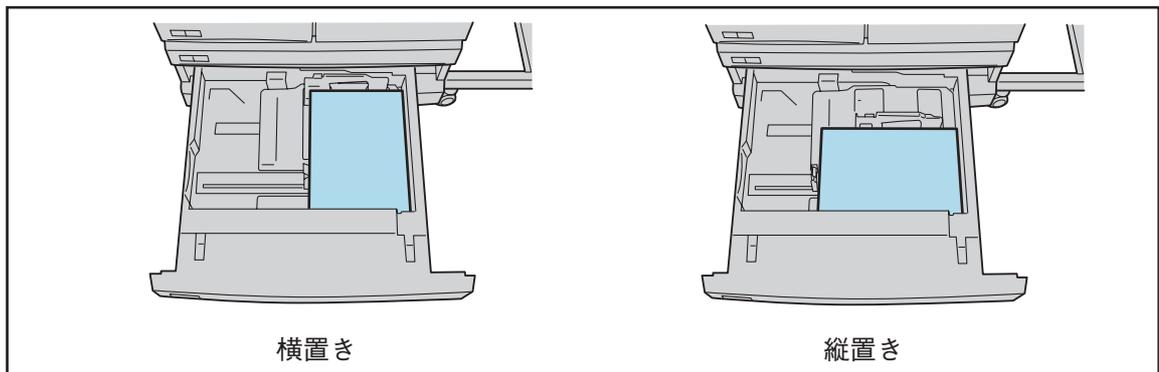
- 使用直前まで開封しない。
- 用紙が変形しないような状態で保管する。
- 保管場所と使用場所との間に環境の差がある場合は、使用場所の環境になじませるような保管をする。

用紙のセット方向

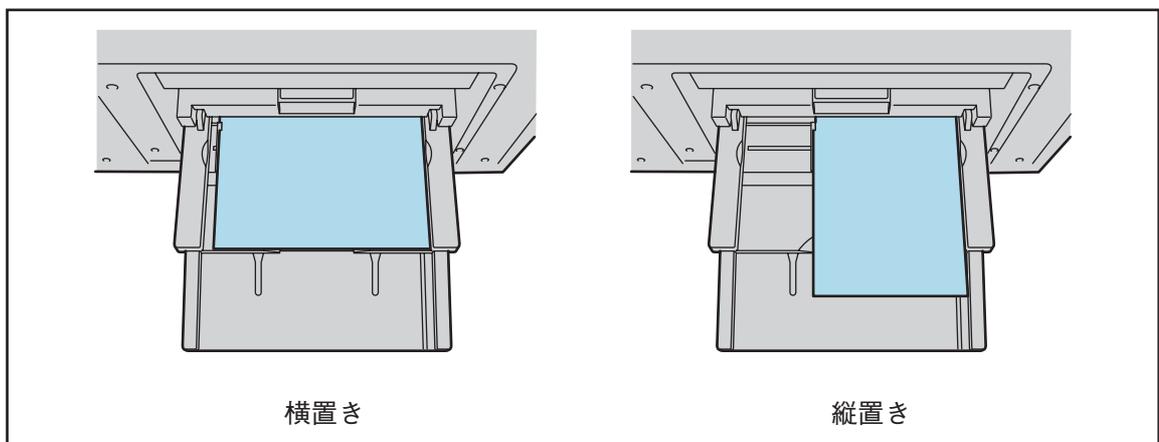
横置きにセットできる用紙サイズは、A4、B5、レターの3種類です。

縦置きにセットできる用紙サイズは、A3、A4、A5、B4、B5、レター、官製はがき、官製往復はがきの8種類です。また、はがき、往復はがきをトレーにセットする場合は、あらかじめ「用紙をセットする時の注意」の「はがき、往復はがき」(249ページ)をお読みください。

給紙先/用紙サイズ		A3	A4		A5		B4	B5		レター		はがき	往復はがき
		タテ	ヨコ	タテ	ヨコ	タテ	タテ	ヨコ	タテ	ヨコ	タテ	ヨコ	タテ
標準ホッパー	1	×	○	×	×	×	×	○	×	○	×	×	×
	2	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	×
	3	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	×
	4	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	×
大容量ホッパー	5	×	○	×	×	×	×	○	×	○	×	×	×
トレー		○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○



ホッパー部



トレー部

ホッパーに用紙をセットする

ホッパーから印刷するには各ホッパーに用紙をセットします。用紙はホッパー 1には坪量64.0g/m² (連量55kg) の普通紙なら1000枚まで、ホッパー 2~4には坪量64.0g/m² (連量55kg) の普通紙なら各500枚までセットできます。各ホッパーで使用できる用紙については、「用紙について」(238ページ)をご覧ください。

重要

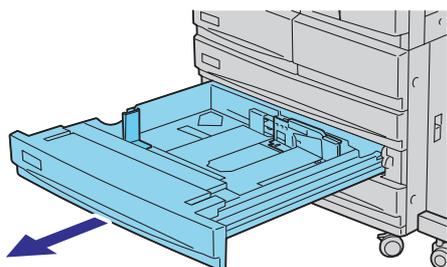
ホッパーにセットする用紙は、両面とも印刷されていない用紙をセットしてください。すでに一度印刷された用紙をホッパーにセットしないでください。一度印刷された用紙をセットして、その用紙の裏に印刷すると、印刷不良や給紙できなったり、紙づまりを起こすばかりでなく、プリンターの故障の原因となる場合があります。

ここでは、例としてホッパー 3に用紙をセットするときの手順を示しますが、ホッパー 2~4に用紙をセットする場合も同じです。ホッパー 1に用紙をセットする場合はエンドガイドはありませんので、用紙の先端を押し当ててセットしてください。

- ① ホッパーの取っ手を引いて、手前に止まるところまで引き出す。

注意

ホッパーを引き出すときはゆっくりと引き出してください。ホッパーを勢いよく引き出すとひざなど身体にぶつかりケガの原因となるおそれがあります。

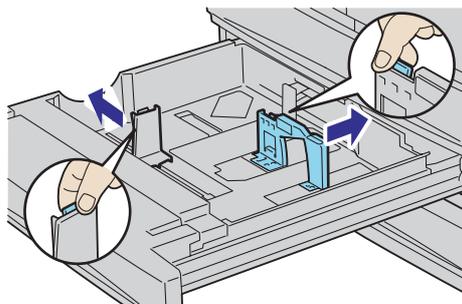


- ② サイドガイドとエンドガイドのつまみをつまんで、セットする用紙サイズに広げる。

用紙サイズ的位置は、ホッパーの底面に表示されています。

チェック

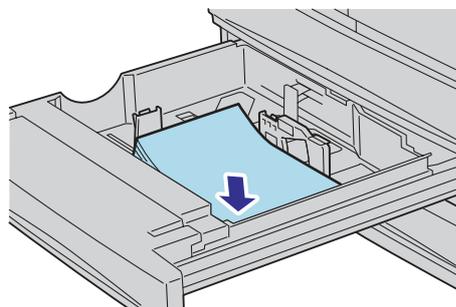
サイドガイドとエンドガイドを正しく合わせないと、紙づまりの原因になります。



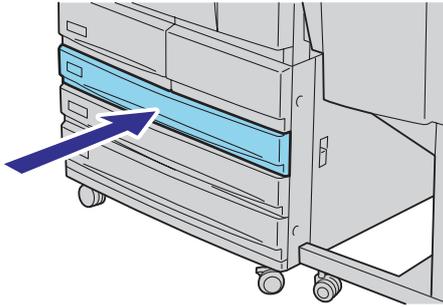
- ③ 用紙の先端をそろえ、印刷したい面を上にしてホッパーの右手前に合わせてセットする。

チェック

- 包みから出した新しい用紙はさばかないでください。用紙をさばくと静電気が起きて紙づまりの原因になることがあります。
- 用紙上限線を超えないように用紙を入れてください。紙づまりの原因となります。
- 1つのホッパー内にサイズや質の異なる用紙をセットしないでください。紙づまりの原因になります。



- ④ ホッパーを奥に突き当たるまでゆっくりと押し込む。



✓ チェック

普通紙以外を使用する際は、メニューモードの「ヨウシメニュー」—「ヨウシシュベツ」でセットした用紙の種別を設定する必要があります。詳細は269～277ページのメニューツリーを参照してください。

残った用紙の保管方法

残った用紙は変質を防ぐため、次のことに注意して正しく保管してください。

- 用紙は包装してあった紙で包み直してください。
- キャビネットの中など直射日光の当たらない、湿気の少ない場所に保管してください。
- 用紙はしわ、折れ、カールなど、癖がつかないように平らな場所に水平にして保管してください。

トレーに用紙をセットする

トレーには普通紙やラベル紙をはじめ、厚紙、はがき、往復はがき、OHPフィルム、定形外用紙をセットすることができます。

トレーの容量は坪量64.0g/m²（連量55kg）の普通紙で約40枚です。ラベル紙、はがき、往復はがき、OHPフィルムは約20枚までセットすることができます。

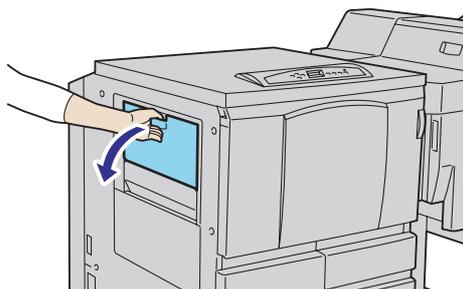
重要

- トレーに用紙以外の物や手を載せないでください。トレーが破損するおそれがあります。
- トレーから印刷しないときは、必ずトレーを閉じてご使用ください。ほこりや異物が入りやすくなり、プリンターの破損や故障のおそれがあります。
- トレーにセットする用紙は両面とも印刷されていない用紙をセットしてください。すでに一度印刷された用紙をトレーにセットしないでください。一度印刷された用紙をセットして、その用紙の裏に印刷すると、印刷不良や給紙できなかったり、紙づまりを起こすばかりでなく、プリンターの故障の原因となる場合があります。

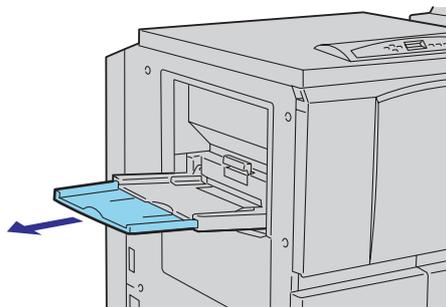
チェック

普通紙以外を使用する際は、メニューモードの「ヨウシメニュー」－「ヨウシシュベツ」－「トレー ヨウシシュベツ」でそれぞれセットした用紙の種別に設定する必要があります。詳細は「メニューツリー」（269ページ）を参照してください。

① プリンターの左側面の取っ手を持ち、トレーを開く。



② セットする用紙のサイズに応じて延長トレーを延ばす。



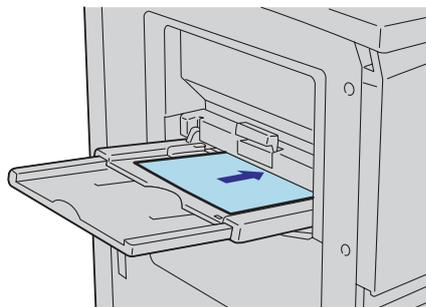
③ 用紙の端をそろえ、印刷したい面を上にして、トレーの手前に合わせ、奥に差し込む。

チェック

トレーから給紙する場合は、用紙の間に空気が入るように、紙をさばいてください。これにより複数枚の紙送り（重送）や紙づまりなどの発生を防ぎます。

重要

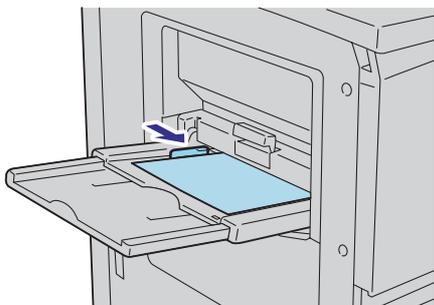
往復はがきは、折り返しや折り目がついているものを使用しないでください。折れた状態でトレーにセットすると、紙づまりの原因となるだけでなく、プリンターが故障するおそれがあります。



4 セットした用紙にサイドガイドを軽く当てる。

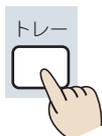
✓チェック

- サイドガイドを正しく合わせないと、紙づまりの原因になります。
- 用紙上限の線を超える量の用紙をセットしないでください。紙づまりの原因になります。
- トレーにセットできる用紙の枚数は 40 枚までです。



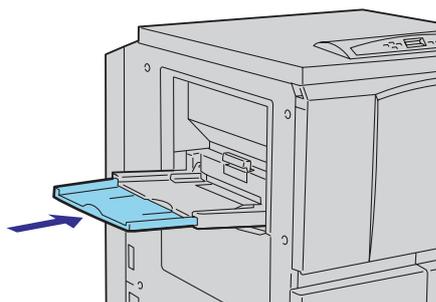
5 操作パネルで、セットした用紙サイズを設定する。

操作パネルの [印刷可] スイッチを押してから、[トレー] スイッチを押して、用紙サイズを設定します (操作パネルの詳細は、253ページ参照)。



- [トレー] スイッチを1回押すごとに用紙サイズは以下のように変わります。
「A4タテ→A4ヨコ→A5タテ→B4タテ→B5タテ→B5ヨコ→LTタテ→LTヨコ→ハガキ→ハガキ2→A3タテ」
- Windows環境で定形外サイズを印刷する場合、操作パネルで用紙サイズを設定する必要はありません。

6 印刷が終了したら、引き出した延長トレーとトレーを元に戻す。



大容量ホッパーに用紙をセットする

ホッパー 5にはA4、B5、レターをセットすることができ、坪量64.0g/m²（連量55kg）の普通紙なら4,200枚までセットできます。

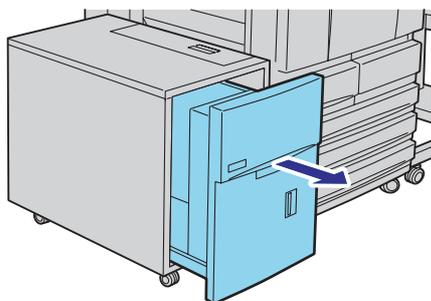
重要

ホッパーにセットする用紙は、両面とも印刷されていない用紙をセットしてください。すでに一度印刷された用紙をホッパーにセットしないでください。一度印刷された用紙をセットして、その用紙の裏に印刷すると、印刷不良や給紙できなかったり、紙づまりを起こすばかりでなく、プリンターの故障の原因となる場合があります。

- ① 大容量ホッパーの取っ手を持って、手前に止まる場所まで引き出す。

注意

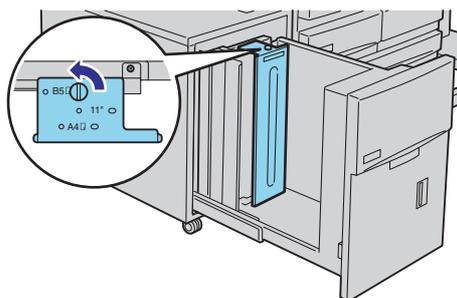
大容量ホッパーを引き出すときはゆっくりと引き出してください。ホッパーを勢いよく引き出すと、ひざなど身体にぶつかりケガの原因となるおそれがあります。



- ② ノブスクリューを外してサイドガイドを外し、セットする用紙サイズに合わせてボトムプレート上の各用紙サイズ穴に差し込み合わせて、ノブスクリューで固定する。

チェック

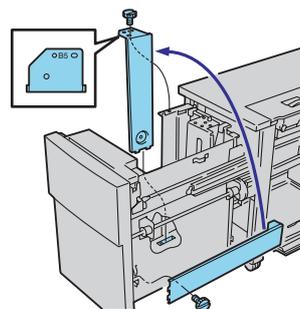
- 工場出荷時はA4サイズに設定されています。
- 変更可能な用紙サイズはB5サイズとレター（11インチ）サイズです。
- サイドガイドを正しくセットしないと紙づまりの原因になります。



- ③ <セットする用紙サイズがB5サイズの場合> 引き出したホッパーの右側下部に取り付けられているエンドガイドをノブスクリューを外して取り外し、ボトムプレート上の用紙サイズ穴（B5）に差し込み合わせてノブスクリューで固定する。

チェック

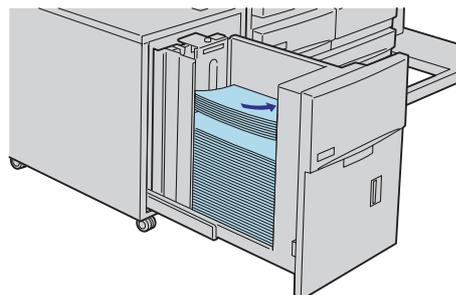
エンドガイドを正しくセットしないと紙づまりの原因となります。



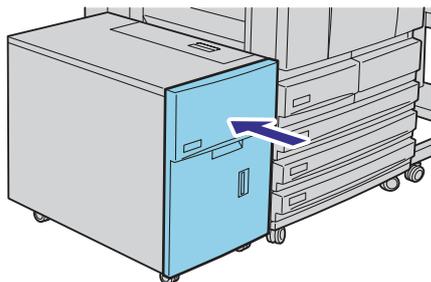
- ④ 用紙の先端をそろえ、印刷したい面を上にしてホッパーの右側に合わせてセットする。

チェック

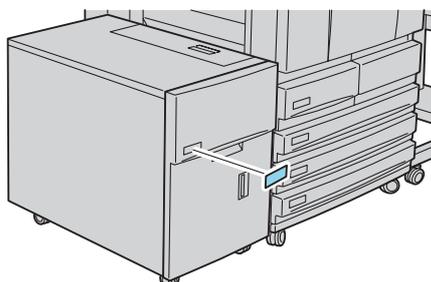
- 包みから出した新しい用紙はさばかないでください。用紙をさばくと静電気が起きて紙づまりの原因になることがあります。
- 用紙上限線を超えないように用紙を入れてください。紙づまりの原因となります。
- 1つのホッパー内にサイズや質の異なる用紙をセットしないでください。紙づまりの原因となります。



- 5 ホッパーを奥に突き当たるところまでゆっくりと押し込む。



- 6 セットしたサイズ用の紙サイズシール（付属品）をホッパーに貼る。



✓ チェック

普通紙以外を使用する際は、メニューモードの「ヨウシメニュー」→「ヨウシシュベツ」でセットした用紙の種別を設定する必要があります。詳細は269～277ページのメニューツリーを参照してください。

残った用紙の保管方法

残った用紙は変質を防ぐため、次のことに注意して正しく保管してください。

- 用紙は包装してあった紙で包み直してください。
- キャビネットの中など直射日光の当たらない、湿気の少ない場所に保管してください。
- 用紙はしわ、折れ、カールなど癖がつかないように、平らな場所に水平にして保管してください。

定形外用紙をホッパーにセットする

定形外用紙は、ホッパー2～4にセットすることができます。ホッパー内のサイドガイドとエンドガイドを用紙サイズに合わせてプリンターに添付されているネジで固定します。

片方向通信の場合は、プリンタードライバーのプロパティで「プリンタ構成シート」を開き、使用する定形外ホッパーを選択する必要があります。

重要

セットする用紙は両面とも印刷されていない用紙をセットしてください。すでに一度印刷された用紙をホッパーにセットしないでください。一度印刷された用紙をセットして、その用紙の裏に印刷すると、印刷不良を起こしたり、給紙できなかったり、紙づまりを起こしたりするばかりでなく、プリンターの故障の原因となる場合があります。

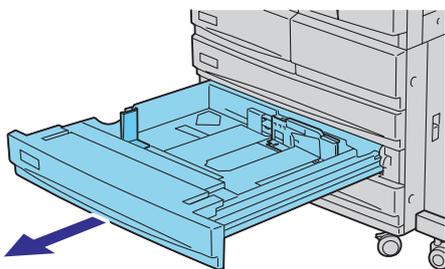
チェック

ネジ留めできるドライバーを用意してください。

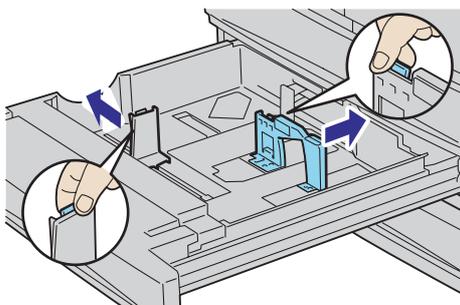
- 1 定形外用紙をセットするホッパーの取っ手を引いて、手前に止まるまでゆっくりと引き出す。

注意

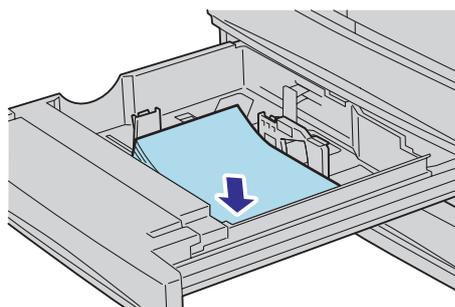
ホッパーを引き出すときはゆっくりと引き出すください。ホッパーを勢いよく引き出すと、ひざなど身体にぶつかりケガの原因となるおそれがあります。



- 2 サイドガイドとエンドガイドのつまみをつまんで、セットしたい定形外用紙のサイズに広げる。



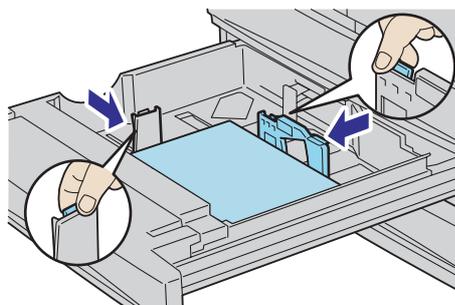
- 3 用紙の先端をそろえ、印刷する面を上にしてホッパーの右手前に合わせてセットする。



- 4 サイドガイドとエンドガイドのつまみをつまんで、セットした用紙にサイドガイドとエンドガイドを軽く押し当てるようにする。

チェック

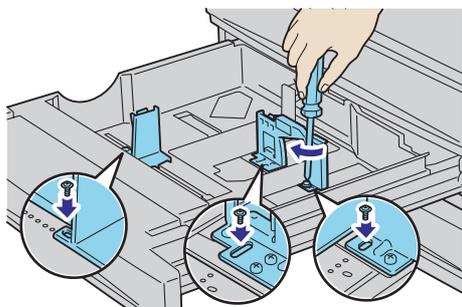
サイドガイドとエンドガイドを正しく合わせないと、紙づまりの原因になります。



- 5 用紙をいったん取り出して、ドライバーを使って、3か所をネジで留める。

✓ チェック

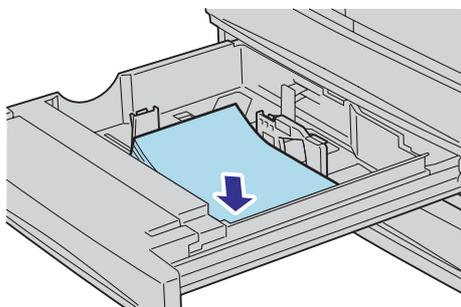
- ネジは添付品箱の中にあります。
- ネジを留める箇所はプラスチックでできています。ネジを強く締めすぎないでください。破損の原因となります。



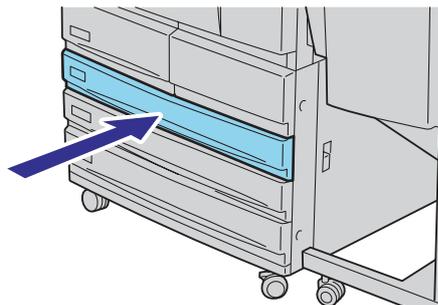
- 6 用紙をそろえ、印刷したい面を上にして用紙をセットし直す。

✓ チェック

- 用紙上限線を超えないように用紙を入れてください。紙づまりの原因となります。
- 1つのホッパー内にサイズや質の異なる用紙をセットしないでください。紙づまりの原因となります。



- 7 ホッパーを奥に突き当たるまでゆっくりと押し込む。



- 8 プリンターの操作パネルで、メニューモードの「ヨウシメニュー」から定形外用紙をセットしたホッパー(X)に対する「ホッパXテイケイガイ」を選択し、「ミシヨウ」から「シヨウ」に設定を変更し、「ハバ」および「ナガサ」をセットした用紙サイズに変更する。詳細は「メニューツリー」(269ページ)を参照してください。

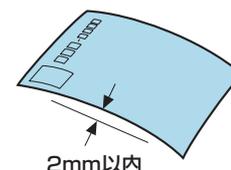
用紙をセットする時の注意

はがき、往復はがき



往復はがきは、折り返しや折り目がついているものを使用しないでください。折れた状態でトレーにセットすると、紙づまりの原因となるだけでなく、プリンターが故障するおそれがあります。

- はがき、往復はがきに反りがあるときは、反りの幅が2mm以内になるようにし、反りの方向が右の図のようになるように直してからセットしてください。



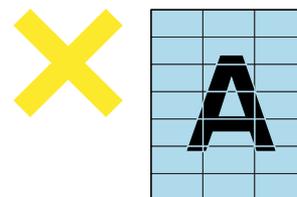
- 印刷所で印刷が施された官製はがき（年賀状など）には裏書き防止用の白い粉が塗布されていることがあります。このプリンターでこのようなはがきへの印刷を繰り返すと、白い粉によりプリンター内部のローラーの摩擦力が低下し、はがきがうまく送れなくなることがあります。このようなはがきを使用するときは、印刷の前にはがきの両面に付いている粉を乾いた布などで軽く払ってください。
- はがきをまとめてセットする場合は、はがきを十分さばいてからセットしてください。



- 印刷したはがきをポストに入れるときは、反りが5mm以内になるように直してください。反りが大きいと郵便番号読取機の処理に不都合が生じます。
- 往復はがきを使用する場合は、プリンタードライバーの用紙サイズで [ユーザ定義サイズ] を選択し、サイズを指定してご使用ください。

OHPフィルム、ラベル紙

- OHPフィルム、ラベル紙は十分にさばいてからセットしてください。
- OHPフィルムは使用環境、種類によっては静電気が発生し、正常に給紙できないことがあります。その際は、ホッパーおよびトレーに1枚ずつセットして印刷することをお勧めします。
- ラベル紙は保管状態によっては反りが生じ、正常に給紙できないことがあります。その際は、反りを直して印刷してください。
- ラベル紙への印刷は、ラベルの切れ目部分に文字やイラストがかからないようにしてください。



- 次のような状態のラベル紙への印刷は避けてください。印刷不良、紙づまり、プリンターの故障の原因となります。
 - 台紙全体がラベルで覆われていないラベル紙
 - 部分的に使用したラベル紙
 - ラベルがはがれかかっているラベル紙
 - カールしているラベル紙
 - 表面にのりがしみ出ているラベル紙

定形外用紙

重要

形状が長方形以外の不規則な形状の用紙、角が直角でない用紙は正常な給紙ができません。紙づまりの原因となるだけでなく、プリンターが故障するおそれがあります。

チェック

定形外用紙は、Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0、Windows Me、Windows 98、Windows 95からの印刷が可能です。

- 対応可能な用紙の厚み（坪量）は、定形用紙に比べて扱える範囲がせまくなる場合があります。定形外用紙を使用する場合は、事前に十分な試し印刷をして印刷動作を確認することをお勧めします。
- 用紙の紙質、繊維目方向、プレ印刷、ホールパンチ、ミシン目などにより正常に印刷されない場合があります。
- 用紙の種類、繊維目方向によっては印刷後、大きくカールするものがあります。
- 印刷した用紙が正常にスタックされない場合があります。この場合はそのつど用紙を取り除いてください。

プレ印刷用紙

プレ印刷用紙は、PPC用紙に比べ印刷時の転写不良や定着時のカールが大きくなる傾向にあるので、PPC用紙に比べ斜行やひどい場合は角折れ、紙づまりなどの障害率が高くなる場合があります。本プリンターの印刷位置誤差が許容される範囲および使用用紙を事前に確認の上、十分使用可能という範囲においてプレ印刷用紙を使用する場合は、以下の収納および保管条件を守ってください。

- 原則として、プレ印刷をしてから環境の影響を避けるため、即納入の形態をとること。
- プレ印刷業者から納入された用紙は保管環境を守り、プレ印刷時点より6か月を最大保管期間とする。

詳細については下記のチェックポイントを参照してください。

- プレ印刷用紙を使用する場合には、用紙は推奨紙に準ずる上質なPPC用紙を使用してください。（プレ印刷をする際の表面に薄く塗る水分や油分による影響や、インク自身の収縮により、用紙は変形しやすくなります。）
- プレ印刷は、片面のみで行ってください。
- プレ印刷の事前のチェックポイント

定着部のジャム（紙づまり）、巻き込み角折れの有無

内容： プレ印刷時に、印刷面に薄く水分を含ませ、印刷後、乾燥させるような印刷は、水分が多かったり、乾燥が不十分だったりして、通常用の紙より多くの水分を含んでいます。このように水分等がある状態で定着すると激しいカールを伴い、定着ローラーへの巻き込みジャムあるいは爪へ当たり、角折れが起こることがあります。

処置： プレ印刷業者と相談の上、印刷方法、用紙の変更、梱包方法などを含め、協議してください。

転写不良の有無、用紙カールの程度

内容： プレ印刷のインクの凹凸や部分的吸湿、包装などの不備により用紙が変形し、OPCドラムに密着できなくなります。

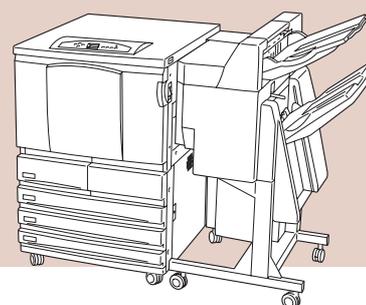
処置： 包装方法、保管方法をチェックし、改善してください。また、必要に応じて印刷方法、用紙を変更してください。

- 重送の有無
内容： プレ印刷のインクにより用紙とインクがくっついています。
処置： プレ印刷業者に印刷方法などの変更を依頼してください。
- ジャム（紙づまり）
内容： マイクロパウダー*1 やインクなどによって用紙の摩擦力が下がることにより、フィード力が失われジャムが多発します。2,000～7,000枚印刷後くらいから発生するようなケースがあります。
処置： マイクロパウダーやある種のインクには滑りやすい物質が含まれています。マイクロパウダーを使用している場合は使用を中止してください。また、インクに問題がある場合は印刷方法（インク）の変更などを行ってください。

*1 マイクロパウダーとは、プレ印刷時に、裏にプレ印刷のバック転写が生じないように利用するものです。また、インク自身にもその役割を持っているものがあります。

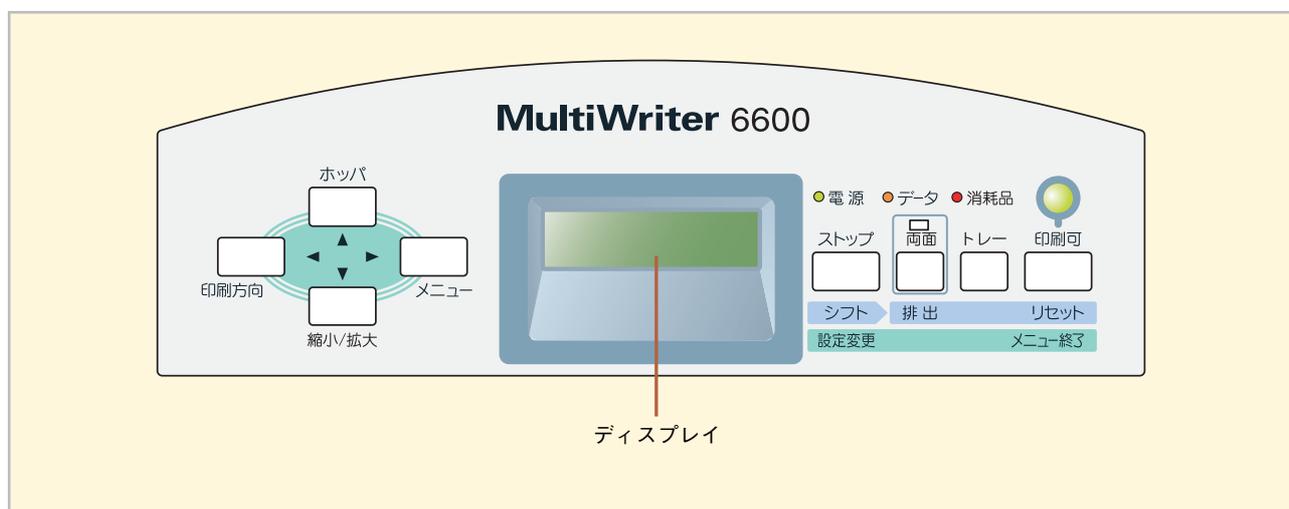
メモ

6章 操作パネル



この章では、操作パネルにあるスイッチやランプについて説明しています。

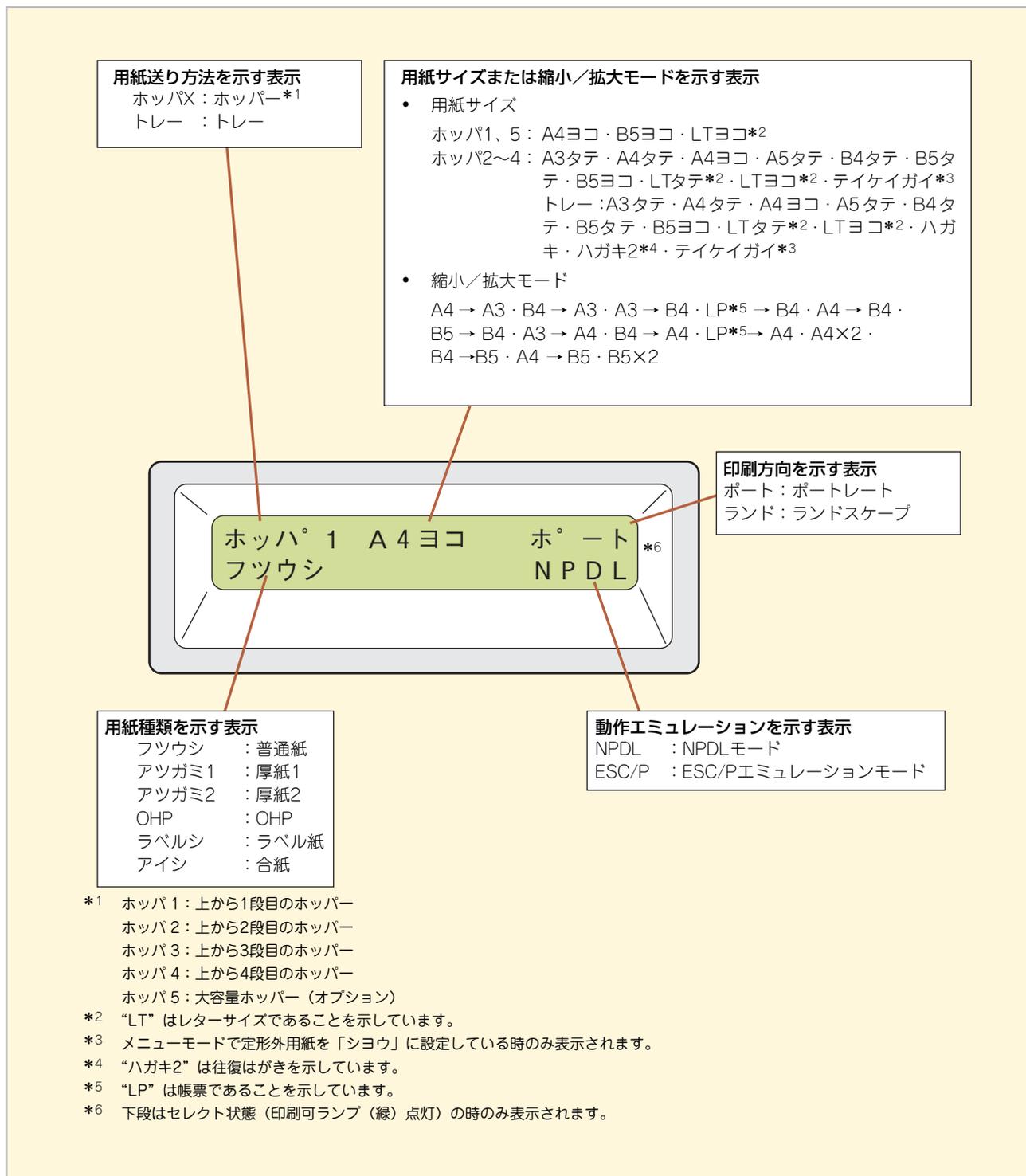
操作パネルはユーザーがプリンターの状態を見たり、設定を行ったりするためのものです。ここでは主にNPDL（Level 2）で使用する時の、操作パネル上の「ディスプレイ」および「ランプ」の表示の意味と、「スイッチ」の使い方について説明します。



操作パネル

ディスプレイ

16桁2行の液晶ディスプレイです。英数字とカナで、プリンターの状態や操作に関する情報を表示します。



ディスプレイの表示

その他の表示内容については9章の「アラーム表示が出ているときは」（312ページ）、7章の「メニューツリー」（269ページ）または、「ディスプレイ表示一覧」（421ページ）をご覧ください。

ランプ



印刷可ランプ (緑/赤)

点灯 (緑) プリンターがセレクト状態 (印刷データを受信できる状態) になっています。

点滅 (赤) 点滅を繰り返し、30 秒ごとにブザーが6回ずつ鳴ります。

ホッパーに用紙がない、指定用紙がない、カバーが開いている、またはプリンターに異常が発生していることを示します。詳細はディスプレイに表示されます。

消灯 プリンターがディセレクト状態 (印刷データを受信できない状態) になっています。



電源ランプ (緑)

点灯 プリンターの電源がONになっています。

消灯 プリンターの電源がOFFになっています。



データランプ (橙)

点灯

- ・ プリンター内に印刷データが残っています。
- ・ プリンターはデータを受信中ではありません。

点滅 プリンターが印刷データを受信中です。

消灯

- ・ プリンター内にデータが残っていません。
- ・ プリンターはデータを受信中ではありません。



消耗品ランプ (赤)

点灯 消耗品の寿命が近づいている、または消耗品の寿命です。新しい消耗品と交換してください。交換が必要な消耗品は、ディスプレイを確認してください。詳細については「8章 日常の保守」(299ページ)をご覧ください。

消灯 消耗品が十分にあります。



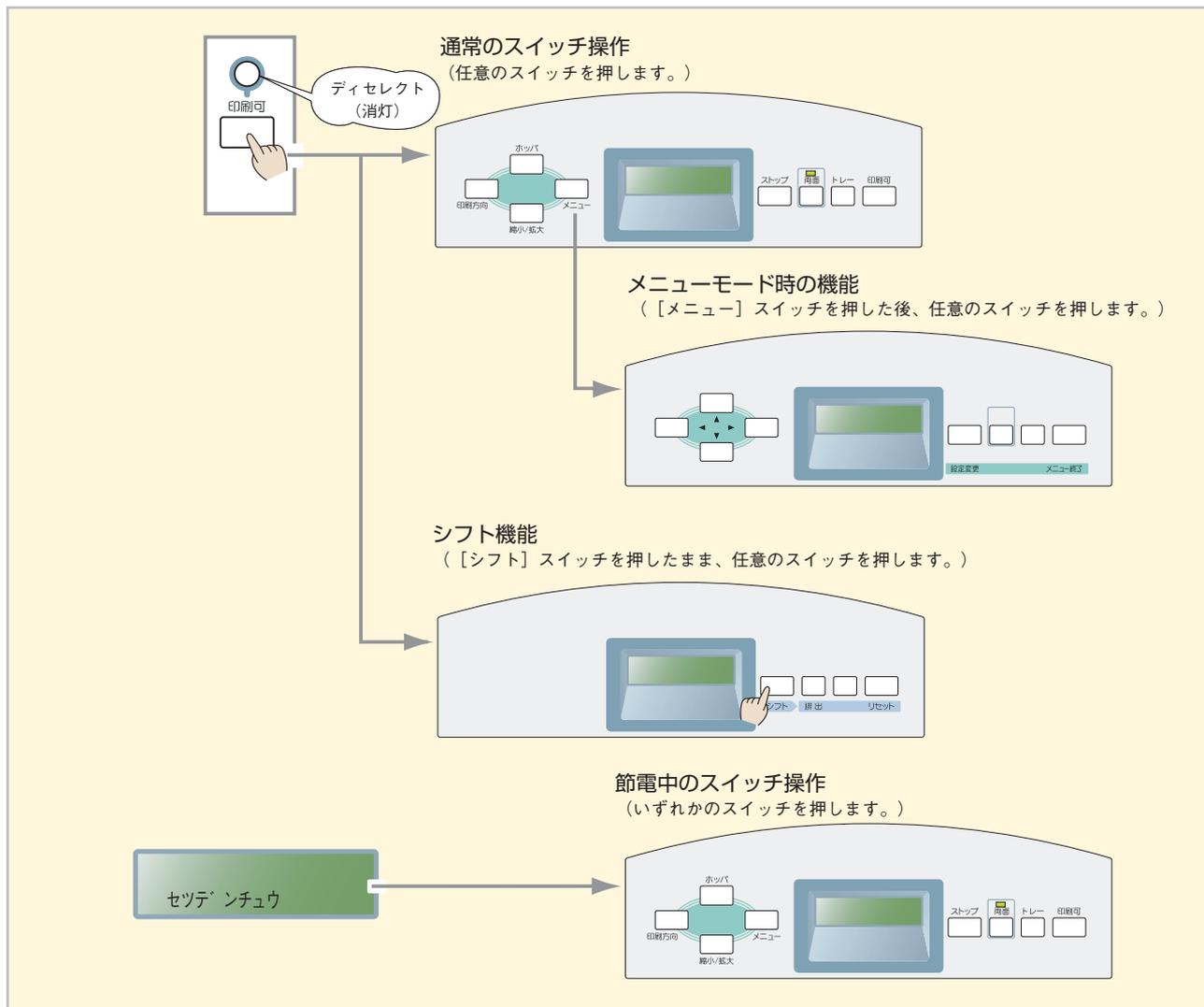
両面ランプ (緑)

点灯 両面印刷モードに設定されています。

消灯 両面印刷モードではありません。

スイッチ

プリンターの操作パネルには8個のスイッチがあり、それぞれのスイッチは2つまたは3つの機能をもっています。



スイッチのモード

- 通常のスイッチ機能** : [印刷可]スイッチを押し、ディセレクト状態（印刷可ランプが消灯している状態）になって初めて機能します（[ストップ]スイッチを除く）。
- メニューモード時のスイッチ機能** : [メニュー]スイッチを押してメニューモードに入ると働く機能です。
- シフト時のスイッチ機能** : [シフト]スイッチを押しながら押すと働く機能です。
- 節電中のスイッチ機能** : 節電状態に入ると働く機能です。節電状態を解除します。

チェック

- 印刷可ランプが赤に点滅している間はどのスイッチも機能しません。アラームの詳細については9章の「アラーム表示が出ているときは」（312ページ）をご覧ください。
- アプリケーションによっては、スイッチによる設定をアプリケーション側で行えるものもあります。
- 操作パネルで、誤った操作を行った場合は、ブザーが鳴ります。

通常のスイッチ機能

印刷可



[印刷可] スイッチ

このスイッチはプリンターが初期化中でないとき、およびテスト印刷中でないときに機能します。

データを受信できる状態にする。

スイッチを押すごとにデータを受信できる状態（セレクト状態、印刷可ランプ緑点灯）と受信できない状態（ディセレクト状態、印刷可ランプ消灯）に交互に切り替わります。

トレイ



[トレイ] スイッチ

このスイッチは印刷可ランプとデータランプが消灯しているときに機能します。

給紙先をトレイにする。

ホッパーから用紙を給紙する状態でこのスイッチを押すと、トレイから用紙を給紙する状態に切り替わります。

トレイ給紙の用紙サイズを変更する。

トレイ給紙を選択中、このスイッチを押すたびに用紙サイズの設定が次のように変わります。



チェック

本スイッチによる設定とトレイにセットされている用紙のサイズは一致させて使用してください。

*1 「LT」は「レター」を意味します。

*2 「ハガキ2」は「往復はがき」を意味します。

両面



[両面] スイッチ

このスイッチは印刷可ランプとデータランプが消灯しているときに機能します。

両面印刷モードにする（両面印刷モードを解除する）。

両面ランプが消灯している状態でこのスイッチを押すと、両面印刷モードになります。このスイッチを押すたびに両面印刷モードの設定と解除が切り替わります。

次の場合、両面ランプが点灯していても、印刷は片面で行われます。

- トレーから印刷を行った場合
- 用紙種別で「厚紙2」、「OHP」、または「ラベル紙」を指定した場合
- フェースアップ排紙を指定した場合

ストップ



[ストップ] スイッチ

このスイッチは常に機能します。

データの受信と印刷を停止し、ディセレクト状態にする。

印刷中にこのスイッチを押すと、印刷中の用紙を排出した後、一時的に印刷を停止します。受信済みのデータは、プリンター内に残ったままになります。

印刷を再開するときは、[印刷可]スイッチを押します。

アラーム音を止める。

アラームが発生してブザーが鳴っているときに、このスイッチを押すとアラーム音が止まります。



メニュー

[メニュー]スイッチ

このスイッチは印刷可ランプとデータランプが消灯しているときに機能します。

メニューモードに入る。

このスイッチを押すと、メニューモードに入ります。



ホッパ

[ホッパ]スイッチ

このスイッチは印刷可ランプとデータランプが消灯しているときに機能します。

給紙先を切り替える。

トレーから用紙を給紙する状態でこのスイッチを押すと、ホッパーから用紙を給紙する状態に切り替わります。

給紙先を選択する（ホッパーを使用しているとき）。

ホッパー給紙を選択中にこのスイッチを押すたびに給紙するホッパーを次のように切り替えます。（選択されたホッパーがディスプレイに表示されます。）



* オプションの大容量ホッパー装着時のみ表示されます。



チェック

- トレーから用紙を給紙する状態でホッパー給紙に切り替えると、メニューモードのホッパー初期設定で指定されているホッパーが選択されます。
- メニューモードで「合紙モード」が設定されている場合、「合紙モード」で設定されているホッパーは表示されません。通常印刷ではそのホッパーは使用できませんので、選択するホッパーが「合紙モード」に設定されているかどうか注意してください。



印刷方向

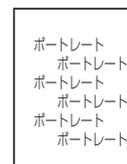
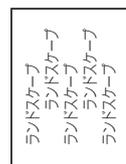
[印刷方向]スイッチ

このスイッチは印刷可ランプとデータランプが消灯しているときに機能します。

印刷方向をポートレートまたはランドスケープに選択する。

このスイッチを押すごとに、ポートレートとランドスケープを交互に切り替えます。

用紙の置き方に関係なく、縦長にした内容を印刷するときはポートレートを、横長にした内容を印刷するときはランドスケープを指定します。選択されている印刷方向は、ディスプレイに表示されています。



縮小/拡大

[縮小/拡大]スイッチ

このスイッチは印刷可ランプとデータランプが消灯しているときに機能します。また、選択されている用紙サイズがA3、A4、B4、B5のときに機能します。



チェック

- アプリケーションによっては縮小・拡大が正しく印刷されないものがあります。
- 印刷データの前に用紙サイズの指定コマンド（FS f c1 c2 c3）によってA3、B4、または帳票サイズが指定されており、ホッパーにA4サイズの用紙が入っている場合は自動的に縮小して印刷します。詳しくは別売の「NPDL（Level 2）リファレンスマニュアル」をご覧ください。
- 縮小を行った場合、座標などの数値の丸め誤差により、縮小しない場合と印刷結果が異なる場合があります。

縮小／拡大モードの設定をする。

このスイッチを押すと以下のような縮小／拡大印刷ができます。

- A3サイズに印刷する

A3 → A4→A3 → B4→A3 → A3 → (繰り返し)

- A4サイズに印刷する

A4 → B4→A4 → LP→A4^{*1} → A3→A4 → A4×2^{*2} → B5→A4 → A4 → (繰り返し)

- B4サイズに印刷する

B4 → LP→B4^{*1} → A3→B4 → B5→B4 → A4→B4 → B4 → (繰り返し)

- B5サイズに印刷する

B5 → A4→B5 → B4→B5 → B5×2^{*3} → B5 → (繰り返し)

*1 LPは帳票サイズ（136桁×66行）を意味します。

*2 A4×2はA4サイズの2ページ分のデータをA4用紙1枚に印刷します。

*3 B5×2はB5サイズの2ページ分のデータをB5用紙1枚に印刷します。

メニューモード時のスイッチ機能



[メニュー終了]スイッチ

メニューモードを終了させる。

メニューモード時にこのスイッチを押すと、メニューモードを終了します。

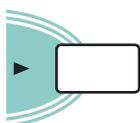


[設定変更]スイッチ

設定変更したい項目（レベル3）を選択する。

メニューモード時にメニューツリーのレベル3の項目を選択中にこのスイッチを押すと、任意の項目の設定を変更することができます。

なお、メニューモードのレベルについては、7章の「メニューツリー」（269ページ）を参考にしてください。



[▶]スイッチ

ディスプレイに表示されている設定項目を選択する（[→]スイッチとして機能）。

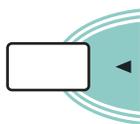
メニューモード時にこのスイッチを押すと、メニューツリーの次のレベル（レベル2またはレベル3）の項目を選択することができます。



[▲]スイッチ

ディスプレイに表示されている設定項目を選択する（[↑]スイッチとして機能）。

メニューモード時にこのスイッチを押すと、メニューツリーの同じレベルの項目を選択することができます。



[◀]スイッチ

ディスプレイに表示されている設定項目を選択する（[←]スイッチとして機能）。

メニューモード時にこのスイッチを押すと、メニューツリーのひとつ前のレベル（レベル1またはレベル2）の項目を選択することができます。



[▼]スイッチ

ディスプレイに表示されている設定項目を選択する（[↓]スイッチとして機能）。

メニューモード時にこのスイッチを押すと、メニューツリーの同じレベルの項目を選択することができます。

メニューツリーの詳細については7章の「メニューツリー」（269ページ）をご覧ください。

シフト時のスイッチ機能



[シフト]スイッチ

このスイッチが押されている間、[両面]スイッチおよび[印刷可]スイッチの2つは、それぞれのスイッチの下に表記された機能「排出」、「リセット」が有効となります。

このスイッチを押すと、自動的に印刷可ランプが消灯します。



[排出]スイッチ

このスイッチは印刷可ランプが消灯していて、データランプが点灯している（ディスプレイに“データガノコッテイマス”と表示されている）ときに機能します。アラーム中および用紙がない状態では機能しません。

プリンターに残っている未印刷データをすべて印刷する。

[シフト]スイッチを押した状態でこのスイッチを押すとプリンターに残っているデータをすべて印刷出力します。ただし、インターフェース設定がECPモードでディセレクト中に受信したデータは排出されません。



チェック

プリンター内にデータを残したまま次の印刷を行うと、プリンターは残っているデータと次の印刷データを重ねて印刷する場合があります。



[リセット]スイッチ

このスイッチは印刷可ランプが消灯しているときに機能します。アラーム（保守員コール以外）中も機能します。

プリンターを初期状態にする。

[シフト]スイッチを押した状態でこのスイッチを2回続けて押すと、ディスプレイに“リセットジッコウ”と表示され、未印刷データは消失し、プリンターは初期状態（電源スイッチON直後の状態）になります。リセット後、ブザーが2回鳴ります。



チェック

リセットすると、スイッチを使って変更したプリンターの設定も、初期状態（電源ON直後の状態）に戻ります。ただし、メニュースイッチを使って変更したメニューモードの内容はリセットされません。詳細は付録の「NPDの初期状態」（374ページ）をご覧ください。

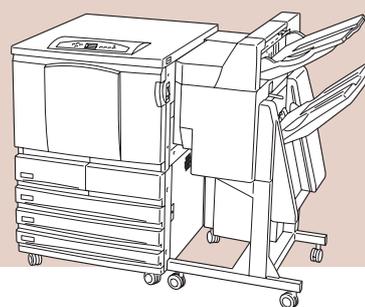
節電中のスイッチ機能

プリンターの節電状態を解除する。

節電状態（ディスプレイに“セツデンチュウ”が表示されている）で[印刷可]スイッチ、[トレイ]スイッチ、[両面]スイッチ、[ストップ]スイッチ、[メニュー]スイッチ、[ホッパ]スイッチ、[印刷方向]スイッチ、[縮小/拡大]スイッチのいずれかのスイッチを押すと節電状態を解除します。

メモ

7章 メニューモード



メニューモードでは、プリンターの操作パネル上のスイッチを使ってプリンターのさまざまな設定を変更することができます。

メニューモードで変更した設定内容は電源をOFFにしても変わりません。

操作パネルでの設定方法

メニューモードの設定変更のしかた

- ① [印刷可] スイッチを押して、ディセレクト状態にする。

印刷可ランプが消灯します。



- ② データランプが点灯していないことを確認する。

点灯している場合は [シフト] スイッチを押しながら [排出] スイッチを押して、プリンター内部に残っている印刷データを印刷してください。

○ データ

- ③ [メニュー] スイッチを押す。

プリンターはメニューモードに入り、ディスプレイに“テストメニュー →”と表示します。



- ④ メニューモードの設定を変更する。

メニューモードの内容は「メニューモード設定項目一覧」(266ページ) および「メニューツリー」(269ページ) を参照してください。

メニューモード中は次の5個のスイッチで項目の選択、設定の変更を行います。

[◀]、[▼]、[▶]、[▲] スイッチ：

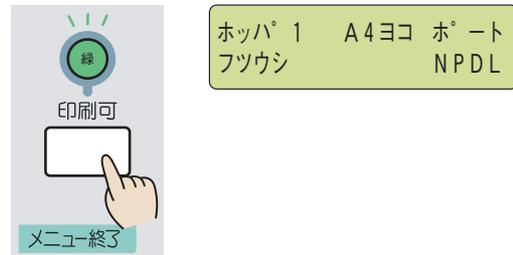
このスイッチを押すとその方向へ進むことを示しています。

[設定変更] スイッチ：

押すたびにレベル3をひとつずつ表示し、その内容が自動的に選択されます。

- ⑤ [メニュー終了] スイッチを押して、メニューモードを終了する。

プリンターはセレクト状態になり、印刷可ランプが点灯し、ディスプレイは通常の表示に戻ります。変更した設定内容は、このスイッチを押すことによって記憶されます。もしこのスイッチを押さずに電源OFFにすると、設定内容の変更は記憶されません。ご注意ください。



メモリースイッチの設定変更のしかた

ここでは、プザー機能の有効/無効のメモリースイッチの設定変更を例にして説明します。対象となるメモリースイッチは「3-8」です。

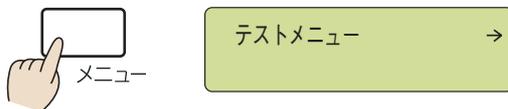
- 1 プリンターの電源をONにする。
- 2 [印刷可] スイッチを押して、ディセレクト状態にする。
印刷可ランプが消灯します。



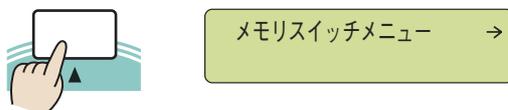
- 3 データランプが点灯していないことを確認する。
点灯している場合は [シフト] スイッチを押しながら [排出] スイッチを押して、プリンター内部に残っている印刷データを印刷してください。

○データ

- 4 [メニュー] スイッチを押す。
プリンターはメニューモードに入り、ディスプレイに“テストメニュー →”と表示します。



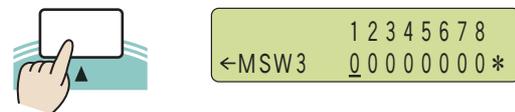
- 5 [▲] スイッチを1回押す。
ディスプレイに“メモリースイッチメニュー →”と表示します。



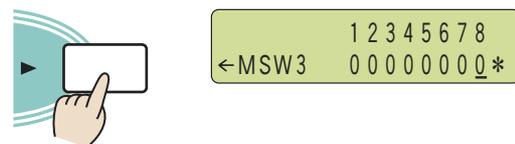
- 6 [▶] スイッチを1回押す。
MSW1が表示されます。



- 7 [▲] スイッチ、または[▼] スイッチを押して、MSW3を表示させる。



- 8 [▶] スイッチを7回押して、カーソルをMSW3-8に移動する。



- 9 [設定変更] スイッチを1回押して、MSW3-8を“1”に変更する。



- 10 [メニュー終了] スイッチを押して、メニューモードを終了する。

プリンターはセレクト状態になり、印刷可ランプが点灯し、ディスプレイは通常の表示に戻ります。



メニューモード設定項目一覧

メニューモードで設定できる項目の一覧とそれらの簡単な説明を以下に示します。これらの設定の一部はメモリースイッチからも設定できます。各設定方法で設定できる項目の一覧も以下に示します。

メニューモード設定項目一覧

○：有効 ×：無効

設定項目		説明	メモリースイッチ (MSW)	ESC/P エミュレーション
テスト印刷メニュー	ステータス印刷	ステータス印刷を行います。ステータス印刷では、オプションの接続やメモリースイッチの状態など、プリンターの状態が印刷されます。	×	○
	連続印刷	連続印刷を行います。	×	○
	16進ダンプ印刷	16進ダンプ印刷を行います。	×	○
	LANステータス印刷	[インタフェース2] に実装の標準LANのコンフィグレーションページ (LANステータス) を印刷します。	×	○
	通信ログ印刷	[インタフェース2] に実装の標準LANの通信ログを印刷します。	×	○
印刷設定メニュー	コピー枚数設定	コピー枚数は“01”から“99”まで設定できます。	×	○
用紙メニュー	ホッパ初期設定	電源投入時およびリセット時に選択されるホッパー/トレイを設定します。	×	○
	用紙種別設定	使用する用紙の種別を選択します。	×	○
	合紙モード設定	合紙 (色紙など) 給紙するホッパー/トレイを設定します。 *1	×	× *2
	リレー給紙設定	リレー給紙機能を使用するかどうかを選択します。*3	×	○
	グループ設定	グループホッパー機能を使用するかどうかを選択します。	×	× *2
	ホッパ2定形外設定	ホッパ2で定形外用紙を使用するかどうかを設定します。	×	× *2
	ホッパ3定形外設定	ホッパ3で定形外用紙を使用するかどうかを設定します。	×	× *2
	ホッパ4定形外設定	ホッパ4で定形外用紙を使用するかどうかを設定します。	×	× *2

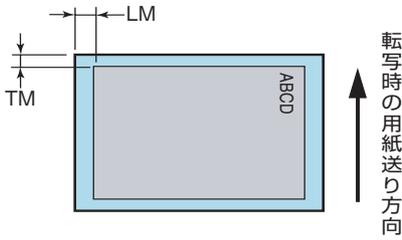
*1 合紙モードに設定されたホッパー/トレイからは通常印刷では使用できません。[ホッパー] または [トレイ] スイッチから選択もできません。合紙モードを設定する場合は、通常使用するホッパーと違うホッパーを選択してください。また、トレイを合紙に設定する場合は、合紙設定を行う前に用紙サイズを [トレイ] スイッチで選択しておいてください。

*2 メニューモードでの設定は可能ですが、ESC/P エミュレーションの印刷ではこの機能を使用することはできません。

*3 リレー給紙は、リレー前のホッパー (トレイ) とリレーに使用するホッパー (トレイ) を共に ON に設定してください。

メニューモード設定項目一覧（続き）

○：有効 ×：無効

設定項目		説明	メモリー スイッチ (MSW)	ESC/P エミュレ ーション
印字位置設定 メニュー	ホッパ1微調整		×	○
	ホッパ2微調整		×	○
	ホッパ3微調整		×	○
	ホッパ4微調整		×	○
	ホッパ5微調整*1		×	○
	トレー微調整		×	○
	表面微調整		×	○
	裏面微調整		×	○
印刷機能 メニュー	両面印刷設定	両面印刷するかしないか、綴じ代付加、余白、クリップの設定をします。	×	○
	排出方法*2	排紙方法（フェースアップ、フェースダウン）と排出先（トpptトレイ、スタックートレイ、排紙トレイ）を選択します。	×	○
運用メニュー	節電機能	節電機能を使用するかしないかを設定します。	○	○
	節電時間設定*3	節電するまでの時間を設定します。	×	○
	自動排出*4	自動排出の有効/無効、および設定時間を選択します。	×	○
	メモリー設定	プリンターメモリーの使用方法を選択します。	×	○
フォント メニュー	1バイト系ゼロ*5	1バイト系ゼロの字体を切り替えます。	○	○
	2バイト系ゼロ	2バイト系ゼロの字体を切り替えます。	×	○
	ANK	1バイト系コードのフォントのANK文字を選択します。	×	○
	漢字	標準フォント（2バイト文字）を選択します。	×	○ *6
	文字セット	2バイト系文字セットを選択します。	×	1983固定
	国別	各国文字セットを選択します。	○	○
動作メニュー	動作エミュレーション	2つのインターフェースの初期動作エミュレーションの設定を行います。	×	○
	動作自動切り替え	2つのインターフェースの自動切り替えを使用するかどうか、自動切り替え時間の設定を行います。	×	○
NPDL設定 メニュー	A4ポートレート桁数	用紙がA4サイズ、ポートレート方向で使われるときの一行あたりの文字数を設定します。	○	○
	エミュレーション	ページプリンタモードか201PLエミュレーションモードかを選択します。	○	×
	136桁モード設定	136桁モードの有効・無効を選択します。有効のときは、用紙位置微調整の方向と量を選択します。	○	○ *7

*1 大容量ホッパー（オプション）装着時。

*2 プリンターに接続されている排出先が、排紙トレイ（オプション）またはフィニッシャー（オプション）で設定内容が異なります。

*3 節電機能有効時のみ表示されます。

*4 コンピューターに負荷がかかっている場合やネットワークのデータ量が多い場合、自動排出までの待ち時間（最大 30 秒）以上にデータ送信が停止することがあります。この場合、途中で用紙が排出されるため正常な印刷結果が得られませんので、自動排出の設定を無効にする必要があります。

*5 OCR-B フォントを使用した場合は、設定に関わらず「0」で印刷されます。

*6 「ミンチョウ」「ゴシック」は ESC/P コマンドの「FS k（漢字の書体選択）」によって切り替えることができます。

*7 ESC/P エミュレーションでは常に 136 桁モードになります。

メニューモード設定項目一覧（続き）

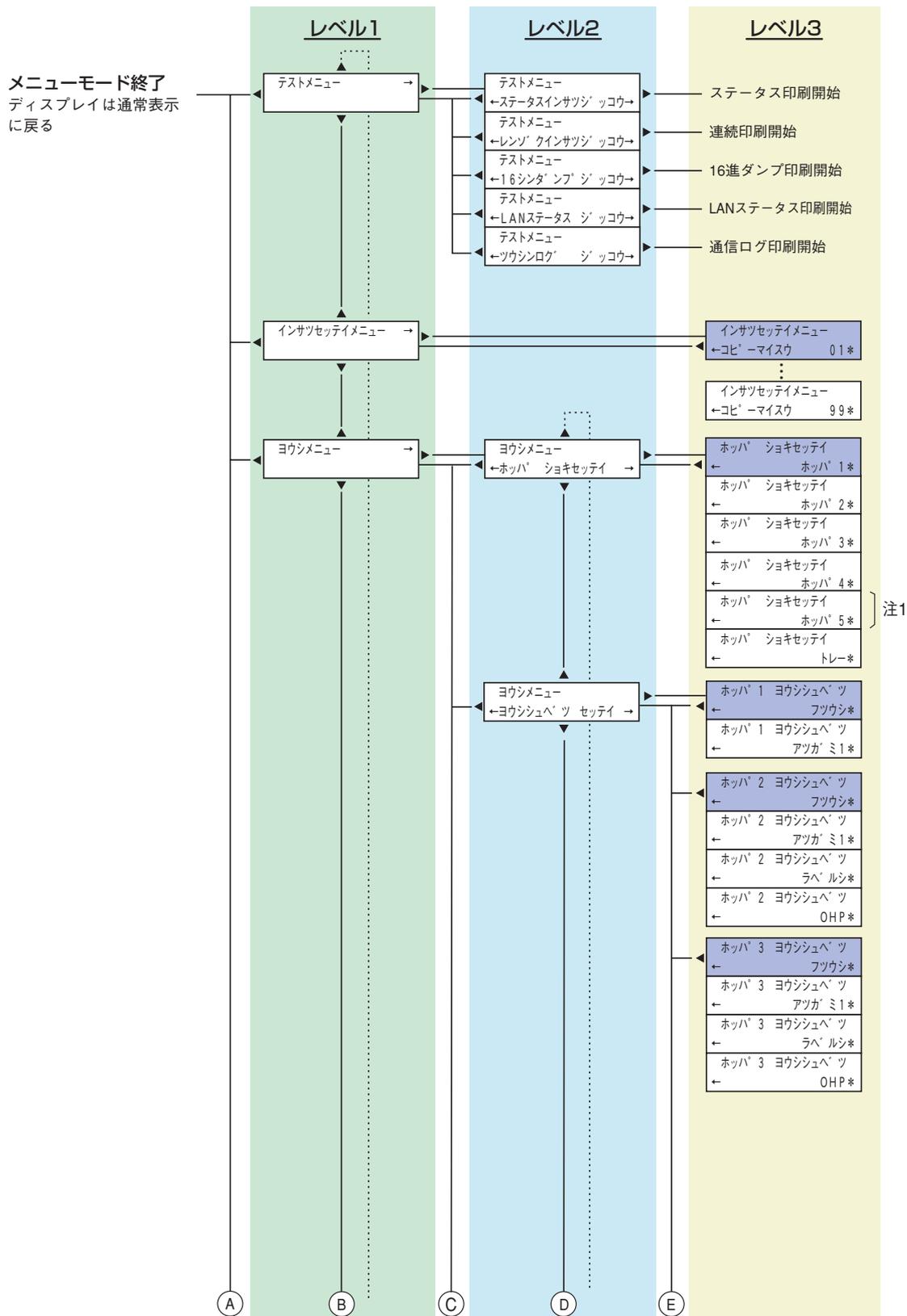
○：有効 ×：無効

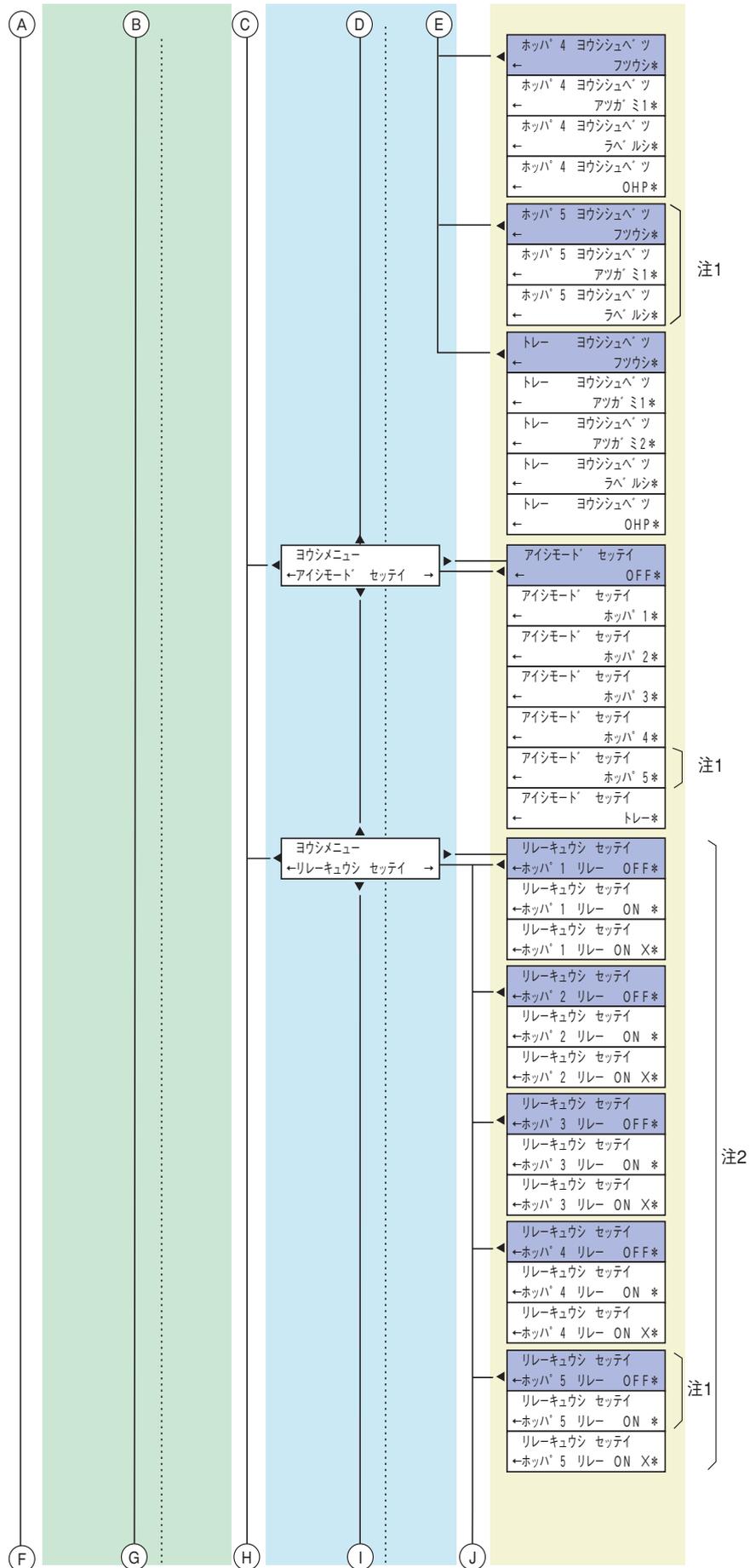
設定項目		説明	メモリー スイッチ (MSW)	ESC/P エミュレー ション
I/F設定 メニュー	インタフェース1*1	動作双方向の設定（ニプルモード、ECPモード、なし）とオプションのLANアダプターのIPアドレス、サブネットマスクを設定します。	×	○
	インタフェース2	標準LANのIPアドレス、サブネットマスクなどを設定します。	×	○
設定初期化 メニュー	メニュー初期化	メニュー項目を初期設定に戻します。	×	○
	LAN初期化	LAN設定を初期設定に戻します。	×	○
	全初期化	メニュー項目、LAN項目のすべてを初期設定に戻します。	×	○
	呼び出し	設定記憶で記憶されている内容を読み出します。	×	○
	記憶	メニューモード内の各種機能設定と、[トレー]スイッチで設定した用紙サイズをまとめて記憶します。	×	○
メモリー スイッチ メニュー	メニューモードの中で比較的可変頻度の低いものがまとめられています。 (MSW1～10)		290～291ページ参照	

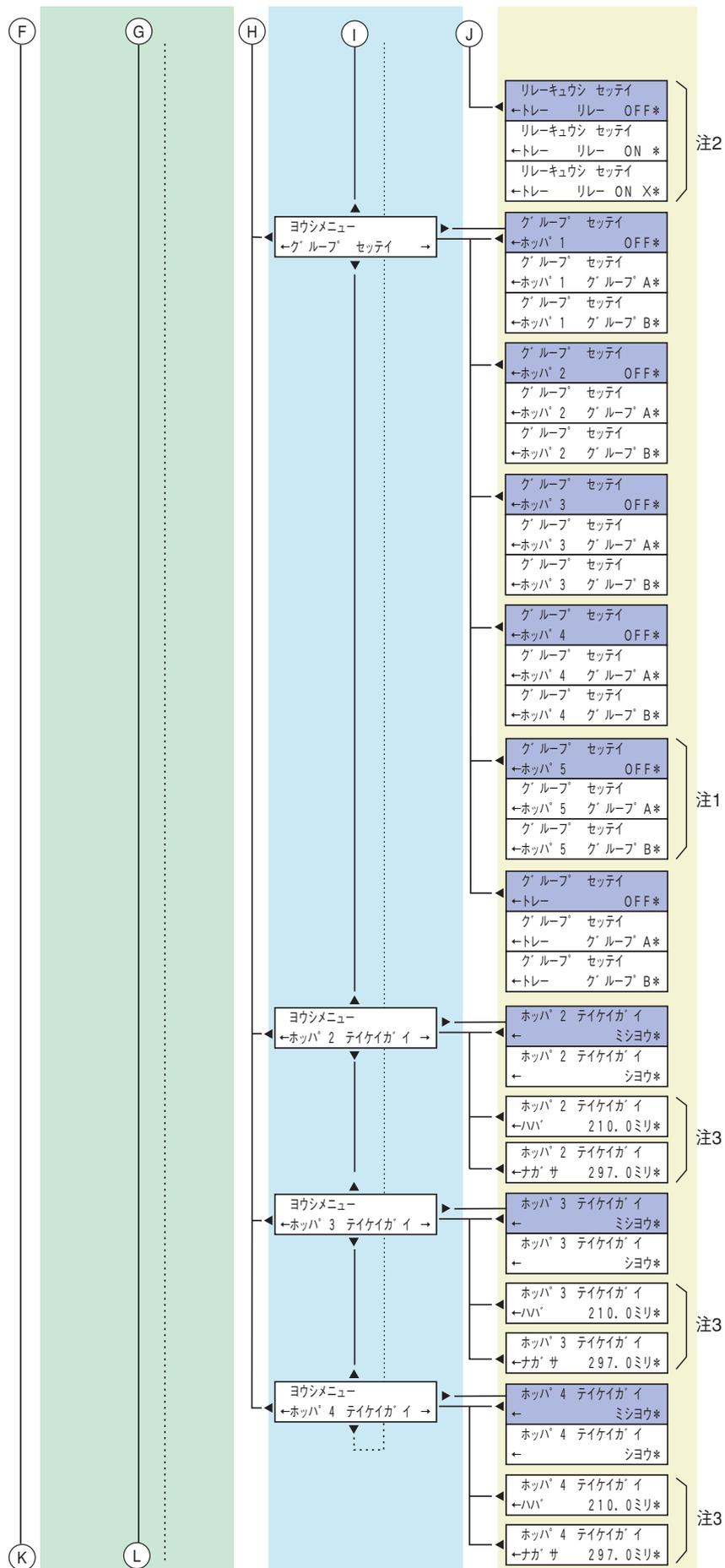
- *1 I/F 設定を変更した場合は、プリンターの電源を再投入する必要があります。
また、I/F 設定メニューの動作双方向が「ECP モード」に設定されていて、パラレルインターフェースコネクタにオプションの無線LANプリンタアダプタ（型番 PR-WL-01）が接続されている場合、IP アドレスとサブネットマスクが有効になります。

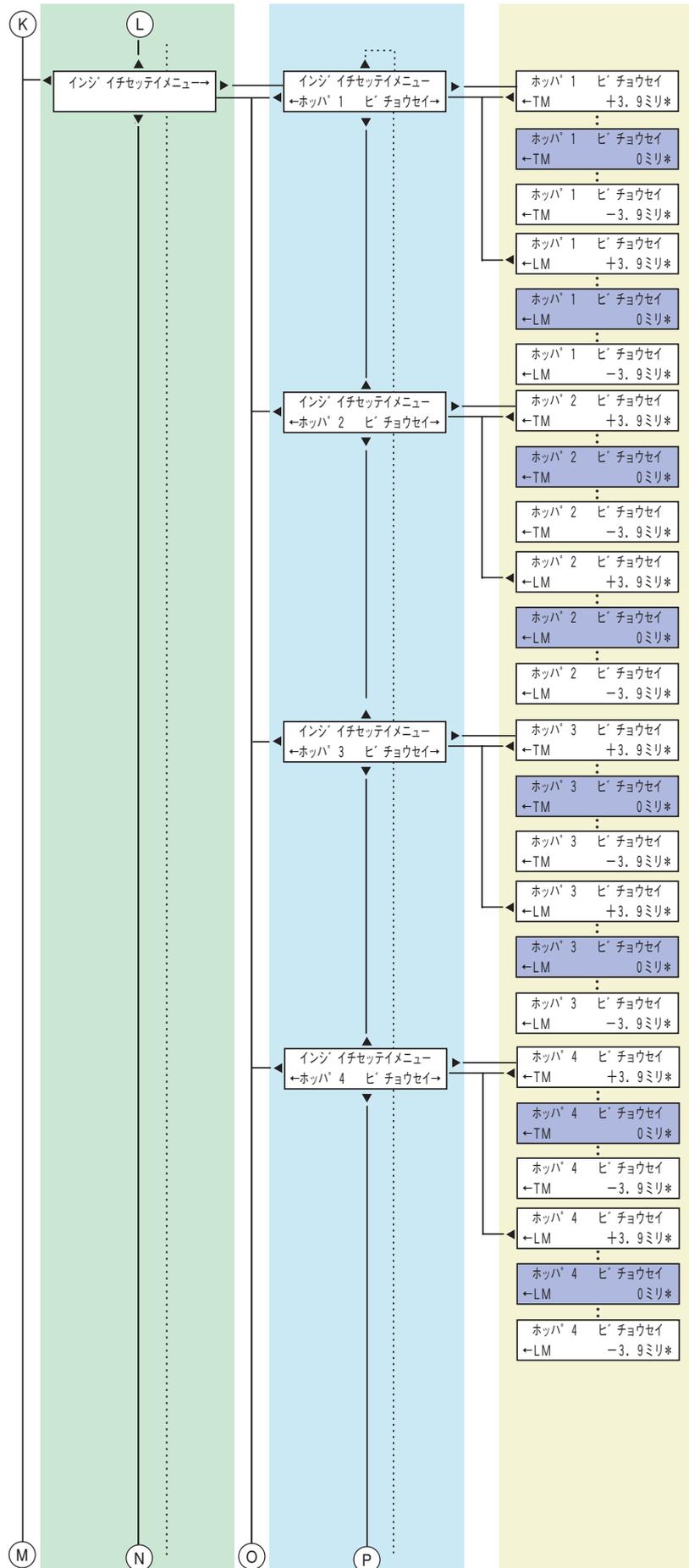
メニューツリー

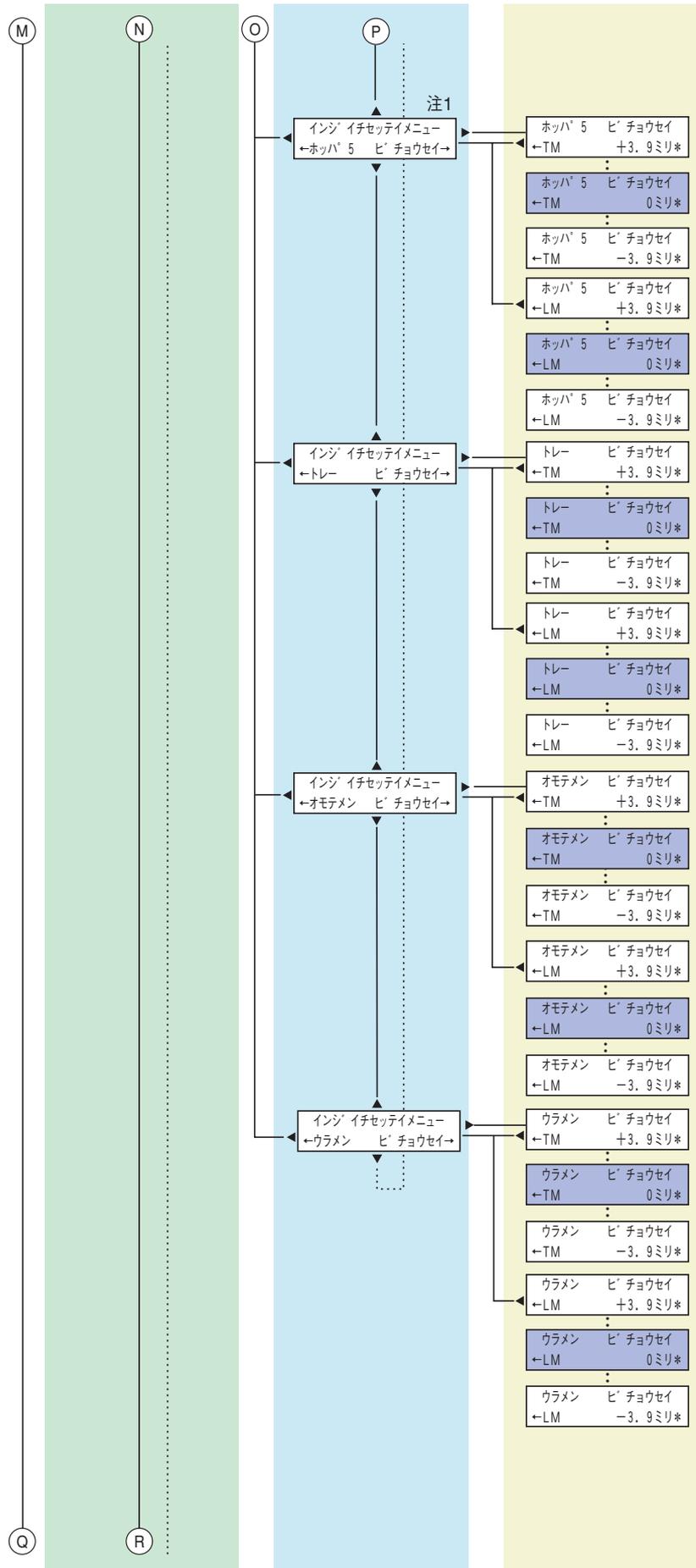
次にメニューモードを図式的に表したメニューツリーを示します。(紫色部分は出荷時の設定値です)
 「注」で示す補足的な説明は277ページにあります。

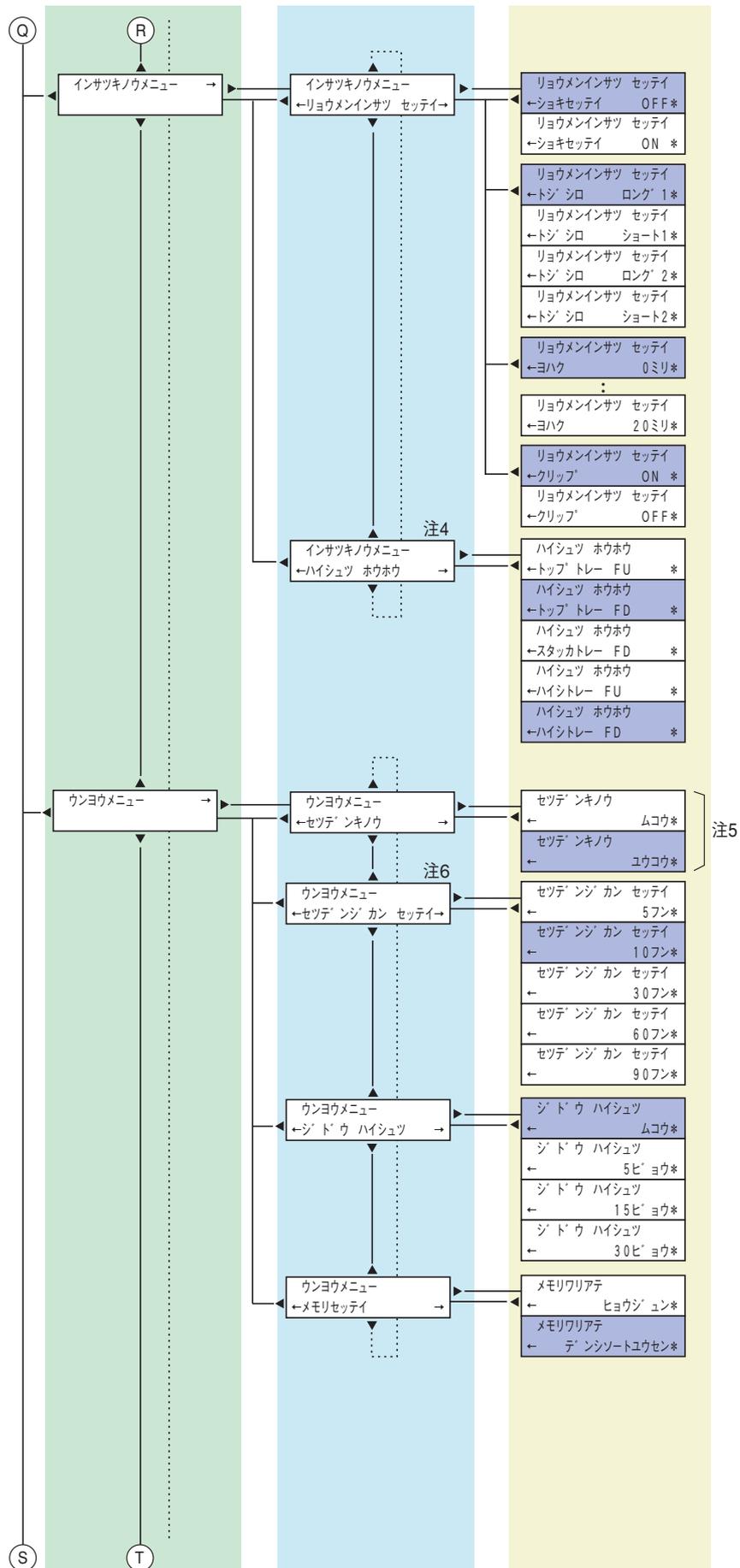


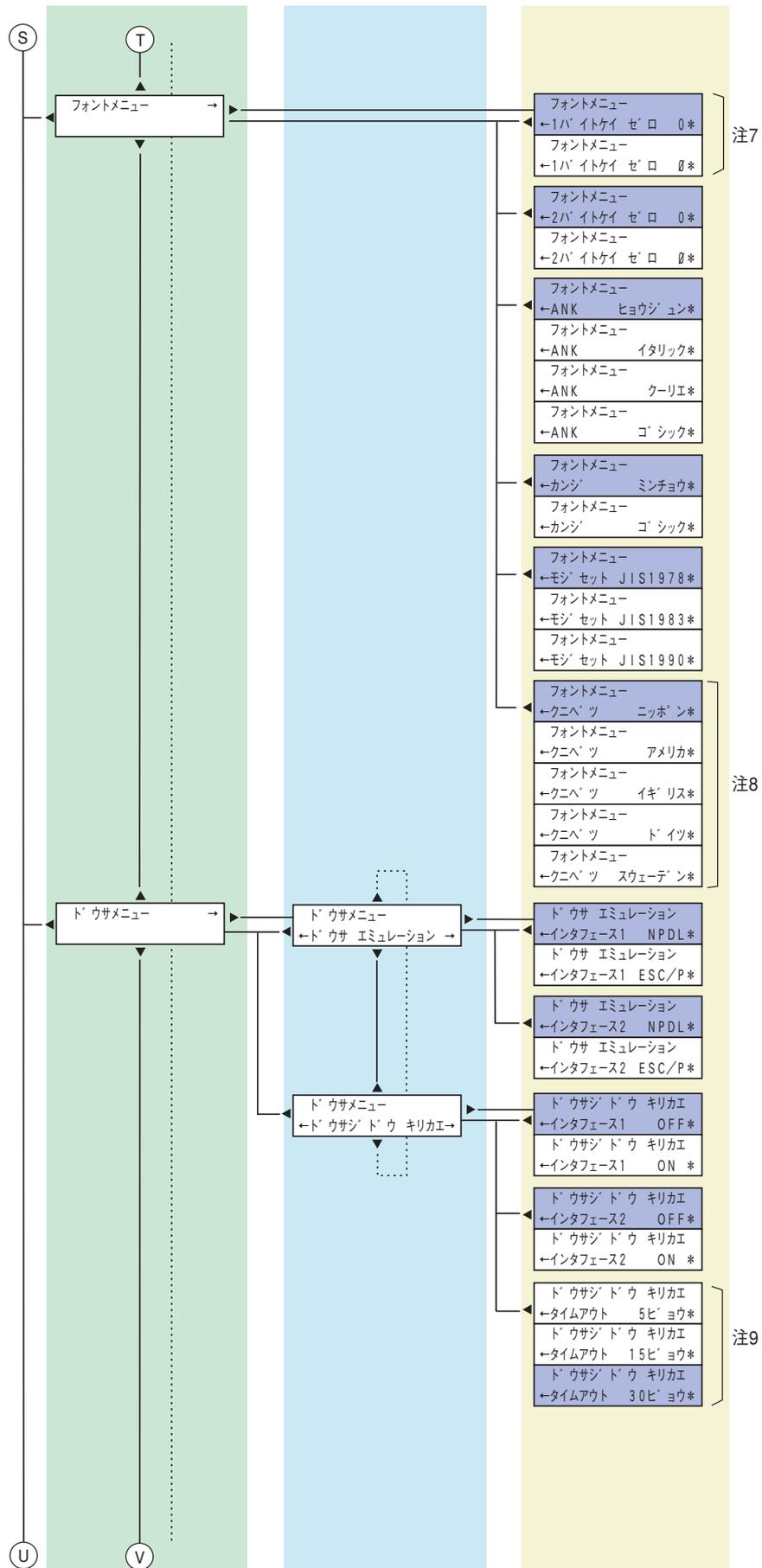


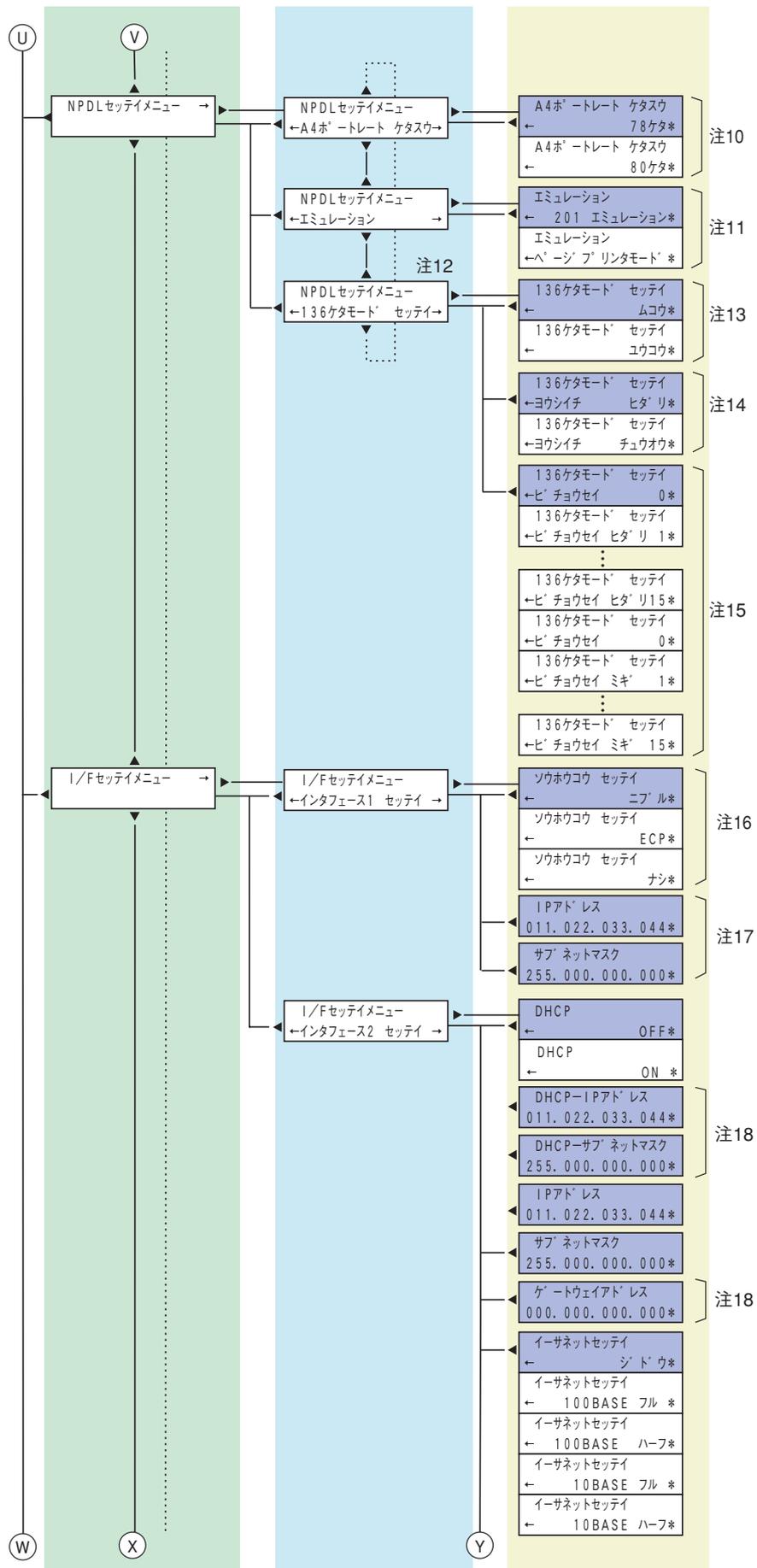


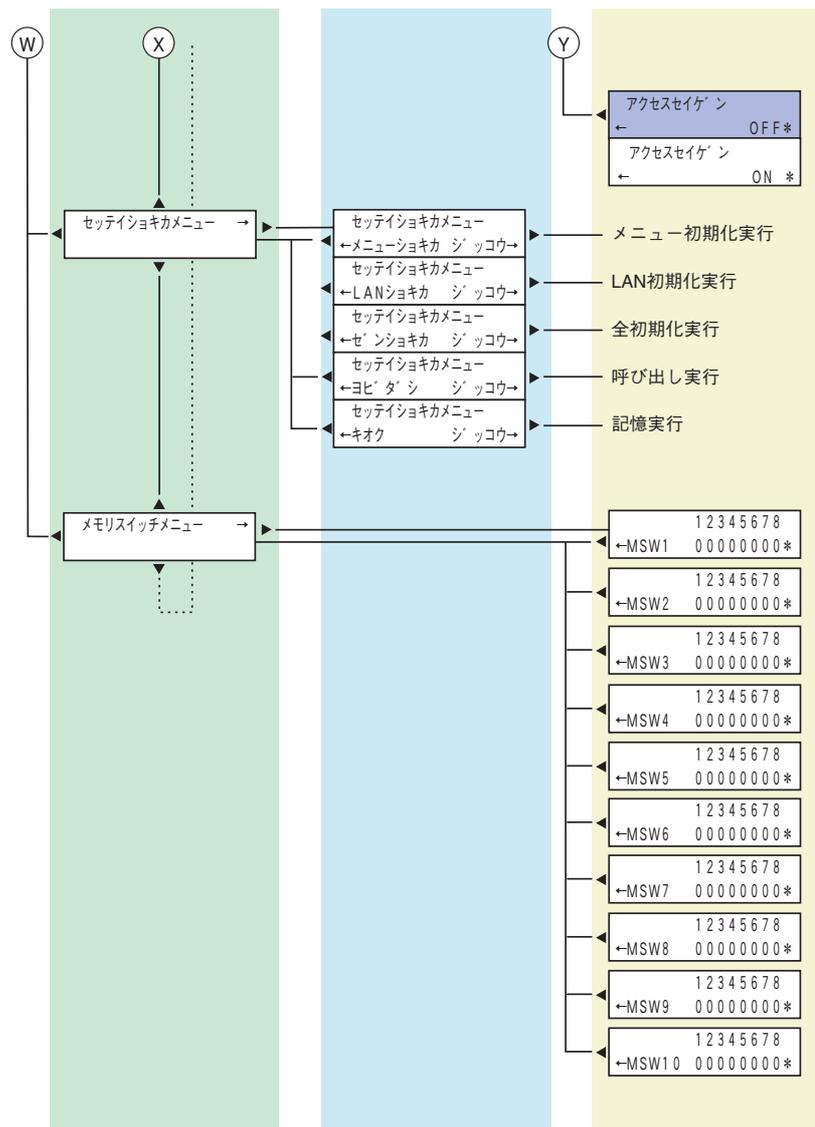












- 注1 大容量ホッパー（オプション）装着時に表示されます。
- 注2 グループ設定された場合に「リレー ON A」または「リレー ON B」を表示します。その際は、「リレー OFF」または「リレー ON」に変更できません。
- 注3 「テイケイガイ」の設定が「シヨウ」のときのみ表示されます。
- 注4 プリンターに接続されている排出先が排紙トレイ（オプション）の場合は、「ハイトレー FU」または「ハイトレー FD」、フィニッシャー（オプション）の場合は「トップトレイ FD」、「スタックトレイ FD」、「トップトレイ FU」を表示します。
- 注5 MSW6-7と同期します。
- 注6 「運用メニュー」の「節電機能」が有効のときのみ表示されます。
- 注7 MSW2-1と同期します。
- 注8 MSW1-1～MSW1-3と同期します。
- 注9 動作自動切り替えで、いずれかのインターフェースの設定がONのときのみ表示されます。
- 注10 MSW2-7と同期します。
- 注11 MSW2-2と同期します。
- 注12 201エミュレーションモード時のみ表示されず。
- 注13 MSW3-7と同期します。
- 注14 136ケタモードが有効のときのみ表示されます。MSW3-6と同期します。
- 注15 136ケタモードが有効のときのみ表示されます。MSW3-1～MSW3-5と同期します。
- 注16 「双方向設定」の変更を有効にするためには、プリンターの電源を再投入する必要があります。
- 注17 オプションのLANアダプター（型番 PR-WL-01）が装着されていて、「インターフェース設定メニュー」の「双方向設定」が「ECP」に設定されているときのみ表示されます。
- 注18 DHCPがONの時は、DHCPサーバーから取得したIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスが表示されます。この値は、参照のみであり、設定の変更はできません。DHCPサーバーから値が取得できない場合は、工場設定値が表示されます。（DHCP=OFFの設定値はクリアされます。）

メニューの詳細

テストメニュー

次のテスト印刷を実行します。

- ステータス印刷
- 連続印刷
- 16進ダンプ印刷
- LANステータス印刷
- 通信ログ印刷

連続印刷（テスト印刷）は自動的に印刷を終了しません。[ストップ] スイッチを押した後、[シフト] スイッチを押しながら [リセット] スイッチを2回押してください。

プリント結果については付録の「テスト印刷のプリント結果」（424ページ）をご覧ください。

印刷設定メニュー

1. コピー枚数

コピー枚数は“01” から“99”まで設定できます。

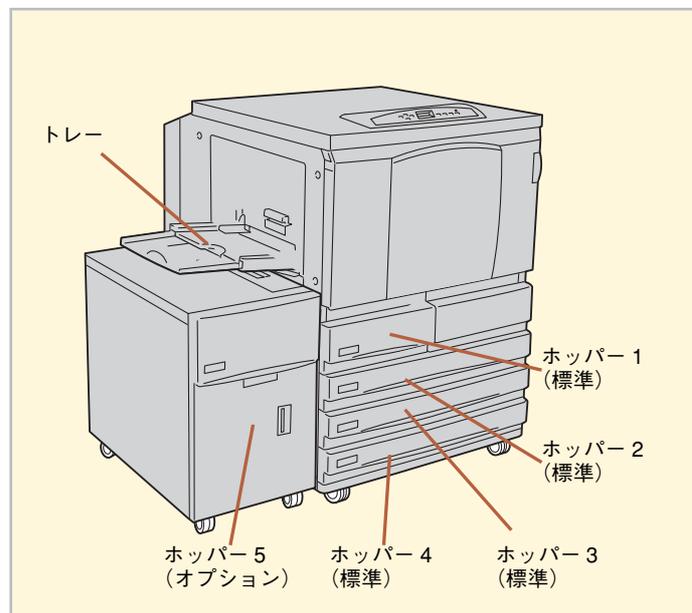
プリンターをリセットしたり、電源スイッチをOFFにしたりすると、設定はクリアされ“01”になります。アプリケーションによっては、ソフトウェアからコピー枚数を設定するものがあります。この場合、ソフトウェアで設定したコピー枚数が優先します。

用紙メニュー

1. ホッパー初期設定

電源投入時およびリセット時に指定されるホッパーまたはトレイを選択します。ホッパー5は大容量ホッパー（オプション）が取り付けられている時のみ表示されます。

- ホッパー 1
- ホッパー 2
- ホッパー 3
- ホッパー 4
- ホッパー 5
- トレイ



2. 用紙種別設定

ホッパー、トレーで使用する用紙の種別を「普通紙」、「厚紙」、「ラベル紙」、「OHP」の4種類から設定します。ホッパーやトレーによって選択できる用紙種別は異なります。各ホッパーやトレーの用紙種別は以下のとおりです。

- ホッパー 1： 普通紙、厚紙（1）
- ホッパー 2～4： 普通紙、厚紙（1）、ラベル紙、OHP
- ホッパー 5： 普通紙、厚紙（1）、ラベル紙
- トレー： 普通紙、厚紙（1）、厚紙（2）、ラベル紙、OHP

ここで指定した用紙の種別はすべての用紙サイズで有効です。

3. 合紙モード設定

合紙モードで使用するホッパーまたはトレーを選択します。

合紙モードは、ジョブの最初、または最初と最後に合紙（色紙など）を差し込む機能です。

合紙モードを設定したホッパーまたはトレーは、リレー給紙機能やグループホッパー機能は使用できません。また、リレー給紙機能やグループホッパー機能を設定しているホッパーまたはトレーは、給紙モード設定で表示されません。

4. リレー給紙設定

リレー給紙機能を使用するかどうかを選択します。

指定している給紙先に用紙がなくなった場合に、他のホッパーかトレーに同じサイズ、同じ用紙種別で同じセット方向（「A4ヨコ」など）の用紙があれば、自動的に給紙先を切り替えて印刷を行う機能です。

リレー給紙が有効となるのは以下の条件をすべて満たしている場合です。

- 2つ以上のホッパーやトレーがリレー給紙機能を使用する設定になっている。
- リレー給紙機能を使用するホッパーやトレーの内、2つ以上に同じサイズ、同じ用紙種別で同じセット方向の用紙をセットしている。



チェック

Windows環境で印刷する場合は、1章の「リレー給紙の設定」（22ページ）を参照してください。

5. グループ設定

グループホッパー機能を使用するかどうかを選択します。グループホッパー機能の詳細については4章「大量・連続印刷する」（203ページ）をご覧ください。

6. ホッパー定形外

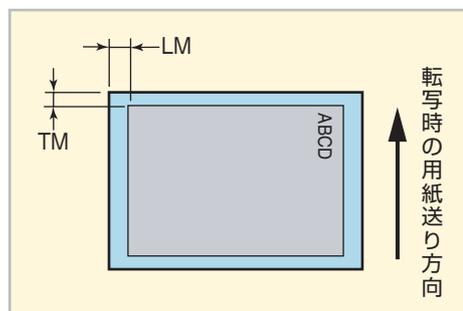
ホッパー 2～4のいずれかで定形外用紙を使用するときに設定します。使用可能な定形外用紙のサイズについては、「5章 定形外用紙のご使用について」（239ページ）をご覧ください。

印字位置設定メニュー

ホッパー、トレー、両面印刷時の表面、裏面の印刷位置を調整します。メニューモードの「テスト印刷」で出力した「ステータス印刷」の結果を使い、外周の四角い罫線のトップマージン（TM）とレフトマージン（LM）を測定して調整します。

調整できる範囲は、「-3.9ミリ」～「+3.9ミリ」で、0.3ミリ単位で設定できます。

〔設定変更〕スイッチを押すと、0.3ミリずつ減り、「-3.9ミリ」を越えると「+3.9ミリ」になります。



チェック

この設定は、プリンターの状態、使用する用紙の種類によって発生する印刷位置の誤差を補正するための機能です。この調整が正しく行われないとアプリケーションで余白の値が正確に指定できなくなったり、用紙端に近い部分の印刷が正常に行われなくなったりします。

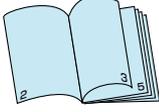
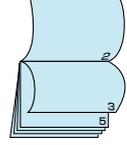
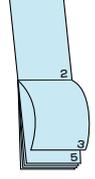
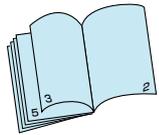
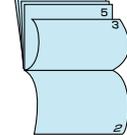
また、この機能は、用紙送り方向に対する位置を調整するもので、用紙の向きや印刷方向を設定するものではありません。

印刷機能メニュー

1. 両面印刷設定

両面印刷に関する設定を行います。

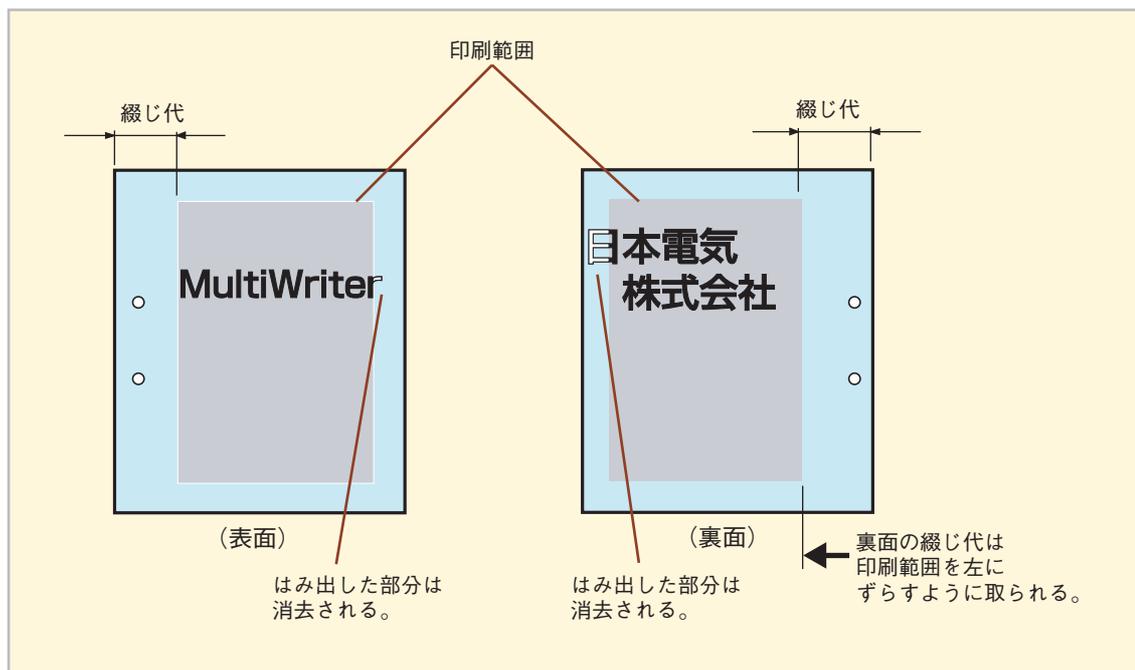
- 初期設定
電源投入時およびリセット時の印刷モードを両面印刷にするかしないかを選択します。
- 綴じ代^{としろ}
印刷したものを綴じるための余白の位置を設定します。

綴じ代	印刷方向	
	ポートレート	ランドスケープ
ロング1	左綴じ 	上綴じ 
ショート1	上綴じ 	右綴じ 
ロング2	右綴じ 	下綴じ 
ショート2	下綴じ 	左綴じ 

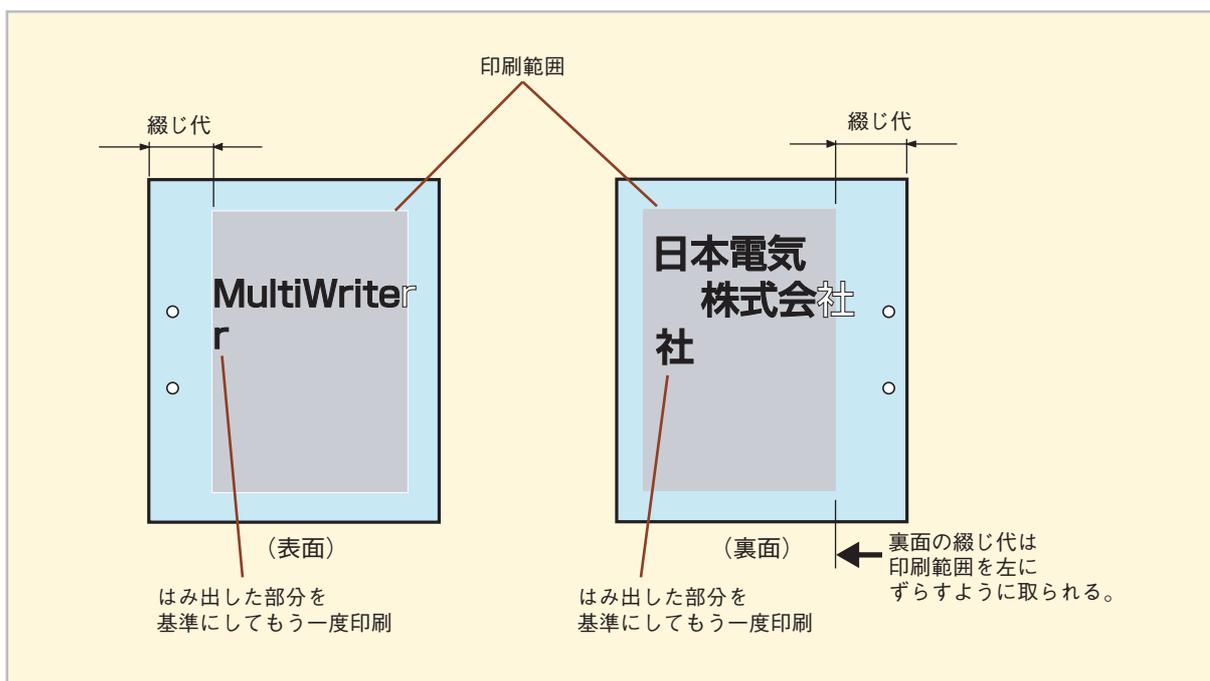
- 余白
綴じ代の量を設定します。設定範囲は0～20ミリで、1ミリ単位で設定できます。
- クリップ
余白（としろ）を多く取りすぎると印刷データが用紙の印刷範囲を超えてしまう場合があります。この場合、印刷範囲からはみ出したデータを次の行に印刷するか、はみ出した分を消去してそのまま残りの行を印刷するかを選択します。本機能は両面印刷時のみ有効です。「クリップ」をOFFにすると、はみ出した印刷データを次の行に引き続いて印刷します。それ以降の印刷データは1行ずつずれることとなります。（アプリケーションによってははみ出したデータを消去するものもあります）。

「クリップ」をONにすると、はみ出した印刷データを消去して印刷を続けます。

－ クリップON



－ クリップOFF



2. 排出方法

オプションの排紙トレイが接続されている場合は、フェースアップ排出またはフェースダウン排出の設定をします。オプションのフィニッシャーが接続されている場合は、用紙の排出先、フェースアップ排出またはフェースダウン排出の設定をします。

運用メニュー

1. 節電機能

節電機能を有効にするか無効にするかを選択します。

2. 節電時間設定

節電機能に入るまでの時間を選択します。



チェック

- プリンターの電源をONにしたまま一定時間、印刷を行わないとき、自動的に28W以下の消費電力にする機能です。
- 節電機能を使用しているときは、プリンターは印刷を開始する前にウォームアップを行うことがあります。この場合、通常より印刷が始まるまでに時間がかかることがあります。

3. 自動排出

自動排出の有効/無効、および設定時間を選択します。

データを送り終わったのに印刷を開始しない状態が多く発生するソフトウェアを使用している場合は、このメニューで設定時間を選択することをお勧めします。

4. メモリー設定

プリンターが持つメモリーの使用方法を選択します。

- 標準
通常の用途で最も性能が発揮できるように、それぞれのバッファにメモリーを最適に割り当てます。
- 電子ソート優先
電子ソートのために使用されるメモリーに優先してメモリーを割り当てます。通常はこのままの設定でお使いください。
実装メモリーと電子ソート機能の最低保証枚数の関係は以下のとおりです。

実装メモリーと電子ソート機能使用時の保証枚数

用紙サイズ	用紙サイズ	
	A4片面	A3片面
128MB	8枚	3枚
256MB	40枚	19枚
384MB	64枚	31枚
512MB	64枚	31枚
640MB	128枚	63枚
768MB	128枚	63枚
1024MB	193枚	95枚

また、ハードディスク（オプション）を装着することにより、電子ソート機能での保証枚数を大幅に増やすことができます。

ハードディスク装着時の保証枚数

用紙サイズ		ハードディスク装着時
A3	片面	200枚
	両面	100枚
B4	片面	200枚
	両面	100枚
A4	片面	200枚
	両面	100枚

フォントメニュー

フォントに関する設定は、プリンターが持っている文字に対してのみ有効です。詳細については「文字の種類」(360ページ)をご覧ください。

5. 1バイト系ゼロ

1バイトコード系の数字ゼロの字体（0または0）を選択します。
メモリースイッチ2-1でも選択できます。

6. 2バイト系ゼロ

2バイトコード系の数字ゼロの字体（0または0）を選択します。

7. ANK

ANK文字（アルファベット、数字、カタカナ）のフォントを選択します。

- 標準
- イタリック
- クーリエ
- ゴシック

8. 漢字

標準フォント（2バイト系文字）の書体を明朝体／ゴシック体から選択します。

9. 文字セット

2バイト系の文字セットを選択します。

- JIS1978
- JIS1983
- JIS1990

10. 国別

各国文字セットを選択します。
メモリースイッチ1-1～1-3でも選択できます。

- 日本
- アメリカ
- イギリス
- ドイツ
- スウェーデン

動作メニュー

1. 動作エミュレーション

[インタフェース1]、[インタフェース2]のインターフェースポートで個別にプリンターの動作モードを設定します。

- NPDモード
- ESC/Pエミュレーションモード

MS-DOSなどのアプリケーションで、NPDや201PLエミュレーションでの印刷ができない場合には、動作モードをESC/Pエミュレーションに切り替えて印刷を行ってください。

2. 動作自動切り替え

この機能をONにすると、送られてくる印刷データから動作モードを判断し、自動的にエミュレーションを切り替えて印刷します。ただし、印刷データによっては印刷結果が不正になる場合があります。また、自動切り替えがうまく行えなかった場合は、「ドウサ エミュレーション」で設定されたエミュレーションで印刷を行います。

この設定は各ポート（[インタフェース1]、[インタフェース2]）単位で行えます。

また、どれか1つのポートでもONにすると、各ポートを切り替えるタイムアウト時間が設定できるようになります。これは、1つのポートでデータを受信している時は、他のポートは使用不能状態になっており、データの受信が終了して一定時間、何も送られてこないと他のポートも使用可能な状態にします。このデータ受信終了から他のポートを使用可能にするまでの時間をタイムアウト時間として、30秒、15秒、5秒のいずれかから選択することができます。工場出荷時は30秒に設定されています。



チェック

タイムアウトをあまり短い時間に設定していると、コンピューターからのデータ送信が設定した時間以上停止した場合ポートが切り替わってしまい、思ったような印刷結果が得られないことがあります。

NPDFL設定メニュー

1. A4ポートレート桁数

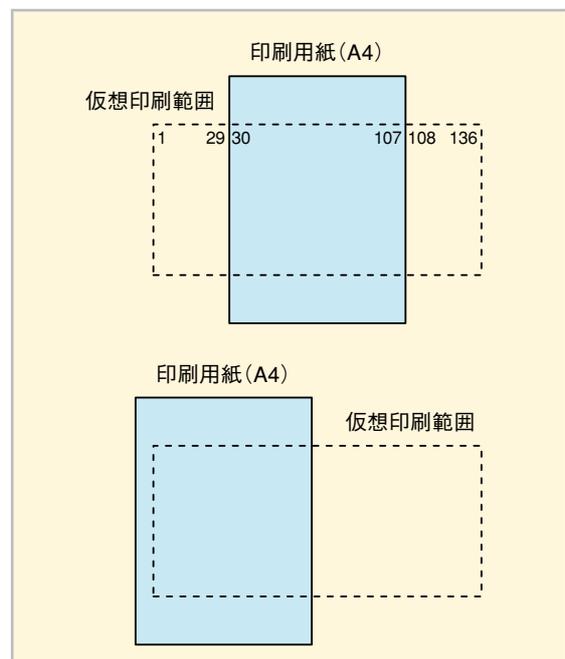
用紙がA4サイズ、ポートレート方向で使われるときの一行あたりの文字数をピカ文字で78桁にするか80桁にするかを設定します。
メモリスイッチ2-7でも選択できます。

2. エミュレーション

ページプリンターモードか201PLエミュレーションモードかを選択します。
メモリスイッチ2-2でも選択できます。

3. 136桁モード設定

- 136桁モード
136桁モードの有効・無効を選択します。
メモリスイッチ3-7でも選択できます。
- 用紙位置
136桁モードが有効のとき、用紙位置を中央合わせにするか、左合わせにするかを選択します。メモリスイッチ3-6でも選択できます。
 - － 用紙位置中央合わせでは、A4サイズの内紙を使用した場合、136桁の仮想印刷範囲の30桁目から107桁目までが印刷されます。
 - － 用紙位置左端合わせでは、136桁の仮想印刷範囲と印刷用紙の左端を合わせます。また、用紙位置調整によって、右の図のように仮想印刷範囲を超えて用紙位置を設定することもできます。
- 微調整
136桁モードが有効のとき、用紙位置微調整の方向と量を1/10インチ単位で選択します。
メモリスイッチ3-1～3-5の組み合わせで選択することもできます。



インターフェース設定メニュー

1. インターフェース1

- インターフェース通信モード
パラレルインターフェースポートの通信モードを設定します。本メニューでの通信モード名とパソコン側で一般的に呼ばれているモード名は以下のように対応しています。コンピューターの設定と異なる場合、正しく印刷できない場合があります。

通信モード名	コンピューター側での呼び方	
	PC98-NX (パラレルモード)	IBM PC/AT 互換機 (DOS/V 対応機)
ECP	ECP	Extended Capabilities Port (ECP) Mode
ニブル	双方向	Standard and Bidirectional Mode
なし (コンパチブル)	出力のみ	



通信モードを変更した場合には、電源を入れ直してください。設定は、電源再投入後に有効となります。

- IPアドレス、サブネットマスク
オプションの無線LANプリンタアダプタ (型番 PR-WL-01) のIPアドレス、サブネットマスクの設定ができます。設定手順については、オプションの無線LANプリンタアダプタ (型番 PR-WL-01) の取扱説明書をご覧ください。



本設定項目は、[インターフェース1] の場合、インターフェース通信モードが「ECP」に設定されていてLANアダプターが取り付けられている時に有効となります。

2. インターフェース2

- IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス
LANインターフェース (標準) のIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスの設定ができます。設定手順については、「3章 ネットワークでの設定」(65ページ) をご覧ください。
- DHCP
LANインターフェース (標準) のDHCPの設定ができます。設定手順については、「3章 ネットワークでの設定」(65ページ) をご覧ください。



DHCPがONに設定されているときは、DHCPサーバーから取得したIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスが表示されます。この値は、参照のみであり、設定の変更はできません。また、DHCPサーバーから値が取得できない場合は、工場設定値が表示されます。(DHCPがOFFの設定値はクリアされます。)

- イーサネット設定
通信速度とデュプレックスモードの設定をします。
- アクセス制限
アクセス制限機能を使用するか、しないかを設定します。IPアドレスを設定すると、ネットワークを介しての印刷利用者を制限することができます。

設定初期化メニュー

この機能を利用するとメニューモード内の設定（コピー枚数を除く）および操作パネルで設定したトレイの用紙サイズをまとめて記憶させ、必要なときに呼び出すことができます。

設定初期化を実行すると、プリンターは初期設定に戻ります。設定呼び出しを実行すると、プリンター内部の不揮発メモリーで記憶されている内容を呼び出します（初期設定に戻すこともできます）。

設定記憶を実行すると、メニューモード内の各種機能設定をまとめて記憶します。一度記憶された内容は次に設定記憶を実行するまで変化しません。

下記項目は実行後、ただちにメニューモードを終了します。

- メニュー初期化実行
- LAN初期化実行
- 全初期化実行
- 呼び出し実行
- 記憶実行

✓ チェック

- [インタフェース1] の場合
「インターフェース設定メニュー」で設定されたIPアドレス、サブネットマスクはLANアダプターへ記憶されます。「LAN初期化実行」、「全初期化実行」を行っても設定された内容は初期化されません。
- [インタフェース2] の場合
「インターフェース設定メニュー」で設定されたIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスなどは「メニュー初期化実行」を行っても設定された内容は初期化されません。標準のLANインターフェースの設定を初期化する場合は、「LAN初期化実行」または「全初期化実行」を行ってください。

設定を記憶できるメニューモードの項目と初期設定は次のとおりです。

メニューモードの項目と初期設定 (1/2)

設定記憶 / 呼び出し可能な項目	初期設定
印刷設定メニュー	
コピー枚数	1
用紙メニュー	
ホッパーの初期設定	ホッパー 1
用紙種別設定 (ホッパ1、ホッパ2、ホッパ3、ホッパ4、ホッパ5、トレイ)	普通紙
合紙モード設定	OFF
リレー給紙設定 (ホッパ1、ホッパ2、ホッパ3、ホッパ4、ホッパ5、トレイ)	OFF
グループ設定 (ホッパ1、ホッパ2、ホッパ3、ホッパ4、ホッパ5、トレイ)	OFF
定形外 (ホッパ2、ホッパ3、ホッパ4)	定形外：未使用 幅：210.0mm 長さ：297.0mm
印字位置設定メニュー	
ホッパ微調整	0 (TM、LM)
トレイ微調整	0 (TM、LM)
両面印刷時の微調整	0 (TM、LM)
印刷機能メニュー	
両面印刷の初期設定	無効
とじ代	ロング1
余白	0mm
クリップ	ON
排出方法	<排紙トレイ接続時> 排紙トレイ、フェースダウン <フィニッシャー接続時> トップトレイ、フェースダウン
運用メニュー	
節電機能	有効
節電までの時間	10分
自動排出	無効
メモリー割り当て設定	電子ソート優先
フォントメニュー	
1バイト系ゼロの書体	0
2バイト系ゼロの書体	0
ANKフォントの切り替え	標準
漢字フォントの切り替え	明朝
文字セットの切り替え	JIS1978
国別文字の切り替え	日本

メニューモードの項目と初期設定 (2/2)

設定記憶 / 呼び出し可能な項目	初期設定
動作メニュー	
[インタフェース1] の動作エミュレーション	NPDL
[インタフェース2] の動作エミュレーション	NPDL
[インタフェース1] の動作自動切り替え	OFF
[インタフェース2] の動作自動切り替え	OFF
タイムアウト	30秒
NPDL 設定メニュー	
A4ポートレート桁数	78桁
エミュレーション	201エミュレーションモード
136桁モード設定	136桁モード : 無効 用紙位置 : 左 微調整 : 0
インターフェース設定メニュー	
[インタフェース1] 双方向設定	ニプル
メモリースイッチメニュー	
290~291ページの一覧表を参照してください。	

メモリースイッチの内容

メモリースイッチ設定項目一覧

メニューモードの中で、比較的変更頻度の低いものがここにまとめられています。メモリースイッチは1 (ON) が0 (OFF) を選択することによって、以下の表に示されている項目を設定することができます。メモリースイッチは1-1から10-8まであります (未使用のスイッチもあります)。

メモリースイッチで設定できる機能の中には、メニューモードで設定できるものもあります。このような場合は、どちらか一方で設定を変更すれば、もう一方の設定も連動して自動的に変更されます。以下の表中の太文字は、工場出荷時の設定を示しています。詳細については、「メモリースイッチの詳細」(292ページ)をご覧ください。

メニューモードで設定できるメモリースイッチの内容

○：有効 ×：無効

番号	機能	0	1	ESC/Pモードでの動作
1-1	各国文字の切り替え	3つのスイッチの1/0の組み合わせにより、5か国語の文字を切り替えます。 すべて0 (日本語)		○
1-2				
1-3				
1-4	グレースケールの網点の切り替え	粗い	細い	×
1-5	DC1、DC3の有効/無効の切り替え	有効	無効	○
1-6	自動復帰改行の切り替え	復帰改行	復帰のみ	×
1-7	印刷指令の切り替え	CRのみ	CR+その他	×
1-8	CR機能の切り替え	復帰のみ	復帰改行	○
2-1	1バイト系コードのゼロの字体の切り替え* ¹	0	∅	○
2-2	エミュレーションモードの切り替え	201PL エミュレーション	ページプリンター (NPDL)	×
2-3	グラフィックモードの切り替え	ネイティブモード	コピーモード	×
2-4~2-5	(未使用)			—
2-6	7ビット/8ビットデータの切り替え	8ビット	7ビット	×
2-7	A4ポートレート印刷桁数の切り替え	78桁	80桁	○
2-8	B4→A4縮小時の縮小率の切り替え	4/5倍	2/3倍	○
3-1	レフトマージン量の設定 または用紙位置微調整量の設定 (136桁モード)	4つのスイッチの1/0の組み合わせにより、0インチから15/10インチまでの範囲で設定します。(1/10インチ単位) すべて0 (0インチ)		○
3-2				
3-3				
3-4				
3-5	用紙位置微調整方向の設定 (136桁モード)	左	右	○
3-6	用紙位置の設定 (136桁モード)	左端合わせ	中央合わせ	○
3-7	136桁モードの有効/無効の切り替え	無効	有効	×
3-8	ブザー機能の有効/無効の切り替え	有効	無効	○
4-1~4-2	(未使用)			—
4-3	ESC c1での登録データを初期化する/しないの切り替え	初期化する	初期化しない	×
4-4	FFコードのみで白紙を出力する/しないの切り替え	出力する	出力しない	×
4-5	ランドスケープ方向の切り替え	反時計回り	時計回り	○
4-6~4-8	(未使用)			—

*¹ OCR-Bフォントを使用した場合は設定に関わらず「0」で印刷されます。

メニューモードで設定できるメモリスイッチの内容 (続き)

○:有効 ×:無効

番号	機能	0	1	ESC/P モードでの動作
5-1	同期コードの無効/有効の切り替え ^{*1}	無効	有効	○
5-2~5-8	(未使用)			—
6-1~6-6	(未使用)			—
6-7	節電機能を使用する/しないの切り替え	使用する	使用しない	○
6-8	(未使用)			—
7-1	データストロープ信号のデータラッチタイミング [インタフェース1]	前縁ラッチ	後縁ラッチ	○
7-2~7-6	(未使用)			—
7-7	FS fコマンドでの指定用紙サイズなしを表示する/しないの切り替え	表示する	表示しない	×
7-8	FS fコマンドでの自動縮小をする/しないの切り替え	自動縮小する	自動縮小しない	×
8-1、8-2	ビジアクノリッジ (BUSY- $\overline{\text{ACK}}$) のタイミング [インタフェース1]	2つのスイッチの1/0の組み合わせで、BUSY- $\overline{\text{ACK}}$ のタイミングを切り替えます。 タイミングA (8-1:0、8-2:0)		○
8-3、8-4	アクノリッジ ($\overline{\text{ACK}}$) の幅 [インタフェース1]	2つのスイッチの1/0の組み合わせで、 $\overline{\text{ACK}}$ の幅を切り替えます。 1 μs (8-3:0、8-4:0)		○
8-5~8-8	(未使用)			—
9-1	(未使用)			—
9-2	ページフォーマットの回転をする/しないの切り替え	反転しない	反転する	○
9-3~9-8	(未使用)			—
10-1~10-8	(未使用)			—

*1 本スイッチを変更した場合は、プリンターの電源を再投入してください。

メモリースイッチの詳細

1-1～1-3 各国文字の切り替え

3つのメモリースイッチの組み合わせにより各国文字を切り替えます。

国別文字セット	1-1	1-2	1-3
<日本>	<0>	<0>	<0>
アメリカ	0	1	0
イギリス	1	1	0
ドイツ	0	0	1
スウェーデン	1	0	1

<文字>は工場出荷時の設定を示します。

表以外の組み合わせは、すべてスウェーデン文字となります。国別の文字については「国別相違点」(363ページ)をご覧ください。

1-4 グレースケールの網点の切り替え

グレースケールのパターンを切り替えます。「細かく」を選定した場合、網点が細かく印刷されます。

1-5 DC1、DC3の有効/無効の切り替え

DC1およびDC3を有効にするか、無効にするかを切り替えます。
201PLエミュレーション（メモリースイッチ2-2=0）時に有効です。

1-6 自動復帰改行の切り替え

バッファフル印刷を行うとき、「復帰のみ」か、「復帰改行」かを切り替えます。

1-7 印刷指令の切り替え

印刷指令をCRのみ有効にするか、CR、LF、VT、FF、US、ESC a、ESC bを有効にするかを切り替えます。

1-8 CR機能の切り替え

印刷指令コードCRを受信したとき、復帰のみか、復帰改行かを切り替えます。

2-1 1バイトコード系の数字ゼロの字体の切り替え

1バイト（8ビット）コード系の数字ゼロを「0」と印刷するか、「Ø」と印刷するかを切り替えます。

2-2 エミュレーションモードの切り替え

エミュレーションモードを201PLエミュレーションにするか、ページプリンター（NPDL）にするかを切り替えます。

2-3 グラフィックモードの切り替え

横ドット数をネイティブモードにするか、コピーモードにするかを切り替えます。コピーモードにすると、横ドット数がネイティブモードのときの1/2になります。
201PLエミュレーション（メモリースイッチ2-2=0）時に有効です。

2-6 7ビット/8ビットデータの切り替え

インターフェースのデータが7ビット有効か、8ビット有効かを切り替えます。
 201PLエミュレーション（メモリースイッチ2-2=0）時に有効です。
 ページプリンター（メモリースイッチ2-2=1）時は8ビット有効に固定されます。

2-7 A4ポートレート印刷桁数の切り替え

用紙がA4サイズ、ポートレート方向で使われるときの一行あたりの文字数をパイカ文字で78桁にするか80桁にするかを設定します。

2-8 B4→A4縮小の縮小率の切り替え

操作パネルの〔縮小/拡大〕スイッチまたは制御コード（FS f）を使って「B4→A4縮小モード」を指定したときに、縮小率を2/3にするか、4/5にするかを切り替えます。

3-1～3-4 印刷開始位置の調整

印刷開始位置の調整を行います。

エミュレーションモードがページプリンター（メモリースイッチ2-2=1）の時には、レフトマージン量の設定になります。

レフトマージン量とは用紙の最左端印刷位置から第一印刷位置までの距離です。

レフトマージン量は4つのメモリースイッチの組み合わせにより16通りに設定できます。組み合わせについては次の表をご覧ください。

エミュレーションモードが201PLエミュレーション（メモリースイッチ2-2=0）で136桁モード（メモリースイッチ3-7=1）の時には、用紙位置の調整量の設定になります。

印刷位置がずれた場合の、用紙位置調整に使用します。

用紙位置調整量は4つのメモリースイッチの組み合わせにより16通りに設定できます。組み合わせについては次の表をご覧ください。

調整方向はメモリースイッチ3-5で切り替えます。

レフトマージン量 / 用紙位置微調整量	3-1	3-2	3-3	3-4
<0インチ>	<0>	<0>	<0>	<0>
1/10インチ	1	0	0	0
2/10インチ	0	1	0	0
3/10インチ	1	1	0	0
4/10インチ	0	0	1	0
5/10インチ	1	0	1	0
6/10インチ	0	1	1	0
7/10インチ	1	1	1	0
8/10インチ	0	0	0	1
9/10インチ	1	0	0	1
1インチ	0	1	0	1
11/10インチ	1	1	0	1
12/10インチ	0	0	1	1
13/10インチ	1	0	1	1
14/10インチ	0	1	1	1
15/10インチ	1	1	1	1

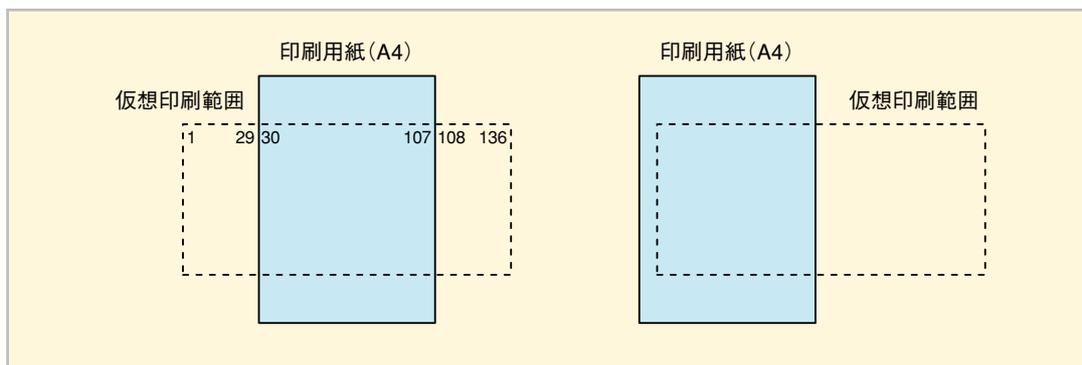
<文字>は工場出荷時の設定を示します。

3-5 用紙位置微調整方向の設定（136桁モード）

136桁モードで用紙位置調整を右方向にするか、左方向にするかを切り替えます。
201PLエミュレーション（メモリスイッチ2-2=0）で136桁モード（メモリスイッチ3-7=1）時に有効です。

3-6 用紙位置の設定（136桁モード）

136桁モードで用紙位置を中央合わせにするか、左端合わせにするかを切り替えます。
201PLエミュレーション（メモリスイッチ2-2=0）で、136桁モード（メモリスイッチ3-7=1）時に有効です。

**3-7 136桁モードの有効／無効の切り替え**

136桁モードを有効にするか、無効にするかを切り替えます。
201PLエミュレーション（メモリスイッチ2-2=0）時に有効です。

3-8 ブザー機能の有効／無効の切り替え

ブザーを鳴らすか、鳴らさないかを切り替えます。

4-3 ESC c1での登録データを初期化する／しないの切り替え

制御コードESC c1での登録データの初期化をするか、しないかを切り替えます。
ESC c1で初期化をしない（メモリスイッチ4-3=1）ときは、ESC c8と同じ機能になります。

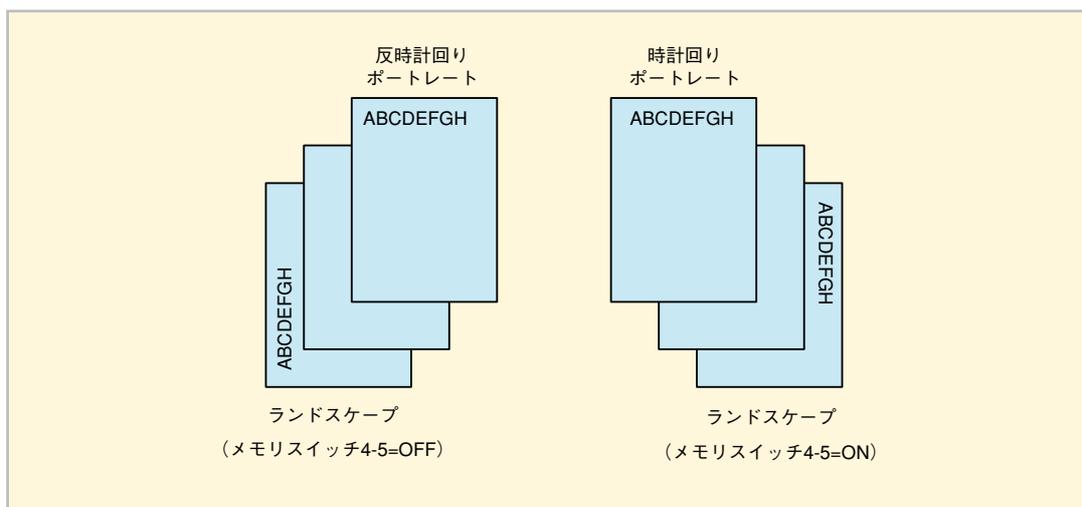
4-4 FFコードのみで白紙を出力する／しないの切り替え

FFコードのみで白紙を出力するか、しないかを切り替えます。
白紙を出力しない（メモリスイッチ4-4=1）ときは、ESC a、ESC bと同じ機能になります。

4-5

ランドスケープ方向の切り替え

ランドスケープ印刷とポートレート印刷を行ったときのスタッカー上での積み重なり方を切り替えます。



5-1

同期コードの無効／有効の切り替え

同期コードを有効とするか無効とするかを切り替えます。



本メモリスイッチを変更した場合は、プリンターの電源の再投入を行ってください。

6-7

節電機能を使用する／しないの切り替え

節電機能を使用するか、しないかを切り替えます。

7-1

データストロブ信号のデータラッチタイミング

[インタフェース1] パラレルインターフェースのデータストロブ信号のデータラッチタイミングを前縁か後縁にするかを切り替えます。

7-7

FS fコマンドでの指定用紙サイズなしを表示する／しないの切り替え

FS fコマンドにおいて指定用紙サイズがないとき、用紙補給表示をするか、表示しないでコマンドを無効にするかを設定します。

7-8

FS fコマンドでの自動縮小をする／しないの切り替え

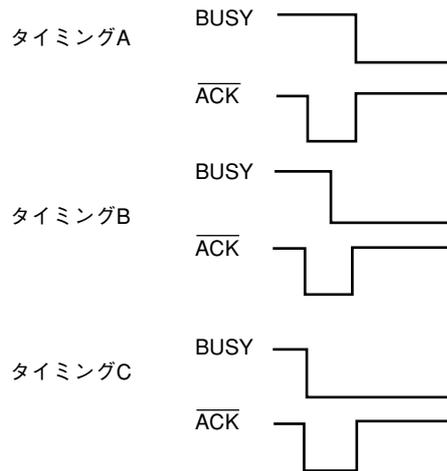
FS fコマンドにおいて指定用紙サイズがないとき、縮小印刷が可能ならば自動縮小をするか、しないかを切り替えます。

8-1、8-2 ビジアクノリッジ ($\overline{\text{BUSY}}-\overline{\text{ACK}}$) のタイミング

2つのメモリースイッチの組み合わせにより、[インタフェース1]の平行インターフェースの $\overline{\text{BUSY}}-\overline{\text{ACK}}$ のタイミングを切り替えます。

$\overline{\text{ACK}}$ のタイミング	8-1	8-2
<タイミングA>	<0>	<0>
タイミングB	1	0
タイミングC	0	1
タイミングA	1	1

<文字>は工場出荷時の設定を示します。

**8-3、8-4** アクノリッジ ($\overline{\text{ACK}}$) の幅の切り替え

2つのメモリースイッチの組み合わせにより、[インタフェース1]の平行インターフェースの $\overline{\text{ACK}}$ の幅を切り替えます。

$\overline{\text{ACK}}$ の幅	8-3	8-4
4 μs	1	0
<1 μs >	<0>	<0>
2 μs	0	1
10 μs	1	1

<文字>は工場出荷時の設定を示します。

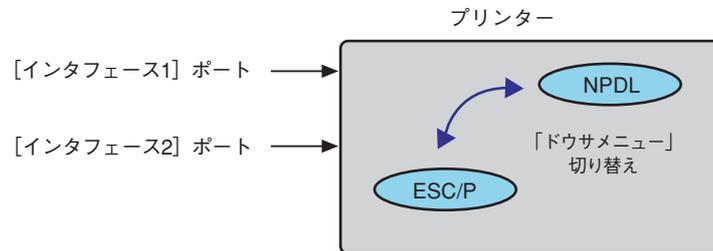
$\overline{\text{ACK}}$ の幅を短く設定すると、高速にデータを受信することができます。ただし、接続されたコンピューターによっては、うまく受信できない場合があります。その場合は、 $\overline{\text{ACK}}$ の幅を長くして使用してください。

9-2 ページフォーマットの回転をする／しないの切り替え

通常の印刷方向に対するページフォーマットを回転するか、しないかを切り替えます。

動作エミュレーションの切り替え

NPDモード、ESC/Pエミュレーションモードの切り替えは、メニューモードの「動作メニュー」で行います（メニューモードの設定変更方法は264ページを参照してください）。メニューモードの「動作メニュー」では[インタフェース1]、[インタフェース2]の各インターフェースに対して動作モードを設定できます。インターフェースの動作は、工場出荷時「NPD」モードに設定されています。



メニューモードの設定項目については266ページ、メモリスイッチの詳細については290ページをご覧ください。

動作エミュレーションは電源をOFFにしても保持されます。また、設定記憶に記憶することもできます。

上記2つのインターフェースのいずれか1つが動作している間は、その他のインターフェースは受信不可能になります。複数のインターフェースからデータが送られてきた場合は、最初に受信したインターフェースが選択され、その他のインターフェースは印刷待ち状態になります。そして最初に選択されたインターフェースからの印刷が終了してから標準では約30秒後に印刷待ち状態になっていたインターフェースの印刷を開始します。

ESC/Pエミュレーションモード

プリンターの動作エミュレーションをメニューモードを使用してESC/Pエミュレーションに切り替えることができます。

ESC/Pエミュレーションで使用する場合、次の手順で設定を行ってください。

✓ チェック

- 「ドウサジドウキリカエ」は、コンピューターからプリンターに送られてくる印刷データのエミュレーションを自動的に決定し切り替えて印刷を行います。ただし、印刷データによっては印刷結果が不正になる場合があります。印刷結果が不正になる場合は、「ドウサエミュレーション」で設定し直してください。
- MultiWriter 6600のESC/Pエミュレーションは、拡張グラフィックス文字には対応していません。
- ESC/Pエミュレーションモードでは、合紙モード、グループ設定は使用できません。メニューモードの合紙モード設定、グループ設定はOFFにしてください。
- ESC/Pエミュレーションモードでは、定形外用紙を使用した印刷はできません。

1 メニューモードに入る。

[印刷可] スイッチを押してプリンターをディセレクト状態にし、[メニュー] スイッチを押して“テストメニュー →”を表示させます。

2 操作パネルの [▼] スイッチ、[▶] スイッチを押して、“ドウサエミュレーション”を“ESC/P”に設定する。

詳しくは、「メニューツリー」(269ページ)を参照してください。

3 [メニュー終了] スイッチを押す。

ESC/Pエミュレーションで印刷方向にポートレートを選択しています。

ホッパ° 1 A4ヨコ ホ° ート
フツウシ ESC/P

ESC/Pエミュレーションで印刷方向にランドスケープを選択しています。

ホッパ° 1 A4ヨコ ランド°
フツウシ ESC/P

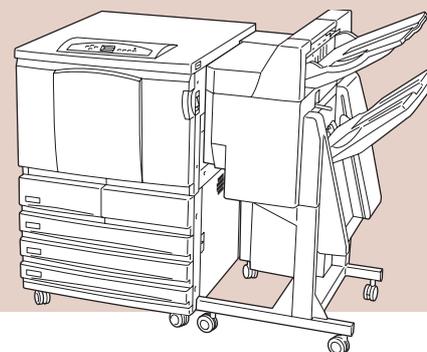
4 設定が終わったら、アプリケーションで次の表に示す優先順位でプリンターを指定する。

セイコーエプソン社の24ピン漢字シリアルプリンターのほとんどが以下の分類に含まれます。

優先順位	プリンター名称
1	ESC/P 24-J84
2	ESC/P 24-J84準拠の各プリンター
3	ESC/P 24-J83
4	ESC/P 24-J83準拠の各プリンター

その他メニューモードの設定がESC/Pエミュレーションで可能かどうかを266~268ページと290~291ページにまとめてあります。参照してください。

8章 日常の保守



この章では、日常の保守として消耗品の交換およびプリンターの清掃について説明します。清掃は、MultiWriter 6600を正しく動作させるために定期的に行うことをお勧めします。プリンター内部の精密な部分の清掃については、定期保守の時にサービス担当者が行います。

トナーカートリッジの交換

消耗品ランプが点灯し、ディスプレイに次の表示が出たら、トナーカートリッジの交換時期です。

ディスプレイ表示	意味	対処方法
XXXX トナーザンショウ	トナーカートリッジ内のトナーが少なくなっています。	トナーカートリッジを速やかに交換してください。
76 トナーナシ カートリッジ コウカン	トナーカートリッジ内のトナーがなくなりました。	

新しいトナーカートリッジは、本プリンターをお買い求めになった販売店、または添付の「NECサービス網一覧表」に記載されているサービス窓口などでお求めになれます。

本プリンターでお使いになれるトナーカートリッジは、PR-L6600-12です。詳しくは「1章 オプション」(13ページ)をご覧ください。

トナーカートリッジ取り扱い上のご注意

トナーカートリッジの取り扱いについては、以下の注意事項をお読みください。



使用済みのトナーカートリッジを、絶対に火中に投げないでください。粉じん爆発により、やけどのおそれがあります。



- 弊社が推奨していないトナーカートリッジを使用した場合、装着本来の品質や性能を発揮できないおそれがあります。本製品には、弊社が推奨するトナーカートリッジをご利用ください。
- トナーが衣服についた場合は乾いた布でふき取り、そのあと衣服を水洗いしてください。また、トナーに毒性はありませんが、粒子を吸い込まないように注意してください。

トナーカートリッジの交換手順

トナーカートリッジの交換手順を説明します。

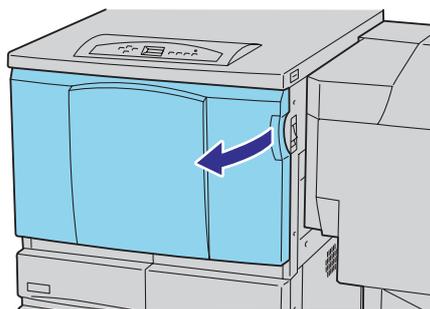


- 「高温注意」ラベルが貼られている周辺には絶対に触れないでください。やけどをするおそれがあります。
- 床などにこぼしたトナーは、ほうきで掃き取るか、または石けん水を湿らせた布などでふき取ってください。掃除機でトナーを吸い取ると、吸い取ったトナーが掃除機内部で粉じん発火・爆発するおそれがあります。

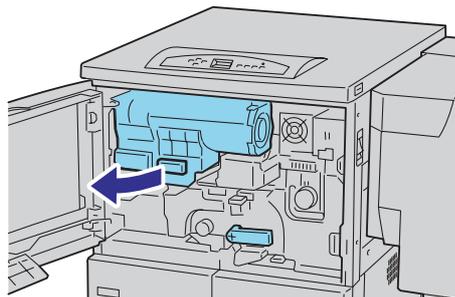


新しいトナーカートリッジを使い始めてしばらくの間は、網点画像や1ドットラインの印刷濃度が薄くなっている場合があります。

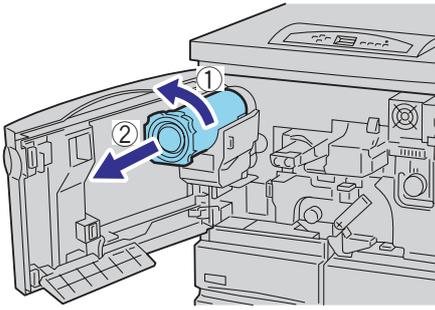
- ① プリンターの印刷動作が停止していることを確認し、フロントカバーを開ける。



- ② 取っ手を下から持って、トナーカートリッジを左方向へ開ける。



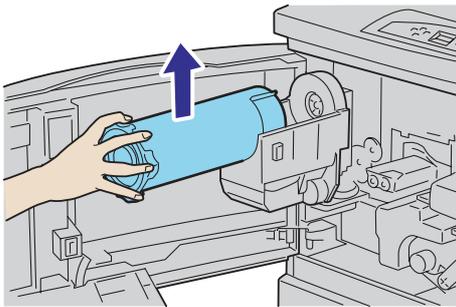
- ③ トナーカートリッジを左方向へ「カチッ」と音がするまで回し、手前に止まるところまで引き出す。



- ④ トナーカートリッジを上へ持ち上げて、取り出す。

⚠ 注意

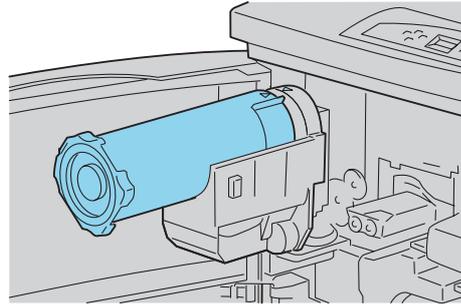
「高温注意」を促すラベルが貼られている周辺には、絶対に触れないでください。やけどの原因となるおそれがあります。



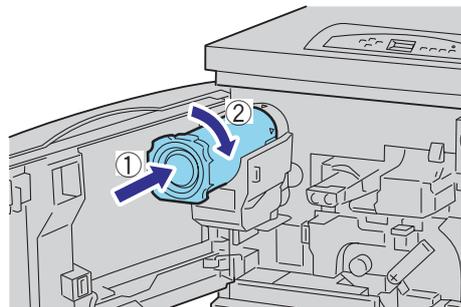
- ⑤ 新しいトナーカートリッジを左右によく振る。



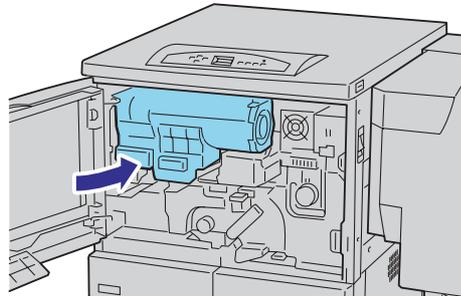
- ⑥ プリンター本体の▼マークと、新しいトナーカートリッジ先端の▲マークとを合わせるようにして、トナーカートリッジを置く。



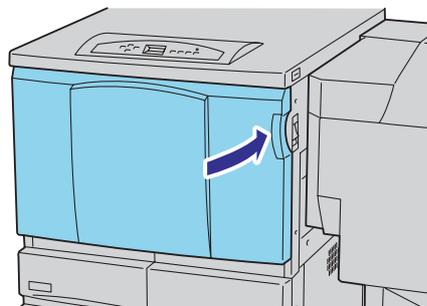
- ⑦ トナーカートリッジを奥に押し込んでから、右方向へ止まるところまで回す。



- ⑧ 取っ手を下から持って、トナーカートリッジを矢印の方向へ「カチッ」と音がするまで戻す。



- ⑨ プリンターのフロントカバーを閉じる。



✓ チェック

「トナーナシ」表示からのエラーを解除するには、フロントカバーを閉じた後 [印刷可] スイッチを押してください。

トナーカートリッジの寿命

MultiWriter 6600に添付されているトナーカートリッジ（PR-L6600-12相当品）の寿命は、A4用紙で画像面積比率（1ページ中の黒い部分の面積と印刷範囲の面積との比率）約5%の連続印刷を行ったとき、約33,000ページになります。

以下は、画像面積比率約5%を目安とした文書例です。

トナーカートリッジの寿命について

本プリンタの消耗品の「トナーカートリッジ」には寿命33,000枚（A4、画像面積比5%）のものがああります。

ここで画像面積比5%の意味及びトナーカートリッジの寿命について説明します。
従来、シリアル系ドットインパクトプリンタ、熱転写プリンタ等においては、消耗品であるインクリボンの寿命は「何文字」という表現をしていました。これに対し、本プリンタの様なページプリンタにおいては、「何枚」という単位で表現されています。

この様に、表現が「文字数」から「枚数」に変化した理由は、
① ページプリンタにおいては、処理の単位がページ単位であること。
② ①にも関連して、グラフィック等、文字数では十分把握できない様な印刷を行うケースが増えてきている。
の2つが考えられます。

トナーカートリッジの寿命を決定するものの1つに、そのトナーカートリッジ内部に収納されているトナーの量があります。トナーをすべて消費してしまえばトナーカートリッジの寿命となります。（これは従来のインクリボンにおいてインクがなくなるまでをリボンの寿命と呼んだのと同じことです）。

従って「枚数」で寿命と考えるときは、1ページの中でどれくらいのトナーを消費しているかということが問題となります。

1ページ中の印刷領域（印刷用紙の上下左右端から各々5mmの部分を除く領域）に黒い部分がどの位の割合であるか表したものが画像面積比です。1ページの中に印刷が全くない状態が0%、印刷領域全域が真っ黒にすべてのドットを埋め尽くした状態が100%です。

この画像面積比によりカートリッジの寿命は長くも短くもなります。このことから「画像面積比何%のときに寿命が何枚」という表現をします。従って、印刷する内容の画像面積比が5%より高い場合、33,000枚印刷する前にトナーカートリッジの寿命となる場合があります。

なお、この印刷サンプルが画像面積比約5%相当の目安となります。

画像面積比5%の印刷例



- トナーカートリッジの寿命は画像面積比率、印刷用紙サイズ、両面印刷などの印刷条件によって異なります。
- 画像面積比率は、お使いのコンピューターの環境（OS、アプリケーション、使用フォントなど）により変化します。

クリーニングカートリッジの交換

クリーニングカートリッジは、フューザーの汚れをふき取ります。新しいクリーニングカートリッジの寿命は、約50,000ページです（印刷方法によって若干の差があります）。

消耗品ランプが点灯し、ディスプレイに次の表示が出たら、クリーニングカートリッジの交換時期です。

ディスプレイ表示	意味	対処方法
XXXX クリーナー ジュミョウ	クリーニングカートリッジの交換時期が近づいています。	クリーニングカートリッジを速やかに交換してください。
80 ユニット ジュミョウ クリーナー	クリーニングカートリッジの交換時期です。	

新しいクリーニングカートリッジは、本プリンターをお買い求めになった販売店、または添付の「NECサービス網一覧表」に記載されているサービス窓口などでお求めになれます。本プリンターでお使いになれるクリーニングカートリッジは、PR-L6600-34です。詳しくは「オプション」(13ページ)をご覧ください。

クリーニングカートリッジ取り扱い上のご注意

クリーニングカートリッジの取り扱いについては、以下の注意事項をお読みください。

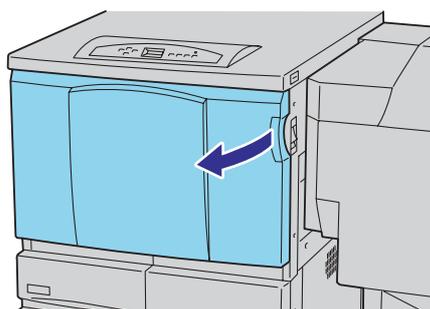


注意

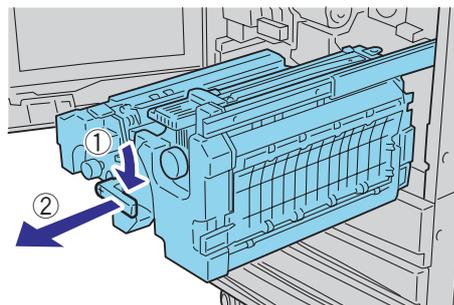
「高温注意」を促すラベルが貼られている周辺（フューザーユニットやその周辺）には、絶対に触れないでください。やけどの原因となるおそれがあります。

クリーニングカートリッジの交換手順

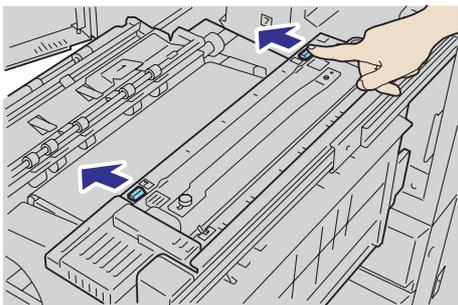
- ① プリンターの印刷動作が停止していることを確認し、フロントカバーを開ける。



- ② フューザーユニットの中央にあるレバーを時計回りに水平になるまで回して、手前に止まるところまでフューザーユニットを引き出す。



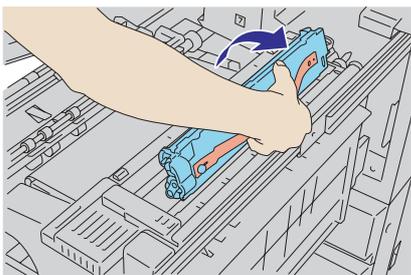
- ③ 両端にあるオレンジ色の四角いボタンを押して、左にずらす。



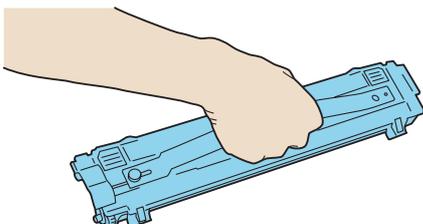
- ④ 中央にあるオレンジ色のベルトを持って、右端へ傾けるように倒して、そのまま持ち上げ、取り出す。

⚠ 注意

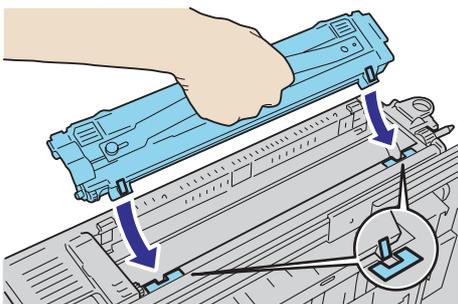
「高温注意」を促すラベルが貼られている周辺には、絶対に触れないでください。やけどの原因となるおそれがあります。



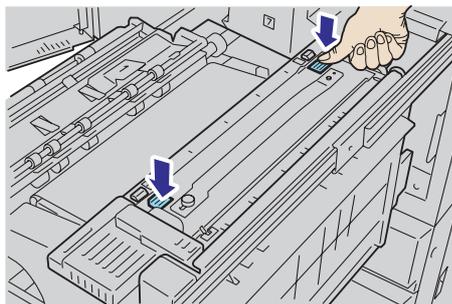
- ⑤ 新しいクリーニングカートリッジを取り出す。



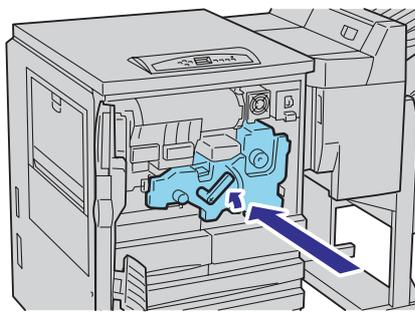
- ⑥ クリーニングカートリッジの両端にあるツメと、プリンターのフューザーユニット（定着部）にある凹印マークを向かい合わせにしてセットする。



- ⑦ クリーニングカートリッジの両端にあるオレンジ色の四角い横線マークの上から下方に、「カチッ」と音がするまで押して、ロックする。

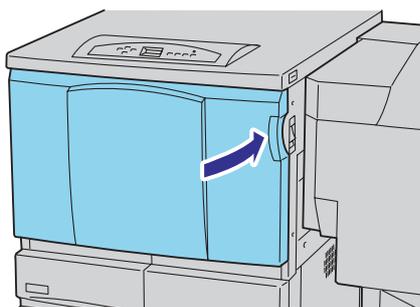


- ⑧ フューザーユニットを完全に奥まで押し込み、中央にあるレバーを「カチッ」と音がするまで、反時計回りに回す。



レバーを回せない場合は、フューザーユニットを途中まで引き出してから、再度押し込んでください。

- ⑨ プリンターのフロントカバーを閉じる。



ドラムカートリッジの交換

新しいドラムカートリッジの印刷目安は約110,000枚です。ただし、印刷内容、印刷方法によっては“ハイトナー”が一杯になり、印刷目安よりも早く交換時期になることがあります。消耗品ランプが点灯し、ディスプレイに次の表示が出たら、ドラムカートリッジの交換時期です。

ディスプレイ表示	意味	対処方法
XXXX ド ラムジ ュミョウ	ドラムカートリッジの交換時期が近づいています。	ドラムカートリッジを速やかに交換してください。
80 ユニット ジ ュミョウ ド ラム	ドラムカートリッジの交換時期です。	

ディスプレイ表示	意味	対処方法
XXXX ド ラムジ ュミョウ ハイトナー	ドラムカートリッジの交換時期が近づいています。	ドラムカートリッジを速やかに交換してください。
80 ユニット ジ ュミョウ ド ラム ハイトナー	ドラムカートリッジの交換時期です。	

新しいドラムカートリッジは、本プリンターをお買い求めになった販売店、または添付の「NECサービス網一覧表」に記載されているサービス窓口などでお求めになれます。

本プリンターでお使いになれるドラムカートリッジは、PR-L6600-31です。詳しくは「オプション」(13ページ)をご覧ください。

ドラムカートリッジ取り扱い上のご注意

ドラムカートリッジの取り扱いについては、以下の注意事項をお読みください。



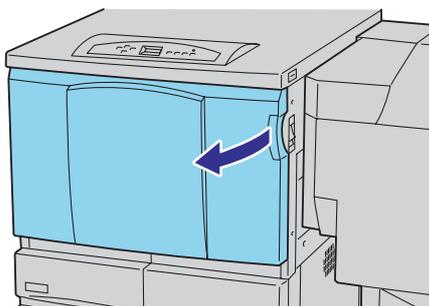
ドラムカートリッジを絶対に火中に投げないでください。カートリッジ内に残っているトナーの粉じん爆発により、やけどのおそれがあります。



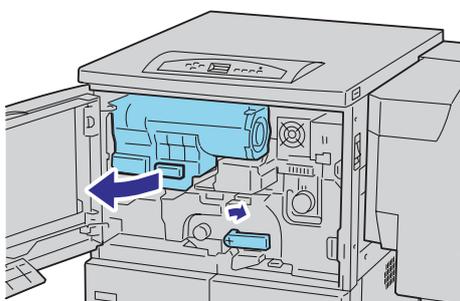
- 弊社が推奨していないドラムカートリッジを使用した場合、装着本来の品質や性能を発揮できないおそれがあります。本製品には、弊社が推奨するドラムカートリッジをご利用ください。
- ドラム表面は手で触らないでください。ドラム表面に物をぶつかけたり、こすったりしないでください。
- ドラムを直射日光に当てたり、室内蛍光灯の光に5分以上当てたりしないでください。印字が汚れたり、写らない箇所が発生したりします。

ドラムカートリッジの交換手順

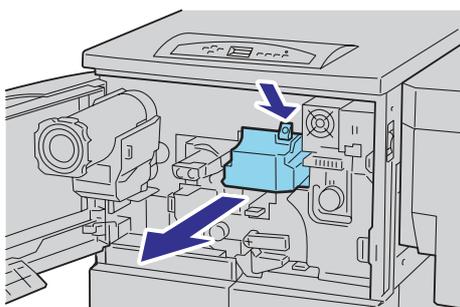
- ① プリンターのフロントカバーを開ける。



- ② 取っ手を下から持って、トナーカートリッジユニットを左方向へ開き、中央にあるレバーを右方向へ水平になるまで回す。



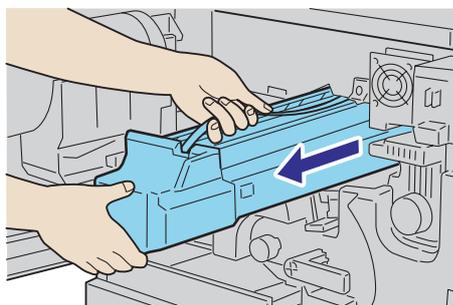
- ③ ドラムカートリッジ上部のオレンジ色のボタンを押しながら、ドラムカートリッジを手前に、半分ほどゆっくりと引き出す。



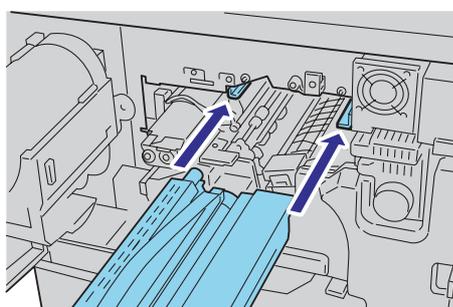
⚠ 注意

「高温注意」を促すラベルが貼られている周辺には、絶対に触れないでください。やけどの原因となるおそれがあります。

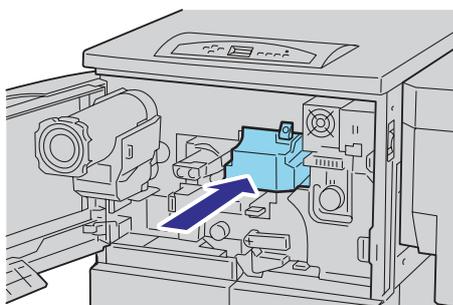
- ④ 上部の取っ手をもち、ドラムカートリッジを手前に、まっすぐに引いて取り出す。



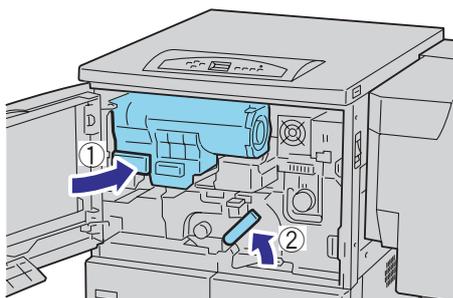
- ⑤ 新しいドラムカートリッジを袋から出して、両端のガイドをプリンターの本体のレールに載せる。

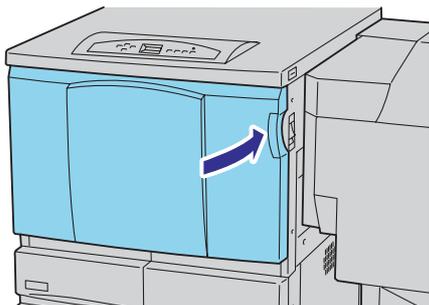


- ⑥ 「カチッ」と音がするまで、ドラムカートリッジをまっすぐに押し込む。



- ⑦ 取っ手を下から持って、トナーカートリッジユニットを矢印の方向へ「カチッ」と音がするまで戻す。中央にあるレバーを「カチッ」と音がするまで反時計回りに回す。



8 プリンターのフロントカバーを閉じる。**✓チェック**

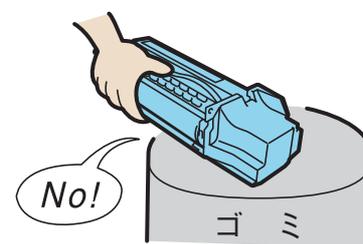
「ユニットジュミョウ」表示からのエラー解除では、フロントカバーを閉じた後、[印刷可] スイッチを押してください。

使用済み消耗品の回収について

ご使用済みのNEC製ドラムカートリッジおよびトナーカートリッジは地球資源の有効活用を目的として回収し、再利用可能な部品は再利用しております。

ご使用済みのNEC製ドラムカートリッジ、トナーカートリッジ、クリーニングカートリッジは捨てずに、回収センターに直接お送りいただくか、お買い上げの販売店、または添付の「NECサービス網一覧表」に記載されているサービス窓口までお持ち寄りください。なお、その際は損傷を防ぐため、ご購入時の梱包箱に入れてください。

- ドラムカートリッジ、トナーカートリッジ回収に関するWebページ「ECOLOGY & TECHNOLOGY」
URL : http://www.nec.co.jp/eco/ja/recycle/ep_recycle.html



清掃

MultiWriter 6600はプリンターの表面が汚れているとき、糸くずの出ない乾いた布で拭いてください。プリンター内部の清掃は定期保守の時にサービス担当者が行いますので、お客様が清掃する必要はありません。

⚠ 注意

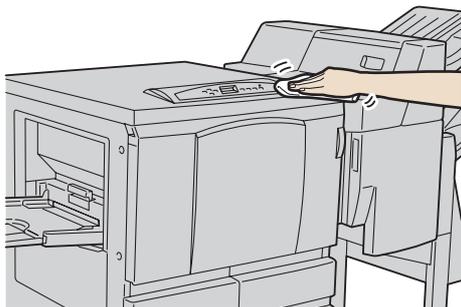
- 清掃するときは、電源スイッチをOFFにし、電源コードをコンセントから抜いてください。感電するおそれがあります。また、電源コードはプラグを持って抜いてください。コード部分を引っ張るとコードが傷み、火災や感電の原因となることがあります。
- 電源スイッチをOFFにした直後は、フューザーユニット周辺、およびプリンター内部の金属部は高温になっている場合があります。やけどをするおそれがありますので、十分に冷めてから取り扱ってください。
- 「高温注意」ラベルが貼られている箇所（フューザーユニットやその周辺）には、絶対に触れないでください。やけどをするおそれがあります。

✓ チェック

清掃にベンジン、シンナーなど揮発性のものを使用したり、殺虫剤をかけたりしないでください。カバー類の変色、変形、ひび割れの原因となります。

① 外部の清掃をする。

プリンター表面の汚れは、やわらかい布に水またはうすめた中性洗剤を少量含ませて、軽くふいてください。

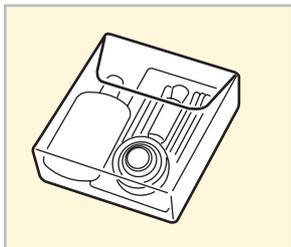


② 乾いた布で拭く。

清掃用にクリーニングキットを別売しています。

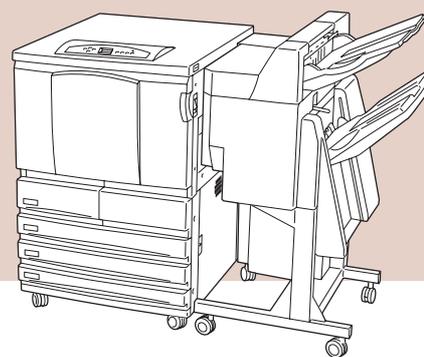
クリーニングキット (型番 PC-PR601-14)

プリンターの清掃に便利な用具一式が入っています。



9章

故障かな?と思ったら



この章では、「故障かな?」と思ったときの症状を以下の項目に分けて、原因と処理方法を説明します。

- 印刷できないときは
- 印刷に異常が見られるときは
- オフセット排紙機能が動作しないときは
- PrintAgentシステムが起動しないときは
- リプリント機能が動作しないときは
- ネットワークで思うように印刷できないときは
- アラーム表示が出ているときは
- 思うように印刷できないときは
- フィニッシャー機能がうまく動作しないときは
- プリンタステータスウィンドウがおかしいときは
- PrintAgentを正しく動作させるために
- 紙づまりのときは

また、プリンター本体、および消耗品の廃棄方法についても記載しています。その他プリンターソフトウェアを利用する際の補足情報はプリンターソフトウェアの「はじめにお読みください」(Readme.txt)に記載されています。これらはプリンターソフトウェアCD-ROMのメニュープログラムから参照できます。

修理に出す前に

「故障かな?」と思ったときは、修理に出される前に以下の手順を実行してください。

- ① 電源コードおよびプリンターケーブルが正しく接続されているかどうかを確認する。
- ② 定期的な清掃を行っていたか、またトナーカートリッジの交換は確実に行われていたかを確認する。
- ③ 本章の310~335ページを参照し、該当する症状があれば、記載されている処理を行う。

以上の処理を行っても、なお異常があるときは無理な操作をせず、お近くのサービス窓口にご連絡ください。その際にディスプレイのアラーム表示の内容や、不具合印刷のサンプルがあると、修理の際の有力な情報となることがあります。サービス窓口の電話番号、受付時間については「NECサービス網一覧表」をご覧ください。なお、保証期間中の修理は、保証書を添えてお申し込みください。



海外でのご使用について

このプリンターは日本国内仕様のため、海外でのご使用になる場合NECの海外拠点で修理することはできません。また、日本国内での使用を前提としているため、海外各国での安全規格などの適用認定を受けておりません。したがって、本装置を輸出した場合に当該国での輸入通関、および使用に対し罰金、事故による補償などの問題が発生することがあっても、弊社は直接・間接を問わず一切の責任を免除させていただきます。

印刷できないときは

プリンターにデータを送ったのに印刷ができないなどの症状、および原因と処理方法を示します。それぞれの方法に従って原因の確認、処理を行ってください。

症状	原因と処理方法
電源ランプが点灯しない	<p>電源スイッチがOFFになっている。 → 電源スイッチをONにしてください。</p> <p>電源コードがきちんと差し込まれていない。 → プリンター側とコンセント側の両方を確認してください。</p> <p>プリンター本体背面下のブレーカスイッチがOFFになっている。 → ブレーカスイッチを上げてスイッチをONにしてください。</p> <p>コンセントに電気が供給されていない。 → 配電盤などの状態を調べてください。</p>
データを送り終わったのに印刷ができない、または長い間印刷を開始しない	<p>印刷可ランプが消灯している。 → [印刷可]スイッチを押して、印刷可ランプを点灯させてください。</p> <p>プリンターケーブルまたはネットワークケーブルが正しく選択されていないか、または正しく接続されていない (データランプ消灯)。 → プリンターケーブルまたはネットワークケーブルの種類を確認後、接続してください。 【参照】ユーザーズマニュアルの「1章 プリンターの設置」、プリンターケーブルについては1章の「使用できるプリンターケーブル」(31ページ)</p> <p>改ページまたは排出コードがない (データランプ点灯)。 → [シフト]スイッチを押しながら[排出]スイッチを押して、プリンター内に残っている未印刷データを印刷してください。また、この状態が多く発生するソフトウェアをお使いの場合は、メニューモードで自動排出を選択することをお勧めします。</p> <p>用紙がなくなったか、または指定されたサイズ用紙がない (印刷可ランプ (赤) 点滅)。 → 用紙を補給してください。 【参照】「5章 用紙のセット」(237ページ)</p> <p>印刷可ランプ (赤) が点滅している。 → 【参照】「アラーム表示が出ているときは」(312ページ)</p> <p>データ受信 (データランプ (橙) 点滅)。 → 本プリンターはページ単位で処理するため、1ページ分のデータがそろわないと印刷を開始しません。また、グラフィックモードで多量のデータを送る場合などは、データ転送に時間がかかります。 もう少しお待ちください。</p> <p>MultiWriter 6600が「通常使うプリンタ」として選択されていない。 → MultiWriter 6600を「通常使うプリンタ」として選択してください。</p> <p>コンピューターのメモリーが不足している。 → コンピューターのメモリーを増やしてください。</p>
ホッパーにセットした用紙サイズを認識しない	<p>用紙のセットのしかたが悪い。 → 用紙をセットし直してください。 【参照】5章の「ホッパーに用紙をセットする」(241ページ)、5章の「大容量ホッパーに用紙をセットする」(245ページ)</p> <p>用紙ガイドが正しくセットされていない。 → サイドガイド、エンドガイドを用紙に合わせてセットし直してください。</p>

症状	原因と処理方法
トレイから印刷ができない	<p>給紙方法が自動またはホッパーになっている。 → プリンタードライバーの給紙方法をトレイに設定し直してください。</p> <p>用紙のセットのしかたが悪い。 → 用紙をセットし直してください。 【参照】5章の「トレイに用紙をセットする」(243ページ)</p> <p>用紙の設定が間違っている。 → 操作パネルで、セットした用紙サイズを設定してください。 【参照】「6章 操作パネル」(253ページ)</p>

アラーム表示が出ているときは

保守が必要な時期になったりエラーが発生したりすると、印刷可ランプ（赤）が点滅し、ディスプレイにその内容が表示（アラーム表示）されます。このとき、ブザーが30秒ごとに6回鳴ります。



メモリースイッチ3-8の設定がONのときは、ブザーは鳴りません。

次の表に、アラーム表示とその内容、および処理方法を示します。それぞれの方法に従って処理してください。

ディスプレイ表示	アラームの内容と処理方法
<p>ホッパ 1 A4ヨコ ホキユウ フツウシ</p> <p>この位置にホッパー番号（1～5）が表示されます。</p> <p>トレー A4タテ セット フツウシ</p>	<p>用紙がない。または印刷フォーマットで指定されたサイズ用の紙がない。</p> <p>→ 表示されているサイズの用紙をそれぞれ指定された場所に補給してください。</p>
<p>ホッパ 1 A4ヨコ ホ ート XXXX カクニン</p> <p>この位置に補給する用紙種別が表示されます。</p>	<p>指定された用紙種別とプリンターに設定されている用紙種別が一致していない。</p> <p>→ 表示されている用紙種別と一致する用紙を指定された場所に補給してください。指定された用紙種別がすでに補給されていれば、[印刷可] スイッチを押すことでアラームが解除されます。</p>
<p>72 カバ ーオーフン XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX</p> <p>この箇所に開いているカバーの名称が表示されます。</p>	<p>カバーが開いている。</p> <p>→ それぞれ指示されたカバーをきちんと閉じてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> “ホンタイ フロントカバー” “ホンタイ サイドカバー” “ホッパ5 トップカバー” “フィニッシャ フロントカバー” “フィニッシャ トップカバー” “フィニッシャ コンバイルトレー”
<p>74 カミヅ マリ XX XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX</p> <p>この箇所に解除箇所が表示されます。</p>	<p>紙づまりが発生している。</p> <p>→ つまった用紙を取り除いてください。 【参照】「紙づまりのときは」（336ページ）</p>
<p>75 ヨウシサイズエラー XXXXX XXXXX</p> <p>この箇所にホッパー番号（1～5）、トレーと解除箇所が表示されます。</p>	<p>指定サイズと異なる用紙がセットされている。</p> <p>→ プリンター内部につまった用紙を取り除いた後、指定サイズの用紙をホッパーまたはトレーにセットして、[印刷可] スイッチを押してください。</p>
<p>76 トナーナシ カートリッジ コウカン</p>	<p>トナーカートリッジの交換時期を示している。</p> <p>→ トナーカートリッジを交換後、フロントカバーをきちんと閉じて、[印刷可] スイッチを押してください。 【参照】8章の「トナーカートリッジの交換」（299ページ）</p>
<p>77 テイキホシュ XXX</p>	<p>定期保守(定着器などの交換)の必要な時期を示している。</p> <p>→ サービス担当者または販売店にお問い合わせください。</p> <p>このアラームが発生してもただちに印刷できなくなるわけではありません。[印刷可] スイッチを押してプリンターを印刷可状態にすれば、印刷を続けることはできます。しかし、なるべく早く定期保守を行ってください。</p> <p>“77 テイキホシュ”アラームは、電源をOFFにしても、次にONにしたときに再発生します。</p>

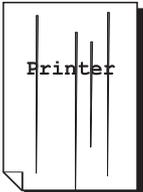
ディスプレイ表示	アラームの内容と処理方法
<p>80 ユニット ジュミョウ XXXXX XXXXX</p> <p>この箇所にカートリッジまたはクリーナーが表示されます。 廃トナーが一杯になったことでドラムカートリッジのユニット寿命が発生した場合は、この箇所に「ハイトナー」が表示されます。</p>	<p>ユニットの寿命を示している。 → 寿命が発生しているユニットを交換し、フロントカバーをきちんと閉じて [印刷可] スイッチを押してください。</p>
<p>81 ユニット ナシ XXXXX</p> <p>この箇所にゲンソウキ、ドラムまたはクリーナーが表示されます。</p>	<p>ユニットが装着されていない。 → 未装着のユニットを装着し、フロントカバーをきちんと閉じてください。「ドラム」表示のとき、ドラムカートリッジなしのままフロントカバーを開閉すると「ドラムタイプチガイ」に表示が変わります。</p>
<p>82 セットフリオウ スタックトレータカクニン</p>	<p>フィニッシャーのスタックトレーに用紙を排出中、スタックトレーの下部に放置物があり、下降できない。 → スタックトレー下部に放置物がある場合は移動してください。</p>
<p>83 ヨウシビ ックミス XXXX</p> <p>この箇所にホッパー番号 (1~5)、トレーが表示されます。</p>	<p>用紙ピックミスが発生している。 → 給紙できなかった用紙を取り除いて再度用紙をセットしてください。 【参照】「紙づまりのときは」(336ページ)</p>
<p>84 フォーム オーバ -XXX</p> <p>指定されたフォーム番号が表示されます。</p>	<p>フォーム登録に必要なメモリーが不足している。 → [印刷可] スイッチを押すことでアラームは解除されますが、表示された番号のフォームデータは登録されません。</p>
<p>85 スタックフル XXX</p> <p>この箇所に トップトレイ、スタックトレー (フィニッシャー装着時) が表示されます。</p>	<p>フィニッシャーのトップトレイ、スタックトレーいずれかに規定量を超える枚数の用紙が排出されている。 → 排出されている用紙をすべて取り除いてください。</p>
<p>88 ドラムタイプ チガイ カートリッジ カクニン</p>	<p>ドラムカートリッジのタイプが違う。 → 正しいドラムカートリッジを取り付けてください。</p>
<p>89 トレー ミソウチャク</p>	<p>トレーが装着されていない。 → トレーを装着してください。</p>
<p>上記以外の表示</p>	<p>障害が発生している。 → 電源をOFFにして、もう一度ONにしてください。それでもアラームが再発する場合は、プリンターの故障が考えられます。保守サービス窓口に修理をお申し付けください。</p>

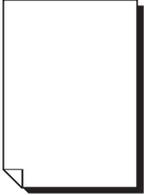
印刷に異常が見られるときは

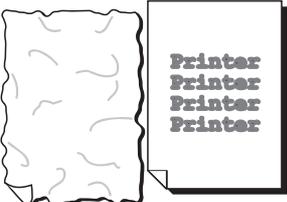
印刷にカスレや汚れなど異常が発生する場合は、次の表を参照して異常原因を取り除いてください。



表に示す対処方法を実施しても現象が変わらない場合は、サービス担当者または保守サービス会社にご連絡ください。

症 状	原因と処理方法
印刷が薄いとき（かすれる、不鮮明な）とき 	<p>用紙が湿気を吸収している可能性がある。</p> <p>→ セットしてある用紙をすべて交換してください。 【参照】5章「用紙のセット」(237ページ)</p> <p>ドラムカートリッジが劣化または損傷している可能性がある。</p> <p>→ ドラムカートリッジの交換時期です。ドラムカートリッジを交換してください。 【参照】8章の「ドラムカートリッジの交換」(305ページ)</p> <p>トナーカートリッジ内にトナーが残っていない。</p> <p>→ トナーカートリッジの交換時期です。トナーカートリッジを交換してください。 【参照】8章の「トナーカートリッジの交換」(299ページ)</p> <p>用紙が規格に合っていない。</p> <p>→ 用紙を確認してください。 【参照】付録の「用紙の規格」(359ページ)</p> <p>プリンター内部が汚れている。</p> <p>→ プリンター内部の清掃が必要です。サービス担当者または販売店にご連絡ください。</p> <p>折り目、シワが入った用紙をセットしている。</p> <p>→ 不良用紙を取り除くか、新しい包装の用紙と交換してください。 【参照】付録の「用紙の規格」(359ページ)</p> <p>ドラムが劣化している。</p> <p>→ ドラムカートリッジとクリーニングカートリッジを交換してください。 【参照】8章の「ドラムカートリッジの交換」(305ページ) 【参照】8章の「クリーニングカートリッジの交換」(303ページ)</p>
黒点が印刷されるとき 	<p>ドラムカートリッジが劣化または損傷している可能性がある。</p> <p>→ ドラムカートリッジの交換時期です。ドラムカートリッジを交換してください。 【参照】8章の「ドラムカートリッジの交換」(305ページ)</p> <p>用紙が規格に合っていない。</p> <p>→ 用紙を確認してください。 【参照】付録の「用紙の規格」(359ページ)</p> <p>クリーニングカートリッジ内の寿命。</p> <p>→ クリーニングカートリッジの交換時期です。クリーニングカートリッジを交換してください。 【参照】8章の「クリーニングカートリッジの交換」(303ページ)</p>
黒い線が印刷されるとき 	<p>ドラムカートリッジが劣化または損傷している可能性がある。</p> <p>→ ドラムカートリッジの交換時期です。ドラムカートリッジを交換してください。 【参照】8章の「ドラムカートリッジの交換」(305ページ)</p>

症 状	原因と処理方法
等間隔に汚れがおきるとき 	用紙搬送路に汚れが付着している。 → 数枚テスト印刷をしてください。 ドラムカートリッジが劣化または損傷している可能性がある。 → ドラムカートリッジの交換時期です。ドラムカートリッジを交換してください。 【参照】8章の「ドラムカートリッジの交換」(305ページ)
黒く塗りつぶされた部分に白点が現れたとき 	用紙が規格に合っていない。 → 用紙を確認してください。 【参照】付録の「用紙の規格」(359ページ) ドラムカートリッジが劣化または損傷している可能性がある。 → ドラムカートリッジの交換時期です。ドラムカートリッジを交換してください。 【参照】8章の「ドラムカートリッジの交換」(305ページ)
指でこするとかすれるとき 	用紙が湿気を吸収している可能性がある。 → セットしてある用紙をすべて交換してください。 【参照】「5章 用紙のセット」(237ページ) 用紙が規格に合っていない。 → 用紙を確認してください。 【参照】付録の「用紙の規格」(359ページ)
用紙全体が黒く印刷されたとき 	ドラムカートリッジが劣化または損傷している可能性がある。 → ドラムカートリッジの交換時期です。ドラムカートリッジを交換してください。 【参照】8章の「ドラムカートリッジの交換」(305ページ) 高圧電源が故障している可能性がある。 → サービス担当者または販売店にご連絡ください。
何も印刷されない 	一度に複数枚の用紙が搬送されている(重送)。 → 用紙をセットし直してください。 【参照】「5章 用紙のセット」(237ページ) トナーカートリッジ内にトナーが残っていない。 → トナーカートリッジの交換時期です。トナーカートリッジを交換してください。 【参照】8章の「トナーカートリッジの交換」(299ページ) ドラムカートリッジが劣化または損傷している可能性がある。 → ドラムカートリッジの交換時期です。ドラムカートリッジを交換してください。 【参照】8章の「ドラムカートリッジの交換」(305ページ) 高圧電源が故障している可能性がある。 → サービス担当者または販売店にご連絡ください。

症 状	原因と処理方法
<p>部分的に白く抜けるとき</p> 	<p>用紙が湿気を吸収している可能性がある。 → セットしてある用紙をすべて交換してください。 【参照】「5章 用紙のセット」(237ページ)</p> <p>使用している用紙が規格に合っていない。 → 用紙を確認してください。 【参照】付録の「用紙の規格」(359ページ)</p> <p>冬期はプリンター内部が結露している可能性がある。 → 電源をONにしたまま30分~1時間放置してから印刷してください。</p> <p>ドラムカートリッジに問題がある可能性がある。 → 新しいドラムカートリッジと交換してください。 【参照】8章の「ドラムカートリッジの交換」(305ページ)</p>
<p>用紙にしわが入ったり、文字がにじむとき</p> 	<p>用紙が規格に合っていない。 → 用紙を確認してください。 【参照】付録の「用紙の規格」(359ページ)</p> <p>用紙が正しく補給されていない。 → もう一度用紙をセットし直してください。 【参照】「5章 用紙のセット」(237ページ)</p> <p>用紙が湿気を吸収している可能性がある。 → 新しい用紙と交換してください。高温・高湿や低温・低湿などの環境条件でプリンターを使用する場合は、常温に比べて、用紙が環境の影響を受けやすいため、用紙の保管方法に注意してください。 【参照】「5章 用紙のセット」(237ページ)</p>
<p>縦線の形状で白く抜けるとき</p> 	<p>ドラムカートリッジが劣化または損傷している可能性がある。 → ドラムカートリッジの交換時期です。ドラムカートリッジを交換してください。 【参照】8章の「ドラムカートリッジの交換」(305ページ)</p>
<p>ななめに印刷されるとき</p> 	<p>用紙が規格に合っていない。 → 用紙を確認してください。 【参照】付録の「用紙の規格」(359ページ)</p> <p>用紙が正しく補給されていない。 → もう一度用紙をセットし直してください。 【参照】「5章 用紙のセット」(237ページ)</p> <p>用紙が湿気を吸収している可能性がある。 → 新しい用紙と交換してください。 【参照】「5章 用紙のセット」(237ページ)</p> <p>ホッパーのサイドガイドが正しい位置にセットされていない。 → サイドガイドやエンドガイドを正しい位置にセットしてください。 【参照】「5章 用紙のセット」(237ページ)</p> <p>セットする用紙の量が多すぎる。 → サイドガイドの用紙上限線 (MAX) 以下にセットしてください。</p>

症 状	原因と処理方法
改行量（行の間隔）が2倍になる <div data-bbox="343 212 454 369" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 1 2 3 4 5 6 A B C D E F a b c d e f </div>	アプリケーションで設定した用紙サイズと、使用する用紙サイズが異なっている。 → ソフトウェアの用紙サイズ設定と使用する用紙サイズを合わせてください。 → 他の用紙サイズに印刷するか、メニューモードを使ってA4ポートレート桁数を80桁にしてください。A4ポートレート桁の用紙に80桁分の印刷（パーソナルコンピューターの画面コピーなど）を行うと、このような症状になることがあります。
1行が2行にわたる <div data-bbox="343 380 454 537" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 1 2 3 4 5 6 A B C D E F a b c d e f </div>	アプリケーションのプリンター設定が[シリアルプリンター]になっている。 → [ページプリンター] を選択してください。 → メニューモードを使ってプリンターの136桁モードを有効にしてください。アプリケーションがシリアルプリンター専用で作られている場合には、136桁モードを有効にすることでこれらの症状は改善されます。特に、「用紙の途中から印刷が始まってしまう」場合には、136桁モードの用紙位置設定を中央に合わせることで正しい印刷結果が得られるようになります。
各行の文字が重なって印刷されてしまう <div data-bbox="343 548 454 705" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 5 6 3 4 A B C D a b c d </div>	
用紙の途中から印刷が始まってしまう <div data-bbox="343 716 454 873" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 1 2 3 A B C a b c </div>	

思うように印刷できないときは

プリンターの動作がおかしくて思うように印刷ができないときは、プリンターまたはアプリケーションの設定を変えれば、ほとんどの場合は改善できます。

ここで説明する項目を参照して原因の確認と処置を行ってください。

症 状	原因と処理方法
電源が入らない	<p>部屋のブレーカーがOFFになっている。 → ブレーカースイッチがOFFになっている原因を調べ、問題がなければONにしてください。</p> <p>電源コードが抜けている。 → プリンターの電源スイッチをいったん切り、電源コードを確実に差し込んでください。その後、プリンターの電源スイッチを入れてください。</p> <p>電源の電圧が適切ではない。 → 電源が100V、15Aであることを確認してください。プリンターの最大消費電力(約1360W)に見合った電源容量が確保されていることを確認してください。</p>
正常に印刷できない	<p>他のプリンタードライバが同一のポートを使用している。 → プリンタードライバによっては接続先のポート(LPT1:、COM1:など)に対して常に通信を行おうとするため、同一ポートに接続されているプリンターに悪影響を与えることがあります。Windowsのヘルプを参照して、他のプリンタードライバのポートを本プリンタードライバと違うポートに変更するか、他のプリンタードライバを削除してください。</p> <p>プリンターのメモリスイッチ5-1がONになっている。 → PrintAgentの機能(プリンタステータスウィンドウの使用)をご利用になる場合、メモリスイッチ5-1をOFFにしてご利用ください。ただし、お使いのプリンターをPC-PTOSからお使いの場合は、メモリスイッチ5-1をONにする必要があります。</p>
印刷位置が以前使用していたプリンターと合わない	<p>アプリケーションの用紙・印刷に関する設定が間違っている。 → アプリケーションのマニュアルを見て正しく設定してください。ソフトウェアによっては、わずかでも異なる設定項目があると、印刷位置がずれる場合があります。</p> <p>プリンターのA4ポートレートの印刷桁数が80桁に設定されている。 → メニューモードでA4ポートレート桁数を78桁にしてください。A4ポートレートの印刷桁数が80桁に設定されている場合には、本来の印刷位置よりわずかに左にずれて印刷されます。したがって、80桁に設定されているプリンターとそうでないプリンターとでは印刷位置が異なります。</p> <p>使用している用紙がプリンターの規格に合っていない。 → 付録の「用紙の規格」(359ページ)を参照して、規格に合っているか確認してください。 → 本プリンターのようなレーザープリンターは、用紙送りをローラーの摩擦によって行っています。そのため、他のカット紙プリンターと同様に縦方向、横方向とも多少の誤差が発生します。この誤差は用紙によっても異なります。</p> <p>以前使用していたプリンターと本プリンターとの間に印刷位置の互換性がない。 → プリンターの印刷位置は、PC-PR2000/6WなどのNPDLまたはNPDL(Level2)対応のプリンターおよびPC-PR601、PC-PR602、PC-PR602Rに対して互換性があります。その他のプリンターに対しては印刷位置の互換性はありません。</p>

症 状	原因と処理方法
<p>“データガノコッテイマス”を表示したまま印刷を開始しない</p>	<p>改ページコードまたは排出コードがない。</p> <ul style="list-style-type: none"> → [印刷可] スイッチを押して印刷可ランプを消灯させてから、[シフト] スイッチを押しながら [排出] スイッチを押してください。 → 本プリンターはページ単位で処理するプリンターなので、1ページ分のデータが揃わないと印刷を開始しません。また、アプリケーションの中にはページの最後に排出コードなどのページの終わりを示す制御コードをプリンターに送らないものがあります。このような場合は上記の方法で処理してください。 → なお、メニューモードで自動排出を有効にしておく設定した時間内に印刷データが来ない場合、自動的に印刷・排出されます。ただしコンピューターからのデータ送信が長い時間途切れるような場合には、この機能を使用しないでください。 <p>アプリケーションのプリンター設定が「シリアルプリンター」になっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> → ページプリンターまたはレーザープリンターを選択してください。ソフトウェアのプリンター設定がシリアルプリンターになっていると、排出コードをプリンターに送らないためにこのような症状が起こります。 → また、新たにソフトウェアを作成する場合には、このような症状を防ぐため、各ページの最後に排出コード (0Ch) を付加するようにしてください。 <p>コンピューターからのデータ送信が途切れている。</p> <ul style="list-style-type: none"> → プリンターへのデータ送信について、プリンタードライバーの [タイムアウト設定] の設定時間を長くしてください。複雑なデータやアプリケーションによっては、設定時間が短いとデータ送信を中止することがあります。
<p>ページの途中までしか印刷されない または1ページ分のデータが2ページにわたって印刷されてしまう</p>	<p>自動排出機能が有効になっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> → メニューモードで自動排出を無効にしてください。 → プリンターには自動排出機能 (コンピューターからのデータの送信が一定時間途切れると、そこまでのデータが自動的に印刷・排出する機能) があります。このとき、コンピューターからのデータ送信が設定した自動排出時間以上に途切れた場合には、ページの途中でそれまでのデータを印刷・排出してしまいます。 → また、各OSでプリンターへのデータ送信についてタイムアウト時間を設定できます。このタイムアウト設定の時間が短いと、複雑なデータなどでプリンターのビジー時間が長くなった場合、コンピューターが印刷データの送信を中止する場合があります。その場合にはプリンターの自動排出を無効にするだけでなく、タイムアウト設定の時間を長くしてください。タイムアウト設定の時間変更は各OSのマニュアルを参照してください。 <p>綴じしろが合っていない。</p> <ul style="list-style-type: none"> → 印刷範囲を確認してください。両面印刷のときにはクリップ機能を使うと印刷範囲を超えた分のデータを次のページに印刷しないようになります。
<p>用紙の左側が空白になる (印刷文字が用紙の右側にかたよって印刷される)</p>	<p>一部のソフトウェアでは、用紙位置が異なる場合がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> → メニューモードで136桁モードを有効にし、用紙位置を調整してください。
<p>縮小すると、縮小前と印刷結果が異なる</p>	<p>印刷データによっては、縮小すると印刷結果が異なる場合がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> → プリンターでは、座標値などを縮小することにより縮小印刷を行っています。このときに、数値の丸め誤差が生じ、図形と図形の重なりなどが変わることにより、印刷結果が異なってしまう場合があります。
<p>改行量がおかしくなり、徐々にずれてしまう</p>	<p>一部のソフトウェアには、ソフトウェアの指定によって改行で用紙を排出するものがある。</p> <ul style="list-style-type: none"> → ソフトウェアの設定を、1ページの長さを67行 (A4サイズの場合) に設定してください。
<p>画面の文字と異なる文字が印刷された</p>	<p>ご使用のコンピューター環境に最も適した方法でプリンターを指定していない。</p> <ul style="list-style-type: none"> → ご使用のコンピューターおよびプリンターの指定を確認してください。 【参照】「2章 プリンターソフトウェアのインストール」(33ページ) <p>適切なエミュレーションモードを選択していない。</p> <ul style="list-style-type: none"> → エミュレーションモードを選択し直してください。 【参照】「7章 メニューモード」(263ページ) <p>プリンターケーブルがきちんと接続されていない。</p> <ul style="list-style-type: none"> → プリンター側とコンピューター側の接続状態を確認してください。 <p>プリンターバッファや切り替え器を使用している。</p> <ul style="list-style-type: none"> → プリンターバッファや切り替え器を使用しない接続方法に変更してください。
<p>白紙が出る</p>	<p>ソフトウェアのプリンター設定がシートフィーダーになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> → シートフィーダー付きになっている場合は、メニューモードまたはメモリスイッチの設定で「136桁モード」を有効にしてください。

症 状	原因と処理方法
両面印刷が正しく機能しない	<p>メニューモード、メモリスイッチが合っていない。 → 給紙先がトレイになっていないか、排出がフェースアップになっていないか確認して、設定し直してしてください。</p> <p>セットされている用紙サイズが合っていない。 → セットされている用紙サイズを確認してください。</p> <p>セットされている用紙の種類が合っていない。 → セットされている用紙の種類を確認してください。 【参照】5章の「用紙について」(238ページ)</p>
リプリント機能が使用できない	<p>プリンターとコンピューターの双方向通信が設定されていない。 → PrintAgentで双方向通信をサポートする設定になっていることを確認してください。</p> <p>→ ご使用のプリンターケーブルは正しいものが使われているかどうかチェックしてください。</p> <p>【リプリント機能を使用する】がチェックされていない。 → Windows Me、Windows 98、Windows 95では、[プロパティ] ダイアログボックスの[出力制御シート]、Windows XP、Windows 2000では、[印刷設定] ダイアログボックスの[メイン] シートを開き、[リプリント]を確認してください。</p> <p>【リプリント機能を提供する】がチェックされていない。 → [PrintAgentのプロパティ]を開き、確認してください。(ネットワーク共有プリンターをご使用の場合は、サーバー上の[PrintAgentのプロパティ]を開き、設定を確認してください。)</p>
リレー給紙ができない	<p>リレー前とリレーされるホッパー(トレイ)の用紙サイズが違うか、リレー前と後のホッパー(トレイ)が共にリレーONになっていない。 → 同じサイズ、同じ向きに用紙をセットしてください。メニューモードでリレーしたいホッパーとリレー前のホッパー(トレイ)を共にONにします。</p> <p>グループホッパー設定が異なっている。 → 同じグループに設定する。</p> <p>リレー前とリレーされるホッパー(トレイ)の用紙種類が違う。 → メニューモードで同じ用紙種類に設定してください。</p>
紙づまりがたびたび発生する	<p>トレイに用紙が入っていない。 → トレーを確認し、正しいサイズの用紙と交換してください。 【参照】5章の「用紙について」(238ページ)</p> <p>折り目、シワが入った用紙をトレイに補給している。 → 新しい包装の用紙と交換してください。 【参照】「5章 用紙のセット」(237ページ)</p> <p>用紙がカールしている。 → トレーの用紙を裏返すか、新しい包装の用紙と交換してください。 【参照】「5章 用紙のセット」(237ページ)</p> <p>プリンター内部に、つまった用紙や紙片が残っている。 → つまった用紙や紙片を取り除いてください。 【参照】「紙づまりのときは」(336ページ)</p> <p>用紙が湿気を含んでいる。 → 新しい包装の用紙と交換してください。 【参照】「5章 用紙のセット」(237ページ)</p> <p>規格外の用紙がトレイにセットされている。 → 規格に合った用紙と交換してください。 【参照】付録の「用紙の規格」(359ページ)</p>

オフセット排紙機能が動作しないときは

データを送ったが、オフセット排紙が機能しなかった場合、ここで説明する項目を参照して原因の確認と対処を行ってください。

症状	原因と処理方法
オフセット排紙機能が使用できない	<p>セットされている用紙サイズが合っていない。</p> <p>→ 「各用紙サイズでの動作対応表」(ユーザーズマニュアル「5章 印刷するには」)を参照してセットされている用紙のサイズを確認してください。</p> <p>[オフセット排紙機能] が選択されていない。</p> <p>→ Windows XP、Windows 2000、Windows Server 2003、Windows NT 4.0の場合は、[メイン] シートー [排出方法] - [仕分け]、Windows Me、Windows 98、Windows 95の場合は、[出力制御] シートー [仕分け] で、[オフセット排紙] を選択してください。</p> <p>→ ネットワーク環境で共有プリンターとして使用しているすべての利用者(クライアント)の設定をプリンタードライバーで [オフセット排紙] を選択してください。また、印刷する場合は、メニューモードまたは、プリンタードライバーで用紙の種類を普通紙、または厚紙種類設定ダイアログボックスで [厚紙1] に設定してください。</p>
オフセット排紙機能がうまく働かない	<p>丁合い機能が正しく選択されていない。</p> <p>→ アプリケーションの印刷機能から丁合い機能を指定している場合は正しく機能しません。アプリケーションの指定を外してください。</p> <p>すべてのクライアントがオフセット排紙機能を使用できる設定になっていない。</p> <p>→ ネットワーク環境で共有プリンターとして使用しているすべてのクライアントが [オフセット排紙機能] が選択されていることを確認してください。</p>

フィニッシャー機能がうまく動作しないときは

フィニッシャー機能が正常に機能しなかった場合、ここで説明する項目を参照して原因の確認と対処を行ってください。

症状	原因と処理方法
フィニッシャーに用紙を排出できない	<p>用紙サイズが合っていない。</p> <p>→ セットされている用紙のサイズを確認してください。 【参照】 ユーザーズマニュアル5章の「各用紙サイズでの動作対応表」</p> <p>用紙種類が合っていない。</p> <p>→ セットされている用紙の種類を確認してください。 【参照】 ユーザーズマニュアル5章の「各用紙サイズでの動作対応表」</p>

PrintAgentシステムが起動しないときは

PrintAgentシステムが動作しないときの症状とその原因、処理方法を示します。それぞれの方法に従って処理してください。

症 状	原因と処理方法												
画面上にPrintAgentのシステムアイコンが表示されていない	<p>[PrintAgentのプロパティ] ダイアログボックスで「システムを自動的に起動する」をチェックしていない。</p> <p>→ チェックしてください。Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合は次回ログオン時から、Windows Me、Windows 98、Windows 95の場合は次回起動時から自動的に表示されます。</p> <p>PrintAgentを終了している。</p> <p>→ [スタート] - [プログラム] - [MultiWriter 6600] - [PrintAgentシステム起動] を実行してください。</p>												
PrintAgentが機能しない	<p>PrintAgentシステムファイルが削除された。インストール、またはアンインストールの失敗などによりPrintAgentが正しくインストールされていない。</p> <p>→ Windowsを再起動して、PrintAgentをアンインストールします。再び、Windowsを起動して、プリンターソフトウェアを再インストールしてください。</p> <p>マルチプロトコルLANアダプタ（型番：PR-NPX-05）を使用している。</p> <p>→ マルチプロトコルLANアダプタ（型番：PR-NPX-05）は、PrintAgentには対応していません。マルチプロトコルLANアダプターに添付のソフトウェアをご利用ください。</p>												
双方向機能が有効になっていない	<p>Windowsのポートが正しく設定されていない。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>OS</th> <th>パラレルインターフェース接続</th> <th>LAN 接続</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Windows XP、Windows 2000、Windows Server 2003</td> <td>LPTx</td> <td>NEC Network Port</td> </tr> <tr> <td>Windows NT4.0</td> <td>LPTx</td> <td>NEC Network Port</td> </tr> <tr> <td>Windows Me、Windows 98、Windows 95</td> <td>LPTx</td> <td>NEC TCP/IP Printing System</td> </tr> </tbody> </table> <p>→ 双方向通信が可能なポートに接続していることを確認してください。上記のポート以外を設定して印刷を行う場合には、プリンターのプロパティで双方向通信を無効（サポートしない）に設定してください。</p> <p>→ プリンターのプロパティで双方向通信を有効（サポートする）に設定してください。 【参照】「PrintAgentの機能を十分に発揮させるために」（330ページ）</p>	OS	パラレルインターフェース接続	LAN 接続	Windows XP、Windows 2000、Windows Server 2003	LPTx	NEC Network Port	Windows NT4.0	LPTx	NEC Network Port	Windows Me、Windows 98、Windows 95	LPTx	NEC TCP/IP Printing System
OS	パラレルインターフェース接続	LAN 接続											
Windows XP、Windows 2000、Windows Server 2003	LPTx	NEC Network Port											
Windows NT4.0	LPTx	NEC Network Port											
Windows Me、Windows 98、Windows 95	LPTx	NEC TCP/IP Printing System											

プリンタステータスウィンドウがおかしいときは

プリンタステータスウィンドウでプリンター状態を表示しなかったり、表示内容がおかしいときは、ここで説明する項目を参照して原因の確認と処理を行ってください。

症 状	原因と処理方法
プリンタステータスウィンドウが「スタート」メニューに登録されていない	<p>カスタムインストールによって、インストール対象とされなかった。 → システムの管理者にご相談ください。</p> <p>必要なファイルが削除されている。 → PrintAgentを再インストールしてください。</p>
使用したいプリンターのプリンタステータスウィンドウが選択できない	<p>プリンタフォルダーに「NEC MultiWriter 6600」のプリンターが登録されていない。 → PrintAgentおよび、プリンタードライバをインストールしてください。</p> <p>プリンタードライバが変更されている。 → プリンタードライバを変更すると、誤動作の原因となります。プリンタードライバを削除し、再度プリンタードライバをインストールしてください。</p>
プリンタステータスウィンドウが起動しない	<p>プリンターのアクセス権がない。 → 権限を確認してください。</p> <p>必要なファイルが削除されている。 → PrintAgentを再インストールしてください。</p> <p>コンピューターのメモリーが不足している。 → 必要のないアプリケーションを終了してください。</p> <p>プリンターポートを直接アクセスしてプリンターの状態を監視するユーティリティーが使用されている。 → コンピューターで使用されているユーティリティーに応じて、プリンターの監視を行わないように設定してください。</p> <p>ドメインに参加していない。 → ドメインに参加していないWindows XPのコンピューターをプリントサーバーとして、クライアントから印刷を行った場合、ドキュメントの所有者が [Guest] となり、プリンタステータスウィンドウがポップアップしない場合があります。ドメインに参加してください。詳しくは、OSのヘルプをご覧ください。</p>
プリンタステータスウィンドウがプリンターの状態を正しく表示しない	<p>最新のステータスを取得していない。 → プリンタステータスウィンドウの「最新のステータスに更新」ボタンをクリックしてください。</p> <p>14ピンパラレルインターフェースでプリンターを接続している。 → このインターフェースではプリンターの情報取得ができず、プリンタステータスウィンドウの機能が大幅に制限されます。プリンタ増設インターフェースボード (PC-9801-94) をお使いになることをお勧めします。</p> <p>プリンターが直接つながっているコンピューターで双方向通信ができない設定になっている。 → Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0 : [プリンタのプロパティ] の [ポート] - [双方向サポートを有効にする] をチェックしてください。 Windows Me : [プロパティ] の [詳細] - [スプールの設定] - [このプリンタの双方向通信機能をサポートする] を選んでください。 Windows 98、Windows 95 : [プロパティ] の [詳細] - [スプールの設定] - [このプリンタで双方向通信機能をサポートする] を選んでください。</p> <p>プリンターが直接つながっているコンピューターのOSがWindows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0でプリンタプールを使用している。 → Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0上のすべてのプリンタのプロパティの [ポート] - [プリンタプールを有効にする] のチェックを外してください。</p> <p>お使いのコンピュータープリンターポート (パラレルポート) の設定とプリンターのI/F設定が異なる。 → 双方の動作設定を合わせてください。「PrintAgentの制限事項」(332ページ) を参照してください。</p>

症 状	原因と処理方法
<p>プリンタステータスウィンドウ上から印刷ドキュメントの削除ができない</p>	<p>印刷ドキュメントがすでにプリンターへ送られてしまった。 → すでにプリンターへ送信済みのドキュメントに対しては、削除できません。</p> <p>プリンターのアクセス権がない。 → ネットワーク管理者に権限を確認してください。</p> <p>印刷先がネットワーク共有プリンターである。 → ネットワーク共有プリンターのサーバーのOSがWindows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合は、クライアントでプリンターをインストール（作成）した直後は削除できません。いったんクライアント側のOSを「ログオフ」→「ログオン」してください。</p> <p>ドメインに参加していない。 → ドメインに参加していないWindows XPのコンピューターをプリントサーバーとして、クライアントから印刷を行った場合、ドキュメントの所有者が [Guest] となり、プリンタステータスウィンドウがポップアップしない場合があります。ドメインに参加してください。詳しくは、OSのヘルプをご覧ください。</p>
<p>プリンタステータスウィンドウが自動起動しない、または自動起動してしまう</p>	<p>[PSWのプロパティ] の設定が変更されている。 → 設定を確認してください。詳細は「プリンタステータスウィンドウ」(221ページ)を参照してください。</p> <p>LANインターフェースまたはLANアダプターを装備したLANプリンターに直接接続して使用している。 → サーバーを介さずにLANプリンターを使用している場合は [PSWのプロパティ] で [自分のドキュメントを印刷していないとき] の起動条件として [印刷中にアイコンで自動起動する] を設定しても、他の人の印刷時には自動起動しません。ただし、この場合でもエラー発生時には自動起動を行います。</p>
<p>プリンターの構成情報の表示内容が実際の構成と異なっている</p>	<p>プリンターが双方向通信できないインターフェースで接続されている。もしくはプリンターがバッファなどを經由して接続されている。 → プリンターの現在の設定は読み込むことはできません。双方向通信できないときは、初期状態として最大構成が入っています。この場合の構成はプリンタードライバーから設定が可能です。詳しくは、プリンタードライバーのヘルプをご確認ください。</p> <p>プリンターの情報をうまく取得できない。 → ネットワークのトラフィックの状況や上位ホストの処理状況により、正しくプリンターの情報が取得できなかったと思われます。プリンターの電源を入れ直してください。情報の更新を行ってください。</p>

リプリント機能が動作しないときは

リプリントがうまくいかなかった場合、ここで説明する項目を参照して原因の確認と対処を行ってください。

症 状	原因と処理方法
リプリント機能が使用できない	<p>[リプリント機能を提供する] がチェックされていない。</p> <p>→ PrintAgentのプロパティを開き、確認してください。(ネットワーク共有プリンターをご使用の場合は、サーバー上のPrintAgentのプロパティを開き、設定を確認してください。)</p> <p>プリンターが直接つながっているコンピューターで双方向通信ができない設定になっている。</p> <p>→ Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0 : [プリンターのプロパティ] の [ポート] - [双方向サポートを有効にする] をチェックしてください。</p> <p>Windows Me : [プロパティ] の [詳細] - [スプールの設定] - [このプリンターの双方向通信機能をサポートする] を選んでください。</p> <p>Windows 98、Windows 95 : [プロパティ] の [詳細] - [スプールの設定] - [このプリンターで双方向通信機能をサポートする] を選んでください。</p> <p>→ 1章の「使用できるプリンターケーブル」(31 ページ) を参照して、ご使用のプリンターケーブルは正しいものが使われているかどうかチェックしてください。</p> <p>プリンタードライバーがインストールされていない。</p> <p>→ 「2章 プリンターソフトウェアのインストール」(33 ページ) を参照して、ご使用のプリンターのプリンタードライバーをインストールしてください。</p>
リプリントしたい印刷ジョブが蓄えられない	<p>[リプリント機能を使用する] がチェックされていない。</p> <p>→ Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000 : [印刷設定] ダイアログボックスの [メイン] シートで機能選択バーの [リプリント] を選択し、確認してください。</p> <p>Windows Me、Windows 98、Windows 95 : [プロパティ] ダイアログボックスの [出力制御] シートを開き、確認してください。</p> <p>Windows NT 4.0 : [ドキュメントプロパティ] ダイアログボックスの [メイン] シートで機能選択バーの [リプリント] を選択し、確認してください。</p> <p>ドメインに参加していない。</p> <p>→ ドメインに参加していないWindows XPのコンピューターをプリントサーバーとして、クライアントから印刷を行う場合リプリント機能は利用できません。ドメインに参加してください。詳しくは、OSのヘルプをご覧ください。</p>
蓄えられた印刷ジョブがなくなった	<p>印刷ジョブのスプールサイズが大きい。</p> <p>→ [PrintAgent のプロパティ] ダイアログボックスを開き、[リプリント機能の設定] ダイアログボックスでディスク領域を大きくしてください。(224ページ参照)</p> <p>ドキュメント数が制限を超えている。</p> <p>→ [PrintAgent のプロパティ] ダイアログボックスを開き、[リプリント機能の設定] ダイアログボックスでドキュメント数の値を大きくしてください。(224ページ参照)</p> <p>有効期限が過ぎている。</p> <p>→ [PrintAgent のプロパティ] ダイアログボックスを開き、[リプリント機能の設定] ダイアログボックスで有効期限の時間を長くしてください。(224ページ参照)</p>

PrintAgentを正しく動作させるために

PrintAgentはネットワーク環境で使用することで、より効果を発揮します。以下はPrintAgentを正常に機能させるための注意事項についてネットワーク関連の設定を中心に説明します。

PrintAgentを動作させる前に

PrintAgentをインストール/アンインストールする時の注意事項

PrintAgentをインストールまたはアンインストールする時は以下のことに注意してください。

- インストールプログラムを実行する前に、起動中のアプリケーションをすべて終了させてください。
- [PrintAgentセットアップ]のウィンドウが閉じるまで、CD-ROMやフロッピーディスクなどインストール元のメディアを取り出さないでください。
- PrintAgentのインストールまたはアンインストール終了後、再起動を促すメッセージが表示されることがあります。画面の指示に従ってコンピューターを再起動してください。
- インストール時に指定したPrintAgentソフトウェアのフォルダー（ディレクトリー）名を変更するとアンインストールできません。インストール時のフォルダー（ディレクトリー）名に戻してからアンインストールしてください。
- プリンターのプロパティダイアログボックスを表示している時、およびMultiWriterが印刷中の時は、PrintAgentをアンインストールすることができません。プリンターのプロパティダイアログボックスを閉じ、印刷が終了してからアンインストールしてください。
- Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0で、インストールしようとしているコンピューターに他のユーザーがログオンしている場合は、インストールできません。各ユーザーに切り替えてすべてのユーザーをログオフしてからインストールしてください。
- Windows XPにPrintAgentをインストールまたはアンインストールするユーザーは、アカウントの種類が[コンピュータの管理者]である必要があります。また、Windows Server 2003、Windows 2000またはWindows NT 4.0にPrintAgentをインストールまたはアンインストールするには、[Administrators]または[DomainAdmins]グループのメンバーである必要があります。
- Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0でPrintAgentのインストールする場合、アクセス権により使用可能なユーザーが制限されているフォルダー（ディレクトリー）にインストールしないでください。
- Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0で[プリンタの追加ウィザード]より、他のコンピューターに接続されたプリンターを指定してインストールしたプリンタードライバをPrintAgentで使用している時に、さらに[プリンタの追加ウィザード]でローカル接続のプリンタードライバをインストールする場合は、[現在のドライバを使う（推奨）]ではなく、[新しいドライバに置き換える]を選択してインストールしてください。
- Windows XP、Windows Server 2003の場合は[コントロールパネル]の[プログラムの追加と削除]より、Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合は[コントロールパネル]の[アプリケーションの追加と削除]より起動したPrintAgentの追加と削除でPrintAgentオプションの追加をすると、セットアップに必要なファイル*を要求する画面が表示される場合があります。この場合は、以前にインストールで使用したプリンターソフトウェアCD-ROMを挿入するか、もしくはプリンターソフトウェアCD-ROMよりインストールプログラムを実行しカスタムインストールにてPrintAgentのオプションを追加してください。

* フロッピーディスクをご利用の場合、メッセージに従ってNMPSディスクを使用してください。

共有プリンターの利用/提供について

Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000およびWindows NT 4.0で、共有プリンターの提供の設定は[コンピュータの管理者]およびAdministrators権限のある方が変更できます。

[共有プリンタを利用する]、[共有プリンタを提供する]は、通常はONのままです。支障ありませんが、次の場合はOFFにすることを勧めます。

- **ネットワークの回線速度が遅い**

低速回線を経由する共有プリンターに対して、PrintAgentを使用すると、通信速度の関係でプリンタステータスウィンドウなどの操作がしにくかったり、状態の表示が遅れたりすることがあります。この場合は、[PrintAgentのプロパティ]で[共有プリンタを利用する]のチェックを外してください。ネットワーク共有プリンターについてのPrintAgentの双方向通信機能を無効にすることができます。

- **転送データ量に応じて課金されるネットワーク環境**

転送データ量に応じて課金される従量課金制のネットワークを経由してPrintAgentを使用している場合に、PrintAgentの双方向通信によってデータ転送が発生し、課金されることがあります。考慮すべきネットワーク環境の例としては以下のケースがあります。

- ネットワークプリンターが、公衆回線を経由した別のネットワーク上に存在する場合
- プリントサーバー、DNSサーバー、WINSサーバーが公衆回線を経由した別のネットワーク上に存在する場合
- ローカルネットワークの通信自体が課金ネットワークの場合

これを避けたい場合にも、上記操作によってネットワーク共有プリンターについてのPrintAgentの双方向通信機能を無効にしてください。

- **コンピューターの処理能力が十分でない**

コンピューターの性能があまり高くない場合、PrintAgentのご利用により、他の作業の処理速度に影響する可能性があります。この設定を外してもローカルに接続しているプリンターでは、引き続きPrintAgentがご利用になれます。

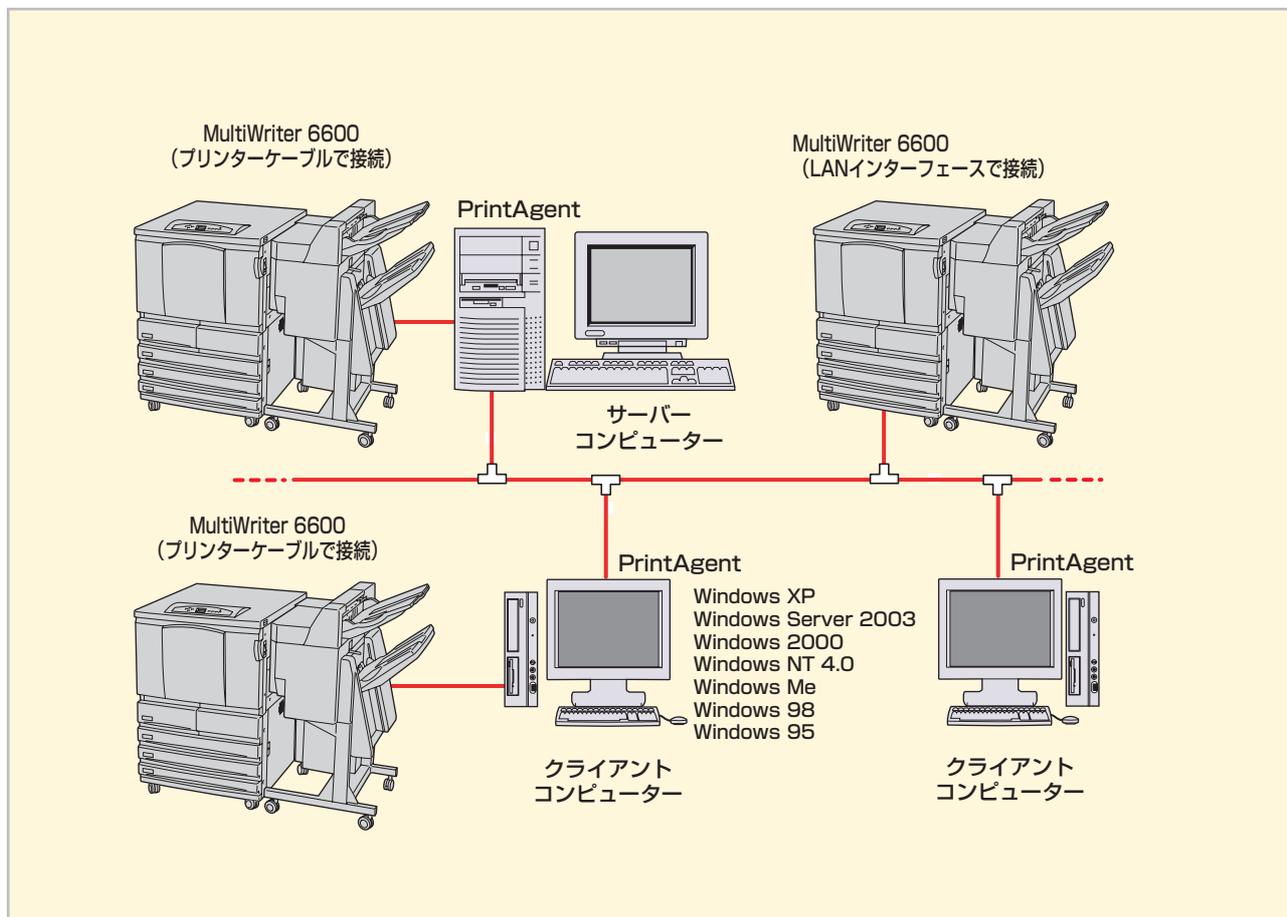
従量課金回線での課金を最小限（印刷時のみ）とするためには

- クライアントコンピューター側で[PrintAgentのプロパティ]の[共有プリンタを利用する]のチェックを外します。
- サーバーコンピューター側で[PrintAgentのプロパティ]の[共有プリンタを提供する]のチェックを外します。
- サーバーコンピューターがWindows Me、Windows 98、Windows 95の場合はプリンターの[プロパティ]の[詳細]-[スプールの設定]-[このプリンタの双方向通信機能をサポートしない]を選択してご利用ください。
- サーバーコンピューターがWindows XP、Windows Server 2003、Windows 2000の場合は[プリンタのプロパティ]、Windows NT 4.0の場合は[デバイスプロパティ]の[ポート]-[双方向サポートを有効にする]のチェックを外してご利用ください。

クライアント・サーバーシステムでお使いの場合

PrintAgentをクライアント・サーバーシステムでお使いの場合、以下のことに注意してください。

- PrintAgentはローカルプリンターに対してもネットワーク上の共有プリンターに対しても使用できます。ただし、ネットワーク上で使われる場合PrintAgentソフトウェアはサーバーコンピューター、クライアントコンピューター両者にインストールされている必要があります。



- 1台のサーバーコンピューターに接続されたクライアントコンピューターの中でPrintAgentを使用するクライアントコンピューターは30台以下を推奨します。サーバーコンピューターの性能やネットワークトラフィックによっては、印刷時にプリンターの状態情報が取得できなくなる、クライアントコンピューターでオフライン作業になる、またはネットワークプリンターの状態が不明になる場合があります。このような場合、印刷時以外は[PrintAgentのプロパティ]の設定の[共有プリンタを利用する]のチェックを外してPrintAgentを動作させないようにするか、PrintAgentを終了させて運用してください。
- プリントサーバーコンピューターには64Mバイト以上のメモリーを搭載し、運用することを推奨します。(Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000日本語版をプリントサーバーコンピューターとしてご利用の場合には、256Mバイト以上を推奨します。)

PrintAgentの機能を十分に発揮させるために

PrintAgentの機能を十分に発揮させるために、双方向通信でお使いになることをお勧めします。

- 双方向通信が可能なポートに接続してください。

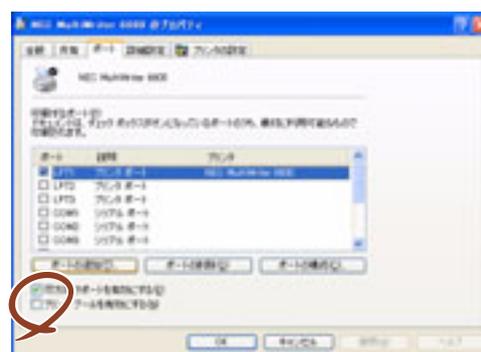
OS	パラレル インターフェース 接続	LAN 接続
Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000	LPTx	NEC Network Port
Windows Me、Windows 98、Windows 95	LPTx	NEC TCP/IP Printing System
Windows NT 4.0	LPTx	NEC Network Port



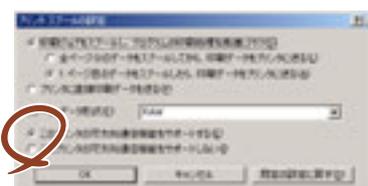
上記の表以外のポートでご利用の場合にはPrintAgentの機能はご利用になれません。双方向通信を無効に設定してください。

- 双方向通信を有効にしてください。

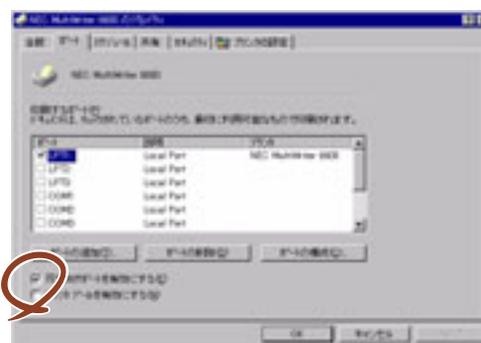
<Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000の場合>
[プロパティ]ダイアログボックスの[ポート]シートで[双方向サ
ポートを有効にする]をチェックする。



<Windows Me、Windows 98、Windows 95の場合>
[プロパティ]ダイアログボックスの[詳細]-[スプールの設定]-[こ
このプリンタの双方向通信機能をサポートする]を選択する。



<Windows NT 4.0の場合>
[プロパティ]ダイアログボックスの[ポート]シートで[双方向サ
ポートを有効にする]をチェックする。



その他の注意事項

PrintAgentを動作させる前に、以下のことに注意してください。

- ネットワーク共有プリンターが直接つながっているコンピューターのOSがWindows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合、プリンタープールはサポートしていません。サーバーコンピュータ上ですべてのプリンターのプリンタープールを無効にする必要があります。サーバーコンピュータがWindows XP、Windows Server 2003、Windows 2000の場合は[プリンターのプロパティ]、Windows NT 4.0の場合は[デバイスプロパティ]の[ポート]-[プリンタープールを有効にする]のチェックを外してください。[プリンタープールを有効にする]をチェックした場合、プリンターの状態が正しく表示されません。権限がない場合は管理者に連絡してください。
- PrintAgentがサポートしているネットワークプロトコルはTCP/IPです。また、LANインターフェース、LANアダプターを装着したプリンターと接続する場合、サポートしているネットワークプロトコルもTCP/IPのみです。
- PrintAgentはWindows Server 2003 Enterprise Edition 日本語版、Windows Server 2003, Data Center Edition 日本語版、Windows 2000 Advanced Server、Windows 2000 Data Center Server、Windows NT Server, Enterprise Edition 4.0のクラスタ機能を使ったクラスタリングシステム、あるいはWindows NT Server 4.0, Terminal Server Edition、Windows 2000のTerminal Serviceをインストールしたシステムには対応していません。これらのシステムでは、PrintAgentが正常に動作しない場合がありますので、PrintAgentをインストールしないでご利用ください。またこれらのシステムでご使用の際には、双方向通信に対応していないプリンタードライバーをお使いください。双方向通信に対応していないプリンタードライバーは添付のプリンターソフトウェアCD-ROMの以下に収録しています。
 - Windows Server 2003、Windows 2000対応プリンタードライバー：¥MW6600¥WIN2KTS
 - Windows NT 4.0対応プリンタードライバー：¥MW6600¥NT40TSE

プリンタードライバーのインストール方法については、3章の「ターミナルサービス用プリンタードライバーのインストール」(159ページ)を参照してください。また、OSの「プリンターの追加」機能で上記のフォルダーを指定することでプリンタードライバーのインストールを行うこともできます。

- PrintAgentをインストール時に指定するPrintAgentモジュールのフォルダー名（指定しなければ「PrintAgent」になります）はインストール終了後に変更しないでください。フォルダー名を変更するとアンインストールが正常に行えません。また、PrintAgentが正しく動作しません。Windows 3.1やDOS上でフォルダーの移動などを行うと、フォルダーの名前が「PRINTA~1」などになってしまう場合があります。
- プリンターソフトウェアをインストールする際に指定する出力ポート（インターフェースコネクタ）に、プリンターインターフェース変換アダプターやプリンターバッファを使用している場合、PrintAgentはご利用になれません。PrintAgentをインストールしないでご利用ください。また、PrintAgentを利用する場合は、出力ポート（インターフェースコネクタ）からプリンターインターフェース変換アダプターやプリンターバッファなどを取り外してお使いください。
- コンピューターのOSがWindows Me、Windows 98、Windows 95の場合でネットワークアダプターが他のインターフェースなど同一の割り込み要求（IRQ）に設定されていると、Windows起動時にエラーが発生することがあります。このような場合は、使用していないインターフェースのIRQを解放し、ネットワークアダプターで使用するIRQと競合しないように設定を変更してください。IRQの解放、変更についてはお使いのコンピューター、ネットワークアダプターのマニュアルまたは各OSのヘルプなどを参照してください。
- ドメインに参加していないWindows XPをプリントサーバーとしてご使用の場合、プリンタステータスウィンドウやリプリントが正しく動作しない場合があります。

PrintAgentの動作中は

コンピューターにPrintAgent対応プリンターが複数インストールされている場合、プリンタステータスウィンドウを表示させるとき、ダイアログボックスで「プリンタの選択」を要求されることがあります。

PrintAgentの制限事項

- PrintAgent とプリンターポートを直接アクセスしてプリンターの状態を監視するユーティリティ (DMITool など) を同時に使用すると正しく動作しない場合があります。このような場合は、お使いのユーティリティに応じて、プリンターの監視を行わないように設定してください。
- プリンターとお使いのコンピューターのプリンターポート (パラレルポート) の設定が異なる場合、PrintAgent の動作に不具合が生じることがあります。(例えば、コンピューターはECPモード、プリンターはニブルモードといった場合です。) 双方の設定を合わせてご使用ください。設定を変更する場合、お使いのコンピューターの取扱説明書を参照して、プリンターポート (パラレルポート) の設定を変更するか、プリンターの設定を変更してください。プリンターの設定を変更するには「7章 メニューモード」(263ページ) を参照してください。

OSをアップグレードする場合

お使いのコンピューターのOSをアップグレードする場合、以下のことに注意してください。

- OSをアップグレードする前に、2章の「プリンタードライバーの削除」(49ページ)、「PrintAgentの追加・削除」(53ページ) の手順に従ってプリンタードライバーおよびPrintAgentを削除してください。OSをアップグレードした後に、再度プリンターソフトウェアをインストールしてください。
- 従来OS用のPrintAgentはWindows XP、Windows Server 2003、Windows 2000では使用できません。Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows NT 4.0、Windows 3.51からWindows XP、Windows Server 2003、Windows 2000にアップグレードする場合は、PrintAgentをアンインストールしてからWindows XP、Windows Server 2003、Windows 2000へのアップグレードを行ってください。OSのアップグレードが正しく行えた後に、Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000に対応したPrintAgentをインストールし、使用してください。

✓チェック

- アップグレード前のOSがWindows NT 3.51で、他のMultiWriterシリーズやPrintAgent対応プリンターのPrintAgentをインストールしてご使用の場合、PrintAgentのアンインストールした後、Windows 2000へのアップグレードを行うと、正しくアップグレードできないことがあります。できなかった場合には、「PrintAgent Eraser」をWindows NT 3.51上で使用して、PrintAgentを削除してください。
- すでにOSをWindows XP、Windows Server 2003、Windows 2000にアップグレードしてしまった場合、PrintAgentをアンインストールせずにWindows XP、Windows Server 2003、Windows 2000上で「PrintAgent Eraser」を使用してPrintAgentを削除してください。
「PrintAgent Eraser」は、添付のプリンターソフトウェアCD-ROMに収録されている「¥PAeraser¥Readme.txt」をご覧ください。
- Web PrintAgentは、OSをアップグレードする時に停止します。アップグレード後、インターネットインフォメーションサービス (IIS) のWebサイトを再び開始してください。

ネットワークで思うように印刷できないときは

ネットワーク接続上の疑問およびネットワークを介しての印刷がうまくできないときは、プリンターの故障を疑う前にこのページを参照してください。

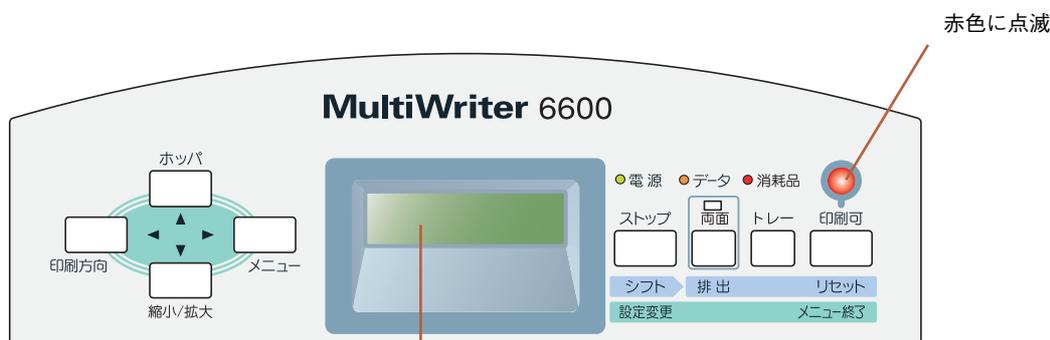
症状	原因と対策
Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows Me、Windows 98、Windows 95 をご使用の場合	
<p>プリンターに印刷できない。 プリンターがネットワーク上の ホストコンピューターから 見えない。</p>	<p>1. コンフィグレーションページを印刷して以下の項目を確認してください。</p> <p>LANインターフェースをご使用の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> → ネットワークケーブルは正しく接続されていますか? コンフィグレーションページ「Link Test」の結果が「OK」であることを確認してください。 → プリンターのリンクランプ（緑色）は点灯していますか? → プリンターおよびハブのリンクランプは点灯していますか? ネットワークケーブルが抜けていないか、ハブの電源がONになっているか確認してください。 → ネットワーク通信速度は正しく設定されていますか? 「10BASE/100BASE」の設定が、接続されているハブの通信速度と一致していることを確認してください。「?」と表示される場合はハブの通信設定を固定にしてください。 → IPアドレスとサブネットマスクが正しく設定されていますか? IPアドレスとサブネットマスクを確認してください。ルータを越えた環境ではゲートウェイアドレスを設定してください。 <p>無線LANアダプターをご使用の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> → 無線ネットワーク環境に合った無線設定がされていますか? 「Link Test」の結果が「OK」であることを確認してください。この時に、「No connection」の場合は、「Network Name」、「Access Point Name」、「Channel」、「Encryption」の結果を確認してください。無線ネットワーク環境に合った無線設定がされていないときは、ネットワーク設定の初期化を行い、再度設定することをお勧めします。 → プリンターがセレクト状態で起動し、無線LANアダプターの電源ランプが点灯していますか? 無線LANアダプターに添付の無線LANカード以外のPCカードが取り付けられている、無線LANカードの挿入が不十分、または無線LANアダプターの取り付け不十分が考えられます。また、無線LANアダプター電源ランプと送受信ランプが10秒程度の間隔で点滅している場合は、無線LANアダプターとしては、正常に動作していますが、無線接続が確立していない状態です。ネットワーク設定の初期化を行い、再度設定することをお勧めします。 → 暗号キーやネットワーク名は間違っていないか? 暗号キーやネットワーク名が正しく設定されていないと、無線通信のセキュリティ機能により無線接続されません。この場合はネットワーク設定の初期化を行い、再度設定することをお勧めします。暗号キーを変更する場合は無線LANアダプターを先に変更し、その後アクセスポイントやコンピューターの設定を変更してください。 <p>2. コンピューターからPingコマンドを実行し、コンピューターとプリンターが通信できるか、以下の手順に従って確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> → <Windows Me 日本語版の場合> <ul style="list-style-type: none"> ① [スタート] - [プログラム] - [アクセサリ] - [MS-DOSプロンプト] を選択する。 ② ping 123.123.123.123 (「123.123.123.123」はプリンターのIPアドレス)。

症 状	原因と処理方法
<p>プリンターに印刷できない。 プリンターがネットワーク上のホストコンピューターから見えない。(続き)</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>(例)</p> <pre>C:¥WINDOWS> ping 123.123.123.123 [return] Pinging 123.123.123.123 with 32 bytes of data: Reply from 123.123.123.123: bytes=32 time<10ms TTL=255 Ping statistics for 123.123.123.123: Packets: Sent = 4, Received = 4, Lost = 0 (0% loss), Approximate round trip times in milli-seconds: Minimum = 0ms, Maximum = 0ms, Average = 0ms</pre> </div> <p>応答がある場合は、コンピューター上のプリンターのプロパティを開いて [印刷先] を再度、確認してください。</p> <p>また、プリンターの電源をOFFにして応答がないことを確認してください。</p> <p>プリンターの電源を入れた状態で応答がない場合は、プリンター以外の機器（コンピューター）と通信できるか確認してください。また、コンピューターおよびプリンターのIPアドレスが適切かどうか確認してください。</p> <p>IPアドレスは、コンピューターのIPアドレスが「192.168.0.1」のとき、プリンターのIPアドレスは「192.168.0.2」のようにネットワークの番号帯が一致する必要があります。プリンターのIPアドレスが「11.22.33.44」のように番号帯が異なる場合は、一致させるようにしてください。</p>
<p>コンフィグレーションページが印刷されない。</p>	<p>→ LANアダプターは動作していますか？ LANアダプターのステータスランプが点灯または点滅している場合は、再度プリンターの電源を入れ直してください。</p>
<p>印刷速度が遅い</p>	<p>→ 無線通信に影響を与えるものがプリンターの周辺にありますか？ 無線LANアダプターは最大11Mbpsの無線通信速度に対応していますが、次のような周囲の環境によっては通信速度が低下する場合があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 近くに電子レンジなど同じ周波数帯の電波を放射する機器がある。 • アクセスポイントなどの通信相手との距離が離れていたり間に障害物がある。 • プリンターが壁やパーティションに囲まれている。 <p>コンフィグレーションページを印刷し、「Link Quality」の結果が「Good」以外の場合は設置場所の変更をお勧めします。</p>
<p>丁合い印刷、多部数印刷ができない。</p>	<p>プリンターと双方向通信が有効でない。</p> <p>→ PrintAgentは、IPP印刷、LPR印刷に対応していません。プリンタードライバーの双方向通信機能を無効にしてください。詳しくは、「PrintAgentの機能を十分に発揮させるために」(330ページ)を参照してください。</p> <p>→ 丁合い印刷には、メモリー増設またはハードディスク増設による電子ソート機能を利用することをお勧めします。詳しくは4章の「電子ソート機能」(195ページ)を参照してください。</p> <p>→ 丁合い印刷または部数印刷はアプリケーションの設定を行ってください。</p>
<p>SNMP Trapがホストコンピューターに送信されない。</p>	<p>→ ルーターを越えた環境にSNMPマネージャのコンピューターが存在する場合は、ゲートウェイアドレスの設定が必要になります。</p>
<p>SNMPに応答がない。</p>	<p>→ ホストコンピューターに設定されたコミュニティ名と同じコミュニティ名を LAN アダプターに設定してください。</p>
<p>無線LANカードに添付のユーティリティから無線LANアダプターの接続が確認できない。</p>	<p>→ ご使用の無線LANカードに添付のユーティリティによっては、無線LANアダプターとの接続状態を表示できない場合があります。この場合は、ご使用のコンピューターからEASY設定ユーティリティを起動し、プリンタリストのウィンドウに接続先の無線LANプリンターが表示されることで接続状態を確認してください。</p>

症 状	原因と処理方法
Windows Me、Windows 98、Windows 95 をご使用の場合	
プリンターに印刷はできるが、正しく印刷されない。印刷の途中で操作パネルに「データガノコッティマス」と表示される。データの最後の部分が欠けて印刷される。	<ul style="list-style-type: none"> → IPアドレスが他の機器と重なっていないか確認してください。 → WWWブラウザを起動し、プリンターのIPアドレスを指定して設定画面を開き、[印刷履歴]を設定し、不具合発生時にログにエラーが無いか確認してください。 → プリンターのプロパティを開いて、スプールの設定を「全ページ分のデータをスプールしてから、印刷データをプリンターに送る」にしてください。 → パラレルインターフェースから正しく印刷できるか確認してください。
Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000 をご使用の場合	
プリンターに印刷はできるが、正しく印刷されない。印刷の途中で操作パネルに「データガノコッティマス」と表示される。データの最後の部分が欠けて印刷される。白紙が印刷される。	<ul style="list-style-type: none"> → IPアドレスが他の機器と重なっていないか確認してください。 → WWWブラウザを起動し、プリンターのIPアドレスを指定して設定画面を開き、[印刷履歴]を設定し、不具合発生時にログにエラーが無いか確認してください。また、「LPRバイトカウントを有効にする」設定を有効にしてください。 → プリンターのプロパティを開いて、スプールの設定を「全ページ分のデータをスプールしてから、印刷データをプリンターに送る」にしてください。 → Standard TCP/IP Port の設定を確認してRAW (9100) になっている場合はLPRに変更してください。 → Standard TCP/IP Port のLPRを用いて印刷している方は、「LPRバイトカウントを有効にする」を有効にしてください。 → パラレルインターフェースから正しく印刷できるか確認してください。
Windows NT 4.0 をご使用の場合	
LPR印刷で、しばらくしてプリントマネージャーに「プリントビジーまたはエラー」と表示される。	→ 他のジョブを印刷している場合に起こることがあります。プリンターが使用中であれば、しばらく待ってからデータを送り直してください。
LPRで印刷中に、ジョブがキャンセルされる。「エラー」と表示した状態で停止する。	→ 印刷するページを少なくして、もう一度印刷してみてください。印刷できた場合は、Windows NTのSystemディレクトリーの空き容量が少ないことが考えられます。十分な空き容量を確保してください。
LPRで大量の印刷を行うと途中で印刷が止まる場合がある。	→ 12ジョブ以上の印刷で止まる場合はWindows NTシステムの設定による可能性があります。マイクロソフト社から提供されている「サポート技術情報」を参考に設定を確認してください。
UNIX をご使用の場合	
lprコマンドでデータを転送したが、文字が正しく印刷されない。	<ul style="list-style-type: none"> → プリンター側のエミュレーションの設定が誤っている場合があります。エミュレーションの設定を確認してください。 → プリンターのコードに変換されていない場合があります。eucコードのフィルター設定を確認してください。フィルターの機能については、「3章 ネットワークでの設定」の「UNIX環境の設定」(162ページ)を参照してください。
putコマンドでデータを転送したが、最後のページが排出されない。	→ テキストファイルなどの転送の場合、FFコードが付いていないことがあります。プリンター側で自動排出を設定してください。

紙づまりのときは

紙づまりが発生すると、操作パネルの印刷可（赤）ランプが点滅し、ディスプレイに“74 カミツマリ”、または“83 ヨウシピックミス”と表示されます。同時にプリンターは印刷を中止し、ディセレクト状態になります。



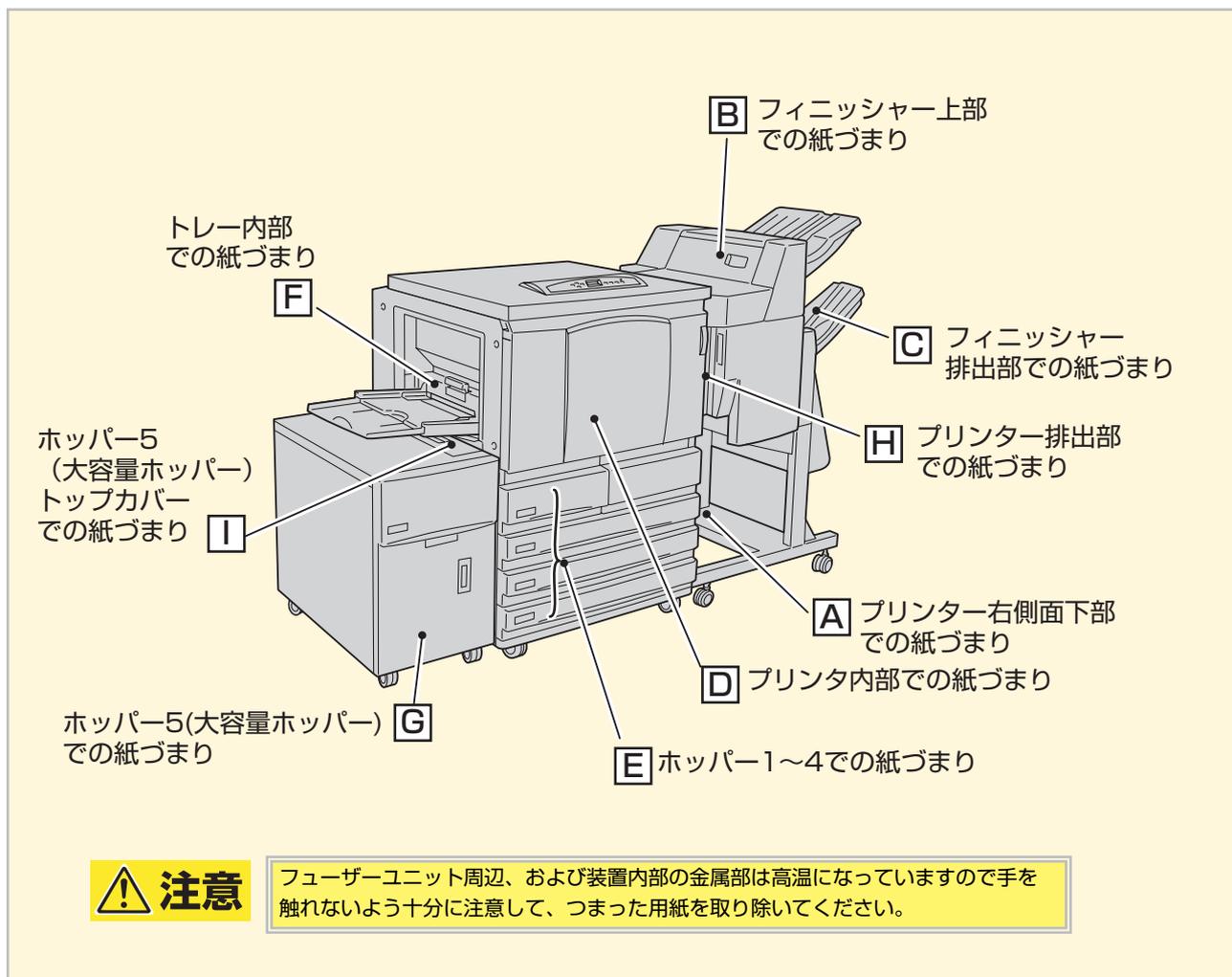
“カミツマリ” または “ヨウシピックミス” と表示される

紙づまりの発生箇所

紙づまり、またはピックミス（用紙給紙ミス）のときのディスプレイ表示と発生箇所は次の表のとおりです。ディスプレイ下段の表示は紙づまり、またはピックミス（用紙給紙ミス）が発生している箇所を表しています。

ディスプレイ表示		紙づまり発生箇所
上段	下段	
“74 カミツマリ”	“ホンタイ フロントカバー”	D、E
	“ホンタイ サイドカバー”	A
	“ホンタイ テンシャキ”	D
	“ホンタイ ティチャクキ”	D
	“ホンタイ ハイシュツブ”	H
	“ホンタイ トレー”	F
	“ホッパ5 トップカバー”	I
	“フィニッシャ トップカバー”	B
	“フィニッシャ コンバイルトレイ”	C
	“ホッパ1”	E
	“ホッパ2”	E
	“ホッパ3”	E
	“ホッパ4”	E
	“ホッパ5”	G
“83 ヨウシピックミス”	“ホッパ1”	E
	“ホッパ2”	E
	“ホッパ3”	E
	“ホッパ4”	E
	“ホッパ5”	G
	“トレイ”	F

ディスプレイに表示された紙づまり発生箇所から、次の図を参考にしてつまった箇所を調べてください。つまった箇所に
応じて、338ページからの手順に従って用紙を取り除いてください。複数の箇所に用紙がつまっているときは、カバーを
閉めた後、ディスプレイで表示する発生箇所が変わります。その場合は手順に従い、再度用紙を取り除いてください。



紙づまりの発生箇所

紙づまりの処理

発生箇所 (A、B、C、D、E、F、G、H、I) に応じて、紙づまりの処理をしてください。

つまった用紙を取り除くことができたなら、カバー類を開めてください。完全に取り除かれていればアラームは解除され、自動的に印刷は再開されます。

紙づまりが頻発するようでしたら、「ピックアップミス、紙づまり処理後の確認」(346ページ)を参照して紙づまりを誘発させる事柄がないか確認してください。

✓ チェック

- つまんだ用紙は、このマニュアルの手順どおりに取り除いてください。無理に引き抜こうとすると、用紙が破れ、残った紙片がプリンターの正しい用紙送りを妨げることがあります。
- 紙づまりが発生した場合、つまんだ用紙が取り除かれると、紙づまりによって正しく排出されなかった用紙の印刷データから印刷を再開します。しかし、紙づまりが発生した位置によっては、正しく排出されなかった印刷データから印刷を再開できない場合があります。

⚠ 注意

- 高温注意を促すラベルが貼ってある箇所 (フューザーユニットやその周辺) には、絶対に触れないでください。やけどのおそれがあります。
- なおフューザーユニットに用紙が巻き付いているときには無理に取らないで、ただちに電源を切り、サービス担当者またはお買い求めの販売店にご相談ください。

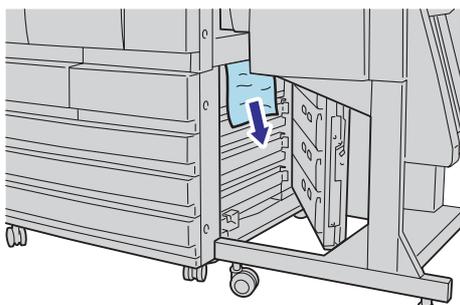
A プリンター右側面下部での紙づまり

プリンター右側面下部で紙づまりが発生した場合の処理方法を説明します。

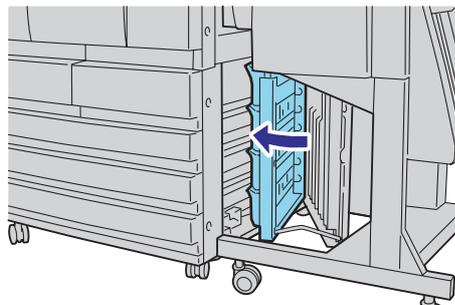
- 1** プリンターのサイドカバーを開く。内側のカバーも同時に開く。



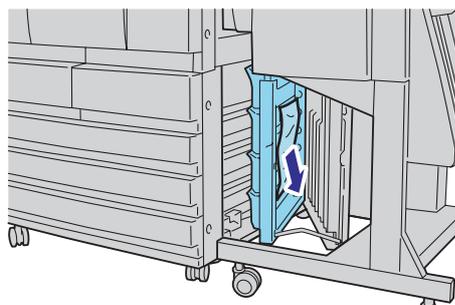
- 2** つまんだ用紙をゆっくり取り除く。



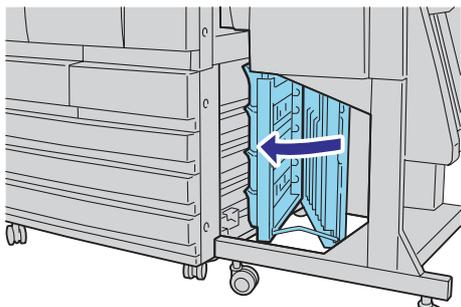
- 3** 取り除けない場合は、サイドカバーの内側のカバーを十分に開く。



- 4** つまっている用紙をゆっくり取り除く。



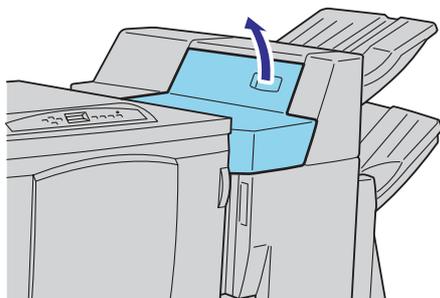
- 5 プリンターのサイドカバーを閉じる。



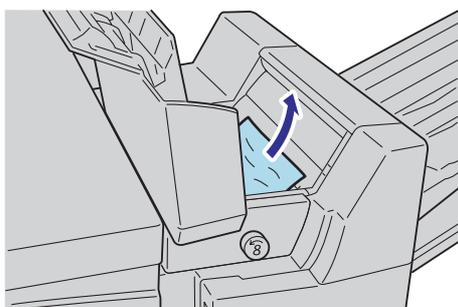
B フィニッシャー上部での紙づまり

フィニッシャー上部で紙づまりが発生した場合の処理方法を説明します。

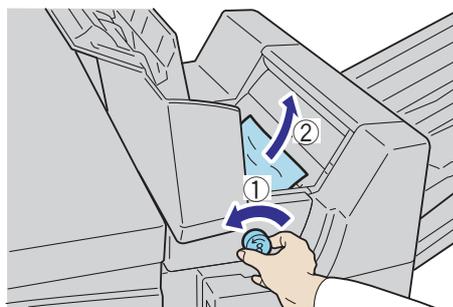
- 1 フィニッシャー トップカバーの取っ手を持ち、トップカバーを開く。



- 2 つまった用紙を取り除く。



- 3 取り除きにくい場合は、手前のノブを反時計回りに回して、用紙を送り出す。



- 4 フィニッシャー トップカバーを閉じる。

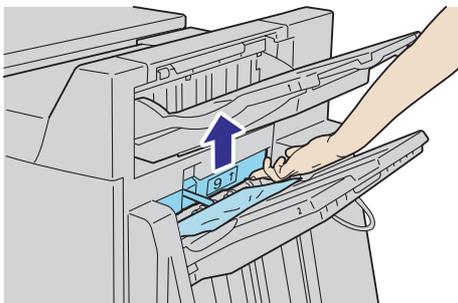
✓ チェック

カバーを完全に閉じないと、メッセージが表示され、プリンターが作動しません。また、他の箇所に用紙がつまっていると、別のメッセージが表示されます。

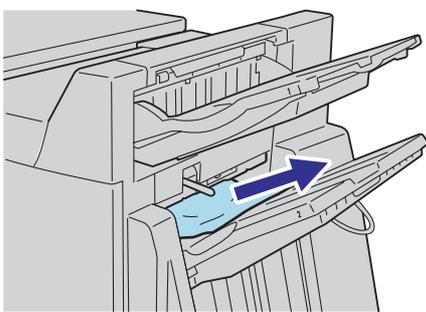
C フィニッシャー排出部での紙づまり

フィニッシャー排出部で紙づまりが発生した場合の処理方法を説明します。

- 1 フィニッシャーのスタックートレーの奥にある排出口カバーを持ち上げる。

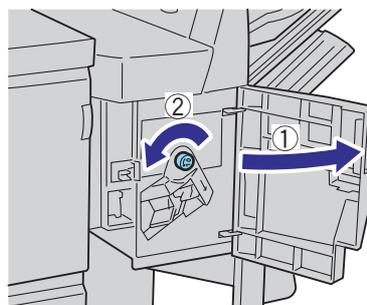


- 2 つまった用紙を取り除く。

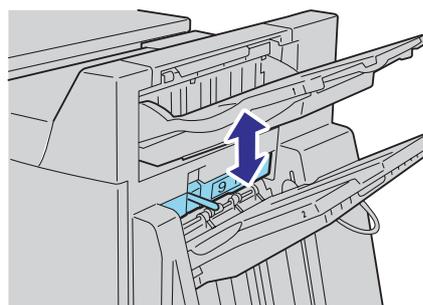


- 3 取り除きにくい場合は、フィニッシャーのフロントカバーを開き、ノブを反時計回りに回して、用紙を送り出す。

用紙を取り除いたあとは、フロントカバーを閉じてください。



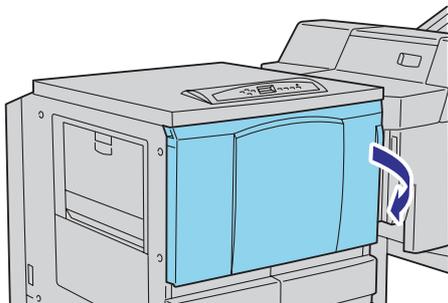
- 4 つまっている用紙を取り除いてもメッセージが表示されている場合は、もう一度、排出口カバーを上げ下げする。



□ プリンター内部での紙づまり

プリンター内部で紙づまりが発生した場合の処理方法を説明します。

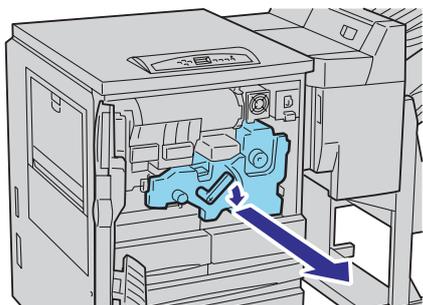
- ① プリンターのフロントカバーを開く。



- ② フューザーユニットの中央にある緑色のレバーを反時計回りに水平になるまで回して、手前に止まるまでフューザーユニットを引き出す。

⚠ 注意

フューザーユニットを引き出すときは、指をはさまないようにご注意ください。

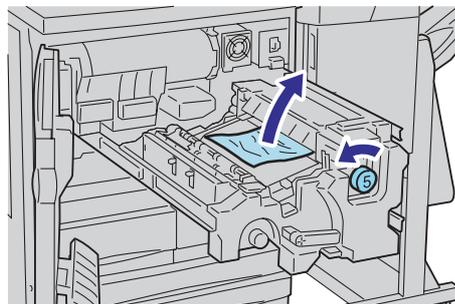


- ③ フューザーユニット上部および右側につまっている用紙を取り除く。

- ④ 取り除きにくい場合は、ノブを反時計回りに回して用紙を送り出す。

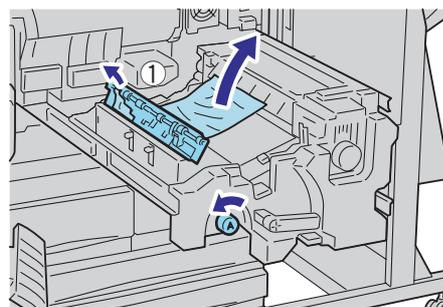
⚠ 注意

- フューザーユニットの奥に手を入れないでください。ケガや指をはさむ原因となるおそれがあります。
- 「高温注意」および「注意」を促すラベルが貼ってある箇所（フューザーユニットやその周辺）には絶対に触れないでください。やけどの原因となるおそれがあります。

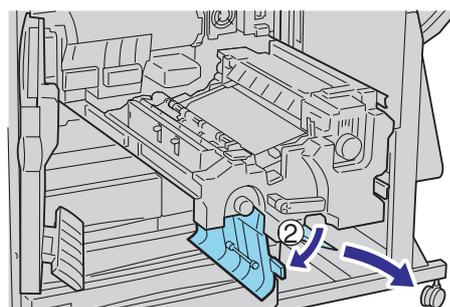


- ⑤ ①を左方向に開けながら、つまっている用紙を取り除く。

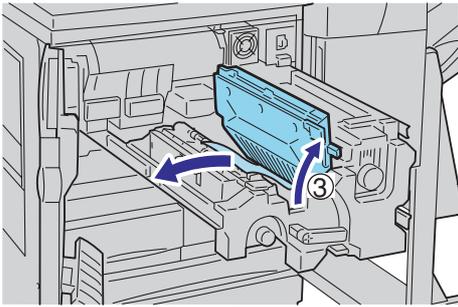
- ⑥ 取り除きにくい場合は、ノブAを反時計回りに回して用紙を送り出す。



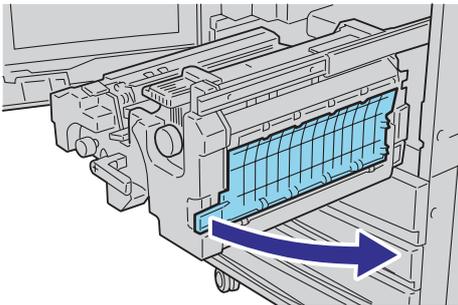
- ⑦ ②を下方へ開きながら、つまっている用紙を取り除く。



- 8 ③を上方向へ開きながら、つまっている用紙を取り除く。

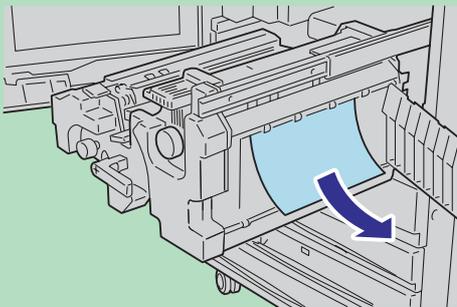


- 9 フューザーユニットの右側にあるタブを、右方向へ開く。

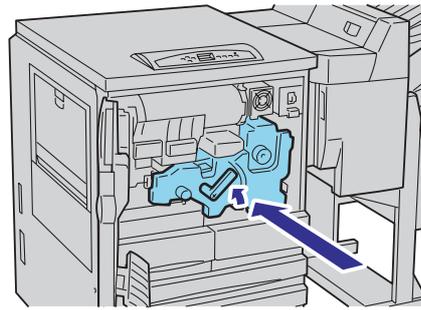


✓ チェック

つまっている用紙がある場合は、用紙を下方向に引っぱって取り除いてください。

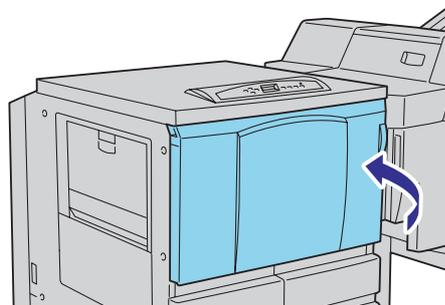


- 10 フューザーユニットの右側にあるタブを閉じ、フューザーユニットを完全に奥まで押し込み、中央のレバーを「カチッ」と音がするまで反時計回りに回す。



レバーを回せない場合は、フューザーユニットを途中まで引き出してから、再度押し込みます。

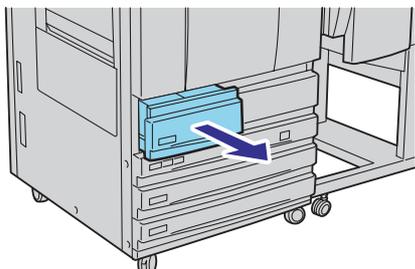
- 11 プリンターのフロントカバーを閉じる。



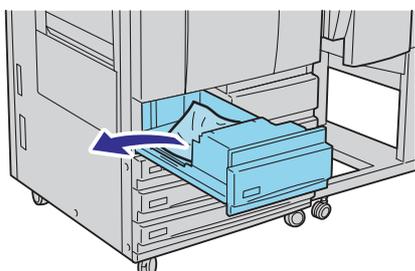
E ホッパー 1~4の紙づまり

ホッパー 1~4で紙づまりが発生した場合の処理方法を説明します。

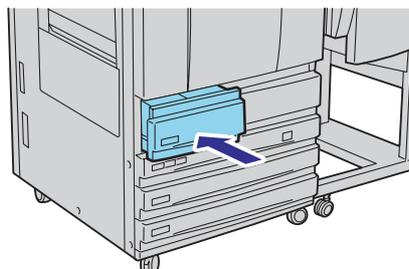
- ① ディスプレイに表示されているホッパーを引き出す。



- ② つまった用紙を取り除く。



- ③ 奥に突き当たるところまで、ホッパーをゆっくりと押し込む。



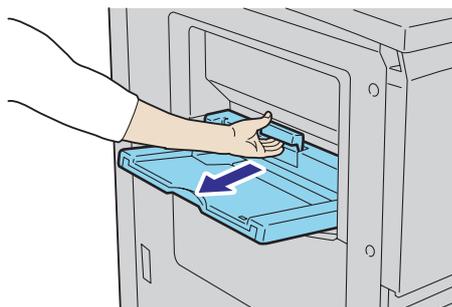
F トレー内部での紙づまり

トレー内部で紙づまりが発生した場合の処理方法を説明します。

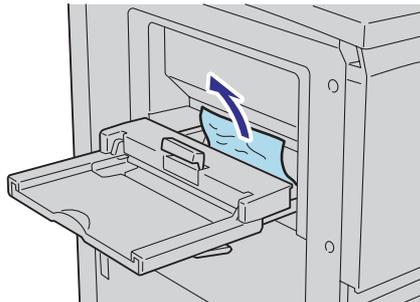
- ① トレーから、送りかけのつまった用紙を取り除く。



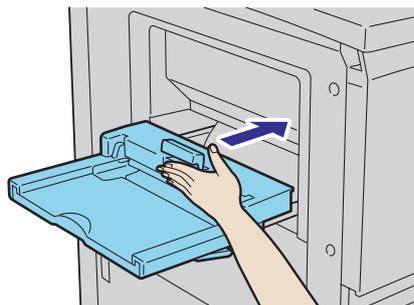
- ② 中央にあるレバーを左方向へ動かして、トレー全体が止まるところまで引き出す。



- ③ つまっている用紙を取り除く。



- ④ 奥に突き当たるところまで、トレーを押し込んで戻す。



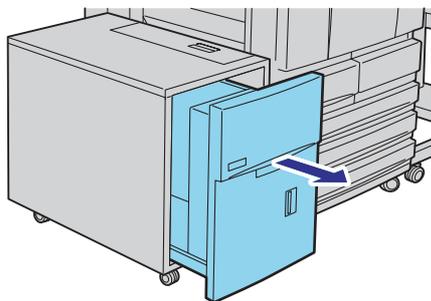
㊄ ホッパー5 (大容量ホッパー) での紙づまり

ホッパー5 (大容量ホッパー) で紙づまりが発生した場合の処理方法を説明します。

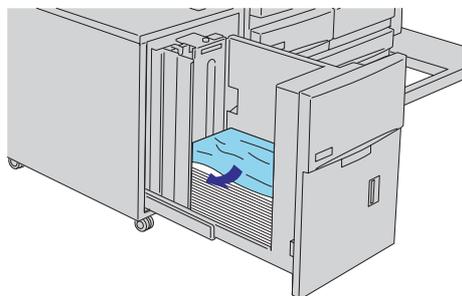
⚠ 注意

大容量ホッパーを引き出すときはゆっくりと引き出してください。ホッパーを勢いよく引き出すと、ひざなど身体にぶつかりケガの原因となるおそれがあります。

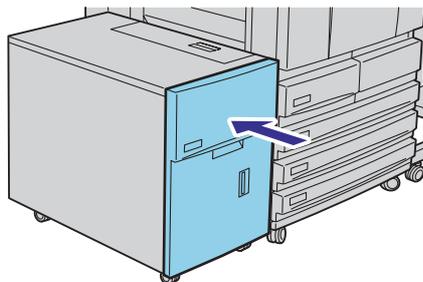
- ① ホッパー5を引き出す。



- ② つまっている用紙を取り除く。



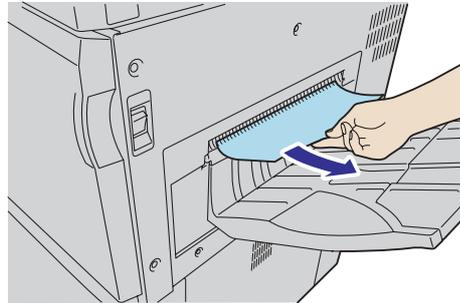
- ③ 奥に突き当たるところまでホッパー5をゆっくり押し込む。



H プリンター排出部での紙づまり

プリンター排出部で紙づまりが発生した場合の処理方法を説明します。

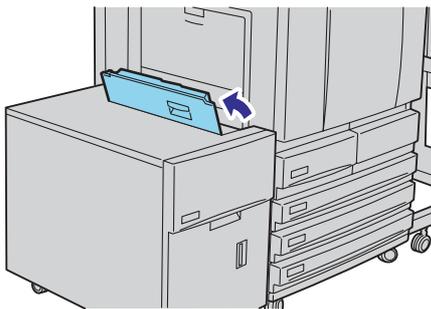
本体排出部にあるつまった用紙を取り除く。



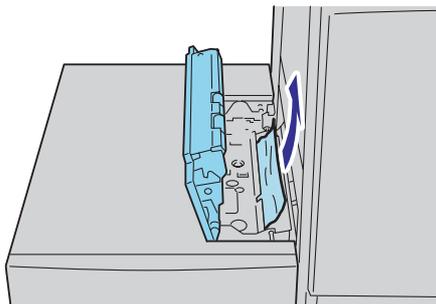
I ホッパー5（大容量ホッパー）トップカバーでの紙づまり

ホッパー5（大容量ホッパー）トップカバーで紙づまりが発生した場合の処理方法を説明します。

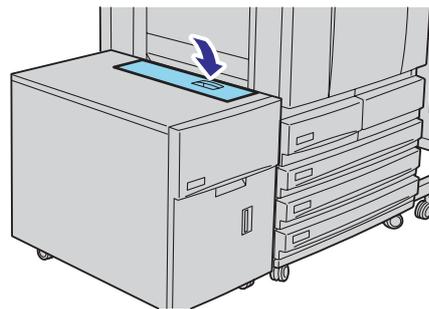
① ホッパー5のトップカバーを開ける。



② つまっている用紙を上へ引き上げて取り除く。



③ ホッパー5のトップカバーを閉じる。



ピックアップミス、紙づまり処理後の確認

給紙できなかった用紙、またはつまっていた用紙を取り除いたら、紙づまりの再発を防止するために次の事項を確認してください。

- 用紙の破片が紙づまりした場所に残っていませんか。
- 用紙は正しくセットされていますか。
- 用紙は規格内のものを使用していますか。また、付録の「用紙の規格」(359ページ)に記載されている事柄は守られていますか。
- 用紙の量が多すぎませんか。サイドガイドの用紙上限表示(▽)以下にセットされていますか。(坪量64.0g/m²(連量55kg)の普通紙で、ホッパー1は1000枚、ホッパー2~4は500枚です。)
- 一度印刷した用紙を使用していませんか。
- プレ印刷用紙(すでに罫線などが印刷されている用紙)を使用していませんか。
- カバーは確実に閉じられていますか。
- 標準ホッパーまたは大容量ホッパーが奥までまっすぐに差し込まれていますか。
- 標準ホッパーまたは大容量ホッパー内のサイドガイドが用紙サイズに合っていますか。
- トレーにセットした用紙サイズと[トレー]スイッチで選択した用紙サイズは合っていますか。

上記の確認後、次の手順に従ってテスト印刷をし、印刷が正しく行われることを確認してください。(紙づまり処理直後はローラーなどに付着したトナーで用紙が汚れることがあります。数ページ、テスト印刷をしてください。)

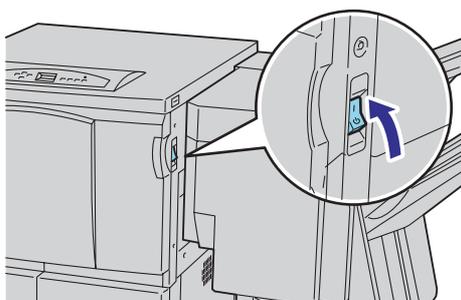
テスト印刷

1 電源スイッチをONにする。

ディスプレイに次のメッセージが順に表示されます。

インシャライズ チュウ

ホッパ 1 A4ヨコ ポート
ウォームアップ チュウ



2 印刷可ランプが点灯することを確認する。



ホッパ 1 A4ヨコ ポート
フツウシ NPD L

3 操作パネルの [印刷可] スイッチを押す。

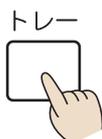
印刷可ランプが消灯します。



ホッパ 1 A4ヨコ ポート
NPD L

4 トレーに用紙をセットした場合は、ここで [トレー] スイッチを押し、印刷する用紙のサイズを選択する。

トレーが選択され、ディスプレイには“トレー”と表示されます。



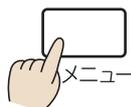
トレー A4ヨコ ポート

✓ チェック

- トレーの場合は、自動的に用紙サイズを検出しないので、[トレー] スイッチで用紙サイズを選択してください。
- トレーにセットする用紙が OHP フィルムや厚紙、ラベル紙の場合は、「メニューモード設定項目一覧」(266ページ)を参照して、メニューモードの「トレーヨウシシュベツ」項目で用紙種別の設定を行ってください。
- スイッチで選択した用紙サイズよりも小さい用紙に印刷したり、用紙のセット方向を間違えて印刷すると、用紙をはみ出して印刷してしまい、プリンター内部のローラーを汚す原因となります。ローラーが汚れてしまったときはテスト印刷を数枚行い、汚れを取り除いてください。

5 [メニュー] スイッチを押す。

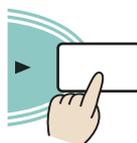
ディスプレイには“テストメニュー →”と表示されます。



テストメニュー →

6 [▶] スイッチを押す。

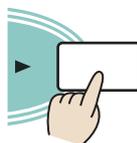
ディスプレイ下段には“←ステータスインサツジ ッコウ”と表示されます。



テストメニュー X
←ステータスインサツジ ッコウ

7 [▶] スイッチを押す。

データランプが点灯し、プリンターはテスト印刷を開始します。ディスプレイには“テストインサツチュウ”と表示されます。



テストインサツチュウ

8 印刷結果を確認する。

プリンターを運搬するときは

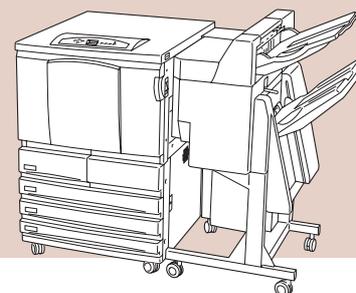
引っ越しや修理などでプリンターを運搬するときは、プリンターから付属品、消耗品およびオプションを取り外す必要があります。

取り外し作業はサービス担当者が行いますので、添付の「NECサービス網一覧表」に記載されているサービス窓口にお問い合わせください。

プリンター・消耗品を廃棄するときは

- プリンターの廃棄については各自治体の廃棄ルールに従ってください。詳しくは、各自治体へお問い合わせください。また、廃棄の際はドラムカートリッジ、トナーカートリッジ、クリーニングカートリッジを取り外してお出してください。
- NEC製ドラムカートリッジ、トナーカートリッジは地球資源の有効活用を目的として回収し、再利用可能な部品は再利用しています。ご使用済みのNEC製ドラムカートリッジ、トナーカートリッジ、クリーニングカートリッジは捨てるに、回収センターに直接お送りいただくか、お買い上げの販売店、または添付の「NECサービス網一覧表」に記載されているサービス施設まで、お持ち寄りください。なお、その際は損傷を防ぐため、ご購入時の梱包箱に入れてください。回収については、8章の「使用済み消耗品の回収について」(307ページ)を参照してください。

10章 ユーザーサービス



NECは、MultiWriter 6600の「お客様登録」をされた方々にさまざまなユーザーサービスを用意しています。ユーザーサービスをご利用になる前に、ここで説明している保証およびサービスの内容について確認してください。

- お客様登録申込書について350ページ
- 保証について350ページ
- 保守サービスについて351ページ
- プリンターの寿命について351ページ
- 補修用性能部品および消耗品について351ページ
- ユーザーズマニュアルの再購入について352ページ
- 情報サービスについて352ページ
- プリンターソフトウェアをフロッピーディスクが必要な場合352ページ

お客様登録申込書について

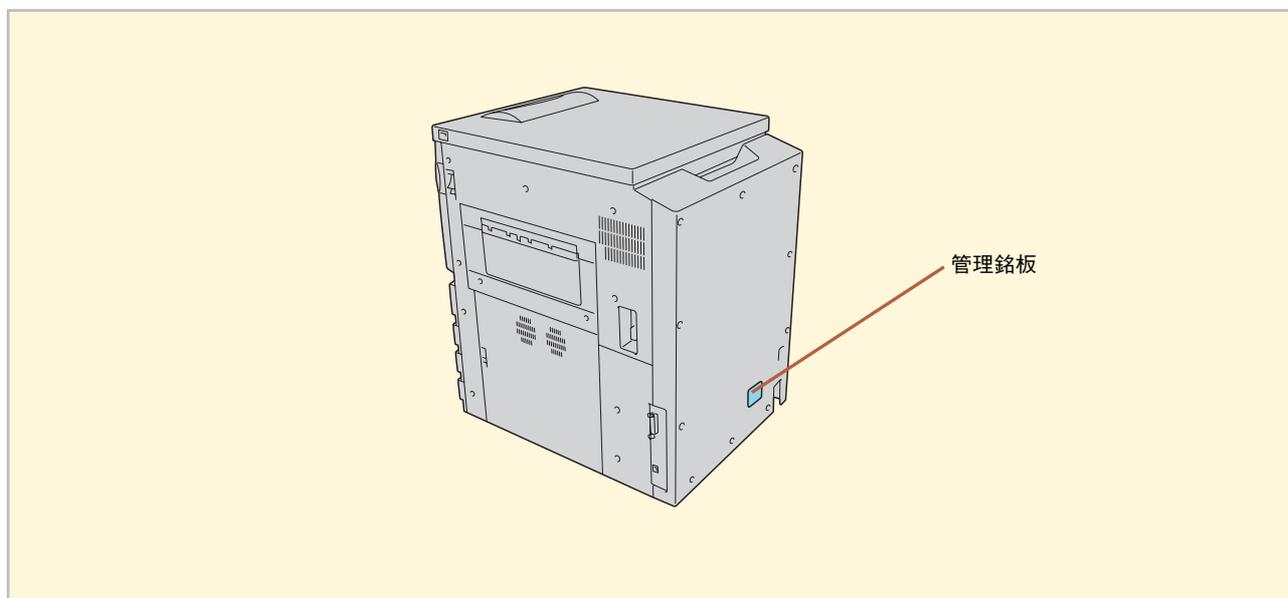
添付の「お客様登録申込書」に記載されている事項をよくお読みになり、登録してください。

保証について

プリンターには「保証書」が添付されています。「保証書」は販売店で所定事項を記入してお渡ししますので、記載内容を確認して大切に保管してください。保証期間中に万一故障が発生した場合は、「保証書」の記載内容に基づき、無料で修理します。詳細については「保証書」、および次ページの「保守サービスについて」をご覧ください。また、プリンターに添付の「NECサービス網一覧表」に記載されているサービス窓口へお問い合わせください。

✓ チェック

本体の背面に、製品の型式、SERIAL No. (製造番号)、定格、製造業者名、製造国が明記された管理銘板が貼られています (下図参照)。販売店またはサービス窓口にお問い合わせする際にこの内容をお伝えください。また、管理銘板の製造番号と保証書の保証番号が一致していないと、万一プリンターが保証期間内に故障した場合でも保証を受けられないことがあります。お問い合わせの前にご確認ください。



管理銘板の位置

保守サービスについて

保守サービスは純正部品を使用することはもちろん、技術力においてもご安心してご利用いただける、当社指定の保守サービス会社をご利用ください。保守サービスは以下のような種類があります。

- 契約保守.....年間一定料金を契約を結び、サービス担当者を派遣するシステムです。
- 出張修理.....サービス担当者がお客様のところに伺い、修理をするシステムです。料金は修理の程度、内容に応じて異なります。

保守サービスの種類

種類	概要	修理料金		お支払い方法	受付窓口*1
		保証期間内	保証期間外		
契約保守	ご契約いただきますと、修理のご依頼に対しサービス担当者を派遣し、修理いたします。(原則として派遣日にその場で修理いたしますが、故障の程度・内容により、お引き取りして修理する場合がありますのでご了承ください。) 保守料は、システム構成に応じた一定料金を前払いしていただくため一部有償部品を除き、修理完了時にその都度お支払いいただく必要はありません。保守費用の予算化が可能になります。	機器構成、契約期間に応じた一定料金		契約期間に応じて一括払い	NECフィールドディング (株)
出張修理	修理のご依頼に対してサービス担当者を随時派遣し、修理いたします。(原則として派遣日にその場で修理いたしますが、故障の程度・内容により、引き取りさせていただいて修理する場合がありますのでご了承ください。) ご契約は不要です。	無料*2	修理料 + 出張料	そのつど清算	

*1 受付窓口の所在地、連絡先などは添付の「NECサービス網一覧表」もしくは、インターネットのWebページアドレス <http://www.fielding.co.jp/per/index.htm>をご覧ください。

*2 本製品は「出張修理対象品」のため、保証期間内の出張修理は無料です。出張修理の対象となっていない製品は出張料のみ有料となります。

プリンターの寿命について

MultiWriter 6600の製品寿命は、印刷ページ数が500万ページ、または使用年数5年のいずれか早いほうです。定期保守については、販売店または「NECサービス網一覧表」に記載のサービス窓口にご相談ください。

補修用性能部品および消耗品について

本製品の補修用性能部品および消耗品の最低保有期間は製造打ち切り後7年です。

ユーザーズマニュアルの再購入について

ユーザーズマニュアルを破損、紛失されたときは、下記のPCマニュアルセンターでコピー複製版（白黒版）をお買い求めいただけます。お申し込みには、プリンターの型番が必要になりますので、あらかじめお調べの上お申し込みください。

プリンター型番 PR-L6600

なお、ユーザーズマニュアルの紛失に備えて、型番をメモしておくようにしてください。

NEC PCマニュアルセンター

URL : <http://pcm.mepros.com>

電話 : 03-5471-5215

受付時間 月曜から金曜 10:00~12:00/13:00~16:00

(土曜、日曜、祝祭日を除く)

FAX : 03-5471-3996

受付時間 24時間 (ただし、いただいたFAXに対する回答は翌営業日以降になります。)

情報サービスについて

- プリンター製品に関する最新情報
インターネット 「NEC 8番街」 URL : <http://nec8.com/>
- プリンターに関する技術的なご質問、ご相談
NEC 121コンタクトセンター
(電話番号、受付時間などについては、「NECサービス網一覧表」をご覧ください。)

プリンターソフトウェアをフロッピーディスクが必要な場合

通常プリンターソフトウェアのインストールは添付のCD-ROMから行いますが、フロッピーディスクを使ってインストールしたい場合は、いったんCD-ROMに収録されているプリンターソフトウェアをフロッピーディスクにコピーしてからインストールします。フロッピーディスクの作成手順については次ページの「FD作成（インストール媒体の作成）」をご覧ください。

もし「CD-ROMドライブを持っていない」などでフロッピーディスクにコピーできない場合は、あらかじめ以下の必要事項を調べていただいた上で、最寄りのPCクリーンスポットまでご連絡ください。PCクリーンスポットの連絡先は、添付の「NECサービス網一覧表」をご覧ください。無償でご希望のフロッピーディスクをお送りします。

必要事項

- | | |
|----------------|--|
| ① プリンターの名称 | MultiWriter 6600 |
| ② プリンターの製造番号 | 保証書をご覧ください。9桁の英数字です。 |
| ③ フロッピーディスクタイプ | 3.5インチ型の1.44MBタイプ*1、または3.5インチ型の1.2MBタイプ*2 |
| ④ ご住所 | |
| ⑤ ご氏名 | |
| ⑥ ご連絡先 | 昼間で連絡がとれる電話番号をお知らせください。また自宅か勤務先かも明記してください。 |

*1 PC98-NXシリーズを含むIBM PC/AT互換機（DOS/V対応機）に対応

*2 PC-9800シリーズに対応

FD作成（インストール媒体の作成）

「FD作成」はプリンターソフトウェアCD-ROMの内容を任意の項目で構成し、フロッピーディスク、またはハードディスクなど任意の媒体にインストール用のプリンターソフトウェアをコピーする機能です。

コピーされる形式は次の2通りです。

- マスターとして 本プリンター用プリンターソフトウェアをすべてコピーします。(1.44MBもしくは1.25MBでフォーマットされたフロッピーディスク8枚が必要です)
- 「カスタム」インストール用として 機能を選択して、インストール用のプリンターソフトウェアをコピーします。(1.44MBもしくは1.25MBでフォーマットされたフロッピーディスク8枚が必要です)。

プリンターソフトウェアをコピーしたハードディスクを他のコンピューターも共有できるようにしておけば、CD-ROMを使わずにネットワークを介してプリンターソフトウェアをインストールすることができます。複数台のコンピューターに同じ内容のソフトウェアを短時間にインストールしたい場合などに便利です。

ここでは、Windows XP環境でFD作成をする手順を説明します。他のOSにおいても同様の手順です。

✓チェック

Windows XPをお使いの場合は、アカウントの種類が[コンピュータの管理者]のユーザーが設定してください。Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0をお使いの場合は、Administrators権限を持つユーザーが設定してください。

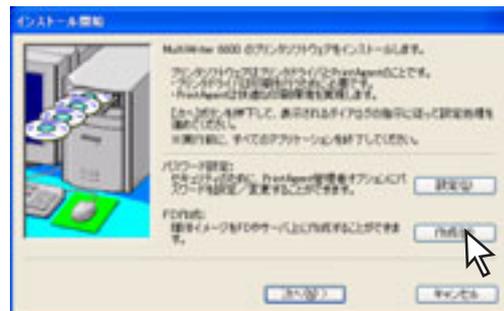
① プリンターソフトウェア CD-ROM をセットし、メニュープログラムを立ち上げる。

メニュープログラムを立ち上げる手順はお使いになるコンピューターの環境によって異なります。各OSのインストール方法を参照してください。

[インストール]をクリックしてから、[MultiWriter 6600]を選んで[インストール開始]をクリックします。



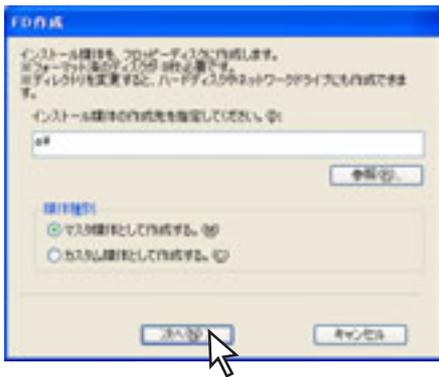
② FD作成の[作成]をクリックする。



③ インストール媒体の作成先、媒体種別を指定し、[次へ]をクリックする。

作成先にフロッピーディスクドライブを指定するとプリンターソフトウェアがフロッピーディスクにコピーされます。インストール媒体作成先に、ハードディスク、ネットワークパスを指定することができます。

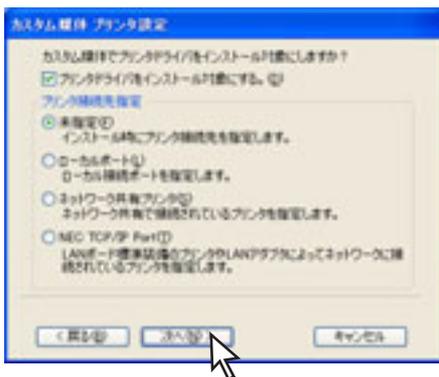
[マスタ媒体として作成する。]を選ぶと、CD-ROMと同様の内容をすべてコピーします。



<[マスタ媒体として作成する]を選んだ場合>
手順⑦へ進んでください。

<[カスタム媒体として作成する]を選んだ場合>
手順④へ進んでください。

4 プリンタードライバーのインストール、プリンターの接続先を選び、[次へ]をクリックする。

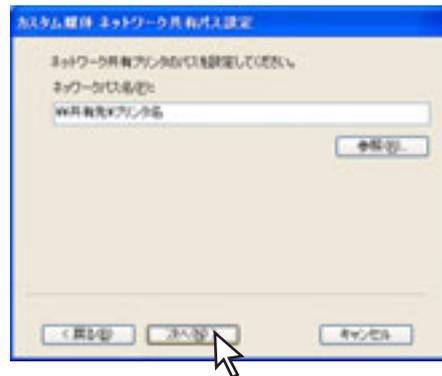


<[未指定]を選んだ場合>
手順⑤に進んでください。

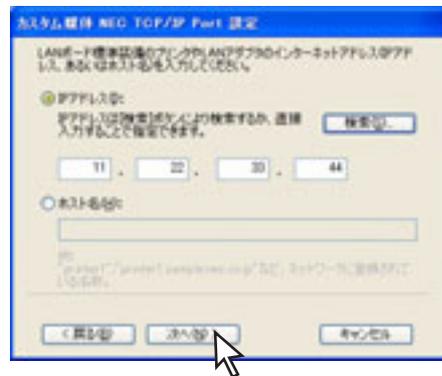
<[ローカルポート]を選んだ場合>
希望するポートを選び、[次へ]をクリックする。



<[ネットワーク共有プリンタ]を選んだ場合>
プリンターの接続先を指定し、[次へ]をクリックする。



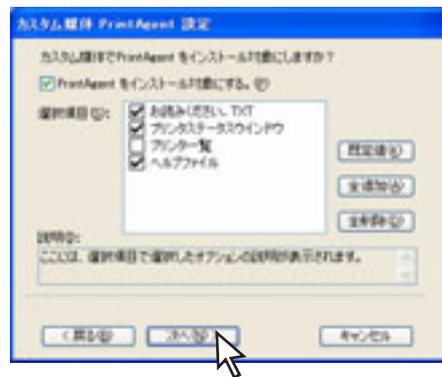
<[NEC TCP/IP Port]を選んだ場合>
LANインターフェースのIPアドレスあるいは、ホスト名を設定して[次へ]をクリックする。



5 任意の機能を選ぶ。
[全追加]をクリックするとすべてチェックされます。[全削除]をクリックするとすべてチェックが外れます。

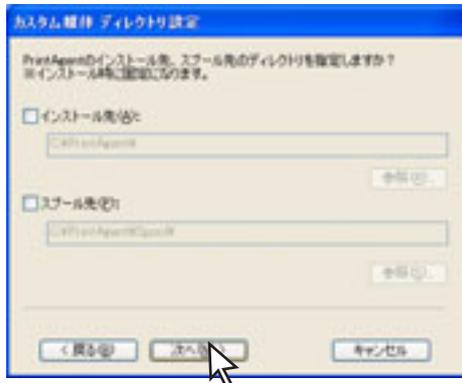
✓チェック

ここで選択されなかった機能はクライアントでインストールした後に、クライアントで追加を行おうとしても追加できません。インストールした機能のみ削除できます。

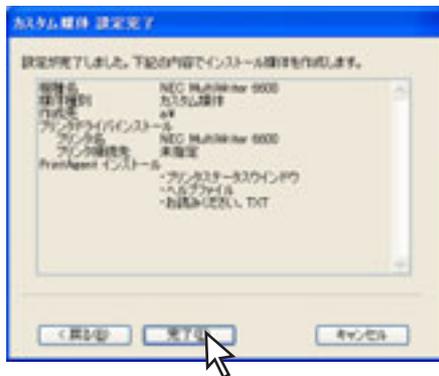


6 インストール先、スプール先を指定し、[次へ]をクリックする。

ここであらかじめインストール先を固定しておけば、個々のコンピューターからインストールするときの手順が簡略化できます。

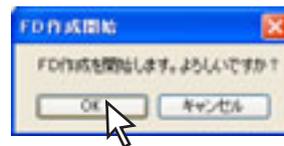


7 設定した内容を確認し、[完了]をクリックする。

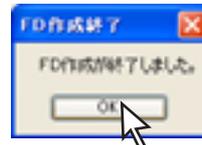


8 [OK]をクリックする。

インストール媒体の作成が開始します。



9 [OK]をクリックする。



✓チェック

FD作成によって作成されたフロッピーディスクは、以下のような構成になります。

Disk1 : インストールプログラム

Disk2 : Windows Me/98/95
プリンタードライバー

Disk3 : Windows NT 4.0
プリンタードライバー

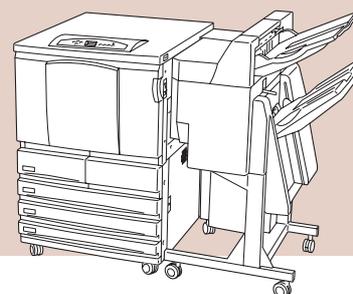
Disk4 : Windows XP、Windows Server 2003、
Windows 2000
プリンタードライバー

Disk5~8 : PrintAgentソフトウェア

作成したフロッピーディスクでプリンターソフトウェアのインストールを行うには、Disk1にあるSETUP.EXEを実行してください。

メモ

付録 技術情報



この章では、本プリンターの仕様、印刷範囲、文字コード、その他の技術情報について説明します。

仕 様

項目	内容
印刷方式	電子写真記録方式 露光方式：半導体レーザービーム・スキャニング方式 定着方式：ヒートロール方式
印刷速度*1	約71ページ/分（A4用紙横置き、ホッパー 1給紙片面印刷、普通紙モード時）
ウォームアップの待ち時間 （室温22℃）	電源投入時：最大240秒以内 節電時：最大240秒以内
ファーストプリントタイム	片面印刷時 A4サイズ：約8秒（A4用紙横置き、ホッパー 1給紙、印刷間隔30秒以内） 両面印刷時 A4サイズ：約10秒（A4用紙横置き、ホッパー 1給紙、印刷間隔30秒以内）
用紙容量*2	ホッパ1： 1000枚 ホッパ2： 500枚 ホッパ3： 500枚 ホッパ4： 500枚 トレイ： 40枚 大容量ホッパ（オプション）：4200枚
スタック容量*2	排紙トレイ（オプション）：500枚 フィニッシャー（オプション） トッパトレイ：500枚 スタックトレイ：2100枚
ドット間隔	0.0423×0.0423mm（1/600×1/600インチ）
CPU	RM7000C（500MHz）
RAM	標準128MByte 最大1GB（オプション増設時）
オプションRAMソケット	2ソケット*3（184 Pin DIMM用）

* 1 印刷速度は連続印刷の場合の最大値です。最初のページ、また印刷データの内容あるいはコンピューターからのデータの送り方などによって異なります。

* 2 坪量64g/m²（連量 55kg）用紙

* 3 1ソケットは標準で使用

項目	内容	
インターフェース	セントロニクス仕様に準拠*1 イーサネット (10BASE-T/100BASE-TX : TCP/IPのみ)	
データ形式	NPDL Level 2 (201PLエミュレーション含む)	
環境*2	動作温度 : 10~32.5℃ 動作湿度 : 20~80% (ただし結露しないこと) 保管温度 : 0~35℃ 保管湿度 : 15~85% (ただし結露しないこと) 塵埃量 : 一般事務室程度 ガス成分 : 一般事務室程度 気 圧 : 1013~752.4 hPa (海拔0~2500m)	
騒音 (音圧レベル・A補正)	動作時 : 55.0dB以下 (標準) 動作時 : 56.0dB以下 (フルオプション) 待機時 : 39.0dB以下	
電源	電 圧 : AC 100V±10% 周波数 : 50/60Hz±1Hz	
消費電力*3	動作時最大*4	プリンター単体時 : 1290W フルオプション時 : 1360W
	動作時平均	プリンター単体時 : 1260W
	節電モード時	プリンター単体時 : 28W以下
寸法	620 (幅) x 780 (奥行き) x 968mm (高さ) (本体のみ、突起部含まず)	
質量	約185kg (本体のみ、消耗品含む)	
製品寿命*5	印刷枚数500万ページまたは使用年数5年のいずれか早い方	
消耗品寿命	<ul style="list-style-type: none"> トナーカートリッジ (型番PR-L6600-12) : 約33,000ページ ドラムカートリッジ (型番PR-L6600-31) : 約110,000ページ クリーニングカートリッジ (型番PR-L6600-34) : 約50,000ページ 	
フォント	アウトラインフォント 2種類 (明朝体、ゴシック体)	
対応OS	<ul style="list-style-type: none"> Microsoft Windows XP 日本語版 Microsoft Windows Server 2003 日本語版 Microsoft Windows 2000 日本語版 Microsoft Windows NT 4.0 日本語版 Microsoft Windows Me 日本語版 Microsoft Windows 98 日本語版 Microsoft Windows 98 Second Edition 日本語版 Microsoft Windows 95 日本語版 日本語MS-DOS (ver 3.3以上)、MS-DOS 5.0/V以上またはIBM DOS Ver. J5.0/V以上(DOS/V) 	

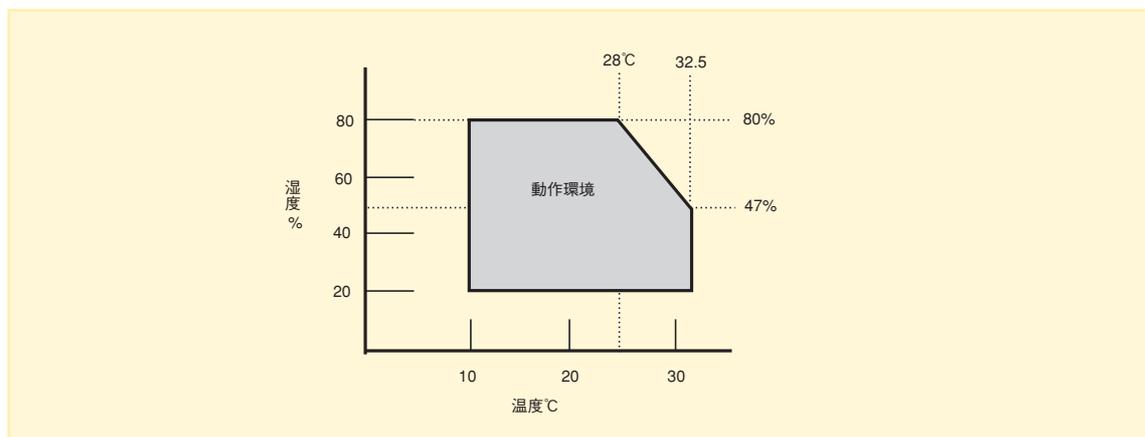
*1 IEEE1284 規格準拠双方向パラレルインターフェース

*2 動作環境詳細 (下図参照)。

*3 電源プラグがコンセントに差し込まれていても、電源スイッチが切れた状態では電力の消費はありません。

*4 最大値は瞬間的ピークを除いた値です。また、同系列の電源に入力条件が厳しい機器を接続する場合は、NEC フィールドディング (株) にご相談ください。

*5 30万ページごとに定期的交換部品の交換が必要です。



用紙の規格

用紙の種類	寸法	坪量	表面電気抵抗	その他
片面印刷時				
普通紙 (乾式PPC用紙)	A3判 (297×420mm) A4判 (210×297mm) A5判 (148×210mm) B4判 (257×364mm) B5判 (182×257mm)	ホッパー、大容量ホッパー給紙：64～128g/m ² (連量*55～110kg) トレー給紙：64～128g/m ² (連量*55～110kg)	1×10 ⁹ ～1×10 ¹² Ω	—
厚紙	レターサイズ (約216×約280mm) 定形外用紙 トレー用 (100～297×148～431.8mm) 定形外ホッパー2、3、4用 (148～297×182～431.8mm)	ホッパー、大容量ホッパー給紙：129～150g/m ² (連量*110～129kg) トレー給紙：129～197g/m ² (連量*110～170kg)		
はがき	官製はがき (100×148mm) 官製往復はがき (200×148mm)	トレー給紙：157g/m ² (連量*135kg)	—	官製はがき、往復はがきとも縦置きです。
OHPフィルム	A4判 (210×297mm)	厚さ：0.1mm±0.025mm (100μm±25μm)	—	ホッパー2～5、およびトレーからの給紙ができます。 用紙種別はOHPを選択してください。
ラベル紙	A4判 (210×297mm) B4判 (257×364mm)	—	—	ホッパー2～5、およびトレーからの給紙ができます。 用紙種別はラベル紙を選択してください。
両面印刷時				
普通紙 (乾式PPC用紙)	A3判 (297×420mm) A4判 (210×297mm) A5判 (148×210mm)	ホッパー、大容量ホッパー給紙：64～128g/m ² (連量*55～110kg)	1×10 ⁹ ～1×10 ¹² Ω	用紙種別は64～128g/m ² を選択してください。
厚紙	B4判 (257×364mm) B5判 (182×257mm) 定形外用紙	ホッパー、大容量ホッパー給紙：129～150g/m ² (連量*110～129kg)		

* 連量とは、用紙788×1091mm (四六判) のサイズの用紙1000枚あたりの重さを示します。

チェック

一般的に使用されている連量55kg相当の用紙に関して弊社で推奨している紙質特性を以下に示します。用紙メーカーに用紙を発注するときは下記の値を参照ください。

- 坪量 64～67g/m² (JIS P8124)
- 紙厚 0.085～0.092mm (JIS P8118)
- 平滑度 25～50sec (JIS P8119)
- 剛度 60cm³/100以上 (クラーク式：JIS P8143)
- 表面電気抵抗 1×10⁹～1×10¹²Ω

文字の種類

内蔵文字の種類

表中の「○」は、各書体においてその文字の種類が内蔵されていることを示します。

1バイト系文字

文字の種類	標準/クーリエ/ゴシック/イタリック
英数字・記号 96種 (スペース、0を含む)	○
カタカナ・記号 63種	○
ひらがな 55種	○
CGグラフィック 56種	○
各国文字 15種	○

2バイト系文字

JIS C6226-1978 準拠*

文字の種類	明朝体 アウトライン	ゴシック体 アウトライン
記号 96種 (スペースを含む)	○	○
英数字 62種	○	○
ひらがな 83種	○	○
カタカナ 86種	○	○
ギリシャ文字 48種	○	○
ロシア文字 66種	○	○
半角文字 212種 (スペースを含む)	○	○
JIS第一水準漢字 2965種	○	○
JIS第二水準漢字 3384種	○	○

* JIS X0208-1983, JIS-X0208-1990への切り替え可能

文字間隔

文字種	文字サイズ	文字間隔 (インチ)
1バイト系文字	パイカ	1/10
	エリート	1/12
	コンデンス	約1/17
	プロポーショナル	約1/27~1/10
2バイト系文字	7ポイント *1	1/10
	10.5ポイント *2	約1/6.66
	12ポイント	1/6

*1 正確には7.2ポイントです。

*2 正確には10.8ポイントです。

文字構成

1バイト系文字

文字種			ドット構成 (ボディフェース) <縦 × 横> (ドット)	文字寸法 (ボディフェース) <縦 × 横> (mm)	
1バイト系文字	標準	英数字 記号 カタカナ ひらがな	パイカ	56×40	3.39×2.54
			エリート	45×34	2.82×2.12
			コンデンス	32×24	1.98×1.48
			プロポーショナル	54×A*	3.39×B*
		CGグラフィック	パイカ	54×40	3.39×2.54
			エリート	45×34	2.82×2.12
			コンデンス	32×24	1.98×1.48
			プロポーショナル	54×40	3.39×2.54
	スクリプト	英数字 記号 カタカナ ひらがな	パイカ	27×40	1.69×2.54
			エリート	23×34	1.41×2.12
			コンデンス	16×24	0.99×1.48
			プロポーショナル	27×A*	1.69×B*
		CGグラフィック	パイカ	27×40	1.69×2.54
			エリート	23×34	1.41×2.12
			コンデンス	16×24	0.99×1.48
			プロポーショナル	27×40	1.69×2.54

* プロポーショナルの横のサイズは文字ごとに異なります。A : 23~55ドット (600dpi)、B : 0.95~2.33mm

2バイト系文字、グラフィック

文字種			ドット構成 (ボディフェース) <縦 × 横> (ドット)	文字寸法 (ボディフェース) <縦 × 横> (mm)
2バイト系文字	7ポイント	全角	60×60	2.54×2.54
		半角	60×30	2.54×1.27
	10.5ポイント	全角	90×90	3.81×3.81
		半角	90×45	3.81×1.91
	12ポイント	全角	100×100	4.23×4.23
		半角	100×50	4.23×2.12
ドット列印刷	40ドット	100×n	4.23×m	

文字コード表

MultiWriter 6600は、1バイト系コードと2バイト系コードを使用することができます。
 1バイト系コードは、メモリスイッチ1-1~1-3を切り替えることによりアメリカ、イギリス、ドイツ、スウェーデン、日本の各国特殊文字が入ったコードにすることができます。工場設定は「日本」になっています。
 2バイト系コードは、半角文字、JIS第一水準の漢字や記号など、およびJIS第二水準の漢字を印刷するときに使用できます。半角文字とは全角（普通の漢字）の半分の横幅の文字で、英字、数字、記号、カナなどがあります。

1バイト系コード表

カタカナモード

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
00					EOT					HT	LF	VT	FF	CR		
10		DC1	DC2	DC3	DC4					EM		ESC	FS	GS	RS	US
20	SP	!	"	注1	注2	%	&	'	()	*	+	,	-	.	/	
30	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
40	注3	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
50	注4	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	注5	注6	注7	-
60	注8	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
70		p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	注9	注10	注11	注12
80	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+
90	△	▽	□	◇	○	×	◎	◇	○	×	◎	◇	○	×	◎	◇
A0		.	「	」	.	フ	ア	イ	ウ	エ	オ	ヤ	ユ	ヨ	ッ	
B0	-	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ
C0	タ	チ	ツ	テ	ト	ナ	ニ	ヌ	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	マ	
D0	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ユ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ン	°	
E0	=	≠	≠	≠	≠	≠	≠	≠	≠	≠	≠	≠	≠	≠	≠	≠
F0	×	円	年	月	日	時	分	秒								

ひらがなモード

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
00					EOT					HT	LF	VT	FF	CR		
10		DC1	DC2	DC3	DC4					EM		ESC	FS	GS	RS	US
20	SP	!	"	注1	注2	%	&	'	()	*	+	,	-	.	/	
30	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
40	注3	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
50	注4	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	注5	注6	注7	-
60	注8	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
70		p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	注9	注10	注11	注12
80	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+
90	△	▽	□	◇	○	×	◎	◇	○	×	◎	◇	○	×	◎	◇
A0		.	「	」	.	を	あ	い	う	え	お	や	ゆ	よ	っ	
B0	-	あ	い	う	え	お	か	き	く	け	こ	さ	し	す	せ	そ
C0	た	ち	つ	て	と	な	に	ぬ	ね	の	は	ひ	ふ	へ	ほ	ま
D0	み	む	め	も	や	ゆ	よ	ら	り	る	れ	ろ	わ	ん	°	
E0	=	≠	≠	≠	≠	≠	≠	≠	≠	≠	≠	≠	≠	≠	≠	≠
F0	×	円	年	月	日	時	分	秒								

注1~12 各国特殊文字が入ります（メモリスイッチ1-1~1-3で切り替えます。）
 注13 8、9、E、F行はCGグラフィックを表します。
 注14 A~D行はひらがなモード（ESC \$で指定）の場合はひらがな文字、カタカナモード（ESC \$で指定）の場合はカタカナ文字になります。
 注15 0、1行は制御コードです。
 注16 0、1行の空欄は無視されます。2~F行の空欄はスペース（SP）として処理されます。
 注17 3行、0列の「0」の印刷字体はメモリスイッチ2-1により「0」に変更できます。

国別相違点

注 No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
コード	23	24	40	5B	5C	5D	5E	60	7B	7C	7D	7E
日本	#	\$	@	[¥]	^	`	{		}	~
アメリカ	#	\$	@	[\]	^	`	{		}	~
イギリス	£	\$	@	[\]	^	`	{		}	~
ドイツ	#	\$	\$	Ä	Ö	Ü	^	`	ä	ö	ü	ß
スウェーデン	#	¤	É	Ä	Ö	Å	U	é	ä	ö	å	ü

2バイト系コード表

半角文字

- コードは16進で表現されます。例えば、“J”のコードは0040+A=004Aとなります。
- 0020は漢字文字幅の半分のスペース（SP）です。

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0020	!	"	#	\$	%	&	'	()	*	+	,	-	.	/	
0030	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
0040	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
0050	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[¥]	^	_
0060	`	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
0070	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{		}	~	
0080	。	「	」	、	・	を	あ	い	う	え	お	や	ゆ	よ	っ	
0090	ー	あ	い	う	え	お	か	き	く	け	こ	さ	し	す	せ	そ
00A0	。	「	」	、	・	ヲ	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	ク	ケ	コ	ソ
00B0	ー	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ
00C0	タ	チ	ツ	テ	ト	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	マ
00D0	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ユ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ン	。	
00E0	た	ち	つ	て	と	な	に	ぬ	ね	の	は	ひ	ふ	へ	ほ	ま
00F0	み	む	め	も	や	ゆ	よ	ら	り	る	れ	ろ	わ	ん	。	

全角文字

- このコード表は、JIS 1978年版に準拠しています。（本プリンターでは、制御コードによってコード表をJIS 1983年版およびJIS 1990年版に切り替えることもできます。）ただし、デザイン処理などの都合により、一部字形の異なる文字があります。
- コードは16進で表現されます。例えば、“亜”のコードは3020+1=3021となります。
- 2121は漢字文字幅のスペース（SP）です。

漢字コード表

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
2120																
2130																
2140																
2150																
2160																
2170																
2220																
2230																
2240																
2250																
2260																
2270																
2320																
2330	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9						
2340	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	
2350	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z					
2360	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	
2370	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z					
2420	あ	い	う	え	お	か	き	く								
2430	く	け	こ	ご	さ	し	じ	ず	せ	ぜ	そ	た				
2440	だ	ち	お	つ	づ	て	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は		
2450	ば	び	び	び	ふ	ぶ	へ	べ	ほ	ぼ	ま	み				
2460	む	め	も	や	ゆ	よ	よ	ら	り	る	れ	ろ	わ			
2470	ゐ	ゑ	を	ん												
2520	ァ	アイ	イ	ウ	エ	エ	オ	カ	ガ	キ	ク					
2530	グ	ケ	コ	ゴ	サ	シ	ジ	ズ	セ	ゼ	ソ	タ				
2540	ダ	チ	ッ	ツ	テ	デ	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ノ	ハ			
2550	バ	ビ	ブ	ピ	フ	ブ	ヘ	ベ	ホ	ボ	マ	ミ				
2560	ム	モ	ヤ	ユ	ヨ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ				
2570	キ	エ	ヲ	ン	ヅ	カ	ケ									
2620	A	B	Γ	Δ	E	Z	H	Θ	I	K	Λ	M	N	Ξ	O	
2630	Π	Ρ	Σ	T	Υ	Φ	X	Ψ	Ω							
2640	α	β	γ	δ	ε	ζ	η	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	
2650	π	ρ	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω							
2660																
2670																
2720	A	B	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З	И	Й	К	Л	М	Н	
2730	О	П	Р	С	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы	Ь	Э
2740	Ю	Я														
2750	a	b	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З	И	Й	К	Л	М	Н	
2760	о	п	р	с	т	у	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
2770	ю	я														

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
3020	亜	啞	娃	阿	哀	愛	挨	始	逢	葵	茜	穉	惡	握	渥	
3030	旭	葦	芦	鱗	粹	庄	幹	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾	鮎	或
3040	粟	裕	安	庵	按	暗	案	闇	鞍	杏	以	伊	位	依	偉	困
3050	夷	委	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異	移	維	緯	胃
3060	萎	衣	謂	違	遺	医	井	亥	域	育	郁	磯	一	老	溢	逸
3070	稻	茨	芋	鱗	允	印	咽	員	因	姻	引	飲	淫	胤	蔭	
3120	院	陰	隱	韻	吋	右	宇	烏	羽	迂	雨	卯	鶉	窺	丑	
3130	確	白	渦	嘘	唄	鬱	蔚	鰻	姥	既	浦	瓜	閨	噂	云	運
3140	雲	荏	餌	靛	營	嬰	影	映	曳	榮	永	泳	洩	瑛	盈	穎
3150	穎	英	衛	詠	銳	液	疫	益	馱	悅	謁	越	閱	榎	厭	円
3160	園	堰	奄	宴	延	怨	掩	援	沿	演	炎	焰	煙	燕	猿	縁
3170	艶	苑	園	遠	鉛	鴛	塩	於	汚	甥	凹	央	奧	往	応	
3220	押	旺	橫	歐	段	王	翁	襖	鶯	鷗	黃	岡	沖	荻	億	
3230	屋	憶	臆	桶	牡	乙	俺	卸	恩	温	穩	音	下	化	仮	何
3240	伽	伽	佳	加	可	嘉	夏	嫁	家	寡	科	暇	果	架	歌	河
3250	火	珂	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓	蝦	課	嘩	貨
3260	迦	過	霞	蚊	俄	峨	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
3270	介	会	解	回	塊	壞	廻	快	怪	悔	恢	懷	戒	拐	改	
3320	魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥	蟹	開	階	貝	凱	劾	
3330	外	咳	害	崖	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	湮	馨	蛙
3340	垣	柿	蠣	鈎	劃	嚇	各	廓	擴	攪	格	核	殼	獲	確	穫
3350	覺	角	赫	較	郭	闊	隔	革	學	岳	樂	額	額	掛	笠	擗
3360	櫃	梶	鯀	瀉	割	喝	恰	括	活	渴	滑	葛	褐	轄	且	鏗
3370	叶	柁	樺	鮑	株	兜	龜	蒲	釜	鎌	嚙	鴨	栢	茅	萱	
3420	粥	刈	刈	瓦	乾	侃	冠	寒	刊	勸	勸	卷	喚	堪	姦	
3430	完	官	寬	干	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺	款	歎
3440	汗	漢	澗	灌	環	甘	監	看	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	鑑
3450	莞	觀	諫	貫	還	鑑	間	閑	閑	陷	韓	館	館	丸	含	岸
3460	巖	玩	癌	眼	岩	翫	贗	雁	頑	顏	願	企	伎	危	喜	器
3470	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机	旗	既	期	棋	棄	
3520	機	婦	毅	氣	汽	畿	祈	季	稀	紀	微	規	記	貴	起	
3530	軌	輝	飢	騎	鬼	龜	偽	儀	妓	宜	戲	技	擬	欺	儀	疑
3540	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵
3550	黍	却	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸	宮	弓	急	救
3560	朽	求	汲	泣	灸	球	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
3570	巨	拒	拠	拳	渠	虛	許	距	鋸	漁	禦	魚	亨	亨	京	
3620	供	俠	僑	兇	競	共	凶	協	匡	卿	叫	喬	境	峽	強	
3630	疆	怯	恐	恭	挾	教	橋	況	狂	狹	矯	胸	脅	興	蕎	郷
3640	鏡	響	饗	驚	仰	凝	堯	曉	業	局	曲	極	玉	桐	籽	僅
3650	勤	均	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊	芹	菌	衿	襟
3660	謹	近	金	吟	銀	九	俱	句	区	狗	玖	矩	苦	驅	駟	
3670	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅	串	櫛	釧	屑	屈	
3720	掘	窟	杏	靴	轡	窪	熊	隈	衆	栗	綠	桑	歛	勲	君	
3730	薰	訓	群	軍	郡	卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭	珪	型
3740	契	形	徑	惠	慶	慧	憩	揭	携	敬	景	桂	溪	畦	稽	系
3750	經	繼	繫	野	莖	荆	並	計	詣	警	輕	頸	鷄	芸	迎	鯨
3760	劇	戲	擊	激	際	桁	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
3770	儉	倦	健	兼	券	劍	喧	圈	堅	嫌	建	憲	懸	拳	捲	

漢字コード表 (続き)

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
3820	檢	樵	牽	犬	猷	研	硯	絹	鼎	肩	見	謙	賢	軒	遣	
3830	鍵	險	頭	驗	輪	元	原	敵	幻	弦	減	源	玄	現	絃	絃
3840	言	諺	限	乎	個	古	呼	固	姑	孤	己	庫	孤	戸	故	枯
3850	湖	狐	糊	袴	股	胡	狐	虎	誇	跨	鈔	雇	顧	鼓	五	互
3860	伍	午	吳	吾	娛	後	御	悟	梧	檣	瑚	碁	語	誤	護	翹
3870	乞	鯉	交	佼	侯	候	倅	光	公	功	効	勾	厚	口	向	
3920		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工	巧	巷	幸	庑	庚	康
3930	弘	恒	慌	抗	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構	江	洪
3940	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠	紅	絃	絞	綱	耕	考	肯	肱
3950	腔	膏	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉦	礦	鋼	閤	降
3960	項	香	高	鴻	剛	劫	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麴	克	刻
3970	告	国	穀	酷	鵠	黑	獄	漉	腰	甌	忽	惚	骨	狷	达	
3A20	此	頃	今	困	坤	壘	婚	恨	懇	昏	昆	根	梱	混	痕	
3A30	紺	良	魂	些	佐	又	唆	嵯	左	差	查	沙	嗟	砂	詐	鎖
3A40	裝	坐	座	挫	債	催	再	祭	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽
3A50	歲	濟	災	牙	犀	碎	碧	祭	齋	細	菜	裁	載	際	劑	
3A60	材	罪	財	坂	阪	界	索	看	咲	崎	崎	崎	鷺	作	削	
3A70	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜	鮭	笹	匙	冊	刷	
3B20		察	抄	撮	擦	札	殺	薩	雜	阜	鯖	捌	鑄	鉸	皿	晒
3B30	三	傘	參	山	慘	撤	什	棧	燦	珊	産	算	纂	蚕	讚	贊
3B40	酸	餐	斬	暫	戕	仕	仔	司	使	刺	司	史	嗣	四	士	始
3B50	姉	姿	孀	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯	施	旨	枝	止
3B60	死	氏	獅	社	私	糸	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
3B70	諮	資	賜	雌	飼	齒	事	似	侍	兒	字	慈	持	時		
3C20	次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而	耳	自	時	辭	汐	鹿	
3C30	式	識	鳴	竺	軸	穴	零	七	叱	執	失	嫉	室	悉	湿	漆
3C40	疾	質	實	蔀	篠	偲	柴	芝	屢	藥	縞	舍	写	射	捨	赦
3C50	斜	煮	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺	尺	杓	灼	爵
3C60	酌	积	錫	紗	寂	弱	惹	主	取	守	手	殊	狩	殊	種	
3C70	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹	綬	需	囚	収	周	
3D20	宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋	終	繡	習	臭	舟	蒐	
3D30	衆	龔	警	蹴	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十	從	戎
3D40	柔	汁	波	獸	縱	重	銃	叔	夙	宿	淑	祝	縮	肅	塾	熟
3D50	出	術	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循	旬	楯	殉	淳
3D60	準	潤	盾	純	巡	遵	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
3D70	署	書	薯	薯	諸	助	叙	女	序	徐	恕	鋤	除	傷	償	
3E20	勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	獎	妾	娼	宵	將	小	少	
3E30	尚	庄	床	廠	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶	松	梢
3E40	樟	樵	沼	消	涉	湘	燒	焦	照	症	省	硝	礁	祥	称	章
3E50	笑	粧	紹	肖	菖	蔣	焦	衝	裳	訟	証	詔	詳	象	賞	醬
3E60	鉦	鐘	鐘	障	翰	上	丈	丞	乘	冗	剩	城	場	壤	孃	常
3E70	情	擾	桑	杖	淨	狀	暈	穰	蒸	讓	釀	錠	囑	埴	飾	
3F20	拭	植	殖	燭	織	職	色	觸	食	蝕	辱	尻	伸	信	侵	
3F30	唇	娠	寢	審	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申	疹	真
3F40	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診	身	辛	進	針	震	人	仁	刃
3F50	塵	壬	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	韌	筈	諷	須	醉	錘	隨
3F60	逗	吹	垂	帥	推	水	炊	睡	粹	翠	衰	遂	醉	錘	錘	隨
3F70	瑞	髓	崇	嵩	数	枢	趨	離	据	杉	相	菅	頗	雀	裾	

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
4020	澄	摺	寸	世	瀨	畝	是	凄	制	勢	姓	征	性	成	政	
4030	整	星	晴	棲	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製	西	誠
4040	誓	請	逝	醒	青	静	齐	稅	脆	隻	席	借	戚	斥	昔	析
4050	石	積	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙	接	攝	折	設
4060	窃	節	說	雪	絶	舌	蟬	仙	先	千	占	宣	專	尖	川	戰
4070	扇	撰	栓	柁	泉	浅	洗	染	潜	煎	煽	旋	穿	箭	線	
4120		織	羨	腺	舛	船	薦	詮	賤	踐	選	遷	錢	銑	閃	鮮
4130	前	善	漸	然	全	禪	繕	膳	糗	噲	塑	岨	措	曾	曾	楚
4140	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創
4150	双	叢	倉	喪	壯	奏	爽	宋	層	匝	忽	想	搜	掃	挿	擡
4160	操	早	曹	巢	槍	槽	漕	燥	争	瘦	相	窓	槽	綜	綜	聡
4170	草	莊	葬	蒼	藻	裝	走	送	遭	鎗	霜	騷	像	增	憎	
4220		臟	藏	贈	造	促	側	則	即	息	捉	束	測	足	速	俗
4230	属	賊	族	統	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜	他	多
4240	太	汰	訖	唾	墮	妥	惰	打	柁	舵	惰	陀	馱	驛	体	堆
4250	对	耐	岱	帶	待	怠	態	戴	替	泰	滯	胎	腿	苔	袋	貸
4260	退	逮	隊	黛	鯛	代	台	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄	
4270	宅	托	挾	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁	諾	茸	凧	蛸	只	
4320		叩	但	達	辰	奪	脱	異	豎	迪	棚	谷	狸	鱈	樽	誰
4330	丹	单	嘆	坦	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	筭	綻	耽
4340	胆	蛋	誕	鍛	团	壇	彈	斷	暖	檀	段	男	談	值	知	地
4350	弛	恥	智	池	痴	稚	置	致	蜘蛛	遲	馳	築	畜	竹	筑	蓄
4360	逐	秩	窒	茶	嫡	着	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
4370	註	耐	鈔	駐	樗	豬	仲	著	貯	丁	兆	凋	喋			
4420		帖	帳	庁	弔	張	彫	徵	懲	挑	暢	朝	潮	牒	町	眺
4430	聰	脹	腸	蝶	調	諜	超	跳	鈔	長	頂	鳥	勅	抄	直	朕
4440	沈	珍	賃	鎮	陳	津	墜	椎	槌	追	鎚	痛	通	塚	瓜	擱
4450	槻	佃	漬	柘	辻	鳶	綴	鈎	椿	潰	坪	壺	媼	紬	吊	弟
4460	釣	鶴	亭	低	停	偵	刺	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
4470	悌	抵	挺	提	梯	汀	錠	擢	程	締	艇	訂	諦	蹄	通	
4520	邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴	的	笛	適	鎬	溺	顛	
4530	徹	撤	徹	迭	鉄	典	填	展	店	添	纏	甜	貼	軫	顛	
4540	点	伝	殿	殿	田	電	兎	吐	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡
4550	登	菟	賭	途	都	鍍	低	礪	努	度	土	奴	怒	倒	党	冬
4560	凍	刀	唐	塔	塘	套	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	棣	
4570	盜	淘	湯	濤	灯	燈	当	踰	禱	等	答	筒	糖	統	到	
4620	董	蕩	藤	討	騰	豆	踏	逃	童	洞	瞳	童	銅	謁	匿	
4630	動	同	堂	導	懂	撞	洞	瞳	童	洞	瞳	童	銅	謁	匿	
4640	得	德	漬	特	督	禿	篤	毒	獨	誦	朽	椽	凸	突	殿	屆
4650	鳶	苦	寅	酉	滯	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁	頓	吞	曇	鈍
4660	奈	那	内	乍	胤	雍	謎	灘	捺	鍋	檣	馴	繩	暇	南	楠
4670	軟	難	汝	二	尼	忒	邇	句	賑	肉	虹	甘	日	乳	入	
4720		如	尿	菲	任	妊	忍	認	濡	襪	祢	寧	葱	猫	熱	年
4730	念	捻	燃	燃	粘	乃	迺	之	塗	囊	惱	濃	納	能	腦	膿
4740	農	覲	蚤	巴	把	播	霸	把	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬
4750	俳	廢	拜	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配	倍	培	媒	梅
4760	煤	煤	狼	買	壳	賠	陪	這	蠅	秤	矧	萩	伯	剝	博	拍
4770	柏	泊	白	箔	柏	泊	薄	迫	曝	漠	爆	縛	莫	駁	麥	

漢字コード表 (続き)

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
4820	函	箱	碇	箸	筆	箸	櫛	幡	肌	畑	畠	八	鉢	潑	発	
4830	鬢	髮	伐	罰	拔	筏	閥	鳩	嘶	塙	蛤	隼	伴	判	半	反
4840	叛	帆	搬	斑	板	汜	汎	版	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範
4850	采	煩	頒	飯	挽	晚	番	盤	磐	蕃	蠻	匪	卑	否	妃	庇
4860	彼	悲	扉	批	披	斐	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
4870	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微	枇	毘	毳	眉	美	
4920	鼻	柁	稗	匹	疋	髭	彥	膝	菱	肘	弼	必	畢	筆	逼	
4930	槍	姬	媛	紐	百	謬	依	彪	標	水	漂	瓢	票	表	評	豹
4940	廟	描	秒	秒	苗	鏞	蒜	蛭	鱗	品	彬	斌	浜	瀕	貧	
4950	寶	類	敏	瓶	不	付	埠	夫	婦	富	富	布	府	怖	扶	敷
4960	斧	普	浮	符	腐	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫	
4970	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葦	蔭	伏	副	復	幅	服	
4A20	福	腹	複	覆	淵	弗	弘	沸	仏	物	鮪	分	吻	噴	墳	
4A30	憤	扮	扮	奮	粉	糞	紛	雰	文	聞	丙	併	兵	弊	幣	平
4A40	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁	僻	壁	癖	碧	別	警	蔑	篋
4A50	偏	變	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	媵	弁	鞭	保	舖	鋪
4A60	圃	捕	步	甫	補	輔	穗	募	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣	
4A70	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖	抱	捧	放	方	朋	
4B20	法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬	蜂	喪	訪	豐	邦	鋒	
4B30	飽	鳳	鵬	乏	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴	望	某
4B40	棒	冒	紡	紡	膨	謀	貌	貿	鉞	防	吠	頰	北	僕	卜	墨
4B50	撲	朴	牧	睦	穆	鉤	勃	沒	殆	堀	幌	奔	本	翻	凡	盆
4B60	摩	磨	魔	麻	埋	妹	味	枚	每	哩	禎	幕	膜	枕	鮪	枉
4B70	鱒	樹	亦	僕	又	抹	末	沫	迄	儘	繭	磨	万	慢	滿	
4C20	漫	蔓	味	未	魅	巳	箕	岬	密	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	
4C30	耗	民	眠	務	夢	無	牟	矛	霧	鷓	掠	婿	娘	冥	名	命
4C40	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅	免	棉	綿	緬	面	麵	摸	模
4C50	茂	妄	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	默	目	李	勿	餅
4C60	尤	戾	刼	貫	問	悶	紋	門	奴	也	治	夜	爺	耶	野	弥
4C70	矢	厄	役	約	業	訛	躍	靖	柳	藪	鍵	愉	愈	油	癒	
4D20	論	輪	唯	佑	優	勇	友	有	幽	悠	憂	揖	有	柚	湧	
4D30	涌	猶	猷	由	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	予	余	与
4D40	營	輿	預	傭	幼	妖	容	庸	揚	搖	擁	曜	楊	樣	洋	裕
4D50	熔	用	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謠	踊	遙	陽	養	慾	抑	欲
4D60	沃	浴	翌	翼	淀	羅	螺	裸	來	萊	賴	雷	洛	絡	落	酪
4D70	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覽	利	吏	履	李	梨	理	璃	
4E20	痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立	莅	掠	略	劉	流	溜	
4E30	琉	留	硫	粒	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚	兩	凌
4E40	寮	料	梁	涼	獠	療	瞭	稜	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力
4E50	綠	倫	厘	林	淋	麟	琳	臨	輪	隣	鱗	麟	瑠	壘	淚	累
4E60	類	令	伶	例	冷	勵	嶺	伶	玲	礼	苓	鈴	隸	零	靈	麗
4E70	齡	曆	歷	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐	鍊	煉	簾	練	聯	
4F20	蓮	連	鍊	呂	魯	櫓	炉	路	路	露	勞	婁	廊	弄	朗	
4F30	樓	榔	浪	漏	牢	狼	籠	老	壘	蠟	郎	六	麓	祿	肋	録
4F40	論	倭	和	話	歪	賄	脇	惑	粹	鷲	互	亘	鱈	詔	藪	
4F50	碗	灣	碗	腕												
4F60																
4F70																

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
5020	式	丐	丕	个	卍	、	井	丿	乂	乖	乘	亂	丿	豫	爭	
5030	舒	式	于	亞	亟	一	亢	京	毫	亶	从	仍	仄	仆	仇	仗
5040	仍	伋	仵	价	伉	佚	估	佛	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻
5050	佩	佰	侑	伴	來	侖	俛	俛	俛	俛	俛	俛	侑	俛	俛	侑
5060	俚	倚	倨	偃	倪	倥	倥	倥	倥	倥	倥	倥	倥	倥	倥	倥
5070	偃	假	會	偕	修	偈	做	偕	偕	偕	偕	偕	偕	偕	偕	偕
5120	僉	僇	僇	僇	僇	僇	僇	僇	僇	僇	僇	僇	僇	僇	僇	僇
5130	僇	僇	僇	僇	僇	僇	僇	僇	僇	僇	僇	僇	僇	僇	僇	僇
5140	兩	兪	兮	冀	冂	回	册	冉	冂	冂	冂	冂	冂	冂	冂	冂
5150	寫	寫	寫	寫	寫	寫	寫	寫	寫	寫	寫	寫	寫	寫	寫	寫
5160	鳳	口	函	刃	刊	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂
5170	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂
5220	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸
5230	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸
5240	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸
5250	厥	厥	厥	厥	厥	厥	厥	厥	厥	厥	厥	厥	厥	厥	厥	厥
5260	呀	听	吭	吼	吮	呐	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呖	呱	呷	咎
5270	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	訶	咸	啞	咬	哄	哈	杏	
5320	呖	晒	吃	吃	吃	吃	吃	吃	吃	吃	吃	吃	吃	吃	吃	吃
5330	呖	晒	吃	吃	吃	吃	吃	吃	吃	吃	吃	吃	吃	吃	吃	吃
5340	哨	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞
5350	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞
5360	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫
5370	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫
5420	囿	國	圍	圍	圍	圍	圍	圍	圍	圍	圍	圍	圍	圍	圍	圍
5430	坵	垂	垠	坡	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵
5440	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵
5450	墅	壩	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟
5460	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘
5470	天	卒	夸	夾	奇	突	奕	奕	奕	奕	奕	奕	奕	奕	奕	奕
5520	姪	奸	妲	妝	佞	佞	妲	妲	妲	妲	妲	妲	妲	妲	妲	妲
5530	娑	娜	娉	娉	娉	娉	娉	娉	娉	娉	娉	娉	娉	娉	娉	娉
5540	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽
5550	孃	孃	孃	孃	孃	孃	孃	孃	孃	孃	孃	孃	孃	孃	孃	孃
5560	它	宀	宸	宀	宀	宀	宀	宀	宀	宀	宀	宀	宀	宀	宀	宀
5570	寶	尅	尅	尅	尅	尅	尅	尅	尅	尅	尅	尅	尅	尅	尅	尅
5620	屐	屐	屐	屐	屐	屐	屐	屐	屐	屐	屐	屐	屐	屐	屐	屐
5630	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬
5640	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬
5650	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺
5660	巫	已	卮	帀	帀	帀	帀	帀	帀	帀	帀	帀	帀	帀	帀	帀
5670	幟	幢	幣	幫	汗	并	么	麼	广	庠	劇	廂	厦	廐	廐	
5720	廖	廣	廐	廐	廐	廐	廐	廐	廐	廐	廐	廐	廐	廐	廐	廐
5730	升	弃	井	彝	彝	弋	弋	弋	弋	弋	弋	弋	弋	弋	弋	弋
5740	互	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖
5750	徙	徙	徙	徙	徙	徙	徙	徙	徙	徙	徙	徙	徙	徙	徙	徙
5760	怙	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠
5770	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠	恠

印刷範囲

定形用紙

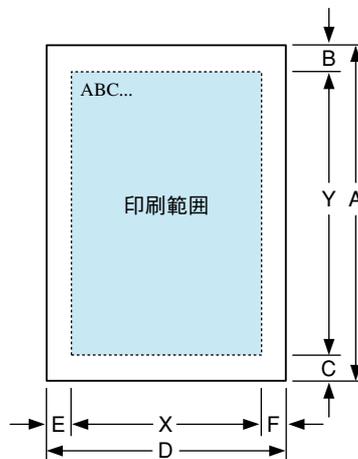
以下に示す印刷範囲は、理論印刷範囲を表しています。実際の印刷範囲と使用環境は、プリンターの設定により多少異なる場合があります。



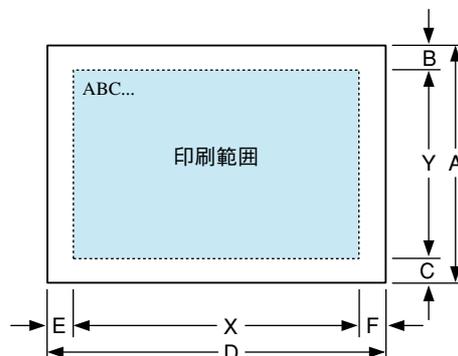
チェック

添付のプリンタードライバーを使用した場合、プリンタードライバーの機能により余白量をすべて約5mmに設定できます。

- ポートレート



- ランドスケープ



MS-DOS環境

以下の印刷範囲はプリンタードライバーのプロパティダイアログボックスで「従来互換の印刷範囲を使用する」をチェックしたときの値です。

- ポートレート

データ	用紙	A (用紙長)	B (上余白)	C (下余白)	Y (印刷範囲)		D (用紙幅)	E (左余白)	F (右余白)	X (印刷範囲)		
		mm	mm	mm	ドット* ¹	行* ²	mm	mm	mm	ドット* ¹	文字* ³	文字* ⁴
A3	A3	420	5.00	6.06	9660	96	297	5.00	4.98	6780	113	75
	B4	364	17.28	5.94	9660	96	257	10.12	7.70	6780	113	75
	A4	297	19.39	4.98	9660	96	210	14.77	3.88	6780	113	75
B4	A3	420	10.29	6.17	8340	83	297	13.47	7.73	5700	95	63
	B4	364	5.00	5.94	8340	83	257	8.00	7.70	5700	95	63
	A4(2/3)	297	30.82	30.80	8340	83	210	26.84	22.30	5700	95	63
	A4(4/5)	297	9.55	4.98	8340	83	210	10.75	6.21	5700	95	63
	B5	257	10.50	11.12	8340	83	182	12.66	8.48	5700	95	63
A4	A3	420	5.00	13.15	6780	67	297	7.12	12.49	4680	78	52
	B4	364	5.00	14.51	6780	67	257	8.11	11.09	4680	78	52
	A4	297	5.00	4.98	6780	67	210	8.00	3.88	4680	78	52
	B5	257	8.60	9.22	6780	67	182	10.54	6.36	4680	78	52
A4×2	A4	297	21.93	4.98	9570	-	210	14.77	3.88	6780	-	-
A4 (80)	A3	420	5.00	13.15	6780	67	297	7.12	5.40	4800	80	53
	B4	364	5.00	14.51	6780	67	257	8.11	5.05	4800	80	53
	A4	297	5.00	4.98	6780	67	210	3.40	3.40	4800	80	53
	B5	257	8.60	9.22	6780	67	182	8.85	3.82	4800	80	53
A4×2 (80)	A4	297	21.93	4.98	9570	-	210	14.77	3.88	6780	-	-
B5	B4	364	11.35	7.63	5820	58	257	13.29	5.37	4020	67	44
	A4	297	9.23	6.14	5820	58	210	10.12	5.36	4020	67	44
	B5	257	5.00	5.62	5820	58	182	8.00	3.82	4020	67	44
B5×2	B5	257	19.39	5.62	8220	-	182	13.93	3.82	5820	-	-
A5	A5	210	5.00	4.34	4740	47	148	8.00	4.11	3210	53	35
帳票	B4	364	35.90	51.66	8160	81	257	25.78	7.70	6600	110	73
	A4	297	30.82	35.88	8160	81	210	19.85	3.88	6600	110	73
ハガキ	ハガキ	148	5.00	3.30	3300	33	100	8.00	5.64	2040	34	22
レター	レター	280	5.00	5.76	6360	63	216	8.00	4.80	4800	80	53
往復ハガキ	往復ハガキ	148	5.00	5.00	3258	32	200	5.00	5.00	4490	70	46

*1 解像度600dpiの場合。

*2 改行ピッチが6LPIの場合。

*3 7.2ポイント、全角のフォント使用時（文字ピッチが10CPIの場合）。

*4 10.8ポイント、全角のフォント使用時。

- ランドスケープ

データ	用紙	A (用紙長)	B (上余白)	C (下余白)	Y (印刷範囲)		D (用紙幅)	E (左余白)	F (右余白)	X (印刷範囲)		
		mm	mm	mm	ドット* ¹	行* ²	mm	mm	mm	ドット* ¹	文字* ³	文字* ⁴
A3	A3	297	4.98	5.00	6780	67	420	5.00	6.06	9660	161	107
	B4	257	9.82	8.00	6780	67	364	9.66	13.56	9660	161	107
	A4	210	10.65	8.00	6780	67	297	19.39	4.98	9660	161	107
B4	A3	297	16.20	5.00	5700	57	420	10.29	14.84	8160	136	90
	B4	257	7.70	8.00	5700	57	364	5.00	13.56	8160	136	90
	A4(2/3)	210	26.74	22.39	5700	57	297	30.82	35.88	8160	136	90
	A4(4/5)	210	8.75	8.21	5700	57	297	9.55	11.01	8160	136	90
	B5	182	8.48	12.66	5700	57	257	13.04	13.66	8160	136	90
A4	A3	297	12.49	7.12	4680	46	420	5.00	13.15	6780	113	75
	B4	257	7.91	11.28	4680	46	364	5.00	14.51	6780	113	75
	A4	210	3.88	8.00	4680	46	297	5.00	4.98	6780	113	75
	B5	182	6.36	10.54	4680	46	257	8.60	9.22	6780	113	75
A4×2	A4	210	10.65	8.00	6780	-	297	18.55	8.37	9570	-	-
A4 (80)	A3	297	12.49	7.12	4680	46	420	5.00	13.15	6780	113	75
	B4	257	7.91	11.28	4680	46	364	5.00	14.51	6780	113	75
	A4	210	3.88	8.00	4680	46	297	5.00	4.98	6780	113	75
	B5	182	6.36	10.54	4680	46	257	8.60	9.22	6780	113	75
A4×2 (80)	A4	210	10.65	8.00	6780	-	297	15.16	4.98	9810	-	-
B5	B4	257	10.66	8.00	4020	40	364	11.35	7.63	5820	97	64
	A4	210	7.48	8.00	4020	40	297	9.23	6.14	5820	97	64
	B5	182	3.82	8.00	4020	40	257	5.00	5.62	5820	97	64
B5×2	B5	182	9.75	8.00	5820	-	257	12.20	12.82	8220	-	-
A5	A5	148	4.11	8.00	3210	32	210	5.00	4.34	4740	79	52
帳票	B4	257	25.48	8.00	6600	66	364	35.90	51.66	8160	136	90
	A4	210	15.73	8.00	6600	66	297	30.82	35.88	8160	136	90
ハガキ	ハガキ	100	5.64	8.00	2040	20	148	5.00	5.84	3240	54	36
レター	レター	216	4.80	8.00	4800	48	280	5.00	5.76	6360	106	70
往復ハガキ	往復ハガキ	200	5.00	5.00	4490	21	148	5.00	5.00	3258	104	72

*1 解像度600dpiの場合。

*2 改行ピッチが6LPIの場合。

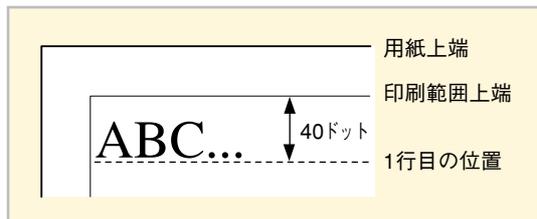
*3 7.2ポイント、全角のフォント使用時（文字ピッチが10CPIの場合）。

*4 10.8ポイント、全角のフォント使用時。

補足説明

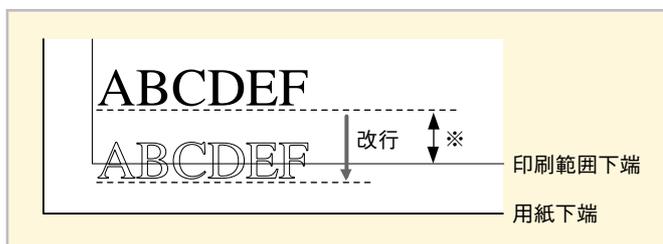
- 余白量（印刷不可領域）は、使用する用紙の寸法差、プリンター個々の用紙走行の精度などの条件により前後する場合があります。

- 行桁モードでは、1行目の位置は240dpi相当で印刷範囲の上から40ドット目（約4.2mm）となります。したがって、40ドットより小さい文字を印刷した場合、上端の余白は上記値よりも大きくなります。600dpiでの40ドットは、 $40 \times 5/2 = 100$ ドットになります。



- 1行目の第一印刷位置に文字を印刷したときは、全点アドレス印刷モードで座標値として（0, 39）（240dpi）を指定したのと同じ位置に印刷されます。
- 文字が小さい場合などでは見かけ上の余白が大きくなります。

- 行桁モードでは、ページの下端付近での改行の結果、次の印刷位置が上記印刷範囲をはみ出してしまう場合には改ページされます。このため改行ピッチの設定によっては印刷範囲下端付近には印刷できない場合があります、その場合の下端余白は上記値よりも大きくなります。



- 最終行が下にはみ出してしまうので、実際には改ページ後に印刷されます。その結果、※の部分には印刷できなくなるので見かけ上の余白が大きくなります。

- 印刷可能桁数、行数は、上記印刷範囲のドット数を文字ピッチあるいは行ピッチで割ることによって算出したものです。
計算に用いる値は右のとおりです。

種別		ドット数	
文字数	1バイト系	パイカ	24ドット
		エリート	20ドット
		コンデンス	14ドット
	2バイト系	7ポイント(1/10インチ)	24ドット
10.5ポイント(3/20インチ)		36ドット	
12ポイント(1/6インチ)		40ドット	
行数	6LPI(1/6インチ)	40ドット	
	8LPI(1/8インチ)	30ドット	

- 値はすべて240dpiでのドット数です。文字数、行数とも、計算はすべて240dpiで行います。
- 2バイト系文字については、カッコ内に示した文字ピッチを使用している場合のドット数を示しています。文字ピッチを変えることにより、印刷可能桁数も変わります。
- 1バイト系、2バイト系文字とも、文字間にスペースを挿入することが可能ですが、この場合も印刷可能桁数は減少します。

定形外用紙

定形外用紙とは、本プリンターでサポートしている定形用紙（A3、A4、A5、B4、B5、レター、はがき、往復はがき）以外の大きさの用紙のことです。この場合の印刷範囲と印刷位置は、使用する用紙の大きさ、プリンター設定に応じてアプリケーションから正しく制御する必要があります。定形外用紙は、メニューのホッパー2～4テイケイガイ設定を「シヨウ」に設定することで印刷可能です。

**チェック**

定形外用紙をセットするときの注意

アプリケーションソフトウェアで任意の用紙サイズを指定できても定形外用紙への印刷が行えないことがあります。

また、対応可能な用紙の厚み（坪量）は、定形紙に比べて扱える範囲が狭くなる場合があります。定形外用紙を使用する場合は、事前に十分な試し印刷をして印刷動作を確認することを強くお勧めいたします。

- 形状が長方形以外の不規則な形状の用紙、裁断角度が直角でない用紙は使用しないでください。
- 紙質、繊維目方向、プレ印刷、ホールパンチ、ミシン目などにより正常に印刷されない場合があります。
- 種類、繊維目方向によっては印刷後大きくカールするものがあります。
- スタックが完全にされない場合があります。この場合はその都度用紙を取り除いてください。

プリンターの設定について

定形外用紙に印刷する場合、ホッパー2～4またはトレーを使用してください。ホッパー2～4で定形外用紙を使用の場合、メニューモードで定形外サイズを設定してください。

**重要**

印刷範囲が定形外用紙内に収まっていない設定のまま印刷を行うと装置内を汚すなど、思わぬ障害の原因となる場合があります。印刷前に十分確認してください。

余白について

印刷品質を保つため、実際に使用する用紙に対して上下左右とも5mm以上の余白ができるように、印刷位置と印刷範囲を設定してください。

**重要**

印刷結果が実際に使用する用紙をはみ出すことのないように注意してください。はみ出した印刷を続けると、思わぬ障害の原因となります。

NPDLの初期状態

次の条件で、プリンターの内部状態は初期状態になります。それぞれの条件下における初期状態については、次の表をご覧ください。

- 電源をONにしたとき
- 操作パネル上でリセットを実行したとき
→未印刷データをすべて消します。
- ソフトウェアリセット (ESC c1) を実行したとき
→印刷フォーマット、ホッパー指定は初期状態になりません。未印刷データは印刷されます。
- INPUT・PRIME信号を受信したとき
→印刷フォーマット、ホッパー指定、およびセレクト/ディセレクトは初期状態になりません。未印刷データは印刷されます。
- パラメーターリセット (ESC c8) を実行したとき
→VFU、印刷フォーマット、ホッパー指定、セレクト/ディセレクト、動作モード、網かけ登録、1バイト文字登録などの登録内容は初期状態になりません。未印刷データは印刷されます。

内部状態		イニシャライズ (初期化) の種類				
		電源ON	操作パネルリセット	ESC c1	INPUT・PRIME	ESC c8
現在位置		第1行第1桁				
レフトマージン幅		メニュー設定に従う (工場設定000)				
ライトマージン幅 (桁数)		A3 : 113桁 A4 : 078 (80桁モード時 080) 桁 A5 : 053桁 B4 : 095桁 B5 : 067桁 レター : 080桁 はがき : 034桁				
水平タブセット		クリア				
VFU	FF長 (桁数)	A3: 96行 A4: 67行 A5: 47行 B4: 83行 B5: 58行 レター : 63行 はがき: 33行				変化せず
	ボトム領域	なし				変化せず
	VTセット (CH2)	A3:第7、13、19、25、31、37、43、49、55、61、67、73、79、85、91行目 A4:第7、13、19、25、31、37、43、49、55、61、67行目 A5:第7、13、19、25、31、37、43行目 B4:第7、13、19、25、31、37、43、49、55、61、67、73、79行目 B5:第7、13、19、25、31、37、43、49、55行目 レター :第7、13、19、25、31、37、43、49、55、61行目 はがき:第7、13、19、25、31行目				変化せず
	VTセット (CH3~CH6)	クリア				変化せず
改行方向		順方向改行				
改行幅		1/6インチ				
セレクト/ディセレクト状態		セレクト状態			変化せずセレクト状態	
受信バッファ		クリア			クリアせず	
ページバッファ		クリア			クリアせず	
未印刷データ		—	クリア	印刷実行		
動作モード		メニュー設定に従う (エミュレーション/ページプリンター)				変化せず
印刷方式		バイカモード				
コード表のシフト状態		カタカナ状態 (8ビットコード)				
1バイト文字フォント		メニュー設定に従う (標準/イタリック/クーリエ/ゴシック)				
漢字書体		メニュー設定に従う (内蔵明朝/内蔵ゴシック)				
漢字	文字サイズ	10.5ポイント				
	文字幅	3/20インチ				
半角	縦書き	解除				
	組文字	解除				
スクリプト文字		解除				

内部状態		イニシャライズ (初期化) の種類			
		電源ON	操作パネルリセット	ESC c1	INPUT・PRIME
倍率指定		縦横とも解除			
修飾印刷		解除			
アンダーライン	指定	解除			
	線種	実線、一重線			
	線幅	2ドット			
網かけ	指定	解除			
	登録	クリア (未登録状態)			クリアせず
白黒反転		解除			
固定ドットスペース		左右とも0ドット			
縦方向文字位置オフセット		0ドット			
1バイト文字登録	パターン	ROMパターン			
	登録	クリア (未登録状態)			クリアせず
2バイト文字登録		クリア (未登録状態)			クリアせず
ドット切り替え		メニュー設定に従う (ネイティブモード/コピーモード)			
印刷フォーマット	印刷方向	ポートレート		変化せず	
	縮小モード	解除		変化せず	
コピー枚数	コード (FSx)	1枚		メニュー設定に従う	
	操作パネル	1枚		変化せず	
座標指定単位		1/240インチ			
描画座標		(X, Y) = (0, 0)			
全点アドレス印刷モード		解除			
フォーム	登録	クリア			クリアせず
	参照	解除			変化せず
図形印刷モード		解除			
グラフ描画モード		絶対描画モード			
プリンター単位		1/240インチ			
線分	線種	実線			
	線幅	1ドット幅			
	線長	P ₁ P ₂ の対角線距離の4%			
	線端タイプ	断切り型			
	接続タイプ	マイター接続			
	選択パターン	黒べた			
	登録パターン	クリア			クリアせず
ペン	座標	(X, Y) = (0, 0)			
	上下位置	アップ状態			
塗り潰しモード		解除			
塗り潰し	選択パターン	パターン番号1			
	登録パターン	クリア (未登録状態)			クリアせず
スケーリングポイント	P1	(X, Y) = (0, 0)			
	P2	各用紙サイズ、印刷フォーマットでの最大印刷位置			
スケーリング		解除			
ウィンドウ領域		各用紙サイズでの最大			
座標系反転		解除			
座標系回転		0度			
論理描画		OR			
バス構築モード		解除			
バスデータ		廃棄			
ホッパー指定		メニュー設定に従う (ホッパー 1 /ホッパー 2/ホッパー 3/ホッパー 4/ホッパー 5/トレイ)		変化せず	
両面印刷		メニュー設定に従う (片面印刷/両面印刷)		変化せず	

テキストモード

コード区分	機能	制御コード	E	P
文字関連制御コード				
■文字セット制御コード	英数モードの設定 (7ビットコード)	SI	○	×
	カタカナモードの設定 (7ビットコード)	SO	○	×
	カタカナモードの設定 (8ビットコード)	ESC \$	○	○
	英数モードの設定 (7ビットコード)	ESC \$	○	×
	ひらがなモードの設定 (8ビットコード)	ESC &	○	○
	ひらがなモードの設定 (7ビットコード)	ESC &	○	×
	CGグラフィックモードの設定 (7ビットコード)	ESC #	○	×
	外字 (24×24ドット) のロード	ESC +	○	×
	外字 (16×16ドット) のロード	ESC *	○	×
	1バイトコード文字のダウンロード	ESC /	○	×
	登録文字のクリア	ESC /0	○	×
	登録文字の印刷	ESC /+	○	×
	プリンター内蔵文字の印刷	ESC /-	○	×
	1バイトコード文字の登録	FS g R	×	○
	2バイトコード文字の登録	FS g R2K	×	○
	1バイトコード登録文字の全クリア	FS g AC1.	×	○
	2バイトコード登録文字の全クリア	FS g AC2.	×	○
	1バイトコード内蔵文字印刷	FS g MI1.	×	○
	1バイトコード登録文字印刷	FS g MR1.	×	○
	1バイト文字フォントの選択	FS 06F1	○	○
	2バイト文字書体の選択	FS 06F2	×	○
	2バイト文字指定	ESC O	○	○
■文字スタイル制御コード	文字拡大モードの設定 (8ビットコード)	SO	○	×
	文字拡大モードの解除 (8ビットコード)	SI	○	×
	文字拡大モードの設定 (7ビットコード)	DC2	○	×
	文字拡大モードの解除 (7ビットコード)	DC4	○	×
	ハイカモードの設定	ESC H	○	○
	エリートモードの設定	ESC E	○	○
	コンデンスモードの設定	ESC Q	○	○
	プロポーショナルモードの設定	ESC P	○	○
	漢字 (横書き) モードの設定	ESC K	○	○
	漢字 (縦書き) モードの設定	ESC t	○	○
	外字の印刷 (横書き)	ESC K a ₁ b ₁	○	○
	外字の印刷 (縦書き)	ESC t a ₁ b ₁	○	○
	半角文字の縦書きモード設定	ESC h1	○	○
	半角文字の縦書きモード解除	ESC h0	○	○
	スーパースクリプトモードの設定	ESC s1	○	○
	サブスクリプトモードの設定	ESC s2	○	○
	スクリプトモードの解除	ESC s0	○	○
	文字サイズの設定	FS 04S	○	○
	1バイト文字サイズの設定	FS 07S1	×	○
	2バイト文字サイズの設定	FS 07S2	×	○
	全角漢字の文字幅設定	FS A	○	○
	(文字幅: 3/20インチ、文字サイズ: 10.5ポイント)			
	全角漢字の文字幅設定	FS B	○	○
	(文字幅: 1/5インチ、文字サイズ: 10.5ポイント)			
	全角漢字の文字幅設定	FS C	○	○
	(文字幅: 1/6インチ、文字サイズ: 10.5ポイント)			
	全角漢字の文字幅設定	FS F	○	×
	(文字幅: 1/10インチ、文字サイズ: 7ポイント)			
	全角漢字の文字幅設定	FS G	○	×
	(文字幅: 1/6インチ、文字サイズ: 12ポイント)			
	縦横拡大率の指定	ESC e	○	×
	文字の拡大率、縮小率の指定	FS m	○	○
	強調印刷モードの設定	ESC !	○	○
	強調印刷モードの解除	ESC "	○	○
	文字修飾の指定/解除	FS c	○	○
	文字明度の指定	FS \$	×	○
■その他	キャラクターリピート	ESC R	○	○

テキストモード

コード区分	機能	制御コード	E	P
面制御コード	座標指定単位の設定 描画座標の指定 座標のコピー 罫線の描画 領域指定の網かけ 網かけパターンの登録 領域指定のイメージ印刷 全点アドレス印刷モードの設定 全点アドレス印刷モードの解除 フォーム登録の開始/参照 フォーム登録モードの解除	FS < FS e FS e FS l FS s FS r FS i FS a FS R FS u FS U	× × × × × × × × × ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
その他	セレクト状態の設定 ディセレクト状態の設定 201PLエミュレーションモードの設定 ページプリンターモードの設定 ソフトウェアリセット パラメーターリセット 図形モードの設定 図形モードの解除 描画論理の指定 クリッピング領域の設定	DC1 DC3 FS d 160. FS d 240. ESC c1 ESC c8 FS Y FS Z FS " FS #	○ ○ ○ ○ ○ ○ × × × ×	× × ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

図形モード

図形モードに関する制御コードは、すべてページプリンターモードの図形モード中で有効です。

コード区分	機能	制御コード	E	P
図形の座標系設定	スケーリングポイントの設定 座標系の設定 ウィンドウ領域の指定 回転角の設定 座標系の反転 プリンター単位の設定	IP SC IW RO RC SU	× × × × × ×	○ ○ ○ ○ ○ ○
線に関する設定	線種の設定 線幅の設定 線端タイプの設定 線接続タイプの設定 線タイプの登録 線パターンの選択	LT LW LC LJ RL LP	× × × × × ×	○ ○ ○ ○ ○ ○
塗りつぶしに関する設定	塗りつぶしモードの設定 塗りつぶしモードの解除 塗りつぶしパターンの選択 塗りつぶしパターンの登録 グレーレベルパターンの設定 描画論理の設定	XX1 XX0 PP RP SG PM	× × × × × ×	○ ○ ○ ○ ○ ○
図形の描画	ペンを上げる ペンを下げる 直線の描画 (絶対描画モード) 直線の描画 (相対描画モード) ペンの移動 (絶対描画モード) ペンの移動 (相対描画モード) 扇形の描画 (絶対描画モード) 扇形の描画 (相対描画モード) 円の描画 円弧の描画 (絶対描画モード) 円弧の描画 (相対描画モード) 円弧の描画 (絶対座標) 円弧の描画 (相対座標) 円弧の描画 楕円の描画 楕円弧の描画 楕円弧の描画 (逆方向)	PU PD PA PR MA MR FA FR CI AA AR AX AY AT EL ED EN	× × × × × × × × × × × × × × × × × ×	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

図形モード

コード区分	機能	制御コード	E	P
図形の描画 (続き)	枠無し四角形の塗りつぶし (絶対位置指定)	RA	×	○
	枠無し四角形の塗りつぶし (相対位置指定)	RR	×	○
	枠あり四角形の塗りつぶし (絶対位置指定)	EA	×	○
	枠あり四角形の塗りつぶし (相対位置指定)	ER	×	○
	枠無し扇形の塗りつぶし	WG	×	○
	枠あり扇形の塗りつぶし	EW	×	○
	閉領域の塗りつぶし	PI	×	○
	パス構築モードの開始	NP	×	○
	パスの閉鎖	CP	×	○
	パス構築モードの終了	EP	×	○
	ストロークの描画	ST	×	○
	フィルの描画 (非零則)	FL	×	○
	フィルの描画 (偶奇則)	EF	×	○
その他	イニシャライズ	IN	×	○
	初期設定	DF	×	○
	図形モード設定	FS Y	×	○
	図形モード解除	FS Z	×	○

ESC/PEミュレーションサポートコマンド

コマンド	機能
ESC C	行単位ページ長設定
ESC C 0	インチ単位ページ長設定
ESC N	ミシン目スキップ設定
ESC O	ミシン目スキップ解除
ESC Q	右マージン設定
ESC 1	左マージン設定
ESC 0	1/8インチ改行量設定
ESC 2	1/6インチ改行量設定
ESC 3	n/180インチ改行量設定
ESC A	n/60インチ改行量設定
ESC +	n/360インチ改行量設定
ESC B	垂直タブ位置設定
ESC D	水平タブ位置設定
ESC /	VFUチャネル選択
ESC b	VFUタブ位置設定
CR	キャリッジリターン
LF	改行
FF	改ページ
ESC J	n/180インチ順方向紙送り
ESC j	n/180インチ逆方向紙送り
HT	水平タブ
VT	垂直タブ
BS	後退
ESC \$	絶対位置指定
ESC ¥	相対位置指定
ESC M	12 CPI指定
ESC P	10 CPI指定
ESC g	15 CPI指定
ESC p	プロポーショナル指定、解除
ESC R	国際文字選択
ESC S	スーパー、サブスクリプト指定
ESC T	スーパー、サブスクリプト解除
ESC x	文字品位選択
ESC k	書体選択
ESC 6	上位側コントロールコード解除
ESC 7	上位側コントロールコード指定
ESC t	文字コード表選択
ESC %	ダウンロード文字セット指定、解除
ESC &	ダウンロード文字定義
ESC :	文字セットコピー
ESC SP	文字間スペース量設定
ESC w	縦倍拡大指定、解除
SI	縮小指定
ESC SI	縮小指定
DC2	縮小解除

コマンド	機能
ESC -	アンダーライン指定、解除
SO	自動解除付き倍幅拡大指定
ESC SO	自動解除付き倍幅拡大指定
DC4	自動解除付き倍幅拡大解除
ESC W	倍幅拡大指定、解除
ESC E	強調指定
ESC F	強調解除
ESC G	二重印字指定
ESC H	二重印字解除
FS SO	自動解除付き倍幅拡大指定
FS DC4	自動解除付き倍幅拡大解除
ESC 4	イタリック指定
ESC 5	イタリック解除
ESC q	文字スタイル選択
ESC !	一括指定
FS J	縦書き指定
FS K	横書き指定
FS D	半角縦書き2文字指定
FS W	4倍角指定、解除
FS -	漢字アンダーライン指定、解除
FS !	漢字一括指定
FS &	漢字モード指定
FS .	漢字モード解除
FS SI	半角文字指定
FS DC2	半角文字指定解除
FS r	1/4角文字指定
FS k	漢字書体選択
FS 2	外字定義
FS S	全角文字スペース量設定
FS T	半角文字スペース量設定
FS U	半角文字スペース量補正
FS V	半角文字スペース量補正解除
ESC K	8ドット単密度ビットイメージ
ESC L	8ドット倍密度ビットイメージ
ESC Y	8ドット倍速倍密度ビットイメージ
ESC Z	8ドット4倍密度ビットイメージ
ESC *	ビットイメージ選択
ESC *	ビットイメージリビート
ESC ?	ビットイメージ変換
ESC @	初期化
DC 1	デバイスコントロール1
DC 3	デバイスコントロール3
DEL	1文字削除
CAN	データ抹消
ESC EM	カットシートフィーダー制御

機能拡張制御コード

別売りの「日本語ページプリンタ言語NPD (Level2) リファレンスマニュアル」に記載されていない機能を拡張した制御コードの一覧表を以下に示します。その後それぞれの機能を説明しています。

テキストモード

コード区分	機能	制御コード	E	P
文字スタイル制御コード	漢字文字幅2/15インチ、文字サイズ9.5ポイント設定	FS D	○	×
	文字明度の指定	FS \$	×	○
	1バイト文字サイズの設定	FS Ø7 S1	×	○
	2バイト文字サイズの設定	FS Ø7 S2	×	○
	1バイト文字縦横サイズの設定	FS 12 S1	×	○
	2バイト文字縦横サイズの設定	FS 12 S2	×	○
行桁制御印刷コード	2バイトコード文字の文字幅設定	FS p	○	○
文字ロード	1バイト/2バイトコード文字の登録	FS g	×	○
バーコードの印刷	バーコードの印刷	FS`p ₁ ,p ₂ ,p ₃ ,p ₄ ,p ₅ ,p ₆ ,p ₇ .d ₁ d ₂ d ₃ d ₄ ...	○	○
面制御コード	フォーム登録の開始/参照	FS u	○	○
ページ制御コード	印刷方向の設定および縮小/拡大モード設定	FS f c ₁ c ₂ c ₃ c ₄ c ₅ .	○	○
	縮小印字の設定	FS Ø5f	○	○
	両面印刷設定	FS '	○	○
	ページコピー枚数の設定	FS x	○	○
領域指定イメージ	領域指定イメージ描画の設定	FS i	×	○
座標指定単位設定	座標指定単位の設定	FS <	×	○
文字セット制御コード	OCR-Bフォントの指定	FS Ø6 F1-ØØ4	○	○
カスタマーバーコードの印刷	カスタマーバーコード書体の選択	FS Ø6 F2-n ₁ n ₂ n ₃	○	○
漢字コード表切り替えのための制御コード	漢字コード表の設定	FS Ø5 F2	○	○
フィニッシャー制御コード	フィニッシャーを制御するためのコード	FS %	×	○

図形モード

コード区分	機能	制御コード	E	P
図形の描画コード	楕円の描画	EL	×	○
	楕円弧の描画	ED, EN	×	○
	自由曲線の描画 (絶対座標モード)	BA	×	○
	自由曲線の描画 (相対座標モード)	BR	×	○
プリンター単位指定	プリンター単位の設定	SU	×	○
塗りつぶしに関する設定	グレーレベルパターンの設定	SG	×	○
楕円弧描画	楕円弧の描画	SG	×	○
弓形描画	弓形の描画	CV	×	○
扇形描画	扇形の描画	FV	×	○
角丸矩形描画	角丸矩形描画	RB	×	○

文字スタイル制御コード

漢字文字幅2/15インチ、文字サイズ9.5ポイント設定 FS D

全角漢字の文字幅を2/15インチ、文字サイズを9.5ポイントに設定します。

形式 `FS D`

記述例 `LPRINT CHR$ (&h1C) ; CHR$ (&h44) ;`
または
`LPRINT CHR$ (28) ; "D";`

文字明度の指定 FS \$

テキストモードでの文字明度を指定します。

FS \$は形式、パターンの範囲ともに従来と同じですが、従来0~100のパラメーターを白または黒のどちらかに解釈して印刷していたものが、本プリンターでは中間調に印刷できるようになりました。これにより従来よりも細かい明度表現が可能となります。

形式 `FS $ p1 .`

- p_1 でテキストモードでの文字明度を指定します。
- p_1 の範囲は0~100が有効です。
- p_1 は0に近いほど黒くなり、100に近いほど白くなります。($p_1=0$ で黒、 $p_1=100$ で白)
- p_1 省略時および p_1 が100より大きいときは、本コマンドは無効となります。

記述例 テキストモードでの文字明度を50に指定するとき

`LPRINT CHR$ (&h1C) ; CHR$ (&h24) ; "50.;"`
または
`LPRINT CHR$ (28) ; "$50.;"`

1バイト文字サイズの設定

FS 07S1

1バイト文字のサイズを0.1ポイント単位で設定します。

形式 FS 0 7 S 1 — C₁ C₂ C₃ C₄

- C₁ C₂ C₃ C₄ で文字サイズを設定します。単位は1/10ポイントです。
- C₁ C₂ C₃ C₄ の有効範囲は0001～9999です。

記述例 文字サイズを20ポイントに設定するとき

```
LPRINT CHR$ (&h1C) ;CHR$ (&h30) ;CHR$ (&h37) ;CHR$ (&h53) ;CHR$ (&h31) ;  
          CHR$ (&h2D) ;CHR$ (&h30) ;CHR$ (&h32) ;CHR$ (&h30) ;CHR$ (&h30) ;
```

```
または  
LPRINT CHR$ (28) ;"07S1-0200";
```

2バイト文字サイズの設定

FS 07S2

2バイト文字のサイズを0.1ポイント単位で設定します。

形式 FS 0 7 S 2 — C₁ C₂ C₃ C₄

- C₁ C₂ C₃ C₄ で文字Xサイズを設定します。単位は1/10ポイントです。
- C₁ C₂ C₃ C₄ の有効範囲は0001～9999です。

記述例 文字サイズを20ポイントに設定するとき

```
LPRINT CHR$ (&h1C) ;CHR$ (&h30) ;CHR$ (&h37) ;CHR$ (&h53) ;CHR$ (&h32) ;  
          CHR$ (&h2D) ;CHR$ (&h30) ;CHR$ (&h32) ;CHR$ (&h30) ;CHR$ (&h30) ;
```

```
または  
LPRINT CHR$ (28) ;"07S2-0200";
```

1バイト文字縦横サイズの設定

FS 12S1

1バイト文字のサイズを縦横別々に0.1ポイント単位で設定します。

形式

FS	1	2	S	1	—	C ₁	C ₂	C ₃	C ₄	—	C ₅	C ₆	C ₇	C ₈
----	---	---	---	---	---	----------------	----------------	----------------	----------------	---	----------------	----------------	----------------	----------------

- C₁ C₂ C₃ C₄で文字Xサイズを設定します。単位は1/10ポイントです。
- C₅ C₆ C₇ C₈で文字Yサイズを設定します。単位は1/10ポイントです。
- 有効範囲はX、Yともに0001～9999。

記述例

縦20ポイント、横50ポイントを設定するとき

```
LPRINT CHR$ (&h1C) ;CHR$ (&h31) ;CHR$ (&h32) ;CHR$ (&h53) ;CHR$ (&h31) ;
      CHR$ (&h2D) ;CHR$ (&h30) ;CHR$ (&h35) ;CHR$ (&h30) ;CHR$ (&h30) ;
      CHR$ (&h2D) ;CHR$ (&h30) ;CHR$ (&h32) ;CHR$ (&h30) ;CHR$ (&h30) ;
または
LPRINT CHR$ (28) ;"12S1-0500-0200";
```

2バイト文字縦横サイズの設定

FS 12S2

2バイト文字のサイズを縦横別々に0.1ポイント単位で設定します。

形式

FS	1	2	S	2	—	C ₁	C ₂	C ₃	C ₄	—	C ₅	C ₆	C ₇	C ₈
----	---	---	---	---	---	----------------	----------------	----------------	----------------	---	----------------	----------------	----------------	----------------

- C₁ C₂ C₃ C₄で文字Xサイズを設定します。単位は1/10ポイントです。
- C₅ C₆ C₇ C₈で文字Yサイズを設定します。単位は1/10ポイントです。
- 有効範囲はX、Yともに0001～9999。

記述例

縦20ポイント、横50ポイントを設定するとき

```
LPRINT CHR$ (&h1C) ;CHR$ (&h31) ;CHR$ (&h32) ;CHR$ (&h53) ;CHR$ (&h32) ;
      CHR$ (&h2D) ;CHR$ (&h30) ;CHR$ (&h35) ;CHR$ (&h30) ;CHR$ (&h30) ;
      CHR$ (&h2D) ;CHR$ (&h30) ;CHR$ (&h32) ;CHR$ (&h30) ;CHR$ (&h30) ;
または
LPRINT CHR$ (28) ;"12S2-0500-0200";
```

行桁制御印刷コード

2バイトコード文字の文字幅設定

FS p

2バイトコード文字の文字幅（印刷ピッチ）を設定します。

形式

`FS p 2 , p1 / p2 .`

- p_1/p_2 で文字幅を設定します。
- p_1 は文字幅の分子、 p_2 は文字幅の分母を表します。
- p_2 を240に設定したとき、 p_1 は1~240の値が有効となります。
- p_2 を240以外の値に設定するときは、以下の組み合わせのみが有効です。

p_1	p_2	文字幅
1	5	1/5インチ
1	6	1/6インチ
1	10	1/10インチ
2	15	2/15インチ
3	20	3/20インチ

従来このコマンドは表に示す組み合わせにのみ設定可能でしたが、本プリンターでは1/240~240/240の設定が可能になりました。これにより、より細かな文字幅の設定が行えます。

記述例

2バイトコード文字の文字幅を1/8インチ（30/240）に設定するとき

```
LPRINT CHR$ (&h1C) ;CHR$ (&h70) ;"2,30/240.;"
```

または

```
LPRINT CHR$ (28) ;"p";"2,30/240.;"
```

文字ロード

1バイト/2バイトコード文字の登録

FS g

外字パターンのロードをします。

形式 FS g $c_1 c_2 c_3$, p_1 , p_2 , p_3 , p_4 , p_5 . $c_4 c_5 d_1$... d_n

- c_1 はこの制御コードのモードを表す1バイトの文字です。 c_1 によってこの制御コードは次の動作をします。

c_1	動作
R	登録
A	クリア
M	印刷文字選択

- $c_2 c_3$ は印刷方式とキャラクターモードを指定します。

c_2	c_3	印刷方式 / キャラクターモード	
K	N	バイカ	カタカナ
	H	バイカ	
	E	エリート	
	Q	コンデンス	
	P	プロポーショナル	
H	N	バイカ	ひらがな
	H	バイカ	
	E	エリート	
	Q	コンデンス	
	P	プロポーショナル	
2	K	漢字	

- c_1 がAのときは、 $c_2 c_3$ は次の意味を持ちます。
このとき、この制御コードは p_1 以降のパラメーターとデータは不要です。

c_2	c_3	動作
C	1	1バイト系の全クリア
C	2	2バイト系の全クリア

- c_1 がMのときは、 $c_2 c_3$ は次の意味を持ちます。
このとき、この制御コードは p_1 以降のパラメーターとデータは不要です。

c_2	c_3	動作
I	1	1バイト系は内部CGを印刷
R	1	1バイト系はダウンロード文字を印刷

- p_1 は文字の高さを表します。 p_1 は c_1 がRのときのみ有効で、登録する文字の高さをドット単位で設定します。下表の値のみ有効です。

c_3	240dpi	400dpi	600dpi	動作
H or K	36	60	90	—
2の時	24	40	60	7.2ポイントの登録を意味する
	26	60	90	10.8ポイントの登録を意味する
	40	67	100	12ポイントの登録を意味する

- p_2 は左スペース量を表します。 p_2 は c_1 がRのときのみ有効で、登録する文字の左側スペースをドット単位で設定します。下表の値のみ有効です。

c_3	240dpi	400dpi	600dpi
P	0~23	0~39	0~59
P以外	0		

- p_3 は文字幅を表します。 p_3 は c_1 がRのときのみ有効で、登録する文字の文字幅をドット単位で設定します。下表の値のみ有効です。

また $c_3=p$ のときは $p_2+p_3+p_4 \leq 24$ (240dpi)
 $p_2+p_3+p_4 \leq 40$ (400dpi)
 $p_2+p_3+p_4 \leq 60$ (600dpi) でなくてはなりません。

c_3	p_3		
	240dpi	400dpi	600dpi
N	24	40	60
H			
E	20	34	50
Q	14	24	35
P	1~24	1~40	1~60
K	p_1	p_1	p_1

- p_4 は右スペース量を表します。 p_4 は c_1 がRのときのみ有効で、登録する文字の右側スペースをドット単位で設定します。下表の値のみ有効です。

c_3	240dpi	400dpi	600dpi
P	0~23	0~39	0~59
P以外	0		

- $p_1 \sim p_4$ は c_1c_2 の状態によっては省略可能な場合があります。省略可能な場合は次のとおりです。

c_1c_2	p_1	p_2	p_3	p_4
RK	不可	可 (0)	不可	可 (0)
RH	不可	可 (0)	不可	可 (0)
R2	不可	可 (0)	可 (p_1)	可 (0)

()内は省略時の値

- c_4c_5 は参照に使用する文字コードを表します。使用可能なコードは次のとおりです。

$c_2=H$ または K のとき $21h \leq c_4 \leq 7Eh$ $80h \leq c_4 \leq 9Eh$ $A1h \leq c_4 \leq FEh$ c_5 は指定しない
 $c_2=2$ のとき $76h \leq c_4 \leq 78h$ $20h \leq c_5 \leq 7Fh$

上記以外の値を指定したときは、 $c_2=H$ または K のときは c_4 までを、 $c_2=2$ のときは c_5 までを読み捨ててシーケンスを終了します。

- $d_1 \sim d_n$ はパターンデータをバイナリー表現で表します。データ数は $p_1 \times p_4 \div 8$ とします。
- この制御コードでパラメーターに不正があったときはピリオドまでを読み捨てて、シーケンスを終了します。ただし文字コードに不正があったときは、文字コードまでを読み捨てます。どちらの場合でもパターンデータの読み捨てはしません (パターンデータはテキストデータとして扱い、印刷される)。

- 本装置では、登録可能な文字数は次のとおりです。

$c_2=H$ または K のもの 128文字（1バイト系）
 $c_2=2$ のとき 256文字（2バイト系）

また文字の登録があった時、そのエリアに登録されていた前のパターンは同一ページ内では保証されません。

- 未登録の文字コードや文字サイズは空白が登録されているのと同様の印刷を行います。

バーコードの印刷

バーコードの印刷

FS `



バーコードをご使用になる際の注意

- 読み取り装置によっては、本プリンターで印刷したバーコードをうまく読み取れない場合があります。ご使用になる読み取り装置でバーコードを読み取れることを確認してからご使用ください。
- トナー切れなどにより印刷がかすれたりした場合には、読み取れないことがあります。
- 用紙の拡大／縮小は行わないでください。読み取り装置でバーコードを読み取ることができません。
- トナー節約機能は使用しないでください。読み取り装置でバーコードを読み取れないことがあります。
- p_2 で指定されるHRCはOCR-Bフォントで印刷されます。ただし、OCR-Bフォントの最小ピッチは1OCPIのため、HRCの幅の方がバーコードより広くなる場合があります。また、オートリターン有効時でも、印刷範囲から超えた場合にはデータを読み捨てます（オートリターンしません）。
- バーコードの印刷を行う際には、次のコマンドは無効となります。
 - 縦横拡大指定（FS m）
 - 網かけ、反転（FS n）
 - アンダーライン／オーバーライン（ESC X）
 - 縦方向オフセット（FS t）
 - 固定ドットスペース（FS w）

形式

FS ` p_1 , p_2 , p_3 , p_4 , p_5 , p_6 , p_7 . d_1 d_2 d_3 d_4 ...

- p_1 はバーコードの種類を設定します。

<201PLエミュレーションモード>

p_1	バーコードの種類	
∅	1	NW-7のスタート/ストップキャラクター設定
∅	2	NW-7
∅	3	JAN
∅	4	CODE 39
∅	5	INDUSTRIAL 2 OF 5
∅	6	INTERLEAVED 2 OF 5

<ページプリンターモード>

p_1	バーコードの種類
1	NW-7のスタート/ストップキャラクター設定
2	NW-7
3	JAN
4	CODE 39
5	INDUSTRIAL 2 OF 5
6	INTERLEAVED 2 OF 5
7	UCC/EAN-128

p_1 の指定により、 $p_2 \sim p_7$ 、 $d_1 \sim d_n$ の値は変化します。

- p_2 はバーコードに対するHRC（付加文字）の有無およびその位置を指定します。

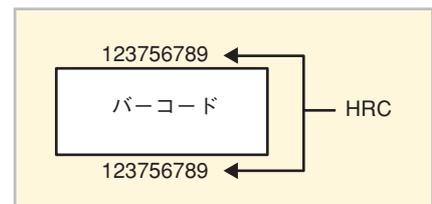
p_2	HRC
0	文字なし
1	文字を下につける
2	文字を上につける
3	新料金代理収納ガイドライン形式で文字を下につける ($p_1=7$ の時のみ有効)

* HRCはバーコードの下または上にOCR-Bフォントで印刷します。

バーコードとOCR文字のボディフェースは隣接するべきだが、ページモードでバーコードの上に文字がつく場合に限り、4dot (240dpi) の隙間を開けている。

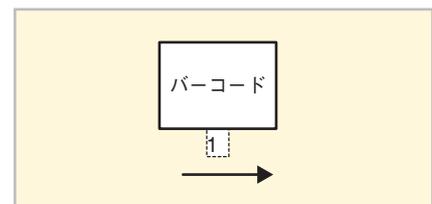
HRCの均等割付け方法

バーコードより文字列の方が長い場合は、文字幅単位で印刷されます。(以下の例は文字列よりバーコードの方が長い場合を示します。)



<201PLエミュレーション>

1文字の場合、バーコードの幅の中央に配置し、バーコードの幅の分だけX座標を移動します。

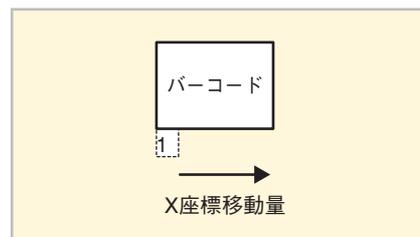


複数文字の場合、バーコードの幅を文字数で割り、その中央に配置します。



<ページプリンターモード>

1文字の場合、バーコードの左側に配置し、文字の幅の分だけX座標を移動します。



複数文字の場合、バーコードの幅から1文字幅引き、文字数-1で割り、その左端に配置します。



- p_3 はバーコードのモジュール幅をドット単位で指定します。

<201PLエミュレーション>
指定範囲： $2 \leq p_3 \leq 4$ (160dpi)

<ページプリンターモード>
指定範囲： $4 \leq p_3 \leq 10$ (400dpi)、 $4 \leq p_3 \leq 15$ (600dpi)
- p_4 はバーコードのワイド/ナローエレメント比を指定します。
 $p_4=30$ のみ有効
- p_5 はバーコード高さをドット単位で指定します。

<201PLエミュレーション>
 $0 \leq p_5 \leq 999$ (160dpi)
 p_5 が0の時は、高さを改行ピッチに設定します。したがって、改行ピッチの切り替えコマンドと組み合わせることにより1/120インチ単位での指定も可能となります。またバーコードの下にHRCがある場合は、実際に改行する幅はバーコードの高さ+HRCの高さです。

<ページプリンターモード>
指定範囲：
 $10 \leq p_5 \leq 1665$ (400dpi 1ドット=約0.064mm なるべく150~300程度の値でご使用ください)
 $10 \leq p_5 \leq 2498$ (600dpi 1ドット=約0.042mm なるべく150~300程度の値でご使用ください)

- p_6 はデータキャラクターの長さをバイト単位で指定します。
この値は、バーコードの種類ごとに下記のように制限されます。

p_1	有効な p_6
1	2
2	0~34
3	13または8
4	0~34
5	0~34
6	0~34(偶数のみ)
7	1~25

- p_7 は p_3 、 p_5 の解像度を指定します。

<201PLエミュレーション>
省略してください。(160dpi)

<ページプリンターモード>
指定： $p_7=400$ (400dpi)、 $p_7=600$ (600dpi)
- d_1 、 d_2 、 d_3 、 d_4 ...はデータキャラクターまたはスタート/ストップキャラクター ($p_i=1$ のとき) です。
- グレーの実現レベルはプリンター機種および解像度に依存します。

記述例 $p_1=1$ 、スタートキャラクターを“a”、ストップキャラクターを“b”とするとき

```
LPRINT CHR$ (&h1C) ;CHR$ (&h60) ;"1,,,,2,.ab";
または
LPRINT CHR$ (&h1C) ;"1,,,,2,.ab";
```

補足

バーコードの種類によって、パラメーターの意味が少しずつ異なります。

- $p_1=1$ のとき (NW-7のスタート/ストップキャラクターを指定します。)

 - バーコードの印刷ではなく、バーコードの種別NW-7の仕様に従い、NW-7で付加されるスタート/ストップキャラクターの設定を行います。
 - スタート/ストップキャラクターとして指定可能な文字は次のとおりです。(初期状態は“a”)
a b c d e n t * A B C D E N T
また、 $p_2 \sim p_5$ および p_7 は省略されます。
記述例スタートキャラクターを“a”、ストップキャラクターを“b”とするとき
LPRINT CHR\$ (&h1C) ;"1,,,,2,.ab";

- $p_1=2$ のとき (NW-7)

 - p_3 の値がナローバー、ナローズペースの幅に対応し、 $p_3 \times p_4 / 10$ の値がワイドバー、ワイドスペースの幅に対応します。
 - $p_6=0$ のときは、スタート/ストップキャラクターのみ印刷します。
 - データキャラクターとして指定可能な文字は次のとおりです。
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 - \$. / : +
 - データの最初と最後にあらかじめ設定されたスタート/ストップキャラクターを自動的に付加して印刷します。

- $p_1=3$ のとき (JAN)

 - p_3 の値が1モジュールの幅に対応し、他の幅のバーおよびスペースはこの整数倍の幅となります。
 - p_6 は13または8とし、13のときはJAN標準のバーコード、8のときはJAN短縮のバーコードを印刷します。
 - データキャラクターとして指定可能な文字は次のとおりです。
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
 - JAN標準でデータキャラクターの1バイト目(フラグキャラクター)が規定外のときは、データキャラクターも含めて読み捨てます。
 - レフトガードバー、サイドガードバー、ライトガードバーは自動的に付加します。

- $p_1=4$ のとき (CODE-39)

 - p_3 の値がナローバー、ナローズペースの幅に対応し、 $p_3 \times p_4 / 10$ の値がワイドバー、ワイドスペースの幅に対応します。
 - $p_6=0$ のときは、スタート/ストップキャラクター(“*”固定)のみ印刷します。
 - データキャラクターとして指定可能な文字は次のとおりです。
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 - \$. / + % SP (スペース)
A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z
 - データの最初と最後にあらかじめ設定されたスタート/ストップキャラクターを自動的に付加して印刷します。

- $p_1=5$ のとき (INDUSTRIAL 2 OF 5)

 - p_3 の値がナローバー、ナローズペースの幅に対応し、 $p_3 \times p_4 / 10$ の値がワイドバー、ワイドスペースの幅に対応します。
 - $p_6=0$ のときは、スタート/ストップキャラクターのみ印刷します。ただし、HRC付加指定をしても対応するキャラクターがないため印刷されません。
 - データキャラクターとして指定可能な文字は次のとおりです。
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
 - データの最初と最後にあらかじめ設定されたスタート/ストップキャラクターを自動的に付加して印刷します。

- $p_1=6$ のとき (INTERLEAVED 2 OF 5)

 - p_3 の値がナローバー、ナローズペースの幅に対応し、 $p_3 \times p_4 / 10$ の値がワイドバー、ワイドスペースの幅に対応します。
 - $p_6=0$ のときは、スタート/ストップキャラクターのみ印刷します。ただし、HRC付加指定をしても対応するキャラクターがないため印刷されません。
 - データキャラクターとして指定可能な文字は次のとおりです。
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
 - 2つのデータキャラクターを1組のバーコードデータとして印刷します。
 - データの最初と最後にあらかじめ設定されたスタート/ストップキャラクターを自動的に付加して印刷します。

面制御コード

フォーム登録の開始／参照

FS u

フォームデータの登録開始および参照を指示します。

形式

FS	u	c ₁	,	p ₁	,	c ₂	.
----	---	----------------	---	----------------	---	----------------	---

- c₁で登録か参照かを設定します。

c ₁	機能
1	フォーム登録モードを設定（フォーム登録を開始）
2	フォーム参照モードを設定

- p₁でフォーム番号を指定します。省略時は1となります。指定範囲は1～100です。
- c₂はc₁=1（フォーム登録モード）のときは必ず省略してください。c₁=2（フォーム参照モード）のときは、c₂でフォーム参照の継続の有無を設定します。

c ₂	機能
省略	この制御コードが存在するページに対してフォームを描画（参照）します。現ページに対してのみ有効です。
S	この制御コードが存在するページ以降、解除が指定される間でのフォーム参照を継続します。
E	上記「S」で設定されたフォーム参照モードを解除します。

✓チェック

100面までの登録が可能です。実際にはメモリーの容量に依存しますが、オプションの増設メモリーを装着することによってより多くのフォーム登録が可能となります。また、従来フォームに登録できなかった図形モードデータ、領域指定網かけ、全点アドレス印刷データも登録可能となっています。

記述例 フォーム番号2にフォーム登録を行うとき

```
LPRINT CHR$ (&h1C) ;CHR$ (&h75) ;CHR$ (&h31) ;CHR$ (&h2C) ;"2";CHR$ (&h2E);
または
LPRINT CHR$ (28) ;"u1,2.";
```

ページ制御コード

印刷方向の設定および縮小／拡大モード設定

FS f

プリンターの印刷方向および縮小／拡大モードの設定を行います。

形式

FS	f	C ₁	C ₂	C ₃	C ₄	C ₅	.
----	---	----------------	----------------	----------------	----------------	----------------	---

- C₁は印刷方向を設定します。

C ₁	印刷方向
P	ポートレート
L	ランドスケープ

- C₂～C₅は縮小／拡大機能モードを設定します。本コマンドは従来縮小機能のみでしたが、本プリンターでは拡大機能が追加されました。パラメーターの設定方法に関しては下記の表をご覧ください。

<追加パラメーター>

記述例 印刷方向をポートレートで、A4サイズの印刷データをA3用紙に拡大して印刷するとき

```
LPRINT CHR$ (&h1C) ;CHR$ (&h66) ;"PA4A3.;"
```

または

```
LPRINT CHR$ (28) ;"f";"PA4A3.;"
```

拡大／縮小モードの印刷

C ₂	C ₃	C ₄	C ₅	機能
L	P	B	4	帳票→B4
L	P	A	4	帳票→A4
U	P	A	4	A4×2→A4
U	P	B	5	B5×2→B5
A	3	B	4	A3→B4
A	3	A	4	A3→A4
A	4	A	3	A4→A3
A	4	B	4	A4→B4
A	4	B	5	A4→B5
B	4	A	3	B4→A3
B	4	A	4	B4→A4
B	4	B	5	B4→B5
B	5	A	4	B5→A4
B	5	B	4	B5→B4

縮小印字の設定

FS 05f

形式

FS 0 5 f C₁ C₂ C₃ C₄

- C₁、C₂、C₃で縮小率を設定します。
組み合わせは次の中から選択します。

C ₁	C ₂	C ₃	設定内容
1	0	0	縮小印字解除(原寸)
0	8	0	4/5縮小印字
0	6	7	2/3縮小印字

- C₄で縮小基準位置を設定します。
設定は次のとおりです。

C ₄	縮小基準位置
L	左端基準
C	中央基準

- すべての文字に対して有効です。
- 行の先頭で指定してください。その行から縮小印字します。
- 行の途中で指定した場合は、次の行から縮小印字します。
- 縮小印字は受信したデータを2/3または4/5に縮小して印刷しますので、例えばA4サイズのデータをA5サイズの用紙に、またはB4サイズのデータをA4サイズの用紙に印刷したいようなときに役立つ機能です。
- プリンターがサポートしていない縮小率を設定しようとした場合、その命令は無視されます。
- 縮小を行うと、改行幅も縮小されます。また、文字によっては見づらくなるものがあります。

記述例 縮小率を4/5、左端基準で印刷するとき

```
LPRINT CHR$ (&h1C) ; CHR$ (&h30) ; CHR$ (&h35) ;
CHR$ (&h66) ; "080L"
または
LPRINT CHR$ (28) ; "05f"; "080L"
```

両面印刷設定

FS '

両面印刷を設定します。

形式

```
FS ' c1 , c2 , p1 , p2 .
```

- c_1 で印刷モードを設定します。

c_1	印刷モード
S	片面印刷
B	両面印刷

- c_1 で片面印刷を指定した場合は、 c_2 以降のパラメーターは無効になります。
- c_2 で両面印刷における用紙の印刷開始面を設定します。

c_2	印刷面
F	表面
B	裏面

- c_2 を省略した場合は、表面を印刷開始面とします。
- p_1 で綴じ代を付加する位置を設定します。

p_1	印刷面
1	長辺綴じ位置1
2	短辺綴じ位置1
3	長辺綴じ位置2
4	短辺綴じ位置2

- p_2 で綴じ代として追加する余白量を1mm単位で設定します。範囲は、 $0 \leq p_2 \leq 20$ です。綴じ代を付けない場合は、0を指定します。
- p_1 、 p_2 を省略した場合、メニューの設定に従います。
- 本コマンドはページの先頭で使用してください。ページの途中で指定した場合は、改ページを行い、以前のページの用紙をすべて排出した後で、本コマンドの設定に従った印刷を開始します。

記述例

印刷開始面が表面の両面印刷で、長辺綴じ1、余白量を10mmに設定するとき

```
LPRINT CHR$ (&h1C) ; CHR$ (&h27) ; "B,F,1,10.;"
または
LPRINT CHR$ (28) ; " " ; "B,F,1,10.;"
```

ページコピー枚数の設定

FS x

コピー枚数を設定します。

形式

FS x p_1 , c_1 , p_2 , p_3 , p_4 , p_5 , p_6 , p_7 , p_8 .

- p_1 はコピー枚数です。
- c_1 はコピー枚数の継続指定を表します。
- $p_2 \sim p_8$ は無効パラメータです。
- p_1 でコピー枚数を指定します。値はオリジナルを含んだものとし、1を指定します。 p_1 は、1～999までが有効です。
- c_1 は p_1 で指定したコピーの継続の有無を表します。

c_1	コピーの継続
S	継続しない
C	継続する

- 継続する場合、 p_1 で指定されたコピー枚数は、新たに設定されるまで有効で、すべてのページに対してコピーが実行されます。
- 継続しない場合、ページコピーは1回実行すると、実行後に1枚に初期化されます（コピーの実行は物理的印刷動作のことで、FFコードがなくても印刷行数を超えればそれ以降のデータに対してコピーは実行されません）。
- c_1 は省略可能で、省略したときはSが指定されたものとみなします。
- p_1 は省略可能ですが、省略時の動作はそのときの c_1 の値によって異なります。

$c_1 = S$ のとき、 p_1 はメニューの設定に従う。

$c_1 = C$ のとき、 p_1 は直前の状態が継続される。

- 本指定により設定されたコピー枚数印刷後は、操作パネルで設定されているコピー枚数に戻ります。したがって、本指定で操作パネルにより設定されたコピー枚数は、変化しません。
- コピー処理自体はFF動作時に行われるので、FF動作する前で最後に指定したコピー枚数の値が有効となります。

領域指定イメージ

領域指定イメージ描画の設定

FS i

描画座標を原点として指定された領域にラスターイメージを描画します。

形式

$$FS\ i\ p_1,\ p_2,\ p_3,\ p_4 / p_5,\ p_6 / p_7,\ p_8,\ p_9 . d_1 \dots d_n$$

- p_1 はイメージ領域のXサイズです。
- p_2 はイメージ領域のYサイズです。
- p_3 はデータの形式です。
- p_4 はX方向拡大率の分子です。
- p_5 はX方向拡大率の分母です（省略時は1と同等）。
- p_6 はY方向拡大率の分子です。
- p_7 はY方向拡大率の分母です（省略時は1と同等）。
- p_8 はパターンデータのバイト数です。
- p_9 はイメージデータの解像度を指定します。 p_9 を省略した場合、または規定値以外の数値を指定した場合、解像度は240dpiになります。

p_9	解像度
160	160dpi
200	200dpi
240	240dpi
300	300dpi
400	400dpi
600	600dpi

- $d_1 \sim d_n$ はnバイトのラスターイメージデータ（バイナリー形式）です。

座標指定単位設定

座標指定単位の設定

FS <

面モード時の移動量の基本単位を設定します。

形式

FS < p_1 / p_2 , c_1 .

- p_1 は単位量の分子を表します。
- p_2 は単位量の分母を表します。
- c_1 はインチまたはmmの識別を表します。
- p_1 、 p_2 、 c_1 は下記の値が有効です。

p_1	p_2	c_1	座標指定単位
1	160	i	1/160インチ
1	200		1/200インチ
1	240		1/240インチ
1	400		1/400インチ
1	600		1/600インチ
1	720		1/720インチ
1	1200		1/1200インチ
1	100	m	1/100mm

- 描画座標指定 (FS e)、座標指定罫線 (FS l)、領域指定網かけ (FS s) の領域の大きさ、全点アドレス印刷モード (FS a) の移動量、クリッピング領域指定 (FS #) が、この制御コードで設定された単位で指定されます。
- 領域指定イメージのビットパターンデータは影響を受けません。
- 上記制御コードの後に、この単位設定を実行しても、それまでに設定した座標、大きさ、移動量等は変化しません。
- p_1 が省略された場合は1、 p_2 が省略された場合は240、 c_1 が省略された場合はiとみなされます。
- 本コマンドを再度受信するまでは有効です。
- 以下の場合、単位は1/240インチとなります。

- ① 電源ON時
- ② 操作パネルでリセットが実行されたとき
- ③ ソフトウェアリセットを受けたとき
- ④ インプットプライムを受けたとき

文字セット制御コード

OCR-Bフォントの指定

FS 06F1-004

形式

FS 0 6 F 1 - 0 0 4

1バイト文字としてOCR-Bフォントを選択します。

OCR-Bフォントについて

本プリンターはOCR-Bフォントを内蔵しており、各種アプリケーションから指定して印刷することができますが、ご使用にあたっては以下の点にご注意ください。

- OCR-Bフォントは大きさが限定されています。本プリンターの場合10CPI（12ポイント、パイカサイズ）のみでご使用になれます。それ以外の文字サイズは指定しないでください。また文字の拡大／縮小、ページの拡大／縮小を行うと印刷できません。
- OCR-Bフォントの印刷は本プリンターのNPDLMモードでのみ可能です。またOCR-Bフォントの指定はアプリケーションソフトから行う必要があります。
- WindowsからOCR-Bフォントを使用する場合はいずれかの方法で指定します。
 - アプリケーションのフォント選択で「OCR-Bフォント」を選択します。
このとき画面上は他のフォントを使用して表示されます。なお、文字のサイズは必ず12ポイントを指定してください。またボールド、イタリック（斜体）、アンダーラインなどの文字スタイルを設定しないでください。
 - アプリケーションのフォント選択の中に「OCR-B」というプリンターフォントがない場合は、本プリンタードライバーの「TrueTypeフォントのプリンターフォントへ置き換え」機能を使用して印刷します。
なおOCR-Bフォントに置き換えるフォントは「Courier New」等の固定ピッチの英文フォントで指定してください。また置き換えるフォントによっては文字のピッチがOCR-Bフォントと合わないため、OCR読み取り装置で読み取れないことがあります。特にプロポーショナルフォントには置き換えないでください。和文フォントは置き換えるフォントとして指定できませんが、実際に置き換えることができるのは半角英数文字だけです。
- OCR-Bフォントは、OCR読み取り装置によっては読み取れない場合があります。事前にご確認ください。
- トナーが少なくなり印刷にかすれなどがある場合には、OCR読み取り装置でうまく読み取れない場合があります。
- OCR-Bフォントでは、メモリースイッチ2-1またはフォントメニュー1バイト系ゼロの書体で「0」と設定しても「0」で印刷します。

カスタマーバーコードの印刷

カスタマーバーコード書体の選択

FS Ø6F2

カスタマーバーコードはJANコードなどのバーコードとは異なり、2バイト文字として印刷を行います。このため、カスタマーバーコードの印刷には、まず2バイト文字書体の選択を行う必要があります。

形式

FS Ø 6 F 2 - n_1 n_2 n_3

- n_1 、 n_2 、 n_3 は3桁の文字表現の10進数（‘123’ など）であり、書体番号を示します。但し、例外として‘CLR’（43h 4Ch 52h）のパラメーターは指定可能です。
- 初期状態ではプリンターのメニュー機能による設定が有効となります。
- 本制御コードによる書体選択制御コードにより他の書体が選択されるまで、現在の書体選択が有効です。
- 初期化処理により書体は初期状態に戻ります。

カスタマーバーコードの書体番号を次のように割り当てます。

851：カスタマーバーコード書体（回転なし）
 852：カスタマーバーコード書体（反時計回り90° 回転）
 853：カスタマーバーコード書体（反時計回り180° 回転）
 854：カスタマーバーコード書体（反時計回り270° 回転）
 CLR：初期状態の書体に戻す。（メニュー設定に従う）

- 2桁目の数字‘5’は文字の太さを指定するパラメーターですが、カスタマーバーコード書体の場合は意味を持ちません。
- 8から始まる書体番号において上記に合致しない場合は、カスタマーバーコード書体への切り替えは行わず読み捨てます。その際、書体選択の初期化は行いません。（例：850、861、867）

✓ チェック

- 書体番号851を選択して縦書きで印刷すると書体番号852の印刷結果と等しくなります。同様に書体番号852の縦書きは書体番号853、書体番号853の縦書きは書体番号854、書体番号854の縦書きは書体番号851となります。
- 201PLエミュレーションで使用する場合、「2バイト系文字書体の選択コマンド」は従来サポートされておりましたが、カスタマーバーコード書体選択時のみ、201PLエミュレーションでも有効となります。カスタマーバーコード以外の書体を選択した場合には、「2バイト系文字書体の選択コマンド」は従来どおり無効コマンドとなります。

✓ チェック

バーコードをご使用になる際のご注意

- トナー切れなどにより印刷がかすれたりした場合には、読み取れないことがあります。
- 用紙の拡大／縮小は行わないでください。読み取り装置でバーコードを読み取ることができません。

カスタマーバーコードのキャラクター指定

カスタマーバーコードの21種のキャラクターは次の文字コードを割り当てます。

数字（‘0’～‘9’）	: 2330h～2339h（数字の‘0’～‘9’）
ハイフン	: 215Dh（マイナス記号‘－’）
英字用制御コード（CC1～CC3）	: 2361h～2363h（小文字アルファベットの‘a’～‘c’）
予備用制御コード（CC4～CC8）	: 2364h～2368h（小文字アルファベットの‘d’～‘h’）
スタートコード（STC）	: 2163h（不等号‘<’）
ストップコード（SPC）	: 2164h（不等号‘>’）

上記外の文字コードが指定された場合は全角スペースに置き換えて印刷します。

カスタマーバーコードのサイズの指定

日本郵政公社のカスタマーバーコードの仕様によると、読み取りのためにはバーコードパターンを文字とみなしたときにその大きさを8ポイントから11.5ポイントまでの範囲にする必要があります。（この範囲内で任意の値を指定できます）

一方、プリンターはカスタマーバーコードといえども文字であるため、NPDL2、201PLそれぞれで定義された文字制御に関するすべての機能を有効とします。（例えば、上記範囲から外れる文字サイズ指定や不適切な文字ピッチ指定、拡大・縮小、アンダーライン、文字修飾など）

このため、カスタマーバーコードの印刷を行うアプリケーションは適切な印刷結果が得られるように留意してください。

また、プリンター側の機能で縮小や拡大を指定しての印刷においても適切な印刷結果が得られなくなります。

カスタマーバーコード（キャラクター指定とバーの組み合わせ）

カスタマーバーコードの体系について

（バーの種類とは、ロングバー：1、セミロングバー（上）：2、セミロングバー（下）：3、タイミングバー：4としたもの。）

•数字（‘0’～‘9’）

キャラクター	0	1	2	3	4
文字コード	0 (2330h)	1 (2331h)	2 (2332h)	3 (2333h)	4 (2334h)
カスタマーバーコード					
バー種類	1 4 4	1 1 4	1 3 2	3 1 2	1 2 3

キャラクター	5	6	7	8	9
文字コード	5 (2335h)	6 (2336h)	7 (2337h)	8 (2338h)	9 (2339h)
カスタマーバーコード					
バー種類	1 4 1	3 2 1	2 1 3	2 3 1	4 1 1

•ハイフン

キャラクター	—		
文字コード	— (215Dh)		
カスタマー バーコード			
バー種類	4	1	4

•英字用制御コード

キャラクター	CC1	CC2	CC3
文字コード	a (2361h)	b (2362h)	c (2363h)
カスタマー バーコード			
バー種類	3 2 4	3 4 2	2 3 4

•予備用制御コード

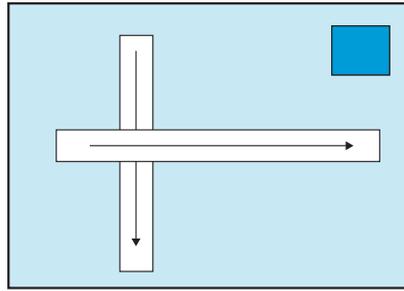
キャラクター	CC4	CC5	CC6	CC7	CC8
文字コード	d (2364h)	e (2365h)	f (2366h)	g (2367h)	h (2368h)
カスタマー バーコード					
バー種類	4 3 2	2 4 3	4 2 3	4 4 1	1 1 1

•スタート/ストップコード

キャラクター	スタート	ストップ
文字コード	< (2163h)	> (2164h)
カスタマー バーコード		
バー種類	1 3	3 1

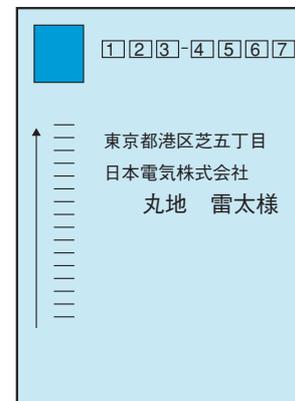
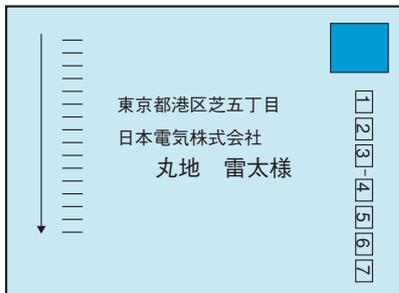
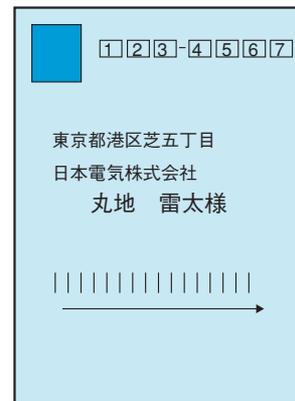
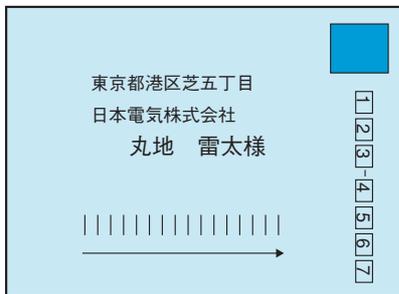
備考（宛名書きとカスタマーバーコードとの関係）

カスタマーバーコードは、封書の切手の位置（はがきの料金印刷部分）を右上に位置付けたときに、下図の示すように上から下、左から右の方向へ印刷されます。

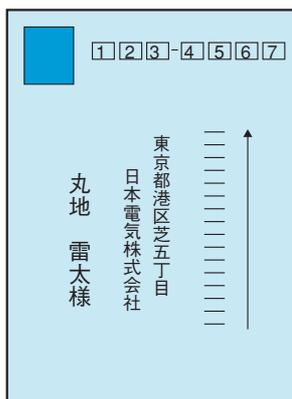


宛名が横書きの場合

日本郵政公社の資料には記載されていない印刷例



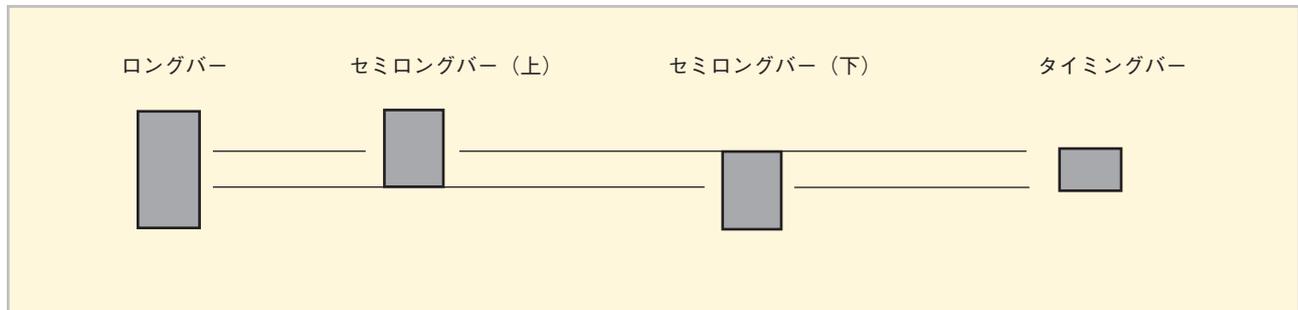
宛名が縦書きの場合



カスタマーバーコードの仕様と注意点

カスタマーバーコードの形状

カスタマーバーコードは、上下にバーを延ばしたロングバー、上方向のみにバーを延ばしたセミロングバー（上）、下方向のみにバーを延ばしたセミロングバー（下）およびタイミングバーの4つの形状のバーを3本組み合わせて1つのキャラクターを表す4ステイト3バーとします。



カスタマーバーコードの寸法

aポイント、8、9、10、11.5ポイントの場合、次表のとおりとして（10ポイントの場合、 $a/10=1$ ）、 $8 \leq a \leq 11.5$ の大きさを許すものとします。

aポイント	比率	基準寸法 (mm)	許容範囲 (mm)
ロングバー長さ	6	$3.6 \times a / 10$	$3.40 \times a / 10 \sim 3.60 \times a / 10$
タイミングバー長さ	2	$1.2 \times a / 10$	$1.05 \times a / 10 \sim 1.35 \times a / 10$
バーピッチ	2	$1.2 \times a / 10$	$0.95 \times a / 10 \sim 1.30 \times a / 10$
バー幅	1	$0.6 \times a / 10$	$0.50 \times a / 10 \sim 0.70 \times a / 10$
バースペース	1	$0.6 \times a / 10$	$0.45 \times a / 10 \sim 0.60 \times a / 10$

$$8 \leq a \leq 11.5$$

8ポイント	比率	基準寸法 (mm)	許容範囲 (mm)
ロングバー長さ	6	2.88	2.72~2.88
タイミングバー長さ	2	0.96	0.84~1.08
バーピッチ	2	0.96	0.76~1.04
バー幅	1	0.48	0.40~0.56
バースペース	1	0.48	0.36~0.48

9ポイント	比率	基準寸法 (mm)	許容範囲 (mm)
ロングバー長さ	6	3.24	3.06~3.24
タイミングバー長さ	2	1.08	0.95~1.22
バーピッチ	2	1.08	0.86~1.20
バー幅	1	0.54	0.45~0.63
バースペース	1	0.54	0.41~0.54

10ポイント	比率	基準寸法 (mm)	許容範囲 (mm)
ロングバー長さ	6	3.60	3.40~3.60
タイミングバー長さ	2	1.20	1.05~1.35
バーピッチ	2	1.20	0.95~1.30
バー幅	1	0.60	0.50~0.70
バースペース	1	0.60	0.45~0.60

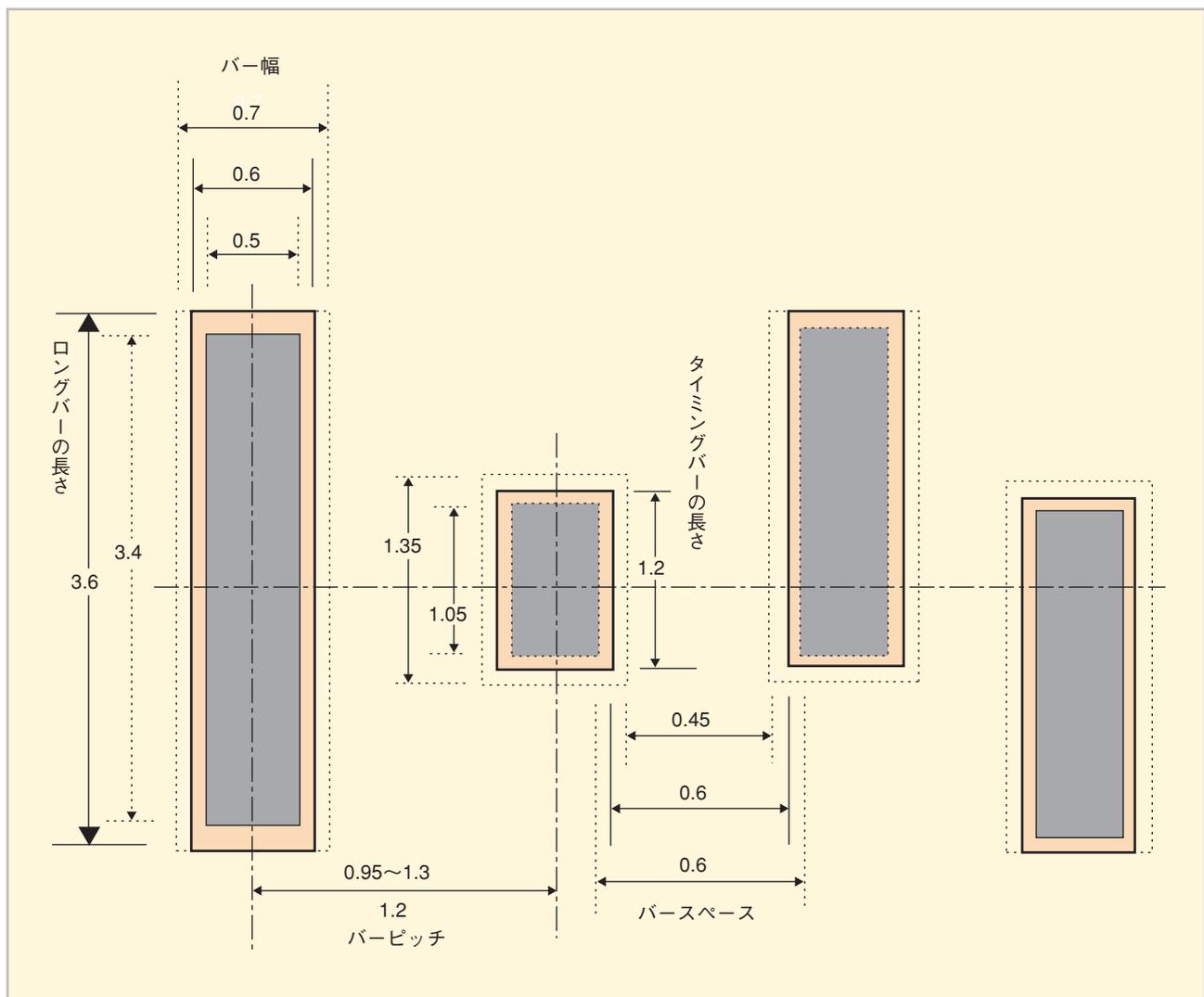
11.5 ポイント	比率	基準寸法 (mm)	許容範囲 (mm)
ロングバー長さ	6	4.14	3.91~4.14
タイミングバー長さ	2	1.38	1.21~1.55
バーピッチ	2	1.38	1.09~1.50
バー幅	1	0.69	0.58~0.81
バースペース	1	0.69	0.52~0.69

(注1) カスタマーバーコードは、すべての規定（ロングバーの長さ、タイミングバーの長さ、バーピッチ、バー幅およびバースペース）が許容範囲に収まらなければなりません。

(注2) 各比率に対して、許容範囲の設定に変更がありますが、これは印刷時のバーの太さ等を考慮したものです。

【例1】 カスタマーバーコードの寸法 (10p相当)

実線で囲まれた範囲は基準寸法示し（数値はゴシック体で表記）、点線で囲まれた範囲は許容範囲を示します。



【例2】ドット割付寸法（参考）

レーザープリンターなどドットマトリックス形式で印刷する場合などは、バーコードの印刷上がりを規定の比率にできるかぎり近づけます。この点を考慮して下記にドット構成の参考を記載します。

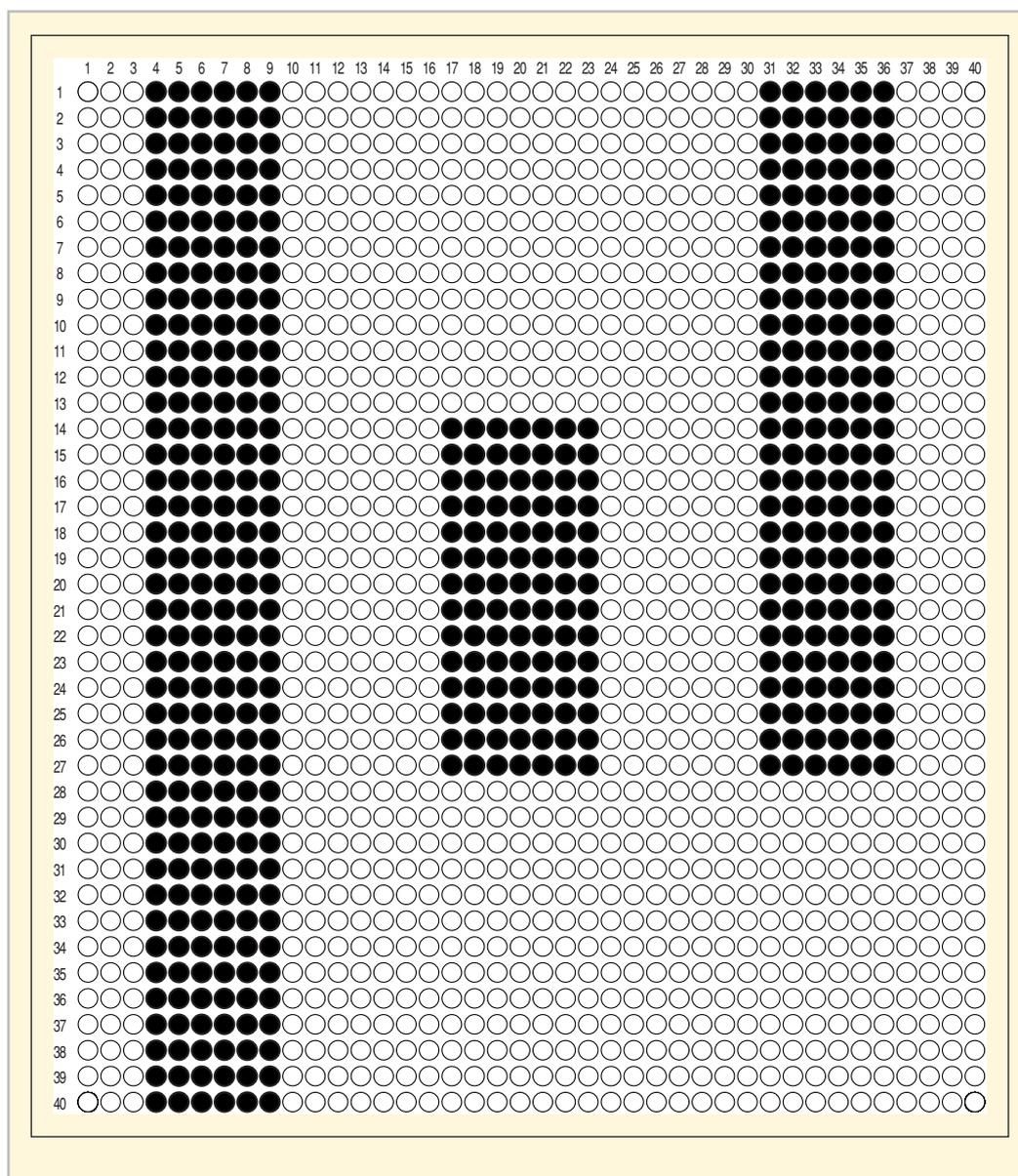
マトリックスサイズ	横 7 分割 W, B, W, B, W, B, W	縦 3 分割 U, M, L
24×24	2, 4, 4, 4, 4, 4, 2	8, 8, 8
30×30	2, 5, 5, 5, 5, 5, 3	10, 10, 10
32×32	3, 5, 5, 5, 6, 5, 3	11, 10, 11
40×40	3, 6, 7, 7, 7, 6, 4	13, 14, 13
60×60	5, 10, 10, 10, 10, 10, 5	20, 20, 20

(B：バー部のドット数、W：空白部のドット数、U：バー上部のドット数、M：タイミングバーのドット数、L：バー下部のドット数)

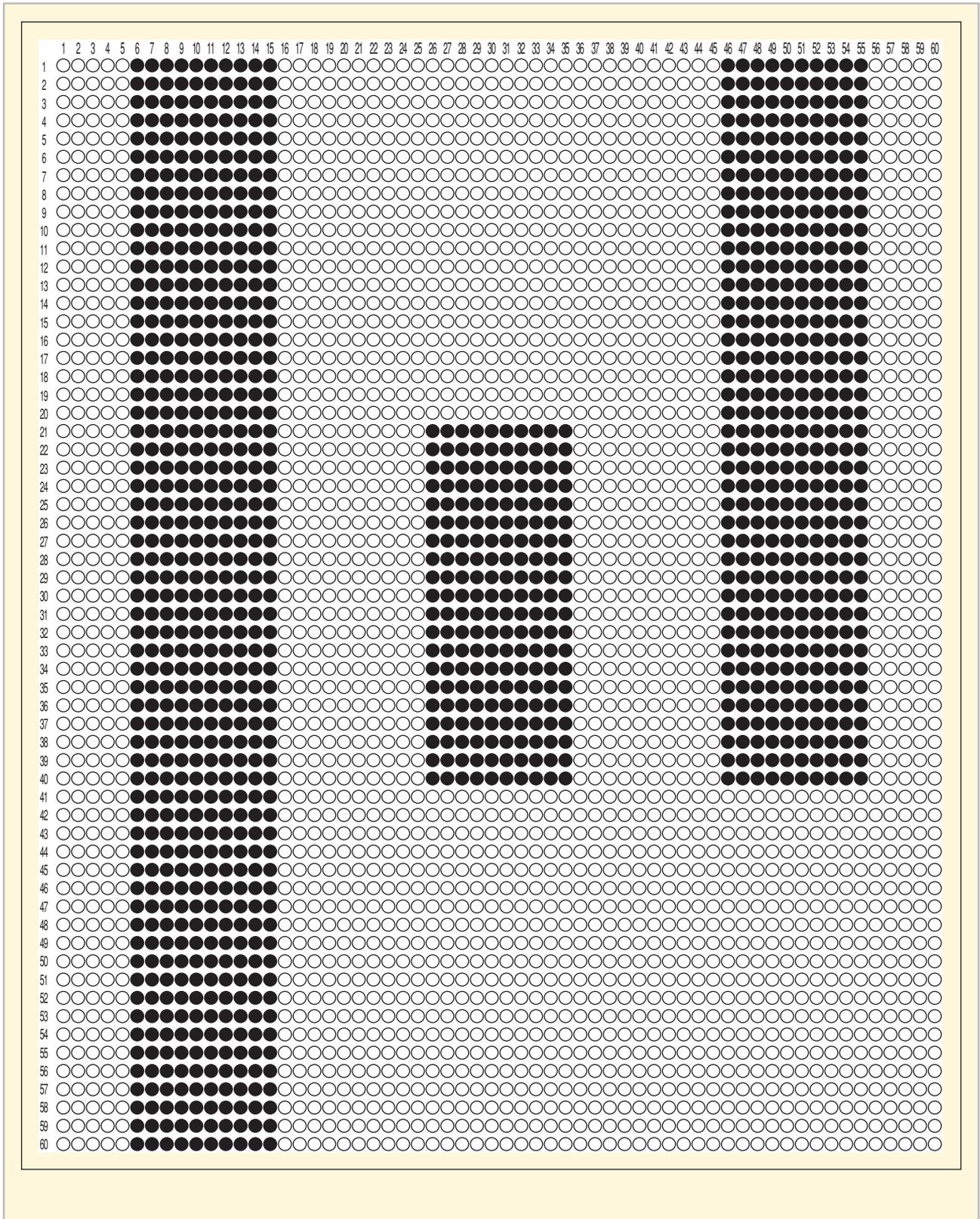
- 上記の表にないマトリックスサイズ（例：48×48等）のドット振り分けは比例的に準じます。

各マトリックスサイズにおけるドットの割付の実際について、次に参考例を示します。

〈参考例1〉 40ドット×40ドットの場合



〈参考例2〉 60ドット×60ドットの場合



カスタマーバーコードのフォーマットおよび桁数

カスタマーバーコードのフォーマットは次のとおりとします。ただし、新郵便番号の3桁目と4桁目の間のハイフンおよび新郵便番号と住所表示番号を連結するハイフンは省くものとします。また、英字1文字は制御コードと数字コードの組み合わせにより表現し、バーコード2桁分として扱います。

フォーマット : スタートコード + 新郵便番号 + 住所表示番号 + チェックデジット + ストップコード
 バーコード桁数 : (1) (7) (13) (1) (1)

住所表示番号が規定の桁数13桁に対して過不足のある場合には、次のように調節します。

13桁を越える場合：

13桁までの住所表示番号をバーコードに変換し、それ以上の情報は含めません。ただし、制御コード+数字コードで表される英字の制御コードが13桁目に当たる場合は、この制御コードに該当するバーコードまで含めるものとします。

13桁に満たない場合：

13桁になるまで制御コードCC4に該当するバーコードで埋めるものとします。

また、チェックデジットは、新郵便番号～住所表示番号に盛り込む情報の各キャラクターをチェック用数字に置き換え、その合計が19の倍数となるように生成します。

各キャラクターのチェック用数字への置き換えは、次のとおりとします。

バーコード用 キャラクター	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	-	CC 1	CC 2	CC 3	CC 4	CC 5	CC 6	CC 7	CC 8
チェック用数字	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18

漢字コード表切り替えのための制御コード

本プリンターは、従来の1978年版のJIS漢字コード表に加えて、1983年版、1990年版の3つの漢字コード表に対応しています。これらをコンピューターから切り替えるために、以下の制御コードを使用します。

漢字コード表の設定

FS 05F2

形式 FS 0 5 F 2 — C₁ C₂

- C₁ C₂で漢字コード表を設定します。

C ₁ C ₂	漢字コード表
00	JIS 1978年版(JIS C6226-1978)
01	JIS 1983年版(JIS X0208-1983)
02	JIS 1990年版(JIS X0208-1990)

- 本プリンターで印刷する文字は、基本的に上記JISに準拠していますが、デザイン処理等の都合により多少字形が異なるものがあります。
- コンピューターが対応していないコード表を選択した場合には、コンピューターのディスプレイと印刷結果の文字が異なる場合があります。

記述例 JIS 1983年版を選択するとき

```
LPRINT CHR$ (&h1C) ;CHR$ (&h30) ;CHR$ (&h35) ;CHR$ (&h46) ;
          CHR$ (&h32) ;CHR$ (&h2D) ;CHR$ (&h30) ;CHR$ (&h31) ;
または
LPRINT CHR$ (28) ;"05F2-01";
```

フィニッシャー制御コード

フィニッシャー制御コード

FS %

NPDLコマンドでのフィニッシャー制御として以下のモード設定・解除と実行指示を行うものです。

- ・ オフセット排紙（フィニッシャーでのオフセット排紙はフィニッシャー装着時のみ有効）
- ・ JOB終了（オフセット排紙実行指示、モード解除）

オフセット排紙については、4章の「仕分け印刷」（194ページ）を参照してください。

形式

$$FS \% C_1, P_1, P_2, .$$

パラメーター

- ・ C_1 はフィニッシャー機能モードの設定
- ・ P_1 は使用グループ番号の設定
- ・ P_2 は実行するフィニッシャー機能の設定
- ・ C_1 によりフィニッシャーの制御モードを設定します。

C_1	制御モード
B	排出先
J	オフセット排紙
E	JOB終了（オフセット排紙実行）

- ・ P_1 は、使用するグループ番号を指定します。本プリンターでは1固定ですので、1を設定してください。
- ・ P_2 は C_1 の設定によっては以下のように機能します。

C_1	P_1 制の機能
B	排出先
J	無効
E	無効

- ・ $C_1=B$ （排出先）が指定されたときの P_2 で指定された機能は、以下のとおりです。

P_2	排紙先	
	排紙トレイ接続時	フィニッシャー接続時
1	排紙トレイにフェースダウン排紙	トップトレイにフェースダウン排紙
2	無効	スタックカートレーにフェースダウン排紙
3	排紙トレイにフェースアップ排紙	トップトレイにフェースアップ排紙

- ・ $C_1=J$ が指定されると、ジョブ毎のオフセット排紙を行います。
- ・ $C_1=E$ （JOB終了）が指定されたときの P_2 で指定された機能は、以下のとおりです。
 - ー オフセット排紙を行っている場合、オフセット排紙（用紙排出位置の左右シフト）を行います。
 - ー 設定されたオフセット排紙、排出先を初期値に戻します。ここで設定値がクリアされます。したがって、オフセット排紙などの実行毎に本制御コードの指定を行ってください。

【制御コード使用シーケンス】

発行順	データ構成	補足
1	FS% オフセット排紙 FS% 排出先	データ構成の順番は任意
2	FS' (片面/両面印刷)	
3	FS' (用紙選択)	
4	印刷データ	
5	最終ページCR (復帰)	
6	最終ページFF (改頁)	対でなければならない*
7	FS%E. (JOB終了指定モードはリセット)	

以降は、再度FS%指定から行う。

* FF (改頁) とFS%制御コードを必ず対として使用してください。対とならない場合は、オフセット排紙機能は動作しません。また、FF (改頁) のみで印刷データが終わってしまうと印刷は停止してしまいます。

【特記事項】

- 本制御コードを受けた場合、現在ページに既に印刷データがある倍は改頁を行い、以前のページを排出した後で本指定に従った印刷を開始します。
- 本制御コードは、ページの先頭で使用してください。ページの先頭以外で使用した場合、印刷データがある場合は排出し、印刷位置はページの先頭 (TOF) 位置となります。

図形の描画コード

楕円の描画

EL

現在の座標位置を中心に楕円を描画します。従来のELコマンドに加え、楕円の回転を可能にしています。これにより斜楕円の描画を行えます。

形式

`EL r1, r2, θ ;`

- r_1 は楕円の長軸を、 r_2 は楕円の短軸を示します。
- θ は楕円の回転角度を示します。 θ は省略した場合 0° とみなします。
- $\theta=360$ 以上を指定した場合、360の剰余とみなします。また θ は負の値も設定可能です。たとえば -1° は 359° とみなします。
- 回転の方向は反時計回りです。
- r_1 、 r_2 は線幅の1/2以下でなければなりません。
- r_1 、 r_2 は下記の値以下でなければなりません。
400dpiで印刷する場合： 32767-400=32367 (約2055mm)
600dpiで印刷する場合： 32767-600=32167 (約1362mm)

記述例

長軸方向1000、短軸方向500の楕円を 30° 回転させて描画するとき

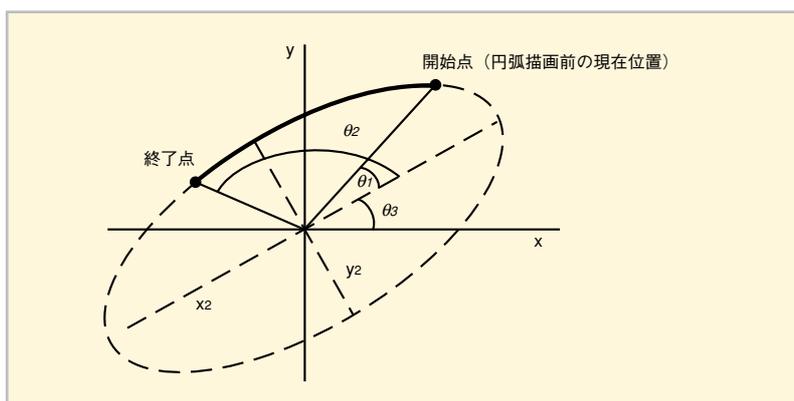
```
LPRINT CHR$ (&h45) ;CHR$ (&h4C) ;"1000, 500, 30;" ;
または
LPRINT "EL1000, 500, 30;" ;
```

楕円弧の描画

ED, EN

楕円弧を描きます（直線がはじめに引かれる場合があります）。

形式

`ED x1, y1, x2, y2, θ1, θ2, θ3 ;`
`EN x1, y1, x2, y2, θ1, θ2, θ3 ;`


- (x_1, y_1) は楕円の中心座標を示します。
- x_2 と y_2 はそれぞれx軸方向、y軸方向の長短軸の半径を示します。
- θ_1 と θ_2 はそれぞれ楕円弧の開始角度、終了角度を示します。0~359（度単位）が有効です。 θ_2 が省略された場合、欠けていない楕円を描画します。 θ_1 は省略できません。
- θ_3 は楕円弧の回転角度を示します。 θ_3 で示された角度だけ、楕円そのものと楕円の開始、終了角度が回転します。
 θ_3 が省略された場合、回転なしと解釈されます。
- 楕円の開始角度で示される開始点が現在位置と異なる場合、現在位置から楕円の開始位置まで直線が描画されます。欠けていない楕円の場合も同様です。

- 楕円描画後の現在位置は楕円弧の終了位置になります。
- EDコマンドの楕円弧の描画方向は、座標系コマンド (RC、RO) の設定に関わらず常に反時計回りになります。ENコマンドは常に時計回りに描画します。
- 指定角度が360を越えている場合は360で割った余りが使用されます。
- 指定角度に負の数を使用することができます。-1は359とみなします。

記述例

長中心点 (100,100)、軸方向1000、短軸方向500で、開始角度15°、終了角度120°の楕円弧を反時計方向に30°回転させて描画するとき

```
LPRINT "ED100,100,1000,500,15,120,30;"
```

✓ チェック

従来は楕円を回転 (傾斜) させることができませんでしたが、EL、ED、ENの各コマンドに楕円の角度を指定するパラメーターが追加され、任意の角度に回転させることができるようになりました。

自由曲線の描画 (絶対座標モード)

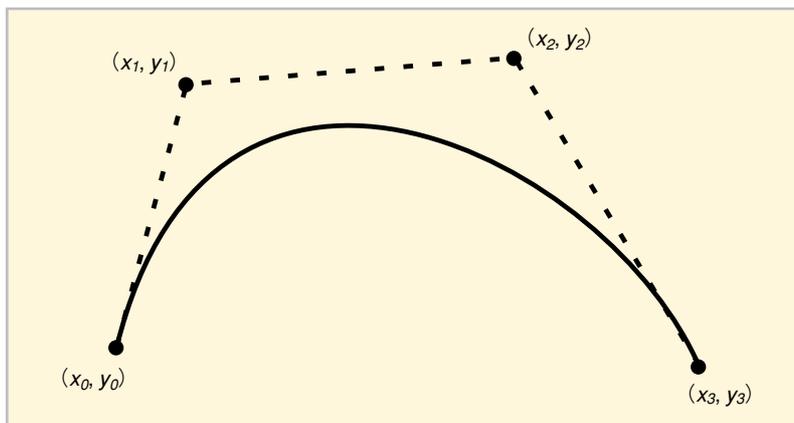
BA

曲線を絶対座標モードで描画します。

形式

```
B A X1, Y1, X2, Y2, X3, Y3 ... Xn, Yn ;
```

- 現在の座標を (x_0, y_0) として (x_0, y_0) 、 (x_1, y_1) 、 (x_2, y_2) 、 (x_3, y_3) の4点を制御点とする3次ベジエ曲線を描画します。
- 座標点を続けて記述することにより、複数の3次ベジエ曲線を続けて描画します。2つ目以降の曲線の最初の制御点は、その前の最後の制御点が用いられます。3つ目の座標に対して一つの曲線を描画するので、座標の数は必ず3の倍数にしてください。
- 本コマンドにより描画モードは絶対座標モードになります。
- 本コマンドは、バス構築モード中 (コマンドNP指定後) でも有効です。
- 描画後、現在位置は最後に描画した曲線の終点に移動します。



記述例

現在の座標位置から (x_1, y_1) 、 (x_2, y_2) 、 (x_3, y_3) を結ぶ曲線を描画するとき

```
LPRINT CHR$ (&h42) ;CHR$ (&h41) ;"X1, Y1, X2, Y2, X3, Y3;" ;
または
LPRINT "BA X1, Y1, X2, Y2, X3, Y3;" ;
```

自由曲線の描画 (相対座標モード)

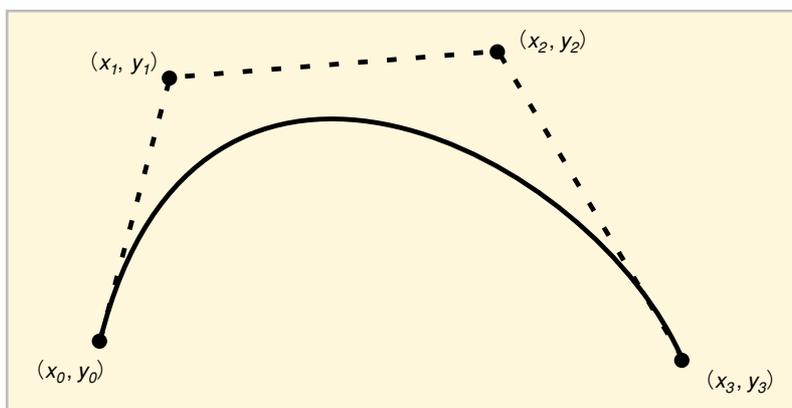
BR

曲線を相対座標モードで描画します。

形式

`BR X1, Y1, X2, Y2, X3, Y3 ... , Xn, Yn ;`

- 現在の座標を (x_0, y_0) として (x_0, y_0) 、 (x_1, y_1) 、 (x_2, y_2) 、 (x_3, y_3) の4点を制御点とする3次ベジエ曲線を描画します。



- 座標点を続けて記述することにより、複数の3次ベジエ曲線を続けて描画します。2つ目以降の曲線の最初の制御点は、その前の最後の制御点が用いられます。3つ目の座標に対して一つの曲線を描画するので、座標の数は必ず3の倍数にしてください。
- 本コマンドにより描画モードは相対座標モードになります。
- 本コマンドは、パス構築モード中（コマンドNP指定後）でも有効です。
- 描画後、現在位置は最後に描画した曲線の終点に移動します。

記述例

現在の座標位置から (x_1, y_1) 、 (x_2, y_2) 、 (x_3, y_3) を結ぶ曲線を描画するとき

```
LPRINT CHR$ (&h42) ;CHR$ (&h52) ;"X1, Y1, X2, Y2, X3, Y3;"
```

または

```
LPRINT "BR X1, Y1, X2, Y2, X3, Y3;"
```

プリンター単位指定

プリンター単位の設定

SU

図形モードのプリンター単位を設定します。

形式 `S U n_1 , n_2 , n_3 ;`

- n_1 、 n_2 、 n_3 でプリンター単位を設定します。

n_1, n_2, n_3	プリンター単位
1,160,0	1/160インチ
1,200,0	1/200インチ
1,240,0	1/240インチ
1,400,0	1/400インチ
1,600,0	1/600インチ
1,1200,0	1/1200インチ
1,720,0	1/720インチ
1,100,0	1/100ミリ

- プリンター単位の初期設定は1/240インチです。初期化動作（電源ON、操作パネルのリセット操作、リセットコマンド他）およびイニシャライズ（IN）制御コードにより1/240インチに初期化されます。
- プリンター単位設定により初期化が実行されます。
- 上記以外の組み合わせは無効です。
- パラメーターを省略することはできません。省略した場合、コマンドは無効となります。

塗りつぶしに関する設定

グレーレベルパターンの設定

SG

フィル描画 (FL, EL) や閉領域塗りつぶし描画 (PI) で使用する塗りつぶしパターンを明度で設定します。

SGは形式、パラメーターの指定範囲とも従来と同じですが、本プリンターでは64階調で表現しています。これにより従来よりも細かな明度表現が可能となります。

形式

`SG n1 , n2 ;`

- n_1 、 n_2 は明度を示します。

パラメーター	用途	明度
n_1	面分描画で使用	0~100
n_2	線分描画で使用	0~100

- n_1 、 n_2 の設定範囲は0 (黒ベタ) から100 (白) までです。(初期値は0です。)
- n_1 、 n_2 とも省略すると本コマンド以前の内容が保存されます。
- 本コマンドでの設定は以下の①~④まで有効です。

- ① 初期化動作 (電源ON、リセット動作など)
- ② イニシャライズコマンド (IN) の実行
- ③ 初期化を伴うコマンド (RC、SU、DF) の実行
- ④ 塗りつぶしパターン選択 (PP) の実行

- 塗りつぶしパターン選択コマンド (PP) が実行された場合、そのコマンドで指定されたパターンが選択されます。
- 線パターンとして黒ベタ以外を設定した場合、一般に線描画で閉領域が構成できないため閉領域塗りつぶし (PI) の使用は避けること。
- グレーの実現レベルはプリンター機種ならびに解像度に依存します。
- スクリーン角度は45° です。
- パラメーターを省略したとき、いずれか一方でもパラメーターを設定範囲外に指定した時は本コマンドは無効です。
- パラメーター値とパターンの関係は以下のとおりです。パターン番号は小数点第1位を四捨五入した値です。

パターン番号 = パラメーター × 63/100

(例) パラメーターで70を指定するとき
 $70 \times 63/100 = 44.1$
 選択されるパターンはパターン番号44となります。

記述例

面分描画での明度を50、線分描画での明度を0 (黒) に設定するとき

```
LPRINT CHR$ (&h53) ;CHR$ (&h47) ;"50,0";
または
LPRINT "SG 50,0";
```

楕円弧描画

楕円弧の描画

AV

矩形領域に内接する楕円弧を描画します。

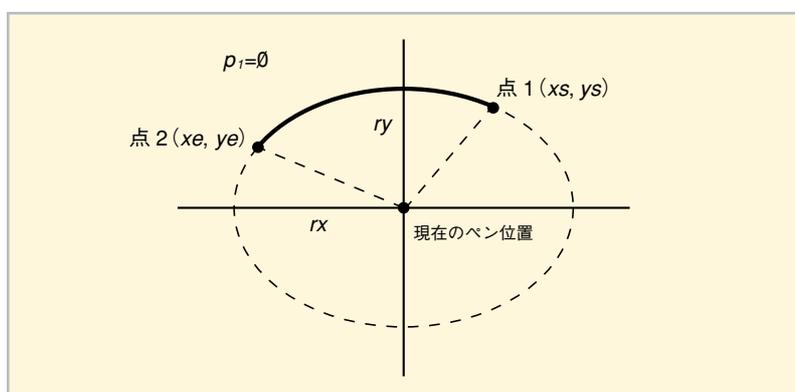
形式

`A V rx , ry , xs , ys , xe , ye , p1 ;`

パラメーター

- ① rx x半径
- ② ry y半径
- ③ xs 点1のx座標 (絶対座標)
- ④ ys 点1のy座標 (絶対座標)
- ⑤ xe 点2のx座標 (絶対座標)
- ⑥ ye 点2のy座標 (絶対座標)
- ⑦ p_1 描画方向 (省略可)

- 現在のペン位置を中心とする半径 rx 、 ry の楕円と、中心と点1 (xs 、 ys) を結ぶ直線との交点を開始点とし、中心と点2 (xe 、 ye) を結ぶ直線との交点を終了点とする楕円弧を描画方向に従い描画します。
- $p_1=0$ の時、反時計回り
- $p_1=1$ の時、時計回り
- 省略時は反時計回りになります。
- p_1 に0、1以外の値が指定された時、コマンドは無効になります。
- 求めた開始点と終了点と同じ場合、楕円を描画します。
- 求めた開始点あるいは終了点が中心点と同じ場合、楕円弧を描画しません。
- 点1、点2の座標(プリンター座標系)が-32768~32767の範囲内でないとき、コマンドは無効になります。
- 半径がマイナスの時、あるいは32767-(解像度)より大きいとき、コマンドは無効になります。
- 線幅/2 > 半径の場合は、線幅/2 = 半径になるように線幅を丸めます。



記述例

現在のペン位置を中心とする半径 rx 、 ry の楕円に対して、中心と点1を結ぶ直線との交点を開始点とし、中心と点2を結ぶ直線との交点を終了点とする楕円弧を描画するとき

```
LPRINT CHR$ (&h41) ; CHR$ (&h56) ; rx, ry, xs, ys, xe, ye, p1 ; "
```

または

```
LPRINT " AV rx, ry, xs, ys, xe, ye, p1 ; " ; "
```

弓形描画

弓形の描画

CV

矩形領域に内接する楕円弧を基に弓形を描画します。

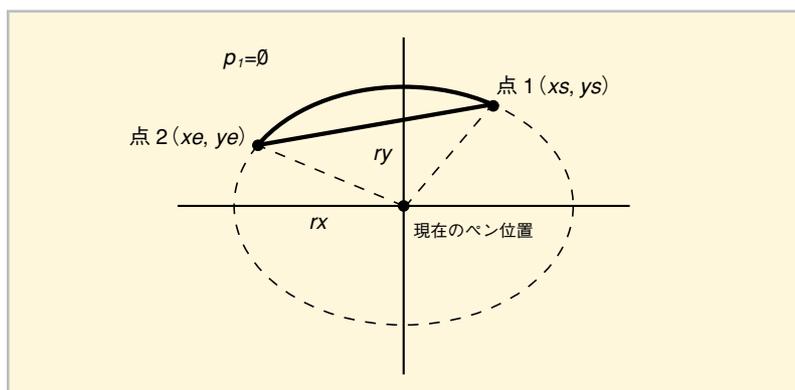
形式

`C V rx , ry , xs , ys , xe , ye , p1 , p2 ;`

パラメーター

- ① rx.....x半径
- ② ry.....y半径
- ③ xs.....点1のx座標（絶対座標）
- ④ ys.....点1のy座標（絶対座標）
- ⑤ xe.....点2のx座標（絶対座標）
- ⑥ ye.....点2のy座標（絶対座標）
- ⑦ p₁.....描画モード
- ⑧ p₂.....描画方向（省略可）

- 現在のペン位置を中心とする半径rx、ryの楕円と、中心と点1（xs、ys）を結ぶ直線との交点を開始点とし、中心と点2（xe、ye）を結ぶ直線との交点を終了点とする楕円弧を基に弓形を描画します。
- p₁=0の時、輪郭のみ（線種パターンに従って描画する。）
- p₁=1の時、塗りつぶしのみ
- p₁=2の時、輪郭+塗りつぶし
- p₁に0、1、2以外の値が指定されたとき、コマンドは無効になります。
- p₂=0の時、反時計回り。
- p₂=1の時、時計回り。
- 省略時は反時計回りになります。
- p₂に0、1以外の値が指定された時、コマンドは無効になります。
- 求めた開始点と終了点と同じ場合、楕円を描画します。
- 求めた開始点あるいは終了点が矩形領域の中心と同じ場合、弓形を描画しません。
- 点1、点2の座標（プリンター座標系）が-32768~32767の範囲内でないとき、コマンドは無効になります。
- 半径がマイナスの時、あるいは32767-（解像度）より大きいとき、コマンドは無効になります。
- 線幅/2>半径の場合は、線幅/2=半径になるように線幅を丸めます。



記述例

現在のペン位置を中心とする半径rx、ryの楕円に対して、中心と点1を結ぶ直線との交点を開始点とし、中心と点2を結ぶ直線との交点を終了点とする弓形を描画するとき

```
LPRINT CHR$ (&h43) ; CHR$ (&h56) ; " rx, ry, xs, ys, xe, ye, p1, p2; ";
または
LPRINT "CV rx, ry, xs, ys, xe, ye, p1, p2; ";
```

扇形描画

扇形の描画

FV

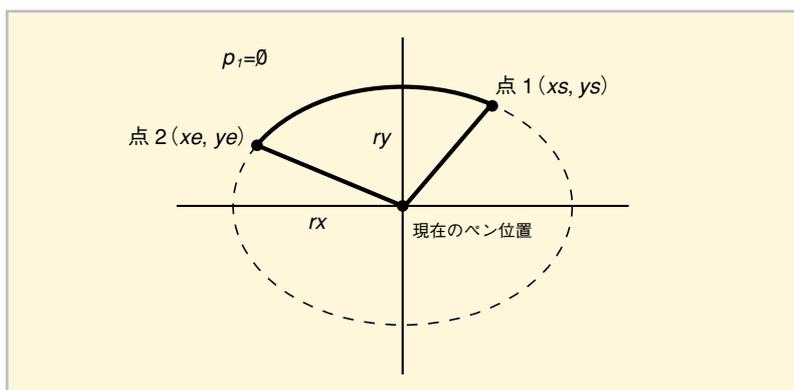
矩形領域に内接する楕円弧を基に扇形を描画します。

形式 `F V rx , ry , xs , ys , xe , ye , p1 , p2 ;`

パラメーター

- ① rxx半径
- ② ryy半径
- ③ xs点1のx座標 (絶対座標)
- ④ ys点1のy座標 (絶対座標)
- ⑤ xe点2のx座標 (絶対座標)
- ⑥ ye点2のy座標 (絶対座標)
- ⑦ p_1描画モード
- ⑧ p_2描画方向 (省略可)

- 現在のペン位置を中心とする半径 rx 、 ry の楕円と、中心と点1 (xs 、 ys) を結ぶ直線との交点を開始点とし、中心と点2 (xe 、 ye) を結ぶ直線との交点を終了点とする楕円弧を基に扇形を描画します。
- $p_1=0$ の時、輪郭のみ (線種パターンに従って描画します。)
- $p_1=1$ の時、塗りつぶしのみ
- $p_1=2$ の時、輪郭+塗りつぶし
- p_1 に0、1、2以外の値が指定されたとき、コマンドは無効になります。
- $p_2=0$ の時、反時計回り。
- $p_2=1$ の時、時計回り。
- 省略時は反時計回りになります。
- p_2 に0、1以外の値が指定された時、コマンドは無効になります。
- 求めた開始点と終了点と同じ場合、楕円を描画します。
- 求めた開始点あるいは終了点が矩形領域の中心と同じ場合、扇形を描画しません。
- 点1、点2の座標 (プリンター座標系) が-32768~32767の範囲内でないとき、コマンドは無効になります。
- 半径がマイナスの時、あるいは32767- (解像度) より大きいとき、コマンドは無効になります。
- 線幅/2 > 半径の場合は、線幅/2 = 半径になるように線幅を丸めます。



- 記述例** 現在のペン位置を中心とする半径 rx 、 ry の楕円に対して、中心と点1を結ぶ直線との交点を開始点とし、中心と点2を結ぶ直線との交点を終了点とする扇形を描画するとき

```
LPRINT CHR$ (&h46) ; CHR$ (&h56) ; " rx, ry, xs, ys, xe, ye, p1, p2; ";
または
LPRINT "FV rx, ry, xs, ys, xe, ye, p1, p2; ";
```

角丸矩形描画

角丸矩形の描画

RB

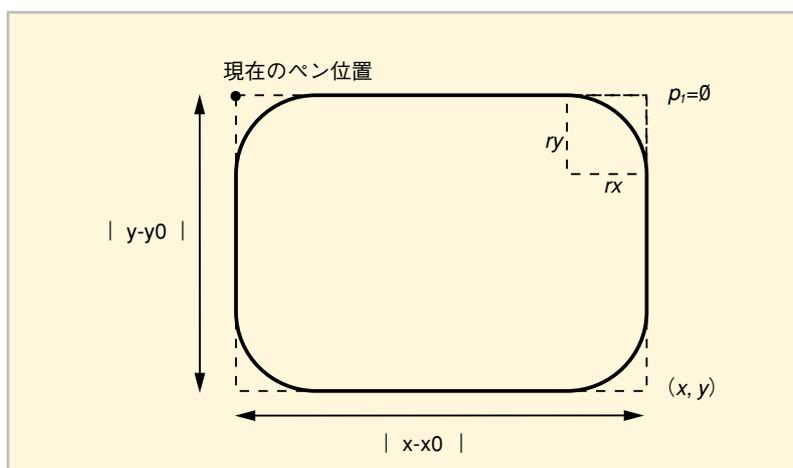
指定された2点を基に角丸矩形を描画します。

形式 `RB x, y, rx, ry, p1 ;`

パラメーター

- ① x 矩形の対角の x 座標（絶対座標）
- ② y 矩形の対角の y 座標（絶対座標）
- ③ rx 角丸の x 半径
- ④ ry 角丸の y 半径
- ⑤ p_1 描画モード

- 現在のペン位置から x 、 y で示される矩形の角に半径 rx 、 ry の1/4楕円を描画します。
- $p_1=0$ の時、輪郭のみ（線種パターンに従って描画します。）
- $p_1=1$ の時、塗りつぶしのみ
- $p_1=2$ の時、輪郭+塗りつぶし
- p_1 に0、1、2以外の値が指定されたとき、コマンドは無効になります。
- $|x-x_0| > 2 \times rx$ かつ $|y-y_0| > 2 \times ry$ のとき角丸めを行い、それ以外は角丸めを行いません。
- x 、 y 半径が32767 - 解像度を超える場合は、32767 - 解像度に丸める。
- 対角点の座標（プリンター座標系）が-32768~32767の範囲内でないとき、コマンドは無効になります。
- 線幅/2 > 半径の場合は、線幅/2 = 半径になるように線幅を丸めます。



記述例 現在のペン位置から x 、 y で示される矩形に半径 rx 、 ry の角丸矩形を描画するとき

```
LPRINT CHR$ (&h52) ; CHR$ (&h42) ; " x, y, rx, ry, p1; ";
または
LPRINT " RB x, y, rx, ry, p1; ";
```

ディスプレイ表示一覧

ディスプレイの表示の一覧を以下の表に示します。

表示の種類	表示	表示の意味
給紙方法に関する表示	ホッパ1 XXX XXX	上から1段目のホッパーからの給紙を選択しています。
	ホッパ2 XXX XXX	上から2段目のホッパーからの給紙を選択しています。
	ホッパ3 XXX XXX	上から3段目のホッパーからの給紙を選択しています。
	ホッパ4 XXX XXX	上から4段目のホッパーからの給紙を選択しています。
	ホッパ5 XXX XXX	大容量ホッパーからの給紙を選択しています。
	トレー XXX XXX	トレーからの給紙を選択しています。
用紙サイズに関する表示	XXX A3タテ XXX	A3（縦置き）を選択しています。
	XXX B4タテ XXX	B4（縦置き）を選択しています。
	XXX B5タテ XXX	B5（縦置き）を選択しています。
	XXX B5ヨコ XXX	B5（横置き）を選択しています。
	XXX A5タテ XXX	A5（縦置き）を選択しています。
	XXX LTタテ XXX	レター（縦置き）を選択しています。
	XXX LTヨコ XXX	レター（横置き）を選択しています。
	XXX ハガキ XXX	はがき（縦置き）を選択しています（トレー使用時）。
	XXX A4タテ XXX	A4（縦置き）を選択しています。
	XXX A4ヨコ XXX	A4（横置き）を選択しています。
	XXX ハガキ2 XXX	往復はがき（横置き）を選択しています（トレー使用時）。
	XXX テイケイガイ XXX	定形外用紙を選択しています（ホッパー2～4/トレー使用時）。
通常表示	XXX A4→A3 XXX	A4サイズのデータをA3の用紙に印刷する拡大モードを選択しています。
	XXX B4→A3 XXX	B4サイズのデータをA3の用紙に印刷する拡大モードを選択しています。
	XXX A3→B4 XXX	A3サイズのデータをB4の用紙に印刷する縮小モードを選択しています。
	XXX LP→B4 XXX	帳票サイズのデータをB4の用紙に印刷する縮小モードを選択しています。
	XXX A4→B4 XXX	A4サイズのデータをB4の用紙に印刷する拡大モードを選択しています。
	XXX B5→B4 XXX	B5サイズのデータをB4の用紙に印刷する拡大モードを選択しています。
	XXX A3→A4 XXX	A3サイズのデータをA4の用紙に印刷する縮小モードを選択しています。
	XXX B4→A4 XXX	B4サイズのデータをA4の用紙に印刷する縮小モードを選択しています。
	XXX LP→A4 XXX	帳票サイズのデータをA4の用紙に印刷する縮小モードを選択しています。
	XXX A4 × 2 XXX	A4サイズ2ページ分のデータをA4サイズの用紙に印刷する縮小モードを選択しています。
	XXX B4→B5 XXX	B4サイズのデータをB5サイズの用紙に印刷する縮小モードを選択しています。
	XXX A4→B5 XXX	A4サイズのデータをB5サイズの用紙に印刷する縮小モードを選択しています。
	XXX B5 × 2 XXX	B5サイズ2ページ分のデータをB5サイズの用紙に印刷する縮小モードを選択しています。
	XXX B5→A4 XXX	B5サイズのデータをA4サイズの用紙に印刷する拡大モードを選択しています。
	用紙の種類に関する表示	フツウシ XXX XXX
アツガミX XXX XXXX		厚紙を選択しています。「アツガミX」のXの箇所に厚紙のレベルの1、2が表示されます。
ラベルシ XXX XXX		ラベル紙を選択しています。
OHP XXX XXX		OHPシートを選択しています。
アイシ XXX XXX		合紙を選択しています。
動作モードに関する表示	XXX XXX NPDL	動作モードにNPDLモードを選択しています。
	XXX XXX ESC/P	動作モードにESC/Pモードを選択しています。

表示の種類	表示	表示の意味
ステータス表示	コピー XXX マイ	コピー枚数がXXX枚に設定されています。コピー枚数はメニューモードで最大99枚まで設定できます。この表示は、コピー枚数をメニューモードで2枚以上に設定したときに、給紙方法・用紙サイズ・印刷方向（例：“ホッパA4ポート”）の表示と交互に表示されます。コピー枚数が1枚（オリジナルのみ）の場合には表示されません。
	イニシャライズチュウ	電源投入時のイニシャライズを実行中です。
	ウォームアップチュウ	ウォームアップ中です。
	ジュシンチュウ	データを受信中です。
	セツデンチュウ	節電中です。
	トナーホキウチュウ	トナーの補給を行っています。
	クリーニングチュウ	フューザーユニットのクリーニングを行っています。
	ショリチュウ	データ処理を実行中です。データ処理が終了し、用紙が排出可能となるまで表示されます。
	インサツチュウ	印刷中です。用紙が排出されるまで、表示されます。
	テストインサツチュウ	テスト印刷を実行中です。
	データガノコッテイマス	未印刷データがプリンター内に残っています。
	16シンドンプチュウ	16進ダンブ印刷を実行中です。
	リセットジッコウ	リセット中です。
	トナーザンショウ	トナーの残量が少なくなってきました。
	ドラムジュミョウ XXXXX	ドラムカートリッジの寿命が近づいてきています。XXXXXの箇所に「ハイトナー」と表示した場合は、廃トナーが一杯に近づいてきたことによるドラムカートリッジの寿命を示します。
クリーナージュミョウ	クリーニングカートリッジの寿命が近づいてきています。	
ヨウシナシ ホッパX	グループ設定しているホッパーの用紙がありません。「ホッパX」のXの箇所に用紙がないホッパーが表示されます。グループ設定しているホッパーから印刷中のみ表示されます。	
アラーム表示	ホッパX XX ホキウ ホッパX テイケイガイ ホキウ テサシ XX セット	用紙がなくなりました。または印刷フォーマットで指定されたサイズの用紙がありません。「ホッパX」のXの箇所に選択しているホッパー番号が表示されます。XXの箇所に用紙サイズが表示されます。定形外の時はサイズ箇所がテイケイガイになります。
	ホッパX オープン	ホッパーがセットされていません。Xの箇所にセットされていないホッパーが表示されます。
	72 カバーオープン XXXX	カバーが開いています。Xの箇所に開いているカバーが表示されます。
	74 カミツマリ ホンタイ XXXX	プリンター本体で紙づまりが発生しています。Xの箇所には紙づまりが発生している箇所のみ表示されます。
	74 カミツマリ ホッパ5 トップカバー	大容量ホッパーのトップカバー部で紙づまりが発生しています。
	74 カミツマリ ホッパX	ホッパー一部で紙づまりが発生しています。Xの箇所に発生した給紙位置が表示されます。
	74 カミツマリ フィニッシャ XXXXX	フィニッシャーで紙づまりが発生しています。Xの箇所には紙づまりが発生している箇所が表示されます。
	75 ヨウシサイズエラー XXX テンシャキ	指定されているサイズと異なる用紙がセットされています。Xの箇所に発生した給紙場所が表示されます。「テンシャキ」は用紙がつまっている位置を示しています。
	76 トナーナシ カートリッジコウカン	トナーカートリッジの交換時期です。
	77 テイケイホシュ	定期保守（定着器などの交換）の必要な時期です。
	80 ユニットジュミョウ ドラム XXXXX	ドラムカートリッジの交換時期です。XXXXXの箇所に「ハイトナー」と表示した場合は、廃トナーが一杯になったことによるドラムカートリッジのユニット寿命を示します。
	80 ユニットジュミョウ クリーナー	クリーニングカートリッジの交換時期です。
	81 ユニットナシ ゲンゾウキ	現像器が取り付けられていません。
	81 ユニットナシ ドラム	ドラムカートリッジが取り付けられていません。
	81 ユニットナシ クリーナー	クリーニングカートリッジが取り付けられていません。
	82 セットフリョウ	フィニッシャーのスタックカートレー下部の放置物を取り除いてください。
	83 ヨウシピックミス XXX	用紙ピックミスが発生しています。Xの箇所に紙づまりが発生した給紙位置が表示されます。
	84 フォーム オーバー XXX	フォーム登録に必要なメモリーが不足しています。

表示の種類	表示	表示の意味
アラーム表示	85 スタックフル トップトレイ	フィニッシャーのトップトレイに規定枚数を超える枚数の用紙が排出されています。
	85 スタックフル スタックトレイ	フィニッシャーのスタックカートレイに規定枚数を超える枚数の用紙が排出されています。
	88 ドラムタイプチガイ カートリッジコウカン	ドラムカートリッジのタイプが違います。
	89 トレーミソウチャク	トレイが取り付けられていません。
	その他の表示	障害が発生しています。
メニュー表示	メニュー表示は、メニューモードを使用しているときに表示されます。メニュー表示については「7章 メニューモード」(263ページ)をご覧ください。	
下段表示	XXXカクニン	セットされている用紙の種類が異なります。

テスト印刷のプリント結果

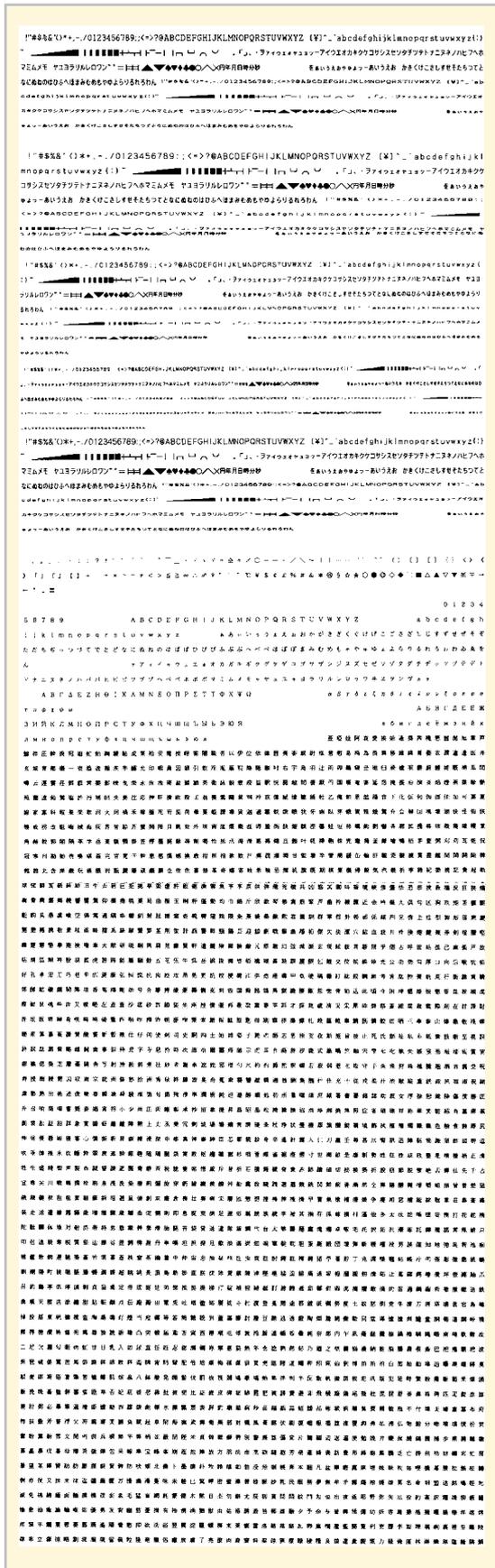
次にテスト印刷とステータス印刷のプリント結果例を示します。プリント結果はA4サイズ of 用紙に印刷したものを33%に縮小しました。

テスト印刷

テスト印刷では、1バイト系標準、イタリック、クーリエ、ゴシックの4フォントと、各フォントのパイカ文字、エリート文字、コンデンス文字、プロポーショナル文字、2バイト系明朝体の7ポイントの第一水準漢字のすべて、第二水準漢字の一部分と2バイト系明朝体の10.5ポイントの第一水準漢字のすべて、第二水準漢字の一部分を順次印刷します。



- ←1バイト系 標準 パイカ文字
- ←1バイト系 標準 エリート文字
- ←1バイト系 標準 コンデンス文字
- ←1バイト系 標準 プロポーショナル文字
- ←1バイト系 イタリック パイカ文字
- ←1バイト系 イタリック エリート文字
- ←1バイト系 イタリック コンデンス文字
- ←1バイト系 イタリック プロポーショナル文字
- ←1バイト系 クーリエ パイカ文字
- ←1バイト系 クーリエ エリート文字
- ←1バイト系 クーリエ コンデンス文字



←1バイト系 クーリエ プロポーション文字

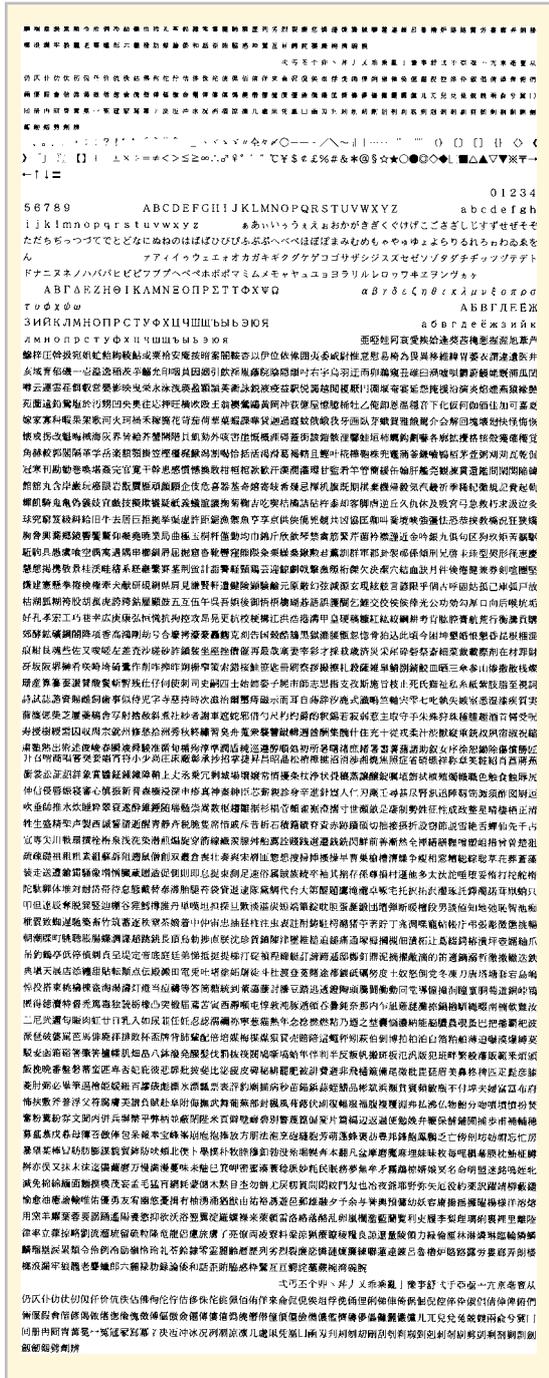
←1バイト系 ゴシック バイカ文字

←1バイト系 ゴシック エリート文字

←1バイト系 ゴシック コンデンス文字

←1バイト系 ゴシック プロポーション文字

←2バイト系 明朝体アウトラインフォント第一水準漢字（7ポイント）



←2バイト系

明朝体アウトラインフォント第二水準漢字（7ポイント）

←2バイト系

明朝体アウトラインフォント第一水準漢字のすべて（10.5ポイント）

←2バイト系

明朝体アウトラインフォント第一水準漢字（7ポイント）

ステータス印刷

ステータス印刷では、オプションの接続やメモリスイッチの状態など、本プリンターの状態が印刷されます。オプションを接続した後の確認にご使用ください。次にステータス印刷の結果例を示します。設定値が工場出荷時の設定以外はアンダーラインが引かれます。(このステータス印刷はNPDL使用時のものですが、一部の設定はESC/Pエミュレーションでも有効です。)

** プリンタ環境設定 **				00000000	
H/W情報					
Version	コントローラ エンジン	18. 08 P501	メモリ容量	128MB	
給紙構成					
	ホッパ1	A 4 横	総印字枚数	40枚	
	ホッパ2	A 4 縦	オプション	フィニッシャ ハードディスク	
	ホッパ3	A 4 横			
	ホッパ4	A 4 縦			
	ホッパ5	A 4 横			
	トレー	A 4 縦			
メニュー情報					
印刷設定メニュー	コピー枚数	1枚	印刷機能設定	両面印刷設定	OFF
用紙メニュー	ホッパ初期設定	ホッパ1		初期設定	ロング1
	用紙種別			織じ代	0mm
	ホッパ1	普通紙		余白	ON
	ホッパ2	普通紙		クリップ	トッパトレー FD
	ホッパ3	普通紙	運用メニュー	排出方法	有効
	ホッパ4	普通紙		節電機能	10分
	ホッパ5	普通紙		節電時間設定	無効
	トレー	普通紙		自動排出	電子ソート優先
	合紙モード設定	OFF		メモリ設定	0
	リレー給紙設定		フォントメニュー	1バイト系ゼロ	0
	ホッパ1	OFF		2バイト系ゼロ	標準
	ホッパ2	OFF		ANK	明朝
	ホッパ3	OFF		漢字	JIS1978
	ホッパ4	OFF		文字セット	日本
	ホッパ5	OFF	動作メニュー	国別	
	トレー	OFF		動作エミュレーション	
	グループ設定			インタフェース1	NPDL
	ホッパ1	OFF		インタフェース2	NPDL
	ホッパ2	OFF		動作自動切り替え	
	ホッパ3	OFF		インタフェース1	ON
	ホッパ4	OFF		インタフェース2	ON
	ホッパ5	OFF		タイムアウト	30秒
	トレー	OFF	NPDL設定	A4ポート桁数	78桁
	ホッパ2定形外	未使用		エミュレーション	201PL
	ホッパ3定形外	未使用		136桁モード	無効
	ホッパ4定形外	未使用	I/F設定	インタフェース1	
	ホッパ5定形外	未使用		双方向設定	ニブル
印字位置設定	ホッパ1微調整			インタフェース2	
	TM 0mm	LM 0mm		DHCP	OFF
	ホッパ2微調整			IPアドレス	11.22.33.44
	TM 0mm	LM 0mm		サブネットマスク	255.0.0.0
	ホッパ3微調整			ゲートウェイアドレス	0.0.0.0
	TM 0mm	LM 0mm		イーサネット設定	自動
	ホッパ4微調整			アクセス制限	OFF
	TM 0mm	LM 0mm	メモリスイッチ		
	ホッパ5微調整			MSW1	12345678
	TM 0mm	LM 0mm		MSW2	00000000
	表面微調整			MSW3	00000000
	TM 0mm	LM 0mm		MSW4	00000000
	裏面微調整			MSW5	00000000
	TM 0mm	LM 0mm		MSW6	00000000
				MSW7	00000000
				MSW8	00000000
				MSW9	00000000
				MSW10	00000000

増設メモリー対応表

増設メモリー対応表を次に示します（◎は品質保証の印です）。

プリンターの設定													
メモリー容量		128MB (標準)		256MB		384MB		512MB		640MB			
メモリー割当設定		標準	電子ソート優先	標準	電子ソート優先	標準	電子ソート優先	標準	電子ソート優先	標準	電子ソート優先		
プリンタードライバの設定	用紙サイズ	用紙解像度	600dpi	600dpi									
	A3片面	600dpi	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		600dpi	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	A3両面	600dpi	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		600dpi	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	B4片面	600dpi	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		600dpi	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	B4両面	600dpi	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		600dpi	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	A4片面	600dpi	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
600dpi		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
A4両面	600dpi	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	600dpi	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	

プリンターの設定						
メモリー容量		768MB		1024MB		
メモリー割当設定		標準	電子ソート優先	標準	電子ソート優先	
プリンタードライバの設定	用紙サイズ	用紙解像度	600dpi	600dpi	600dpi	600dpi
	A3片面	600dpi	◎	◎	◎	◎
		600dpi	◎	◎	◎	◎
	A3両面	600dpi	◎	◎	◎	◎
		600dpi	◎	◎	◎	◎
	B4片面	600dpi	◎	◎	◎	◎
		600dpi	◎	◎	◎	◎
	B4両面	600dpi	◎	◎	◎	◎
		600dpi	◎	◎	◎	◎
	A4片面	600dpi	◎	◎	◎	◎
600dpi		◎	◎	◎	◎	
A4両面	600dpi	◎	◎	◎	◎	
	600dpi	◎	◎	◎	◎	

電子ソート機能有効時の印刷保証枚数表

電子ソート機能有効時の増設したメモリーによる印刷保証枚数は以下のとおりです。

✓ チェック

プリンターとコンピューターの双方向通信が無効な場合、以下の表に示す印刷ページ数が1部を超えた複数部数印刷はできません。

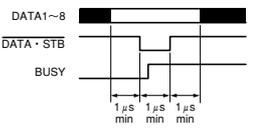
実装メモリー容量	用紙サイズ	
	A4 片面	A3 片面
128MB	8	3
256MB	40	19
384MB	64	31
512MB	64	31
640MB	128	63
768MB	128	63
1024MB	193	95

また、ハードディスク（オプション）を取り付けることにより、電子ソート機能時の印刷保証枚数が以下のとおり大幅に増えます。

用紙サイズ	ハードディスク装着時	
A3	片面	200枚
	両面	100枚
B4	片面	200枚
	両面	100枚
A4	片面	200枚
	両面	100枚

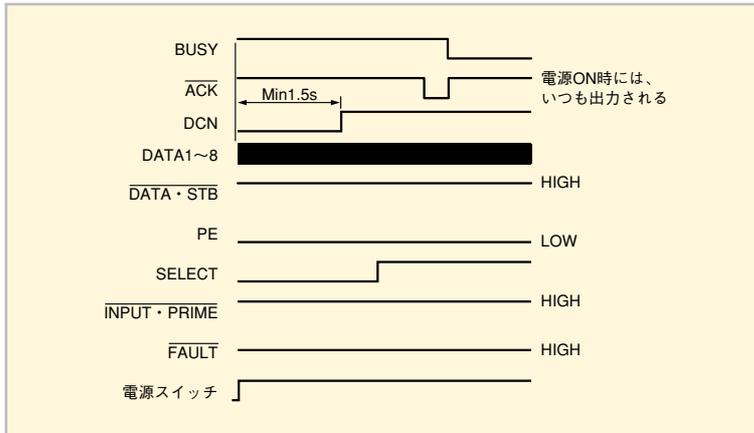
インターフェース

インターフェース信号の機能

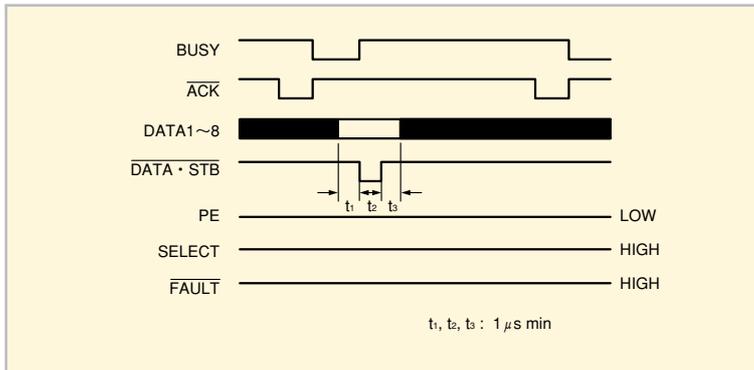
ピン番号	信号名	略称	信号の方向	機能
1	データストロブ	$\overline{\text{DATA}} \cdot \text{STB}$	PR←PC	DATA 1~8を読み込むための同期信号である。定常状態はHIGHであり、HIGHからLOWになったときBUSYがHIGHになり、次にLOWからHIGHになるまでにDATA 1~8を読み込む。パルス幅は最小1 μs とする。 
2 3 4 5 6 7 8 9	データ1 データ2 データ3 データ4 データ5 データ6 データ7 データ8	DATA 1 DATA 2 DATA 3 DATA 4 DATA 5 DATA 6 DATA 7 DATA 8	PR←PC	各信号は、データの1ビット目から8ビット目の情報を受信する入力信号である。論理1はHIGHである。DATA 1が最下位桁 (LSB)、DATA 8が最上位桁 (MSB) である。上図に示すDATA・STBの前1 μs の範囲でDATA 1~8は確定していること。
10	アクノリッジ	$\overline{\text{ACK}}$	PR→PC	受信したデータをプリンター内へ取り込み完了したことを示す信号で、DATA・STB受信に対する応答である。ただし、電源ON時、インプットブライム処理終了時、および操作パネルによるリセットの処理終了時には無条件に一度出力する。定常状態はHIGHであり、約1 μs LOWとなるパルスを出力する。
11	ビジー	BUSY	PR→PC	プリンターがデータ受信不可能 (BUSY中) 状態であることを知らせる信号である。LOWの場合、データ入力が可能である。次の条件を満たすものが1つでもあればHIGHになる。それ以外ではLOWである。 <ul style="list-style-type: none"> ● SELECT信号がLOWのとき。 ● FAULT信号がLOWのとき。 ● INPUT・PRIME信号がLOWになったときから所定時間経過したのちHIGHとなり、内部初期化処理が終了するまでの間。 ● データを受信してから、プリンター内へ取り込み完了するまでの間。 ● 操作パネルによるリセットを行ってから、内部初期化処理が終了するまでの間。 [補足] 本プリンターは印刷処理用の1ページ分バッファのほかに、受信用のバッファを持ち、データを受信するとまず受信用のバッファに書き込まれる。このため、データの処理が完了しないうちに次のデータを受信することができ、プリンターの動作状態とBUSY信号の状態は同期しない。また、受信用バッファが満杯になったときはBUSY信号はHIGHを保持し、印刷動作実行などにより余裕が生じたらLOWとなって次の受信を行う。
12	ペーパーエンド	PE	PR→PC	用紙がなくなったときHIGHになる。 <ul style="list-style-type: none"> ● 設定されたサイズ用の紙がホッパーに存在せず、縮小もできない場合 ● データが存在して用紙がない場合
13	セレクト	SELECT	PR→PC	プリンターがセレクト中 (HIGH) がディセレクト中 (LOW) を示す。セレクト中はデータの受信が可能である。 [セレクトになる条件] <ul style="list-style-type: none"> ● 電源ONしたとき ● ディセレクト状態で印刷可スイッチが押されたとき。 ● メモリスイッチ1-5がOFFで、ディセレクト状態でDC1コードを受信したとき。 [ディセレクトになる条件] <ul style="list-style-type: none"> ● セレクト状態で印刷可スイッチが押されたとき。 ● メモリスイッチ1-5がOFFで、DC3コードを受信したとき。 ● PE=1のとき。 ● FAULT=0のとき。
14~15	—	—	—	将来の拡張用
16	シグナルグランド	SG	—	信号用グランド
17	フレームグランド	FG	—	フレームグランド
18	デバイスコネク	$\overline{\text{DCN}}$	PR→PC	プリンターの電源がONになっていることを表す。操作パネルのリセットスイッチでリセットを実行した場合、最小で1.5秒間LOWとなる。
19~30	GND	—	—	(信号グランドに接続されている。)
31	インプットブライム	$\overline{\text{INPUT}} \cdot \text{PRIME}$	PR←PC	この信号がLOWになるとプリンターは初期状態になる。パルス幅は15 μs 以上必要。SELECT信号がHIGH、LOWどちらであってもINPUT・PRIMEは有効。INPUT・PRIMEによる初期状態は電源ON時とほぼ同じ状態となる。
32	フォルト	$\overline{\text{FAULT}}$	PR→PC	次のいずれかの条件が発生したときLOWになる。(本信号をLOWにするときは、必ずBUSYを先または同時にHIGHにすること) <ul style="list-style-type: none"> ● SELECT=0のとき。 ● プリンターがエラーのとき。
33	シグナルグランド	SG	—	信号用グランド
34~36	—	—	—	将来の拡張用

タイムチャート

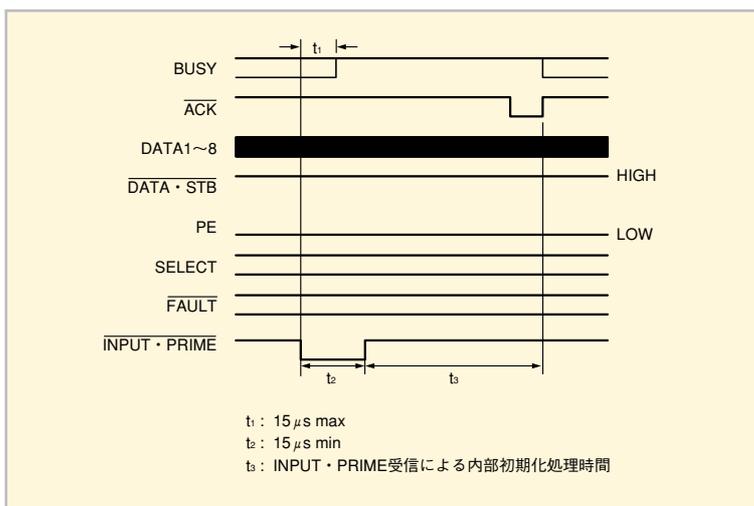
● 電源ON時



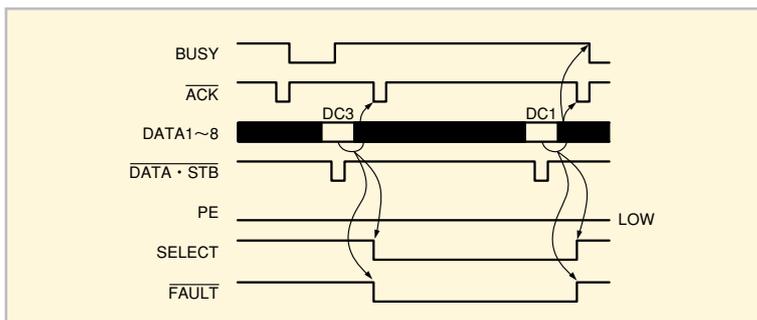
● データ受信時



● INPUT·PRIME受信時



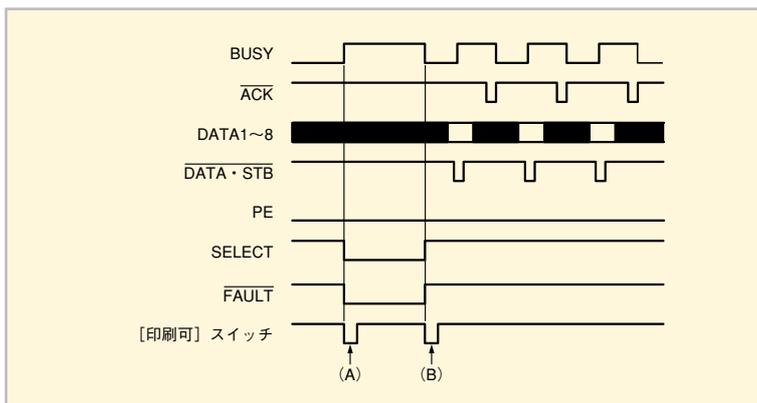
● DC1、DC3によるセレクト、ディセレクトの切り替え



◇ DC1、DC3の処理は受信用バッファから読み出された後に実行される。

◇ DC3処理後はBUSY、ディセレクトのため、実際には通常の送信方法ではDC1はプリンターに対して送信できない。

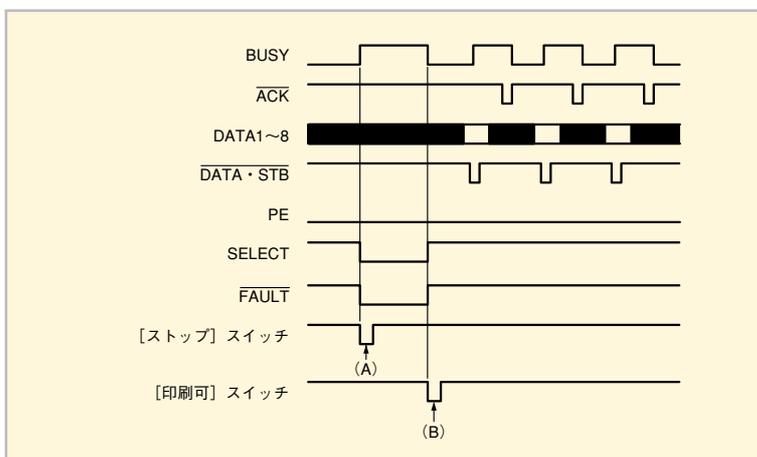
● 操作パネルによるセレクト、ディセレクトの切り替え



(A) セレクト状態で[印刷可]スイッチを押すとただちにディセレクト状態になる。

(B) ディセレクト状態で[印刷可]スイッチを押すとセレクト状態になる。

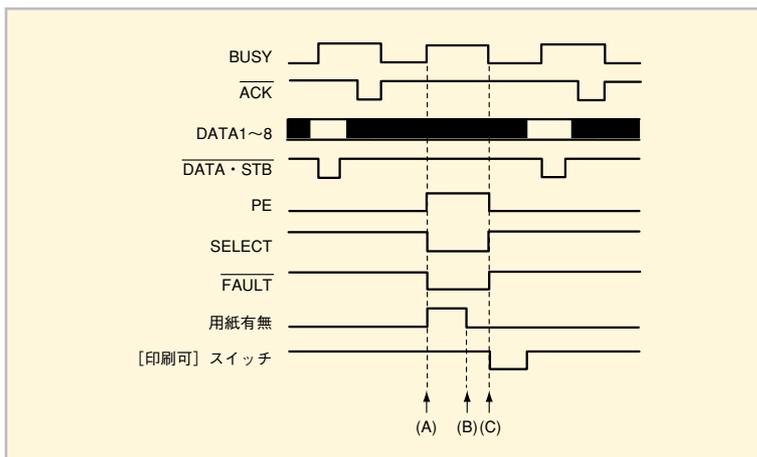
● [ストップ] スイッチによる一時停止



(A) セレクト状態で[ストップ]スイッチを押すとただちにディセレクト状態になる。

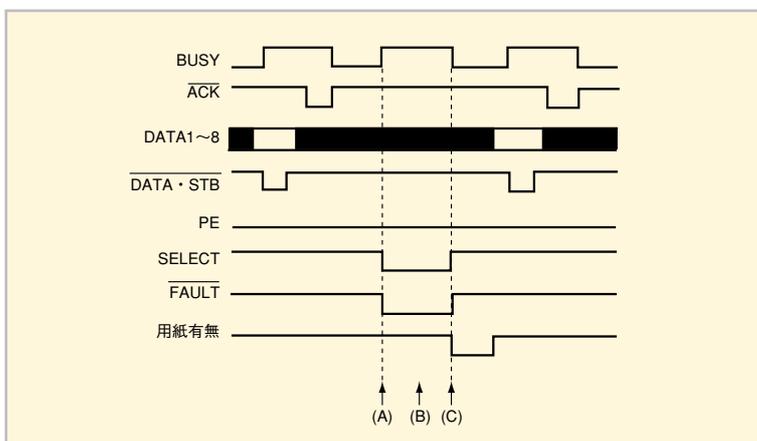
(B) ディセレクト状態で[印刷可]スイッチを押すとセレクト状態になる。

● 用紙なし発生時



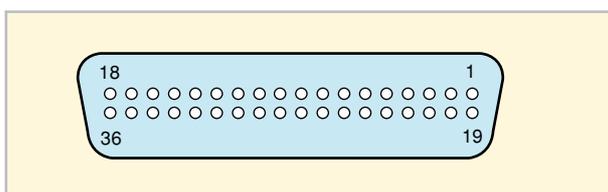
- (A) 印刷データ受信後、用紙なしを検出するとただちにディセレクト状態になる。
- (B) 用紙をセットする。
- (C) 用紙をセットすることによりセレクト状態となり、前の続きの処理を再開する。

● 紙づまり発生時



- (A) 用紙ジャム発生状態
- (B) 用紙を取り除く。用紙が取り除かれるまで状態は続く。
- (C) [印刷可] スイッチを押すことにより印刷を再開する。

コネクタピン配置



各ピンの信号については「インターフェース信号の機能」(430ページ)をご覧ください。

16ピン、19～30ピン、33ピンのピンの端子はプリンター内部で相互に接続されています。

電気的特性

入力回路

信号名	回路形式
DATA1~8 [インタフェース1]	
$\overline{\text{DATA}} \cdot \text{STB}$ $\overline{\text{INPUT}} \cdot \text{PRIME}$	

出力回路

信号名	回路形式
$\overline{\text{ACK}}$ $\overline{\text{FAULT}}$ BUSY PE SELECT $\overline{\text{DCN}}$	

MIB

Management Information Baseの略。TCP/IP通信でのネットワーク管理用プロトコルのSNMPで、コンピューター間でやり取りされる管理情報を定義したものの。

MS-DOS

Microsoft Disk Operating Systemの略。マイクロソフト社が開発したOSのひとつ。現在のパソコンの基礎となったオペレーティングシステム。

NetBEUI

ネットビュイと読む。IBMによって開発された小規模LAN用のプロトコル。主にLAN ManagerをネットワークOSにしたときに用いられる。

NetWare

ノベル社が開発したネットワークOS。プロトコルにはIPX/SPXが用いられる。

NPDL

NEC Printer Description Languageの略。NECプリンター記述言語。

OHPフィルム

OHP（オーバーヘッドプロジェクター）用の透明なシート。プレゼンテーションなどに使用する。

**OPC**

Organic Photo Conductorの略。有機光電導体。ドラムカートリッジのドラムに用いられる有機材。一様に帯電させ、表面に光を照射すると照射量に応じて電荷が失われる現象を利用して潜像を形成する。

OS

Operating System（オペレーティングシステム）の略。コンピューターのハードウェア、ソフトウェアを有効に利用するために総合的管理を行うソフトウェアのこと。本書では特に区別して説明する場合、MS-DOSやWindowsなどプログラムの実行管理などを行う基本的なソフトウェアを「基本OS」、Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NTやNetWareなどネットワークを強く意識したOSを「ネットワークOS」と呼ぶことがある。

PrintAgent

双方向通信により、コンピューターの画面上で印刷状況の確認、プリンターの設定をすることを実現したソフトウェア。Multi-Writerシリーズに搭載。

RGBガンマ

Red Green Blueガンマ

使用しているモニターで中間トーンをどの程度調整する必要があるかを示すもの。専門的にはモニターの特性曲線を線形にするのに使用される指数。

TCP/IP

Transmission Control Protocol/Internet Protocolの略。ネットワークのプロトコルのひとつ。UNIXをはじめWindows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0、Windows Me、Windows 98、Windows 95、Macintoshなど、主要なOSでサポートされる世界的な標準プロトコルになっている。

TrueType

米国アップルコンピュータ社と米国マイクロソフト社が開発したソフトウェアで、Macintosh/Windows用のアウトラインフォントを用いた画面表示と印刷を行う。どんなアプリケーションソフトからでも利用できるアウトラインフォントが使えるので、文字サイズが大きくなってもギザギザにならない。

UNIX

AT&T社のベル研究所で開発された一般的にワークステーションで用いられるOS。プロトコルはTCP/IPを用いるのが標準的。クライアント・サーバシステムにおいてはUNIXマシンをサーバにする例が多い。

USB

Universal Serial Busの略。キーボード、マウス、スピーカー、モデム、プリンターなどの周辺機器とコンピューターの間を統一したコネクタとケーブルで接続できるインターフェース。

WAN

Wide Area Networkの略。広域情報通信網。離れた場所のLAN同士を接続するネットワークのこと。一般の電話回線や専用回線などを介して接続する。

Windows 2000

マイクロソフト社が開発したOSのひとつ。Windows NTの堅牢性とWindows 98の機能を合わせ持つ、ローエンドからハイエンドまですべての領域をカバーするOS。Windows NT 4.0の後継にあたる。

Windows 95

マイクロソフト社が開発した個人ユーザー向けOS。Windows 3.1の後継にあたる。

Windows 98

マイクロソフト社が開発した個人ユーザー向けOS。Windows 95の後継にあたる。不具合の修正と機能の強化を図ったアップデート版としてWindows 98 Second Editionもある。

Windows Me

マイクロソフト社が開発した個人ユーザー向けOS。Windows 98の後継にあたる。主にマルチメディア、ネットワークなどの機能強化が図られた。

Windows NT

マイクロソフト社が開発したOSのひとつ。サーバーとして用いられることが多い。

Windows Server 2003

マイクロソフト社が開発したサーバー用OS。Windows 2000 Serverの後継にあたる。

Windows XP

マイクロソフト社が開発したOS。ビジネスユーザー向けとされるWindows 2000の安定性を受け継ぐ。ただし製品としては、Windows 2000の他、家庭向けのWindows Me、Windows 98後継にも位置づけられ、インターネット接続性の機能強化が図れた。

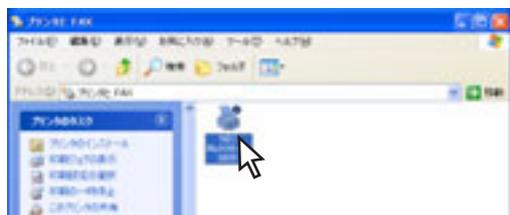
WWW

World Wide Webの略。インターネットに公開されている情報を検索するためのシステムのひとつ。ユーザーはWebブラウザーを通して情報の検索や閲覧を行う。

五十音順

アイコン

アプリケーションやドキュメントなどWindowsのいろいろな要素を表す小さな絵。



アウトラインフォント

文字の形を直線や曲線で表された輪郭として記憶し、出力時にその文字データを論理的に処理して表現すること。文字サイズの自由な設定や文字の変形が可能となり、ドット密度に関係なく美しい文字を表現できる。

アクセスポイント

ネットワークに外部から接続（アクセス）するための受け口。MultiWriterのオプション品である無線LANボードは、アクセスポイント経由の接続に対応する。

アドホック (ad hoc)

無線LAN機器が備える動作設定のひとつ。無線親機（アクセスポイント）なしに、無線LANボードなどの無線子機同士が相互に通信できる。

アドミニストレーター (Administrators)

管理者という意味。ネットワークやシステムの管理を行う最高の権限を持っている人。システムアドミニストレーターと呼ぶこともある。(→システム管理者)

アプリケーション

文書作成や作図など特定の作業に使うプログラム。

アンインストール

インストールしたソフトウェアを削除し、インストール前の状態に戻すこと。

イーサネット (Ethernet)

LANの伝送路に関する規格。米ゼロックス社と米デジタルイクイップメント (DEC) 社と米インテル社が協同で開発、規格した。3社の頭文字をとってDIX規格と呼ぶこともある。IEEE802.3標準の伝送速度10Mbpsの規格とほぼ同義。コンピューター同士をどのようなケーブルで結び、どのような信号で、どうやり取りするかなどを決めている。同軸ケーブル上で電波を使って通信する仕組みで、複数の端末が通信するために、CSMA/CDという信号制御方式を採用している。現在では同軸ケーブルではなくツイストペアケーブルを使うことが多い。

イニシャライズ

初期状態にすること。例えば、メモリーの内容を全部ゼロにしたり、プログラム中のカウンターをゼロにしたりすること。

印刷ジョブ

アプリケーションで作成された文書を印刷する作業単位のこと。スプールされて印刷待ちに追加されるか、直接プリンターに送られる。

印刷の向き

用紙に対して文字やグラフィックが印刷される方向。横長（ランドスケープ）と縦長（ポートレート）がある。



印刷範囲

プリンター用紙に印刷ができる限界のこと。用紙の上下および左右の余白部分を除いた印刷可能領域を指す。

インストール

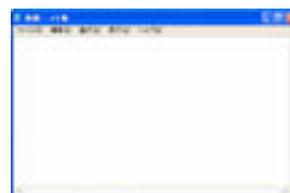
一般にはシステムや装置を設置するという意味。ソフトウェアではOSやアプリケーションをコンピューターに組み込むという意味。

インターフェース

2つの装置〈デバイス〉を通信できるように接続するための仕様、ケーブルシステム。

ウィンドウ

アプリケーションやドキュメントが表示される画面内の領域で、開いたり、閉じたりすることができる。



ウォームアップ

プリンターの電源をONにした後、ヒートローラーが一定の温度になり印刷が可能になるまでの状態をいう。

エミュレーション機能

他のプリンターのために開発されたソフトウェアの制御コードを本プリンターで使用できるようにする機能。たとえば、PC-PR201系シリアルプリンターの制御コードが使用できる場合を201PLエミュレーションと呼ぶ。この機能を実現するためのプログラムをエミュレーターと呼ぶ。

エリート文字

1インチ当たり12文字の等間隔で印刷する文字のこと。タイプライターが使われていた頃からの用語。

オフセット排紙

用紙の排紙を用紙の向きはそのままに水平方向にずらして出力する機能。

解像度

プリンターが文字や画像を印刷するときの細かさのこと。1インチ (25.4mm) 当たりのドット数で表す。

拡張子

MS-DOS、Windowsなどでファイル名の最後に付加する文字列で、ファイルの種類を表すためのもの。ピリオドに続けて表記される。「.txt」や「.jpg」など。

拡張制御コード

制御コードのうち、ESC (1BH)、FS (1CH)、のように後に続くコードと組み合わせる機能を表すコードをいう。(←基本制御コード)

紙づまり

用紙が詰まってプリンターが動作しなくなった状態をいう。

かんたん設定

Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0のプリンタードライバでのみ使える機能。[印刷設定]ダイアログボックスの[メイン]シート右上のリストビュー。リストビューのアイコンをクリックすると、プリンターで登録済みの設定や、ユーザーが用途に合わせて登録した設定が読み込まれる。

輝度

モニターなどの画面の明るさ。

機能選択バー

Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0のプリンタードライバでのみ使える機能。[印刷設定]ダイアログボックスの[メイン]シート左側にある縦向きのバー。ボタンをクリックすると[複数ページレイアウト]、[リプリント]などの機能の設定項目が[メイン]シート右下に表示される。

基本制御コード

制御コードのうち、CR (ODH)、LF (OAH) のように単独で機能を表すコード。(↔ 拡張制御コード)

クライアント

ネットワークを介して他のコンピューター (またはサーバー) にアクセスしている利用者、または利用者のコンピューター。

クライアント・サーバー (システム)

中規模/大規模のネットワークに適した接続形態。専用のコンピューター (サーバー) が共有の資源 (ハードディスクやプリンター) を管理し、接続を許されたコンピューター (クライアント) が利用できるようにしたもの。本書ではクライアント・サーバー型ネットワークとも呼んでいる。(→ピア・ツー・ピア)

クリック

マウスのボタンを押して素早く放す操作のこと。



クリーニングカートリッジ

定着器内のヒートローラーの汚れをクリーニングする。消耗品のため「80 ユニットジュモウクリーナー」が表示されたら交換が必要。1個で約50,000ページまで使用可能。(詳細は「8章 日常の保守」参照)。

グレースケールイメージ

白黒写真のように色彩情報がなく、ドットの多少により明暗を表現するグラフィックスイメージ。
(→ハーフトーン)

コマンド

コンピューターに行わせたい作業を実行するために選択または入力する命令。

コンデンス文字

1インチ当たり約17文字で印刷する文字のこと。タイプライターが使われていた頃からの用語。

コントラスト

グラフィックなどの明るい部分と暗い部分の差の度合い。

コントロールパネル

Windowsで、キーボードやマウスの使用条件、スピーカーの音量、スクリーンセーバーの種類などパソコンのさまざまな設定を行うための画面をいう。

サスペンド機能

データやプログラムを作業時の状態のままにしてパソコンの動作を一時停止させる機能。

システム管理者

コンピューターシステムを管理する人。
あるグループ全体のコンピューターや周辺装置、ソフトウェアなどシステムを構成する様々な要素に関する情報をもとに、システムが効果的に運用できるように管理する。

自動給紙

カット紙 (単票用紙) を連続して自動的に給紙することをいう。

自動排出

コンピューターからのデータが一定時間なかったとき、プリンター内のデータを自動的に印刷して排出する機能。

シリアルプリンター

文字単位で印刷を行うプリンターの総称。

[スタート]ボタン

Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0、Windows Server Me、Windows 98、Windows 95でアプリケーションソフトの選択、起動、ファイルの検索、Windowsの終了などを行うことができるボタン。



ステータス印刷

テスト印刷のうちのひとつ。給紙構成や動作モード、メモリースイッチの設定状態などプリンターの状態を印刷するもの。

スプール

ドキュメント (文書) を印刷する場合に印刷データをコンピューターのハードディスクにファイルとしていったん保存して、保存した順にプリンターに送ること。これによりプリンターが印刷を終了するのを待たずにコンピューターでは別の作業を行うことができるようになる。プリンターに送り終えたファイルは自動的に消去される。

制御コード

プリンターの動作を制御するためのコード。印刷データと異なり印刷されない。たとえば、LF (改行コード) やFF (改ページ) など。

セントロニクス・インターフェース

旧セントロニクス社が開発したプリンターとコンピューター間の通信仕様。仕様名として当時の会社名がそのまま使われている。8ビットパラレルデータに制御信号を加えてプリンター用のインターフェース規格として広く使用されている。本プリンターは標準の36ピン・パラレルコネクタで利用できる。

双方向通信

コンピューターとプリンターの間で、情報のやり取りをする通信形態のこと。PrintAgent機能を実現するための必須条件。コンピューターから印刷データが送られるだけでなく、プリンターからもコンピューターに情報を送ることができるので、印刷の状況がプリンタステータスウィンドウのアニメーションと音声で、正確にわかる。双方向通信には、セントロニクスインターフェースが双方向通信可能なプリンターインターフェースを装備したコンピューターである、またはUSBやネットワークで接続されていることが必要。

ソフトウェア

コンピューターやプリンターなどハードウェアに作業を実行させるための命令の集まり。プログラム、アプリケーション、オペレーティングシステム、プリンタードライバーなどの総称。(↔ ハードウェア)

ダイアログボックス

設定や操作のために画面に表示されるボタンやリストボックスを持ったウィンドウ。



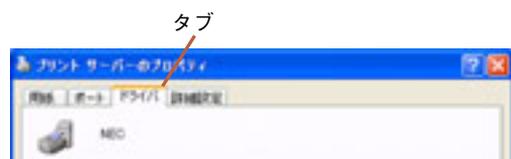
タイトルバー

ウィンドウやダイアログボックスのタイトルを示す、横向きのバー。多くのウィンドウでは、[コントロールメニュー]ボックスや[最大表示]、[アイコン化]、[最小化]ボタンなどもついている。



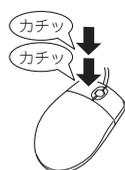
タブ

Windowsでは、ダイアログボックスの中に複数の設定画面(シート)がある場合に表示されるインデックスタイプのつまみのこと。



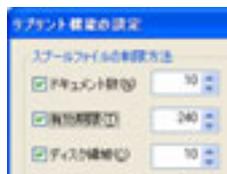
ダブルクリック

マウスのポインター(矢印)を動かさず、マウスのボタンを素早く2回押して放す動作。アプリケーションを起動するときなどに使う。



チェックボックス

ダイアログボックスの中の小さな正方形で、ON/OFFの切り替えができるオプション(機能)を示す。オンにするとチェックボックスに×や✓印が表示される。



通常使うプリンタ

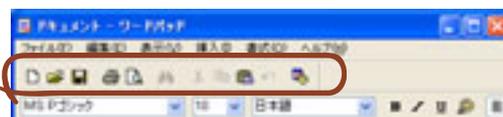
アプリケーションで[印刷]コマンドを実行し、プリンターの指定を省略したときにその印刷データを印刷するプリンター。

坪量

用紙の重さを表す単位。用紙1枚1m²単位の重さをいう。(ユーザーズマニュアルで使用している用紙の坪量は、64.0g/m²)。

ツールバー

ウィンドウのメニューバーの下のボタンがついている部分。



定着器

用紙上のトナーを熱によって溶かし、圧力を加えて用紙に固定させるためのもの。ヒートローラーとプレッシャーローラーで構成されている。

テスト印刷

プリンターが正常に動作していることを確認するためのもの。

電子ソート

複数部数を印刷する場合にコンピューターから一部目だけ印刷データを送り、二部目以降はプリンターのメモリー上で印刷データ処理を行う機能。

動作環境

ソフトウェアや周辺機器が正しく動作するために必要な環境条件。

トナーカートリッジ

トナーを補給するカートリッジ。消耗品のため「76 トナーナシ カートリッジコウカン」が表示されたら交換が必要。1本で印刷できる枚数は印刷データによって異なる。(詳細は「8章 日常の保守」参照)。

ドライバー

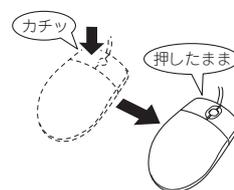
周辺装置やそのインターフェースをコントロールするプログラム。(→プリンタードライバー)

ドライブ名

ハードディスク内やフロッピーディスクドライブ、CD-ROMドライブなどの領域に割り当てられている文字。「A」や「C」など。

ドラッグ

マウスのボタンを押したまま、マウスを動かす動作。例えば、ウィンドウのタイトルバーをドラッグするとウィンドウを移動させることができる。



ドラムカートリッジ

ドラムにトナーを付着させ印刷イメージを形成させる働きをする。消耗品のため「80 ユニットジュミョウドラム」が表示されたら交換が必要。1本で印刷できる枚数は約110,000ページ。(詳細は「8章 日常の保守」参照)。

ネットワーク

複数のコンピューターや周辺機器をケーブルまたは他の手段を用いて接続し、情報交換したり機器を共有したりできるようにしたコンピューターの集団。

バーコード

白と黒の縞模様を線の太さと間隔を変えながら書き並べてデータを表し、印刷されたコード。国名、商品名、価格など、主として流通や商品管理に必要な管理情報、POS用のコードを表すのに使われる。本製品は、カスタマバーコード、NW-7、JAN、CODE 39、Industrial 2 of 5、Interleaved 2 of 5、UCC/EAN-128に対応する。

ハードウェア

コンピューター本体、キーボード、マウス、コンピューターやプリンターなどコンピューターシステムを構成する個々の機器またはそれらの総称。(↔ソフトウェア)

ハーフトーン

画像を表示・出力する際に、一定間隔の点（網点）に分解し、それぞれの黒い点の大きさを変えることで濃淡を表現する。大きい点は濃いグレー、小さい点は薄いグレーになる。

バッファフル

ページバッファに1ページ分の印刷データがたまることをバッファフルという。バッファフルになると、自動的にそのページの印刷を行う。

ハブ

LANでコンピューターなどの端末を放射線状に配線する際、中心に配置する集線装置。一般には10BASE-Tや100BASE-TXのLANケーブルを接続する集線装置を指す。RJ-45のジャックを4〜32口程度持つ箱で、各コンピューターのLANポートとツイストペアケーブルで接続して使う。動作によってリピーターハブとスイッチングハブ（スイッチ）に大別できる。

パラレルインターフェース

同時に複数の信号を並列に送るデータ転送方式、あるいは物理的な接続コネクタのこと。MultiWriterとコンピューター間ではセントロニクス仕様に準拠した方式（IEEE 1284規格準拠双方向パラレルインターフェース）が用いられる。

ピア・ツー・ピア

小規模のネットワークに適した接続形態。専用のサーバーコンピューターを必要とせず、コンピューター同士、コンピューターとプリンター間で相互に通信が可能となる。本プリンターをピア・ツー・ピア接続して使用するためにはLANボード/LANアダプターが必要。本書ではピア・ツー・ピア型ネットワークとも呼んでいる。(↔クライアント・サーバー)

ピア・ツー・ピアグループ

無線LAN機器が備える設定の一つ。無線親機（アクセスポイント）なしに、無線LANボードなどの無線子機同士が相互に通信できる。

ヒートローラー

定着器にあり、プレッシャーローラーとともに熱と圧力でトナーを定着させる働きをする。

ピクセル

Pixel（Picture elementからの合成語）。画素とも言う。ディスプレイの画面に表示できる情報の最小単位。

ビットマップ

画面やプリンターに出力されるイメージを表す連続した点の集合。

フォーム印刷

見出し文字や罫線枠などのフォームデータを文章データと重ね合わせて印刷すること。フォームデータを作成するには別売のアプリケーションが必要。

フォント

同じ外観、サイズ、スタイルの文字、数字、記号またその他のシンボル等の集合。

不揮発性メモリー

電源をOFFにしても記憶した内容が消えないメモリー。

ブラウザ

インターネット上のWebページを閲覧（ブラウズ）するためのソフトウェア。WWWブラウザとも呼ぶ。主なものに、Microsoft Internet Explorer やNetscape Navigatorがある。

ブラシパターン

図形を塗りつぶすためのある一定のパターン。

プリンターケーブル

コンピューターとプリンターを接続するケーブル。

プリンタードライバ

コンピューターとプリンターの間やり取りを仲介するプログラム。インターフェースやフォントの指定、インストールされたプリンターの機能などの情報を、OSに提供する。

プリンターバッファ

一般にコンピューターの処理速度は速くプリンターの処理速度は遅い。したがって、プリンターでの印刷をしている間コンピューターは何もしないで待つという状態が発生する。そこで、コンピューターから送られたデータをいったん記憶装置に蓄え、プリンターの処理に合わせて順次その記憶装置からプリンターに印刷データを送ることにする。これによってコンピューターは印刷の終了を待たずに印刷処理から解放され、別の仕事をすることができる。この記憶装置をプリンターバッファと呼ぶ。

プリンタープール

複数の同じ印刷装置をひとつの論理プリンターとして関連づけて印刷を行うこと。

プロトコル

コンピューターが他のコンピューターや周辺機器と通信するための規約。

プロパティ

ファイルやソフトウェアなどの固有の情報。フォントやウィンドウの色などさまざまな情報の設定、状態などを表す。プリンターの設定状態などを示す用語として広く使われている。

プロポーショナル文字

印刷される文字ごとに、文字幅が異なる文字のこと。

ページ記述言語

1ページ分のテキスト（文字）やグラフィック（図形）のデータ、位置情報などを正確に表すための言語。

ページプリンター

ページ単位で印刷を行うプリンター。1ページ分のデータをプリントイメージとしてメモリー上に展開（作成）して印刷を行うプリンターのこと。

ポイント（マウスの）

マウスのポインターを目的の項目の上に置く動作。

ポイント（文字の）

印刷される活字の大きさの単位で、1ポイントは1/72インチ。

ポート

コンピューターが外部とデータをやり取りするときに使用するケーブルの接続部分。

ポートレート

用紙を縦長にした内容で印刷する印刷フォーマットのこと。(↔ランドスケープ)

ポートレート
ポートレート
ポートレート
ポートレート
ポートレート
ポートレート

ボタン

ダイアログボックス中のボタンの絵。選択した動作の実行やキャンセルを行う。[OK]ボタンや[キャンセル]ボタンなどがある。



マウスポインター

マウスの動きに応じて画面上を移動する矢印の形をしたマーク。ポインターの形は設定やアプリケーションによって異なる。



丸め誤差

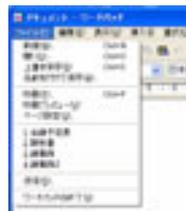
四捨五入や切り捨て、切り上げなどで、切りのいい数字にすることによって生じた誤差。

無線LAN

ケーブルの代わりに電波などを利用してネットワーク(LAN)を構成するシステム。IEEE 802委員会がIEEE 802.11標準として勧告しているシステムが代表例。MultiWriterのオプション品である無線LANアダプターはIEEE 802.11bに準拠している。

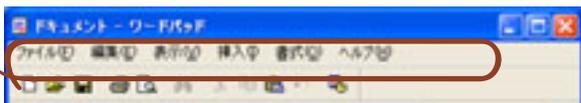
メニュー

ウィンドウで使用できるコマンドの一覧。メニュー名をクリックするとメニュー名に関連するコマンドの一覧が表示される。



メニューバー

すべてのメニュー名が表示されるバー。ほとんどのアプリケーションで、このバーは、タイトルバーの下に表示される。



メモリー

データを保存する装置。または情報やプログラムの一時的な記憶場所。

メモリースイッチ (MSW)

不揮発性メモリーを利用してプリンターのさまざまな設定を行うスイッチ。機械的にON/OFFを切り替えるスイッチではなく、電氣的に切り替えるスイッチ。

メモリースイッチ設定モード

プリンターの設定をプリンターの操作パネルを使ってメニュー形式で行うモード。

ラジオボタン

ダイアログボックスで複数の項目の中から一つを選ぶためのボタン。どれかを選択すると、それまでONだったものが連動してOFFになる。



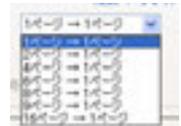
ランドスケープ

用紙を横長にした内容で印刷する印刷フォーマットのひとつ。(↔ポートレート)

ランドスケープ
ランドスケープ
ランドスケープ
ランドスケープ
ランドスケープ

リストボックス

ユーザーに対して項目の一覧を表示するためのボックス。通常、現在選択されている項目を表示している。



リブプレート

転写後の用紙を定着ユニットまで正しく送り込むための用紙ガイド。

リプリント

一度印刷した印刷データのスプールファイルを利用して再印刷する機能。この機能を使うと、いちいちアプリケーションを再起動する必要がない。

連量

用紙の重さを表す単位。一般に788 x 109 1mmのサイズ of 用紙1000枚当たりの重さをいう (本マニュアルで使用している用紙の連量は、70kg)。

ローカルプリンター

コンピューターと直接プリンターケーブルで接続しているプリンター。

索引

記号

136 桁モード	285, 294
136 桁モード設定	267
136 桁モードの有効/無効	294
16 進ダンプ印刷	266, 278
1 バイト系コード	362
1 バイト文字サイズ	382
1 バイト文字縦横サイズ	383
1 バイト系ゼロ	283
201PL エミュレーション	292
2 バイト系コード	363
2 バイト系ゼロ	283
2 バイト文字サイズ	382
2 バイト文字縦横サイズ	383
7 ビット/8 ビットデータ	290

A

A4 ポートレート印刷桁数	293
A4 ポートレート桁数	267, 285
ACK	296
Administrators	37
Adobe Acrobat Reader	34
ANK 文字	283

B

BUSY	296
------	-----

C

CR	292
CR 機能	292

D

DC1	292, 432
DC1、DC3の有効/無効の切り替え	292
DC3	292, 432
DHCP	166, 286
DHCP サーバーの設定	169
EASY 設定ユーティリティ	167
PrintAgent プリンタ管理ユーティリティ	167
操作パネル	168
動作	173
DHCP サーバーの設定	
Windows 2000	169
Windows Server 2003	169

DHCP サーバーの設定	
Windows NT Server 4.0	172
Domain Admins	37

E

EASY 設定ユーティリティ	34, 69, 167
ECP	286
ESC a	292
ESC b	292
ESC c1	294
ESC/P	254
~エミュレーションモード*	284, 297
~エミュレーションサポートコマンド*	379

F

FF	292, 294
FS f	293
FS f コマンド*	291, 295
ftp コマンド*	164

G

Get Request	174
-------------	-----

I

I/F 設定メニュー	268
INPUT・PRIME	374, 431
IPP	121, 132, 142, 150, 155
IP アドレス	286, 287
~の設定	162

L

LAN	26
LAN アダプター	26
~の取り付け	26
LAN インターフェース	286
LAN 初期化	268
LAN 初期化実行	287
LAN ステータス印刷	266, 278
LF	292
LPR	123, 127, 135, 138, 146
lpr コマンド*	163, 165, 335
LPR バイトカウント機能	130, 140

M

Microsoft TCP/IP 印刷	146
MS-DOS	
環境での両面印刷設定	63

プリンターを選択する	62
両面印刷のために必要な設定項目	63

N

NEC 121 コンタクトセンター	352
NEC TCP/IP Port	38, 57, 120, 131, 141, 149, 153, 354
NEC TCP/IP Printing System	149, 153
NPDL	254
NPDL 設定メニュー	285
NPDL モード	284

O

OCR-B フォント	399
OHP フィルム	238, 254, 359
OHP フィルム、ラベル紙	249
OS をアップグレードする場合	332

P

PC-PR201	63
ping	162
PrintAgent	35
～システムが起動しないときは	323
～による印刷ログ出力	225
システムアイコン	40
～の機能を十分に発揮させるために	330
～の削除	53
～の制限事項	332
～の追加	53
～の動作中は	331
～をインストール / アンインストールする時の注意事項	327
～を正しく動作させるために	327
～を動作させる前に	327
PrintAgent プリンタ管理ユーティリティ	167
詳細	72
メニュー	78
PrintPort オフライン印刷ツール	34
PrintPort 連携機能	235
put コマンド	335

S

Set Request	174
SNMP	174, 334
Standard TCP/IP Port	127, 138

T

TCP/IP	35
Telnet	110
Trap	178

U

UNIX	335
UNIX 環境の設定	162
UNIX コマンド	117
UNIX 用印刷サービス	123, 135
US	292

V

VT	292
----------	-----

W

Windows 2000 日本語版	51, 56, 131
Windows 95 日本語版	37, 48, 52
Windows 98 日本語版	37, 52
Windows Me 日本語版	37, 56, 149, 52
Windows NT 4.0 日本語版	42, 46, 47, 48, 52, 56, 141
Windows XP 日本語版	44, 49, 119
WWW ブラウザー	96

ア

合紙モード	279
合紙機能	194, 198
合紙モード設定	266
アクセス制限	179
アクノリッジの幅	296
厚紙	238
アラーム表示	
～が出ているときは	312
安全上のご注意	2
無線 LAN アダプター	7, 67
安全にかかわる表示	ii

イ

印刷	
思うように～できないときは	318
～速度	357
～できないときは	310
～に異常が見られるときは	314
ネットワークで思うように～できないときは	333
～方向	254
～を中止する	222
印刷位置	279
～をずらす	189
印刷位置の調整	216
印刷開始位置	293
印刷機能メニュー	280
印刷指令	292
印刷設定メニュー	278

印刷範囲	369
定形外用紙	373
定形用紙	369
印刷ログの出力	225
インストール	119
インストール媒体の作成	353
インストール方法の選択	36
インターフェース	358
インターフェース信号	430
インターフェース設定メニュー	286

ウ

ウォームアップ	223, 357
裏面微調整	267
運搬	
プリンターを～するときは	348
運用メニュー	282

エ

エミュレーション	267, 285
エミュレーションモード	292

オ

扇形描画	419
お客様登録申込書	350
オプション	13, 15
オフセット排紙	
～機能を使った仕分け印刷	195
オフセット排紙機能	200
オフセット排紙機能が動作しないときは	321
表面微調整	267
オンラインマニュアル	34

カ

海外でのご使用	310, 449
外字パターン	385
各国文字	292
各国文字セット	283
拡大・縮小印刷	205
～する	188
～に対応した用紙サイズを指定する	209
拡大・縮小率を指定する	208
カスタマーバーコード	400
活用マニュアル	vi
～について	vii
～の開き方	ix
～を印刷する	viii
角丸矩形描画	420
紙づまり	
～処理後の確認	346
トレイ内部での～	343
～のときは	336

～の発生箇所	336
プリンター内部での～	341
プリンター排出部での～	345
ホッパー 1～4の～	343
ホッパー 5 (大容量ホッパー) での～	344
ホッパー 5 (大容量ホッパー) トップカバーでの～	345
環境	358
乾式 PPC 用紙	238
漢字コード表切り替え	409
漢字文字幅	381
かんたん設定	
ユーザー設定の削除	211
ユーザー設定の登録	210
「かんたん設定」の使い方	210
管理銘板	350

キ

記憶実行	287
技術情報	357
機能	188
機能拡張制御コード	380
行桁制御印刷コード	384
共有プリンターの利用 / 提供について	328

ク

クライアント・サーバーシステムでお使いの場合	329
グラフィックモード	292
クリーニングカートリッジ	18
～取り扱い上のご注意	303
～の交換	303
～の交換手順	303
クリーニングキット	17, 308
クリッピング機能について	64
クリップ	280
グループ設定	266, 279
グループホッパー	203
～給紙方法を設定する	204
～を有効にする	204
グレースケールの網点	292
グレースケールパターン	416

ケ

契約保守	351
ケーブル	
使用できるプリンター～	31

コ

交換	
トナーカートリッジの～	299
ドラムカートリッジの～	305
ゴシック	283
コネクタピン配置	433

コピー枚数設定	266
コピーモード	292
コンフィグレーションページの印刷	184

数字ゼロの字体	283, 292
図形モード	378
ステータス印刷	266, 278, 427

サ

再購入	352
再生紙	239
座標指定単位	398
サブネットマスク	286, 287

シ

自動縮小	295
自動排出	267, 282
自動復帰改行	292
自由曲線	413
修理	
～に出す前に	309
従量課金回線	328
縮小印字	394
縮小／拡大モード	254
縮小率	293
出張修理	351
出力回路	434
出力用紙サイズ	206
寿命	
消耗品	358
製品	358
仕様	357
商標	iv
情報サービス	352
初期化	183, 294
初期化実行	287
初期状態	374
仕分け印刷	194

ス

スイッチ	256
[印刷可] スイッチ	257
[印刷方向] スイッチ	258
[シフト] スイッチ	261
[縮小／拡大] スイッチ	258
[ストップ] スイッチ	257
[設定変更] スイッチ	260
[トレイ] スイッチ	257
[排出] スイッチ	261
[ホッパー] スイッチ	258
[メニュー終了] スイッチ	260
[メニュー] スイッチ	258
[リセット] スイッチ	261
[両面] スイッチ	257
[◀] スイッチ	260
[▶] スイッチ	260
[▲] スイッチ	260
[▼] スイッチ	260

セ

制御コード	376
清掃	308
接続先の設定とプリンタードライバーのインストール	119
設定初期化メニュー	287
設定変更	
メニューモード	264
メモリースイッチ	265
節電	282, 295
節電機能	267
節電時間設定	267
全初期化	268
全初期化実行	287

ソ

騒音	358
操作パネル	168, 253
操作パネルでの設定方法	264
増設メモリー	
～の設定方法	201
～対応表	428
テスト印刷	28
～の取り付け	28
双方向通信	223, 330
反り	
はがきの～	249

タ

ターミナルサービス環境	159
タイムアウト	284
大容量ホッパー	19
大量・連続印刷する	203
楕円	412
楕円弧	412
楕円弧描画	417

チ

中央合わせ	285, 294
丁合い機能	194, 196

ツ

通信モード	286
通信ログ印刷	266, 278
ツールバー	222
坪量	238

テ

定形外サイズ用の用紙に印刷する	212
定形外用紙	239, 250
定形外用紙サイズ	212
ディスプレイ	254
ディスプレイ表示	421
データストローブ	295
データラッチタイミング	291, 295
テキストモード	376
デジタル署名	45
テスト	28
テスト印刷	20, 278, 347, 424
増設メモリー	28
大容量ホッパー	20
フィニッシャー	24
テストメニュー	278
電源	358
電子ソート	282
電子ソート機能	195, 201, 429
電子ソート優先	282
電波障害自主規制	449

ト

同期コード	295
動作エミュレーション	267, 284
～の切り替え	297
動作自動切り替え	267, 284
動作メニュー	284
綴じ代	280
トナーカートリッジ	18
～取り扱い上のご注意	300
～の交換	300
～の交換手順	300
～の寿命	302
ドメインネーム	120, 132, 142, 154
ドラムカートリッジ	18
～取り扱い上のご注意	305
～の交換	305
～の交換手順	306
トレー	
～に用紙をセットする	243
トレー微調整	267

ナ

内蔵文字	360
------	-----

ニ

日本語ページプリンタ言語 NPLD(Level2)	
リファレンスマニュアル	17
入力回路	434

ヌ

塗りつぶし	416
-------	-----

ネ

ネイティブモード	292
ネットワーク	
～で思うように印刷できないときは	333
～の回線速度が遅い	328
ネットワーク印刷	66
ネットワーク共有プリンタ	38, 57, 160
ネットワーク設定の初期化	183
ネットワークでの設定	65
ネットワークの設定	
EASY 設定ユーティリティ	69
PrintAgent プリンタ管理ユーティリティ	71
無線 LAN プリンタ導入ウィザード	94

ハ

バーコードの印刷	387
バージョンアップ	34
ハードディスク	16
～の設定方法	202
廃棄するときは	348
排紙トレイ	15, 25
～の取り付け	25
～の取り外し	25
排出方法	267
はがき	359
はがき、往復はがき	249
白紙を出力	294
パスワード設定	55
パスワードの設定	61
パラレルインターフェース	286
バルーンメッセージ	222

ヒ

ビジィ	296
左端合わせ	285, 294
微調整	285
描画コード	412
標準フォント	283

フ

フィニッシャー	15, 24
～の取り外し	24
フィニッシャー機能がうまく動作しないときは	322
フィニッシャー制御コード	410
インストーラプログラムからのインストール	37
フォーム登録	392
フォントメニュー	283

複数ページ印刷	192
～する	188
ブザー	294
普通紙	238
プラグ・アンド・プレイ	36
プリンター	
～の構成情報	222
～を運搬するときは	348
プリンターソフトウェア	
～CD-ROM について	34
～の動作環境	35
～の容量	35
フロッピーディスク	352
プリンターソフトウェアのインストール	33
ターミナルサービス用プリンタードライバのインストール	
159	
プリンターソフトウェアの容量	56
プリンター単位指定	415
プリンタードライバー	233
～のバージョンアップ	233
プリンター一覧	40
プリンターケーブル	16
プリンタステータスウィンドウ	189, 221
～がおかしいときは	324
プレ印刷用紙	250
フロッピーディスク	
～でインストールする場合	33
フロッピーディスクの作成	55
[プロパティ] ダイアログボックス	83

へ

ページ制御コード	393
ページフォーマットの回転	296
ページプリンター	292
ヘッダー	219
ヘッダー・フッター	217
～位置と印刷項目を選択する	218
～機能を有効にする	218
～に任意の文字列を入力する	219

ホ

ポートレート	254
保守	299
補修用性能部品	351
保守サービス	351
保守情報	
～のメール通知	229
保証	350
ホッパ 1 微調整	267
ホッパ 2 定形外設定	266
ホッパ 2 微調整	267
ホッパ 3 定形外設定	266
ホッパ 3 微調整	267
ホッパ 4 定形外設定	266
ホッパ 4 微調整	267
ホッパ 5 微調整	267

ホッパー	
大容量～	15
～に用紙をセットする	241
ホッパー初期設定	278
ホッパー定形外	279
ホッパ初期設定	266

マ

マルチプロトコル LAN アダプター	16
--------------------------	----

ミ

明朝	283
----------	-----

ム

無線 LAN プリンタ導入ウィザード	94
無線 LAN プリンタアダプタ	16

メ

メニュー初期化	268
メニューツリー	269
メニューの詳細	278
メニューモード	263
設定項目	266
メモリスイッチ	265
メモリー設定	267, 282
面制御コード	392

モ

文字間隔	360
文字構成	361
文字コード	362
文字サイズ	381
文字セット	283
文字セット制御コード	399
文字の種類	360
文字幅	384
文字明度	381
文字ロード	385

ユ

ユーザーサービス	349
ユーザーズマニュアル	vi
ユーティリティ	
EASY 設定～	69
PrintAgent プリンタ管理～	71
SNMP	174
Telnet	110

UNIX コマンド	117
WWW ブラウザー	96
アクセス制限	179
ユーティリティによるネットワークの設定	68

ヨ

用紙	
使用できる～	238
トレーに～をセットする	243
～について	238
～についての注意事項	239
～の規格	359
～のセット	19, 237
～のセット方向	240
～の保管について	239
～の保管方法	242, 246
ホッパーに～をセットする	241
～をセットする時の注意	249
用紙位置	285, 293, 294
用紙位置微調整方向	294
用紙サイズ	254
用紙種別	266, 279
用紙なし	433
用紙メニュー	278
余白	280, 373
呼び出し実行	287
より進んだ使い方	187
より便利なネットワーク機能	166

ラ

ラベル紙	238, 239, 359
ランドスケープ	254
ランドスケープ方向	295
ランプ	255
印刷可ランプ	255
消耗品ランプ	255
データランプ	255
電源ランプ	255
両面ランプ	255

リ

リプリント	224
リプリント機能	
～が動作しないときは	326
領域指定イメージ	397
両面印刷	63, 188, 190, 395, 396
～の設定	
MS-DOS 環境	63
両面印刷設定	267
リレー給紙	237, 279
～の設定	22, 266

レ

レフトマージン量	293
連続印刷	266, 278

ロ

ローカルポート	38, 57, 160
---------------	-------------



当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

高調波ガイドライン適合品

この装置は、経済産業省通知の家電・汎用品
高調波抑制対策ガイドラインに適合しています。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。

海外でのご使用について

この装置は、日本国内での使用を前提としているため、海外各国での安全規格などの適用認定を受けておりません。したがって、本装置を輸出した場合に当該国での輸入通関、および使用に対し罰金、事故による補償等の問題が発生することがあっても、弊社は直接・間接を問わず一切の責任を免除させていただきます。

MultiWriter 6600

レーザープリンター

